

大阪狭山市
子どもの生活に関する実態調査

平成 29 年 3 月

大阪狭山市

調査研究業務 受注者
公立大学法人 大阪府立大学

目次

はじめに	2
I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 調査内容	3
4. 調査対象者	3
5. 調査実施日	3
6. 調査配布・回収率(数)	3
7. 調査実施主体	4
8. 研究者一覧	4
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
II 調査結果	6
1. 回答者の属性	6
(1) 小学生・中学生	6
(2) 保護者	8
2. 単純集計	9
(1) 経済状況	9
(2) 生活環境	41
(3) 教育環境	95
(4) 社会環境	101
3. クロス集計および分析結果	119
3-1. 基本情報	119
(1) 経済状況	119
(2) 家庭状況（制度等）	141
3-2. 雇用	158
3-3. 健康	167
3-4. 家庭生活、学習	196
3-5. 対人関係	246
III. 課題と方向性	271
1) 経済的資本の欠如	273
2) ヒューマンキャピタルの欠如	274
3) ソーシャル・キャピタルの欠如	276
4) 政策的課題のまとめ	277
IV 資料編	289

はじめに

子どもの貧困対策を総合的に推進するために講ずべき施策の基本となる事項その他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が、第183回国会において成立し、2014年1月に施行された。これを受けて、政府が定めるべき大綱について、子どもの貧困対策に関し優れた見識を有する者等の関係者の意見を聴取し、その案の作成に資するため、子どもの貧困対策に関する検討会が立ち上がり、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が出された。「貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成、子供に視点を置いた切れ目のない施策の実施、子供の貧困の実態を踏まえた対策の推進、子供の貧困に関する指標を設定しその改善に向けて取り組む」など4点を中心に方針が明記され、教育の支援、生活の支援、保護者の就労支援、経済的支援が打ち出された。学校を中心にした施策として、学校プラットフォームという言葉も打ち出された。同時に、世間でもかなり話題になり、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつある。

これらの政府の動きを受けて、各自治体において子どもの貧困対策が議論され、すでに各自治体によってさまざまな方策が打ち出され始めている。大阪では、大阪府内の自治体で共同して実施をすることを大阪府が呼びかけ、大阪府立大学と協働して、別途予算化した大阪市と府内12自治体、そして残りの府内30自治体を網羅する形で大阪府が調査実施した。調査受託機関である大阪府立大学においても、この調査を進める当初の説明会から、各自治体からの調査票への意見、結果分析への意見を聞き、調整のための会議を複数回開催し、このプロセスに自治体も共同して進めてきた。調査票については、すでに実施した自治体がホームページに挙げている調査票等を参考に議論した^{*}。府内をすべて網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。共同実施してきたことの意味は大きい。

このプロセスの当初の調査設計のための会議も複数回開催し、子どもの貧困については以下の考えを明確化した。現在、多く用いられている相対的貧困率は、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指している。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用している。その意味でも60%のラインも見えるように困窮度に分けて検討することにした。

子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。その理解の上で、内容的には、タウンゼントの定義を元にChild Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的な資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (human capital) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital) の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえることとした。日本では、貧困を「飢え」や「住宅の欠如」など「絶対的貧困」レベルで理解する傾向があるが、国際的には、貧困は相対的に把握されるべきものと理解されており、本調査もこの立場に立って把握しようとしたものである。

※○足立区子どもの健康・生活実態調査

○阿部彩・埋橋孝文・矢野裕俊 (2014) 「大阪子ども調査 結果の概要」文部科学省科学研究費補助金

「貧困に対する子どものコンピテンシーをはぐくむ福祉・教育プログラム開発 報告書」(研究代表者：埋橋孝文)

○横浜市子どものいる世帯の生活状況等に関する調査

○横浜市子ども・若者のいる世帯の生活状況及び就業に関する調査

I 調査概要

1. 調査の目的

大阪狭山市では、子どもたちが積極的に取り組み、自立できるような様々な施策を実施している。このたび、大阪狭山市の今後の子育て支援施策をより充実させるため、大阪府と共同で、小学5年生及び中学2年生とその保護者を対象に『大阪狭山市子どもの生活に関する実態調査』を実施した。

今回の調査で得た結果については、集計と分析を行い、子育て支援施策を検証する。

2. 調査方法

大阪狭山市内の調査対象の世帯に各学校を通じて配布し、回収を得たもの。

3. 調査内容

巻末の調査票参照

4. 調査対象者

大阪狭山市内の小学5年生とその保護者（533世帯）

大阪狭山市内の中学2年生とその保護者（556世帯）

5. 調査実施日

大阪狭山市：平成28年8月25日～平成28年9月20日

大阪府内全自治体：平成28年6月27日～平成28年9月30日

6. 調査配布・回収率(数)

表 1. 調査票の回収状況

	種類	回収率(%)	回収数	配布数
大阪狭山市	小学5年生	98.1	523	533
	小学5年生の保護者	96.8	516	533
	中学2年生	87.9	489	556
	中学2年生の保護者	87.1	484	556
	小学5年生・中学2年生合計	92.9	1,012	1,089
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	91.8	1,000	1,089
	計	92.4	2,012	2,178
大阪府内全自治体	小学5年生	66.1	26,540	40,137
	小学5年生の保護者	65.6	26,342	40,137
	中学2年生	58.9	23,558	39,993
	中学2年生の保護者	58.3	23,323	39,993
	小学5年生・中学2年生合計	62.5	50,106	80,130
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	62.0	49,703	80,130
	計	62.3	99,809	160,260

※大阪府内全自治体の小学5年生・中学2年生合計・小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども8件、保護者38件）。

大阪府内全自治体回収状況：配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布学校回収	小学5年生	81.3	20,008	24,598
	小学5年生の保護者	80.5	19,790	24,598
	中学2年生	73.3	18,265	24,931
	中学2年生の保護者	72.1	17,979	24,931
	小学5年生・中学2年生合計	77.3	38,281	49,529
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	76.3	37,807	49,529
学校配布郵送回収	小学5年生	48.2	3,789	7,864
	小学5年生の保護者	48.2	3,793	7,864
	中学2年生	39.0	2,891	7,407
	中学2年生の保護者	39.2	2,907	7,407
	小学5年生・中学2年生合計	43.7	6,680	15,271
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	43.9	6,700	15,271
郵送配布郵送回収	小学5年生	35.7	2,743	7,675
	小学5年生の保護者	35.9	2,759	7,675
	中学2年生	31.4	2,402	7,655
	中学2年生の保護者	31.8	2,437	7,655
	小学5年生・中学2年生合計	33.6	5,145	15,330
	小学5年生保護者・ 中学2年生保護者合計	33.9	5,196	15,330
計		62.3	99,809	160,260

※学校配布学校回収小学5年生・中学2年生合計・小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども8件、保護者38件）。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の4自治体において実施した（大阪市を含む）。さらに1自治体では、小5・中2以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、24,216、回収数は18,001、回収率74.3%であった。

7. 調査実施主体

大阪狭山市
調査研究業務受託者
公立大学法人 大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科

8. 研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科
教授 山野 則子（業務責任者）
准教授 嵯峨 嘉子
特認助教 駒田 安紀

協力者 公立大学法人大阪市立大学大学院 生活科学研究科
教授 所 道彦

研究補助者 大阪府立大学研究員 小林 智之 山下 剛徳
大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 加藤 暁子 太田 祥貴 藤岡 佳
大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類
鈴木 建太郎 土家 彩香 石田 まり
同志社大学大学院 心理学研究科 博士前期課程 久禮 まゆ
大阪市立大学大学院 生活科学研究科 後期博士課程 松溪 智恵

9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、大阪狭山市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。大阪狭山市のデータについては「I. 調査方法 2～9」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府 30 市町村のデータに「2. 調査方法」で列記した共同実施 13 市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生 27 問、保護者 28 問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で 1～2 問の独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施 13 市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象 8000 件への配布を行いその約 30%～35%からの回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは 90%を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1 点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の 2 種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2 点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「大阪狭山市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 小学生・中学生

子ども-1. 学年

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市では 1,012 名が有効サンプルで内訳として「小学5年生」が 523 名で 51.7%、「中学2年生」が 489 名で 48.3%である。

なお、大阪府内全自治体は 50,106 名が有効サンプルで「小学5年生」が 26,540 名で 53.0%、「中学2年生」が 23,558 名で 47.0%である。

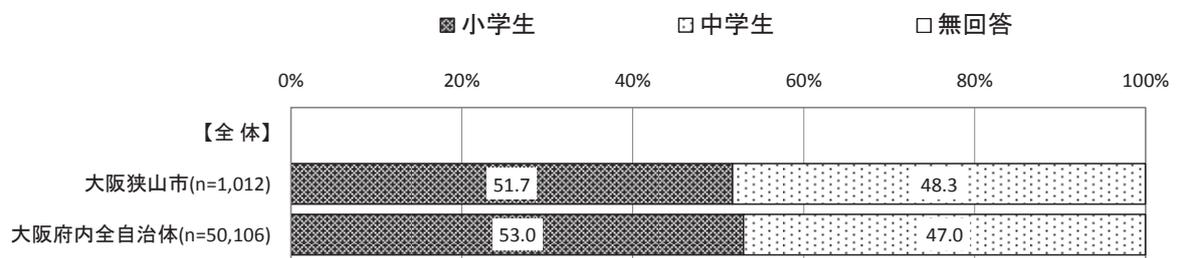


図 1. 学年

子ども-25. 性別

問 25 あなたの性別をえらんでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「男子」が48.1%、「女子」が48.9%、「その他」が0.2%、「答えたくない」が2.2%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「男子」が48.9%、「女子」が49.1%、「その他」が該当なし、「答えたくない」が1.3%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「男子」が47.2%、「女子」が48.7%、「その他」が0.4%、「答えたくない」が3.1%、「無回答」が0.6%である。

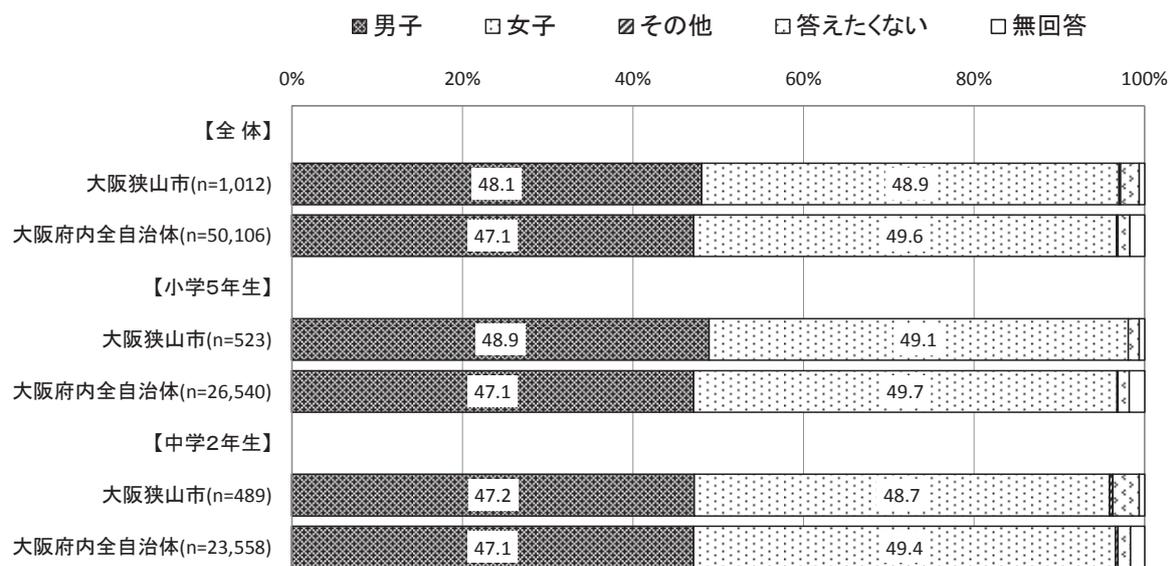


図 2. 子ども性別

(2) 保護者

保護者-1. 回答者の続柄

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「お母さん」が 89.1%、「お父さん」が 6.1%、「おばあさん・おじいさん」が 0.5%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が該当なし、「その他の人」が該当なし、「無回答」が 4.3%である。

小学5年生の保護者では、「お母さん」が 91.3%、「お父さん」が 3.9%、「おばあさん・おじいさん」が 0.8%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が該当なし、「その他の人」が該当なし、「無回答」が 4.1%である。

中学2年生の保護者では、「お母さん」が 86.8%、「お父さん」が 8.5%、「おばあさん・おじいさん」が 0.2%、「おじ、おばなど親戚」が該当なし、「施設職員・ファミリーホーム・里親」が該当なし、「その他の人」が該当なし、「無回答」が 4.5%である。

このことから、「お母さん」は小学5年生の保護者では9割強、中学2年生の保護者では9割弱になっている。

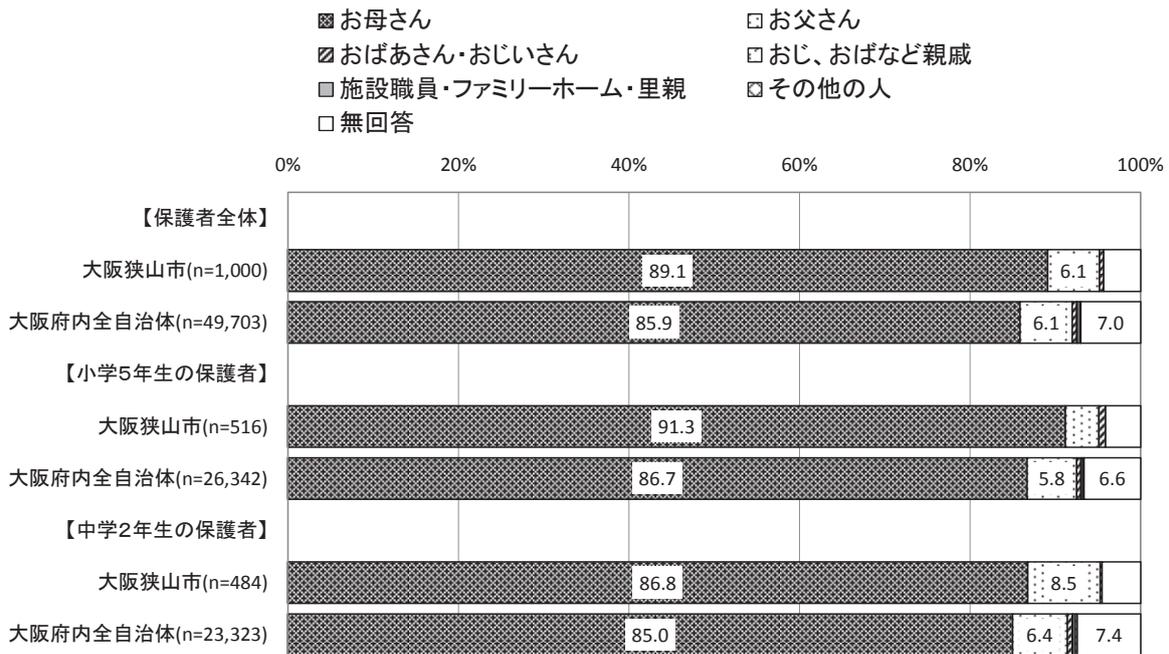


図 3. 回答者の続柄

2. 単純集計

(1) 経済状況

保護者-27-4. 世帯収入額

問 27 (4) 前年(2015年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「わからない」が8.1%、「500～550万円未満」が7.4%、「550～600万円未満」が6.7%、「450～500万円未満」が6.3%、「400～450万円未満」が5.9%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「500～550万円未満」が9.1%、「わからない」が8.7%、「550～600万円未満」が7.4%、「400～450万円未満」が6.6%、「450～500万円未満」が6.2%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「わからない」が7.4%、「450～500万円未満」が6.4%、「650～700万円未満」が6.2%、「550～600万円未満」が6.0%、「600～650万円未満」が5.8%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生の保護者では「500～550万円未満」が、中学2年生の保護者では「450～500万円未満」から「650～700万円未満」が高くなっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

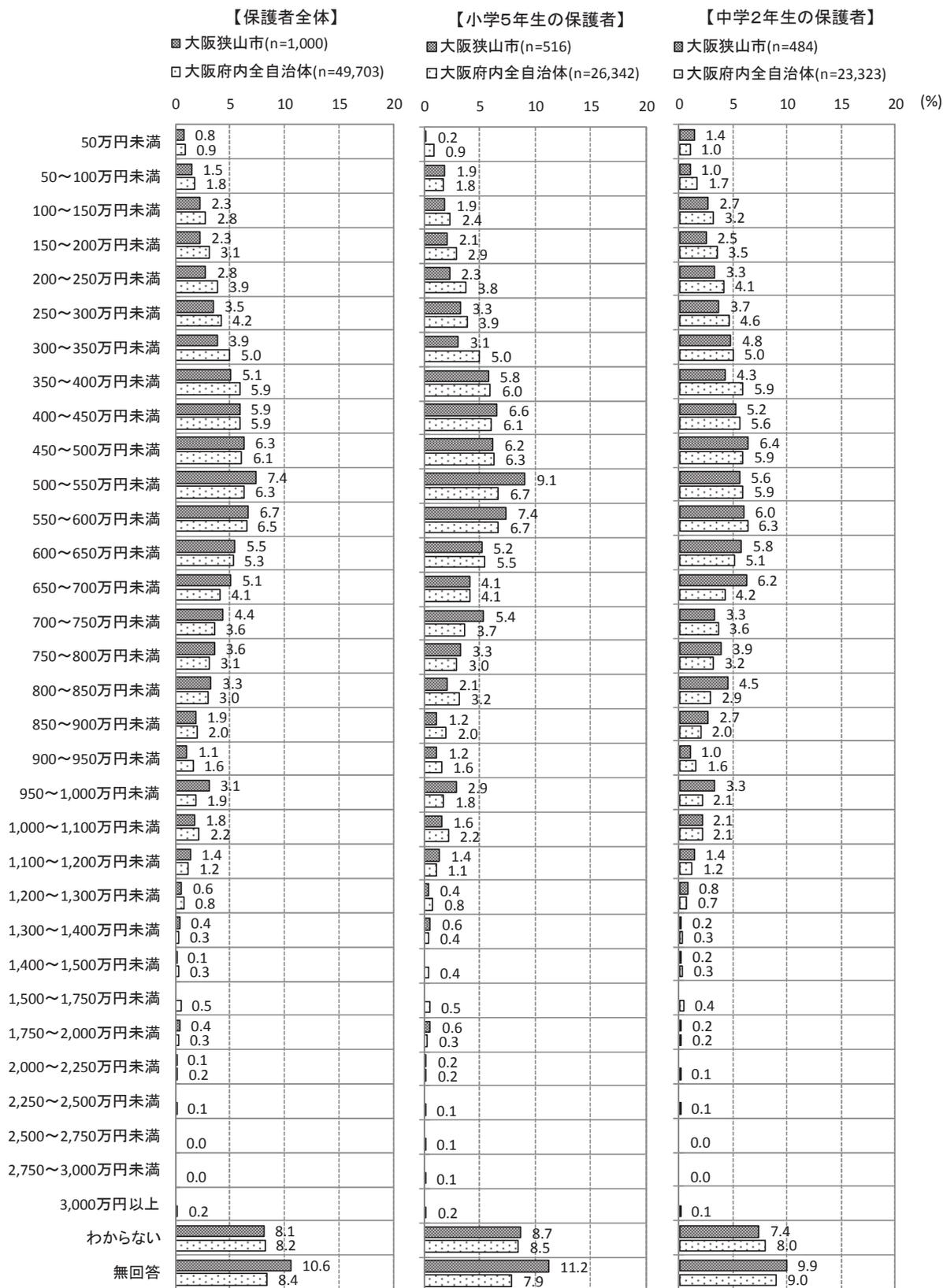


図 4. 世帯収入額

世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があり、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

	等価可処分所得最大値
中央値以上	
	中央値 (端から数えて真ん中に位置する値)
困窮度Ⅲ	
	中央値の60%のライン
困窮度Ⅱ	
	中央値の50%のライン
困窮度Ⅰ	
	等価可処分所得最小値

図 5. 困窮度の分類と基準

等価可処分所得に基づく困窮度の分類

表 2. 大阪狭山市困窮度別人数

困窮度分類	人数	%
中央値以上	409	50.4
困窮度Ⅲ	266	32.8
困窮度Ⅱ	34	4.2
困窮度Ⅰ	102	12.6
合計	811	100.0

中央値は263万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は12.6%であった。なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は14.9%であった。

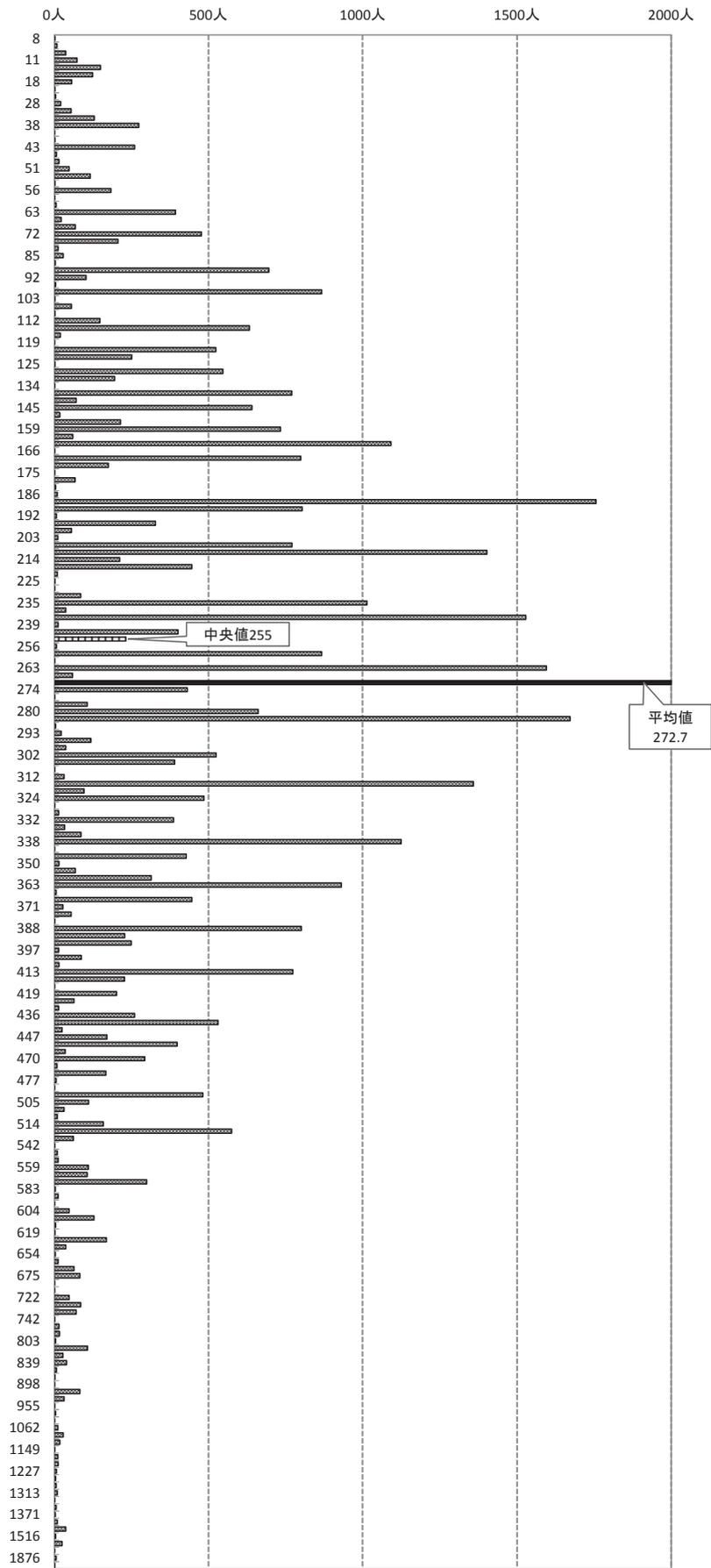


図 6 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

保護者-7. 経済的な理由による経験

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が41.4%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が40.8%、「食費を切りつめた」が36.3%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が29.1%、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が28.0%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が40.7%、「趣味やレジャーの出費を減らした」が39.9%、「食費を切りつめた」が35.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が29.5%、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が27.3%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「趣味やレジャーの出費を減らした」が43.0%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が40.9%、「食費を切りつめた」が37.0%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」が28.7%、「1～21の項目には、どれにもあてはまらない」が28.7%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「趣味やレジャーの出費を減らした」、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「食費を切りつめた」などが4割前後で高い。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした」が保護者全体で9ポイント、小学5年生の保護者で7ポイント、中学2年生の保護者で11ポイント、いずれも低くなっている。



図 7. 経済的な理由による経験

保護者-13. 子どもへの経済的な理由による経験

問 13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」が57.5%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が14.8%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が11.0%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が9.3%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が9.2%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」が59.5%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が12.2%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」が10.3%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が10.1%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が9.3%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」が55.4%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が17.6%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が12.0%、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」が9.7%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」が9.3%の順に高くなっている。

このことから、「1～14の項目には、どれにもあてはまらない」は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに6割弱になっている。「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」は小学5年生の保護者では1割強、中学2年生の保護者では2割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、小学5年生の保護者で「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が5ポイント低くなっている。



図 8. 子どもへの経済的な理由による経験

子ども-22. 持っているもの、使うことができるもの

問 22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「自転車」が 94.1%、「ゲーム機」が 82.0%、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が 80.6%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が 80.4%、「テレビ」が 80.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「自転車」が 93.7%、「ゲーム機」が 84.1%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が 80.9%、「マンガ・雑誌」が 77.6%、「テレビ」が 77.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「自転車」が 94.5%、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が 84.5%、「テレビ」が 83.2%、「マンガ・雑誌」が 81.4%、「スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ（ライン）やツイッター、フェイスブックなどできるもの）」が 81.0%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生、中学2年生ともに「自転車」が9割強で最も高くなっている。次いで小学5年生では「ゲーム機」が、中学2年生では「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」がともに8割強で高い。

次に、大阪府内全自治体と比較して差の大きい項目をみると、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）」が全体で7ポイント、小学5年生で6ポイント、中学2年生で7ポイント高くなっている。また、「けいたい電話」は中学2年生で7ポイント低くなっている。

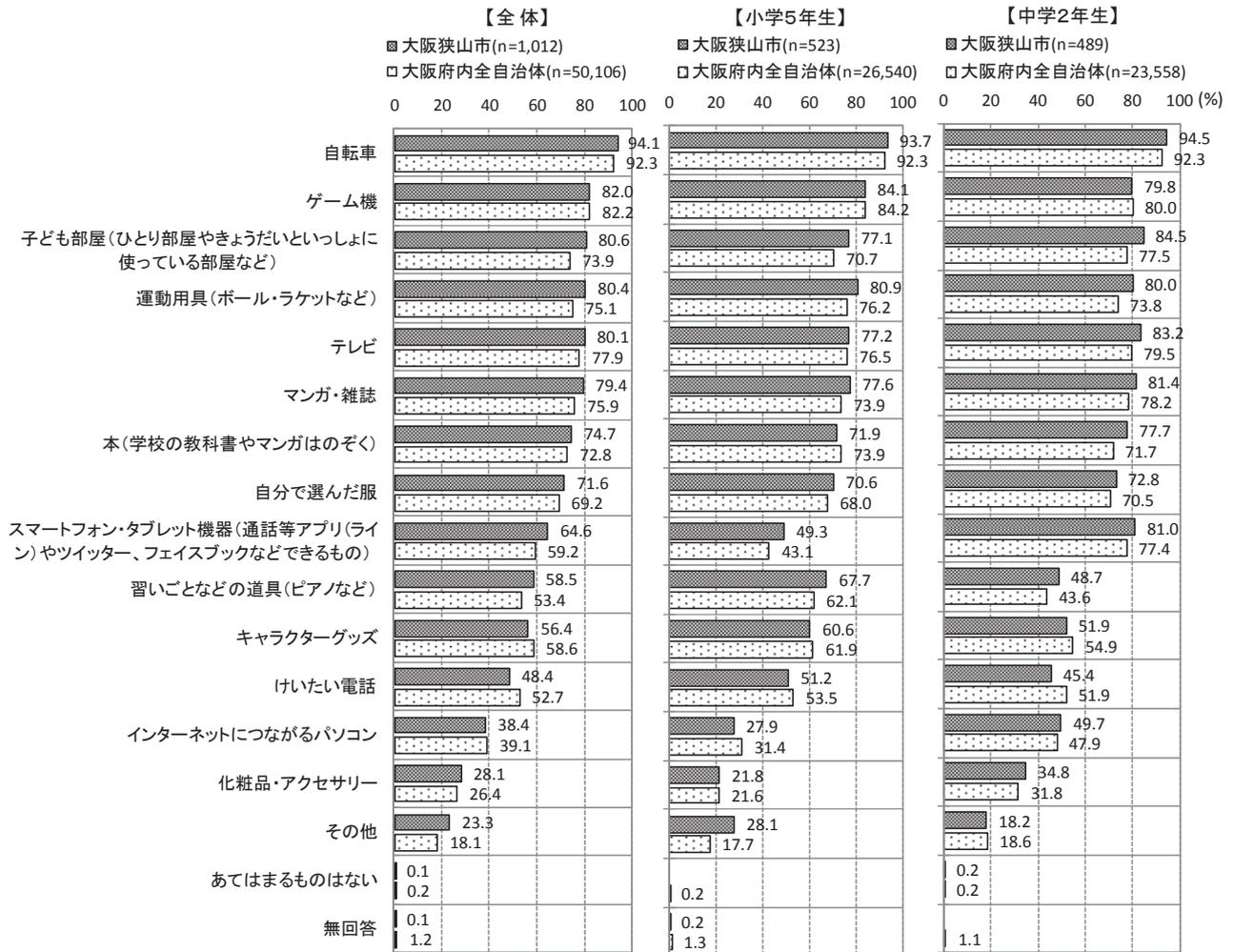


図 9. 持っているもの、使うことができるもの

保護者-6-1. 家計状況

問 6 (1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

大阪狭山市の保護者全体では、「貯蓄ができています」が35.9%、「赤字でもなく黒字でもない」が33.8%、「赤字である」が23.1%、「わからない」が5.4%、「無回答」が1.8%である。

小学5年生の保護者では、「貯蓄ができています」が37.0%、「赤字でもなく黒字でもない」が34.5%、「赤字である」が20.5%、「わからない」が5.8%、「無回答」が2.1%である。

中学2年生の保護者では、「貯蓄ができています」が34.7%、「赤字でもなく黒字でもない」が33.1%、「赤字である」が25.8%、「わからない」が5.0%、「無回答」が1.4%である。

このことから、「貯蓄ができています」は小学5年生の保護者では4割弱、中学2年生の保護者では3割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

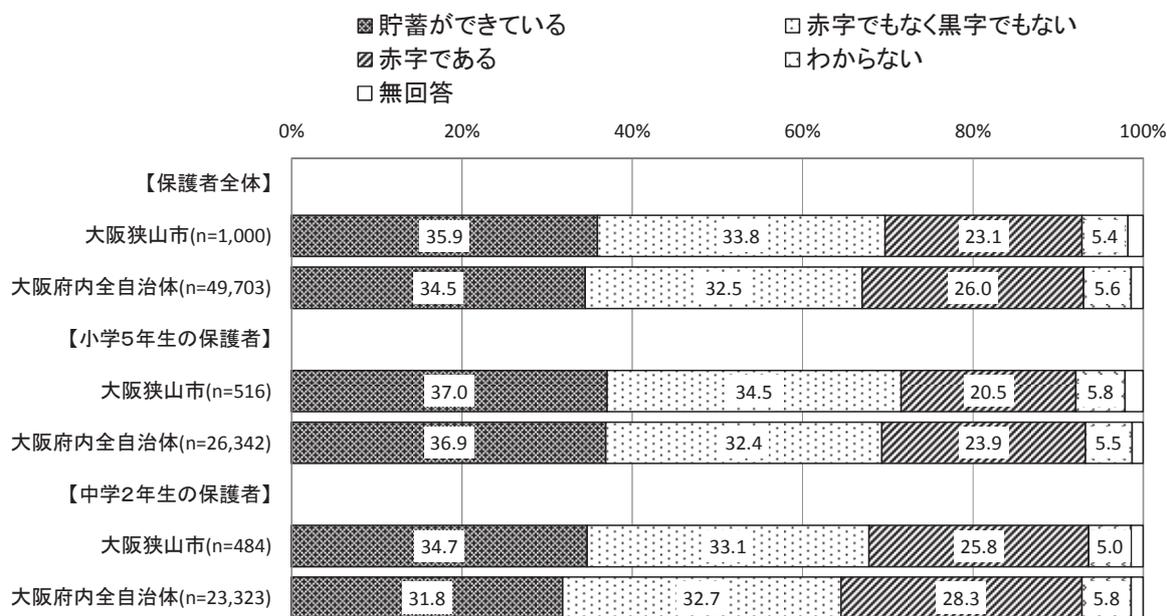


図 10. 家計状況

保護者-6-2. 赤字の場合の対処

問6(2) 問6(1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合はどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「貯金、預金のとりにくずし」が64.5%、「親や親族などからの仕送り」が7.8%、「金融機関等からの借入」が17.7%、「その他」が10.0%である。

小学5年生の保護者では、「貯金、預金のとりにくずし」が67.0%、「親や親族などからの仕送り」が8.5%、「金融機関等からの借入」が17.0%、「その他」が7.5%である。

中学2年生の保護者では、「貯金、預金のとりにくずし」が62.4%、「親や親族などからの仕送り」が7.2%、「金融機関等からの借入」が18.4%、「その他」が12.0%である。

このことから、「貯金、預金のとりにくずし」は小学5年生の保護者では7割弱、中学2年生の保護者では6割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

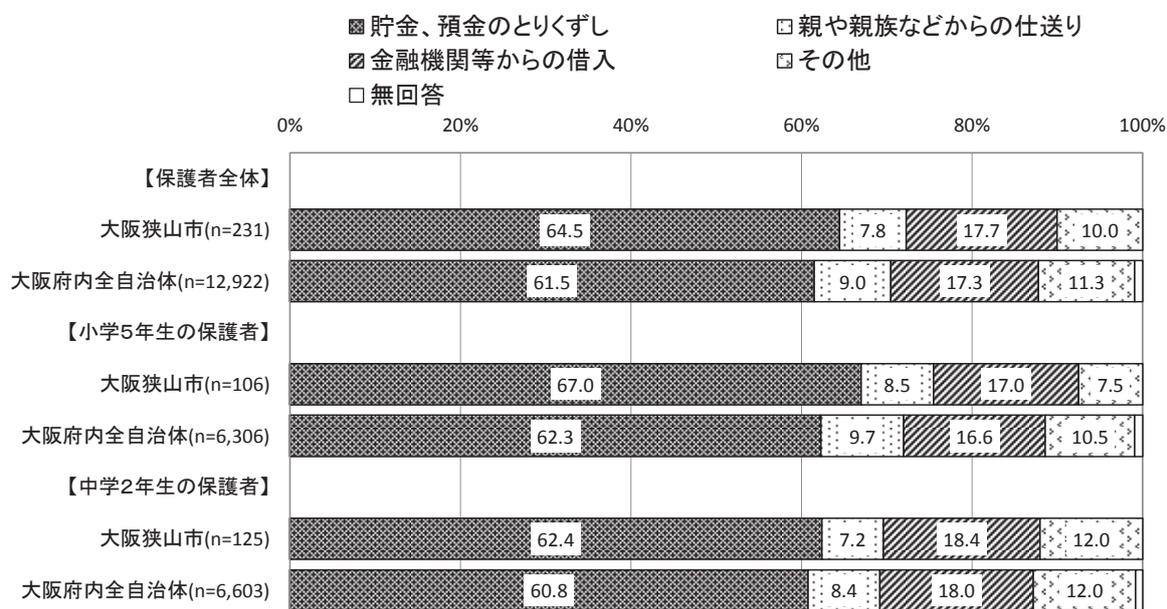


図 11. 赤字の場合の対処

保護者-6-3. 子どものための貯蓄

問 6 (3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「貯蓄をしている」が 61.5%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 36.5%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.4%、「無回答」が 1.6%である。

小学5年生の保護者では、「貯蓄をしている」が 62.6%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 35.1%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.2%、「無回答」が 2.1%である。

中学2年生の保護者では、「貯蓄をしている」が 60.3%、「貯蓄をしたいが、できていない」が 38.0%、「貯蓄をするつもりはない」が 0.6%、「無回答」が 1.0%である。

このことから、「貯蓄をしている」は小学5年生の保護者では6割強、中学2年生の保護者では6割になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「貯蓄をしている」が5ポイント高くなっている。

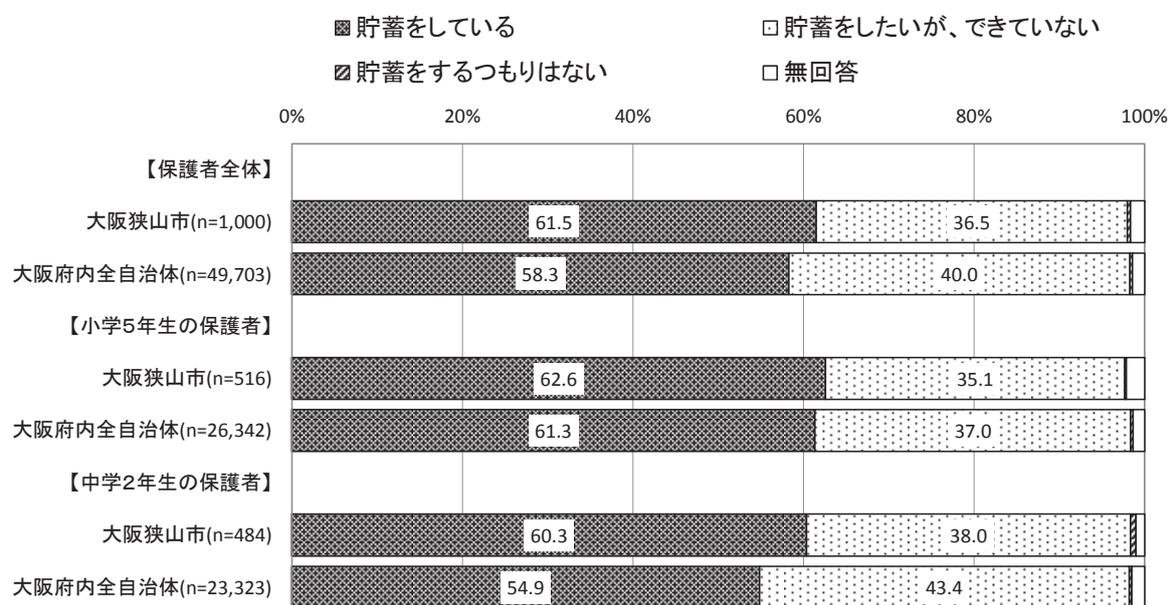


図 12. 子どものための貯蓄

保護者-27-3-1. 児童手当

問 27 (3) ① 児童手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が86.3%、「受けたことがある」が3.5%、「受けたことはない」が5.6%、「無回答」が4.6%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が87.4%、「受けたことがある」が3.1%、「受けたことはない」が6.4%、「無回答」が3.1%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が85.1%、「受けたことがある」が3.9%、「受けたことはない」が4.8%、「無回答」が6.2%である。

このことから、「受けている」は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに9割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

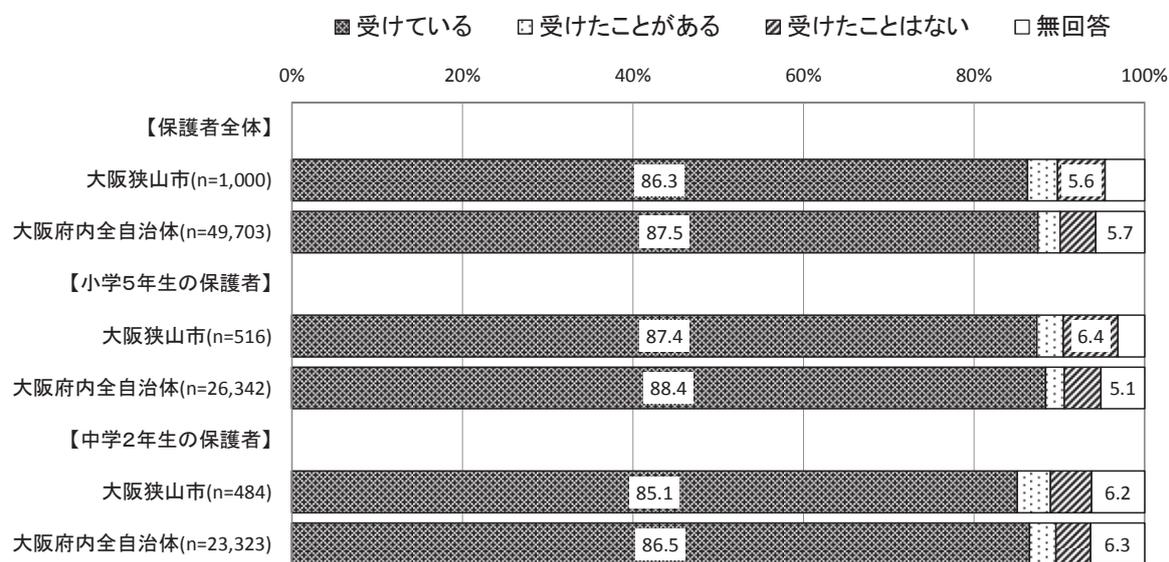


図 13. 児童手当

保護者-27-3-2. 就学援助費

問 27 (3) ② 就学援助費 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が 16.0%、「受けたことがある」が 2.8%、「受けたことはない」が 51.7%、「無回答」が 29.5%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が 14.1%、「受けたことがある」が 2.5%、「受けたことはない」が 55.8%、「無回答」が 27.5%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が 18.0%、「受けたことがある」が 3.1%、「受けたことはない」が 47.3%、「無回答」が 31.6%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「受けたことがある」が5ポイント低くなっている。

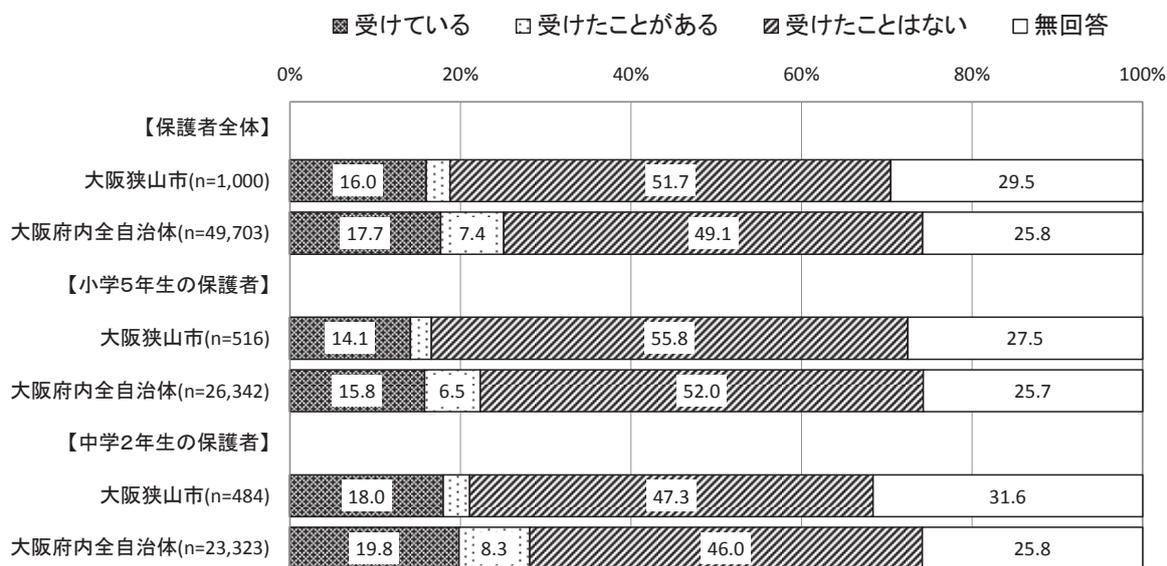


図 14. 就学援助費

保護者-27-3-3. 児童扶養手当

問 27 (3) ③ 児童扶養手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が9.4%、「受けたことがある」が1.3%、「受けたことはない」が56.1%、「無回答」が33.2%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が8.9%、「受けたことがある」が1.2%、「受けたことはない」が60.5%、「無回答」が29.5%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が9.9%、「受けたことがある」が1.4%、「受けたことはない」が51.4%、「無回答」が37.2%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割、中学2年生の保護者では5割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

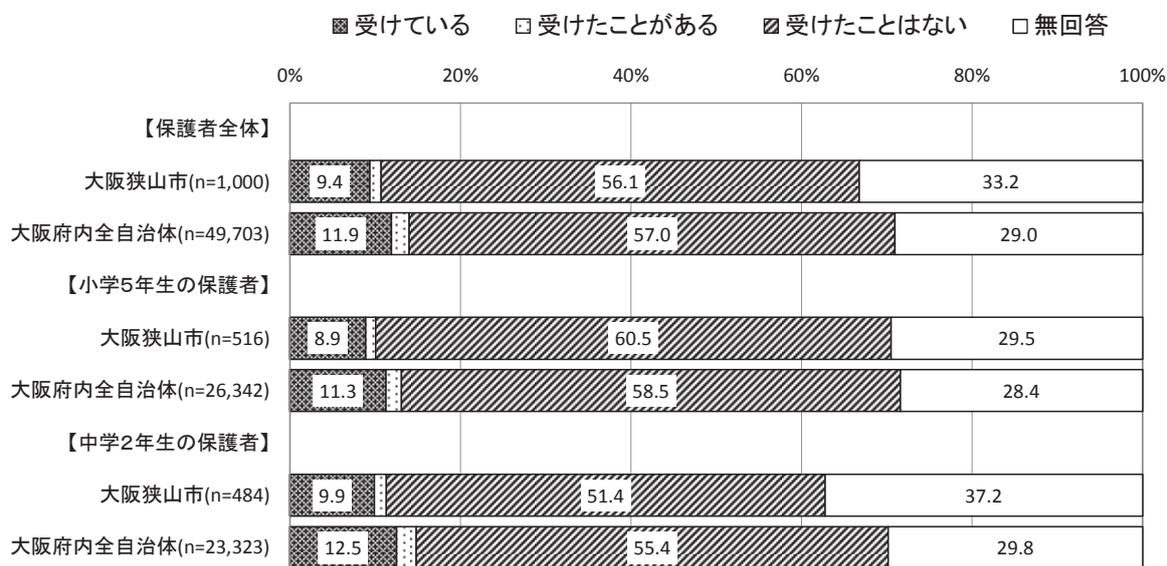


図 15. 児童扶養手当

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（ひとり親世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が47.7%、「受けたことがある」が4.6%、「受けたことはない」が28.5%、「無回答」が19.2%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が53.8%、「受けたことがある」が3.1%、「受けたことはない」が35.4%、「無回答」が7.7%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が43.0%、「受けたことがある」が5.8%、「受けたことはない」が23.3%、「無回答」が27.9%である。

このことから、「受けている」は小学5年生の保護者では5割強、中学2年生の保護者では4割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「受けたことがない」が保護者全体で6ポイント、小学5年生の保護者で13ポイントそれぞれ高くなっている。「受けている」は中学2年生の保護者で10ポイント低くなっている。

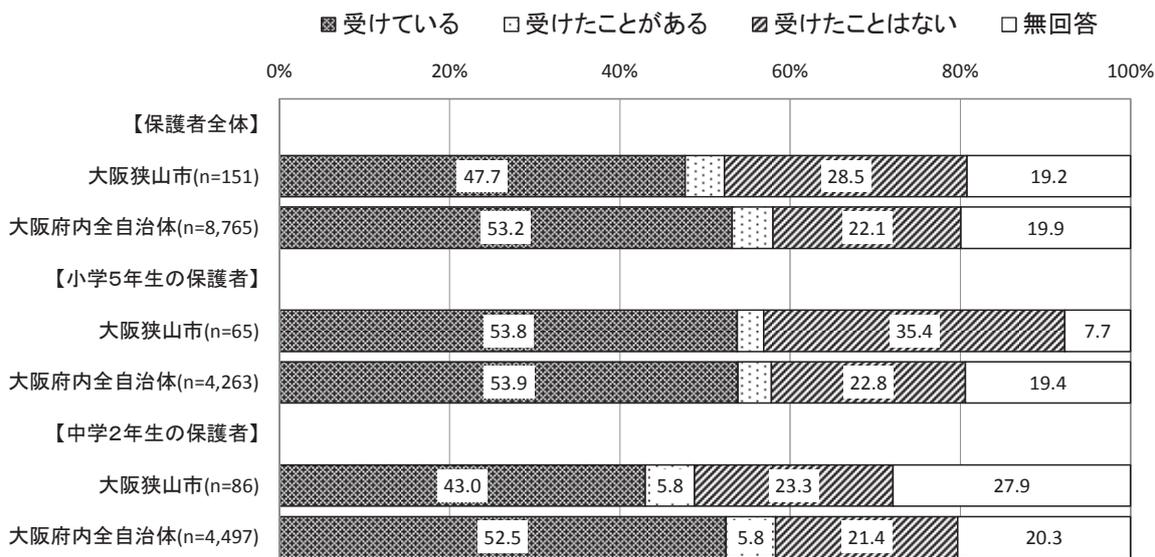


図 16. 児童扶養手当（ひとり親世帯）

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（母子世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が50.0%、「受けたことがある」が4.3%、「受けたことはない」が26.4%、「無回答」が19.3%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が55.6%、「受けたことがある」が3.2%、「受けたことはない」が33.3%、「無回答」が7.9%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が45.5%、「受けたことがある」が5.2%、「受けたことはない」が20.8%、「無回答」が28.6%である。

このことから、「受けている」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「受けている」は保護者全体で7ポイント、中学2年生の保護者で11ポイントそれぞれ低く、「受けたことがない」が小学5年生の保護者で12ポイント高くなっている。

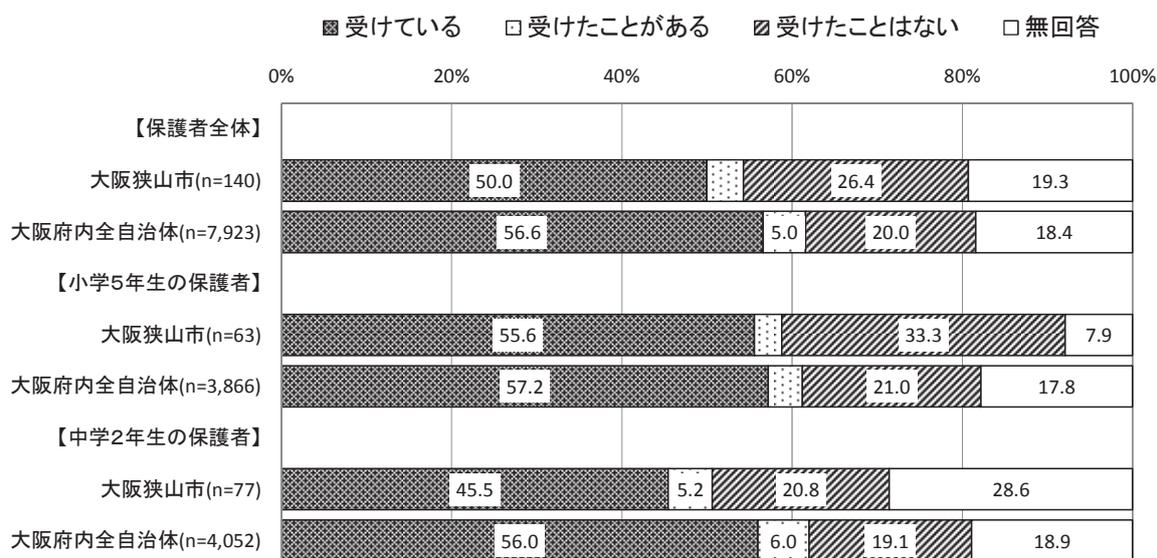


図 17. 児童扶養手当（母子世帯）

保護者-27-3-3. 児童扶養手当（父子世帯）

問 27 (3) ③ 児童扶養手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体（サンプル数 11 件）では、「受けている」が 18.2%、「受けたことがある」が 9.1%、「受けたことはない」が 54.5%、「無回答」が 18.2%である。

小学5年生の保護者（サンプル数 2 件）では、「受けている」が該当なし、「受けたことがある」が該当なし、「受けたことはない」が 100.0%である。

中学2年生の保護者（サンプル数 9 件）では、「受けている」が 22.2%、「受けたことがある」が 11.1%、「受けたことはない」が 44.4%、「無回答」が 22.2%である。

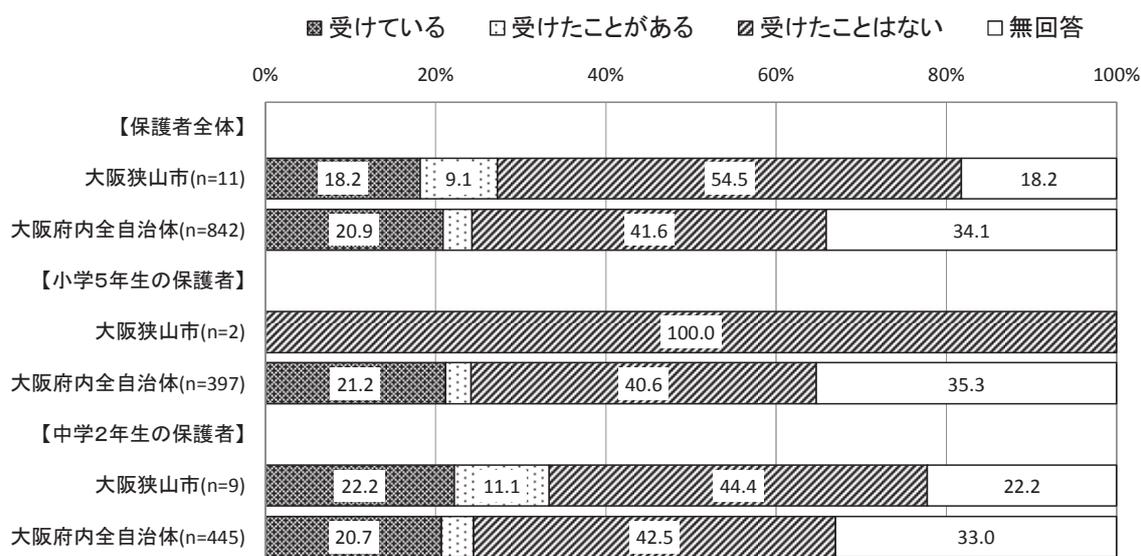


図 18. 児童扶養手当（父子世帯）

保護者-27-3-4. 障がいや難病の手当

問 27 (3) ④ 障がいや難病の手当 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が 1.8%、「受けたことがある」が 0.6%、「受けたことはない」が 62.7%、「無回答」が 34.9%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が 1.6%、「受けたことがある」が 0.6%、「受けたことはない」が 66.3%、「無回答」が 31.6%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が 2.1%、「受けたことがある」が 0.6%、「受けたことはない」が 58.9%、「無回答」が 38.4%である。

このことから、「受けたことがない」は小学5年生の保護者では7割弱、中学2年生の保護者では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

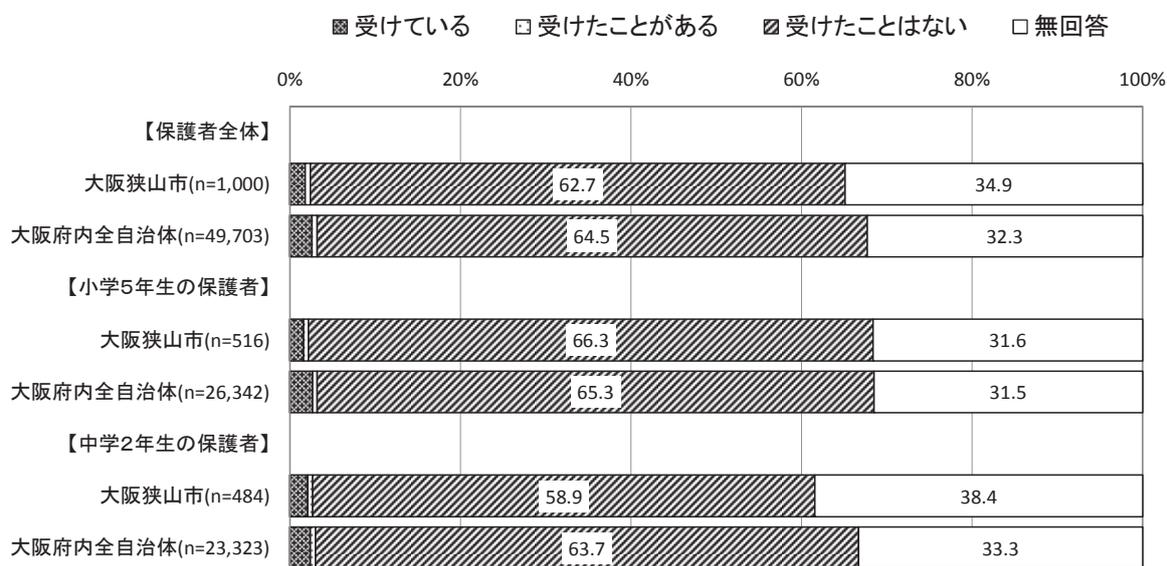


図 19. 障がいや難病の手当

保護者-27-3-5. 生活保護

問 27 (3) ⑤ 生活保護 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が 0.8%、「受けたことがある」が 0.8%、「受けたことはない」が 63.2%、「無回答」が 35.2%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が 0.8%、「受けたことがある」が 0.8%、「受けたことはない」が 66.9%、「無回答」が 31.6%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が 0.8%、「受けたことがある」が 0.8%、「受けたことはない」が 59.3%、「無回答」が 39.0%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者で7割弱、中学2年生の保護者では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

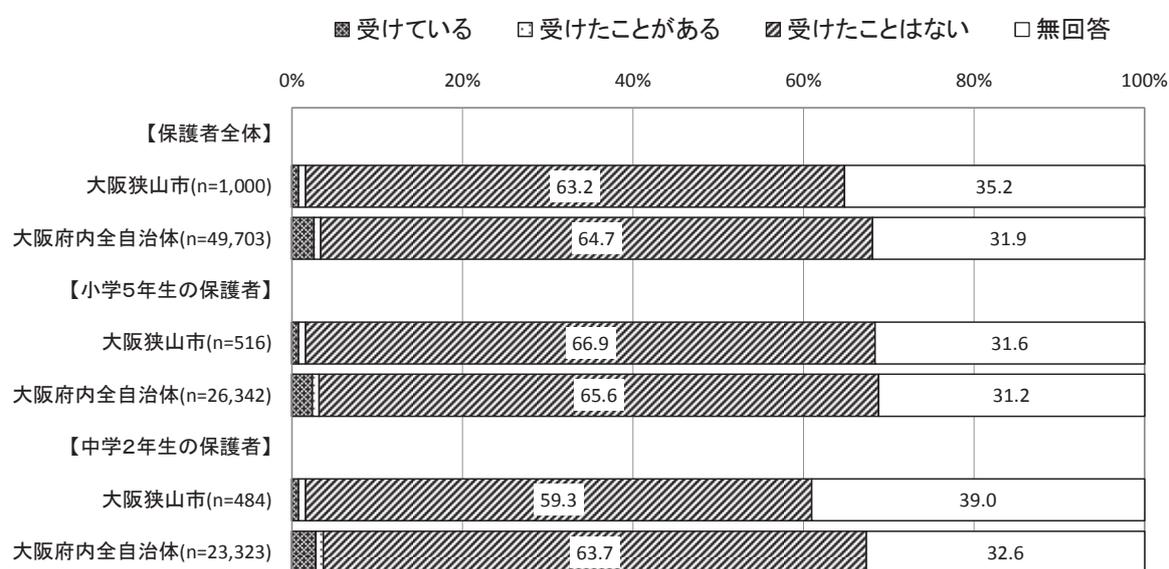


図 20. 生活保護

保護者-27-3-6. 公的年金（老齢年金）

問 27 (3) ⑥ 公的年金（老齢年金）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が2.3%、「受けたことがある」が0.2%、「受けたことはない」が62.7%、「無回答」が34.8%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が2.1%、「受けたことがある」が0.2%、「受けたことはない」が66.5%、「無回答」が31.2%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が2.5%、「受けたことがある」が0.2%、「受けたことはない」が58.7%、「無回答」が38.6%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では7割弱、中学2年生の保護者では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「受けたことはない」が6ポイント低くなっている。

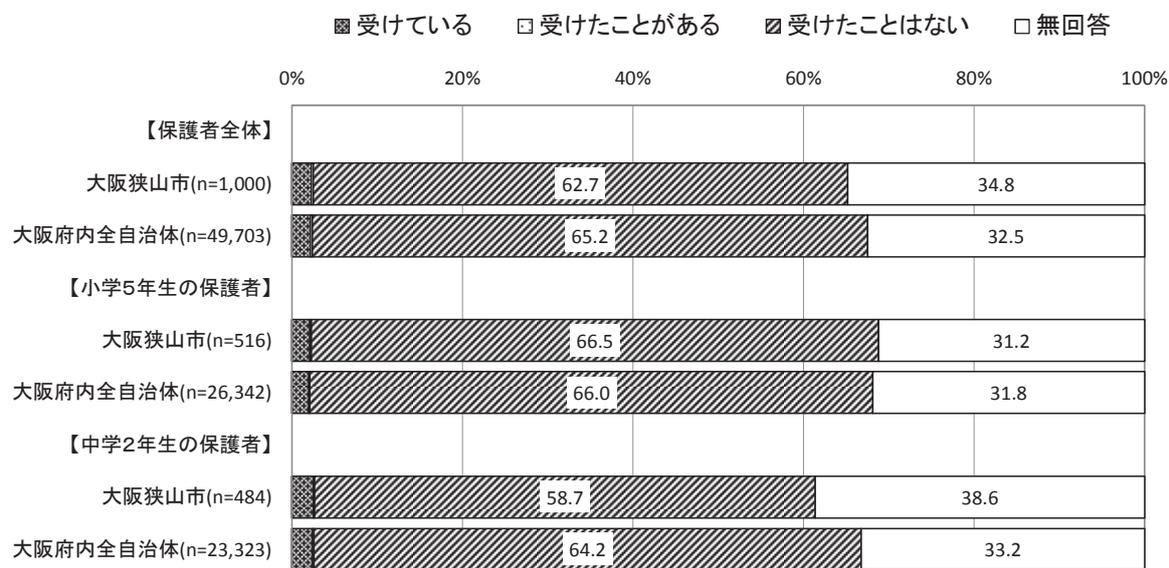


図 21. 公的年金（老齢年金）

保護者-27-3-7. 公的年金（遺族年金、障がい年金）

問 27 (3) ⑦ 公的年金（遺族年金、障がい年金）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が1.2%、「受けたことがある」が0.3%、「受けたことはない」が63.1%、「無回答」が35.4%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が0.8%、「受けたことがある」が0.4%、「受けたことはない」が66.9%、「無回答」が32.0%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が1.7%、「受けたことがある」が0.2%、「受けたことはない」が59.1%、「無回答」が39.0%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では7割弱、中学2年生の保護者では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「受けたことはない」が5ポイント低くなっている。

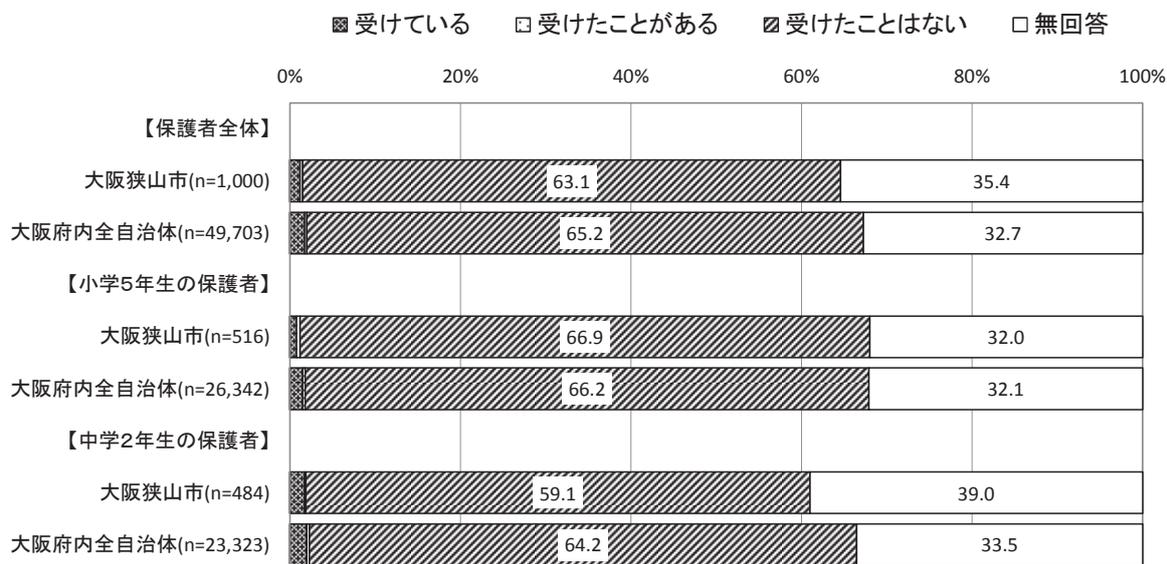


図 22. 公的年金（遺族年金、障がい年金）

保護者-27-3-8. 雇用保険（失業保険）

問 27 (3) ⑧ 雇用保険（失業保険）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が1.2%、「受けたことがある」が13.1%、「受けたことはない」が50.7%、「無回答」が35.0%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が1.2%、「受けたことがある」が12.6%、「受けたことはない」が55.0%、「無回答」が31.2%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が1.2%、「受けたことがある」が13.6%、「受けたことはない」が46.1%、「無回答」が39.0%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

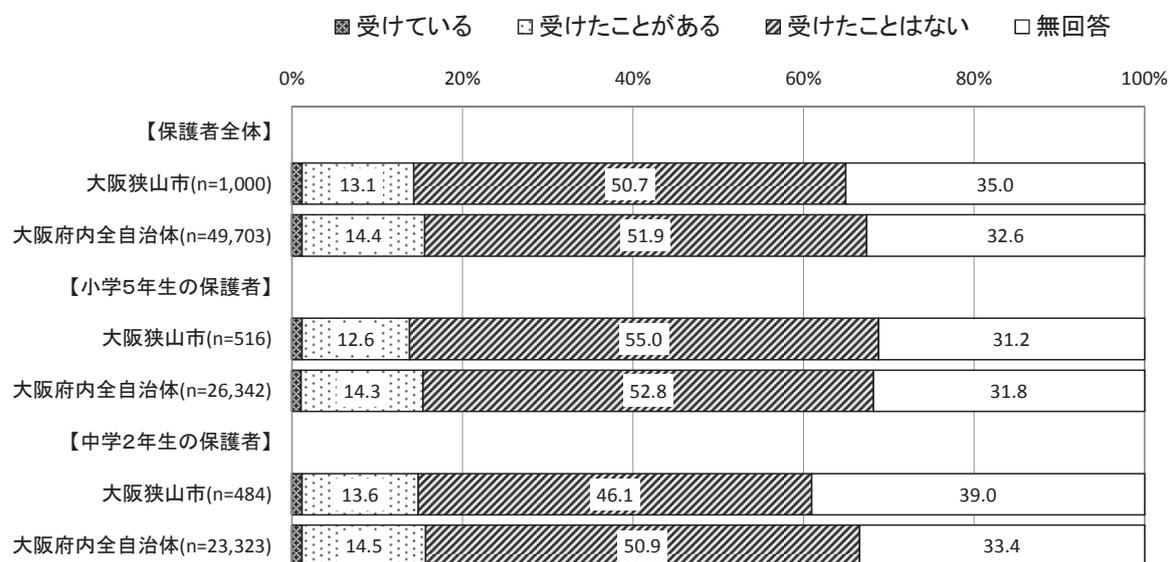


図 23. 雇用保険（失業保険）

保護者-27-3-9. 養育費

問 27 (3) ⑨ 養育費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が2.9%、「受けたことがある」が1.3%、「受けたことはない」が60.9%、「無回答」が34.9%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が2.9%、「受けたことがある」が0.8%、「受けたことはない」が64.7%、「無回答」が31.6%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が2.9%、「受けたことがある」が1.9%、「受けたことはない」が56.8%、「無回答」が38.4%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割強、中学2年生の保護者では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「受けたことはない」が6ポイント低くなっている。

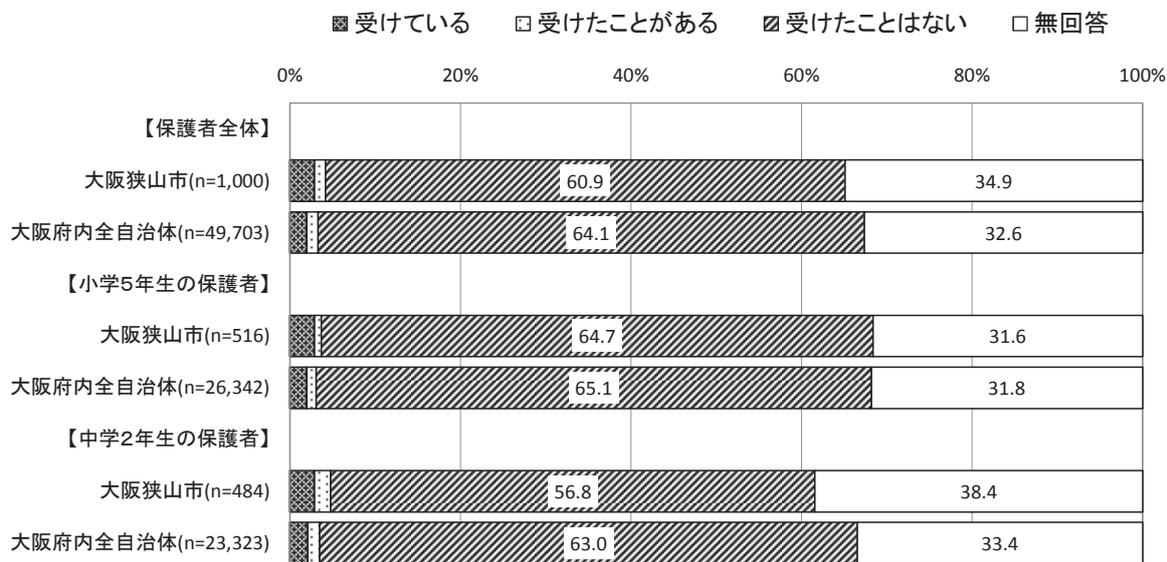


図 24. 養育費

保護者-27-3-9. 養育費（ひとり親世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が16.6%、「受けたことがある」が6.6%、「受けたことはない」が51.0%、「無回答」が25.8%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が18.5%、「受けたことがある」が3.1%、「受けたことはない」が60.0%、「無回答」が18.5%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が15.1%、「受けたことがある」が9.3%、「受けたことはない」が44.2%、「無回答」が31.4%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割、中学2年生の保護者では4割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「受けている」が保護者全体で6ポイント、小学5年生の保護者で8ポイント、中学2年生の保護者で5ポイントいずれも高くなっている

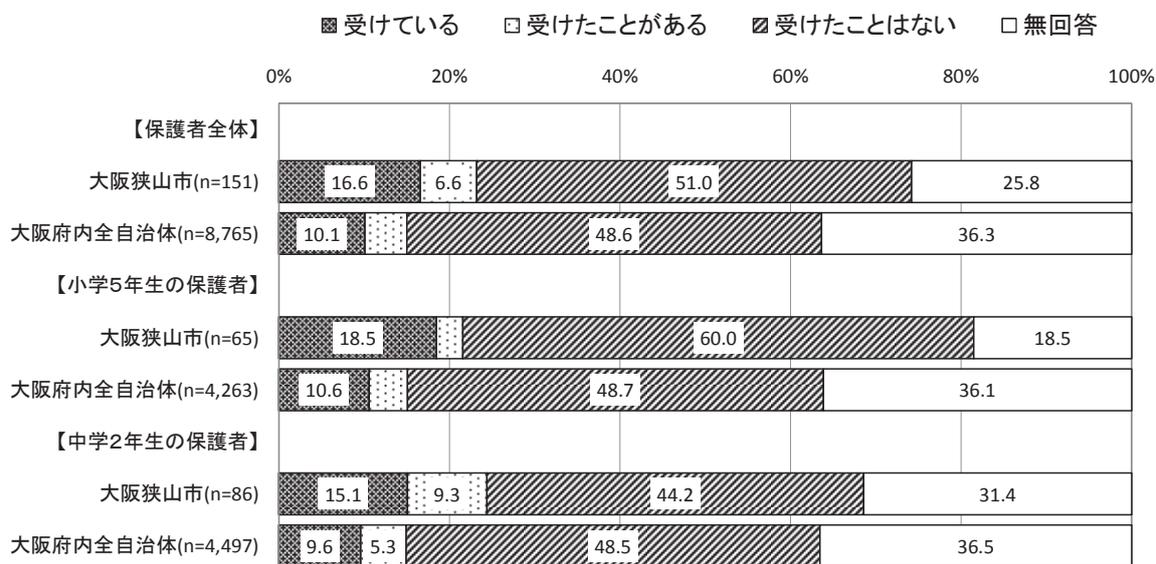


図 25. 養育費（ひとり親世帯）

保護者-27-3-9. 養育費（母子世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が17.9%、「受けたことがある」が7.1%、「受けたことはない」が49.3%、「無回答」が25.7%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が19.0%、「受けたことがある」が3.2%、「受けたことはない」が58.7%、「無回答」が19.0%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が16.9%、「受けたことがある」が10.4%、「受けたことはない」が41.6%、「無回答」が31.2%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では4割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「受けている」が保護者全体で7ポイント、小学5年生の保護者で8ポイント、中学2年生の保護者で6ポイントそれぞれ高くなっている。

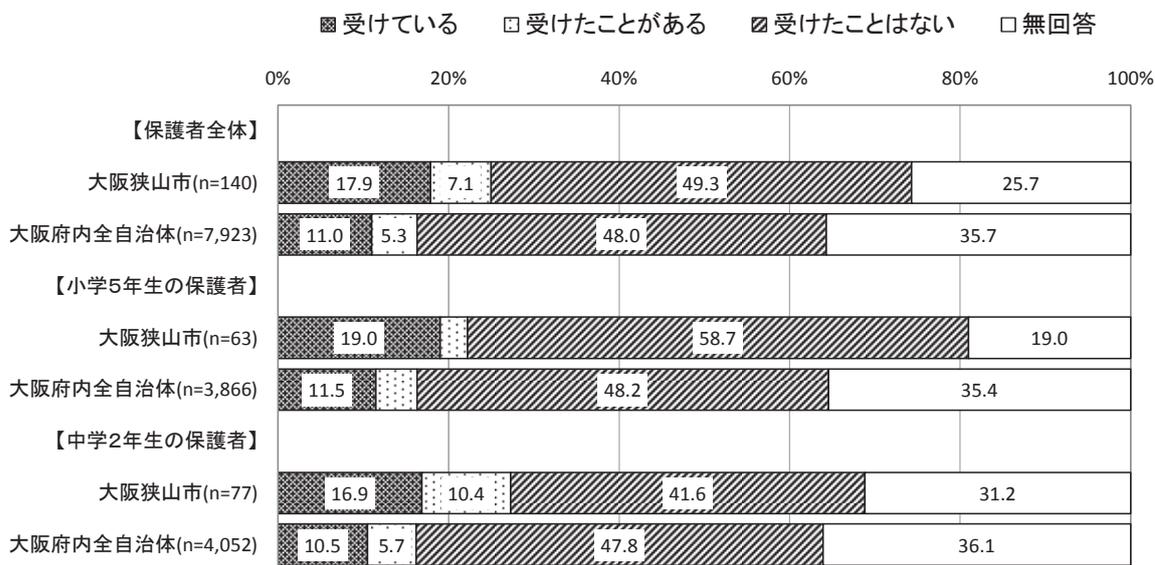


図 26. 養育費（母子世帯）

保護者-27-3-9. 養育費（父子世帯）

問 27 (3) ⑨ 養育費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体（サンプル数 11 件）では、「受けている」が該当なし、「受けたことがある」が該当なし、「受けたことはない」が 72.7%、「無回答」が 27.3%である。

小学5年生の保護者（サンプル数 2 件）では、「受けている」が該当なし、「受けたことがある」が該当なし、「受けたことはない」が 100.0%である。

中学2年生の保護者（サンプル数 9 件）では、「受けている」が該当なし、「受けたことがある」が該当なし、「受けたことはない」が 66.7%、「無回答」が 33.3%である。

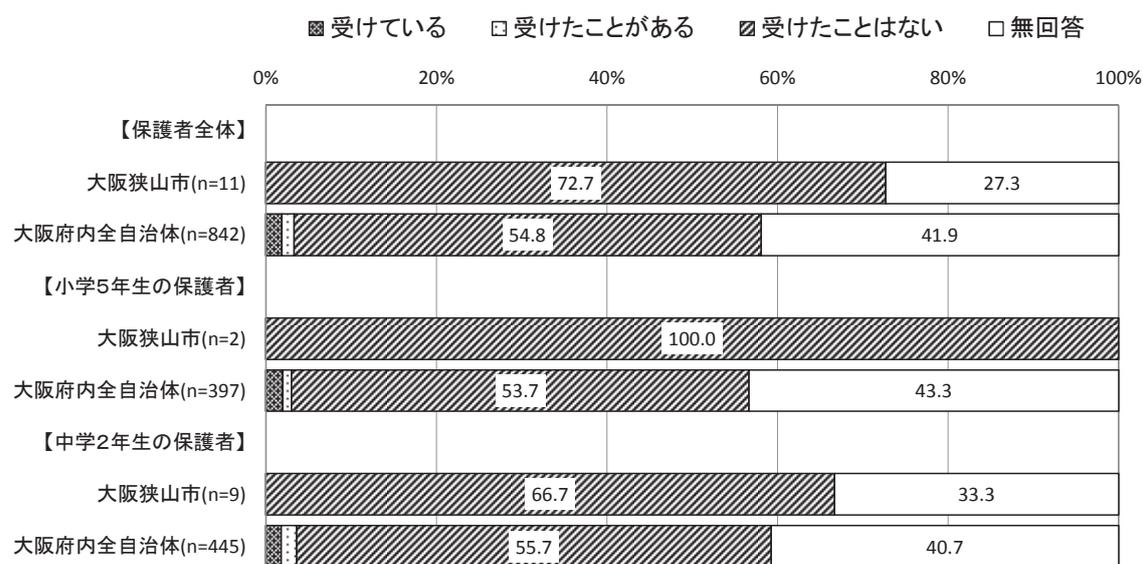


図 27. 養育費（父子世帯）

保護者-27-3-10. 親・親族からの仕送り

問 27 (3) ⑩ 親・親族からの仕送り (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が2.0%、「受けたことがある」が6.1%、「受けたことはない」が57.9%、「無回答」が34.0%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が1.7%、「受けたことがある」が6.0%、「受けたことはない」が62.0%、「無回答」が30.2%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が2.3%、「受けたことがある」が6.2%、「受けたことはない」が53.5%、「無回答」が38.0%である。

このことから、「受けたことがない」は小学5年生の保護者では6割強、中学2年生の保護者では5割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

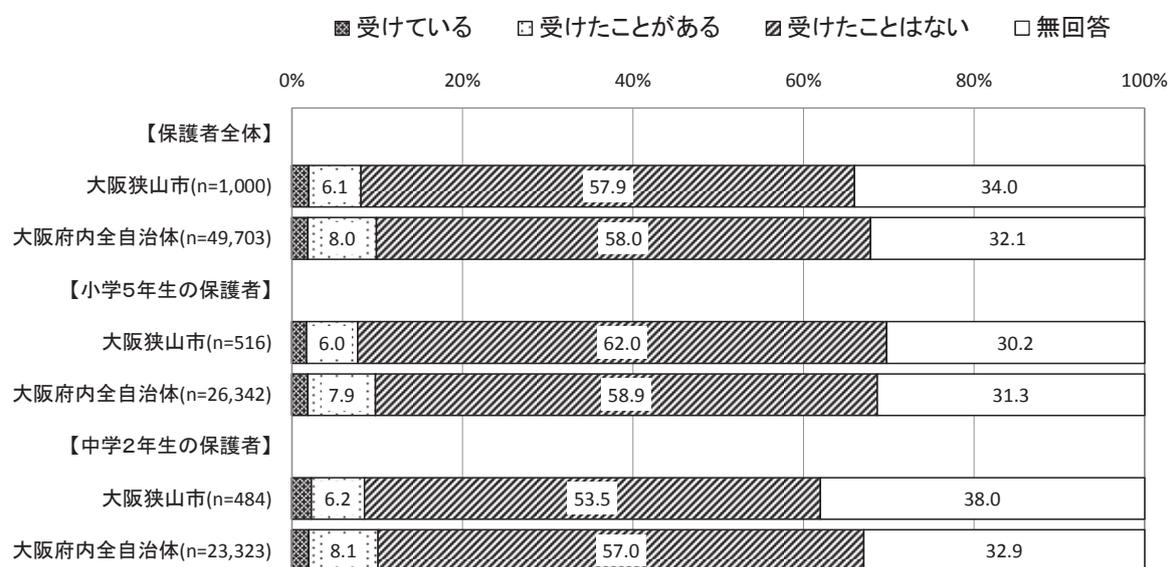


図 28. 親・親族からの仕送り

保護者-27-3-11. 退職金

問 27 (3) ⑪ 退職金 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が0.5%、「受けたことがある」が10.2%、「受けたことはない」が54.2%、「無回答」が35.1%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が0.4%、「受けたことがある」が10.9%、「受けたことはない」が57.6%、「無回答」が31.2%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が0.6%、「受けたことがある」が9.5%、「受けたことはない」が50.6%、「無回答」が39.3%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「受けたことはない」が5ポイント低くなっている。

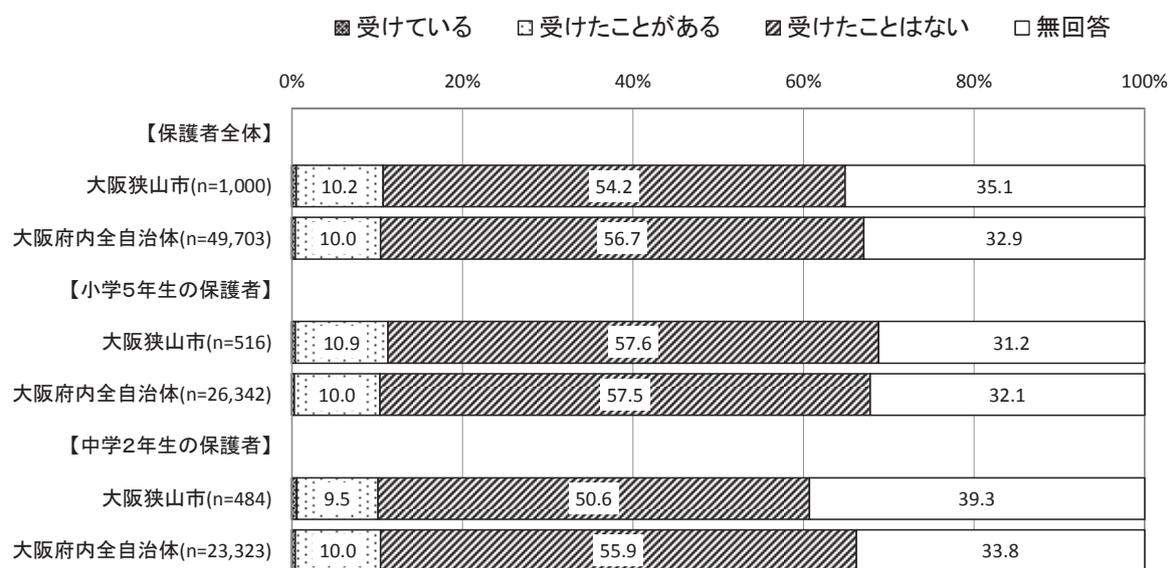


図 29. 退職金

保護者-27-3-12. その他、株式配当などの副収入

問 27 (3) ⑫ その他、株式配当などの副収入（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「受けている」が3.8%、「受けたことがある」が4.2%、「受けたことはない」が57.2%、「無回答」が34.8%である。

小学5年生の保護者では、「受けている」が3.3%、「受けたことがある」が4.5%、「受けたことはない」が60.9%、「無回答」が31.4%である。

中学2年生の保護者では、「受けている」が4.3%、「受けたことがある」が3.9%、「受けたことはない」が53.3%、「無回答」が38.4%である。

このことから、「受けたことはない」は小学5年生の保護者では6割、中学2年生の保護者では5割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

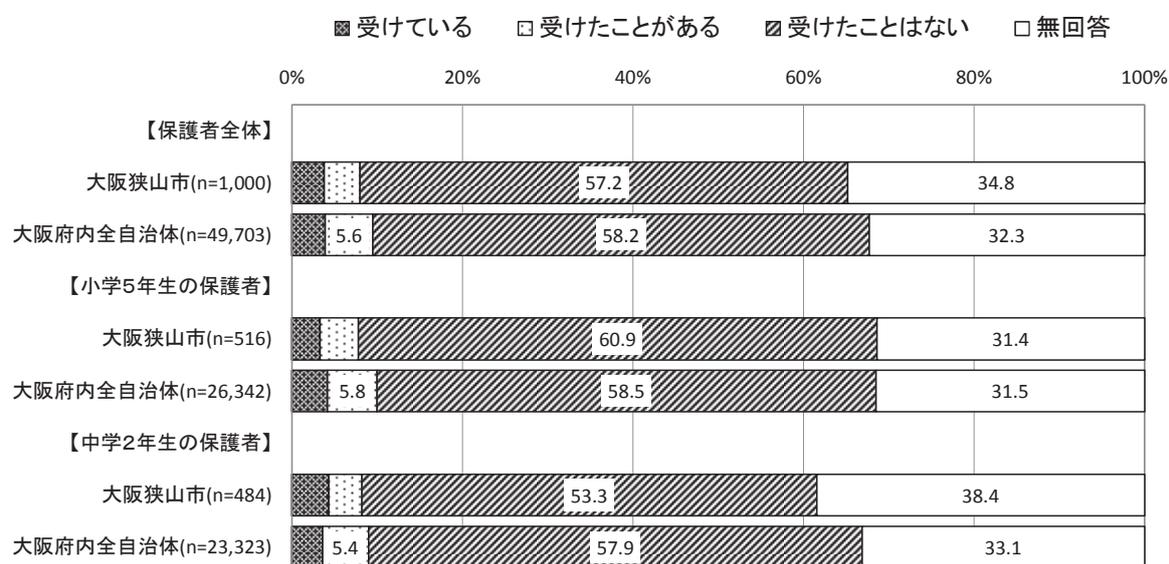


図 30. その他、株式配当などの副収入

表 3. 就労状況別人数

就労状況	人数	%
正規群	688	80.0
自営群	104	12.1
非正規群	52	6.0
無業	11	1.3
その他	5	0.6
合計	860	100

なお、分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）無業、
 上記以外がその他 となる。

ここでの無業とは、

「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。

クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

(2) 生活環境

保護者-3-1-1. 世帯員の人数

問3 (1) ① 世帯員の人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「2人」が2.3%、「3人」が12.5%、「4人」が47.0%、「5人」が29.6%、「6人」が5.4%、「7人」が1.9%、「8人」が0.7%、「9人」が0.1%、「10人以上」が0.1%、「無回答」が0.4%である。

小学5年生の保護者では、「2人」が2.5%、「3人」が13.0%、「4人」が45.0%、「5人」が31.8%、「6人」が5.6%、「7人」が1.6%、「8人」が0.2%、「9人」が該当なし、「10人以上」が該当なし、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「2人」が2.1%、「3人」が12.0%、「4人」が49.2%、「5人」が27.3%、「6人」が5.2%、「7人」が2.3%、「8人」が1.2%、「9人」が0.2%、「10人以上」が0.2%、「無回答」が0.4%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「4人」が5割弱で最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「5人」が保護者全体で5ポイント、小学5年生の保護者で7ポイントそれぞれ高くなっている。

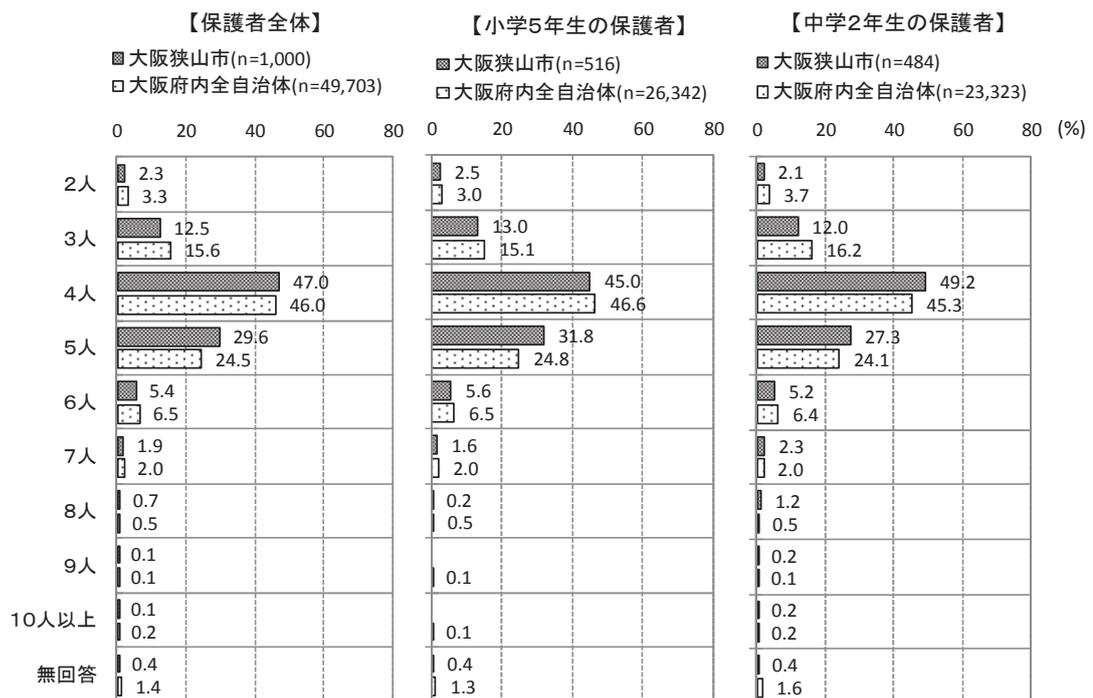


図 31. 世帯員の人数

保護者-3-1-2. 介護または介助の必要な方

問3 (1) ② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が2.4%、「いない」が97.0%、「無回答」が0.6%である。
 小学5年生の保護者では、「いる」が2.1%、「いない」が97.5%、「無回答」が0.4%である。
 中学2年生の保護者では、「いる」が2.7%、「いない」が96.5%、「無回答」が0.8%である。
 このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「いない」が約10割になっている。
 次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

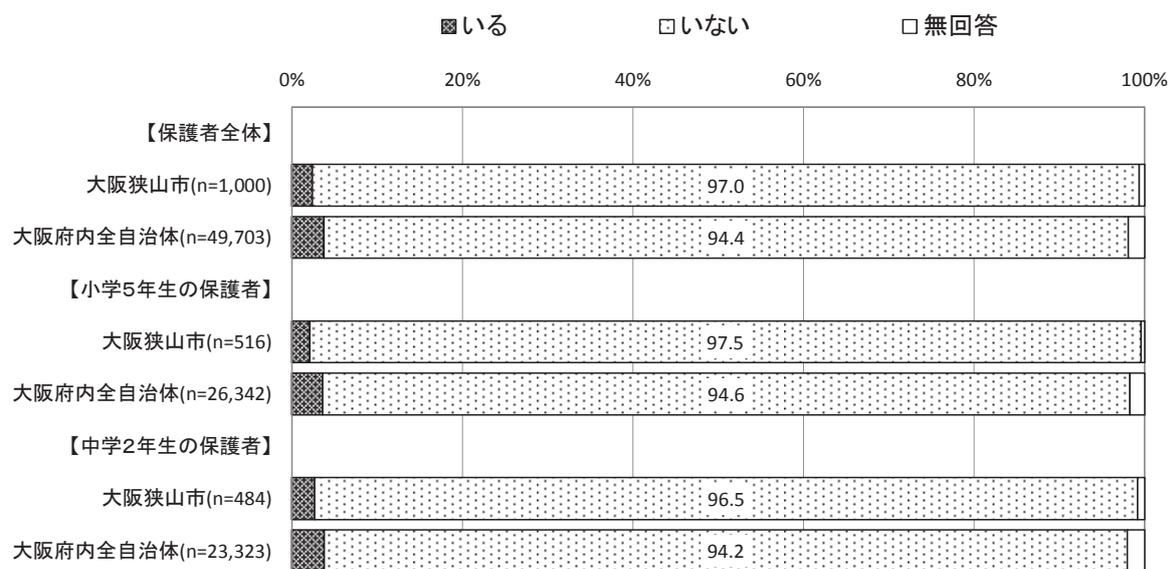


図 32. 介護または介助の必要な方

保護者-3-1-3. 子どもの人数

問3 (1) ③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子供の人数をすべてお答えください。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「1人」が11.4%、「2人」が53.1%、「3人」が30.7%、「4人」が3.2%、「5人」が0.6%、「6人」が0.4%、「7人」が0.1%、「8人」が該当なし、「9人」が該当なし、「10人以上」が該当なし、「無回答」が0.5%である。

小学5年生の保護者では、「1人」が12.6%、「2人」が50.6%、「3人」が31.8%、「4人」が3.7%、「5人」が0.8%、「6人」が0.2%、「7人」が該当なし、「8人」が該当なし、「9人」が該当なし、「10人以上」が該当なし、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「1人」が10.1%、「2人」が55.8%、「3人」が29.5%、「4人」が2.7%、「5人」が0.4%、「6人」が0.6%、「7人」が0.2%、「8人」が該当なし、「9人」が該当なし、「10人以上」が該当なし、「無回答」が0.6%である。

このことから、「2人」は小学5年生の保護者で5割、中学2年生の保護者で6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「3人」が保護者全体で5ポイント、小学5年生の保護者で6ポイントそれぞれ高くなっている。また、中学2年生の保護者では「1人」が5ポイント低くなっている。

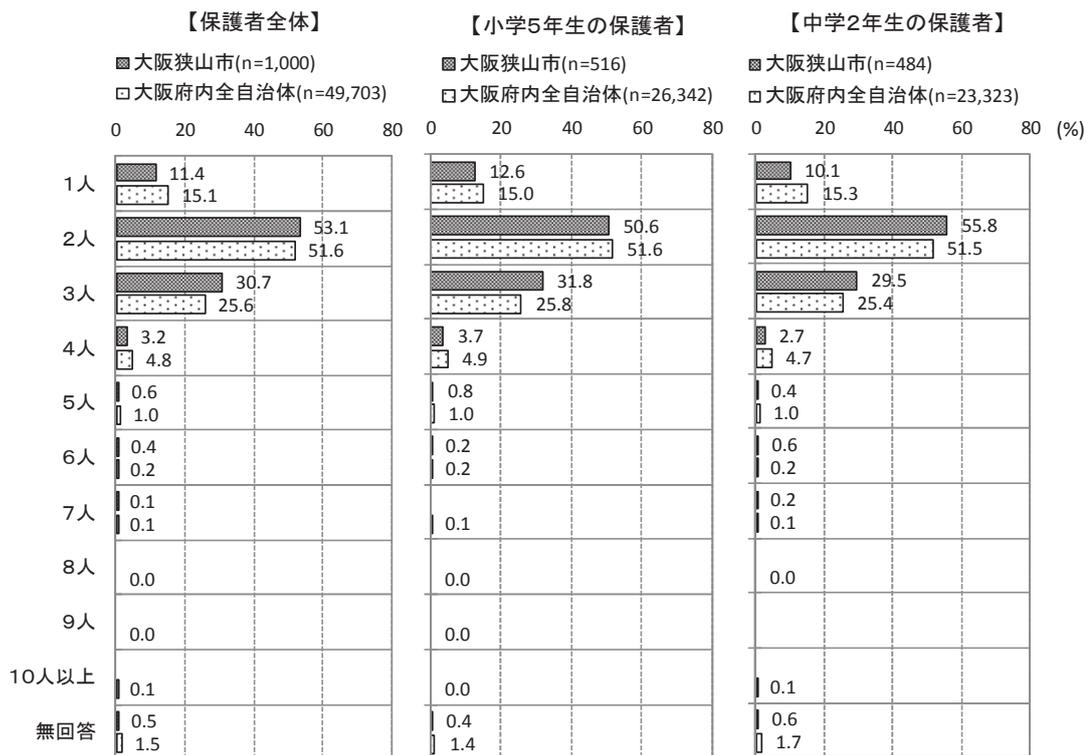


図 33. 子どもの人数

保護者-3-1-4. 小学校入学前の子どもの人数

問3 (1) ④ 世帯員の子供のうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いない」が86.8%、「1人」が11.8%、「2人」が1.0%、「3人」が0.2%、「4人」が該当なし、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.2%である。

小学5年生の保護者では、「いない」が79.8%、「1人」が17.4%、「2人」が1.9%、「3人」が0.4%、「4人」が該当なし、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「いない」が94.2%、「1人」が5.8%、「2人」が該当なし、「3人」が該当なし、「4人」が該当なし、「5人以上」が該当なしである。

このことから、「いない」は小学5年生の保護者では8割弱、中学2年生の保護者では9割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

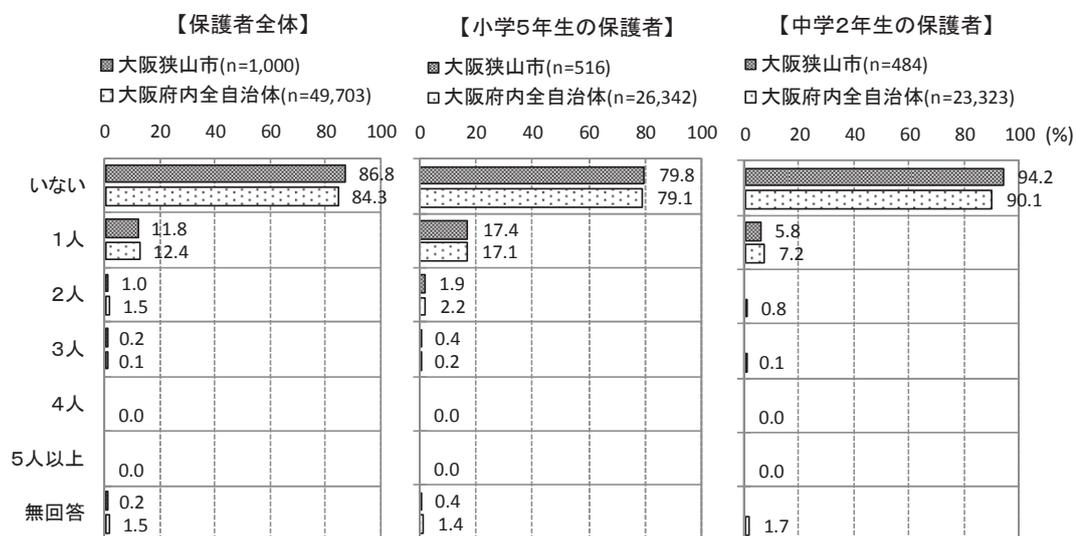


図 34. 小学校入学前の子どもの人数

保護者-3-1-5. 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

問3(1)⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。
(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「1人」が18.1%、「2人」が57.5%、「3人」が22.7%、「4人」が1.0%、「5人以上」が0.2%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生の保護者では、「1人」が19.2%、「2人」が57.2%、「3人」が22.7%、「4人」が0.6%、「5人以上」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「1人」が16.9%、「2人」が57.9%、「3人」が22.7%、「4人」が1.4%、「5人以上」が0.4%、「無回答」が0.6%である。

このことから、「2人」は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「3人」が保護者全体、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者でいずれも6ポイント高くなっている。「1人」は保護者全体で6ポイント、中学2年生の保護者で8ポイントそれぞれ低くなっている。

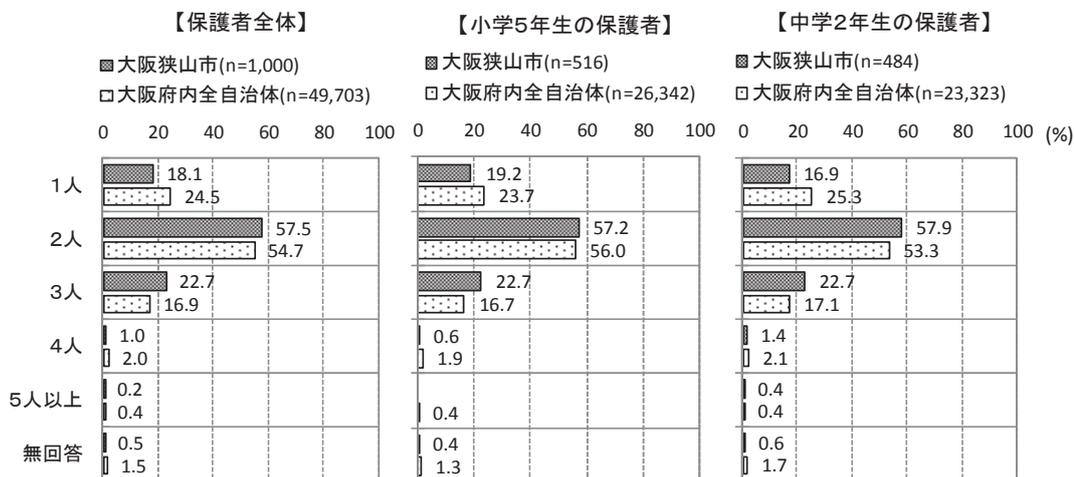


図 35. 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数

保護者-3-1-6. 18歳以上の子どもの人数

問3(1)⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いない」が90.3%、「1人」が6.4%、「2人」が2.2%、「3人」が0.3%、「4人」が0.2%、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.6%である。

小学5年生の保護者では、「いない」が94.2%、「1人」が2.7%、「2人」が1.9%、「3人」が0.2%、「4人」が0.2%、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.8%である。

中学2年生の保護者では、「いない」が86.2%、「1人」が10.3%、「2人」が2.5%、「3人」が0.4%、「4人」が0.2%、「5人以上」が該当なし、「無回答」が0.4%である。

このことから、「いない」は小学5年生の保護者では9割強、中学2年生の保護者では9割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

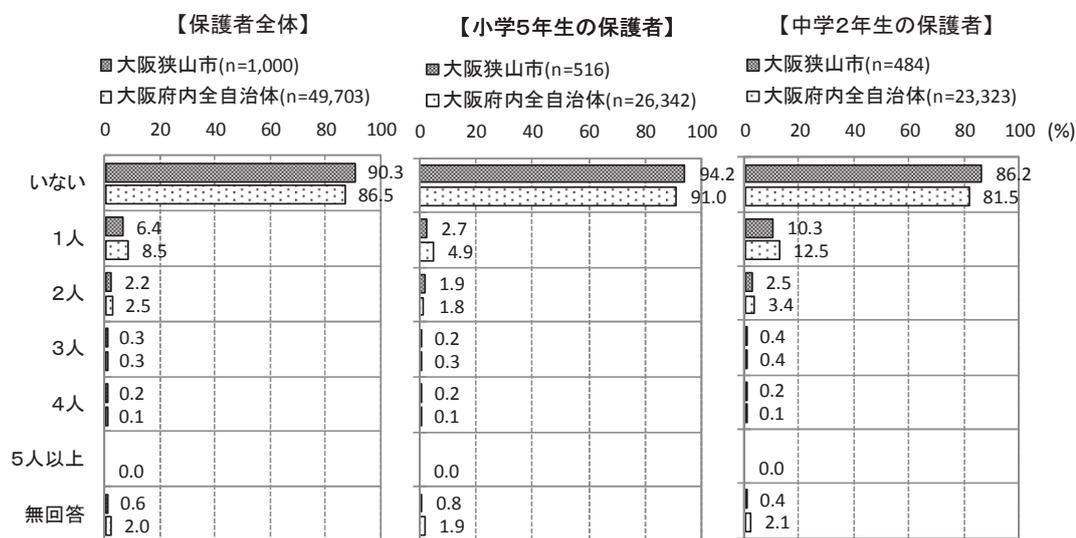


図 36. 18歳以上の子どもの人数

保護者-3-2. 世帯員の構成

問3 (2) 世帯員をすべて選んでください。

(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が97.7%、「お父さん」が84.8%、「弟・妹」が49.4%、「兄・姉」が47.4%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が98.3%、「お父さん」が86.4%、「弟・妹」が49.8%、「兄・姉」が46.1%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「この調査票を受け取ったお子さん本人」が100.0%、「お母さん」が97.1%、「お父さん」が83.1%、「弟・妹」が49.0%、「兄・姉」が48.8%の順に高くなっている。

このことから、「お母さん」は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに約10割、「お父さん」は小学5年生の保護者では9割弱、中学2年生の保護者では8割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

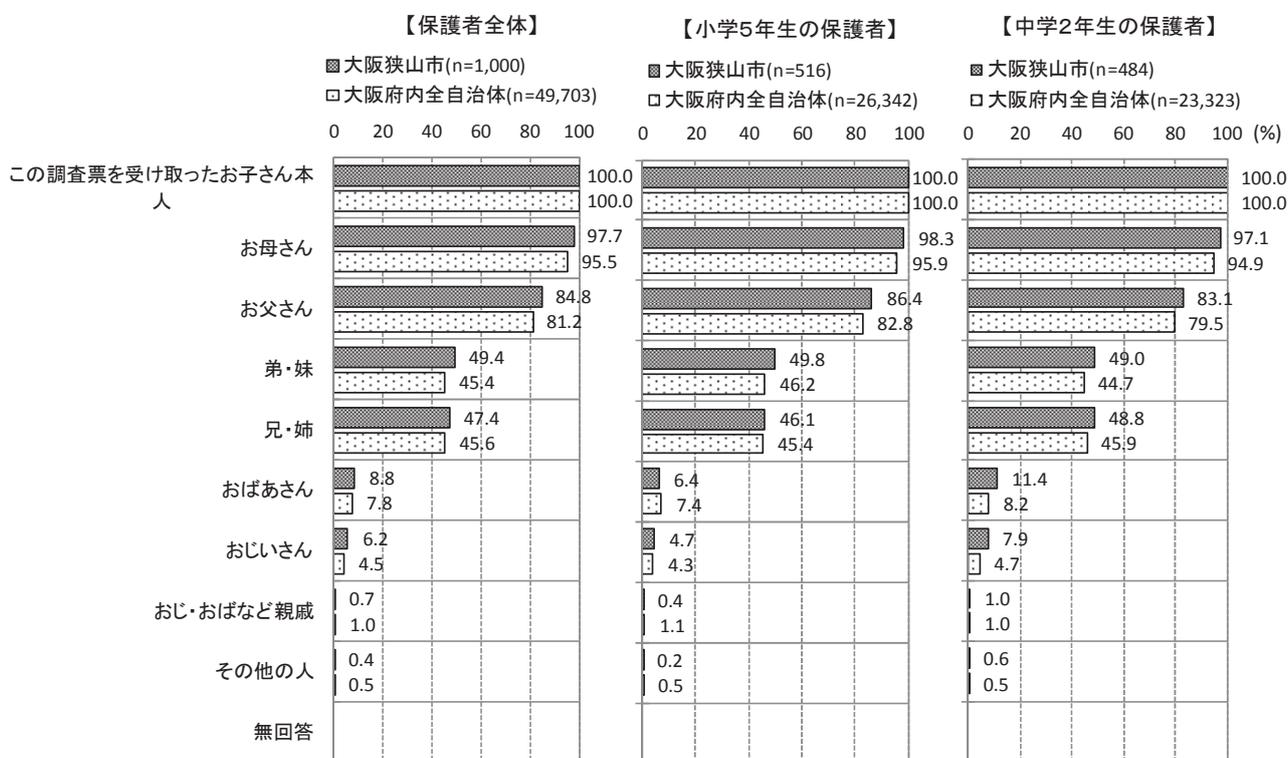


図 37. 世帯員の構成

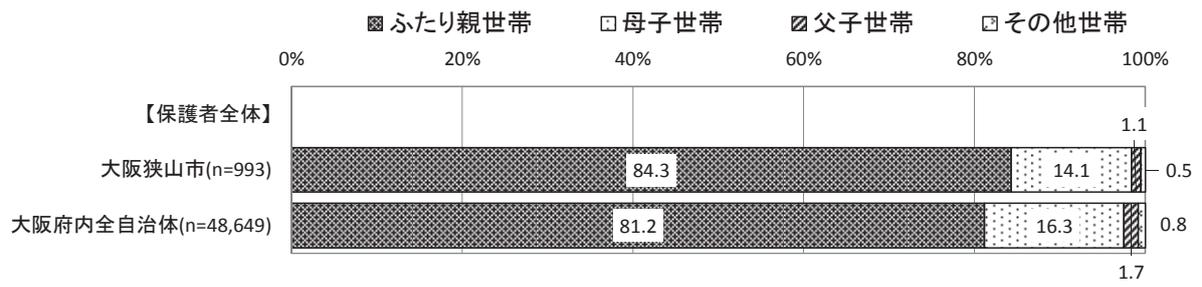


図 38. 世帯構成まとめ

問 3-2 より、上の図のようにまとめた。

ふたり親世帯：お父さん・お母さんのいる世帯

父子世帯：お父さんがおり、お母さんのいない世帯

母子世帯：お母さんがおり、お父さんのいない世帯

その他世帯：上記以外の世帯

保護者-4. 住居

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が86.4%、「府営・市営の住宅」が3.1%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が0.7%、「民間の賃貸住宅」が8.8%、「官舎・社宅」が0.3%、「その他」が0.4%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生の保護者では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が87.8%、「府営・市営の住宅」が3.3%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が0.6%、「民間の賃貸住宅」が7.4%、「官舎・社宅」が0.2%、「その他」が0.4%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が84.9%、「府営・市営の住宅」が2.9%、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」が0.8%、「民間の賃貸住宅」が10.3%、「官舎・社宅」が0.4%、「その他」が0.4%、「無回答」が0.2%である。

このことから、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」は小学5年生の保護者では9割弱、中学2年生の保護者では8割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が保護者全体で12ポイント、小学5年生の保護者で13ポイント、中学2年生の保護者で11ポイントそれぞれ高くなっている。また、「民間の賃貸住宅」は保護者全体で7ポイント、小学5年生の保護者で8ポイント、中学2年生の保護者で6ポイントいずれも低くなっている。

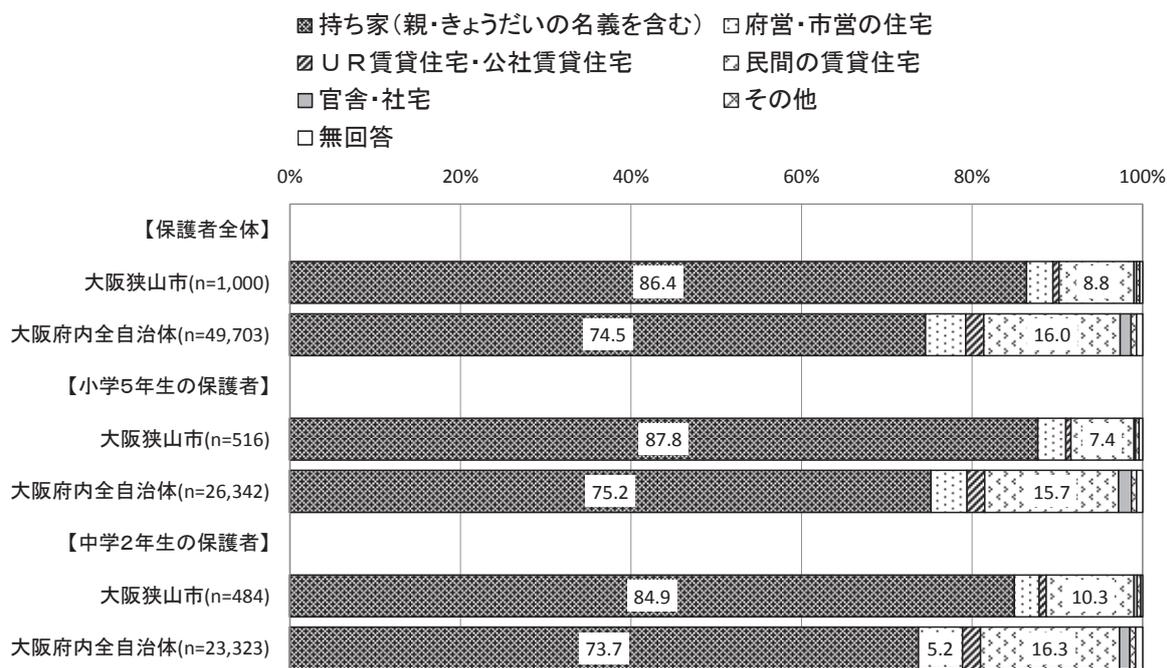


図 39. 住居

保護者-10. 保護者の在宅時間

問 10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 55.7%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 33.6%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 5.0%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 0.6%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 3.4%、「その他」が 0.9%、「無回答」が 0.8%である。

小学5年生の保護者では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 60.9%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 30.4%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 3.3%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 1.0%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 2.9%、「その他」が 0.8%、「無回答」が 0.8%である。

中学2年生の保護者では、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が 50.2%、「お子さんの夕食時間には家にいる」が 37.0%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が 6.8%、「お子さんが寝た後に帰ってくる」が 0.2%、「保護者の方の帰宅時間が決まっていない」が 3.9%、「その他」が 1.0%、「無回答」が 0.8%である。

このことから、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」は小学5年生の保護者では6割、中学2年生の保護者では5割になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

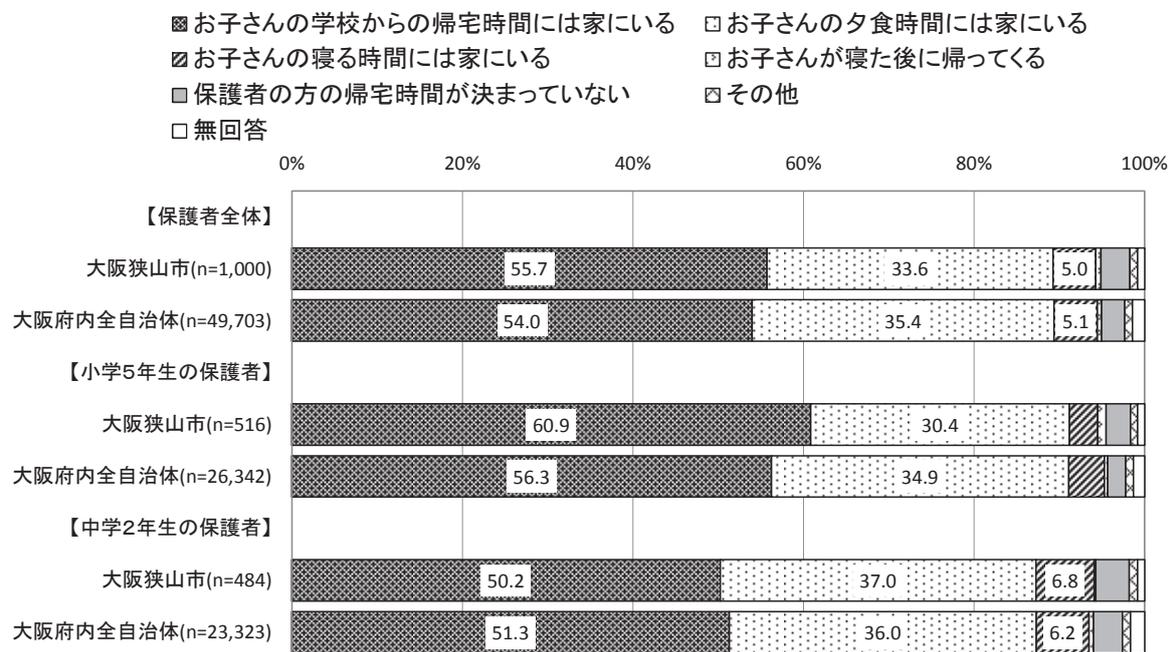


図 40. 保護者の在宅時間

保護者-11. 子どもと過ごす時間が長い人

問 11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「お母さん」が 85.3%、「弟・妹」が 34.7%、「兄・姉」が 26.4%、「お父さん」が 12.8%、「おばあさん」が 12.0%の順に高く、「お子さんがひとりである」が 2.5%になっている。

小学5年生の保護者では、「お母さん」が 85.5%、「弟・妹」が 34.9%、「兄・姉」が 29.1%、「お父さん」が 12.6%、「おばあさん」が 12.6%の順に高く、「お子さんがひとりである」が 1.9%になっている。

中学2年生の保護者では、「お母さん」が 85.1%、「弟・妹」が 34.5%、「兄・姉」が 23.6%、「お父さん」が 13.0%、「おばあさん」が 11.4%の順に高く、「お子さんがひとりである」が 3.1%になっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「お母さん」が9割弱で最も高い。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

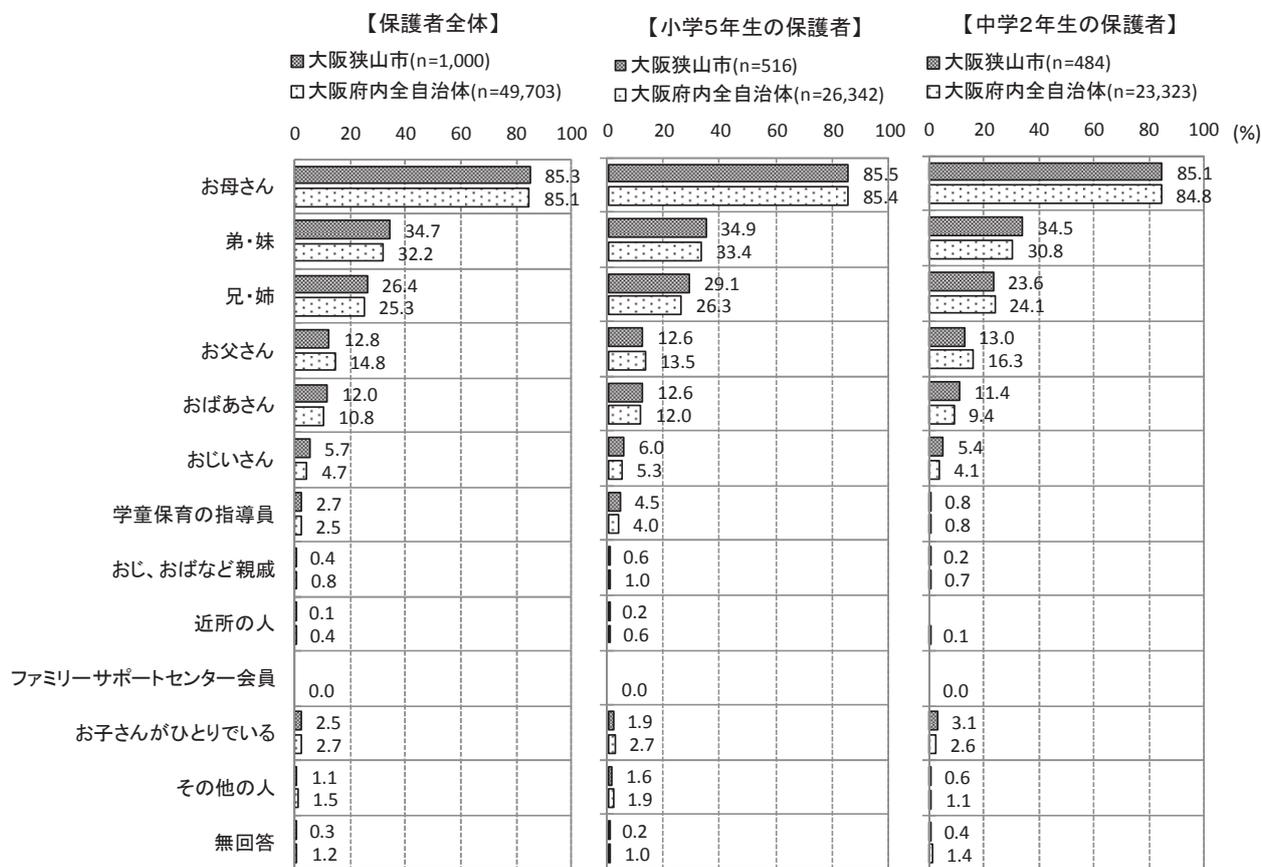


図 41. 子どもと過ごす時間が長い人

保護者-12. 子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有

問 12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「持っている」が 1.6%、「持っていない」が 97.5%、「無回答」が 0.9%である。

小学5年生の保護者では、「持っている」が 1.4%、「持っていない」が 97.5%、「無回答」が 1.2%である。

中学2年生の保護者では、「持っている」が 1.9%、「持っていない」が 97.5%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「持っていない」は約10割である。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

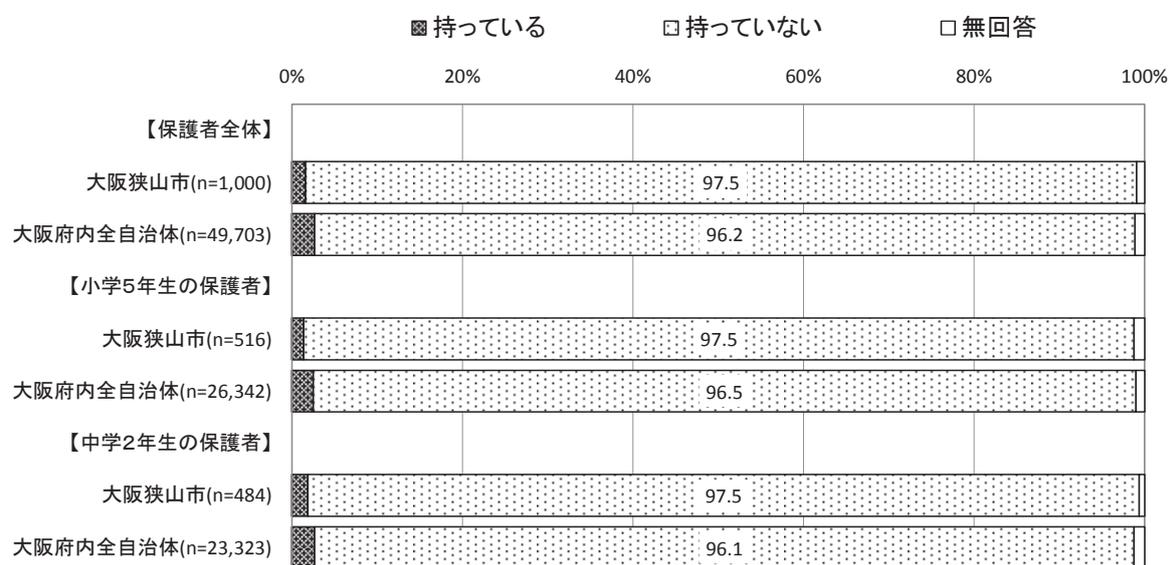


図 42. 子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有

保護者-14-1. 子どもへの信頼度

問 14 (1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「とても信頼している」が55.7%、「信頼している」が41.7%、「あまり信頼していない」が1.9%、「信頼していない」が0.1%、「無回答」が0.6%となり、「とても信頼している」+「信頼している」=『信頼している』が97.4%、「あまり信頼していない」+「信頼していない」=『信頼していない』が2.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「とても信頼している」が56.4%、「信頼している」が41.5%、「あまり信頼していない」が1.7%、「信頼していない」が0.2%、「無回答」が0.2%となり、『信頼している』が97.9%、『信頼していない』が1.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「とても信頼している」が55.0%、「信頼している」が41.9%、「あまり信頼していない」が2.1%、「信頼していない」が該当なし、「無回答」が1.0%となり、『信頼している』が96.9%、『信頼していない』が2.1%となっている。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに『信頼している』は約10割である。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「とても信頼している」が保護者全体で6ポイント、小学5年生の保護者で5ポイント、中学2年生の保護者で7ポイントそれぞれ高くなっている。

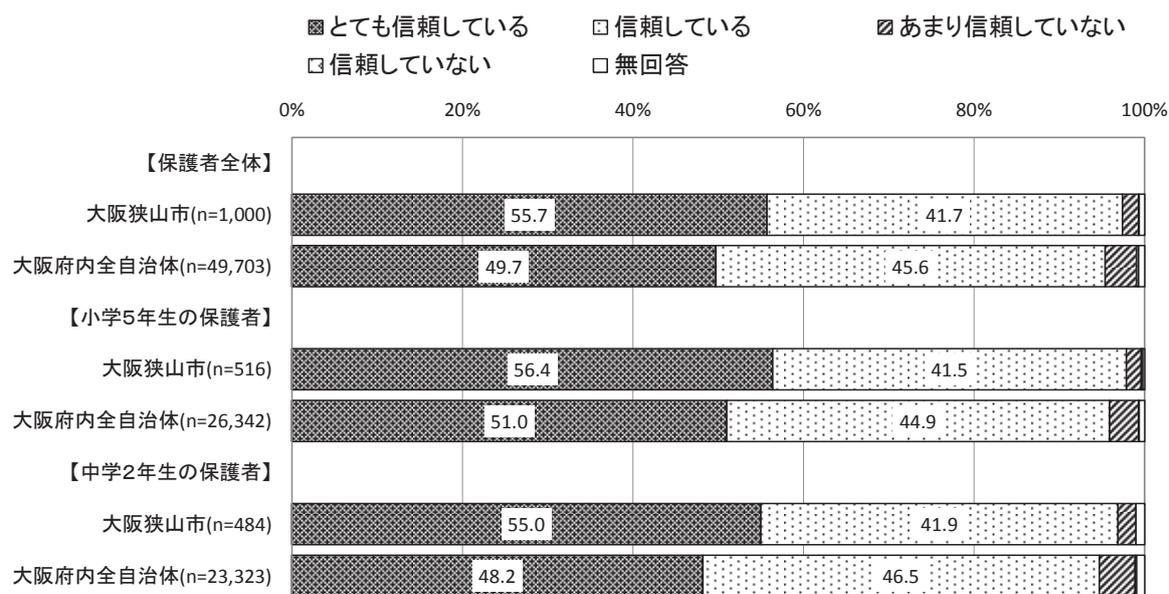


図 43. 子どもへの信頼度

保護者-14-2. 子どもと会話

問 14 (2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「よくする」が65.9%、「する」が30.8%、「あまりしない」が2.8%、「しない」が0.2%、「無回答」が0.3%となり、「よくする」+「する」=『する』が96.7%、「あまりしない」+「しない」=『しない』が3.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「よくする」が69.2%、「する」が29.3%、「あまりしない」が1.4%、「しない」が0.2%となり、『する』が98.4%、『しない』が1.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「よくする」が62.4%、「する」が32.4%、「あまりしない」が4.3%、「しない」が0.2%、「無回答」が0.6%となり、『する』が94.8%、『しない』が4.5%となっている。

このことから、『する』は小学5年生の保護者では約10割、中学2年生の保護者では9割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

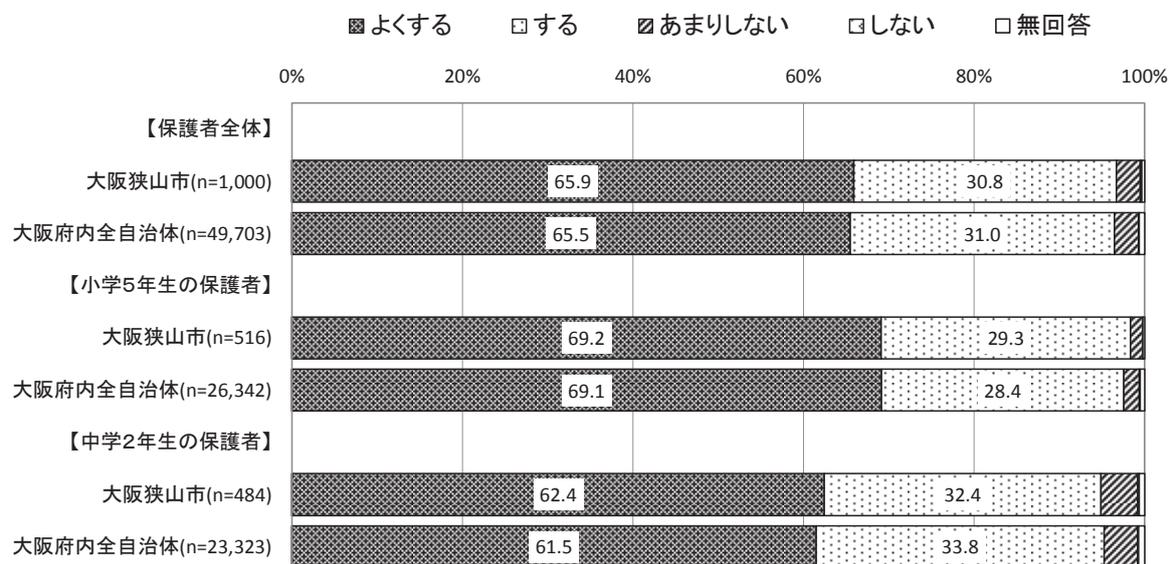


図 44. 子どもと会話

保護者-14-3. 子どもと一緒にいる時間（平日）

問 14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（平日）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「0～15分未満」が4.1%、「15分～30分未満」が6.6%、「30分～1時間未満」が16.7%、「1時間～2時間未満」が23.2%、「2時間～3時間未満」が20.2%、「3時間～4時間未満」が12.2%、「4時間以上」が13.5%、「無回答」が3.5%である。

小学5年生の保護者では、「0～15分未満」が3.7%、「15分～30分未満」が4.7%、「30分～1時間未満」が15.7%、「1時間～2時間未満」が22.7%、「2時間～3時間未満」が21.7%、「3時間～4時間未満」が13.0%、「4時間以上」が16.1%、「無回答」が2.5%である。

中学2年生の保護者では、「0～15分未満」が4.5%、「15分～30分未満」が8.7%、「30分～1時間未満」が17.8%、「1時間～2時間未満」が23.8%、「2時間～3時間未満」が18.6%、「3時間～4時間未満」が11.4%、「4時間以上」が10.7%、「無回答」が4.5%である。

このことから、小学5年生の保護者では「1時間～2時間未満」、「2時間～3時間未満」がそれぞれ2割強で高い。中学2年生の保護者では「1時間～2時間未満」が2割強で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

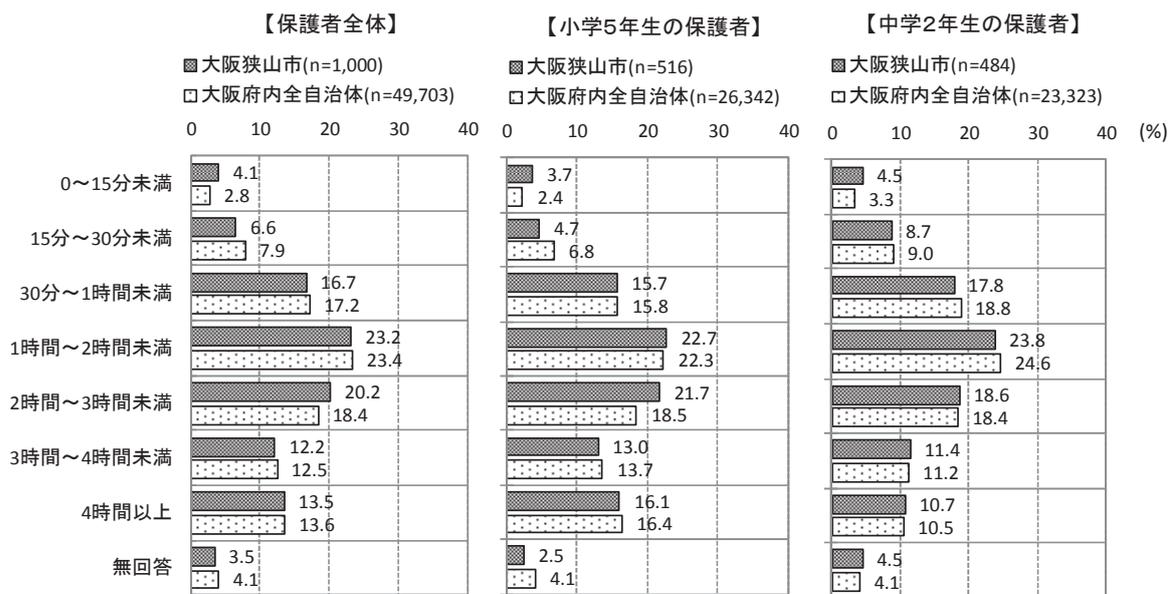


図 45. 子どもと一緒にいる時間（平日）

保護者-14-3. 子どもと一緒にいる時間（休日）

問 14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（休日）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「2時間未満」が11.6%、「2時間～4時間未満」が16.8%、「4時間～6時間未満」が16.3%、「6時間～8時間未満」が11.2%、「8時間～10時間未満」が5.6%、「10時間以上」が15.0%、「無回答」が23.5%である。

小学5年生の保護者では、「2時間未満」が7.6%、「2時間～4時間未満」が15.3%、「4時間～6時間未満」が17.2%、「6時間～8時間未満」が13.2%、「8時間～10時間未満」が6.8%、「10時間以上」が19.8%、「無回答」が20.2%である。

中学2年生の保護者では、「2時間未満」が15.9%、「2時間～4時間未満」が18.4%、「4時間～6時間未満」が15.3%、「6時間～8時間未満」が9.1%、「8時間～10時間未満」が4.3%、「10時間以上」が9.9%、「無回答」が27.1%である。

このことから、小学5年生の保護者では「2時間～4時間未満」、「4時間～6時間未満」、「10時間以上」、中学2年生の保護者では「2時間未満」、「2時間～4時間未満」、「4時間～6時間未満」がそれぞれ2割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

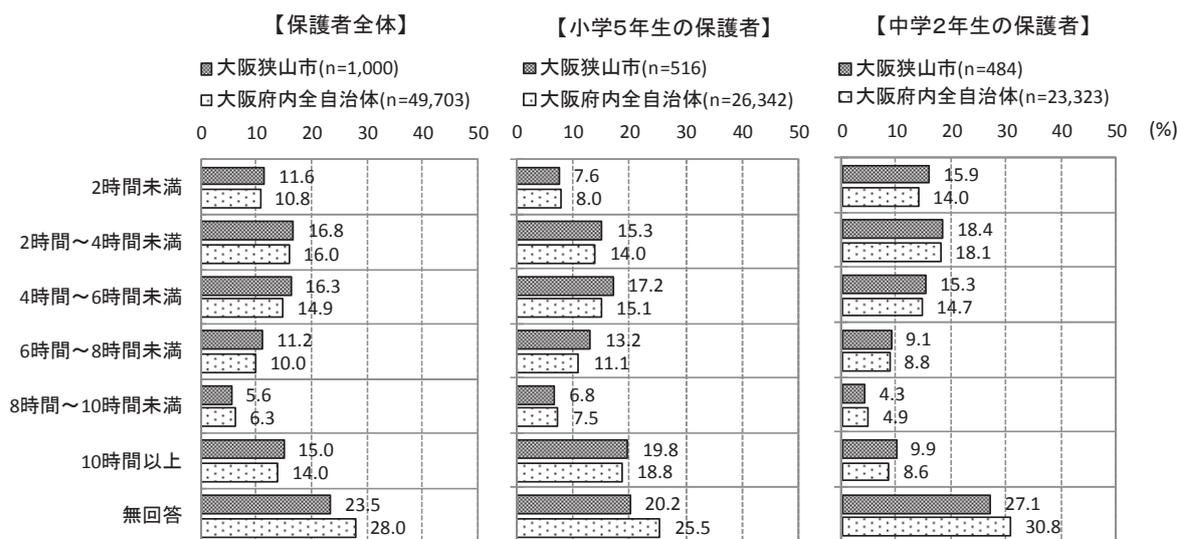


図 46. 子どもと一緒にいる時間（休日）

保護者-14-4. 子どもへの将来の期待

問 14 (4) お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「とても期待している」が 22.8%、「期待している」が 63.3%、「あまり期待していない」が 11.3%、「期待していない」が 1.0%、「無回答」が 1.6%となり、「とても期待している」+「期待している」=『期待している』が 86.1%、「あまり期待していない」+「期待していない」=『期待していない』が 12.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「とても期待している」が 24.8%、「期待している」が 63.2%、「あまり期待していない」が 10.3%、「期待していない」が 0.8%、「無回答」が 1.0%となり、『期待している』が 88.0%、『期待していない』が 11.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「とても期待している」が 20.7%、「期待している」が 63.4%、「あまり期待していない」が 12.4%、「期待していない」が 1.2%、「無回答」が 2.3%となり、『期待している』が 84.1%、『期待していない』が 13.6%となっている。

このことから、『期待している』は小学5年生の保護者が 9 割弱、中学2年生の保護者が 8 割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

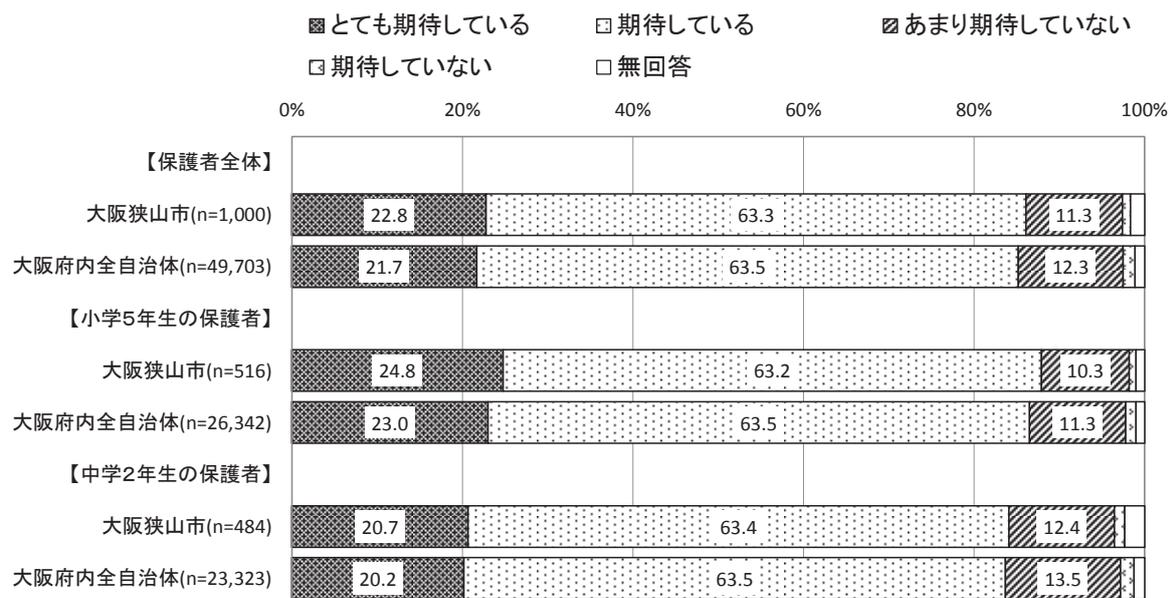


図 47. 子どもへの将来の期待

保護者-19. 初めて親となった年齢

問 19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「10代」が2.1%、「20～23歳」が11.4%、「24～26歳」が23.1%、「27～30歳」が40.4%、「31～34歳」が16.9%、「35～39歳」が3.6%、「40歳以上」が1.9%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生の保護者では、「10代」が2.1%、「20～23歳」が11.0%、「24～26歳」が20.3%、「27～30歳」が39.3%、「31～34歳」が19.4%、「35～39歳」が5.0%、「40歳以上」が2.3%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「10代」が2.1%、「20～23歳」が11.8%、「24～26歳」が26.0%、「27～30歳」が41.5%、「31～34歳」が14.3%、「35～39歳」が2.1%、「40歳以上」が1.4%、「無回答」が0.8%である。

このことから、「27～30歳」が小学5年生の保護者では4割弱、中学2年生の保護者では4割強と最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「27～30歳」が保護者全体で5ポイント、小学5年生の保護者で5ポイント、中学2年生の保護者で6ポイントそれぞれ高くなっている。

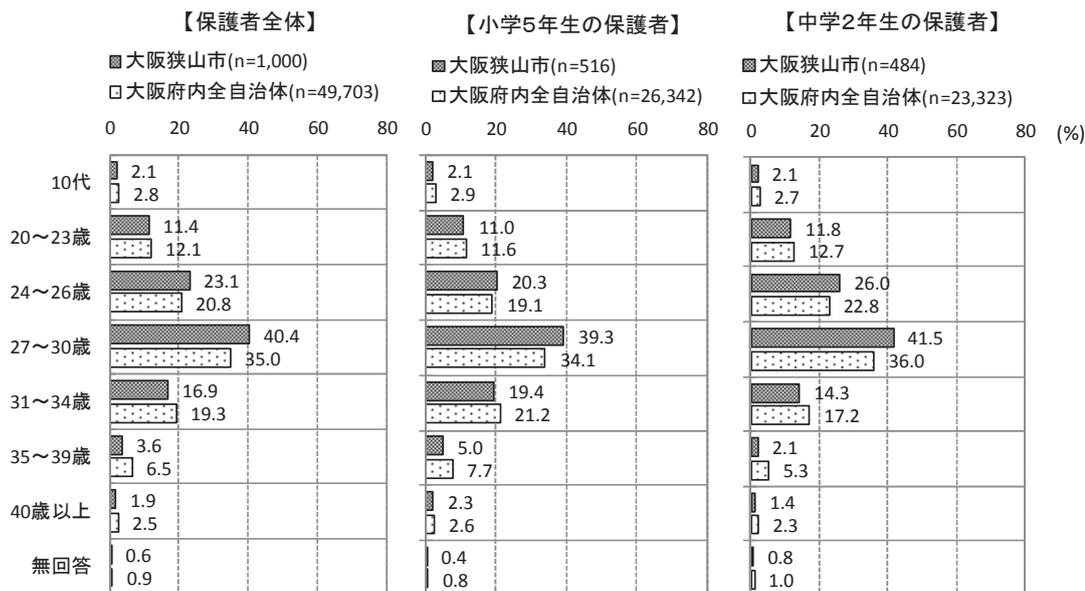


図 48. 初めて親となった年齢

子ども-2. 起床時間の規則性

問2 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「起きている」が61.1%、「どちらかといえば、起きている」が29.4%、「あまり、起きていない」が6.3%、「起きていない」が3.0%、「無回答」が0.2%となり、「起きている」+「どちらかといえば、起きている」=『起きている』が90.5%、「あまり、起きていない」+「起きていない」=『起きていない』が9.3%になっている。

小学5年生では、「起きている」が57.6%、「どちらかといえば、起きている」が32.9%、「あまり、起きていない」が6.7%、「起きていない」が2.5%、「無回答」が0.4%となり、『起きている』が90.4%、『起きていない』が9.2%である。

中学2年生では、「起きている」が64.8%、「どちらかといえば、起きている」が25.8%、「あまり、起きていない」が5.9%、「起きていない」が3.5%となり、『起きている』が90.6%、『起きていない』が9.4%である。

このことから、小学5年生、中学2年生ともに『起きている』が9割になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

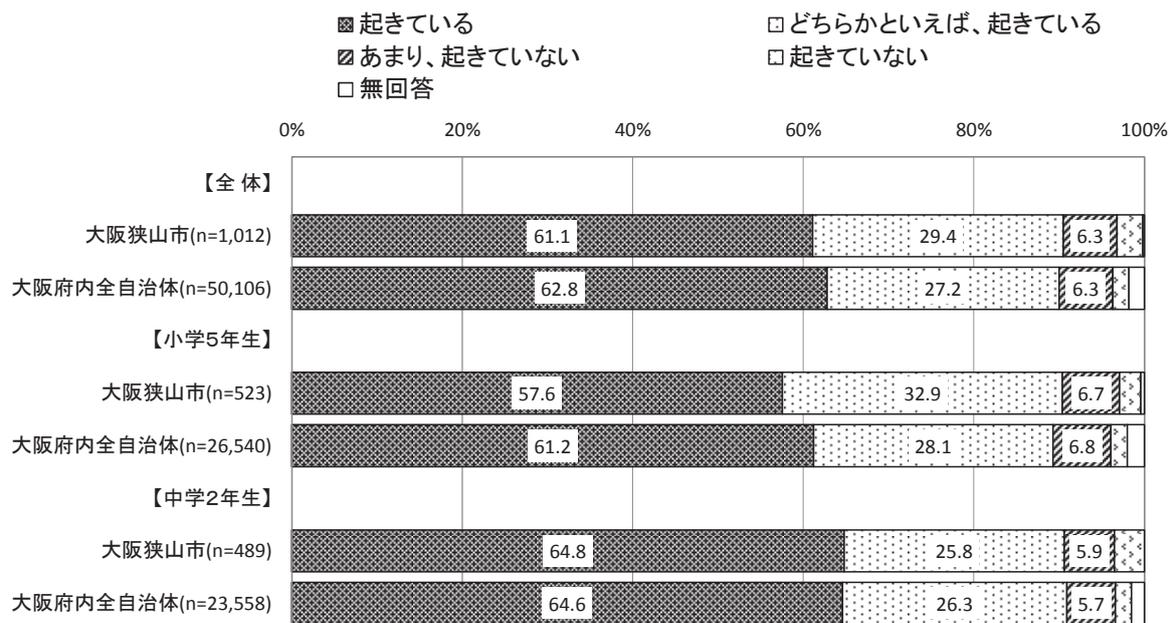


図 49. 起床時間の規則性

子ども-3. 就寝時間

問3 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「午後9時より前」が3.1%、「午後9時台」が16.1%、「午後10時台」が28.2%、「午後11時台」が20.7%、「午前0時台」が10.8%、「午前1時より後」が3.5%、「きまっていない」が17.7%、「無回答」が0.1%である。

小学5年生では、「午後9時より前」が5.4%、「午後9時台」が29.1%、「午後10時台」が36.3%、「午後11時台」が12.0%、「午前0時台」が2.9%、「午前1時より後」が1.1%、「きまっていない」が13.0%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生では、「午後9時より前」が0.6%、「午後9時台」が2.2%、「午後10時台」が19.4%、「午後11時台」が29.9%、「午前0時台」が19.2%、「午前1時より後」が5.9%、「きまっていない」が22.7%である。

このことから、小学5年生では「午後10時台」が4割弱、中学2年生では「午後11時台」が3割弱でそれぞれ高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生では「午後10時台」が6ポイント、中学2年生では「午後11時台」が8ポイントそれぞれ低くなっている。また、「きまっていない」は全体で5ポイント、中学2年生で7ポイントそれぞれ高くなっている。

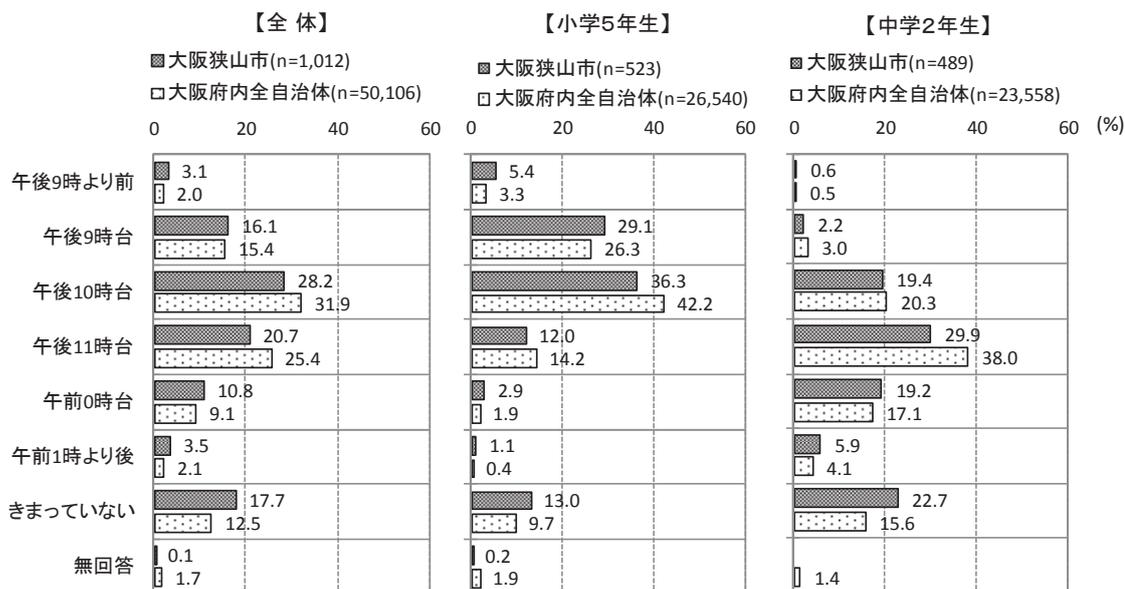


図 50. 就寝時間

子ども-4. 睡眠時間

問4 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。（睡眠時間）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「5時間59分より短い」が3.8%、「6時間～6時間59分」が13.4%、「7時間～7時間59分」が24.4%、「8時間～8時間59分」が26.6%、「9時間～9時間59分」が16.6%、「10時間より長い」が2.4%、「きまっていない」が12.5%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生では、「5時間59分より短い」が1.9%、「6時間～6時間59分」が9.2%、「7時間～7時間59分」が14.5%、「8時間～8時間59分」が33.3%、「9時間～9時間59分」が26.4%、「10時間より長い」が4.4%、「きまっていない」が9.8%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「5時間59分より短い」が5.7%、「6時間～6時間59分」が18.0%、「7時間～7時間59分」が35.0%、「8時間～8時間59分」が19.4%、「9時間～9時間59分」が6.1%、「10時間より長い」が0.2%、「きまっていない」が15.5%である。

この結果から、小学5年生では「8時間～8時間59分」が3割強、中学2年生では「7時間～7時間59分」が4割弱で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「8時間～8時間59分」が全体、小学5年生、中学2年生でそれぞれ5ポイント低くなっている。また、小学5年生で「6時間～6時間59分」が5ポイント高く、中学2年生で「きまっていない」が6ポイント高い。

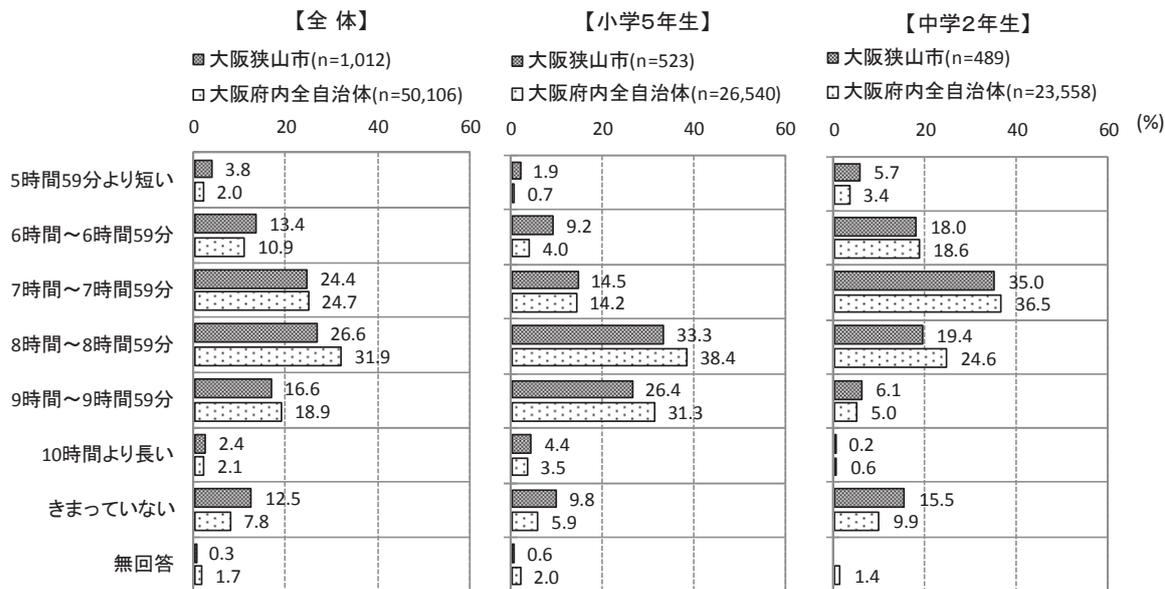


図 51. 睡眠時間

子ども-5-1. 朝食の頻度

問5 (1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が84.6%、「週に4~5回」が6.7%、「週に2~3回」が4.0%、「週に1回程度」が1.9%、「食べない」が2.7%、「無回答」が0.2%である。「毎日またはほとんど毎日」以外を合計すると、15.2%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が87.0%、「週に4~5回」が6.9%、「週に2~3回」が3.3%、「週に1回程度」が1.0%、「食べない」が1.5%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が82.0%、「週に4~5回」が6.5%、「週に2~3回」が4.7%、「週に1回程度」が2.9%、「食べない」が3.9%である。

このことから、「毎日またはほとんど毎日」は小学5年生では9割弱、中学2年生では8割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

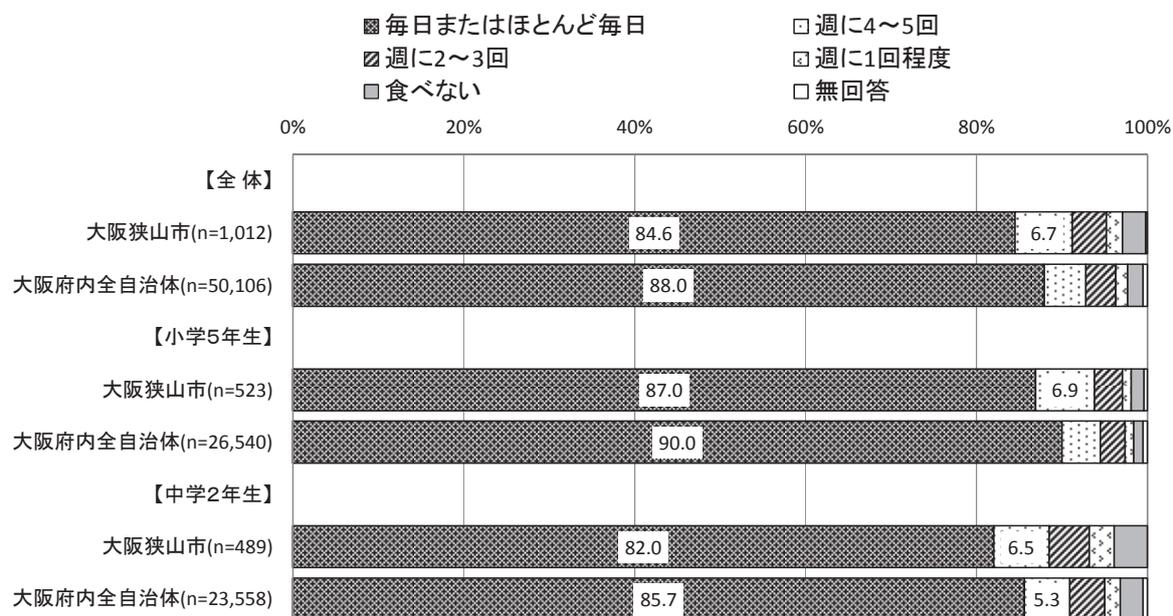


図 52. 朝食の頻度

子ども-5-2. 朝食を食べない理由

問 5 (2) あなたが朝食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「時間がない」が 30.5%、「おなかがすいていない」が 44.8%、「用意されていない」が 3.9%、「食べる習慣がない」が 6.5%、「わからない」が 9.1%、「無回答」が 5.2%である。

小学5年生では、「時間がない」が 27.3%、「おなかがすいていない」が 50.0%、「用意されていない」が 3.0%、「食べる習慣がない」が 7.6%、「わからない」が 7.6%、「無回答」が 4.5%である。

中学2年生では、「時間がない」が 33.0%、「おなかがすいていない」が 40.9%、「用意されていない」が 4.5%、「食べる習慣がない」が 5.7%、「わからない」が 10.2%、「無回答」が 5.7%である。

このことから、「おなかがすいていない」は小学5年生では5割、中学2年生では4割で最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「おなかがすいていない」が全体では6ポイント、小学5年生では9ポイントそれぞれ高くなっている。また、「時間がない」が小学5年生で7ポイント低くなっている。

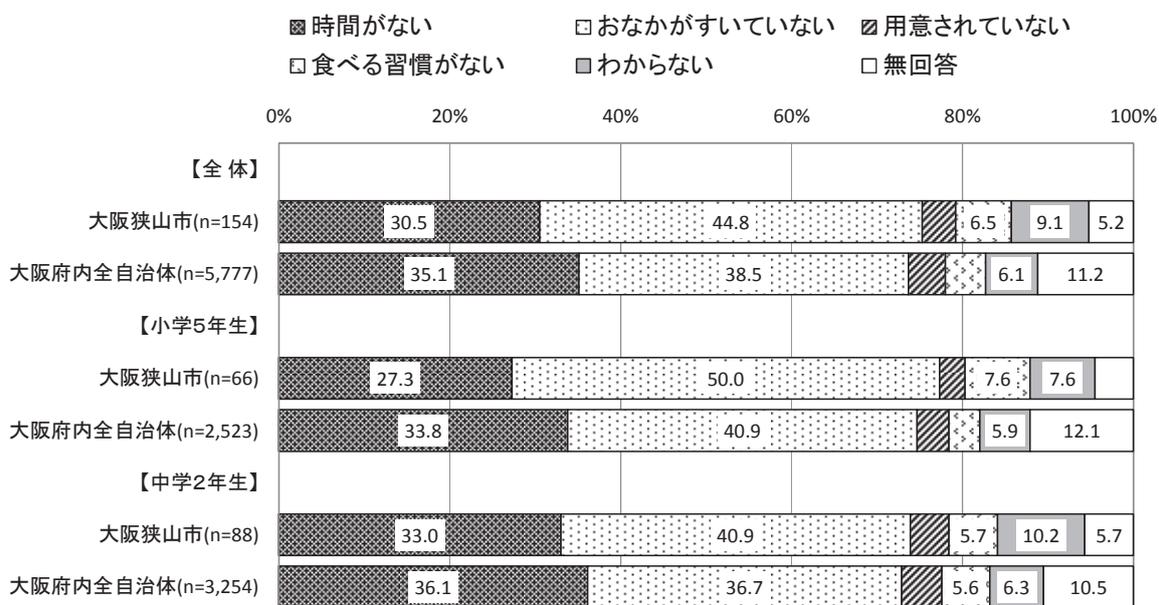


図 53. 朝食を食べない理由

子ども-6-1. 夕食の頻度

問6 (1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が97.0%、「週に4～5回」が1.9%、「週に2～3回」が0.6%、「週に1回程度」が該当なし、「食べない」が0.1%、「無回答」が0.4%である。「毎日またはほとんど毎日」以外を合計すると、2.6%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が97.7%、「週に4～5回」が1.3%、「週に2～3回」が0.2%、「週に1回程度」が該当なし、「食べない」が0.2%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が96.3%、「週に4～5回」が2.5%、「週に2～3回」が1.0%、「週に1回程度」が該当なし、「食べない」が該当なし、「無回答」が0.2%である。

このことから、小学5年生、中学2年生とも「毎日またはほとんど毎日」が約10割になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

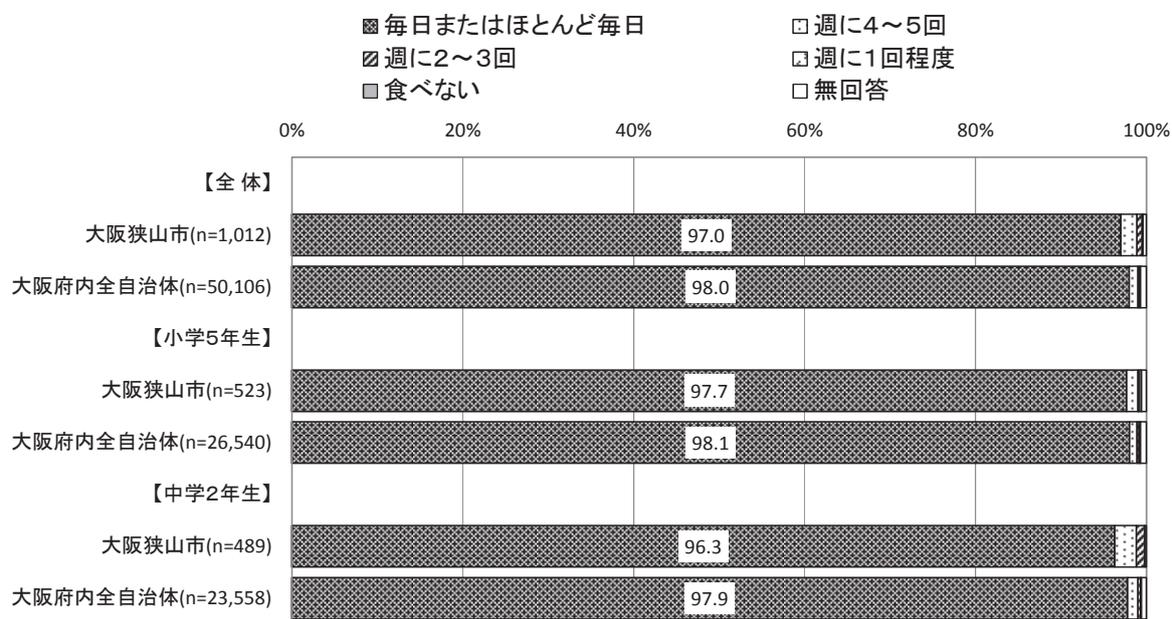


図 54. 夕食の頻度

子ども-6-2. 夕食を食べない理由

問 6 (2) あなたが夕食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体（サンプル数 26 件）では、「時間がない」が 23.1%、「おなかがすいていない」が 38.5%、「用意されていない」が 11.5%、「食べる習慣がない」が該当なし、「わからない」が 11.5%、「無回答」が 15.4%である。

小学 5 年生（サンプル数 9 件）では、「時間がない」が 33.3%、「おなかがすいていない」が 33.3%、「用意されていない」が 22.2%、「食べる習慣がない」が該当なし、「わからない」が該当なし、「無回答」が 11.1%である。

中学 2 年生（サンプル数 17 件）では、「時間がない」が 17.6%、「おなかがすいていない」が 41.2%、「用意されていない」が 5.9%、「食べる習慣がない」が該当なし、「わからない」が 17.6%、「無回答」が 17.6%である。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「時間がない」が全体で 12 ポイント高い。

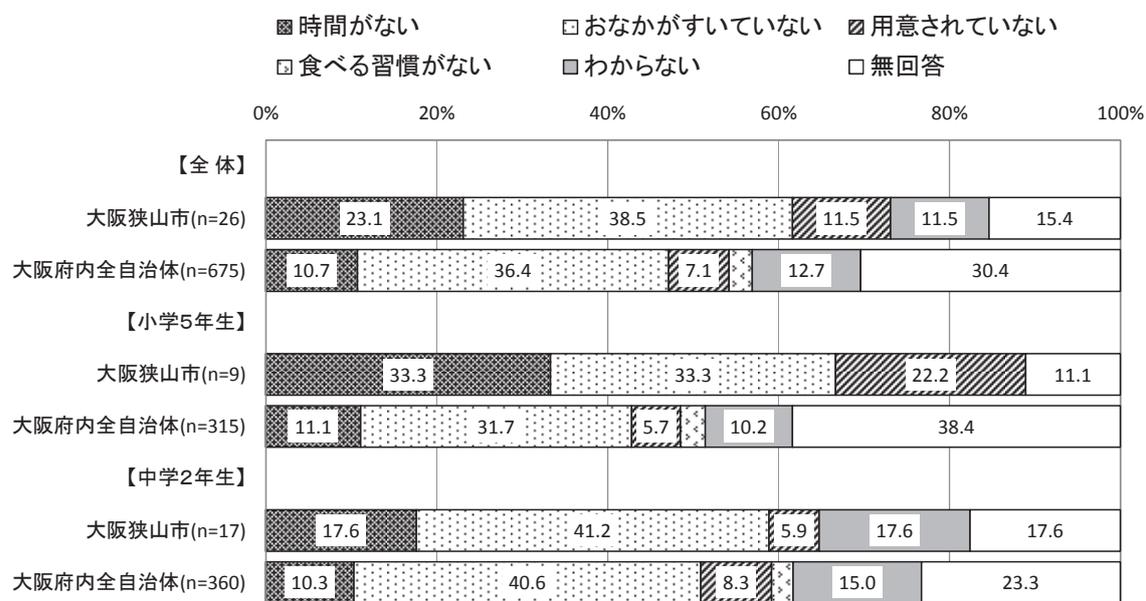


図 55. 夕食を食べない理由

子ども-9. 学校への遅刻

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「毎日またはほとんど毎日」が3.8%、「週に4～5回」が0.3%、「週に2～3回」が1.5%、「週に1回程度」が3.9%、「遅刻はしない」が87.0%、「無回答」が3.7%である。「遅刻はしない」以外を合計すると、9.4%である。

小学5年生では、「毎日またはほとんど毎日」が4.6%、「週に4～5回」が0.6%、「週に2～3回」が1.5%、「週に1回程度」が4.6%、「遅刻はしない」が87.0%、「無回答」が1.7%である。

中学2年生では、「毎日またはほとんど毎日」が2.9%、「週に4～5回」が該当なし、「週に2～3回」が1.4%、「週に1回程度」が3.1%、「遅刻はしない」が86.9%、「無回答」が5.7%である。

このことから、小学5年生、中学2年生ともに「遅刻はしない」は9割弱である。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

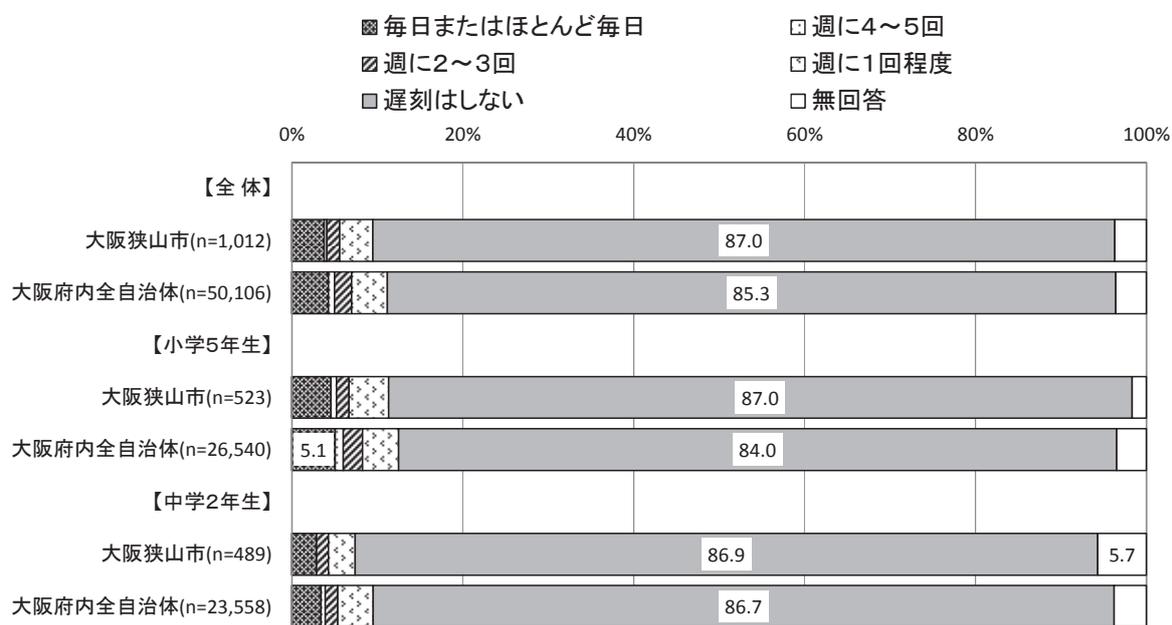


図 56. 学校への遅刻

子ども-10-1. おうちの大人と朝食を食べるか

問 10 ① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が35.7%、「週に4～5回」が8.8%、「週に2～3回」が9.4%、「週に1回程度」が6.1%、「月に1～2回」が3.1%、「ほとんどない」が21.7%、「まったくない」が15.0%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が45.1%、「週に4～5回」が9.0%、「週に2～3回」が9.9%、「週に1回程度」が5.2%、「月に1～2回」が2.5%、「ほとんどない」が17.8%、「まったくない」が10.3%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が25.6%、「週に4～5回」が8.6%、「週に2～3回」が8.8%、「週に1回程度」が7.2%、「月に1～2回」が3.7%、「ほとんどない」が26.0%、「まったくない」が20.0%、「無回答」が0.2%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生では5割弱、中学2年生では3割弱で高い。「ほとんどない」は小学5年生では2割弱、中学2年生では3割弱、「まったくない」は中学2年生で2割になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ほとんど毎日」が全体では12ポイント、小学5年生では9ポイント、中学2年生では15ポイントそれぞれ低くなっている。また、「ほとんどない」が全体で6ポイント、中学2年生で7ポイントそれぞれ高い。

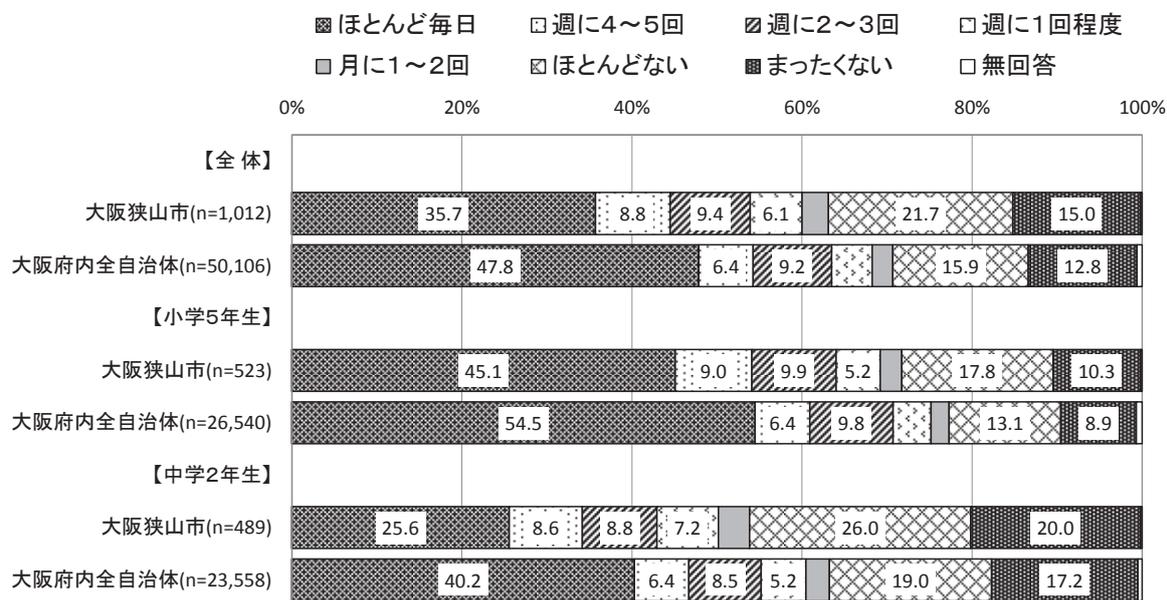


図 57. おうちの大人と朝食を食べるか

子ども-10-2. おうちの大人と夕食を食べるか

問 10 ② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が73.7%、「週に4～5回」が11.4%、「週に2～3回」が6.8%、「週に1回程度」が2.4%、「月に1～2回」が1.2%、「ほとんどない」が2.9%、「まったくない」が1.2%、「無回答」が0.5%である。「週に4～5回」以下を合計すると、25.8%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が83.6%、「週に4～5回」が5.7%、「週に2～3回」が3.8%、「週に1回程度」が1.1%、「月に1～2回」が1.5%、「ほとんどない」が2.1%、「まったくない」が1.5%、「無回答」が0.6%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が63.2%、「週に4～5回」が17.4%、「週に2～3回」が10.0%、「週に1回程度」が3.7%、「月に1～2回」が0.8%、「ほとんどない」が3.7%、「まったくない」が0.8%、「無回答」が0.4%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生では8割強、中学2年生では6割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ほとんど毎日」が全体で5ポイント、中学2年生で8ポイントそれぞれ低くなっている。また、中学2年生で「週に4～5回」が6ポイント高くなっている。

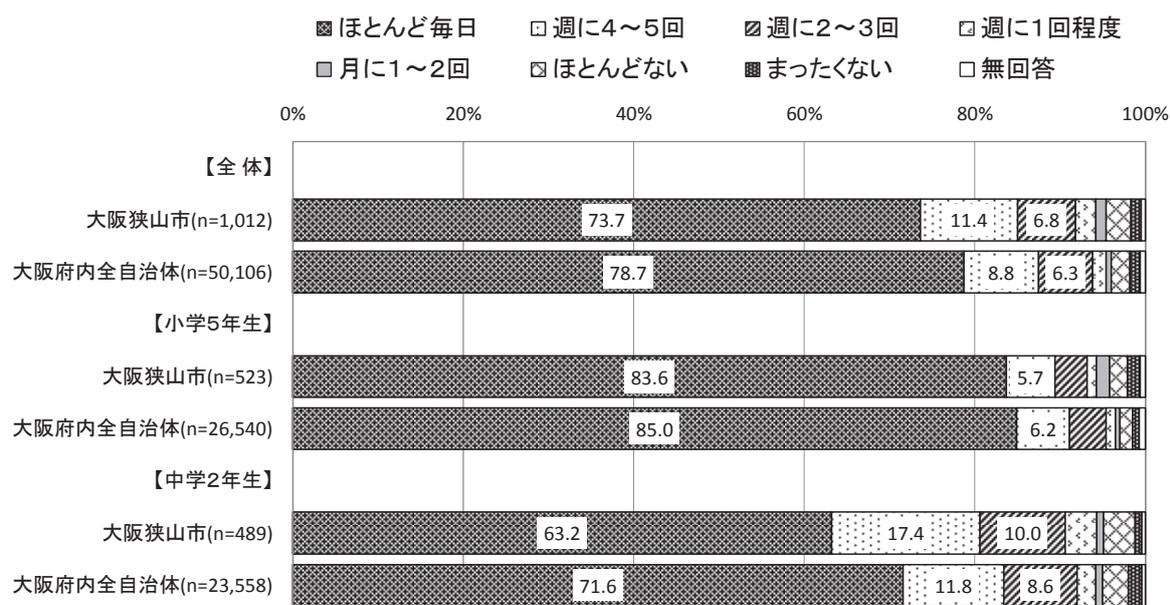


図 58. おうちの大人と夕食を食べるか

子ども-10-3. おうちの大人に朝、起こされるか

問 10 ③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が30.3%、「週に4～5回」が13.8%、「週に2～3回」が12.3%、「週に1回程度」が5.0%、「月に1～2回」が3.5%、「ほとんどない」が16.7%、「まったくない」が18.3%、「無回答」が0.1%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が29.6%、「週に4～5回」が15.5%、「週に2～3回」が9.9%、「週に1回程度」が5.9%、「月に1～2回」が2.7%、「ほとんどない」が15.7%、「まったくない」が20.7%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が31.1%、「週に4～5回」が12.1%、「週に2～3回」が14.7%、「週に1回程度」が4.1%、「月に1～2回」が4.3%、「ほとんどない」が17.8%、「まったくない」が15.7%、「無回答」が0.2%である。

このことから、「ほとんど毎日」は小学5年生で3割弱、中学2年生で3割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ほとんど毎日」が全体では13ポイント、小学5年生では15ポイント、中学2年生では10ポイントそれぞれ低く、「まったくない」は全体で6ポイント、小学5年生で9ポイントそれぞれ高い。

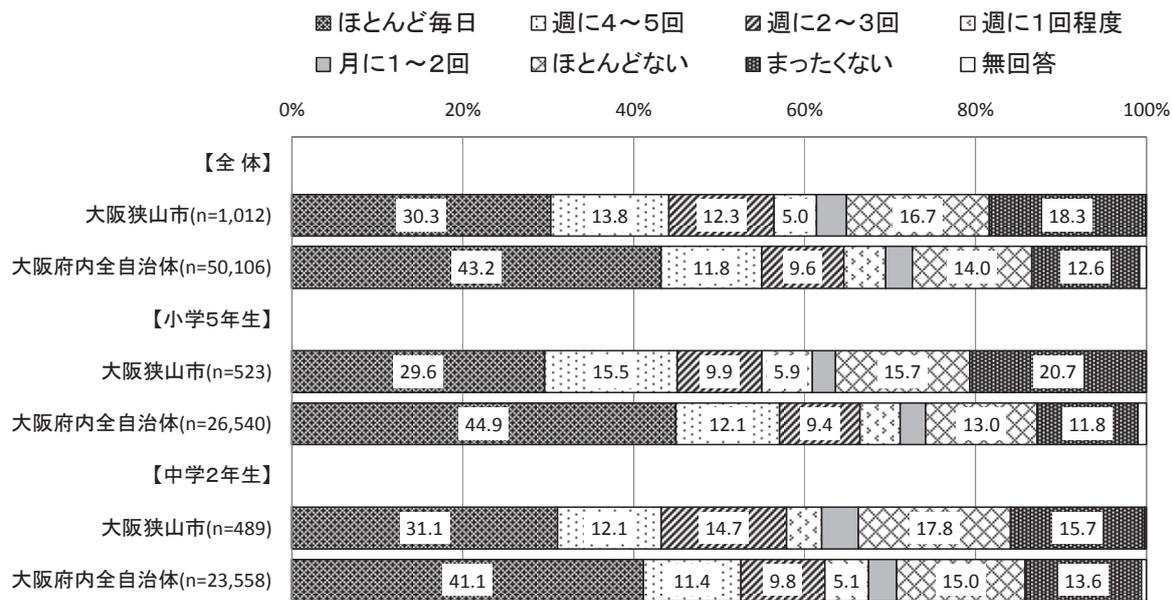


図 59. おうちの大人に朝、起こされるか

子ども-10-4. 家の手伝いをするか

問 10 ④ おうちの手伝いをしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が30.6%、「週に4～5回」が13.8%、「週に2～3回」が21.3%、「週に1回程度」が10.8%、「月に1～2回」が7.1%、「ほとんどない」が10.2%、「まったくない」が5.5%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が38.8%、「週に4～5回」が14.0%、「週に2～3回」が21.6%、「週に1回程度」が9.6%、「月に1～2回」が5.5%、「ほとんどない」が6.7%、「まったくない」が3.4%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が21.9%、「週に4～5回」が13.7%、「週に2～3回」が21.1%、「週に1回程度」が12.1%、「月に1～2回」が8.8%、「ほとんどない」が13.9%、「まったくない」が7.8%、「無回答」が0.8%である。

このことから、小学5年生は「ほとんど毎日」が4割弱で高く、中学2年生は「ほとんど毎日」、「週に2～3回」が2割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ほとんど毎日」が全体で7ポイント、小学5年生で13ポイントそれぞれ高くなっている。なお、小学5年生では「ほとんどない」が6ポイント低くなっている。

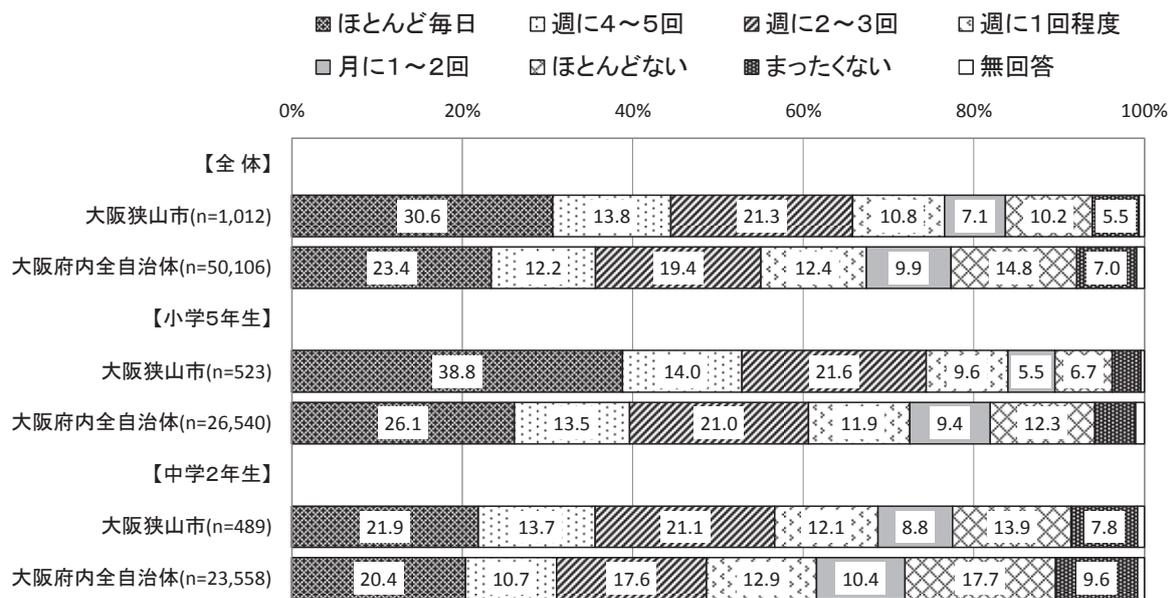


図 60. 家の手伝いをするか

子ども-10-5. おうちの大人に宿題をみてもらうか

問 10 ⑤ おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が8.0%、「週に4～5回」が4.4%、「週に2～3回」が7.2%、「週に1回程度」が5.4%、「月に1～2回」が6.4%、「ほとんどない」が31.0%、「まったくない」が36.7%、「無回答」が0.8%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が14.0%、「週に4～5回」が7.8%、「週に2～3回」が10.7%、「週に1回程度」が6.7%、「月に1～2回」が8.0%、「ほとんどない」が28.5%、「まったくない」が23.3%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が1.6%、「週に4～5回」が0.8%、「週に2～3回」が3.5%、「週に1回程度」が4.1%、「月に1～2回」が4.7%、「ほとんどない」が33.7%、「まったくない」が50.9%、「無回答」が0.6%である。

このことから、小学5年生では「ほとんどない」が3割弱、中学2年生では「まったくない」が5割で最も高くなっている。中学2年生では「ほとんどない」と合わせると8割強と高くなる。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生では「ほとんど毎日」が6ポイント低くなっている。また、「まったくない」が全体、中学2年生でそれぞれ6ポイント高くなっている。

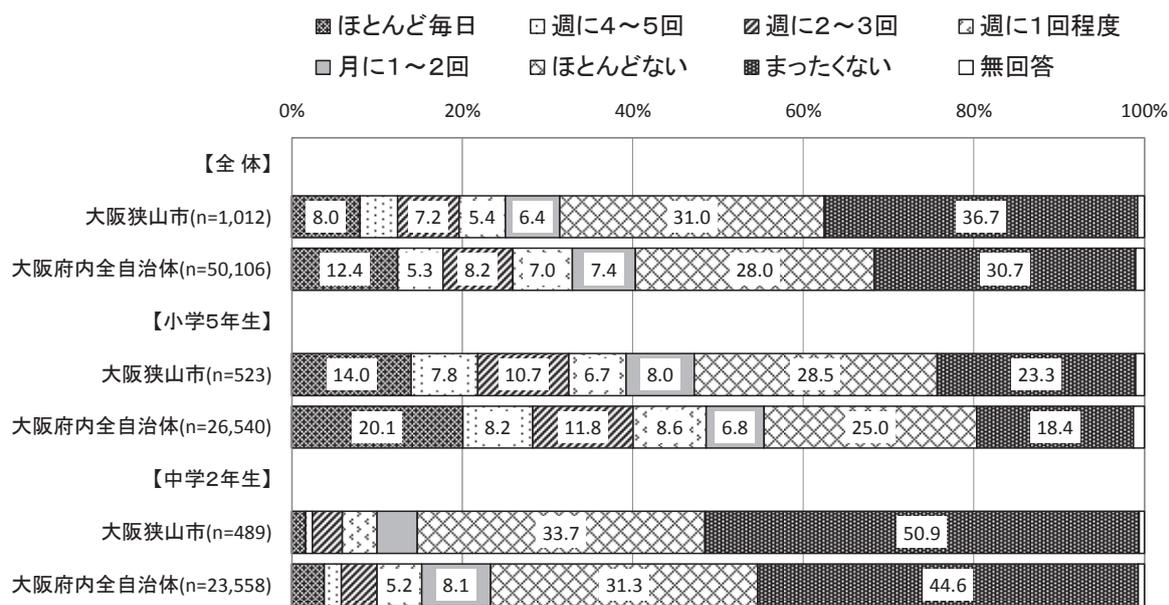


図 61. おうちの大人に宿題をみてもらうか

子ども-10-6. おうちの大人と学校の話をするか

問 10 ⑥ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が30.0%、「週に4～5回」が15.9%、「週に2～3回」が18.5%、「週に1回程度」が9.4%、「月に1～2回」が6.1%、「ほとんどない」が11.9%、「まったくない」が7.6%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が36.5%、「週に4～5回」が16.1%、「週に2～3回」が15.9%、「週に1回程度」が7.5%、「月に1～2回」が7.1%、「ほとんどない」が10.1%、「まったくない」が6.5%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が23.1%、「週に4～5回」が15.7%、「週に2～3回」が21.3%、「週に1回程度」が11.5%、「月に1～2回」が5.1%、「ほとんどない」が13.7%、「まったくない」が8.8%、「無回答」が0.8%である。

このことから、小学5年生では「ほとんど毎日」が4割弱、中学2年生では「ほとんど毎日」、「週に2～3回」がともに2割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ほとんど毎日」が全体で10ポイント、小学5年生で9ポイント、中学2年生で11ポイントそれぞれ低くなっている。

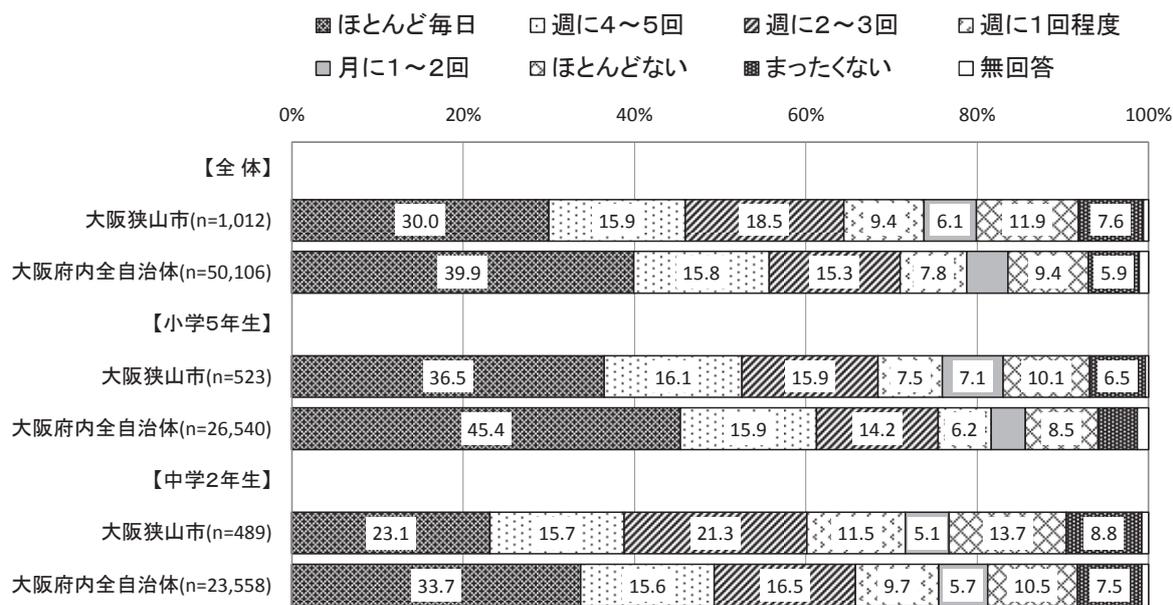


図 62. おうちの大人と学校の話をするか

子ども-10-7. おうちの大人と遊んだり、体を動かすか

問 10 ⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が 12.1%、「週に4～5回」が 4.9%、「週に2～3回」が 11.0%、「週に1回程度」が 8.2%、「月に1～2回」が 16.2%、「ほとんどない」が 29.2%、「まったくない」が 17.9%、「無回答」が 0.5%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が 18.5%、「週に4～5回」が 7.6%、「週に2～3回」が 16.1%、「週に1回程度」が 9.6%、「月に1～2回」が 15.3%、「ほとんどない」が 23.1%、「まったくない」が 9.4%、「無回答」が 0.4%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が 5.1%、「週に4～5回」が 2.0%、「週に2～3回」が 5.5%、「週に1回程度」が 6.7%、「月に1～2回」が 17.2%、「ほとんどない」が 35.8%、「まったくない」が 27.0%、「無回答」が 0.6%である。

このことから、「ほとんどない」が小学5年生で2割強、中学2年生では4割弱で最も高い。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「週に1回程度」が5ポイント低くなっている。

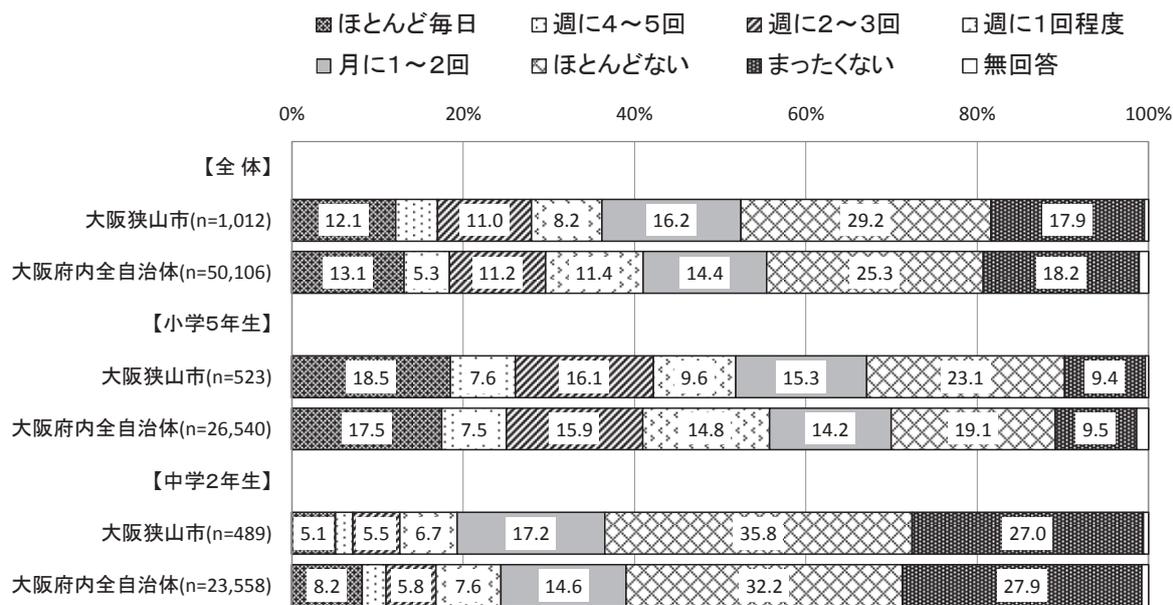


図 63. おうちの大人と遊んだり、体を動かすか

子ども-10-8. おうちの大人と社会のできごとを話すか

問 10 ⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が 16.0%、「週に4～5回」が 12.6%、「週に2～3回」が 17.0%、「週に1回程度」が 14.9%、「月に1～2回」が 6.9%、「ほとんどない」が 20.8%、「まったくない」が 11.5%、「無回答」が 0.2%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が 20.3%、「週に4～5回」が 13.0%、「週に2～3回」が 17.4%、「週に1回程度」が 11.7%、「月に1～2回」が 5.7%、「ほとんどない」が 20.5%、「まったくない」が 11.3%、「無回答」が 0.2%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が 11.5%、「週に4～5回」が 12.3%、「週に2～3回」が 16.6%、「週に1回程度」が 18.4%、「月に1～2回」が 8.2%、「ほとんどない」が 21.3%、「まったくない」が 11.7%、「無回答」が 0.2%である。

このことから、小学5年生では「ほとんど毎日」、「ほとんどない」が2割、中学2年生では「ほとんどない」が2割強で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、中学2年生で「週に1回程度」が5ポイント高くなっている。

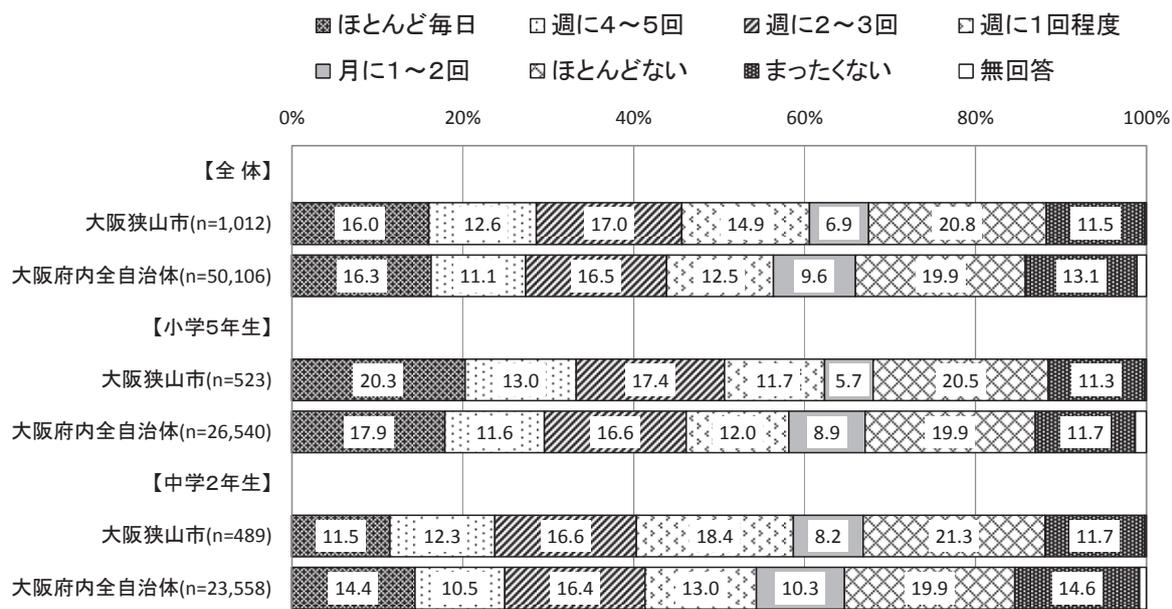


図 64. おうちの大人と社会のできごとを話すか

子ども-10-9. おうちの大人と文化活動をするか

問 10 ⑨ おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が3.8%、「週に4～5回」が0.5%、「週に2～3回」が2.0%、「週に1回程度」が4.7%、「月に1～2回」が21.7%、「ほとんどない」が37.0%、「まったくない」が30.1%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が6.1%、「週に4～5回」が1.0%、「週に2～3回」が2.9%、「週に1回程度」が8.0%、「月に1～2回」が29.3%、「ほとんどない」が35.2%、「まったくない」が17.4%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が1.2%、「週に4～5回」が該当なし、「週に2～3回」が1.0%、「週に1回程度」が1.2%、「月に1～2回」が13.7%、「ほとんどない」が38.9%、「まったくない」が43.8%、「無回答」が0.2%である。

このことから、小学5年生では「ほとんどない」が4割弱で高く、中学2年生では「まったくない」が4割強となり、「ほとんどない」と合わせると8割強と高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「ほとんどない」が5ポイント低くなっている。

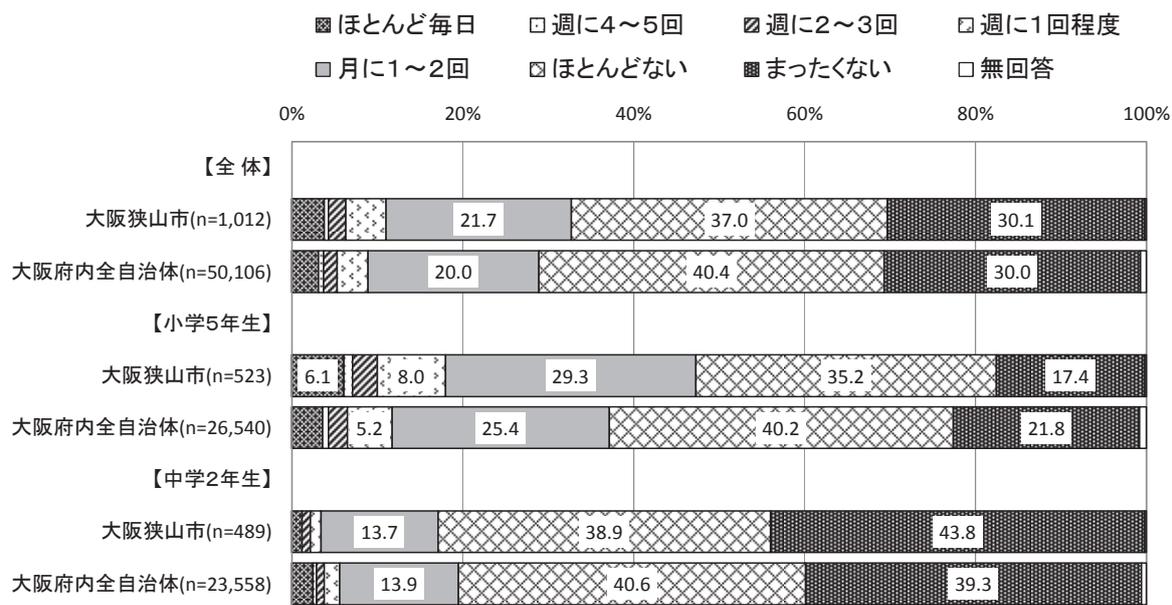


図 65. おうちの大人と文化活動をするか

子ども-10-10. おうちの大人と一緒に外出するか

問 10 ⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか。(散歩する・買い物に出かける・外食をするなど)
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ほとんど毎日」が13.7%、「週に4～5回」が11.4%、「週に2～3回」が27.9%、「週に1回程度」が22.2%、「月に1～2回」が18.3%、「ほとんどない」が4.4%、「まったくない」が1.6%、「無回答」が0.5%である。

小学5年生では、「ほとんど毎日」が22.0%、「週に4～5回」が15.3%、「週に2～3回」が33.7%、「週に1回程度」が14.9%、「月に1～2回」が9.8%、「ほとんどない」が3.4%、「まったくない」が0.8%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生では、「ほとんど毎日」が4.9%、「週に4～5回」が7.2%、「週に2～3回」が21.7%、「週に1回程度」が30.1%、「月に1～2回」が27.4%、「ほとんどない」が5.5%、「まったくない」が2.5%、「無回答」が0.8%である。

このことから、小学5年生では「週に2～3回」が3割強、中学2年生では「週に1回程度」が3割で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「ほとんど毎日」が7ポイント高く、「週に1回程度」が9ポイント低くなっている。

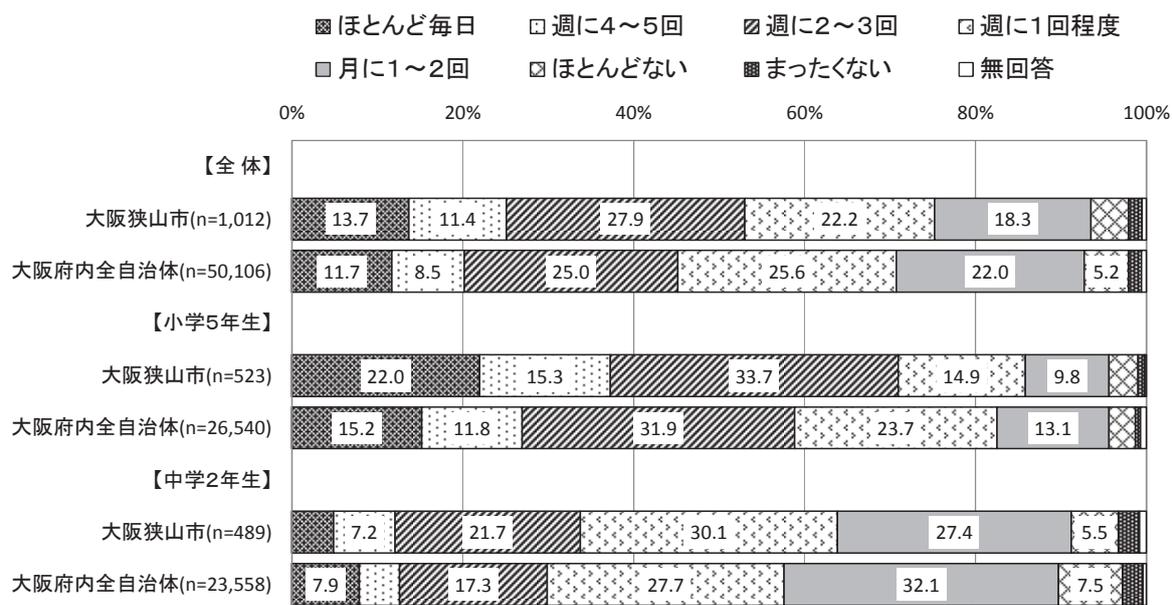


図 66. おうちの大人と一緒に外出するか

子ども-11. 毎日の生活で楽しいこと

問 11 毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 85.4%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 55.8%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 54.4%、「ひとりで過ごしているとき」が 40.4%、「塾や習い事で過ごしているとき」が 31.0%の順に高く、「特に楽しいと思うときはない」が 1.2%になっている。

小学5年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 86.0%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 73.8%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 53.2%、「塾や習い事で過ごしているとき」が 42.4%、「ひとりで過ごしているとき」が 34.6%の順に高く、「特に楽しいと思うときはない」が 0.4%になっている。

中学2年生では、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が 84.7%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が 55.8%、「ひとりで過ごしているとき」が 46.6%、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が 36.6%、「塾や習い事で過ごしているとき」が 18.8%の順に高く、「特に楽しいと思うときはない」が 2.0%になっている。

このことから、「ともだちと一緒に過ごしているとき」は小学5年生では9割弱、中学2年生では8割強で最も高い。その他にも小学5年生で「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が7割強、中学2年生で「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」が6割弱で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「おうちの人と一緒に過ごしている時」が全体で6ポイント、中学2年生で12ポイントそれぞれ低くなっている。また、小学5年生では「ひとりで過ごしているとき」、「塾や習い事で過ごしているとき」がそれぞれ6ポイント高くなっている。

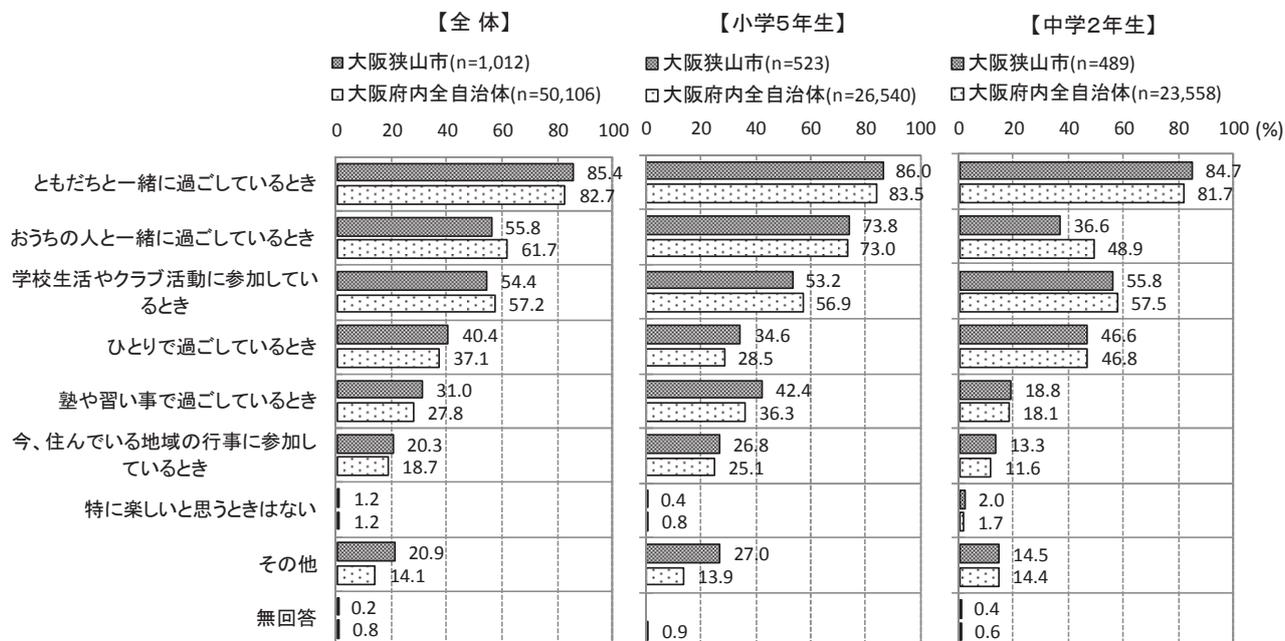


図 67. 毎日の生活で楽しいこと

子ども-12. 放課後一緒に過ごす人

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が 67.9%、「きょうだい」が 59.0%、「学校のともだち」が 54.7%、「クラブ活動の仲間」が 31.5%、「ひとりである」が 26.5%の順に高くなっている。

小学5年生では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が 73.8%、「きょうだい」が 64.6%、「学校のともだち」が 63.7%、「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」が 25.8%、「ひとりである」が 25.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が 61.6%、「クラブ活動の仲間」が 59.7%、「きょうだい」が 53.0%、「学校のともだち」が 45.2%、「ひとりである」が 27.8%の順に高くなっている。

このことから、小学5年生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が7割強、「きょうだい」、「学校のともだち」が6割強となっている。中学2年生では「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が6割強、「クラブ活動の仲間」が6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較して差の大きい項目をみると、「きょうだい」が全体と小学5年生で14ポイント、中学2年生で13ポイントそれぞれ高い。

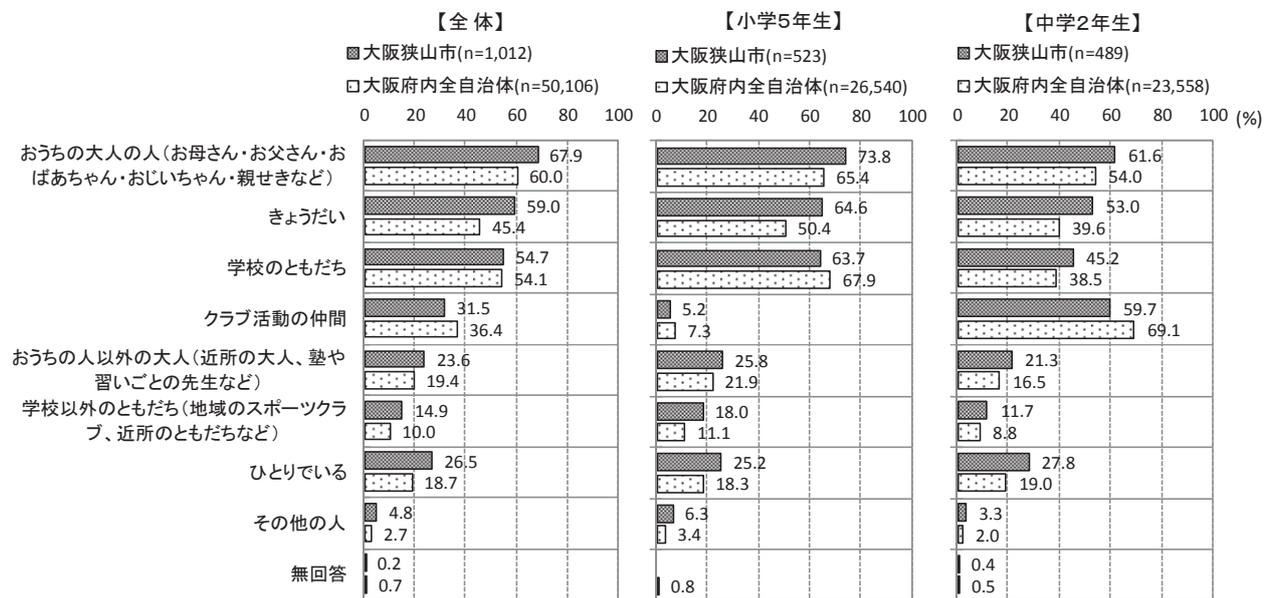


図 68. 放課後一緒に過ごす人

子ども-21. 自分の体や気持ちで気になること

問 21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「とくに気になるところはない」が 24.7%、「やる気が起きない」が 23.4%、「イライラする」が 22.5%、「不安な気持ちになる」が 20.7%、「よくおなかがいたくなる」が 20.6%の順に高くなっている。

小学5年生では、「とくに気になるところはない」が 26.0%、「イライラする」が 22.4%、「よくかゆくなる」が 21.6%、「よくおなかがいたくなる」が 21.0%、「不安な気持ちになる」が 20.3%の順に高くなっている。

中学2年生では、「やる気が起きない」が 32.3%、「とくに気になるところはない」が 23.3%、「イライラする」が 22.7%、「不安な気持ちになる」が 21.1%、「よく頭がいたくなる」が 20.2%の順に高くなっている。

このことから、中学2年生で「やる気が起きない」が3割強で高く、その他の項目は小学5年生、中学2年生ともに回答がばらついている。「とくに気になるところはない」は小学5年生では3割弱、中学2年生では2割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

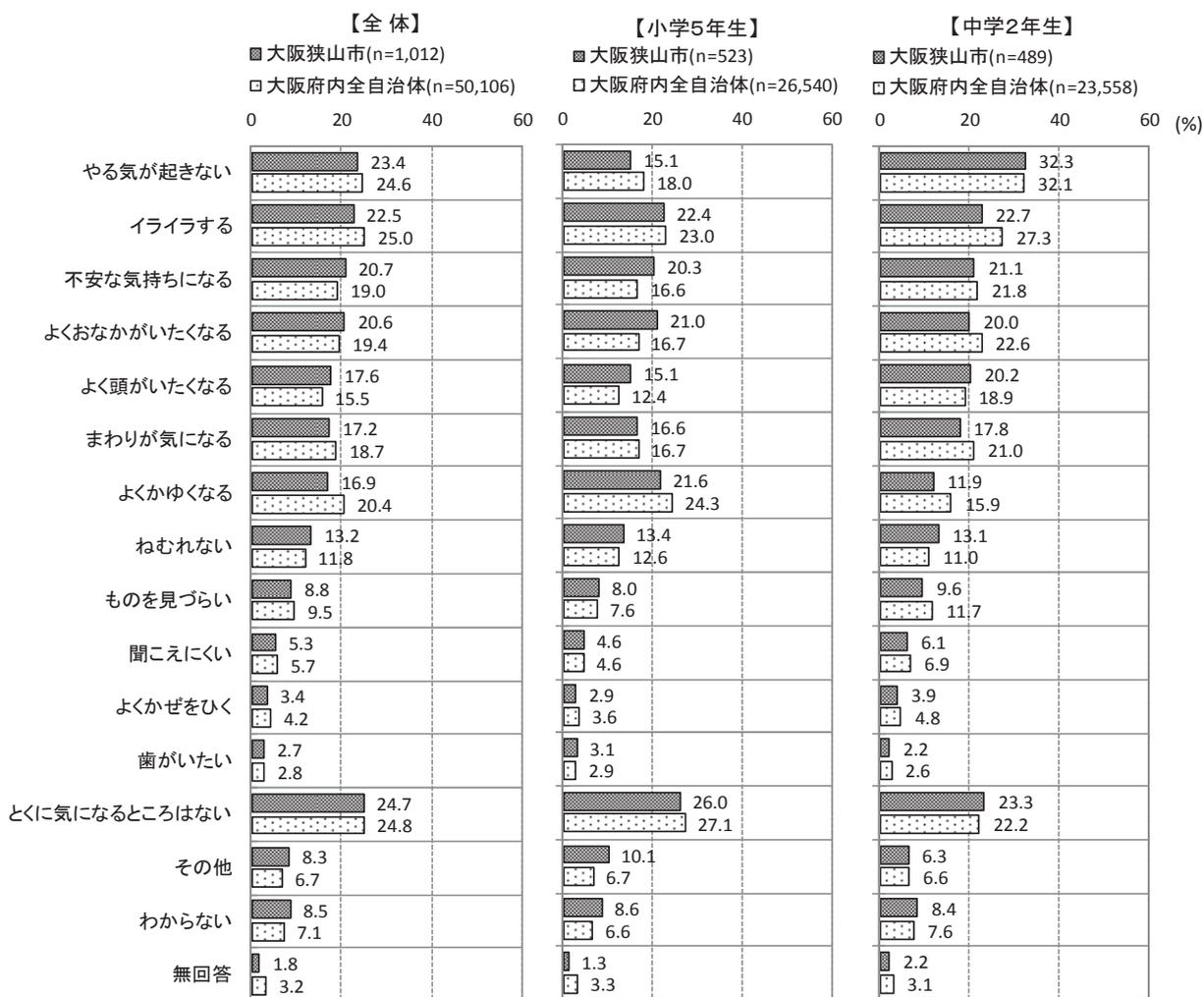


図 69. 自分の体や気持ちで気になること

保護者-23. 自分の体や気持ちで気になること

問 23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「よく肩がこる」が39.8%、「イライラする」が32.6%、「よく腰がいたくなる」が26.4%、「不安な気持ちになる」が23.1%、「よく頭がいたくなる」が22.2%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「よく肩がこる」が43.6%、「イライラする」が35.1%、「よく腰がいたくなる」が26.0%、「よく頭がいたくなる」が24.4%、「不安な気持ちになる」が24.0%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「よく肩がこる」が35.7%、「イライラする」が30.0%、「よく腰がいたくなる」が26.9%、「不安な気持ちになる」が22.1%、「よく頭がいたくなる」が19.8%の順に高くなっている。

このことから、「よく肩がこる」は小学5年生の保護者では4割強、中学2年生の保護者では4割弱で高く、「イライラする」も小学5年生の保護者が4割弱、中学2年生の保護者が3割になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「よく肩がこる」が7ポイント低くなっている。

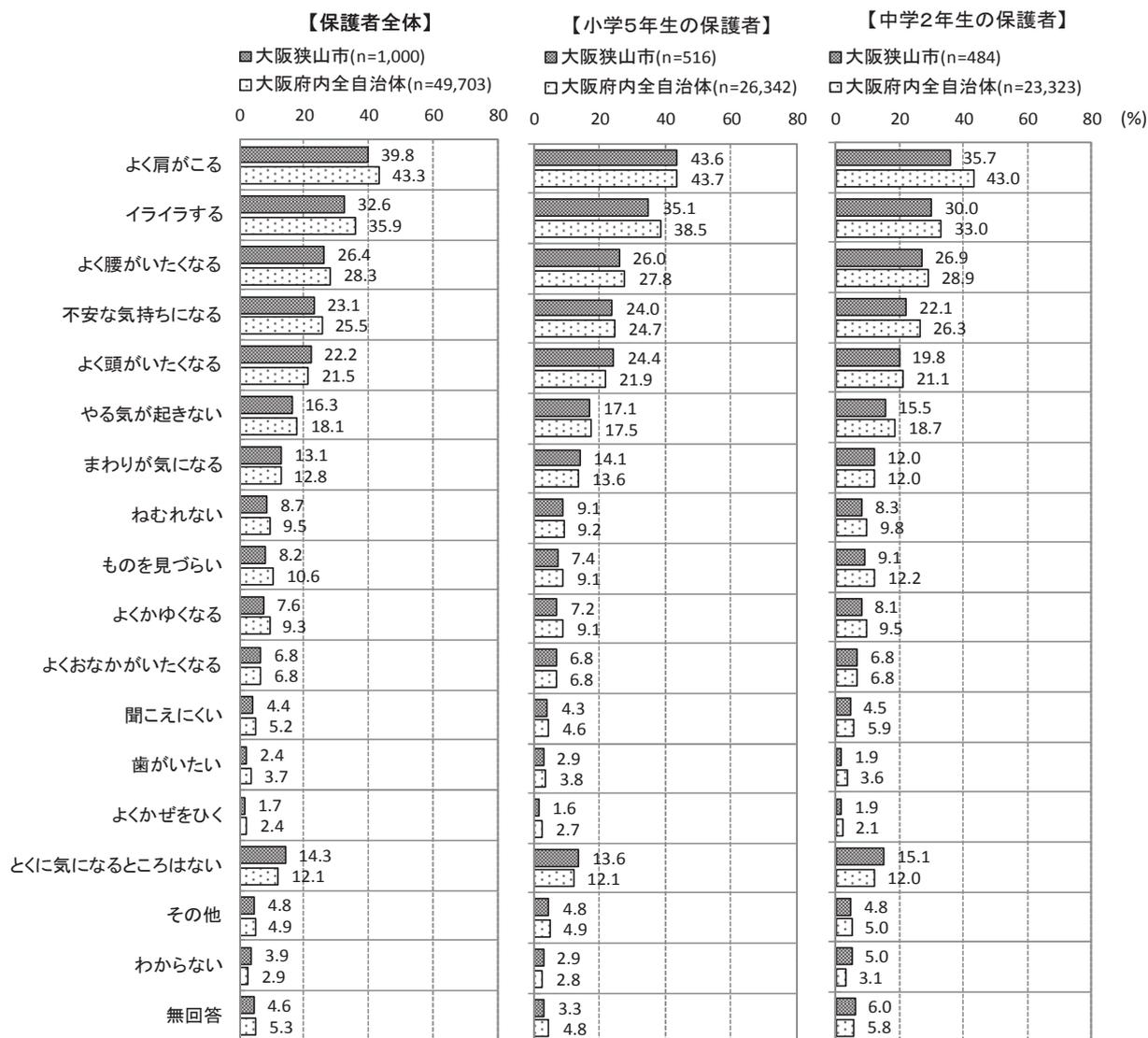


図 70. 自分の体や気持ちで気になること

保護者-24. 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

問 24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「よくある」が8.7%、「時々ある」が62.8%、「ほとんどない」が20.4%、「ない」が4.6%、「わからない」が2.7%、「無回答」が0.8%となり、「よくある」+「時々ある」=『ある』が71.5%、「ほとんどない」+「ない」=『ない』が25.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「よくある」が10.9%、「時々ある」が66.1%、「ほとんどない」が17.1%、「ない」が3.7%、「わからない」が1.6%、「無回答」が0.8%となり、『ある』が76.9%、『ない』が20.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「よくある」が6.4%、「時々ある」が59.3%、「ほとんどない」が24.0%、「ない」が5.6%、「わからない」が3.9%、「無回答」が0.8%となり、『ある』が65.7%、『ない』が29.5%となっている。

このことから、『ある』は小学5年生の保護者で8割弱、中学2年生の保護者で7割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

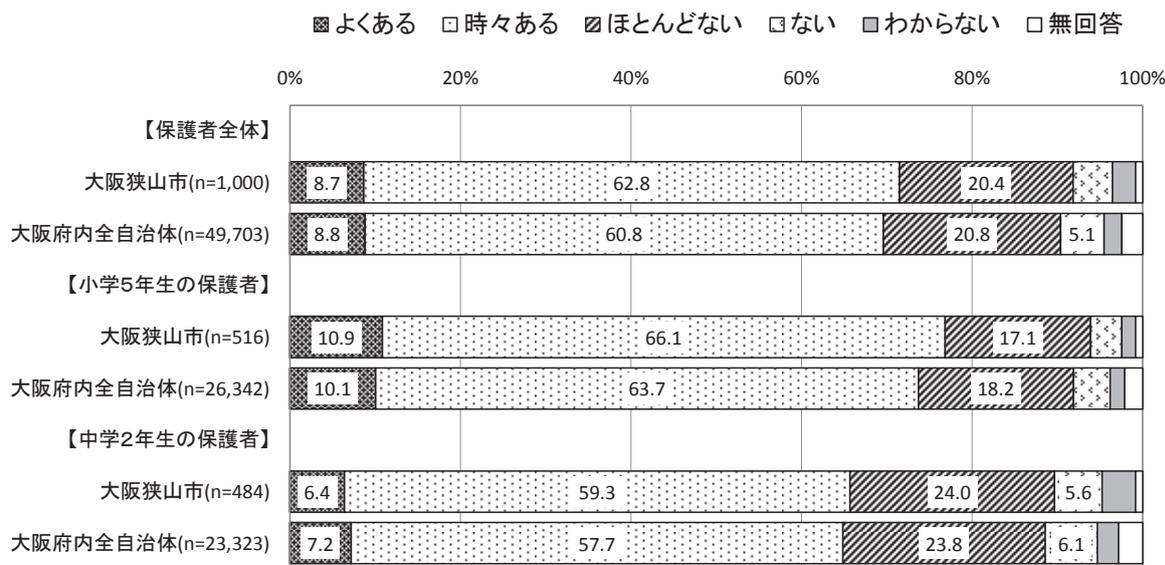


図 71. 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

保護者-25. 定期的な健康診断の受診

問 25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「はい」が60.5%、「いいえ」が38.7%、「無回答」が0.8%である。

小学5年生の保護者では、「はい」が57.0%、「いいえ」が42.2%、「無回答」が0.8%である。

中学2年生の保護者では、「はい」が64.3%、「いいえ」が34.9%、「無回答」が0.8%である。

このことから、「はい」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では6割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、中学2年生の保護者で「はい」が6ポイント高くなっている。

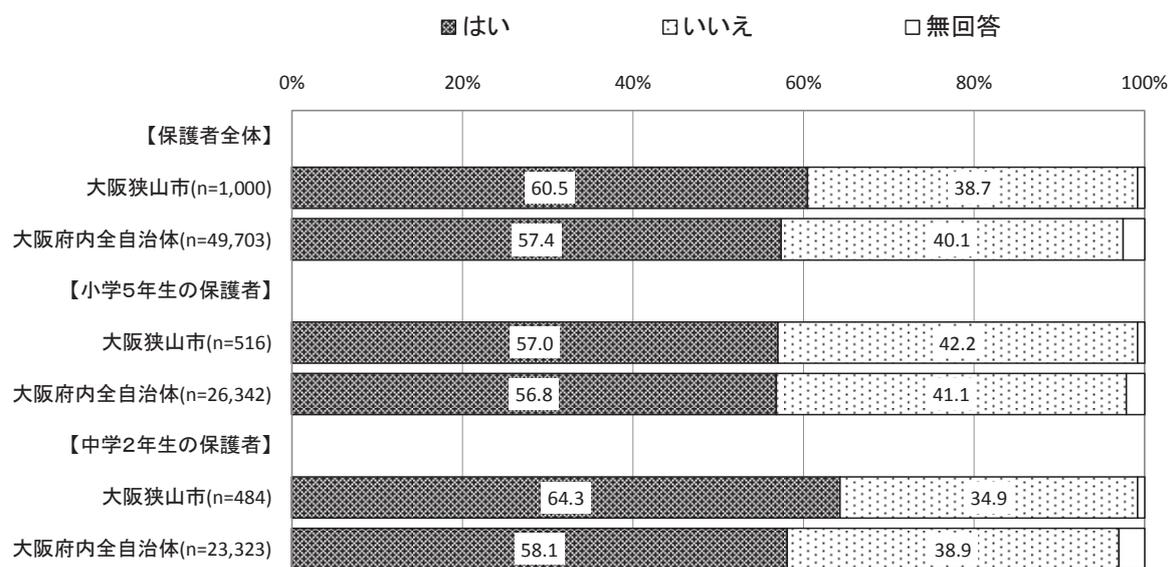


図 72. 定期的な健康診断の受診

保護者-26-1. 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

問 26 ① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「そう思う」が6.7%、「まあそう思う」が49.0%、「あまり思わない」が33.4%、「思わない」が5.6%、「わからない」が4.2%、「無回答」が1.1%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が55.7%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が39.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が7.2%、「まあそう思う」が49.8%、「あまり思わない」が32.4%、「思わない」が6.2%、「わからない」が3.3%、「無回答」が1.2%となり、『そう思う』が57.0%、『思わない』が38.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が6.2%、「まあそう思う」が48.1%、「あまり思わない」が34.5%、「思わない」が5.0%、「わからない」が5.2%、「無回答」が1.0%となり、『そう思う』が54.3%、『思わない』が39.5%となっている。

このことから、「そう思う」は小学5年生の保護者では6割弱、中学2年生の保護者では5割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

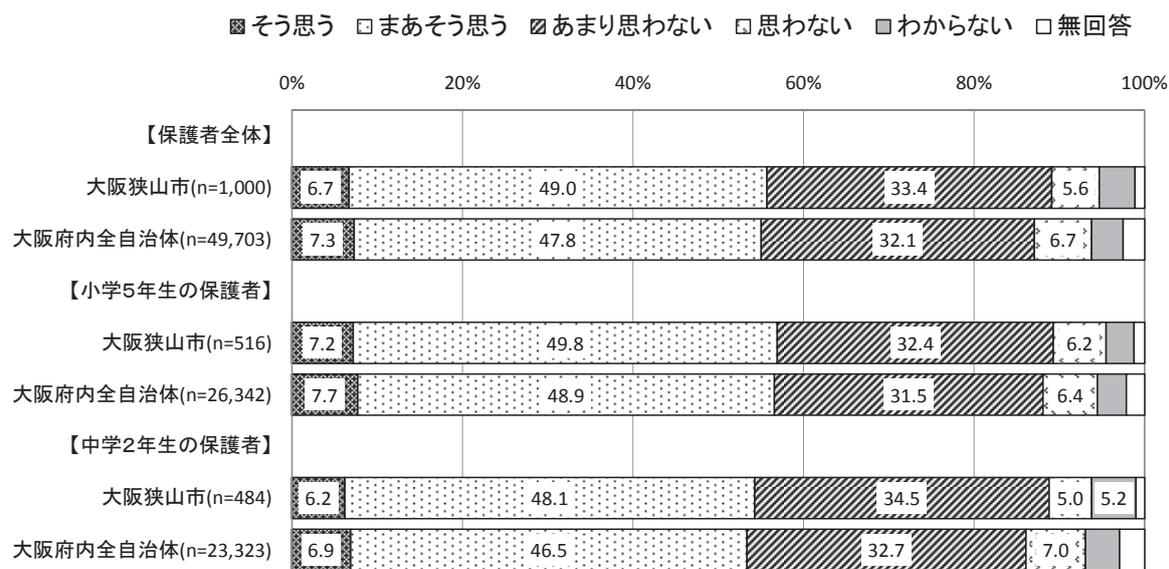


図 73. 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある

保護者-26-2. はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

問 26 ② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「そう思う」が 14.7%、「まあそう思う」が 51.4%、「あまり思わない」が 22.1%、「思わない」が 4.7%、「わからない」が 5.8%、「無回答」が 1.3%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が 66.1%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が 26.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が 15.9%、「まあそう思う」が 51.9%、「あまり思わない」が 20.5%、「思わない」が 4.8%、「わからない」が 5.0%、「無回答」が 1.7%となり、『そう思う』が 67.8%、『思わない』が 25.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が 13.4%、「まあそう思う」が 50.8%、「あまり思わない」が 23.8%、「思わない」が 4.5%、「わからない」が 6.6%、「無回答」が 0.8%となり、『そう思う』が 64.3%、『思わない』が 28.3%となっている。

このことから、『そう思う』は小学5年生の保護者では7割弱、中学2年生の保護者では6割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

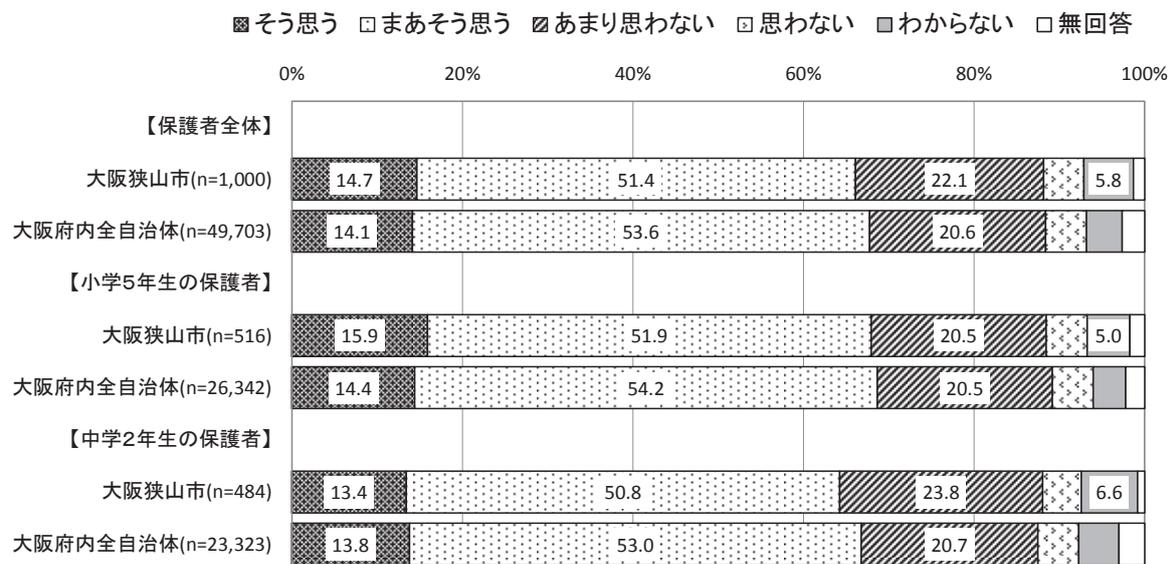


図 74. はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける

保護者-26-3. 人の集まりの中では、うまくふるまえない

問 26 ③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「そう思う」が9.8%、「まあそう思う」が19.4%、「あまり思わない」が38.7%、「思わない」が26.1%、「わからない」が4.9%、「無回答」が1.1%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が29.2%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が64.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が10.5%、「まあそう思う」が19.6%、「あまり思わない」が39.9%、「思わない」が24.2%、「わからない」が4.7%、「無回答」が1.2%となり、『そう思う』が30.0%、『思わない』が64.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が9.1%、「まあそう思う」が19.2%、「あまり思わない」が37.4%、「思わない」が28.1%、「わからない」が5.2%、「無回答」が1.0%となり、『そう思う』が28.3%、『思わない』が65.5%となっている。

このことから、『思わない』は小学5年生の保護者では6割強、中学2年生の保護者では7割弱となっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

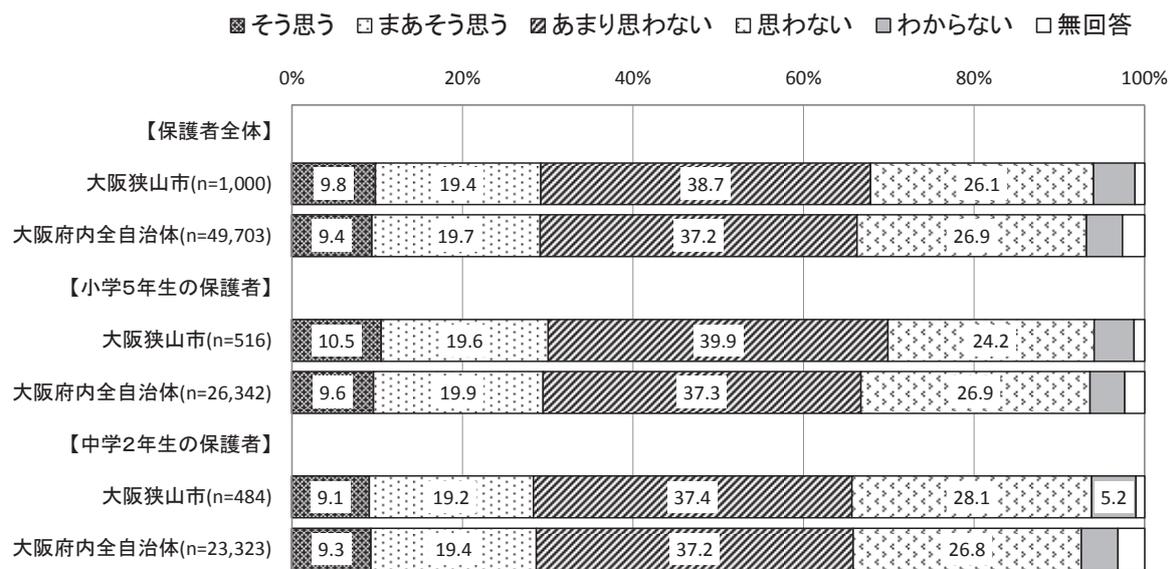


図 75. 人の集まりの中では、うまくふるまえない

保護者-26-4. 私は自分から友だちを作るのがうまい

問 26 ④ 私は自分から友だちを作るのがうまい (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「そう思う」が7.1%、「まあそう思う」が29.3%、「あまり思わない」が37.9%、「思わない」が19.2%、「わからない」が5.4%、「無回答」が1.1%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が36.4%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が57.1%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が6.8%、「まあそう思う」が29.1%、「あまり思わない」が36.8%、「思わない」が21.5%、「わからない」が4.7%、「無回答」が1.2%となり、『そう思う』が35.9%、『思わない』が58.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が7.4%、「まあそう思う」が29.5%、「あまり思わない」が39.0%、「思わない」が16.7%、「わからない」が6.2%、「無回答」が1.0%となり、『そう思う』が37.0%、『思わない』が55.8%となっている。

このことから、『思わない』は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに6割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

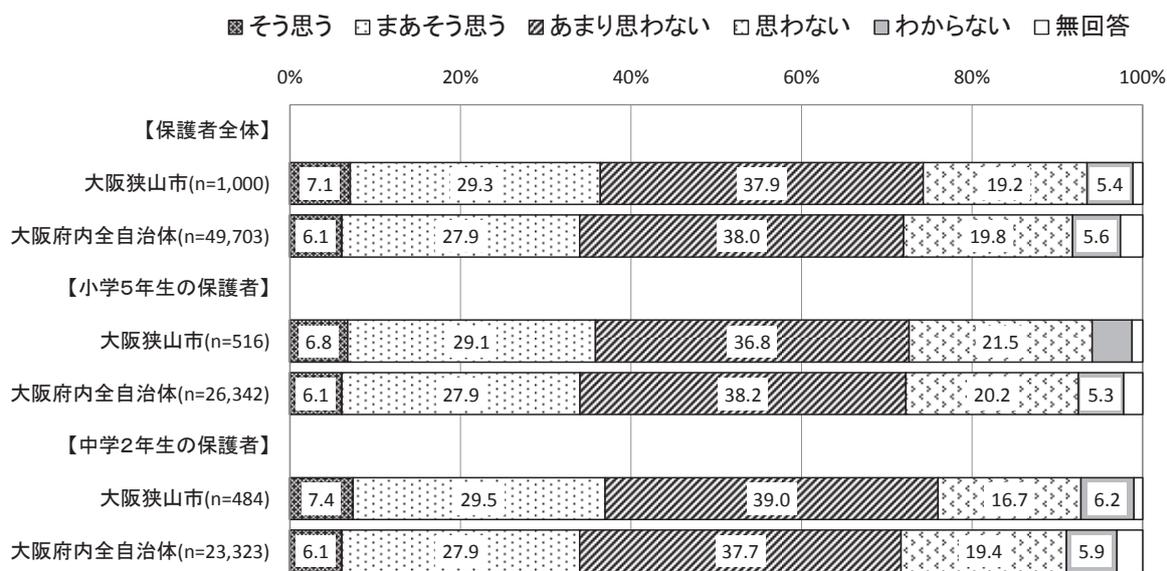


図 76. 私は自分から友だちを作るのがうまい

保護者-26-5. 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

問 26 ⑤ 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「そう思う」が5.4%、「まあそう思う」が16.3%、「あまり思わない」が39.6%、「思わない」が26.8%、「わからない」が10.8%、「無回答」が1.1%となり、「そう思う」+「まあそう思う」=『そう思う』が21.7%、「あまり思わない」+「思わない」=『思わない』が66.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「そう思う」が6.0%、「まあそう思う」が16.1%、「あまり思わない」が39.1%、「思わない」が26.0%、「わからない」が11.6%、「無回答」が1.2%となり、『そう思う』が22.1%、『思わない』が65.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「そう思う」が4.8%、「まあそう思う」が16.5%、「あまり思わない」が40.1%、「思わない」が27.7%、「わからない」が9.9%、「無回答」が1.0%となり、『そう思う』が21.3%、『思わない』が67.8%となっている。

このことから、『思わない』は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに7割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

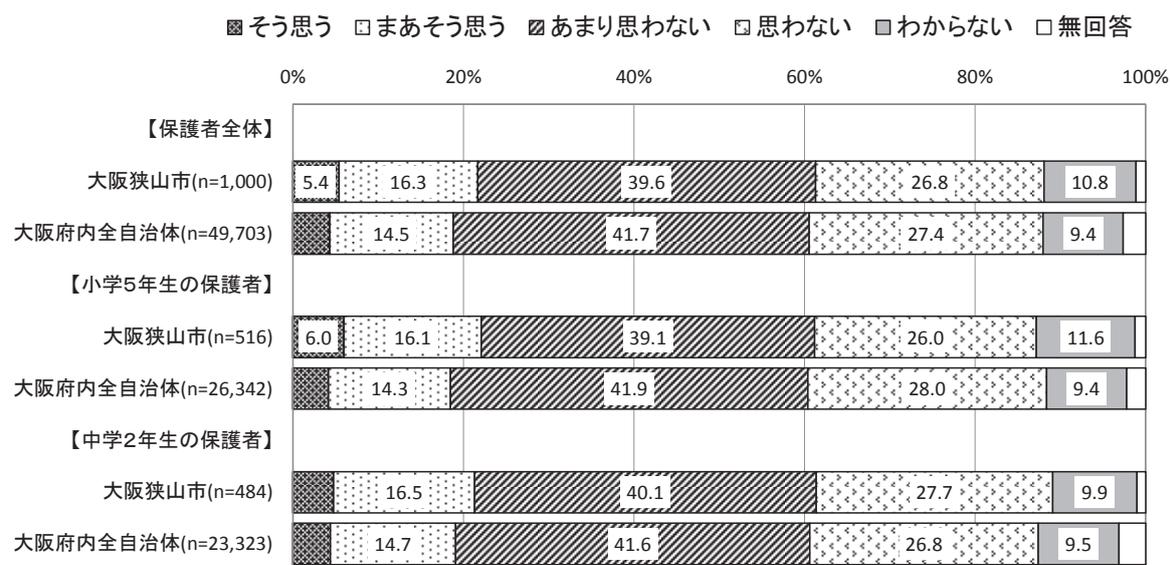


図 77. 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない

子ども-23-1. 自分に自信がある

問 23 (1) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ある」が12.8%、「どちらかというところがある」が31.4%、「どちらかというところがない」が34.1%、「ない」が20.6%、「無回答」が1.1%となり、「ある」+「どちらかというところがある」=『ある』が44.3%、「どちらかというところがない」+「ない」=『ない』が54.6%となっている。

小学5年生では、「ある」が19.5%、「どちらかというところがある」が39.8%、「どちらかというところがない」が26.6%、「ない」が13.2%、「無回答」が1.0%となり、『ある』が59.3%、『ない』が39.8%となっている。

中学2年生では、「ある」が5.7%、「どちらかというところがある」が22.5%、「どちらかというところがない」が42.1%、「ない」が28.4%、「無回答」が1.2%となり、『ある』が28.2%、『ない』が70.6%となっている。

このことから、『ある』が小学5年生では6割弱、中学2年生では3割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、『ない』が全体で9ポイント、小学5年生で5ポイント、中学2年生で12ポイント、それぞれ高くなっている。

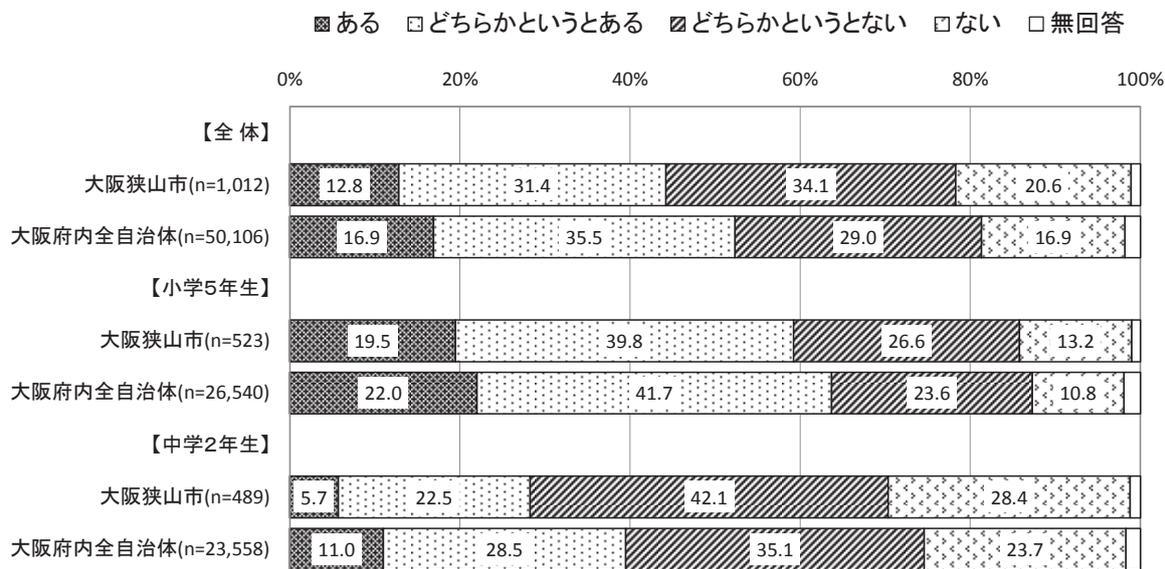


図 78. 自分に自信がある

子ども-23-2. 考えを相手に伝えることができる

問 23 (2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「できる」が21.2%、「どちらかというところできる」が42.5%、「どちらかというところできない」が25.6%、「できない」が10.1%、「無回答」が0.6%となり、「できる」+「どちらかというところできる」=『できる』が63.7%、「どちらかというところできない」+「できない」=『できない』が35.7%となっている。

小学5年生では、「できる」が20.7%、「どちらかというところできる」が43.0%、「どちらかというところできない」が26.0%、「できない」が9.6%、「無回答」が0.8%となり、『できる』が63.7%、『できない』が35.6%となっている。

中学2年生では、「できる」が21.9%、「どちらかというところできる」が41.9%、「どちらかというところできない」が25.2%、「できない」が10.6%、「無回答」が0.4%となり、『できる』が63.8%、『できない』が35.8%となっている。

このことから、『できる』は小学5年生、中学2年生ともに6割強になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、中学2年生で「どちらかというところできる」が6ポイント高くなっている。

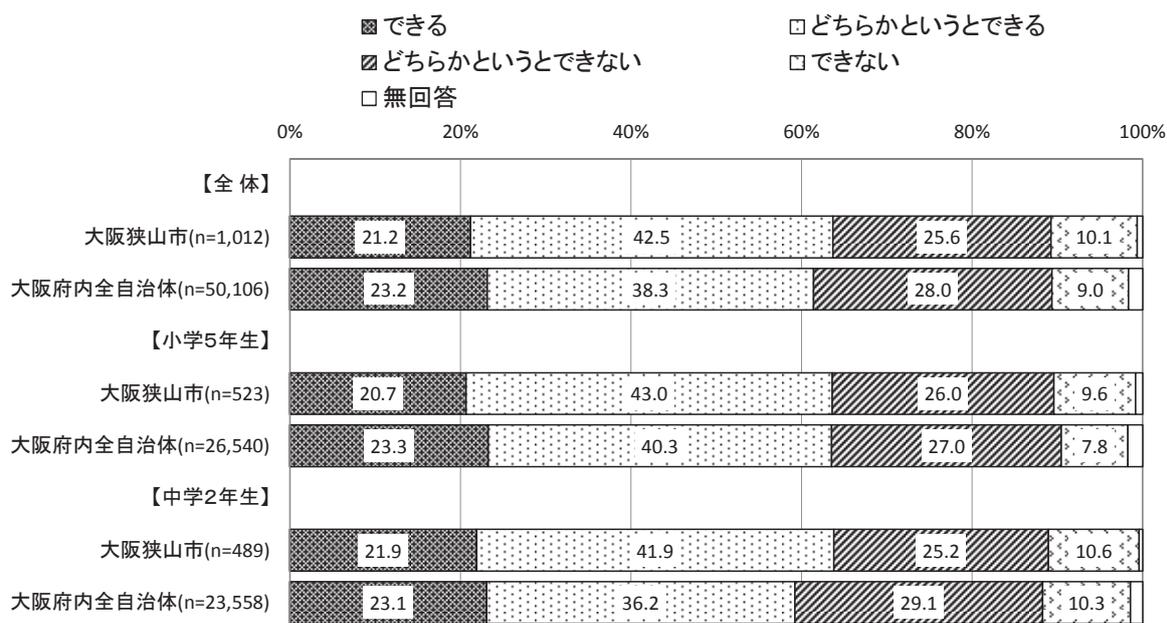


図 79. 考えを相手に伝えることができる

子ども-23-3. 大人は信用できる

問 23 (3) 大人は信用できる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「そう思う」が27.6%、「どちらかというと思う」が44.3%、「どちらかというと思う」+「どちらかというと思わない」が15.8%、「そう思わない」が11.6%、「無回答」が0.8%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が71.8%、「どちらかというと思う」+「そう思わない」=『そう思わない』が27.4%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が40.7%、「どちらかというと思う」が43.2%、「どちらかというと思う」+「どちらかというと思わない」が9.4%、「そう思わない」が5.9%、「無回答」が0.8%となり、『そう思う』が83.9%、『そう思わない』が15.3%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が13.5%、「どちらかというと思う」が45.4%、「どちらかというと思う」+「どちらかというと思わない」が22.7%、「そう思わない」が17.6%、「無回答」が0.8%となり、『そう思う』が58.9%、『そう思わない』が40.3%となっている。

このことから、『そう思う』は小学5年生では8割強、中学2年生では6割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

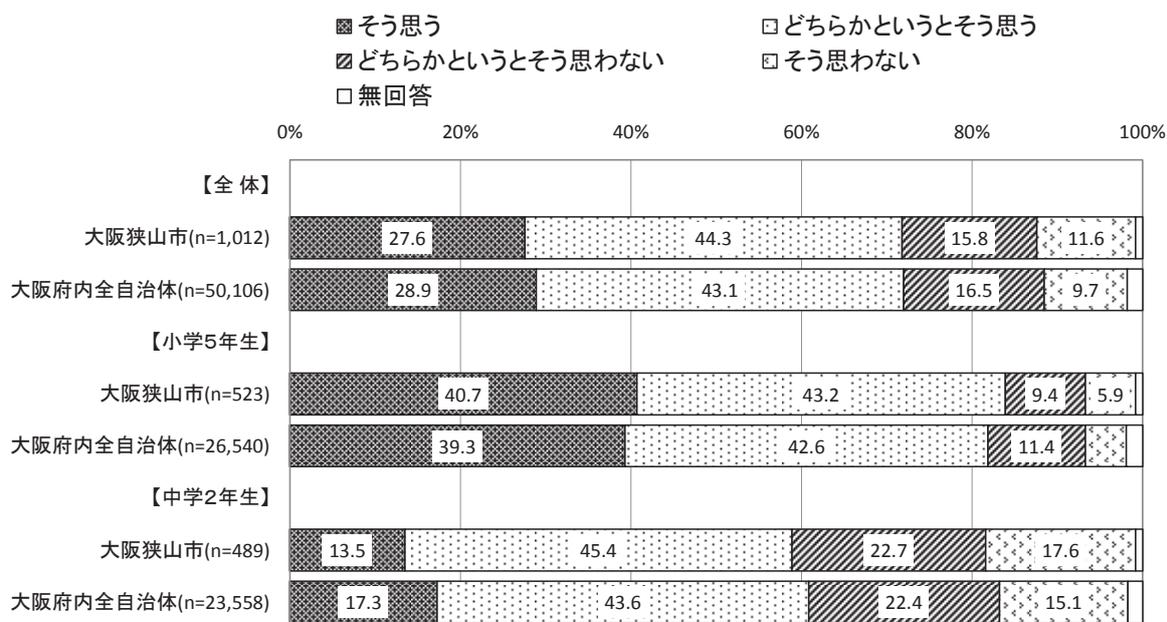


図 80. 大人は信用できる

子ども-23-4. 将来の夢や目標を持っている

問 23 (4) 自分の将来の夢や目標を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「持っている」が57.3%、「どちらかというを持っている」が20.4%、「どちらかというを持っていない」が10.9%、「持っていない」が11.2%、「無回答」が0.3%となり、「持っている」+「どちらかというを持っている」=『持っている』が77.7%、「どちらかというを持っていない」+「持っていない」=『持っていない』が22.0%となっている。

小学5年生では、「持っている」が70.0%、「どちらかというを持っている」が16.4%、「どちらかというを持っていない」が6.9%、「持っていない」が6.5%、「無回答」が0.2%となり、『持っている』が86.4%、『持っていない』が13.4%となっている。

中学2年生では、「持っている」が43.8%、「どちらかというを持っている」が24.5%、「どちらかというを持っていない」が15.1%、「持っていない」が16.2%、「無回答」が0.4%となり、『持っている』が68.3%、『持っていない』が31.3%となっている。

このことから、『持っている』は小学5年生では9割弱、中学2年生では7割弱になっている。次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

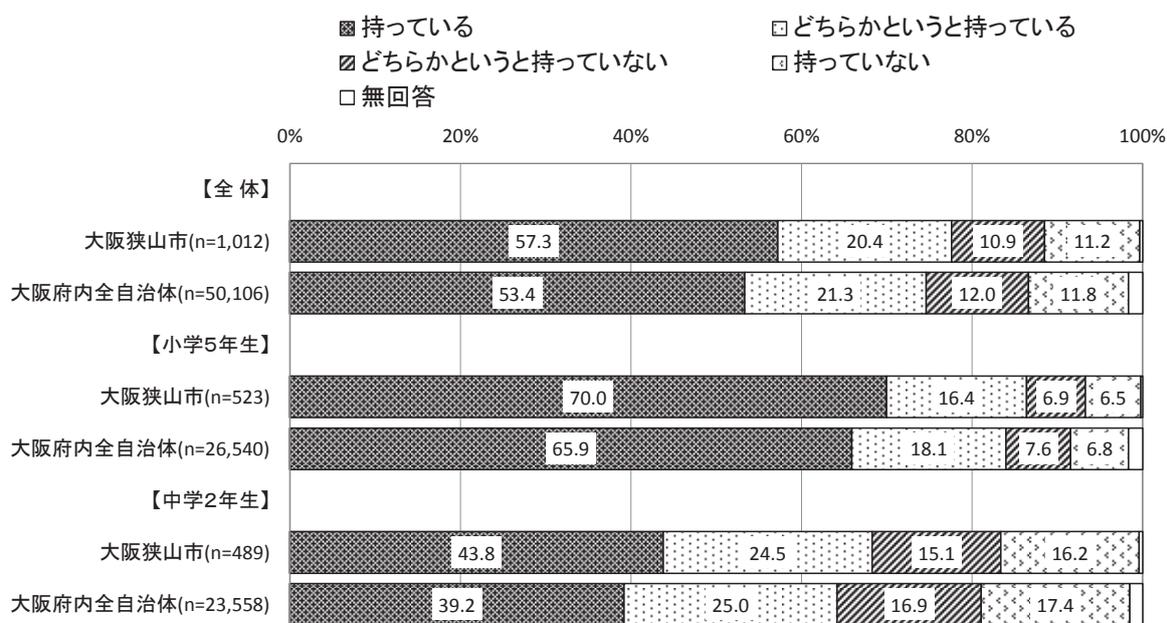


図 81. 将来の夢や目標を持っている

子ども-23-5. 将来のためにも、今、頑張りたい

問 23 (5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「そう思う」が60.6%、「どちらかというと思う」が28.5%、「どちらかというと思わない」が7.0%、「そう思わない」が3.4%、「無回答」が0.6%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が89.0%、「どちらかというと思わない」+「そう思わない」=『思わない』が10.4%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が67.1%、「どちらかというと思う」が24.1%、「どちらかというと思わない」が5.9%、「そう思わない」が2.1%、「無回答」が0.8%となり、『そう思う』が91.2%、『思わない』が8.0%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が53.6%、「どちらかというと思う」が33.1%、「どちらかというと思わない」が8.2%、「そう思わない」が4.7%、「無回答」が0.4%となり、『そう思う』が86.7%、『思わない』が12.9%となっている。

このことから、『そう思う』は小学5年生では9割強、中学2年生では9割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「そう思う」が6ポイント高くなっている。

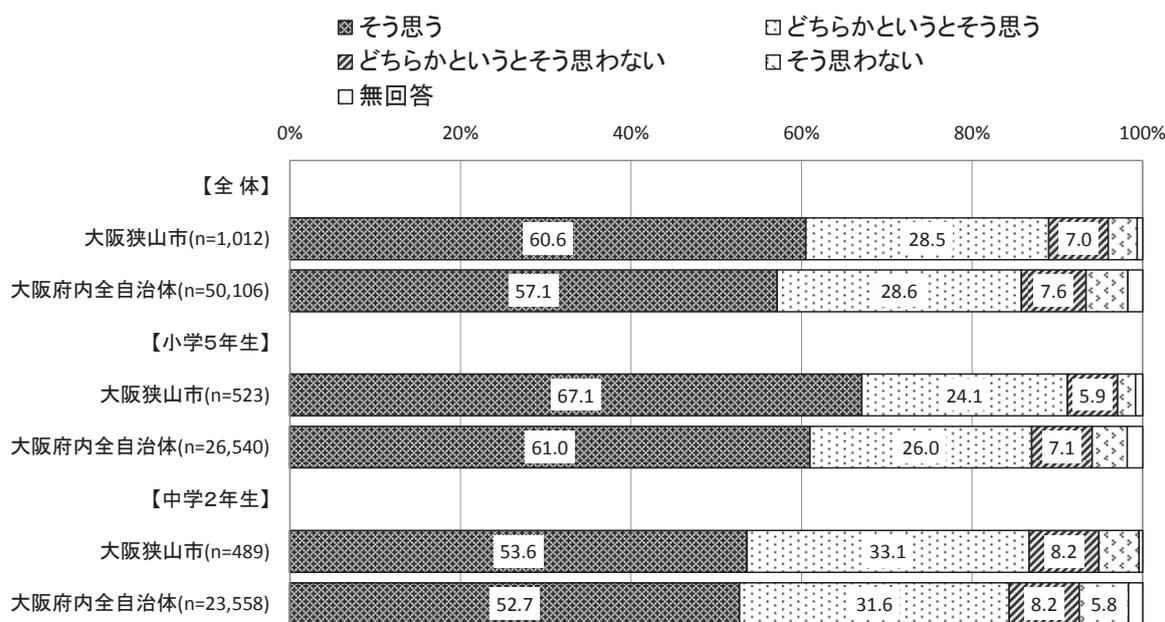


図 82. 将来のためにも、今、頑張りたい

子ども-23-6. 将来、働きたい

問 23 (6) 将来、働きたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「そう思う」が85.1%、「どちらかというと思う」が10.9%、「どちらかというと思わない」が1.5%、「そう思わない」が2.1%、「無回答」が0.5%となり、「そう思う」+「どちらかというと思う」=『そう思う』が95.9%、「どちらかというと思わない」+「そう思わない」=『思わない』が3.6%となっている。

小学5年生では、「そう思う」が81.3%、「どちらかというと思う」が14.0%、「どちらかというと思わない」が2.1%、「そう思わない」が2.1%、「無回答」が0.6%となり、『そう思う』が95.2%、『思わない』が4.2%となっている。

中学2年生では、「そう思う」が89.2%、「どちらかというと思う」が7.6%、「どちらかというと思わない」が0.8%、「そう思わない」が2.0%、「無回答」が0.4%となり、『そう思う』が96.7%、『思わない』が2.9%となっている。

このことから、『そう思う』は小学5年生、中学2年生ともに約10割となっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

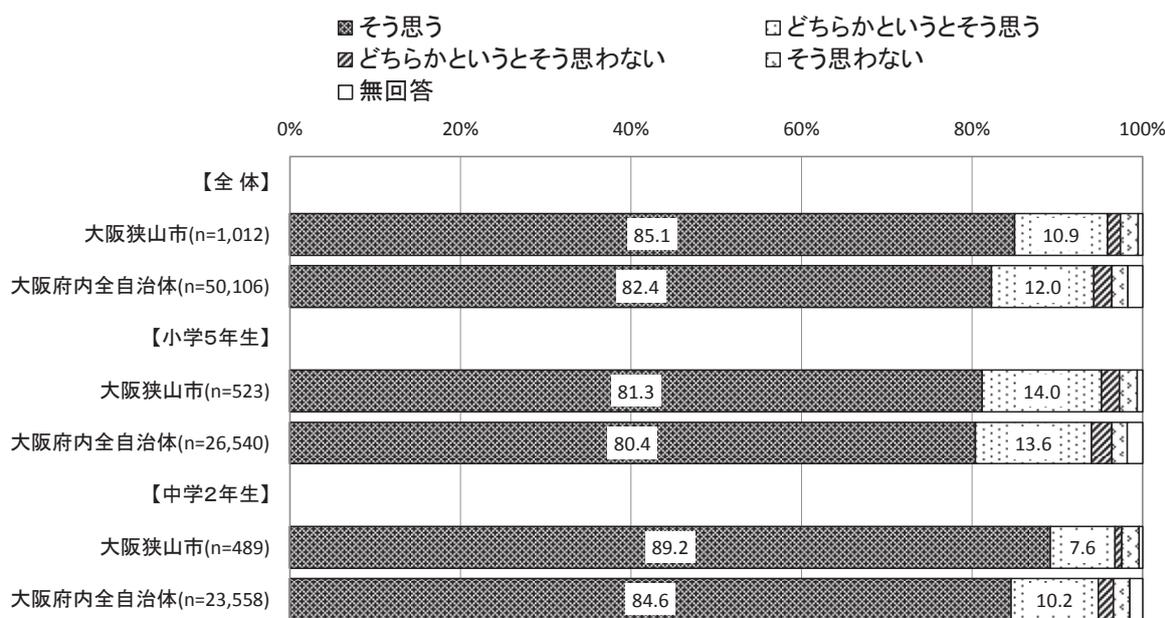


図 83. 将来、働きたい

保護者-5. 自家用車の所有

問5 あなた（世帯の方を含む）は自家用車を持っていますか。

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「持っている」が96.3%、「持っていない」が3.4%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生の保護者では、「持っている」が96.5%、「持っていない」が3.1%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生の保護者では、「持っている」が96.1%、「持っていない」が3.7%、「無回答」が0.2%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに自家用車を「持っている」は約10割になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「持っている」が保護者全体で19ポイント、小学5年生の保護者で18ポイント、中学2年生の保護者で20ポイントいずれも高くなっている。

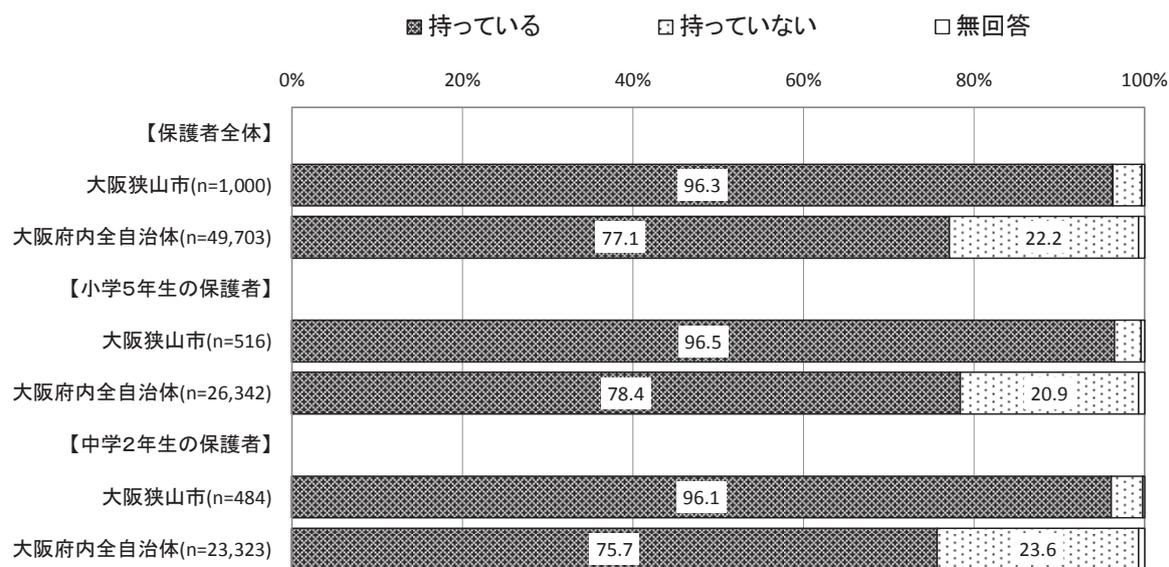


図 84. 自家用車の所有

(3) 教育環境

保護者-8. 母親の最終学歴

問8 お子さんのお母さんの最後に通った学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「中学校卒業」が1.5%、「高等学校中途退学」が2.1%、「高等学校卒業」が26.1%、「高専、短大、専門学校等卒業」が49.7%、「大学卒業」が15.1%、「大学院修了」が0.4%、「その他の教育機関卒業」が0.3%、「答えたくない」が1.0%、「無回答」が3.8%である。

小学5年生の保護者では、「中学校卒業」が2.1%、「高等学校中途退学」が1.6%、「高等学校卒業」が22.5%、「高専、短大、専門学校等卒業」が51.2%、「大学卒業」が17.4%、「大学院修了」が0.6%、「その他の教育機関卒業」が0.4%、「答えたくない」が1.2%、「無回答」が3.1%である。

中学2年生の保護者では、「中学校卒業」が0.8%、「高等学校中途退学」が2.7%、「高等学校卒業」が30.0%、「高専、短大、専門学校等卒業」が48.1%、「大学卒業」が12.6%、「大学院修了」が0.2%、「その他の教育機関卒業」が0.2%、「答えたくない」が0.8%、「無回答」が4.5%である。

このことから、「高専、短大、専門学校等卒業」が小学5年生の保護者で5割強、中学2年生の保護者で5割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「高専、短大、専門学校卒業」は保護者全体で8ポイント、小学5年生の保護者で9ポイント、中学2年生の保護者で7ポイントそれぞれ高くなっている。また、小学5年生の保護者で「高等学校卒業」が6ポイント低い。

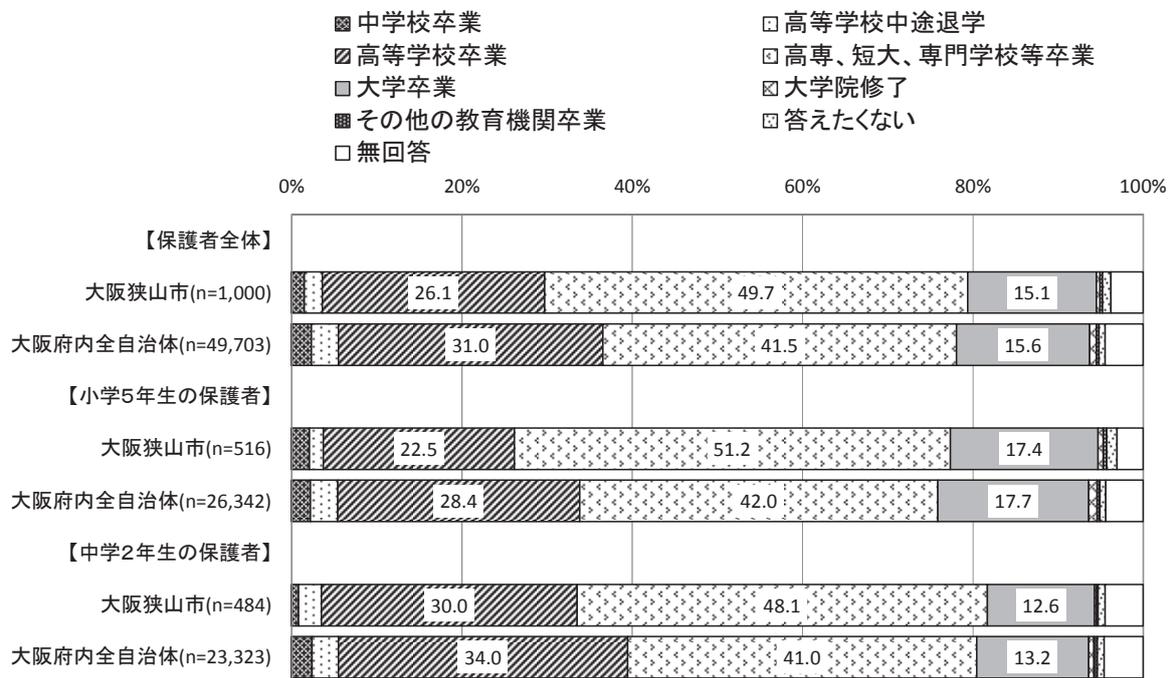


図 85. 母親の最終学歴

保護者-8. 父親の最終学歴

問8 お子さんのお父さんの最後に通った学校を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「中学校卒業」が1.5%、「高等学校中途退学」が2.7%、「高等学校卒業」が30.7%、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.0%、「大学卒業」が31.2%、「大学院修了」が2.9%、「その他の教育機関卒業」が0.2%、「答えたくない」が1.2%、「無回答」が13.6%である。

小学5年生の保護者では、「中学校卒業」が1.6%、「高等学校中途退学」が2.5%、「高等学校卒業」が28.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」が17.2%、「大学卒業」が32.0%、「大学院修了」が4.1%、「その他の教育機関卒業」が0.4%、「答えたくない」が1.2%、「無回答」が12.8%である。

中学2年生の保護者では、「中学校卒業」が1.4%、「高等学校中途退学」が2.9%、「高等学校卒業」が33.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」が14.7%、「大学卒業」が30.4%、「大学院修了」が1.7%、「その他の教育機関卒業」が該当なし、「答えたくない」が1.2%、「無回答」が14.5%である。

このことから、「大学卒業」、「高等学校卒業」は小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともそれぞれ3割前後になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

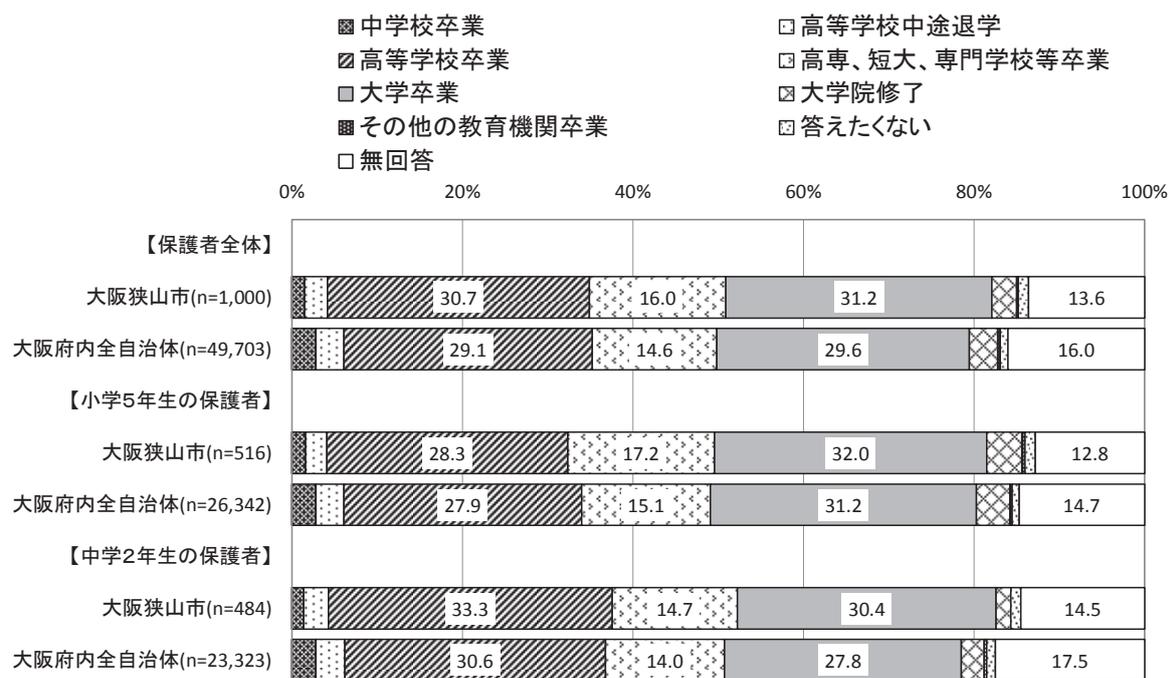


図 86. 父親の最終学歴

子ども-14. 授業以外の勉強時間

問 14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「まったくしない」が6.4%、「30分より少ない」が13.6%、「30分以上、1時間より少ない」が21.4%、「1時間以上、2時間より少ない」が26.4%、「2時間以上、3時間より少ない」が15.7%、「3時間以上」が8.1%、「わからない」が8.0%、「無回答」が0.3%である。

小学5年生では、「まったくしない」が1.9%、「30分より少ない」が9.9%、「30分以上、1時間より少ない」が26.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が29.6%、「2時間以上、3時間より少ない」が13.0%、「3時間以上」が10.1%、「わからない」が8.4%、「無回答」が0.2%である。

中学2年生では、「まったくしない」が11.2%、「30分より少ない」が17.6%、「30分以上、1時間より少ない」が15.7%、「1時間以上、2時間より少ない」が22.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が18.6%、「3時間以上」が5.9%、「わからない」が7.6%、「無回答」が0.4%である。

このことから、小学5年生では「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」が3割弱、中学2年生では「1時間以上、2時間より少ない」が2割強でそれぞれ高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

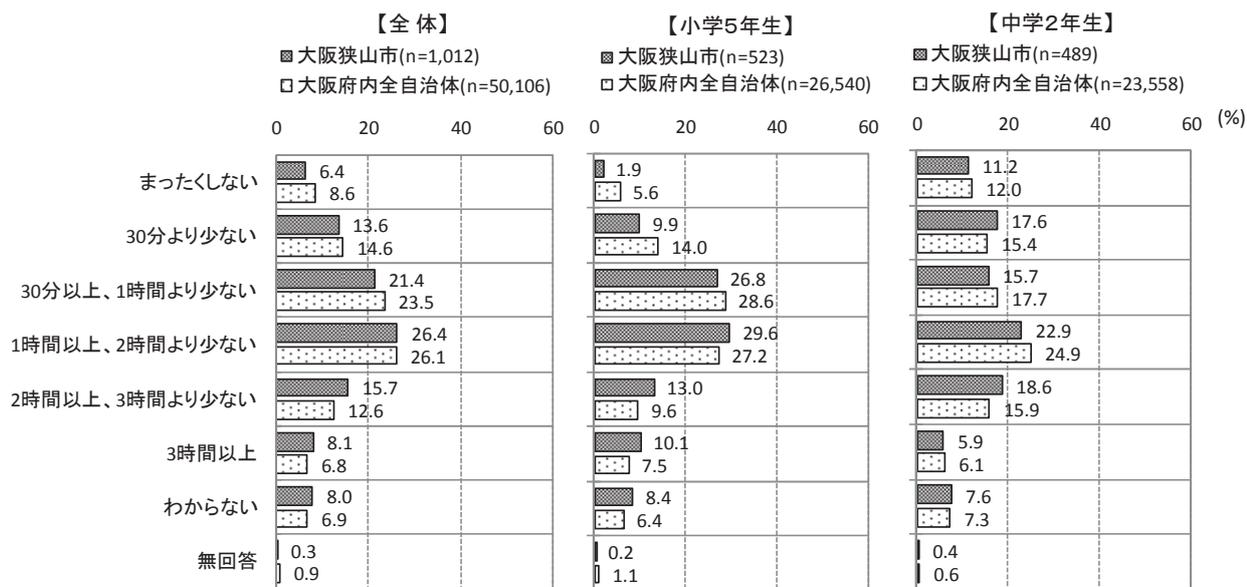


図 87. 授業以外の勉強時間

子ども-15. 学校の勉強で気持ちに近いもの

問 15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「よくわかる」が 20.9%、「だいたいわかる」が 58.8%、「あまりわからない」が 13.7%、「ほとんどわからない」が 3.0%、「わからない」が 3.0%、「無回答」が 0.6%となり、「よくわかる」+「だいたいわかる」=『わかる』が 79.7%、「あまりわからない」+「ほとんどわからない」+「わからない」=『わからない』が 19.7%となっている。

小学5年生では、「よくわかる」が 31.2%、「だいたいわかる」が 59.3%、「あまりわからない」が 5.7%、「ほとんどわからない」が 0.8%、「わからない」が 2.3%、「無回答」が 0.8%となり、『わかる』が 90.4%、『わからない』が 8.8%となっている。

中学2年生では、「よくわかる」が 10.0%、「だいたいわかる」が 58.3%、「あまりわからない」が 22.3%、「ほとんどわからない」が 5.3%、「わからない」が 3.7%、「無回答」が 0.4%となり、『わかる』が 68.3%、『わからない』が 31.3%となっている。

このことから、『わかる』は小学5年生では9割、中学2年生では7割弱になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

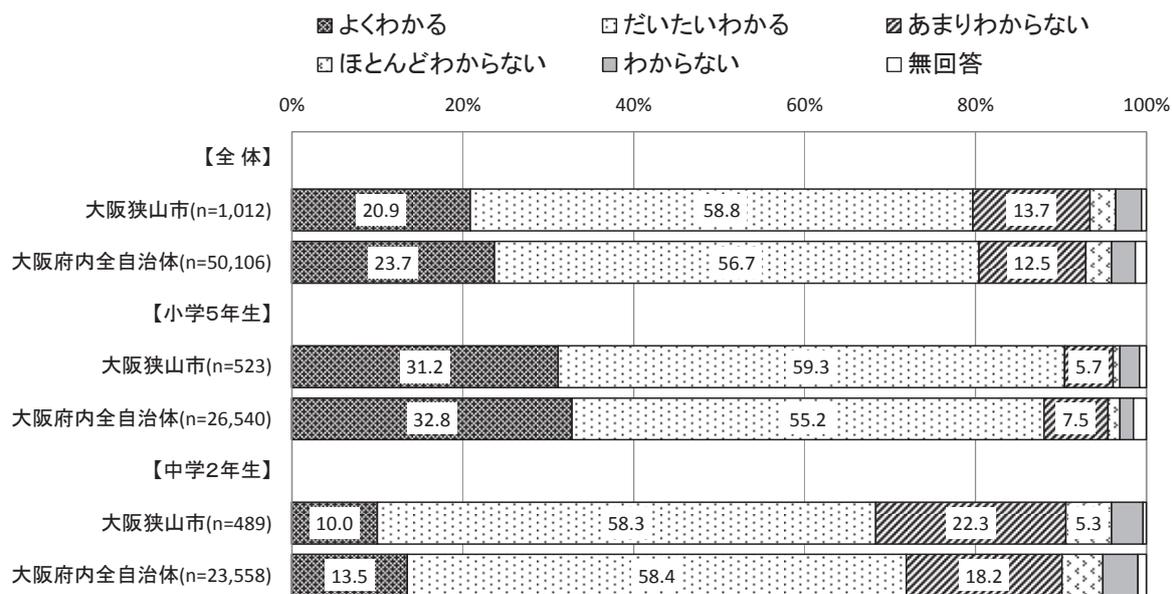


図 88. 学校の勉強で気持ちに近いもの

子ども-16. 授業以外の読書時間

問 16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「まったくしない」が35.2%、「30分より少ない」が29.8%、「30分以上、1時間より少ない」が14.5%、「1時間以上、2時間より少ない」が8.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.1%、「3時間以上」が2.5%、「わからない」が7.7%、「無回答」が0.2%である。

小学5年生では、「まったくしない」が27.2%、「30分より少ない」が33.3%、「30分以上、1時間より少ない」が17.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が9.8%、「2時間以上、3時間より少ない」が1.5%、「3時間以上」が2.9%、「わからない」が8.0%、「無回答」が0.4%である。

中学2年生では、「まったくしない」が43.8%、「30分より少ない」が26.2%、「30分以上、1時間より少ない」が11.9%、「1時間以上、2時間より少ない」が6.1%、「2時間以上、3時間より少ない」が2.7%、「3時間以上」が2.0%、「わからない」が7.4%である。

このことから、小学5年生では「30分より少ない」が3割強、中学2年生では「まったくしない」が4割強で最も高い。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

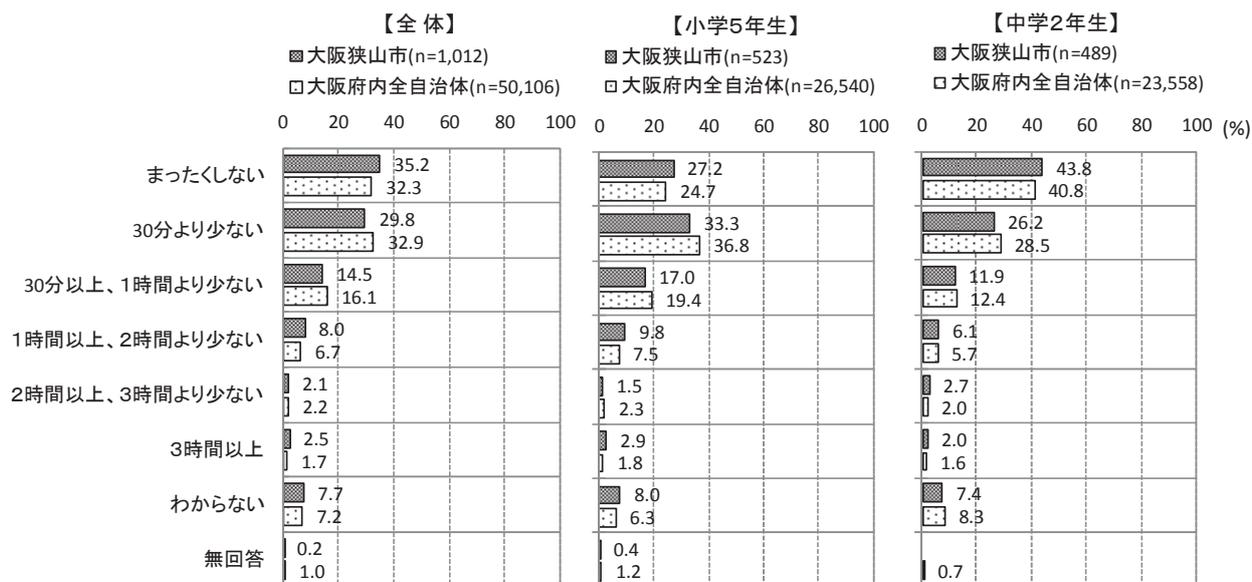


図 89. 授業以外の読書時間

子ども-24. 希望する進学先

問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「中学校」が0.9%、「高校」が13.1%、「大学・短期大学」が36.5%、「大学院」が4.2%、「留学」が5.3%、「専門学校」が20.4%、「考えたことがない」が9.6%、「わからない」が9.4%、「無回答」が0.6%である。

小学5年生では、「中学校」が1.3%、「高校」が12.2%、「大学・短期大学」が29.4%、「大学院」が4.8%、「留学」が4.4%、「専門学校」が25.8%、「考えたことがない」が12.8%、「わからない」が8.4%、「無回答」が0.8%である。

中学2年生では、「中学校」が0.4%、「高校」が14.1%、「大学・短期大学」が44.0%、「大学院」が3.7%、「留学」が6.3%、「専門学校」が14.5%、「考えたことがない」が6.1%、「わからない」が10.4%、「無回答」が0.4%である。

このことから、「大学・短期大学」は小学5年生では3割弱、中学2年生では4割強で最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「専門学校」が8ポイント高く、「大学・短期大学」が7ポイント低くなっている。

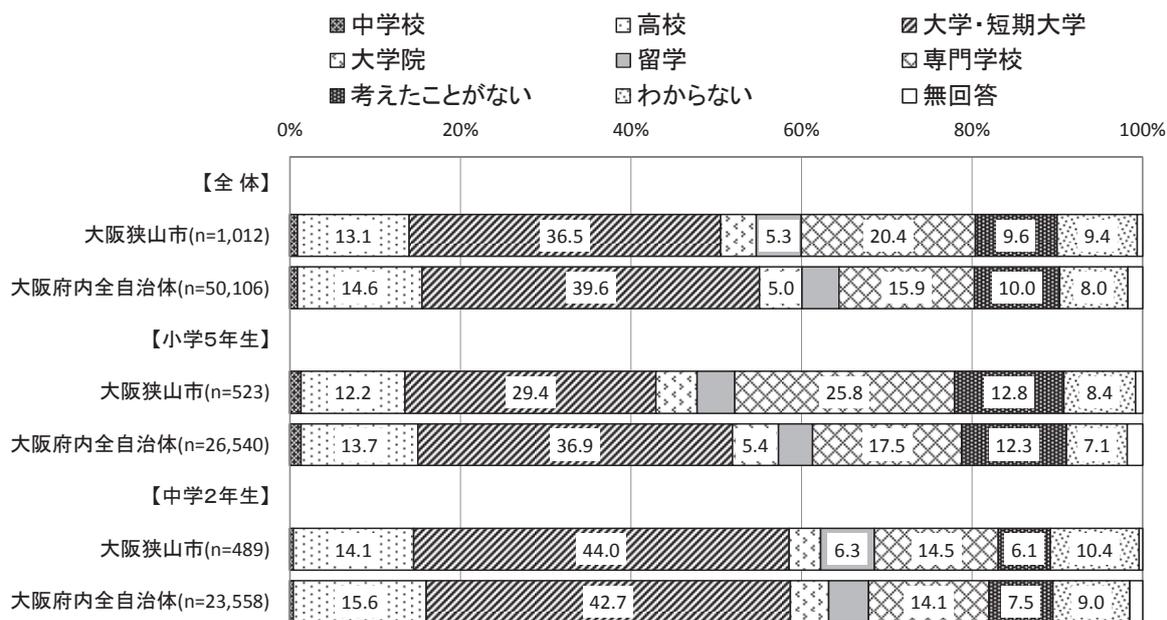


図 90. 希望する進学先

(4) 社会環境

保護者-20-1. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

問 20 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が87.5%、「いない」が4.9%、「わからない」が6.6%、「無回答」が1.0%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が87.6%、「いない」が4.3%、「わからない」が7.2%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が87.4%、「いない」が5.6%、「わからない」が6.0%、「無回答」が1.0%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「いる」が9割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

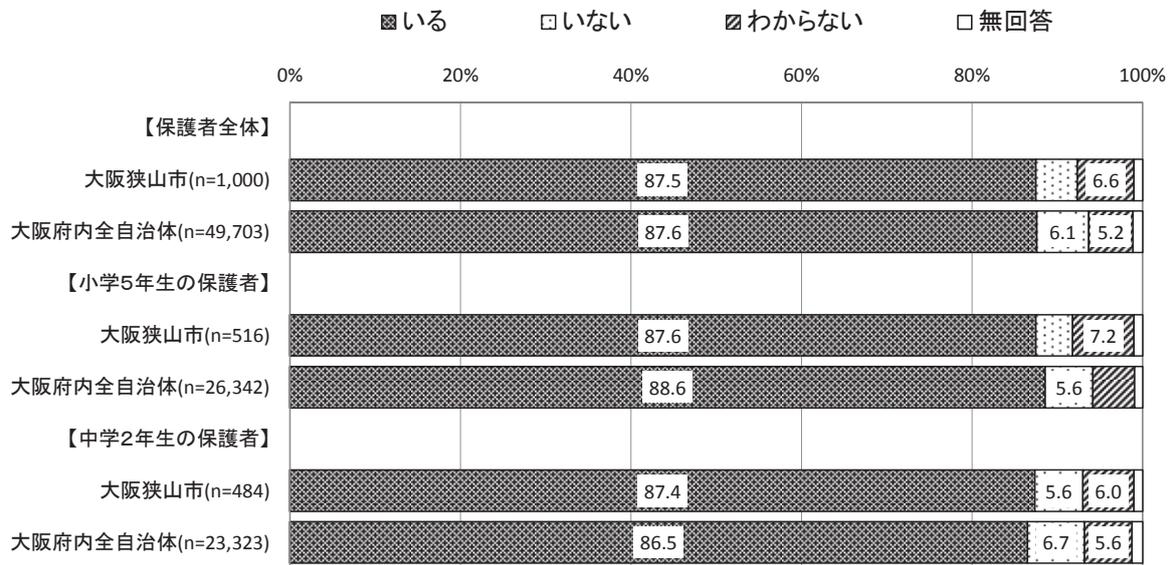


図 91. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者-20-2. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

問 20 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が79.8%、「いない」が7.4%、「わからない」が11.4%、「無回答」が1.4%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が79.7%、「いない」が7.2%、「わからない」が11.8%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が80.0%、「いない」が7.6%、「わからない」が11.0%、「無回答」が1.4%である。

このことから、「いる」が小学5年生の保護者で8割弱、中学2年生の保護者で8割になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

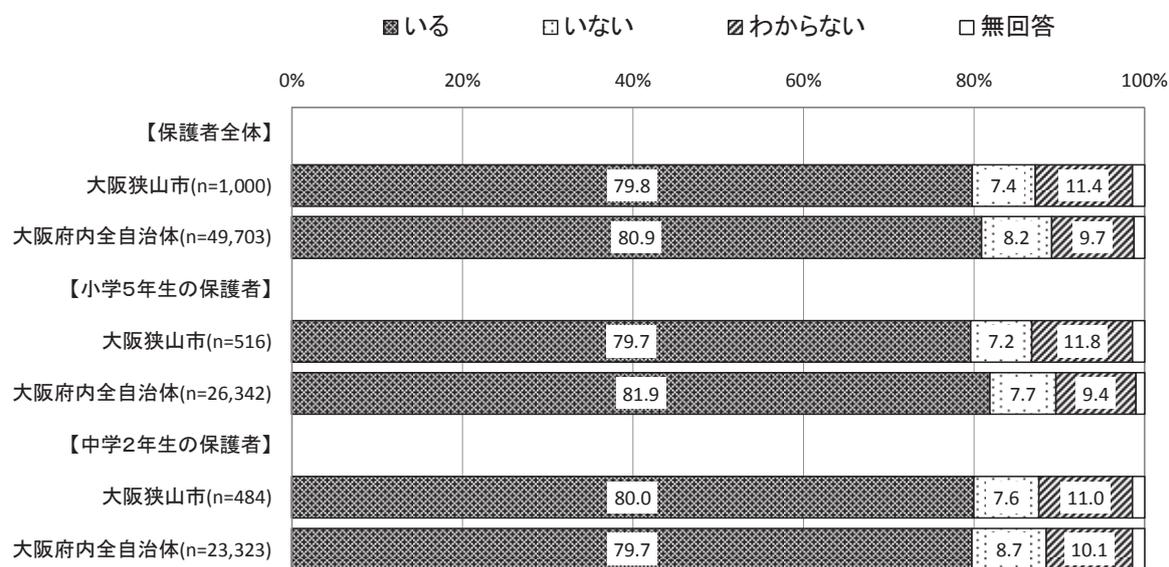


図 92. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

保護者-20-3. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

問 20 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が82.6%、「いない」が7.6%、「わからない」が8.2%、「無回答」が1.6%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が81.6%、「いない」が8.9%、「わからない」が7.9%、「無回答」が1.6%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が83.7%、「いない」が6.2%、「わからない」が8.5%、「無回答」が1.7%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「いる」が8割強になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

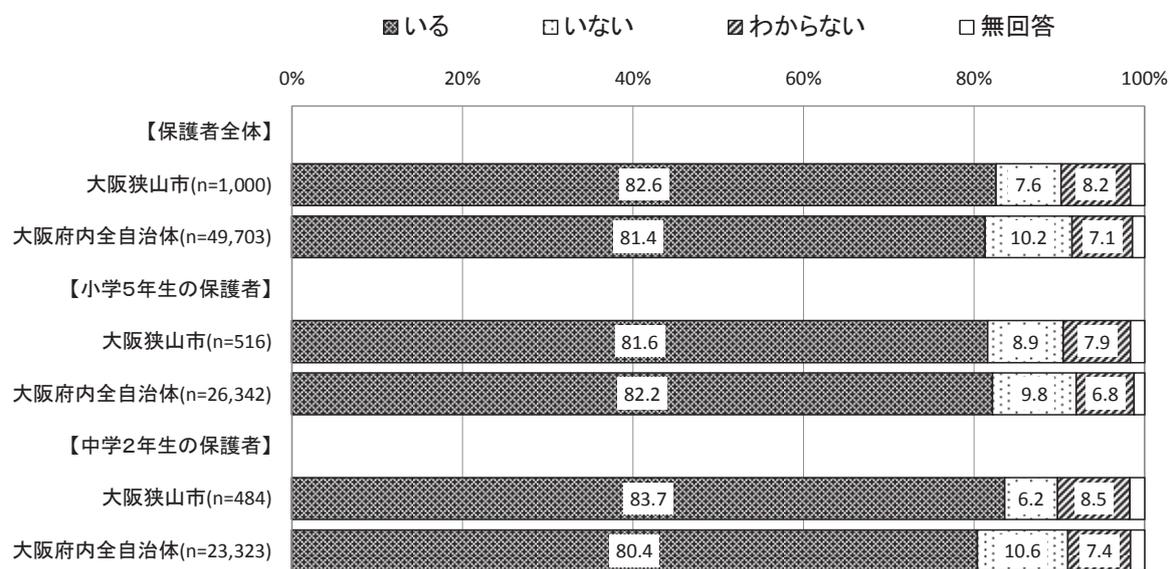


図 93. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者-20-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

問 20 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が79.7%、「いない」が7.1%、「わからない」が11.1%、「無回答」が2.1%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が81.4%、「いない」が7.0%、「わからない」が9.7%、「無回答」が1.9%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が77.9%、「いない」が7.2%、「わからない」が12.6%、「無回答」が2.3%である。

このことから、「いる」が小学5年生の保護者で8割強、中学2年生の保護者で8割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

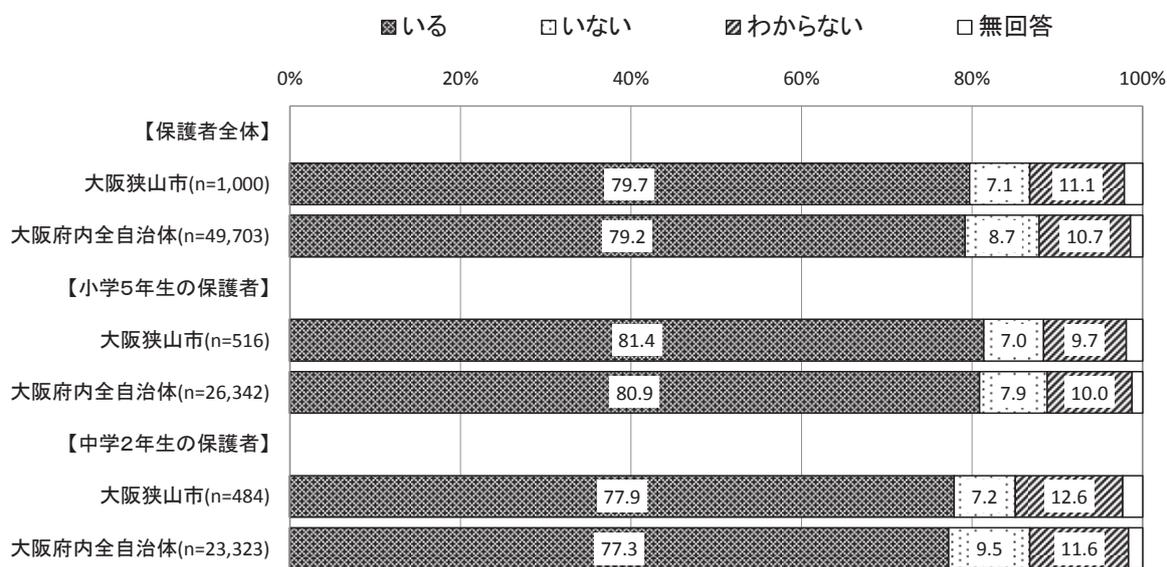


図 94. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-20-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

問 20 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が70.5%、「いない」が12.7%、「わからない」が15.2%、「無回答」が1.6%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が72.9%、「いない」が13.4%、「わからない」が12.4%、「無回答」が1.4%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が68.0%、「いない」が12.0%、「わからない」が18.2%、「無回答」が1.9%である。

このことから、「いる」が小学5年生の保護者で7割強、中学2年生の保護者で7割弱になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

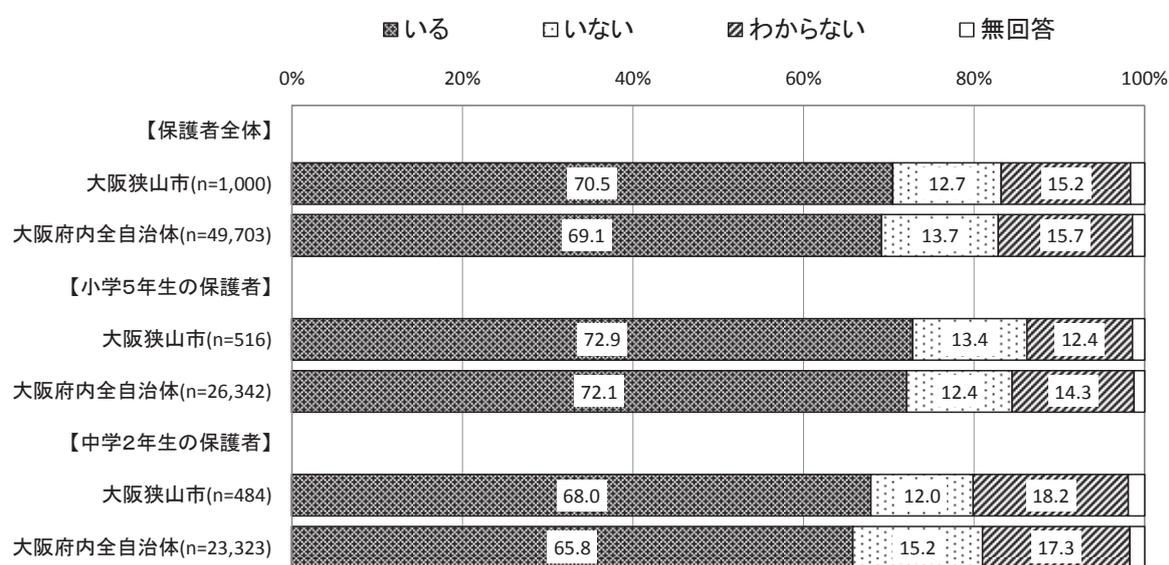


図 95. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-20-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

問 20 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が72.7%、「いない」が20.3%、「わからない」が5.8%、「無回答」が1.2%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が73.1%、「いない」が20.2%、「わからない」が5.8%、「無回答」が1.0%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が72.3%、「いない」が20.5%、「わからない」が5.8%、「無回答」が1.4%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者ともに「いる」が7割強になっている。次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

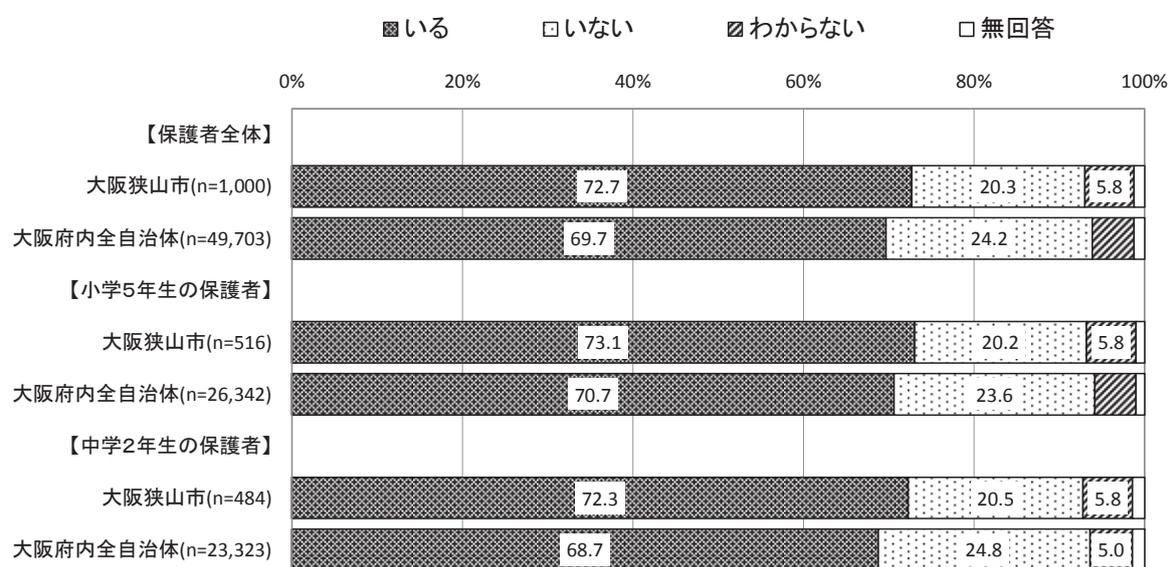


図 96. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-20-7. 留守を頼める人

問 20 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪狭山市の保護者全体では、「いる」が72.4%、「いない」が21.1%、「わからない」が5.2%、「無回答」が1.3%である。

小学5年生の保護者では、「いる」が72.9%、「いない」が21.1%、「わからない」が4.8%、「無回答」が1.2%である。

中学2年生の保護者では、「いる」が71.9%、「いない」が21.1%、「わからない」が5.6%、「無回答」が1.4%である。

このことから、小学5年生の保護者、中学2年生の保護者とも「いる」が7割強になっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、「いる」が保護者全体で6ポイント、小学5年生の保護者で5ポイント、中学2年生の保護者で8ポイントそれぞれ高くなっている。

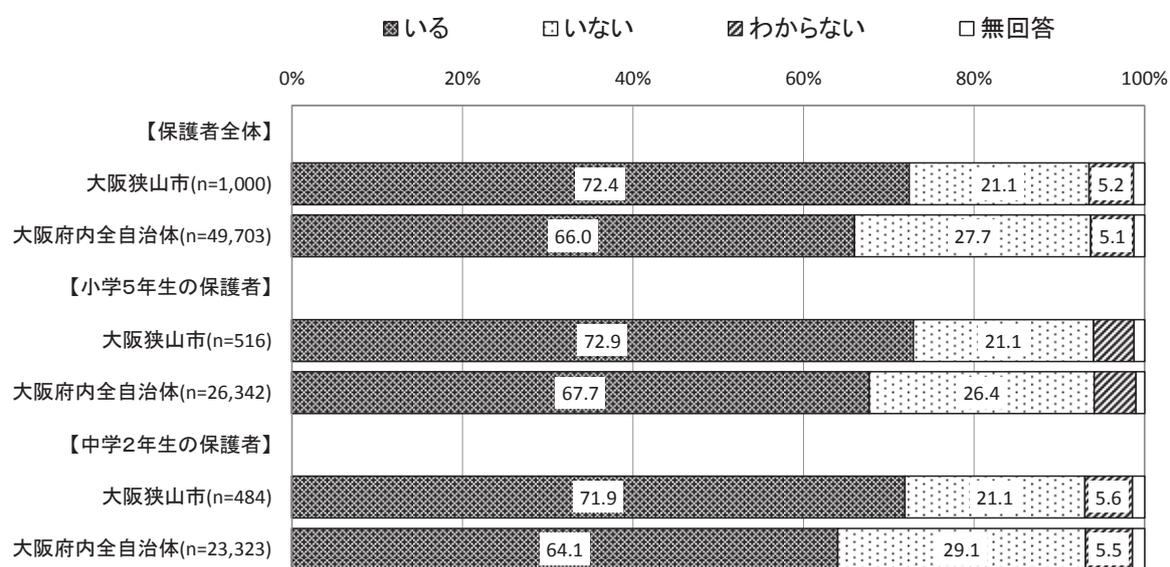


図 97. 留守を頼める人

保護者-21. 困ったときの相談先

問 21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の保護者全体では、「配偶者・パートナー」が72.8%、「自分の親」が69.3%、「近隣に住む知人や友人」が47.3%、「きょうだい・その他の親戚」が34.6%、「近隣に住んでいない知人や友人」が22.5%の順に高く、「相談できる相手がない」が2.6%になっている。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が76.2%、「自分の親」が71.5%、「近隣に住む知人や友人」が49.4%、「きょうだい・その他の親戚」が34.3%、「近隣に住んでいない知人や友人」が22.7%の順に高く、「相談できる相手がない」が2.1%になっている。

中学2年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が69.2%、「自分の親」が66.9%、「近隣に住む知人や友人」が45.0%、「きょうだい・その他の親戚」が34.9%、「近隣に住んでいない知人や友人」が22.3%の順に高く、「相談できる相手がない」が3.1%になっている。

このことから、「配偶者・パートナー」、「自分の親」が7割弱から8割弱を占めている。また、「相談できる相手がない」は3%前後に留まっている。

次に、大阪府内全自治体の保護者と比較してみると、差異はほとんどみられない。

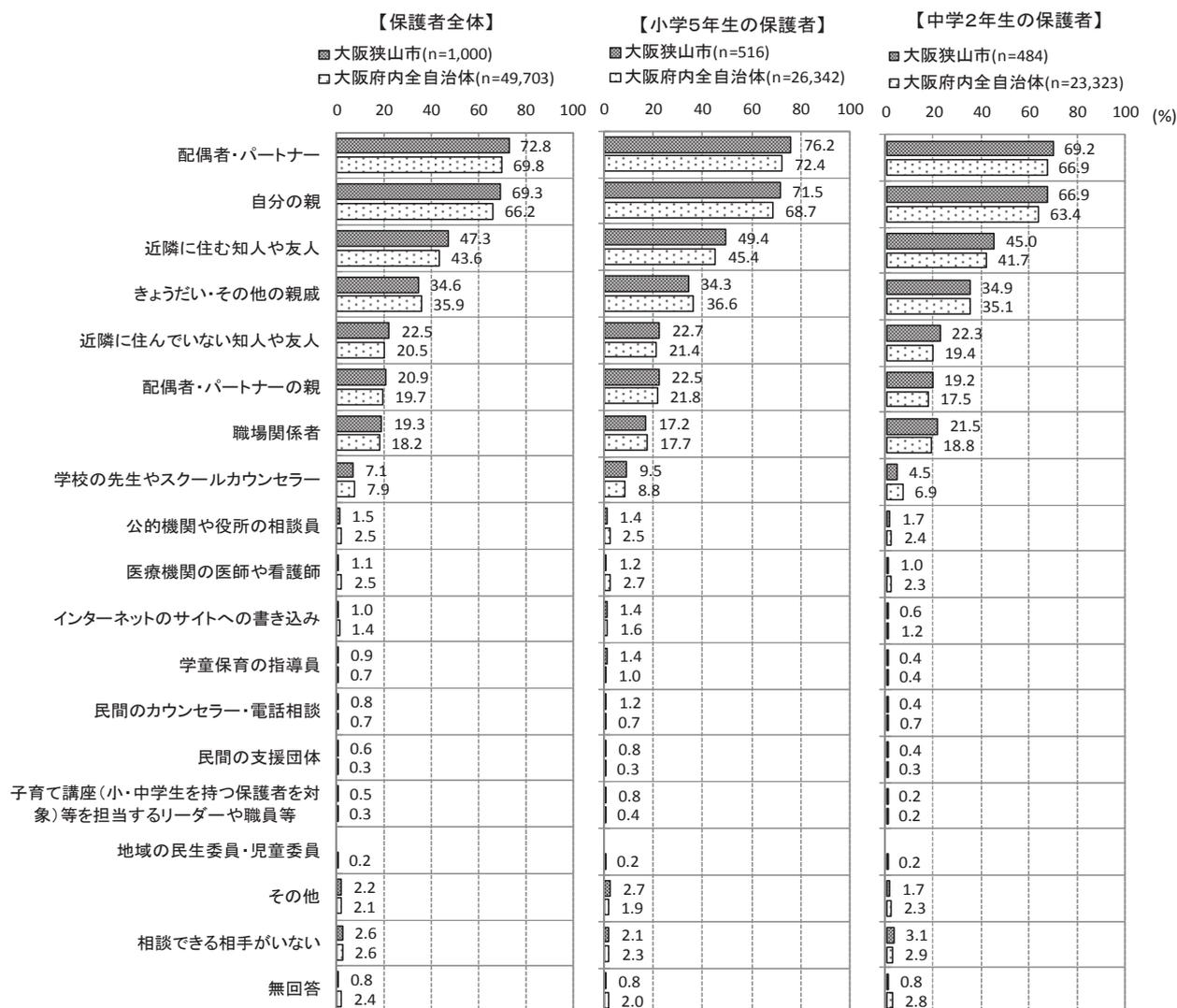


図 98. 困ったときの相談先

子ども-19. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

問 19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか（だれに話しますか。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪狭山市の全体では、「親」が57.9%、「学校のともだち」が46.6%、「きょうだい」が18.5%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が13.1%、「だれにも相談したくない」が13.1%の順に高く、「だれにも相談できない」が4.1%になっている。

小学5年生では、「親」が66.5%、「学校のともだち」が37.9%、「きょうだい」が20.5%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が17.8%、「担任の先生や他のクラスの先生」が14.5%の順に高く、「だれにも相談したくない」が12.4%、「だれにも相談できない」が5.0%になっている。

中学2年生では、「学校のともだち」が56.0%、「親」が48.7%、「きょうだい」が16.4%、「だれにも相談したくない」が13.9%、「塾や習いごとのともだち」が10.4%の順に高く、「だれにも相談できない」が3.1%になっている。

このことから、小学5年生では「親」が7割弱で高く、中学2年生では「学校のともだち」が6割弱、「親」が5割弱で高くなっている。「だれにも相談したくない」は小学5年生、中学2年生とも1割強である。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「おばあちゃん・おじいちゃん」、「いところ」がそれぞれ6ポイント高くなっている。

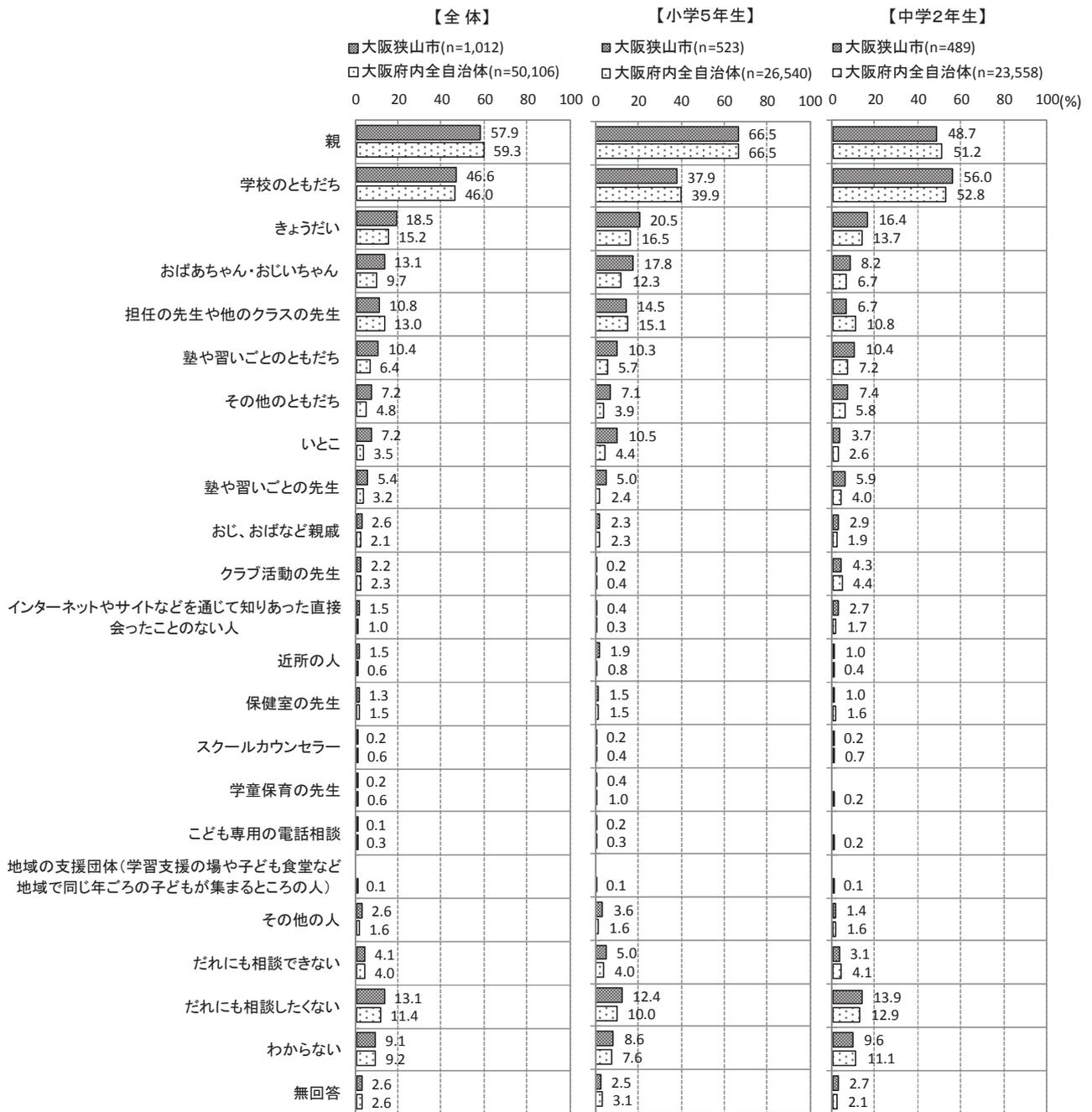


図 99. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども-20-1. 失敗したときに助けてくれる人

問 20 ① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が72.3%、「ともだち」が62.7%、「お父さん」が50.1%、「おじいさん・おばあさん」が31.9%、「きょうだい」が28.7%の順に高く、「誰もいない」が2.1%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が75.5%、「ともだち」が55.8%、「お父さん」が53.0%、「おじいさん・おばあさん」が35.9%、「きょうだい」が29.8%の順に高く、「誰もいない」が1.7%になっている。

中学2年生では、「ともだち」が70.1%、「お母さん」が68.9%、「お父さん」が47.0%、「おじいさん・おばあさん」が27.6%、「きょうだい」が27.4%の順に高く、「誰もいない」が2.5%になっている。

このことから、小学5年生で「お母さん」が8割弱、中学2年生では「お母さん」と「ともだち」が7割前後で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

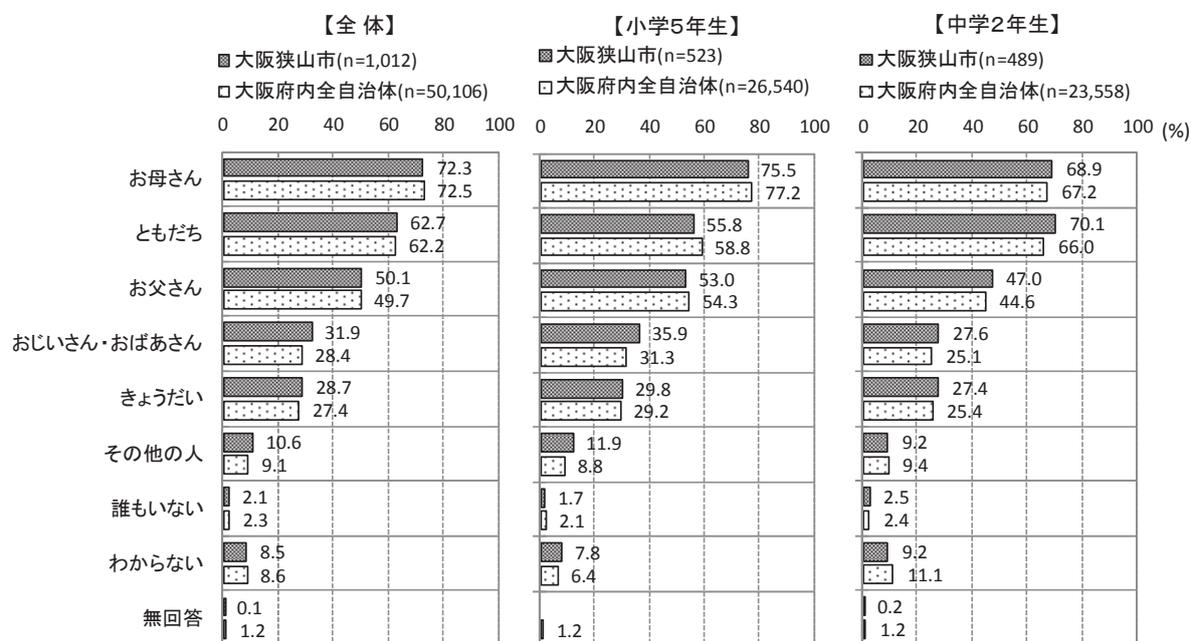


図 100. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-20-2. 頑張ったときにほめてくれる人

問 20 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が77.7%、「お父さん」が61.2%、「おじいさん・おばあさん」が46.0%、「ともだち」が39.4%、「きょうだい」が20.3%の順に高く、「誰もいない」が3.9%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が82.4%、「お父さん」が65.4%、「おじいさん・おばあさん」が54.3%、「ともだち」が30.4%、「きょうだい」が22.9%の順に高く、「誰もいない」が4.2%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が72.6%、「お父さん」が56.6%、「ともだち」が49.1%、「おじいさん・おばあさん」が37.2%、「きょうだい」が17.4%の順に高く、「誰もいない」が3.5%になっている。

このことから、「お母さん」は小学5年生では8割強、中学2年生では7割強と高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「おじいさん・おばあさん」が8ポイント高く、「ともだち」が7ポイント低くなっている。

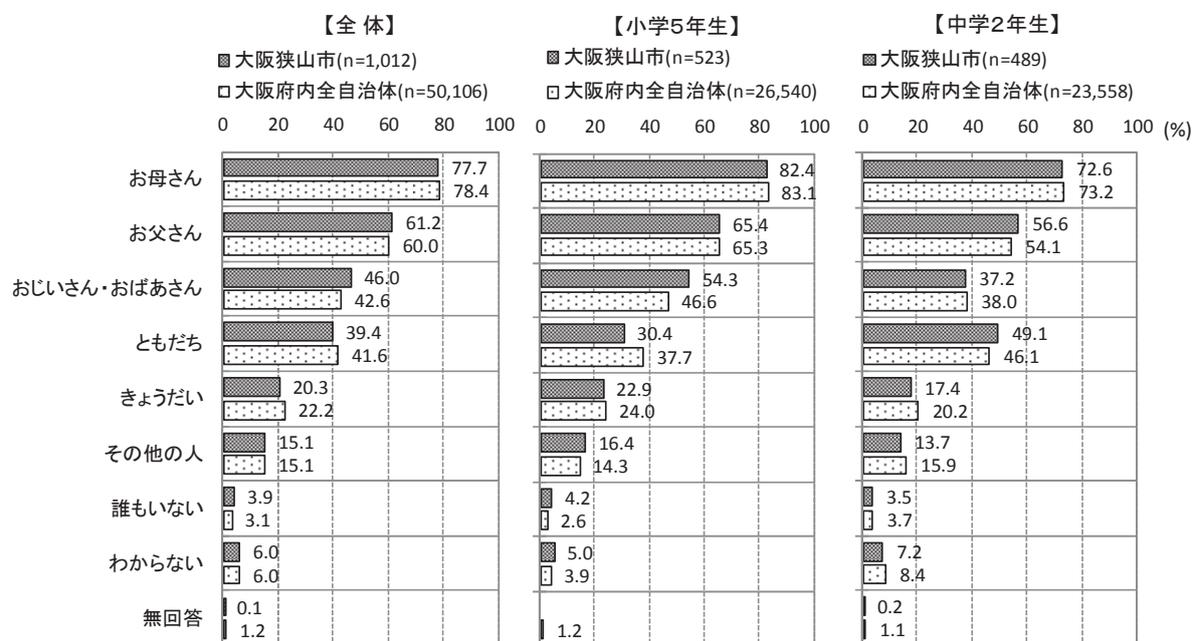


図 101. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども-20-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

問 20 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「ともだち」が59.1%、「お母さん」が58.6%、「お父さん」が40.3%、「おじいさん・おばあさん」が29.0%、「きょうだい」が28.0%の順に高く、「誰もいない」が3.6%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が68.3%、「ともだち」が51.6%、「お父さん」が48.4%、「おじいさん・おばあさん」が36.5%、「きょうだい」が31.0%の順に高く、「誰もいない」が3.6%になっている。

中学2年生では、「ともだち」が67.1%、「お母さん」が48.3%、「お父さん」が31.7%、「きょうだい」が24.7%、「おじいさん・おばあさん」が20.9%の順に高く、「誰もいない」が3.5%になっている。

このことから、小学5年生では「お母さん」、中学2年生では「ともだち」がそれぞれ7割弱で最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生では「おじいさん・おばあさん」が7ポイント高く、「ともだち」が5ポイント低くなっている。

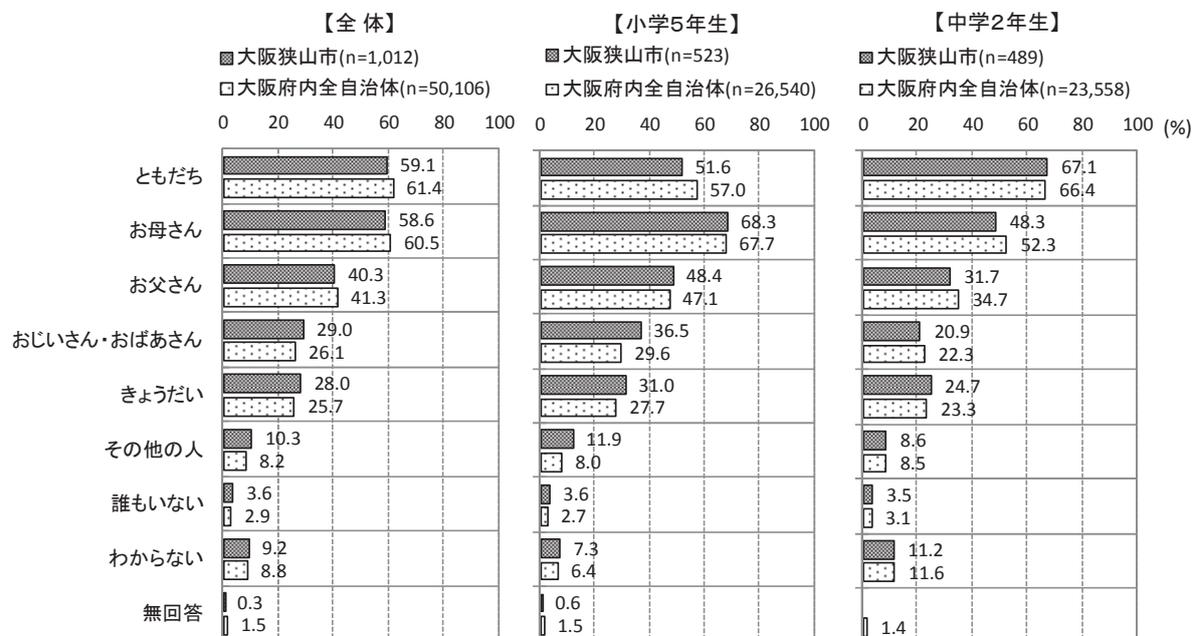


図 102. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-20-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

問 20 ④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が65.7%、「お父さん」が43.5%、「ともだち」が41.7%、「おじいさん・おばあさん」が30.7%、「きょうだい」が27.4%の順に高く、「誰もいない」が5.2%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が75.1%、「お父さん」が52.0%、「おじいさん・おばあさん」が39.4%、「ともだち」が34.2%、「きょうだい」が30.8%の順に高く、「誰もいない」が4.6%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が55.6%、「ともだち」が49.7%、「お父さん」が34.4%、「きょうだい」が23.7%、「おじいさん・おばあさん」が21.5%の順に高く、「誰もいない」が5.9%になっている。

このことから、小学5年生では「お母さん」が8割弱、「お父さん」が5割強、中学2年生では「お母さん」が6割弱、「ともだち」が5割弱でそれぞれ高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「ともだち」が6ポイント低くなっている。

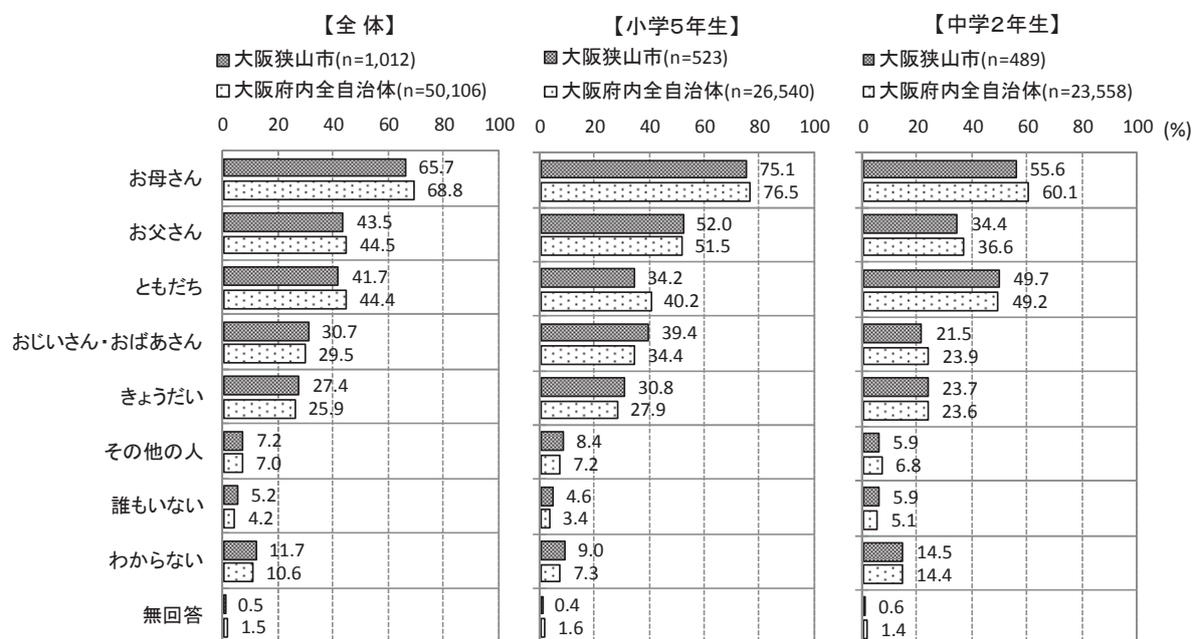


図 103. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-20-5. あなたのことを信じてくれる人

問 20 ⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が66.7%、「お父さん」が52.3%、「おじいさん・おばあさん」が41.6%、「ともだち」が39.1%、「きょうだい」が27.8%の順に高く、「誰もいない」が3.8%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が71.7%、「お父さん」が57.7%、「おじいさん・おばあさん」が48.9%、「ともだち」が38.6%、「きょうだい」が32.3%の順に高く、「誰もいない」が2.5%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が61.3%、「お父さん」が46.4%、「ともだち」が39.7%、「おじいさん・おばあさん」が33.7%、「きょうだい」が22.9%の順に高く、「誰もいない」が5.1%になっている。

このことから、「お母さん」は小学5年生では7割強、中学2年生では6割強で最も高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「おじいさん・おばあさん」が5ポイント高くなっている。

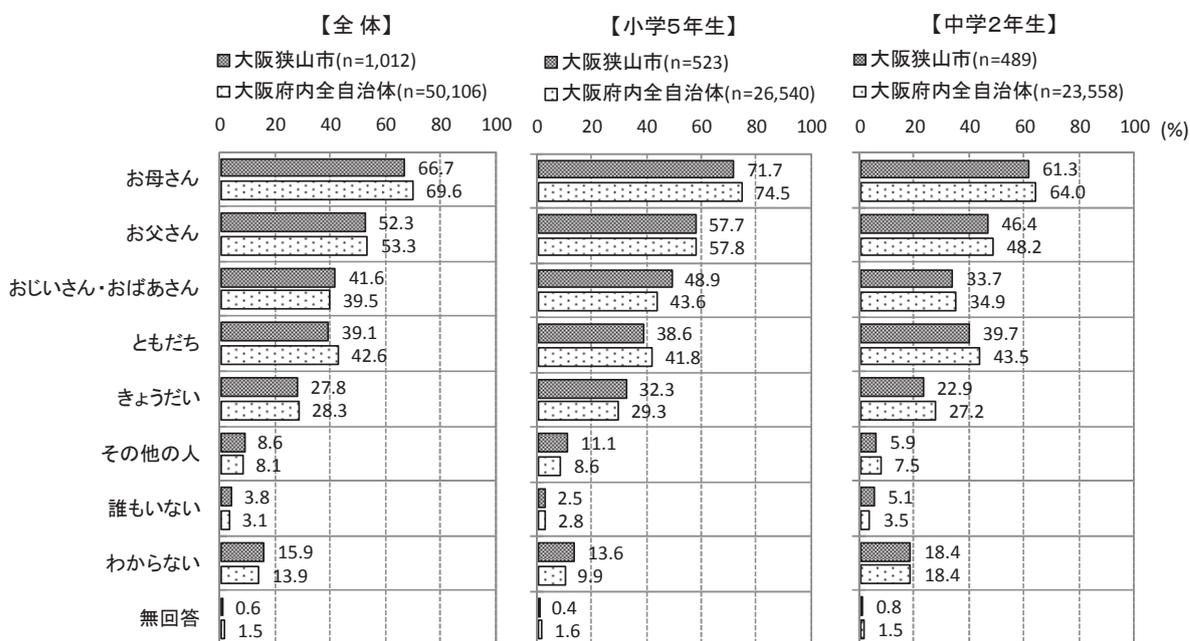


図 104. あなたのことを信じてくれる人

子ども-20-6. 悩んだときの対処を教えてください

問 20 ⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてください。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が66.4%、「ともだち」が44.1%、「お父さん」が41.9%、「おじいさん・おばあさん」が27.7%、「きょうだい」が18.1%の順に高く、「誰もいない」が4.3%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が74.8%、「お父さん」が50.5%、「ともだち」が38.0%、「おじいさん・おばあさん」が35.9%、「きょうだい」が21.2%の順に高く、「誰もいない」が4.2%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が57.5%、「ともだち」が50.5%、「お父さん」が32.7%、「おじいさん・おばあさん」が18.8%、「わからない」が15.1%の順に高く、「誰もいない」が4.5%になっている。

このことから、「お母さん」は小学5年生では7割強、中学2年生では6割弱で最も高く、次いで高いのは小学5年生で「お父さん」、中学2年生では「ともだち」がそれぞれ5割になっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、差異はほとんどみられない。

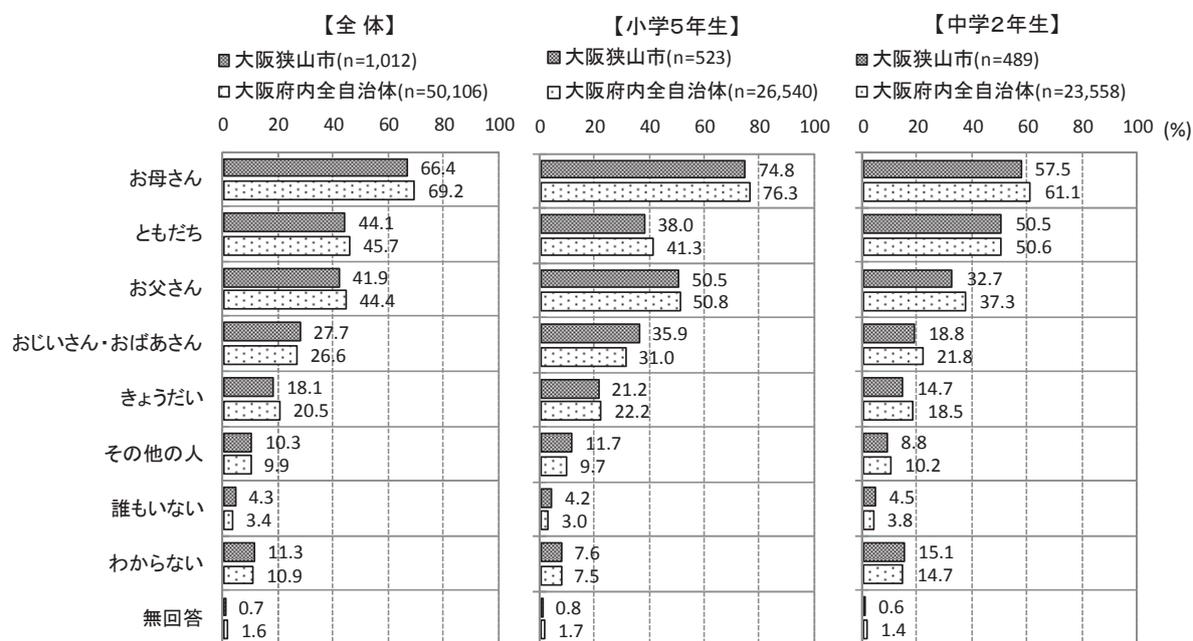


図 105. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-20-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

問 20 ⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が78.6%、「お父さん」が58.4%、「ともだち」が39.6%、「おじいさん・おばあさん」が37.4%、「きょうだい」が30.3%の順に高く、「誰もいない」が2.4%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が84.7%、「お父さん」が65.0%、「おじいさん・おばあさん」が44.9%、「きょうだい」が34.6%、「ともだち」が31.7%の順に高く、「誰もいない」が2.3%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が72.0%、「お父さん」が51.3%、「ともだち」が48.1%、「おじいさん・おばあさん」が29.2%、「きょうだい」が25.8%の順に高く、「誰もいない」が2.5%になっている。

このことから、「お母さん」は小学5年生では8割強、中学2年生では7割強で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、小学5年生で「おじいさん・おばあさん」が6ポイント高く、「ともだち」が6ポイント低くなっている。

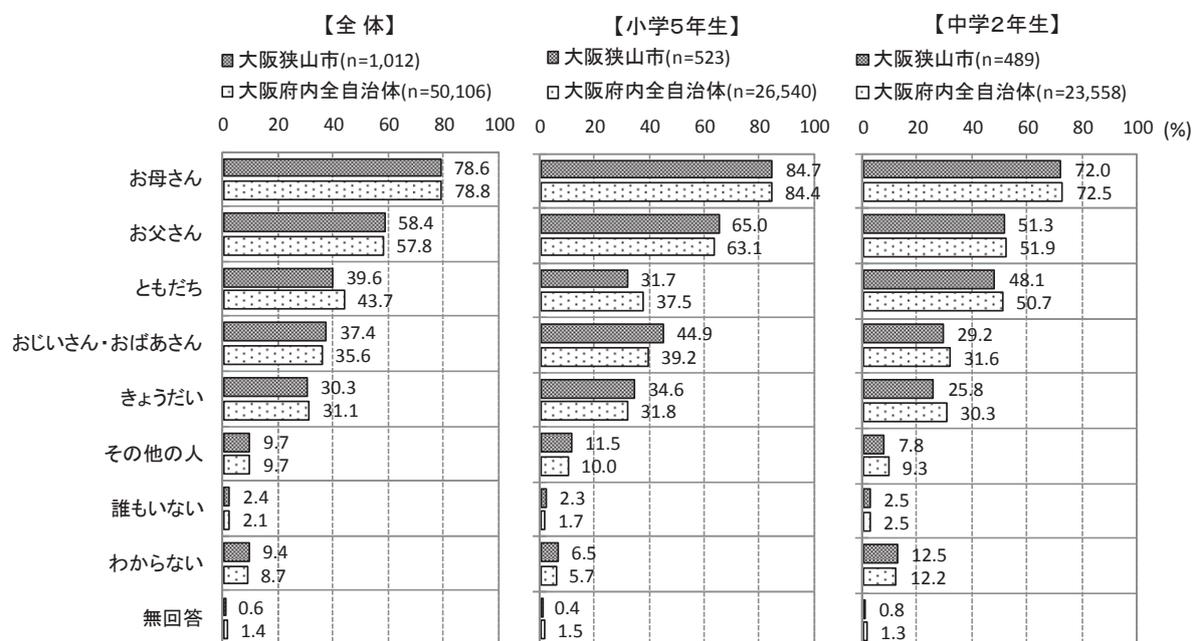


図 106. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども-20-8. あなたのことを大切にしてくれる人

問 20 ⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪狭山市の全体では、「お母さん」が81.1%、「お父さん」が69.3%、「おじいさん・おばあさん」が59.7%、「ともだち」が42.8%、「きょうだい」が41.0%の順に高く、「誰もいない」が1.3%になっている。

小学5年生では、「お母さん」が89.1%、「お父さん」が75.9%、「おじいさん・おばあさん」が69.4%、「きょうだい」が45.7%、「ともだち」が40.2%の順に高く、「誰もいない」が1.1%になっている。

中学2年生では、「お母さん」が72.6%、「お父さん」が62.2%、「おじいさん・おばあさん」が49.3%、「ともだち」が45.6%、「きょうだい」が36.0%の順に高く、「誰もいない」が1.4%になっている。

このことから、小学5年生では「お母さん」が9割弱、「お父さん」が8割弱で高く、中学2年生では「お母さん」が7割強で高くなっている。

次に、大阪府内全自治体と比較してみると、「ともだち」が全体と中学2年生で6ポイント、小学5年生で7ポイントそれぞれ低くなっている。

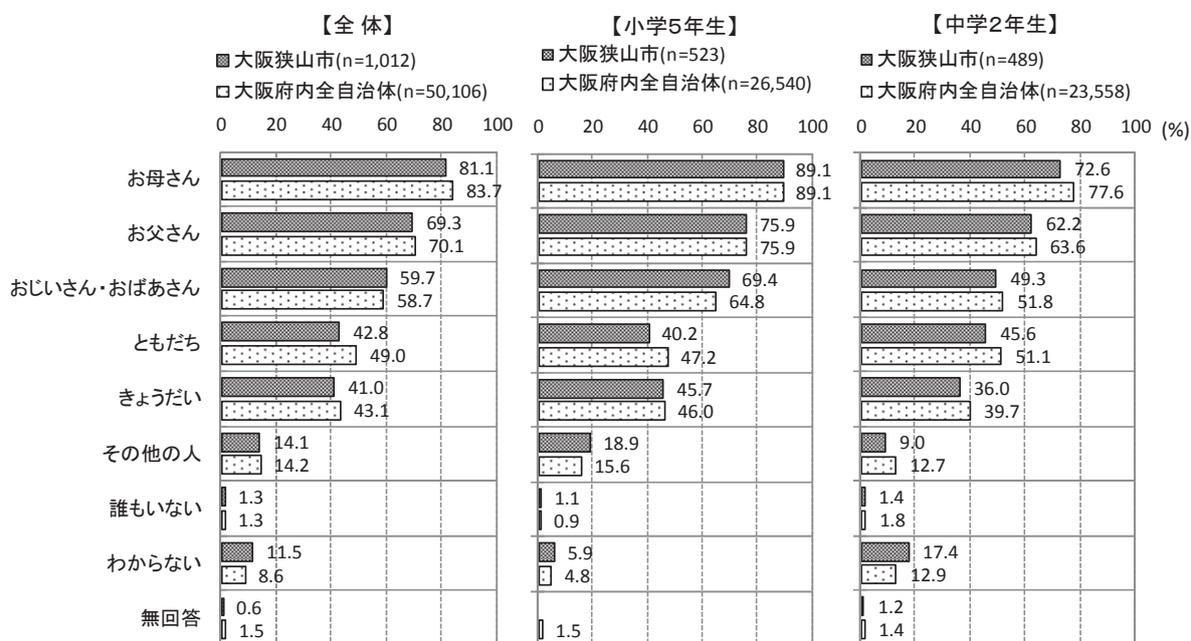


図 107. あなたのことを大切にしてくれる人

3. クロス集計および分析結果

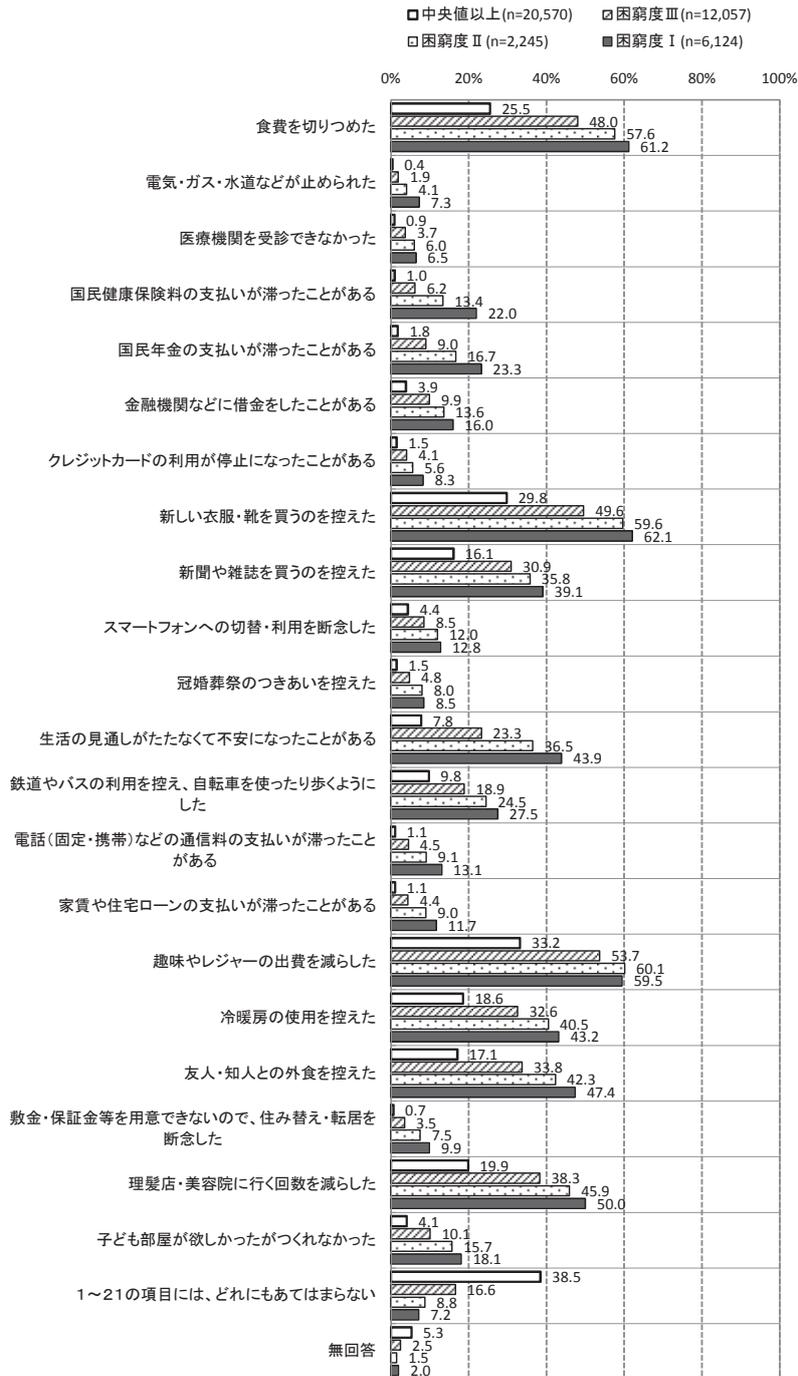
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

3-1. 基本情報

(1) 経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問7）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

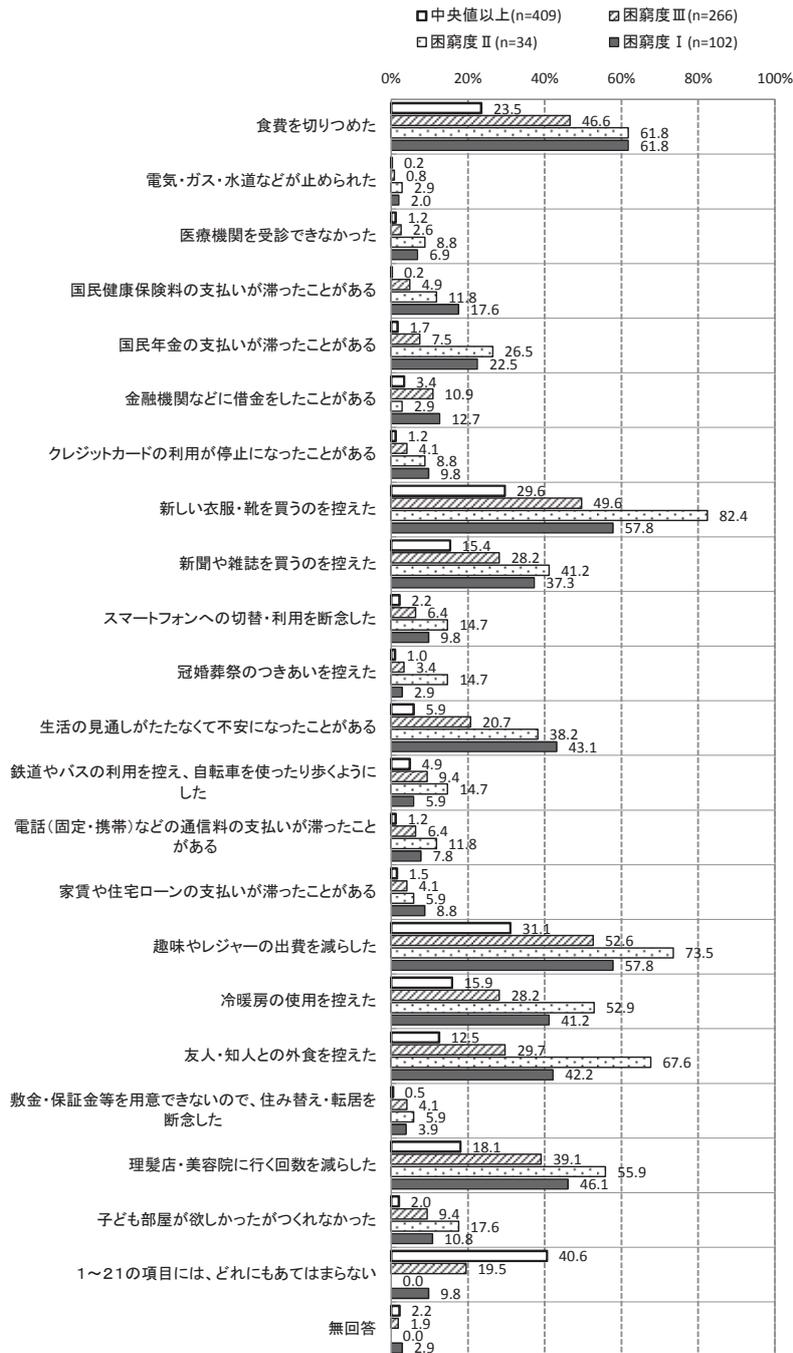


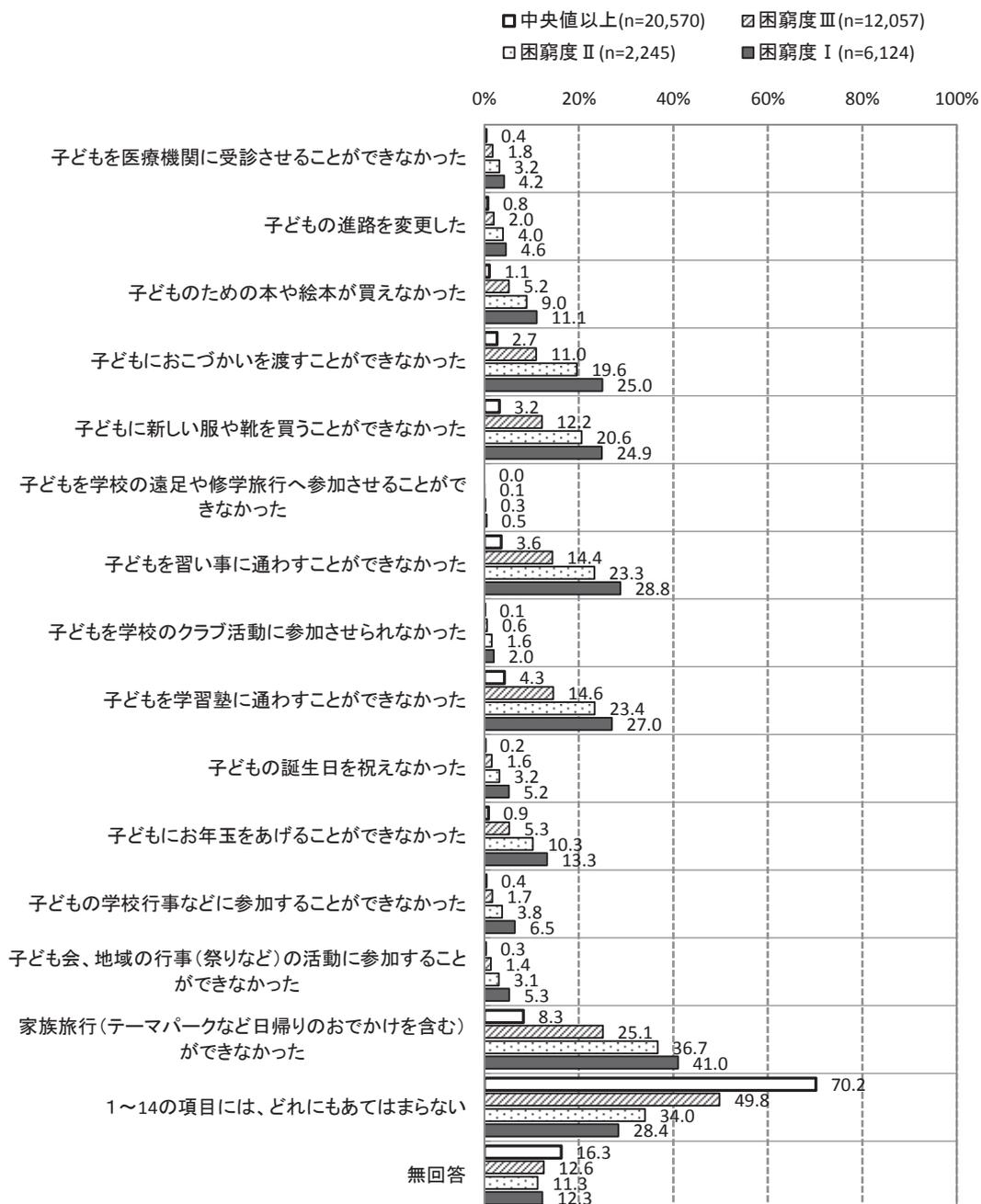
図 108. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※「困窮度」については、図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験について、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 I 群の数値を挙げると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」17.6% (中央値以上群に対して、72.2 倍)、「国民年金の支払いが滞ったことがある」22.5% (13.2 倍)、「電気・ガス・水道などが止められた」2.0% (8.0 倍)、「クレジットカードの利用が停止になったことがある」9.8% (8.0 倍)、「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」3.9% (8.0 倍) となり、困窮度 I 群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で 40.6% なのに対して、困窮度 I 群において 9.8% だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 13）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

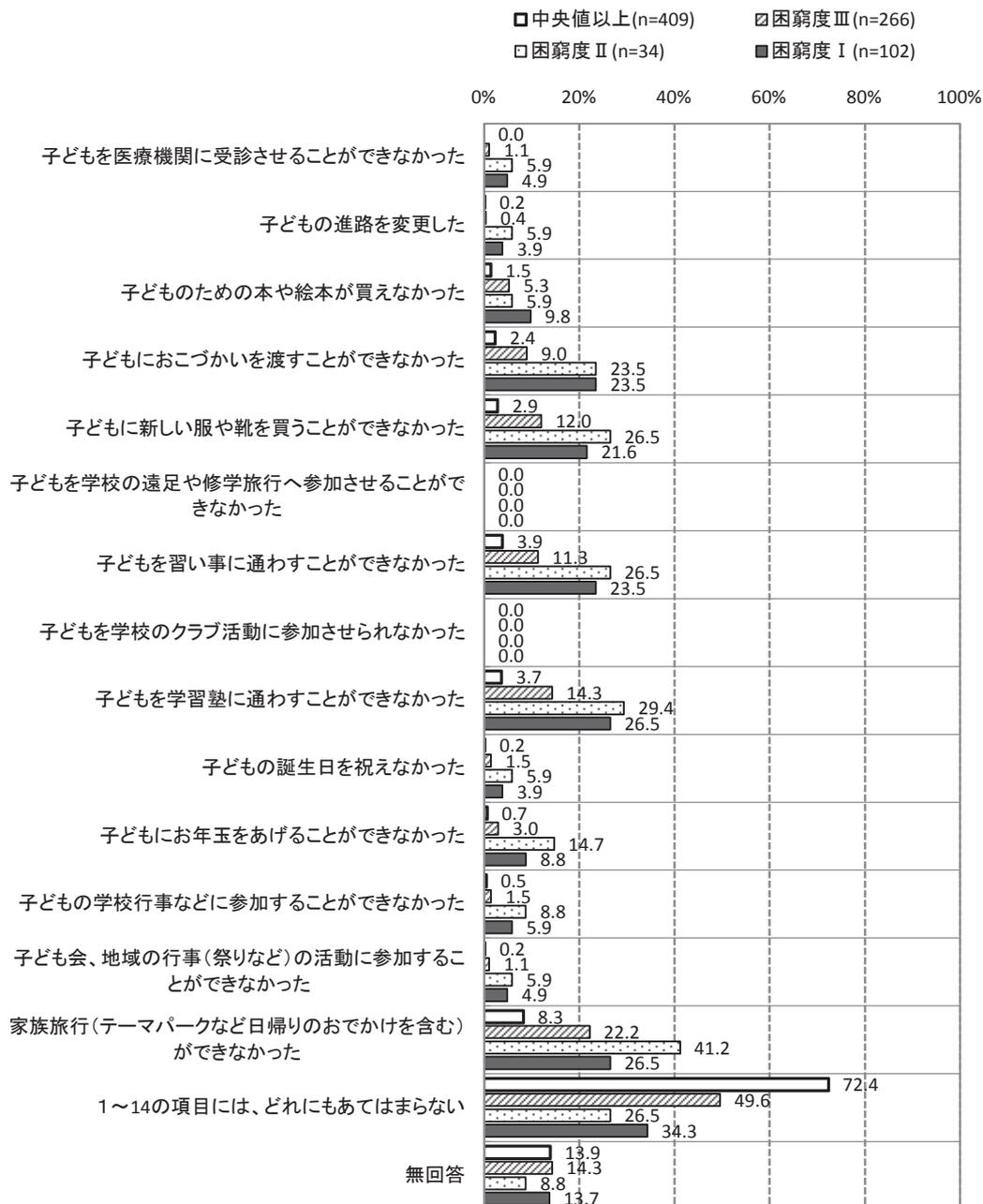
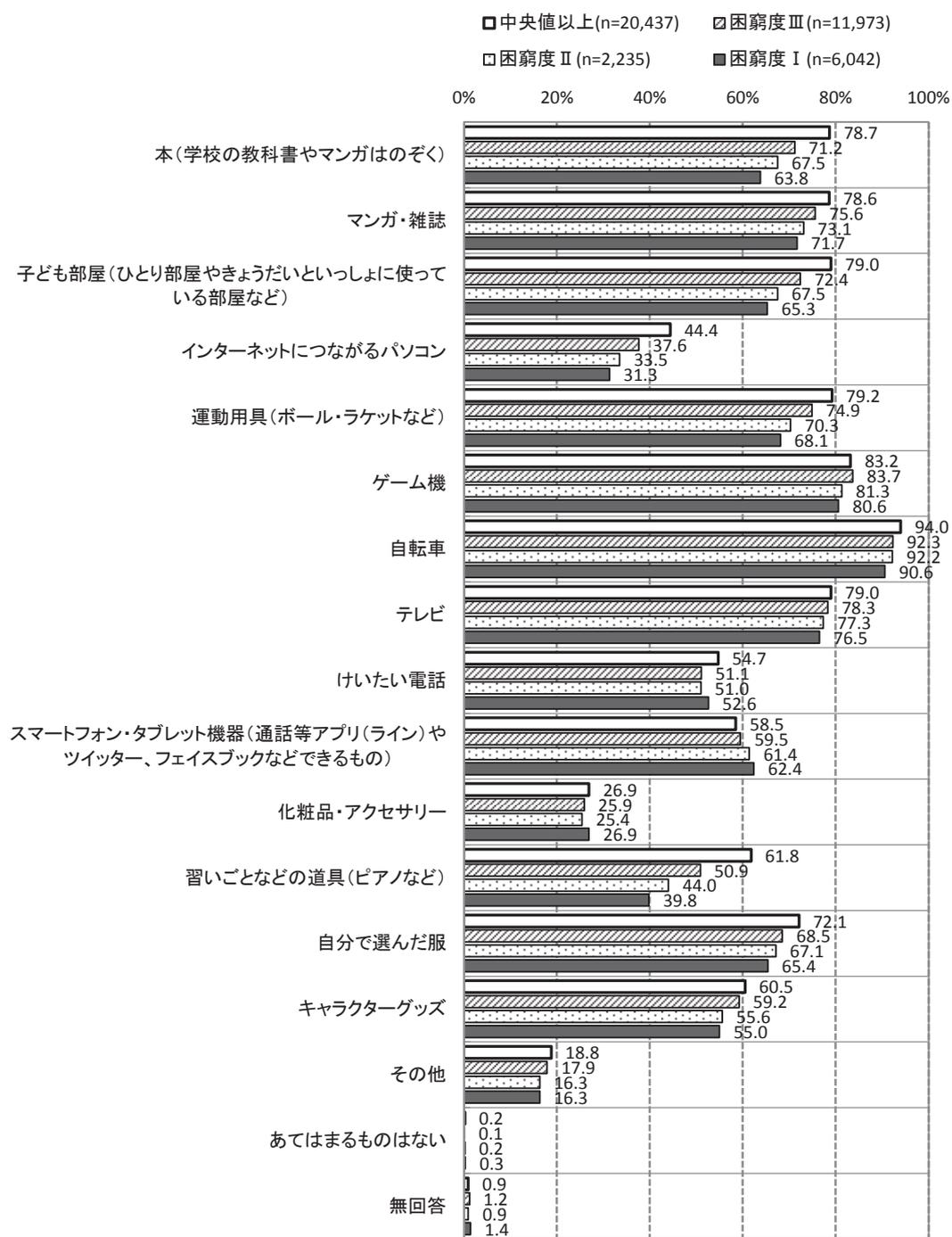


図 109. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった」4.9% (中央値以上群に対して、20.0倍)、「子どもの進路を変更した」3.9% (16.0倍)、「子どもの誕生日を祝えなかった」3.9% (16.0倍)、「子どもの学校行事などに参加することができなかった」5.9% (12.0倍)、「子どもにお年玉をあげることができなかった」8.8% (12.0倍)となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。「子どもを医療機関に受診させることができなかった」4.9%は、子どもの発育やいのちにも関係する項目であり無視できない。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で72.4%なのに対して、困窮度Ⅰ群において34.3%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 22）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

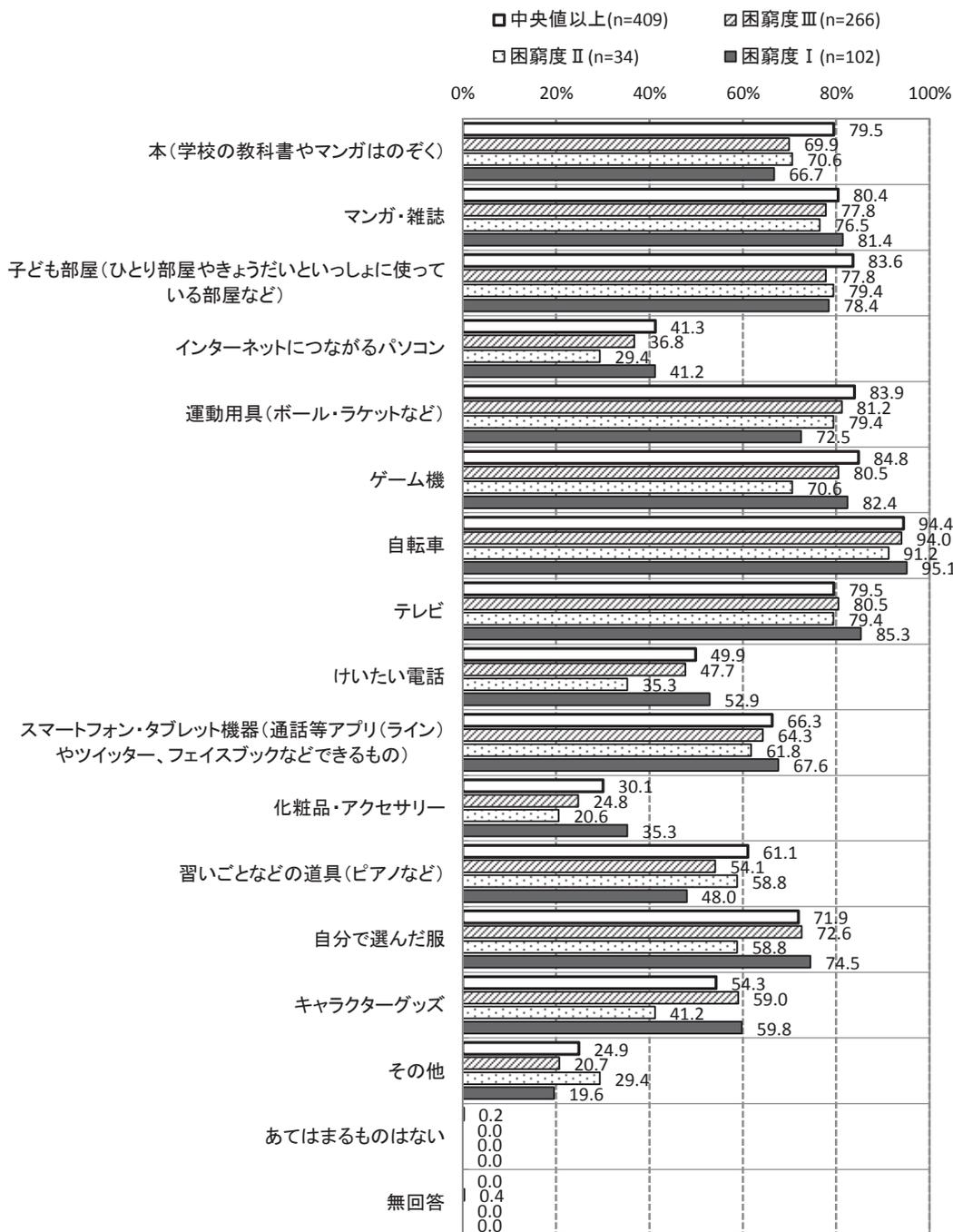
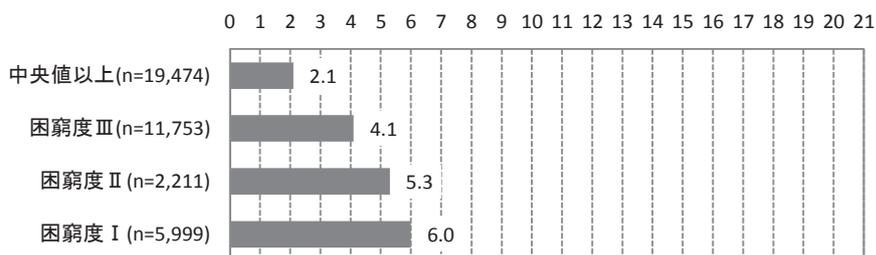


図 110. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具(ピアノなど)」61.1% (困窮度Ⅰ群に対して1.3倍)、「本(学校の教科書やマンガはのぞく)」79.5% (同じく1.2倍)、「運動用具(ボール・ラケットなど)」83.9% (同じく1.2倍)となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問7）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

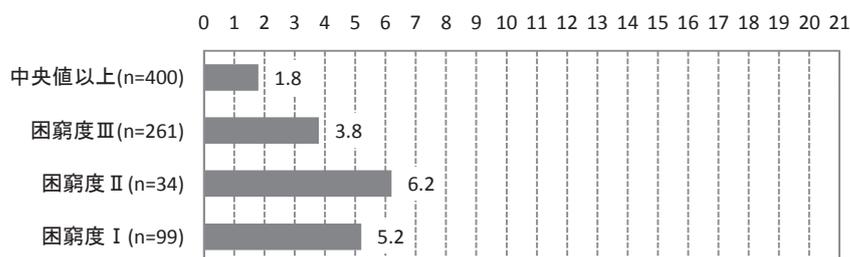


図 111. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

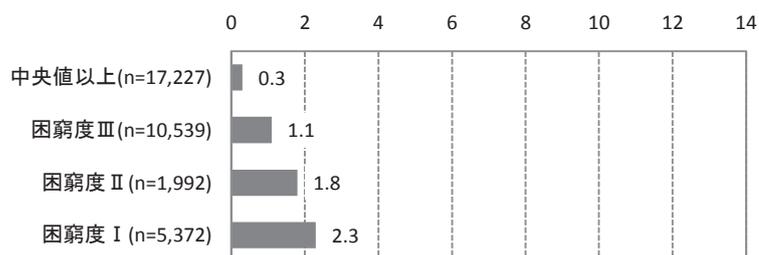
経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6個に該当、7個以上に該当、の3群に分けることができた。図 159 および図 161 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの1つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 13）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

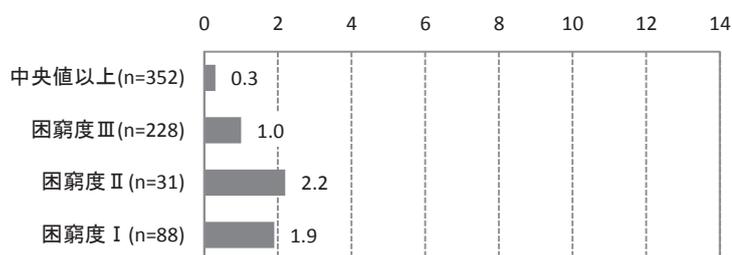


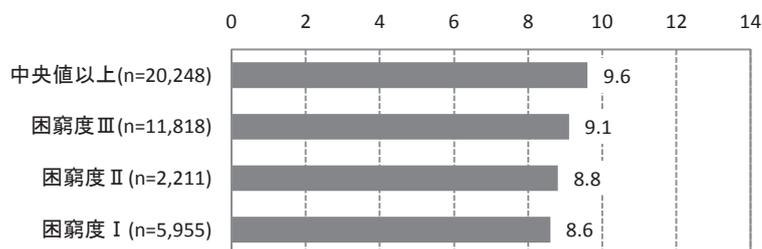
図 112. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 22）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

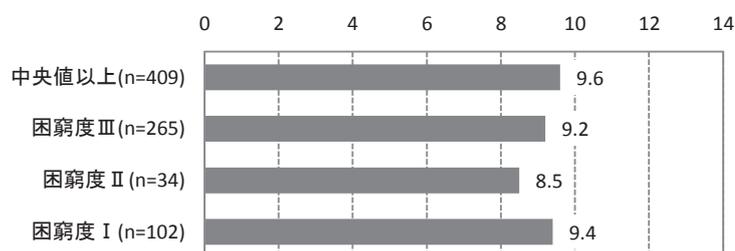


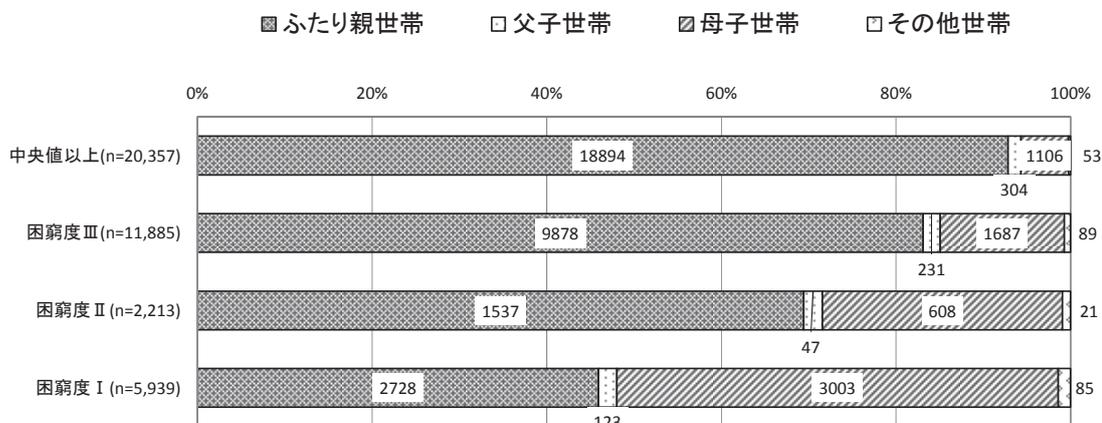
図 113. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、概ね困窮度が高くなるにつれて、子どもの持ちもの、使えるものの該当数が少なくなる傾向にあったが、困窮度Ⅰ群においては中央値以上群と同程度の 9.4 個となった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問 3-2 より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

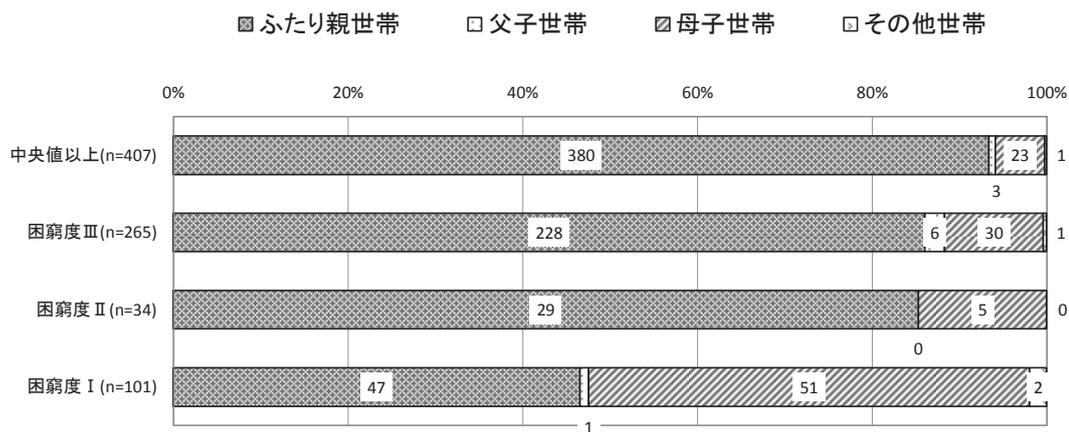
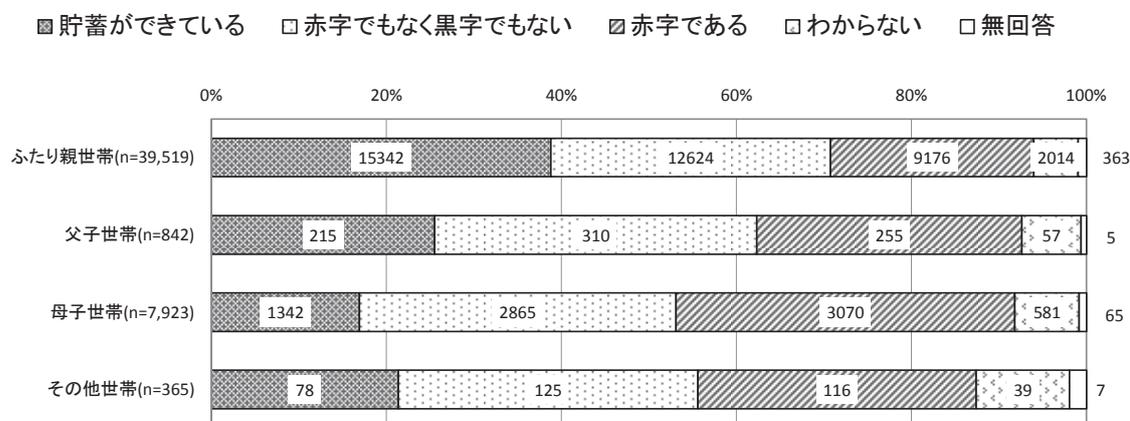


図 114. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 93.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 46.5%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 5.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は 50.5%だった。

世帯構成別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

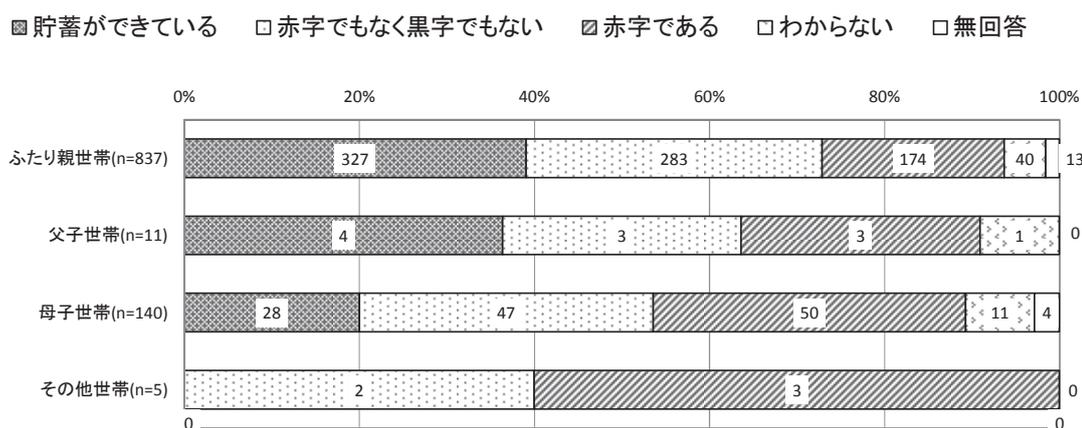
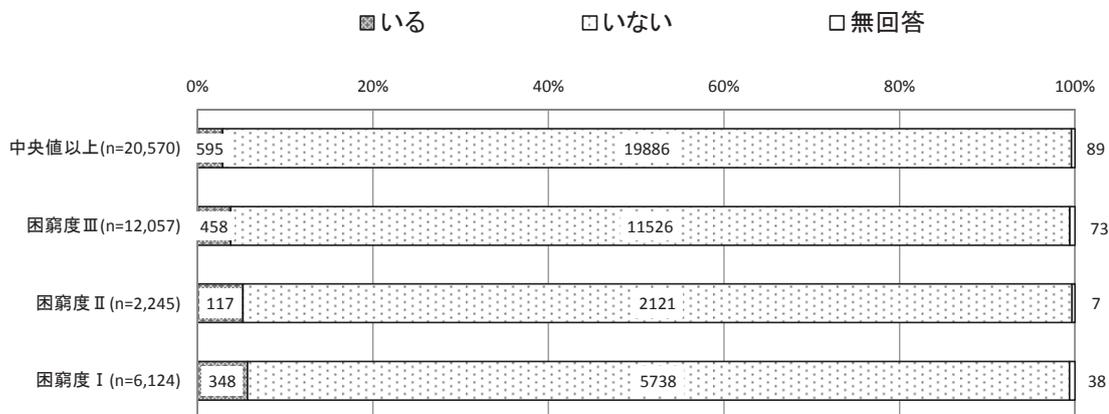


図 115. 世帯構成別に見た家計状況

世帯構成別に見た家計状況を見ると、「貯蓄ができていない」と回答したのは、ふたり親世帯が 39.1%なのに対して、母子世帯は 20.0%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が 20.8%なのに対して、母子世帯は 35.7%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票問 3-1-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

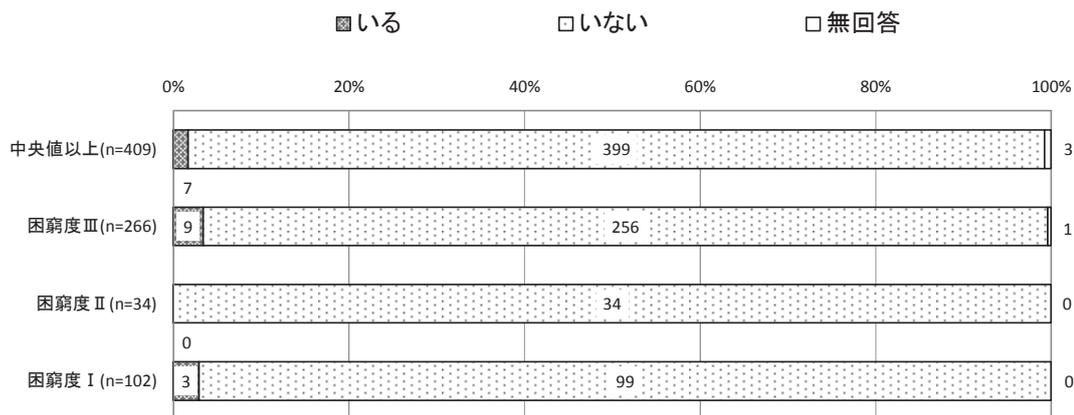
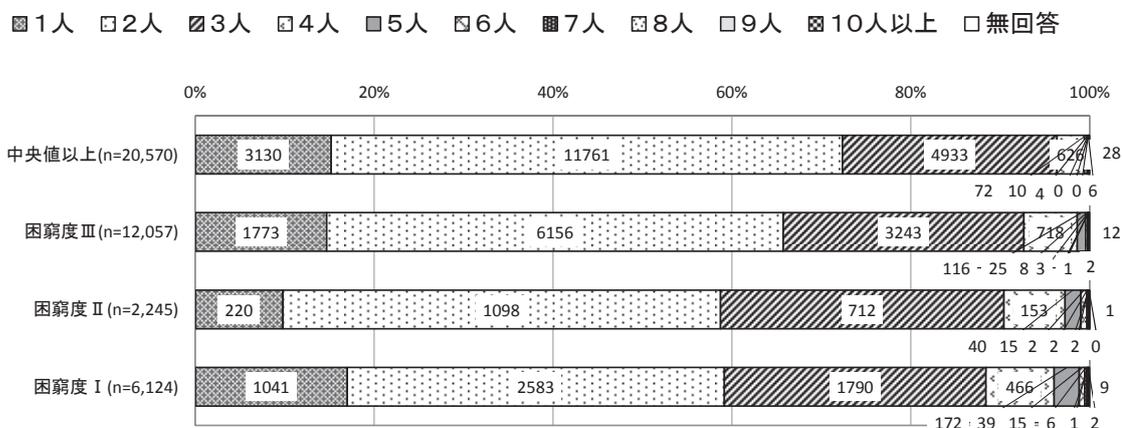


図 116. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、困窮度による大きな差はなかった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問 3-1-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

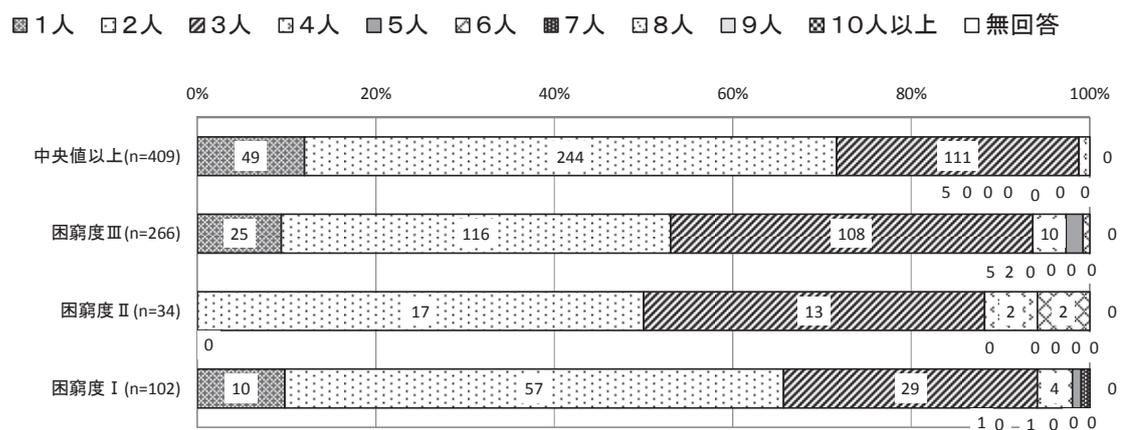
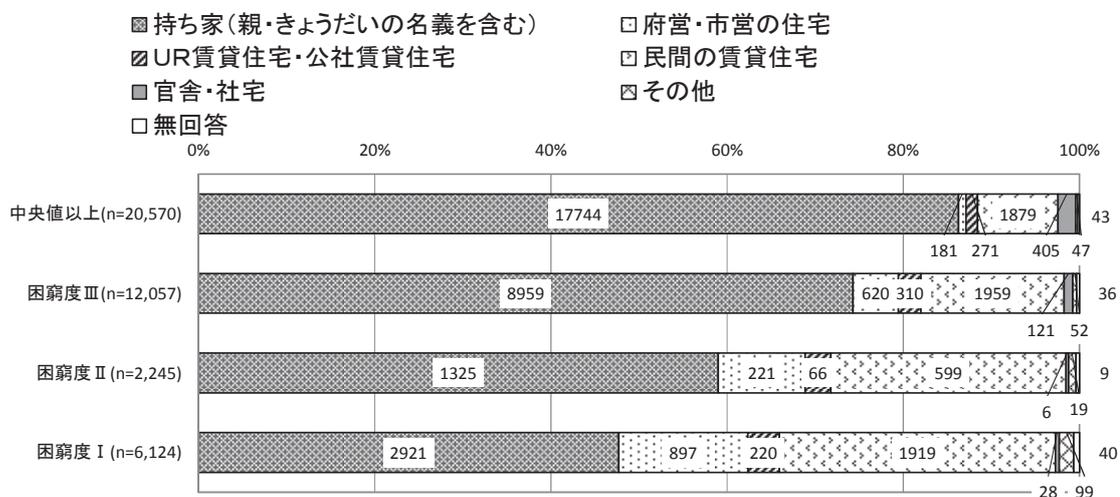


図 117. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が28.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、34.3%とやや高くなっている。

困窮度別に見た住居（保護者票問 4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

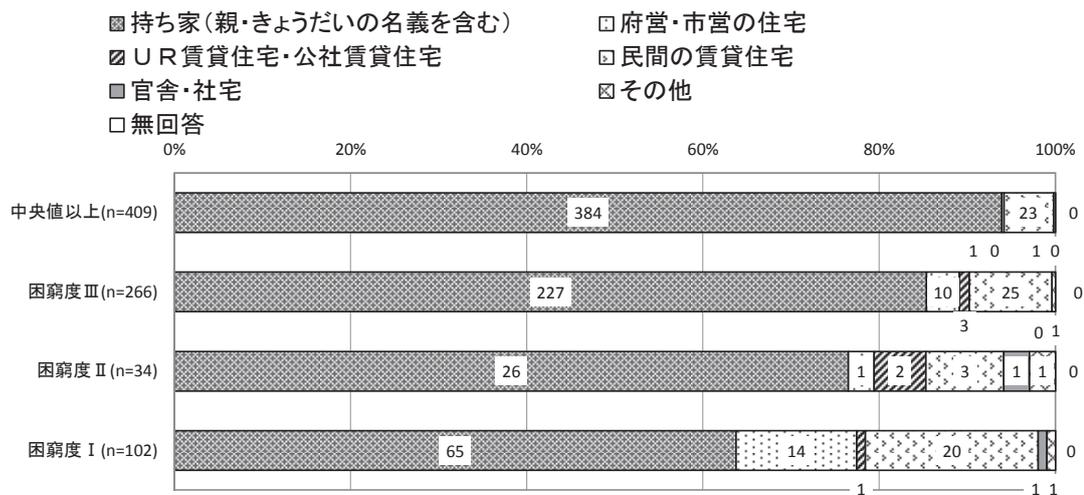
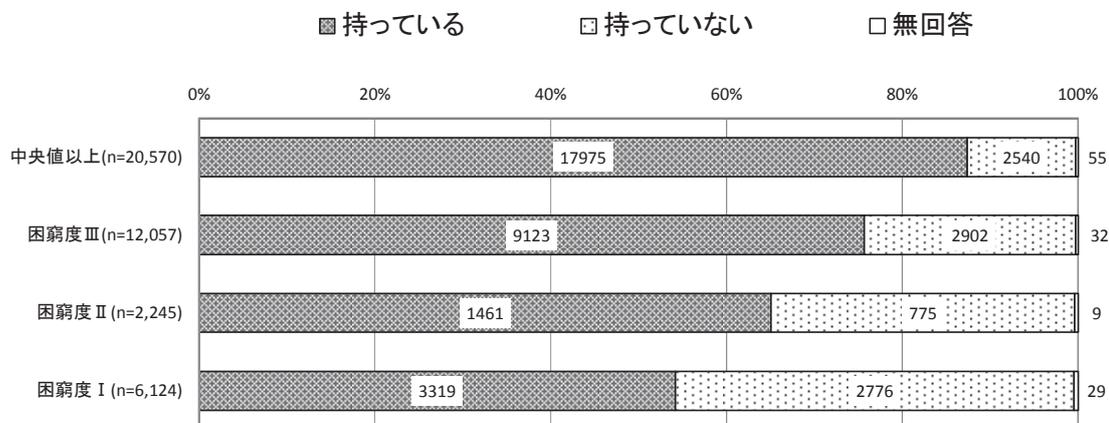


図 118. 困窮度別に見た住居

困窮度別に住居を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は93.9%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、63.7%にとどまっている。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票問 5）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

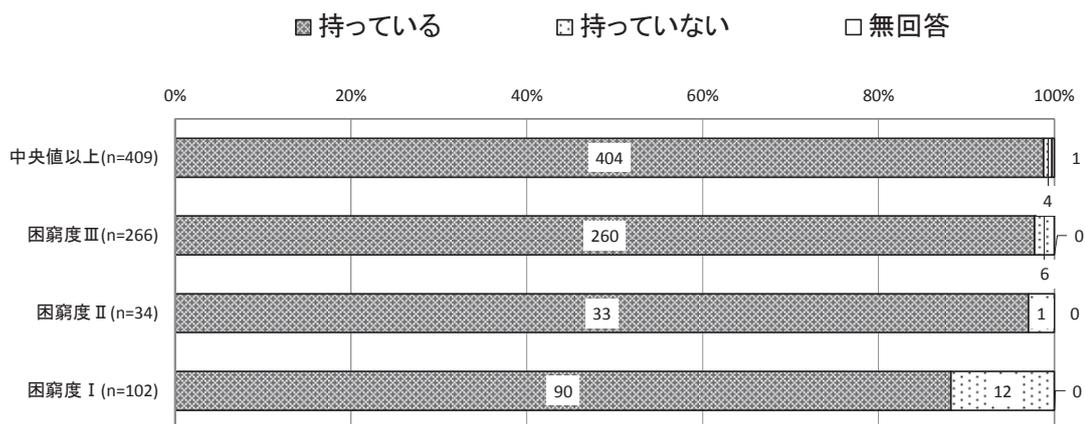
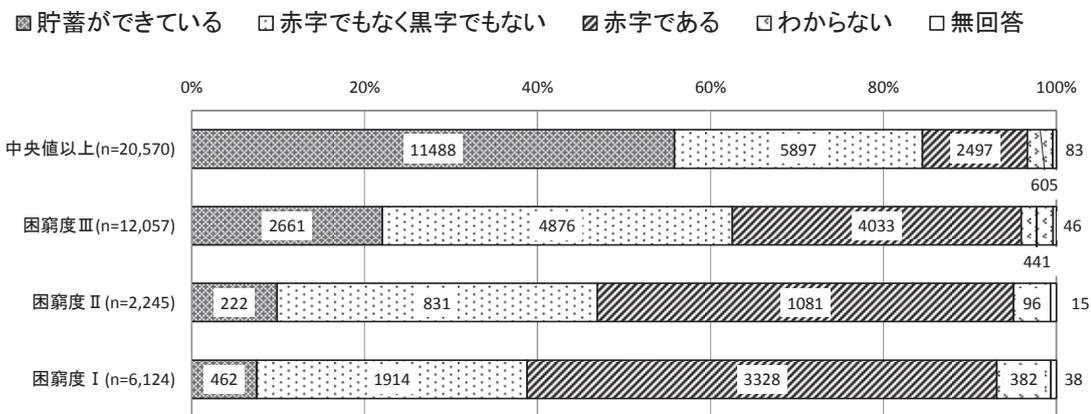


図 119. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、困窮度が高まるにつれて、車の所有率が低くなっている。中央値以上群では、車を所有している世帯が 98.8%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では 88.2%にとどまっている。

困窮度別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

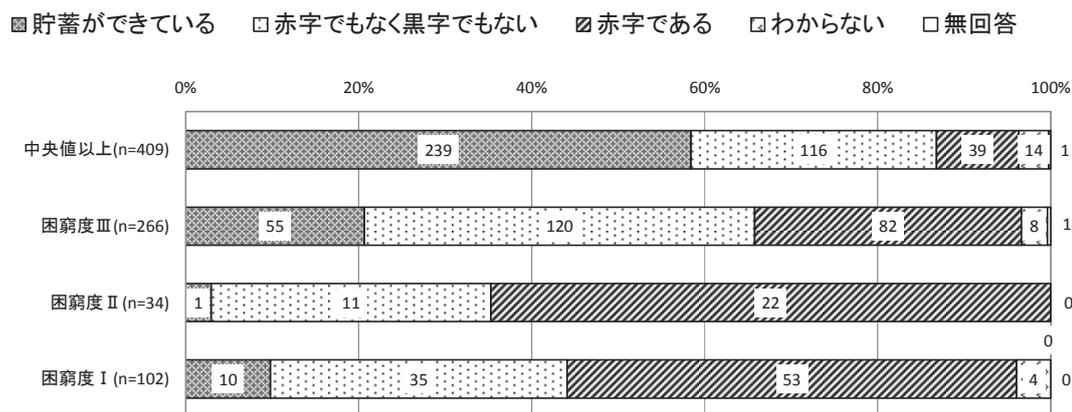
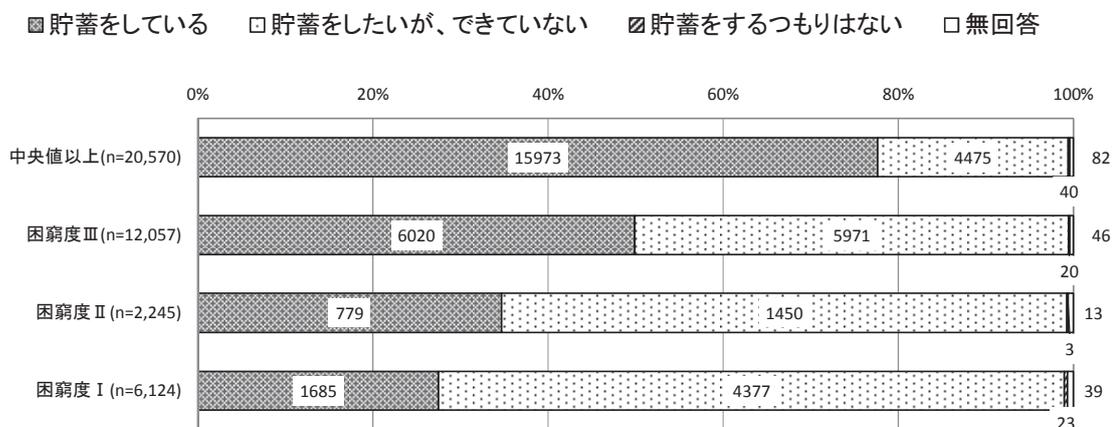


図 120. 困窮度別に見た家計状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができている」と回答した割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、9.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、52.0%となり、約5割を占めた。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（保護者票問 6-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

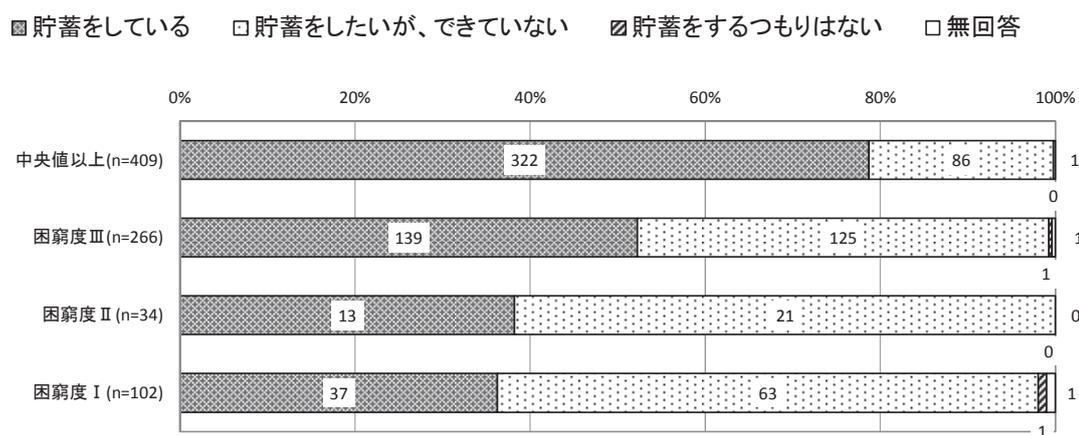


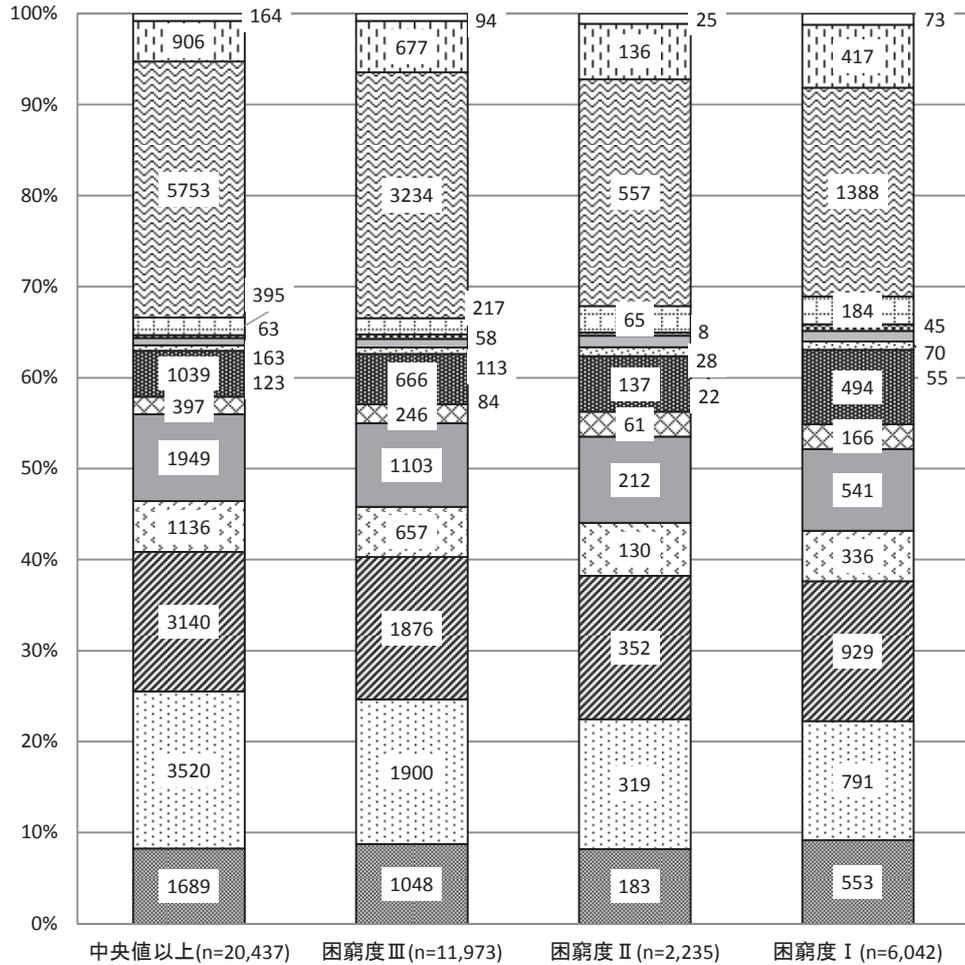
図 121. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度別に子どものための貯蓄を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答した割合が78.7%を占めたが、困窮度Ⅰ群では36.3%にとどまり、約4割弱が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、おこづかいの金額分布（子ども票問 17-1）

<大阪府内全自治体>

- 500円より少ない
- 500～999円
- ▨ 1000～1499円
- ▤ 1500～1999円
- 2000～2499円
- ▥ 2500～2999円
- ▧ 3000～3499円
- ▩ 3500～3999円
- 4000～4499円
- 4500～4999円
- 5000円以上
- ▬ もらっていない
- わからない
- 無回答



<大阪狭山市>

- 500円より少ない
- 1500～1999円
- 3000～3499円
- 4500～4999円
- わからない
- 500～999円
- 2000～2499円
- 3500～3999円
- 5000円以上
- 無回答
- 1000～1499円
- 2500～2999円
- 4000～4499円
- もらっていない

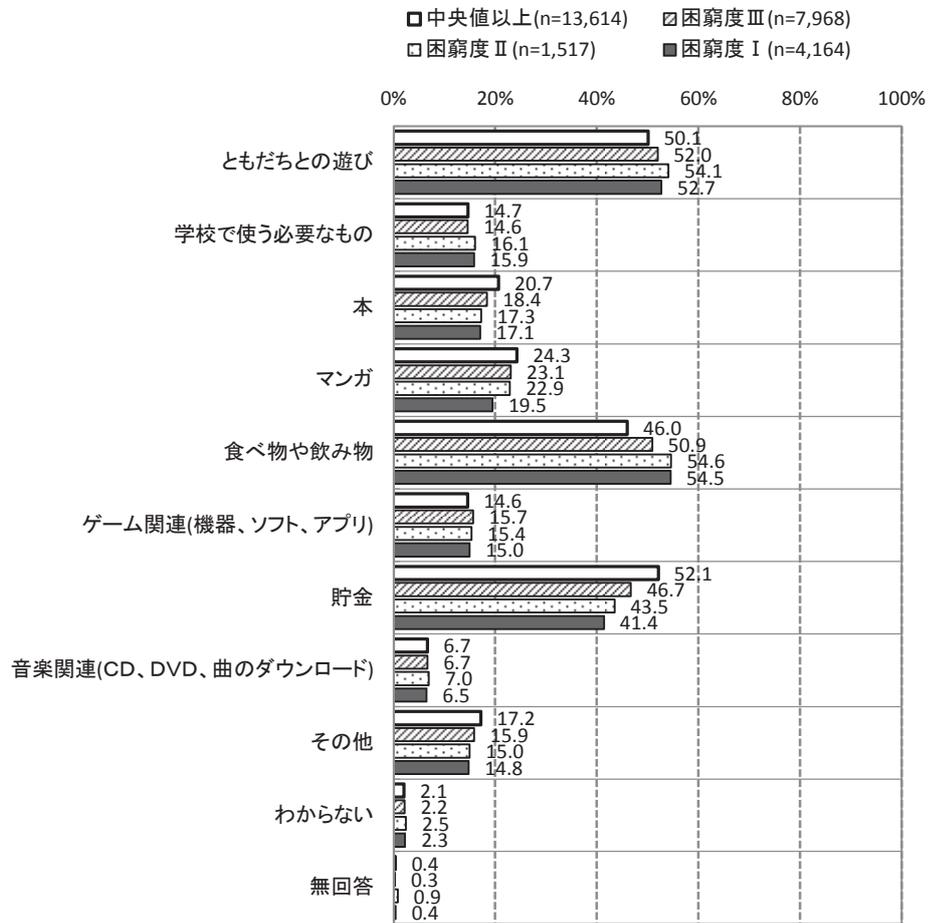


図 122. 困窮度別に見た、おこづかいの金額分布

困窮度別におこづかいの金額分布を見ると、困窮度が高まるにつれて 1000 円未満である割合が高くなるが、困窮度Ⅰ群においては 1000～1499 円の割合が高くなる。おこづかいをもらってはいるが、その用途や必要な物は親に購入してもらっているか、など詳細をみる必要がある。

困窮度別に見た、おこづかいの使い方（子ども票問 17-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

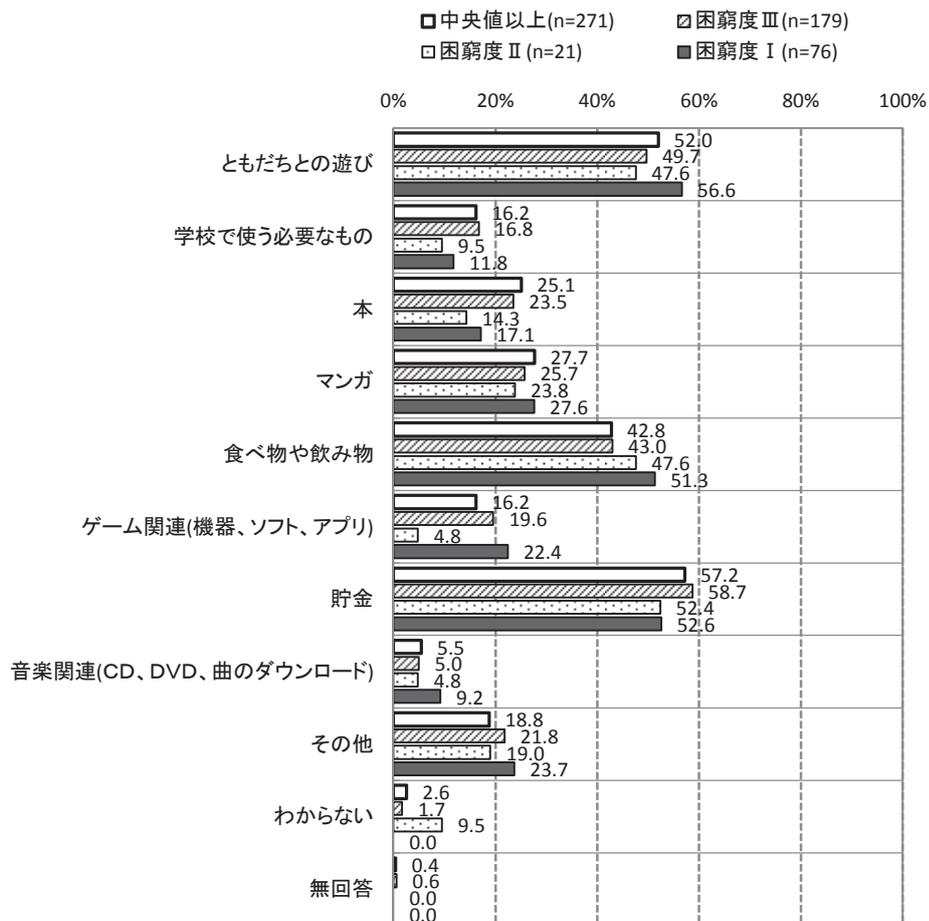


図 123. 困窮度別に見た、おこづかいの使い方

困窮度別におこづかいの使い方を見ると、「貯金」が中央値以上群、困窮度Ⅲ群では、それぞれ、57.2%、58.7%であるのに対して、困窮度Ⅱ群、困窮度Ⅰ群では、それぞれ、52.4%、52.6%となっている。また、困窮度Ⅰ群では「食べ物や飲み物」という回答が51.3%とやや高くなっている。

<経済状況に関する考察>

困窮度が深刻化すればするほど、生活面での困難は増す傾向が見られた。困窮度Ⅰの群において「電気・ガス・水道などが止められた」世帯は2.0%、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」世帯は17.6%であった。しかし、中央値以上の群では、ともに0.2%の世帯のみにとどまっており、生活面での格差を確認することができる。そのほかにも、中央値以上の群が2%未満であるのに対して、困窮度Ⅰの群の割合が高かった項目として、「医療機関を受診できなかった」6.9%、「電話などの通信料の支払いが滞ったことがある」7.8%、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」8.8%、「国民年金の支払いが滞ったことがある」22.5%などが挙げられる。

「どれにも当てはまらない」とこの項目で回答するということは「通常であれば可能な生活」の水準に達しているといえる。中央値以上の群では、それに該当すると回答した世帯は40.6%である一方で、困窮度Ⅰの群では9.8%であった。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響している。

「生活の見通しがたたくなくて不安になったことがある」という回答は、中央値以上の群が5.9%であるのに、困窮度Ⅰの群では43.1%となっている。

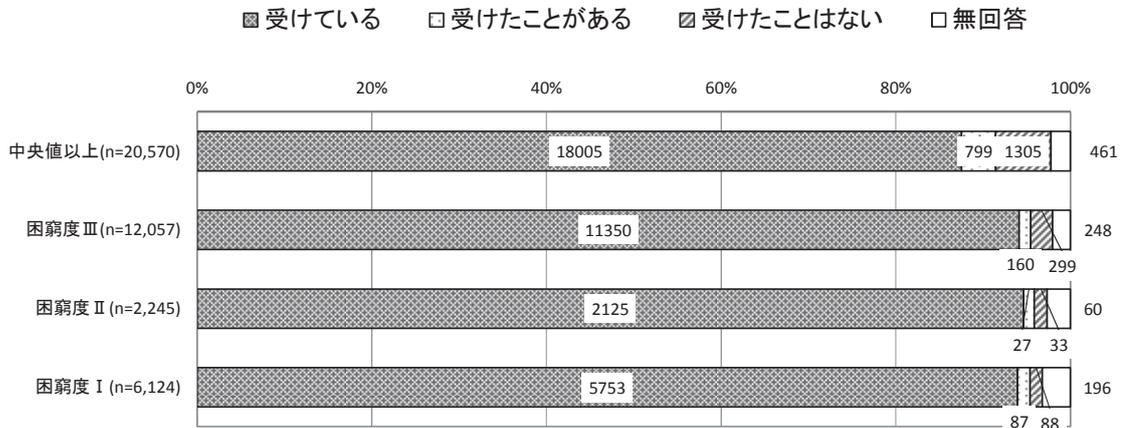
世帯の経済状況は、子どもの生活にも影響を与えていることが確認できる。たとえば、困窮度Ⅰの群では、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」という回答が4.9%であるのに対して、中央値以上ではそのような経験があると回答する世帯は見られなかった。同様に、「子どもの進路を変更した」世帯は、困窮度Ⅰの群で3.9%であるのに対し、中央値以上の群では、0.2%にとどまっている。他にも、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」世帯は、中央値以上の群では2.9%であるのに対し、困窮度Ⅰの群では21.6%であった。子どもを取り巻く状況の格差が示されていると言える。

調査では、世帯所得の差が学習面での機会の差となって現れることが示されている。「子どもを習い事に通わすことができなかった」が、中央値以上の群で3.9%に対して困窮度Ⅰの群では23.5%、「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が中央値以上の群で3.7%に対して、困窮度Ⅰの群では26.5%と、顕著な差が見られている。学習機会の格差は、子どもの将来に影響を与えることが予想される。このほか、学校外での子どもの多様な「体験」の有無も、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験に格差があることが示された。たとえば、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」という回答は、中央値以上の群で8.3%に対して、困窮度Ⅰの群では26.5%であった。その一方、「どれにも当てはまらない」が、中央値以上の群では72.4%に達している。子どもに対して困難なく資源や機会が提供できている世帯も多数いるという点にも留意する必要があるだろう。

(2) 家庭状況（制度等）

困窮度別に見た児童手当（保護者票問 27-3-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

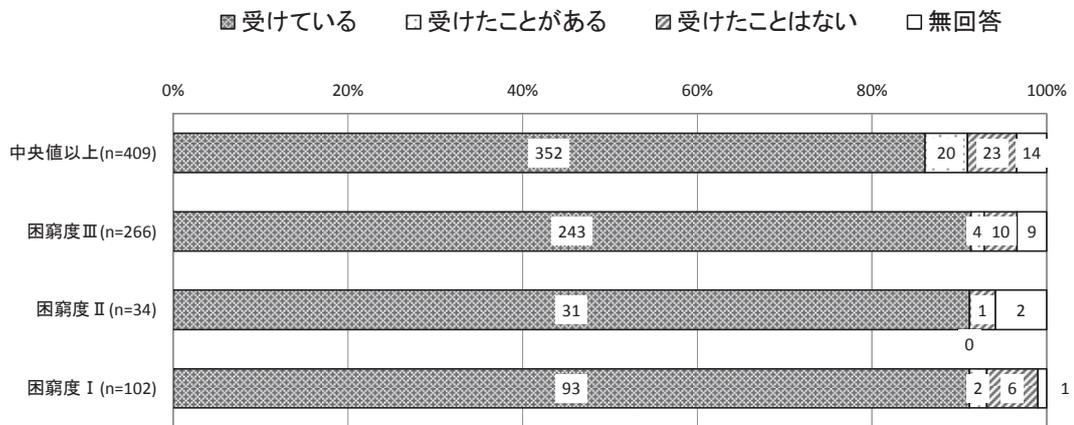
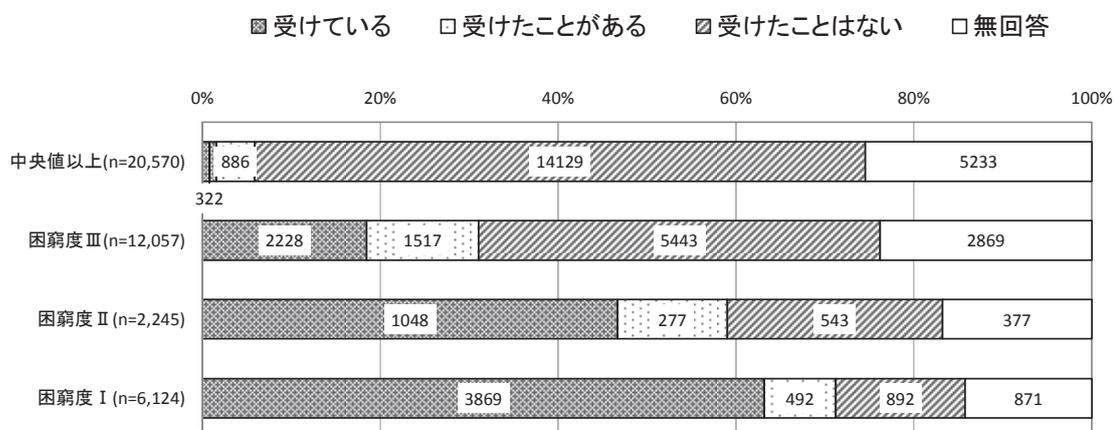


図 124. 困窮度別に見た児童手当

児童手当は多くの世帯が受給していた。困窮度別に児童手当の受給率を見ると、困窮度Ⅰ～Ⅲ群において、とりわけ多くの世帯（91.2%～91.4%）が「受けている」に回答した。

困窮度別に見た就学援助費（保護者票問 27-3-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

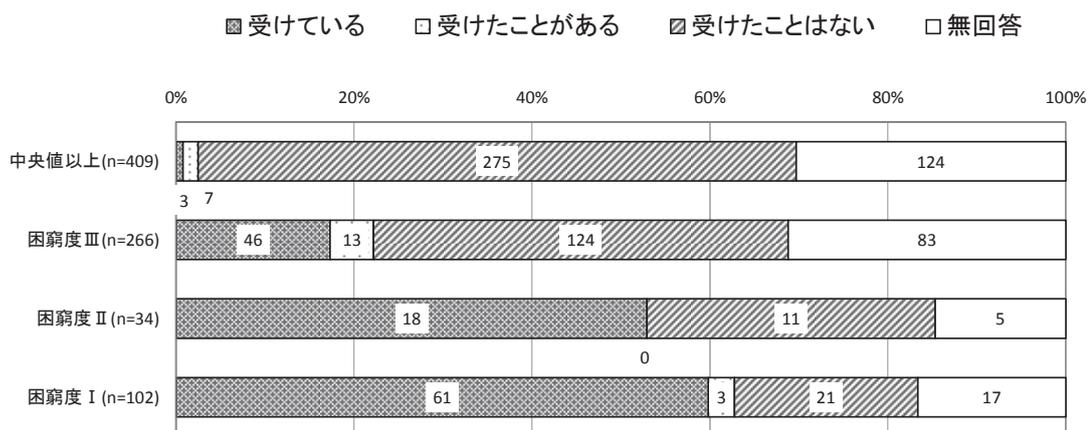
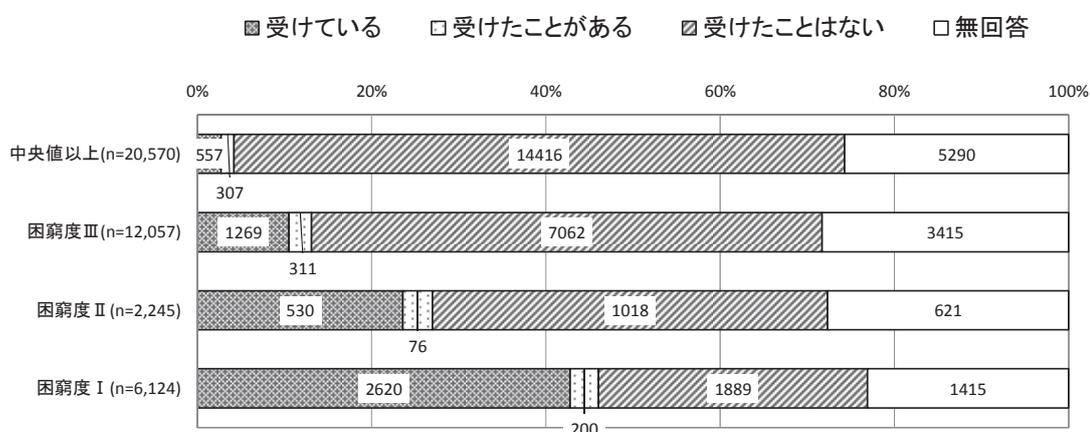


図 125. 困窮度別に見た就学援助費

困窮度別に就学援助費の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」と回答した割合が高くなっている。

困窮度別に見た児童扶養手当（保護者票問 27-3-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

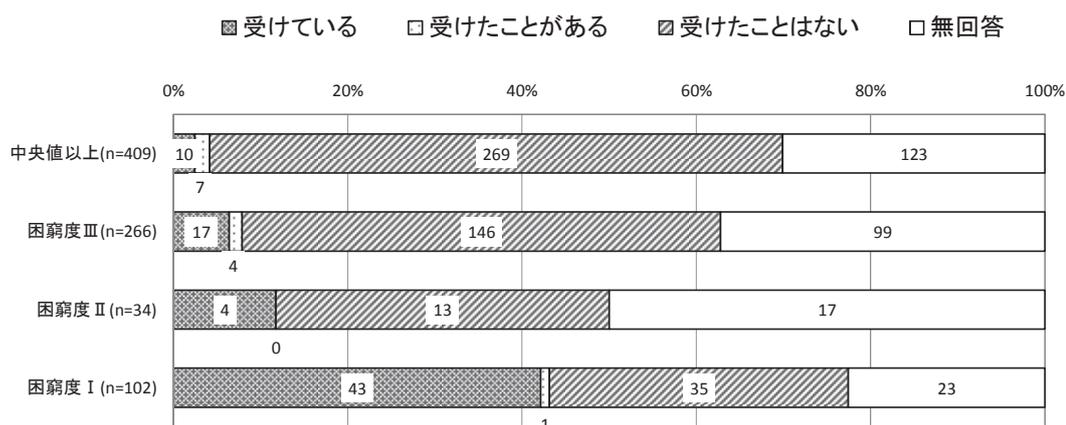


図 126. 困窮度別に見た児童扶養手当

困窮度別に児童扶養手当の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。以下はひとり親世帯のみの割合を示したものであるが、同様の傾向が見られる。

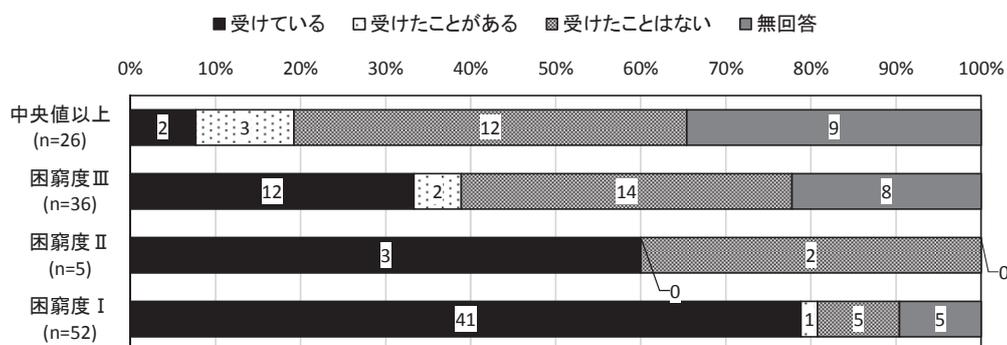
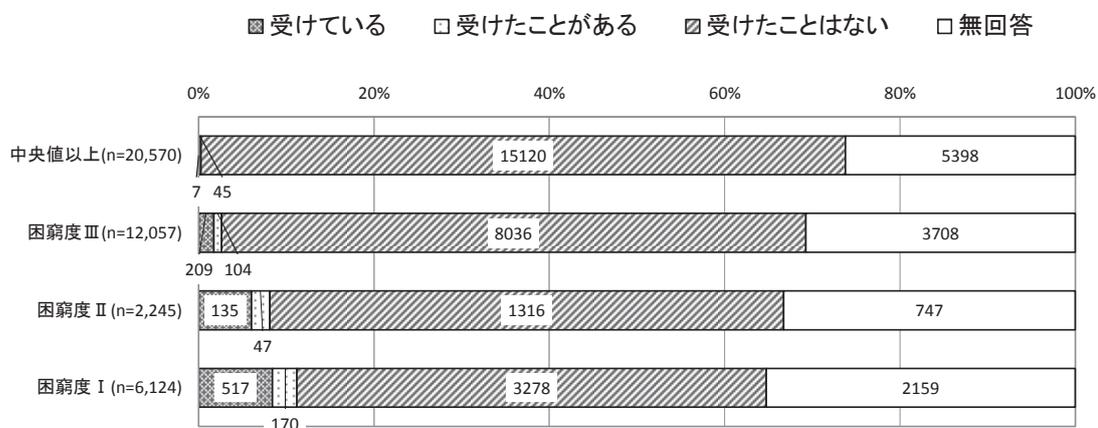


図 126 の補足図. 困窮度別に見た児童扶養手当（ひとり親）

困窮度別に見た生活保護（保護者票問 27-3-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

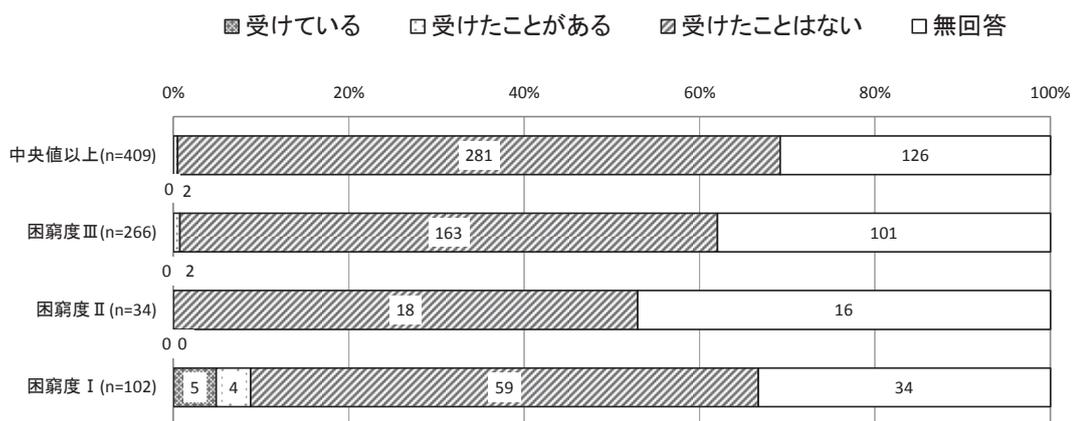
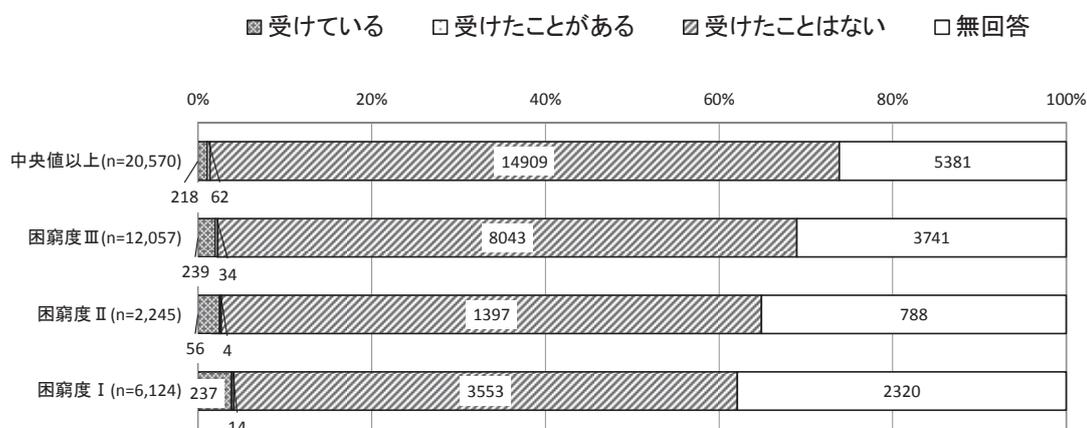


図 127. 困窮度別に見た生活保護

困窮度別に生活保護の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は4.9%であった。

困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）（保護者票問 27-3-7）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

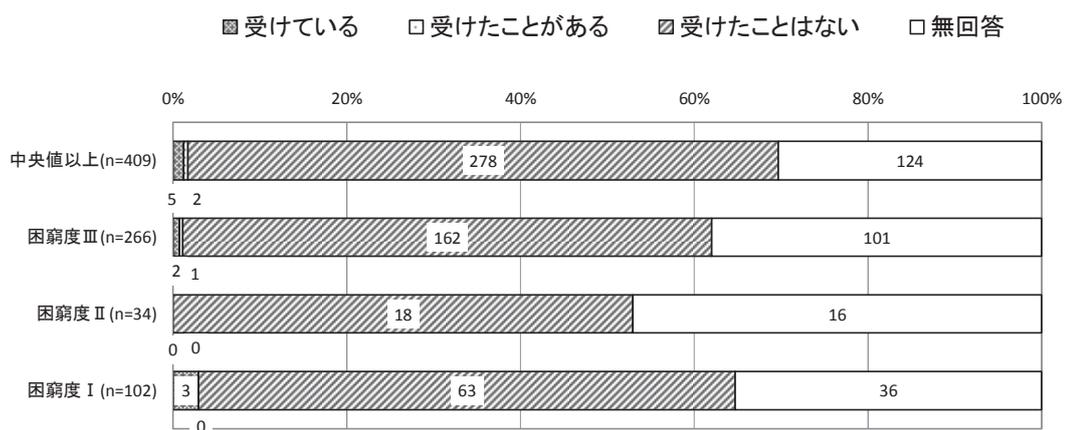
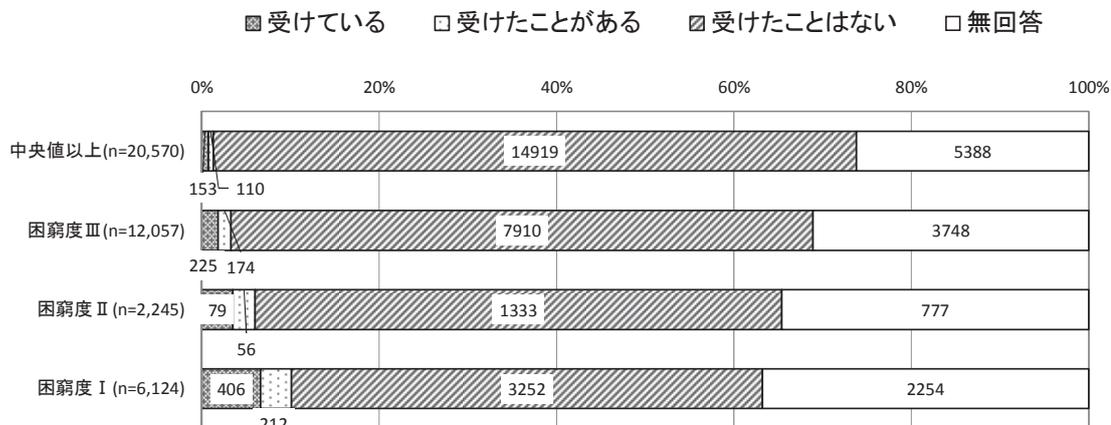


図 128. 困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度別に遺族年金や障がい年金といった公的年金の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は2.9%であった。

困窮度別に見た養育費（保護者票問 27-3-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

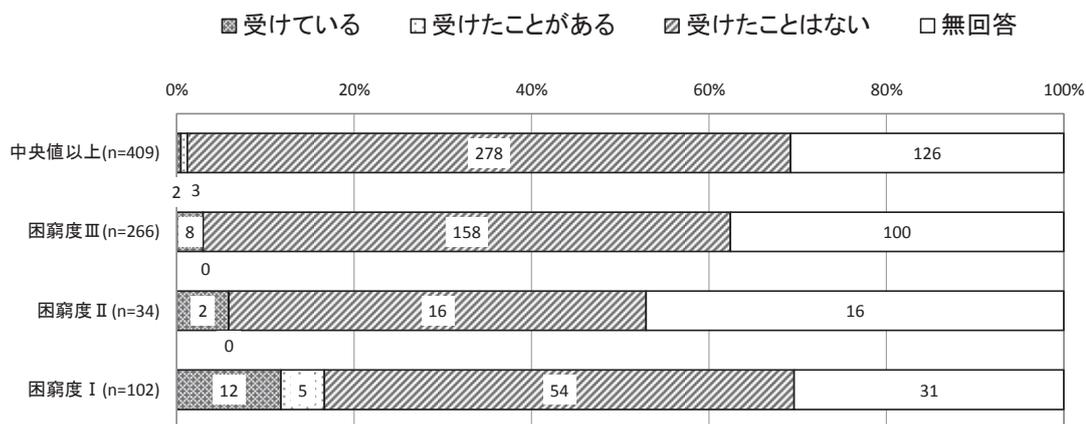


図 129. 困窮度別に見た養育費

困窮度別に養育費の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれて、「受けている」と回答した割合が高くなっている。以下はひとり親世帯のみの割合を示したものであるが、同様の傾向が見られる。

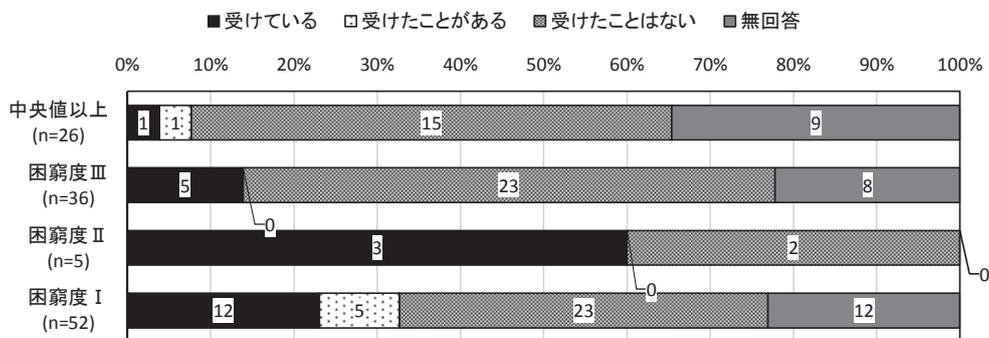
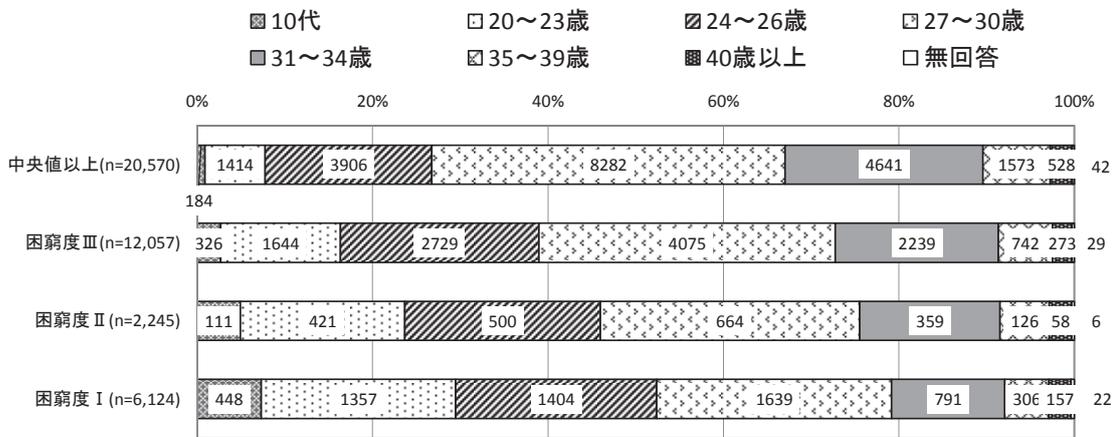


図 129 の補足図. 困窮度別に見た養育費（ひとり親）

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 19）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

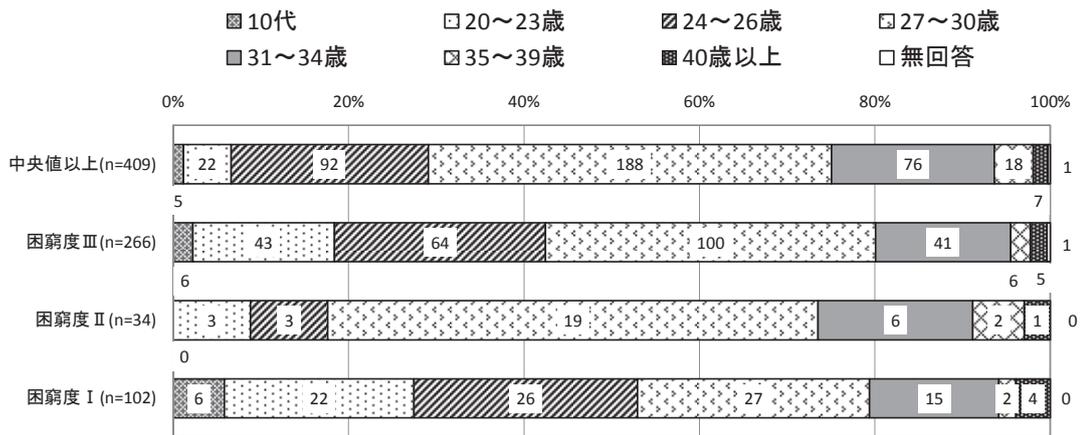
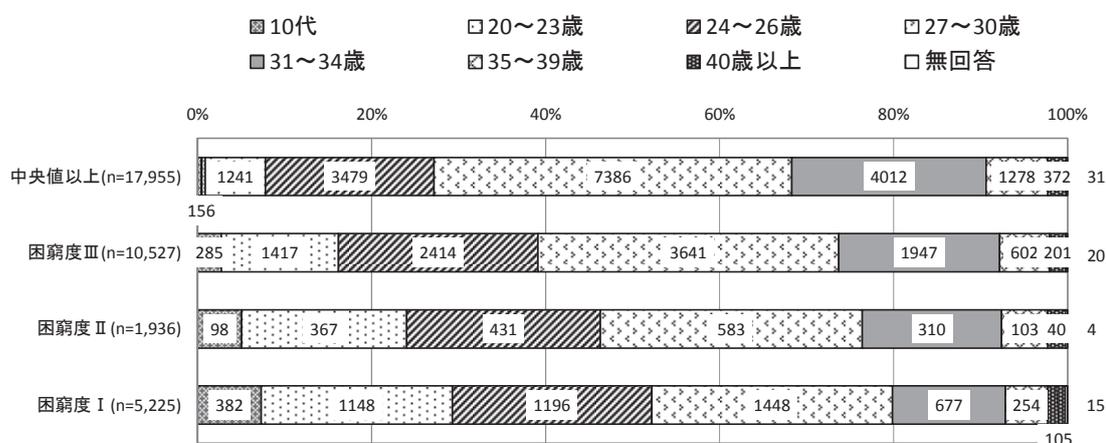


図 130. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合がやや高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 19）※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

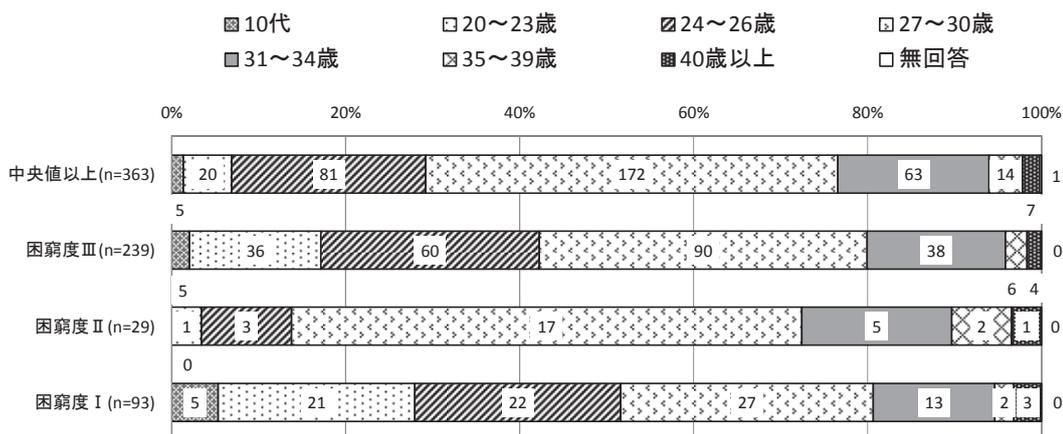


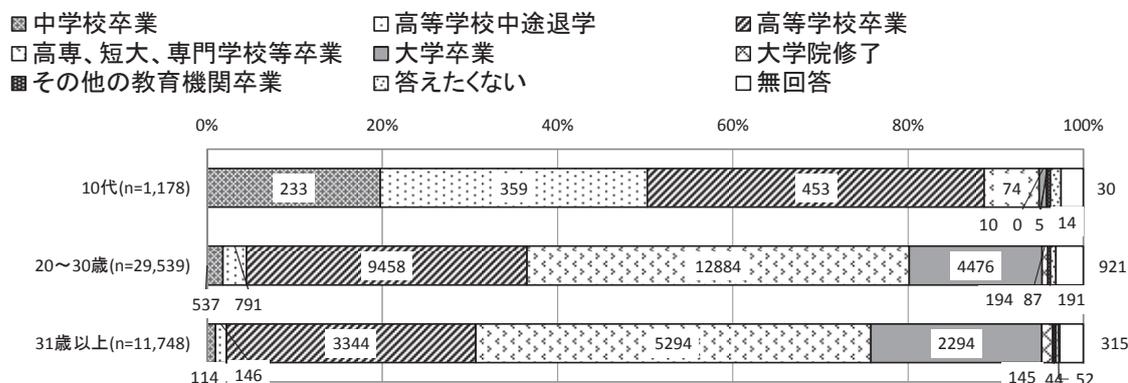
図 131. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、概ね、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（保護者票問 19×保護者票問 8）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

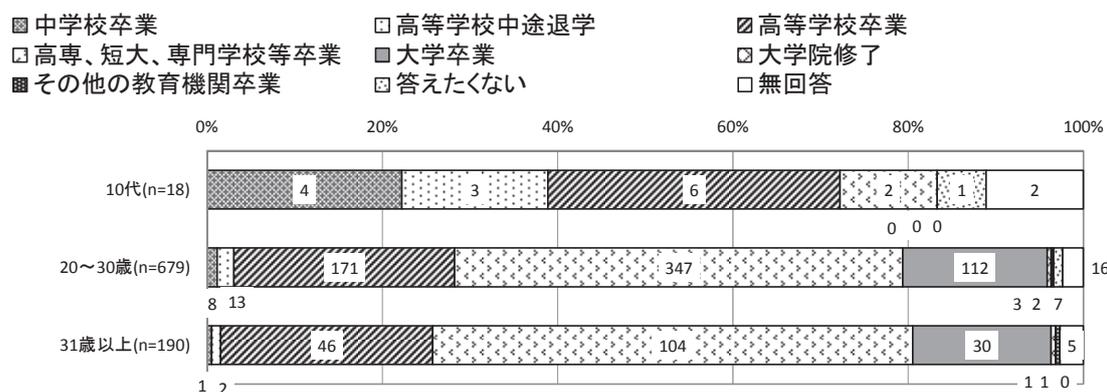


図 132. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（30歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に母親自身の最終学歴を見ると、10代群において「中学校卒業」または「高等学校中途退学」と回答した割合が高かった。

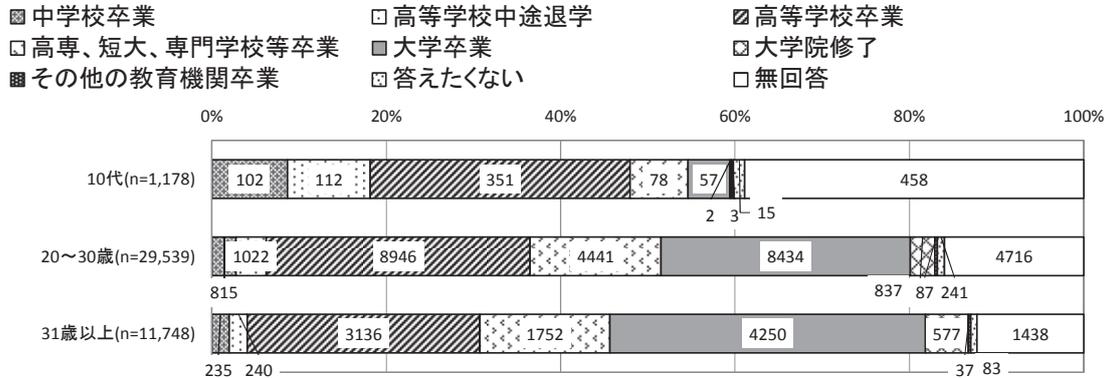
平均出産年齢：

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（保護者票問 19×保護者票問 8）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

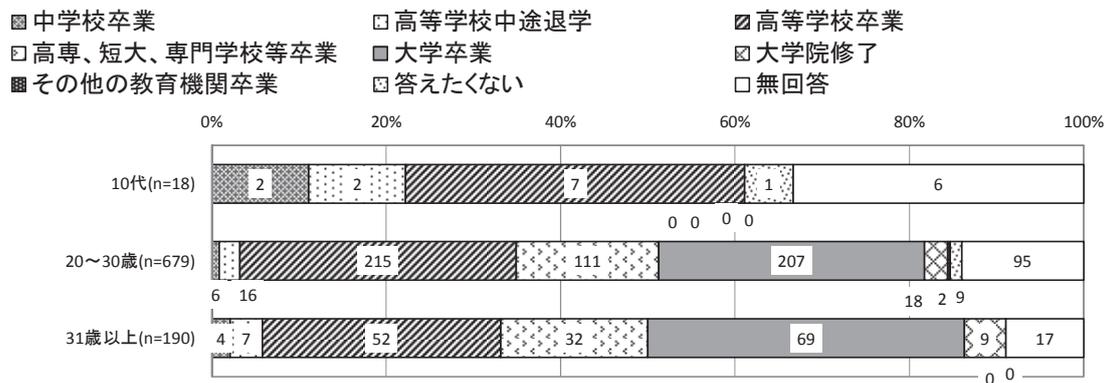


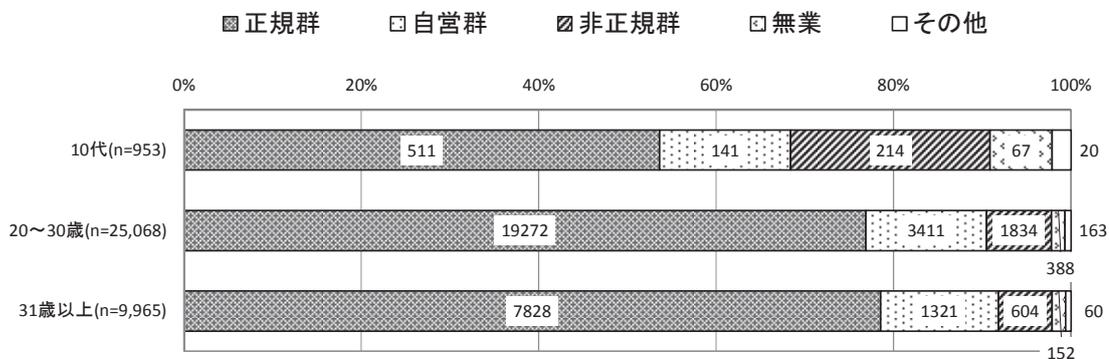
図 133. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に父親の最終学歴を見ると、10代群において「中学校卒業」または「高等学校中途退学」と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た就労状況（保護者票問 19×保護者票問 9 より）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

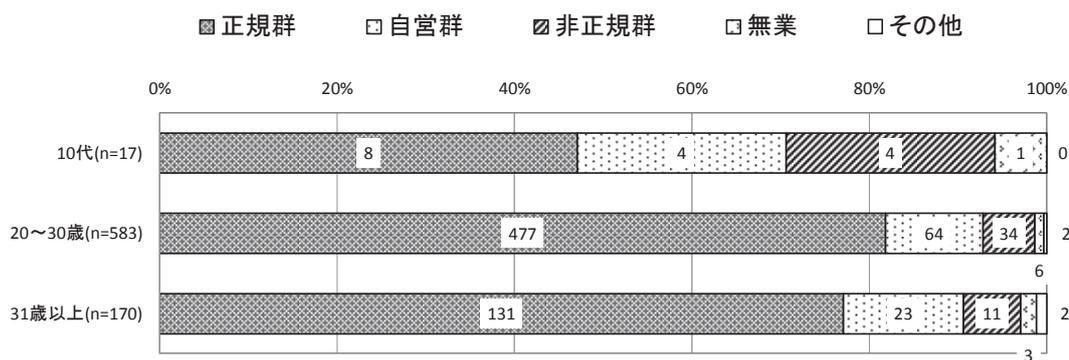


図 134. 初めて親となった年齢別に見た就労状況

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に就労状況を見ると、10代群は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「非正規群」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 19×保護者票問 23）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

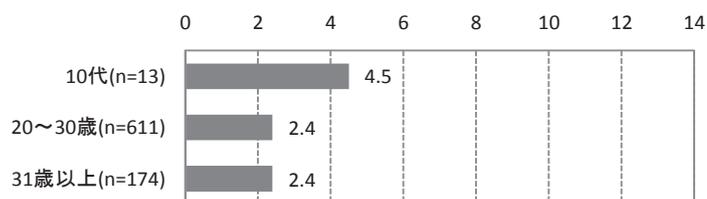
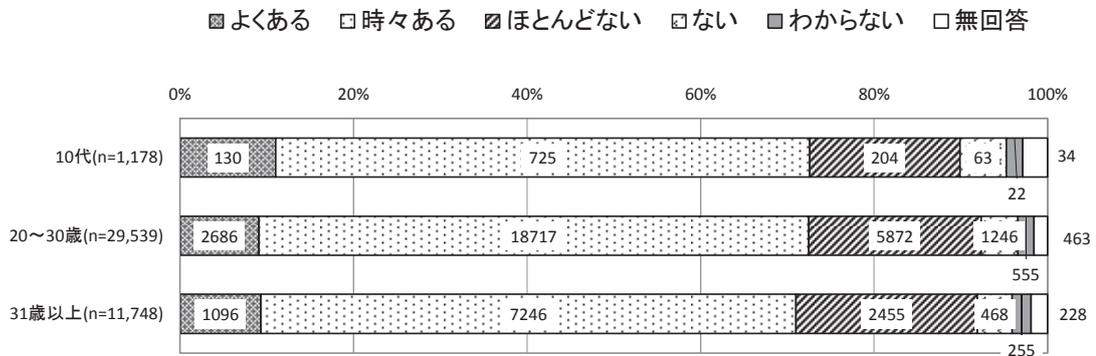


図 135. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代群は、他の群と比較して、自分の体や気持ちで気になると回答したことの数が多かった。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと
 (保護者票問 19×保護者票問 24) ※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

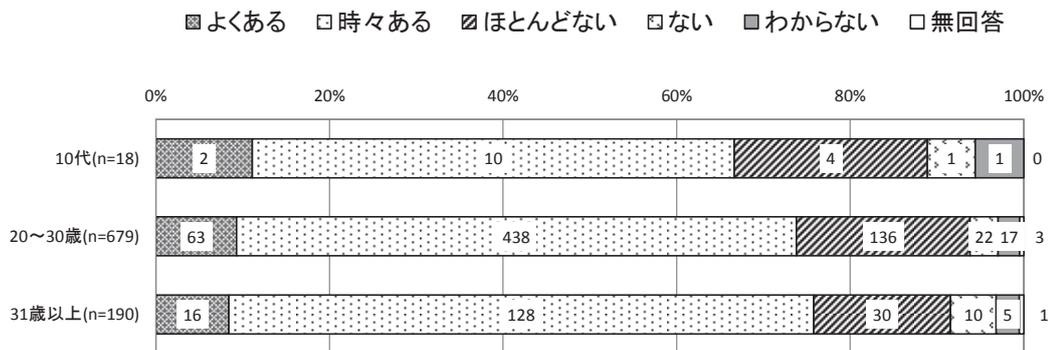
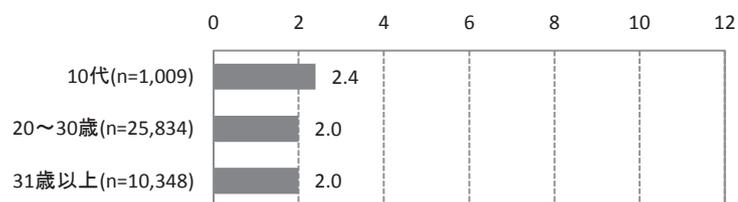


図 136. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことを見ると、10代群では「よくある」はわずかに割合が高く、「時々ある」は割合が低かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 19×子ども票問 21) ※母親が回答者の場合に限定

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

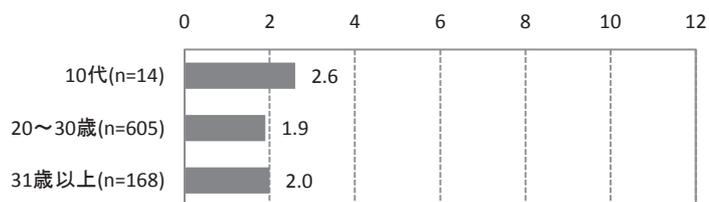
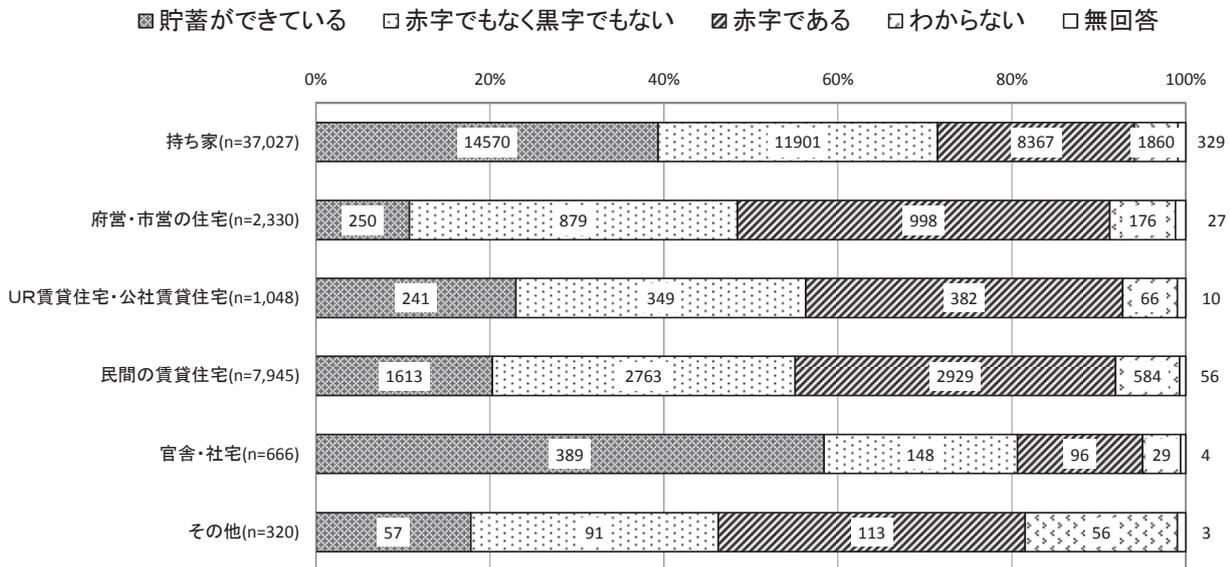


図 137. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢の各群別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代群が高い。

住居別に見た家計状況（保護者票問4×保護者票問6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

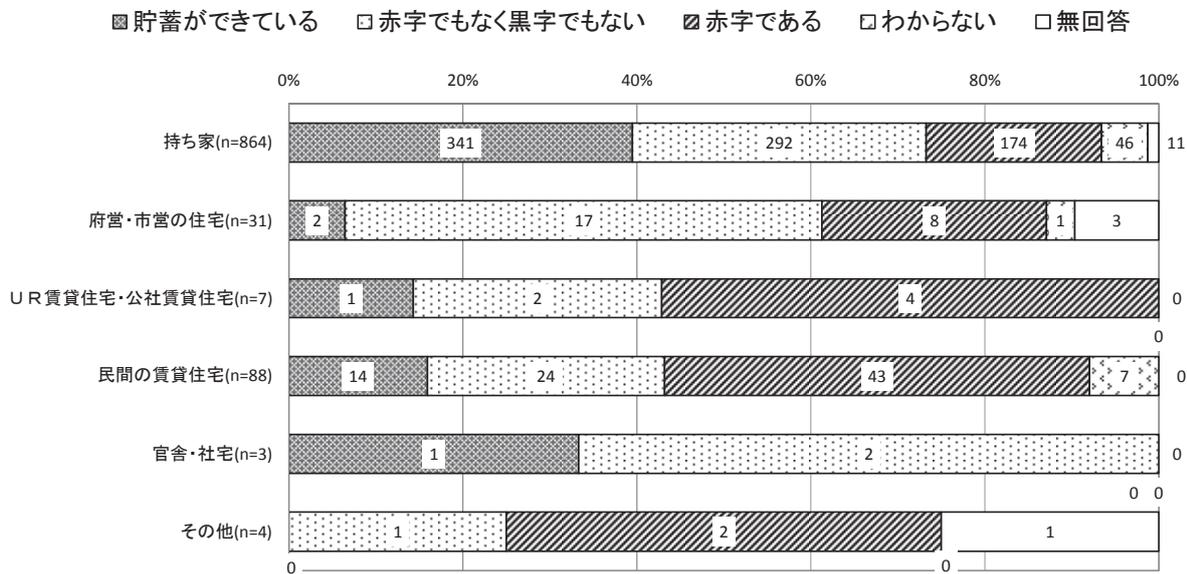
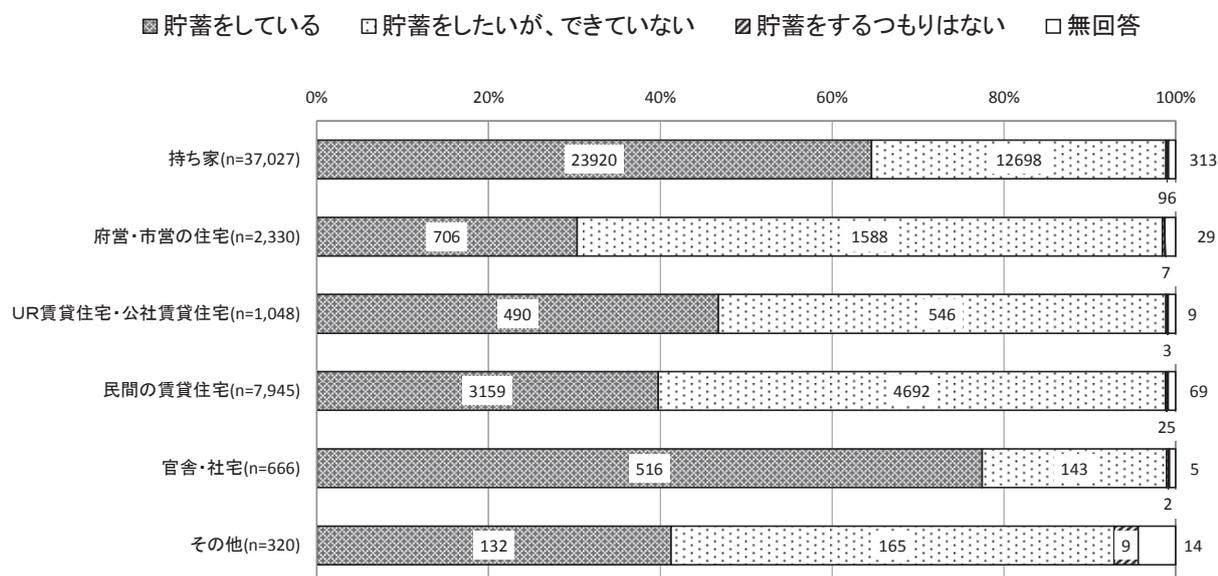


図 138. 住居別に見た家計状況

住居別に家計状況を見ると、「赤字である」と回答した割合は、府営・市営の住宅（25.8%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（57.1%）、民間の賃貸住宅（48.9%）に住む人で高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は20.1%であった。

住居別に見た、子どものための貯蓄（保護者票間 4×保護者票間 6-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

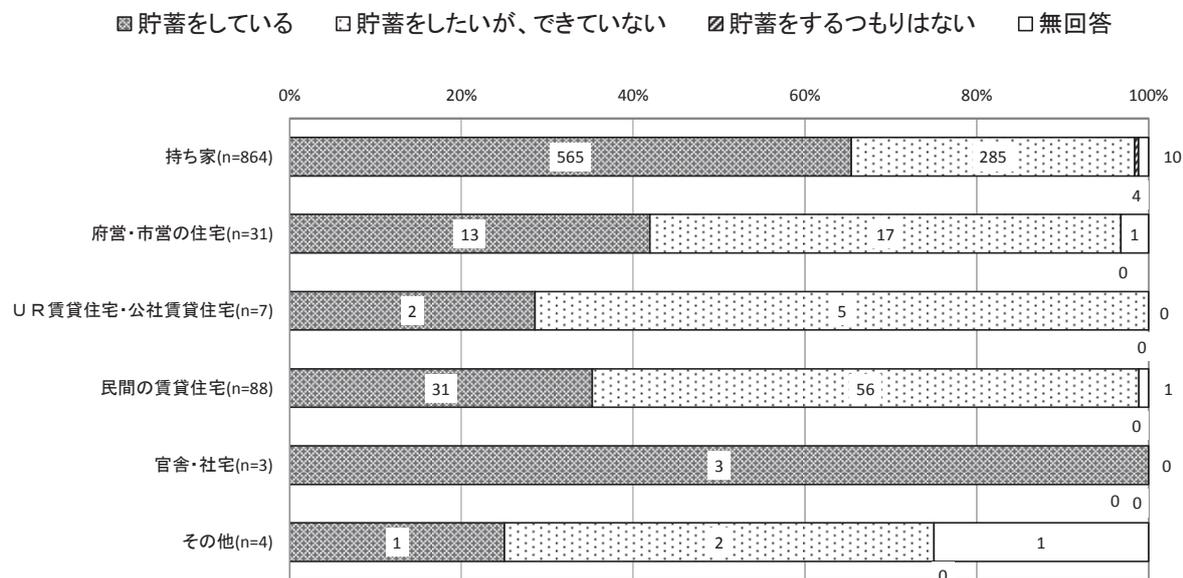


図 139. 住居別に見た、子どものための貯蓄

住居別に子どものための貯金を見ると、「貯蓄したいが、できていない」と回答した割合は、府営・市営の住宅（54.8%）、UR 賃貸住宅・公社賃貸住宅（71.4%）、民間の賃貸住宅（63.6%）に住む人で高かった。

<家庭状況に関する考察>

社会保障制度の利用状況について、特に困窮状況と子どもに関連する制度に着目すると、就学援助制度の利用率は、困窮度Ⅰ群で59.8%、Ⅱ群において52.9%となっている。生活保護制度を現在「受けている」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群以外におらず、困窮度Ⅰ群で4.9%である。ただし、困窮度Ⅱ群において「無回答」の割合が47.1%と高いため留意が必要である。ひとり親世帯対象の児童扶養手当の受給率は、困窮度Ⅰ群で78.8%、Ⅱ群で60%となっている（ただし、ひとり親世帯のサンプル数自体が少ないため数字の評価には留意が必要である）。それぞれの制度の支給要件が異なる基準ではあるが、制度の周知を図り、困窮層が確実に制度につながる仕組みづくりが求められている。公的な給付ではないが、ひとり親世帯に関連する養育費の受給状況をみる。困窮度Ⅰ群は23.0%、困窮度Ⅱ群は60.0%となっている。各家庭の諸事情に配慮しながら受給率を上げる取り組みの必要性が示されている。

住居別に家計状況を見ると、「赤字である」と回答した割合は、府営・市営の住宅（25.8%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（57.1%）、民間の賃貸住宅（48.9%）に住む人で高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は20.1%であった。ここでもサンプル数が少ないため数値の評価には一定の留意が必要である。住居別に子どものための貯金の状況について、「貯蓄したいが、できていない」と回答した割合は、府営・市営の住宅（54.8%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（71.4%）、民間の賃貸住宅（63.6%）に住む人で高かった。公営住宅等の入居には、所得要件等があるため、必然的に、困窮層の割合が他の住宅群に比べて高くなるともいえるが、家賃の負担が軽減されてもなお家計が厳しいことが示されている。家賃の減免等の利用ができていないのか、他の必要な社会保障制度を利用できているのかどうか、さらに丁寧な支援が求められているといえる。また、民間賃貸住宅に住む世帯でも子どものための貯蓄ができていない層が一定数おり、子育て世帯における家賃軽減策のニーズが確認されている。

はじめて親になった年齢（母親が回答者の場合）を困窮度別にみると、困窮度Ⅰ群で10代および20～23歳の割合が28.0%ともっとも高い結果となった。

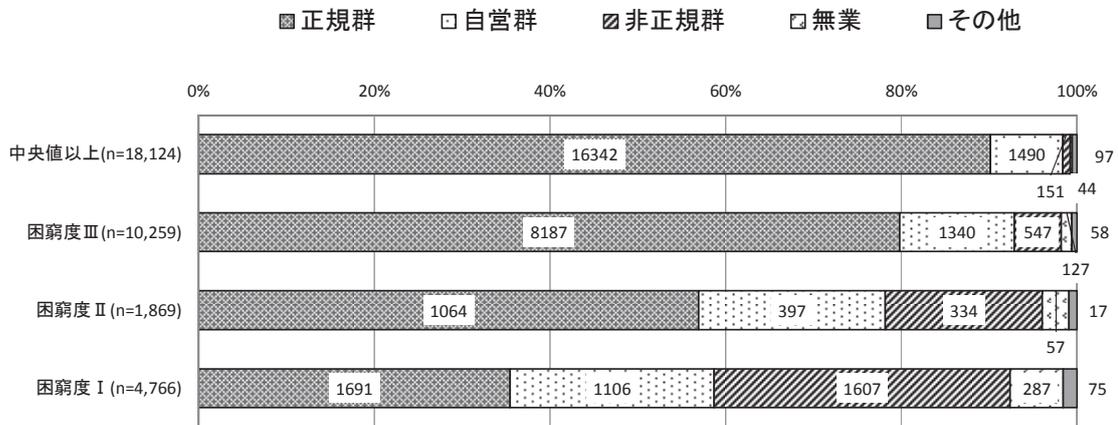
母親の学歴を出産年齢別にみると、20代、30代では、中卒および高校中退をあわせてごくわずか（約3%前後）であるのに対して、10代では4割弱を占めている結果となった。

学歴との関連が推測されるが、就労状況についても、20代、30代に比べ、正規群の割合が10代では47.1%にとどまっている。10代の特徴として、心身の自覚症状の該当数の高さは、母親自身だけではなく子どもにも当てはまる。出産前後のケアだけではなく、長期的な視点にたち、子どもを含めた健康支援、子育て支援、親自身の学びなおし、就労支援などの支援施策の必要性が示されたといえる。

3-2. 雇用

困窮度別に見た就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

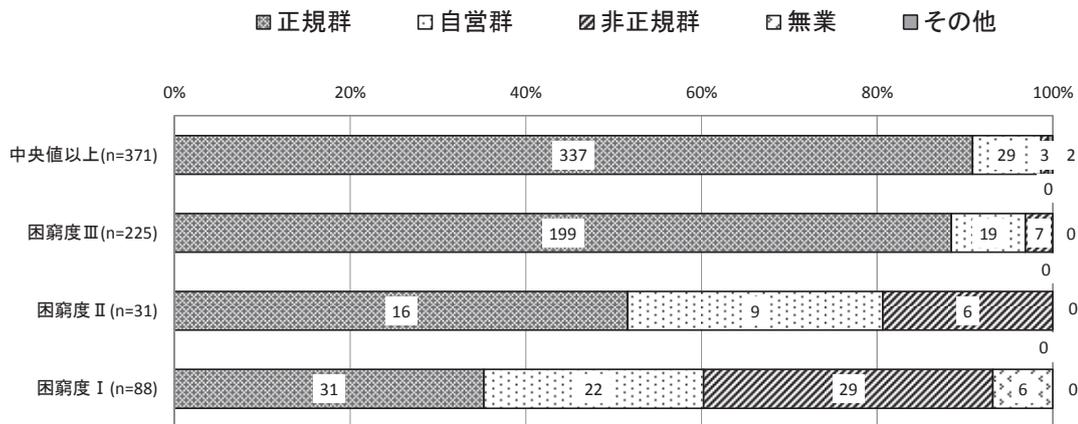


図 140. 困窮度別に見た就労状況

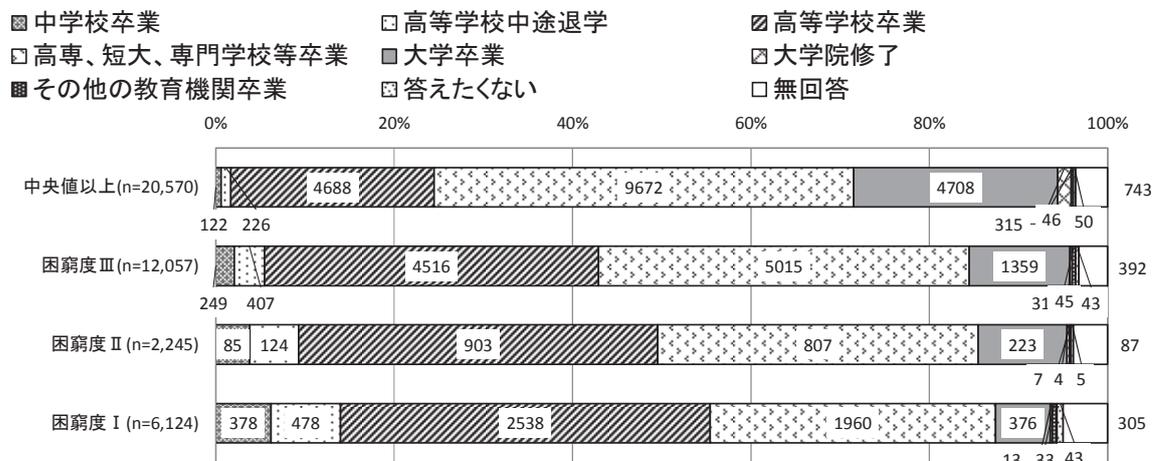
困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」・「非正規群」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」・「無業」の割合がやや高く、それぞれ33.0%、6.8%となっている。

※就労形態は以下のように分類している。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれば「正規群」（問9選択肢1）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれば「自営群」（問9選択肢4）、
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれば「非正規群」（問9選択肢2、3）、
 上記以外で、誰も働いていなければ（問9選択肢6、7）無業。
 上記以外がその他 となる。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

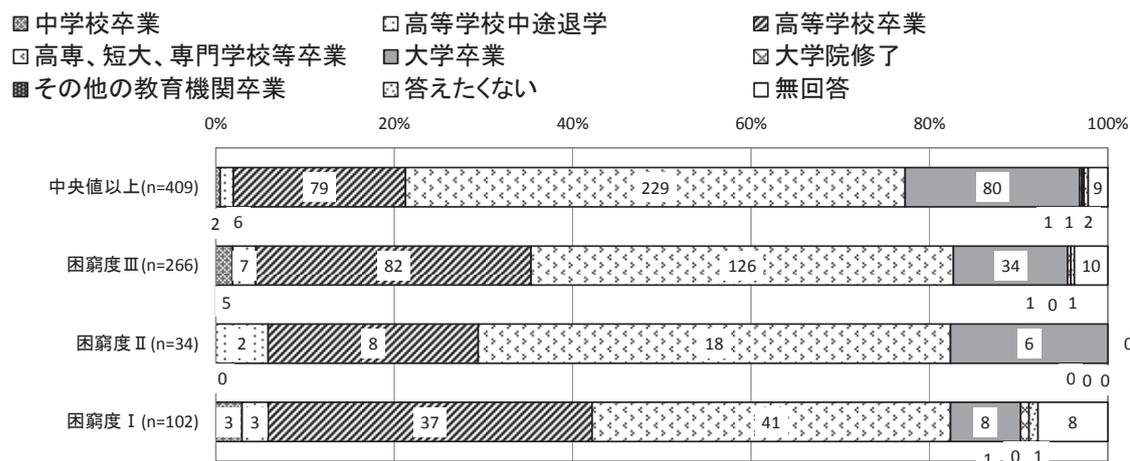
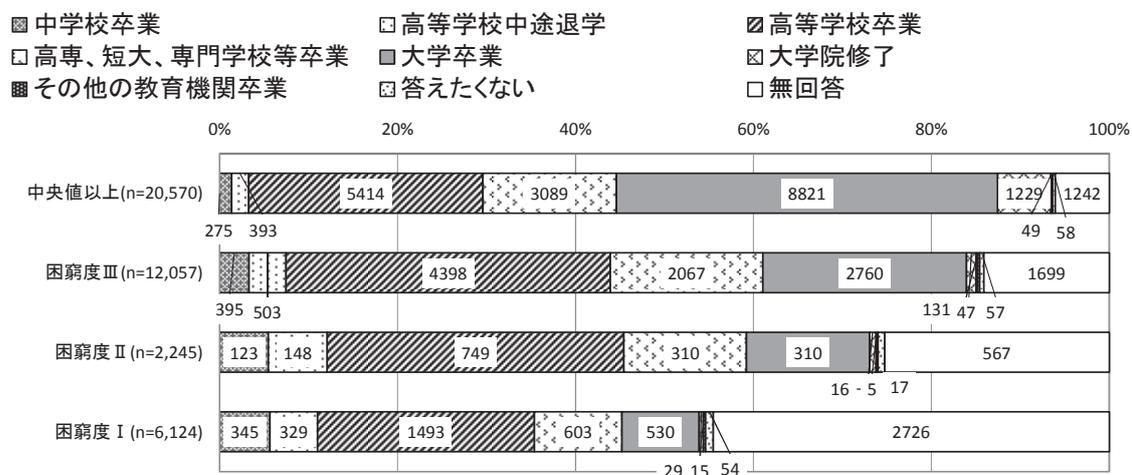


図 141. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」、「高等学校卒業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では他に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（保護者票問 8）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

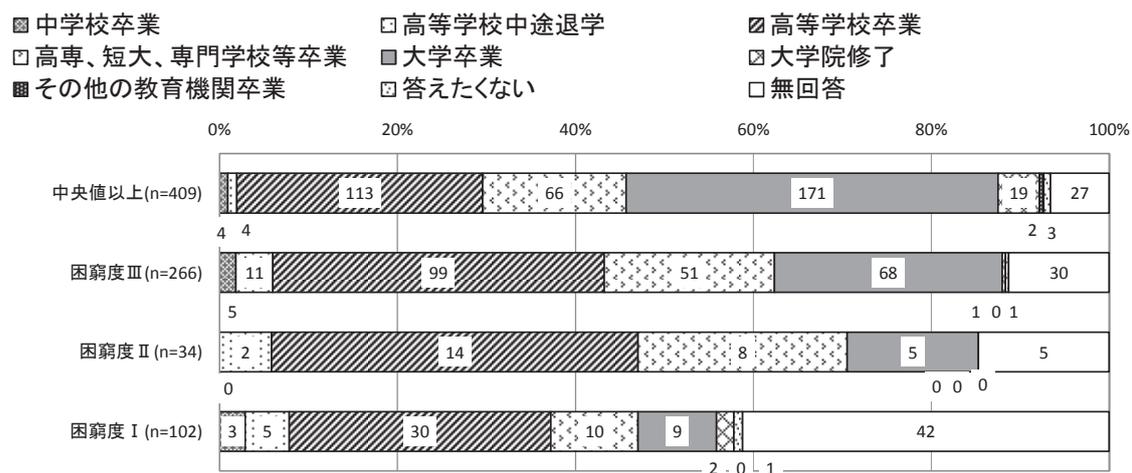
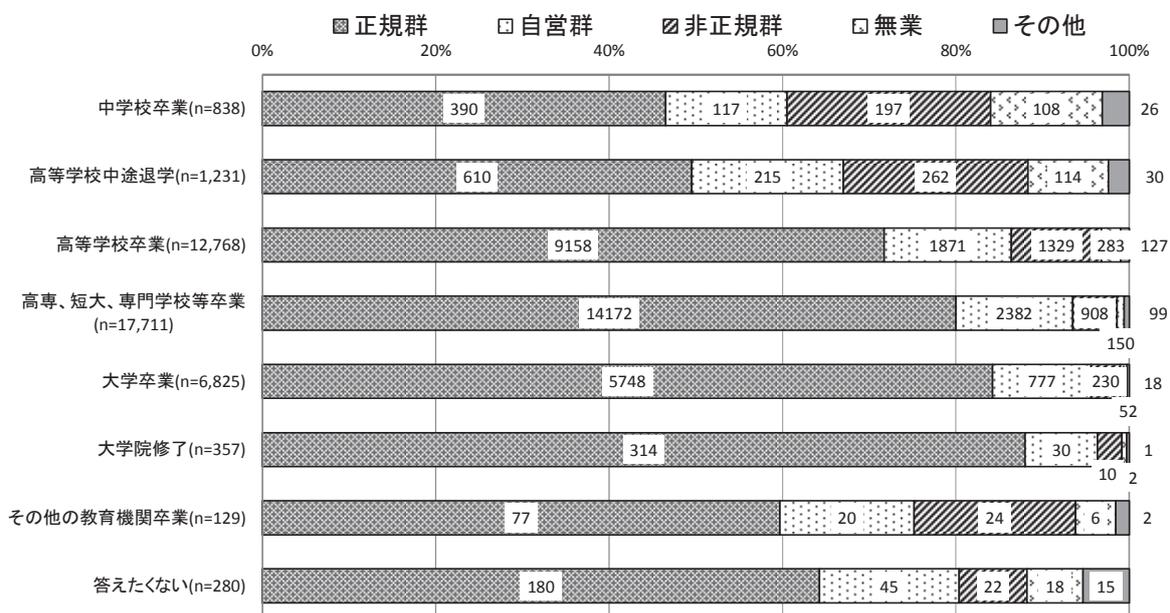


図 142. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ 2.9%、4.9%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答の割合も高い (41.2%)

母親の最終学歴別に見た就労状況（保護者票問8×保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

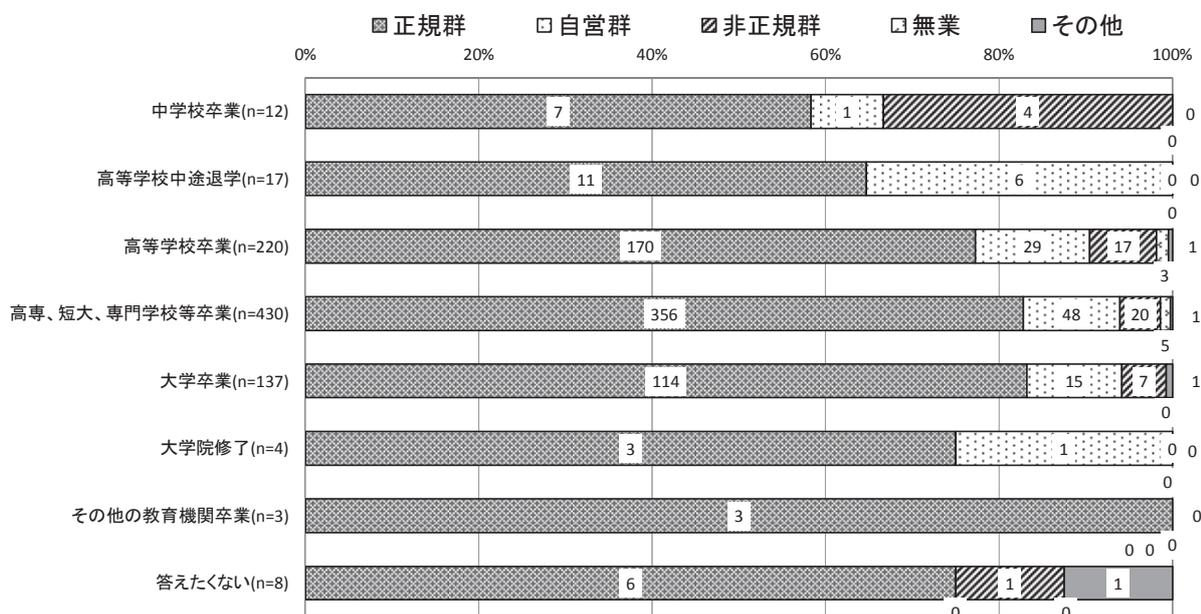
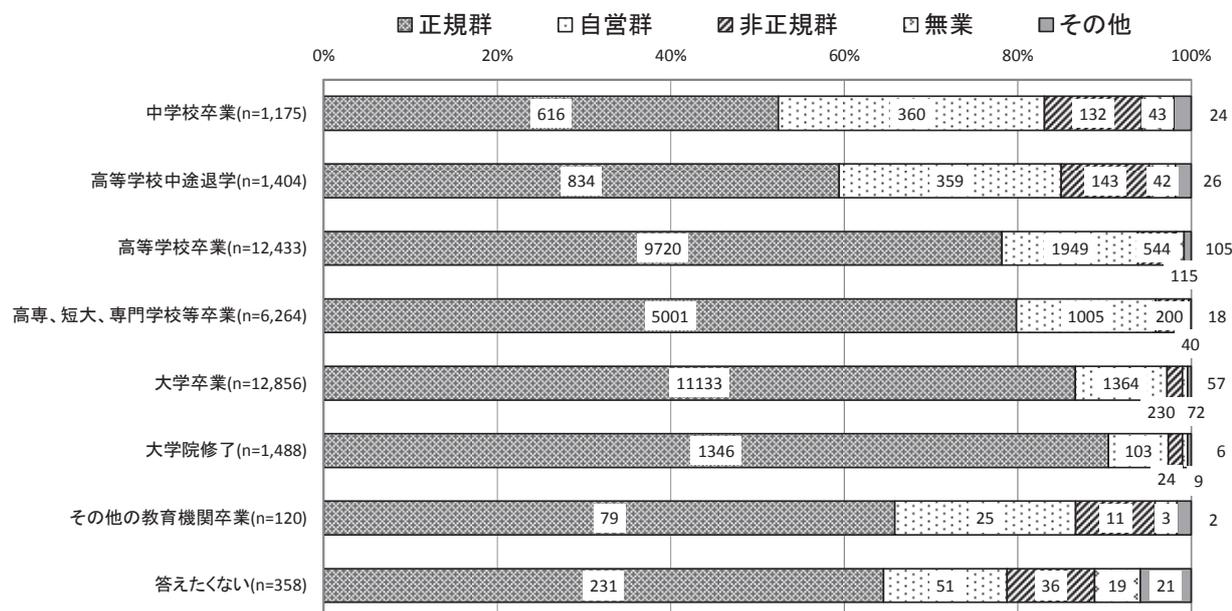


図 143. 母親の最終学歴別に見た就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た就労状況（保護者票問8×保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

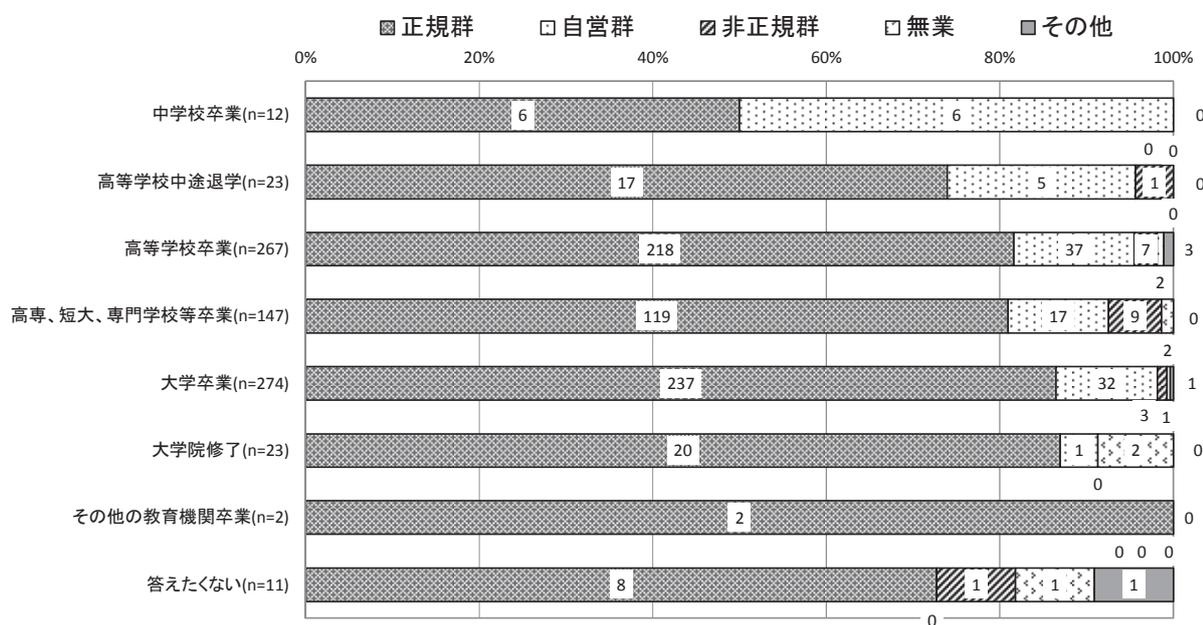
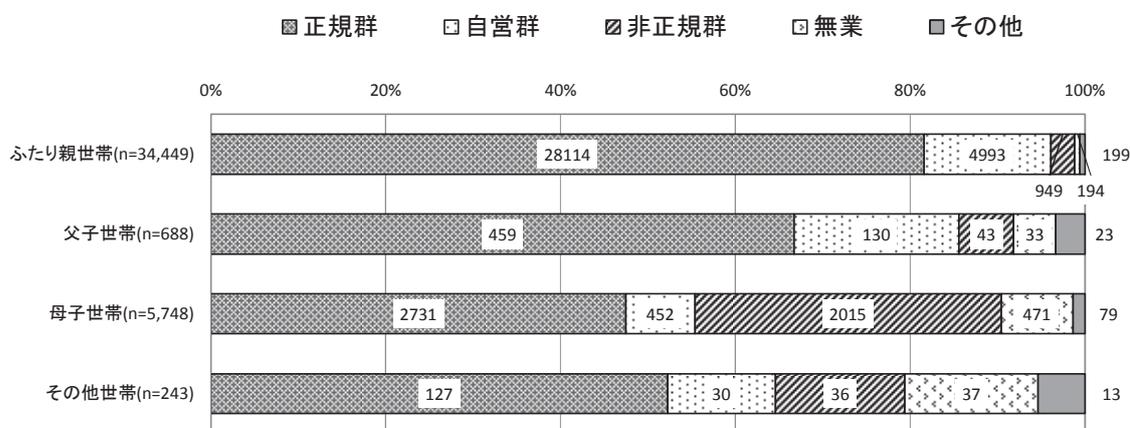


図 144. 父親の最終学歴別に見た就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「父親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た就労状況（保護者票問9より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

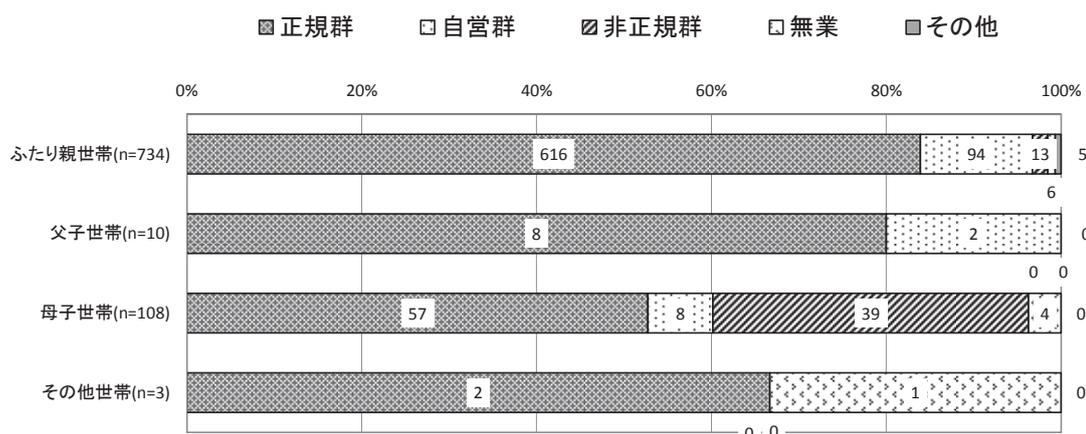
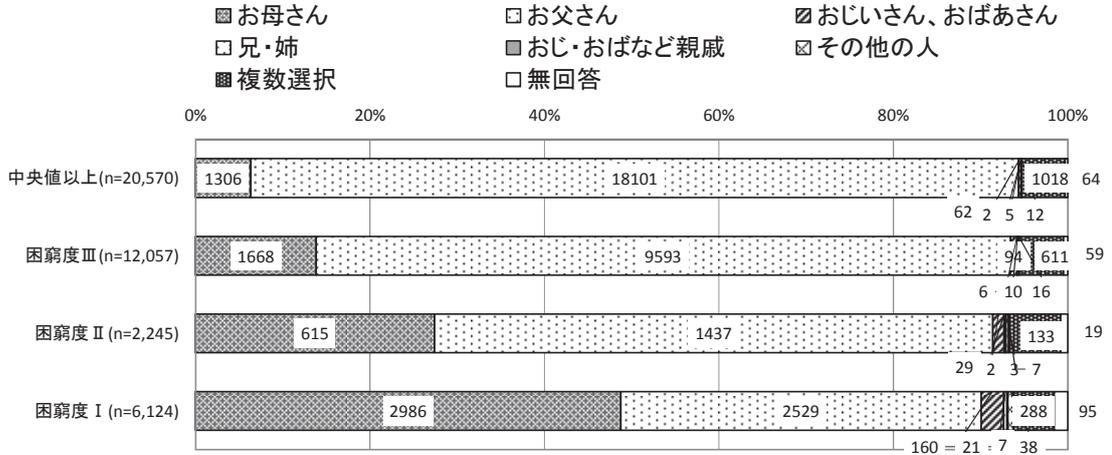


図 145. 世帯構成別に見た就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が 83.9%であるが、「母子世帯」では 52.8%と低くなる。「非正規群」は、「父子世帯」では該当なし、「母子世帯」では 36.1%となっている。

困窮度別に見た、生計の支えとなる人（保護者票間 27-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

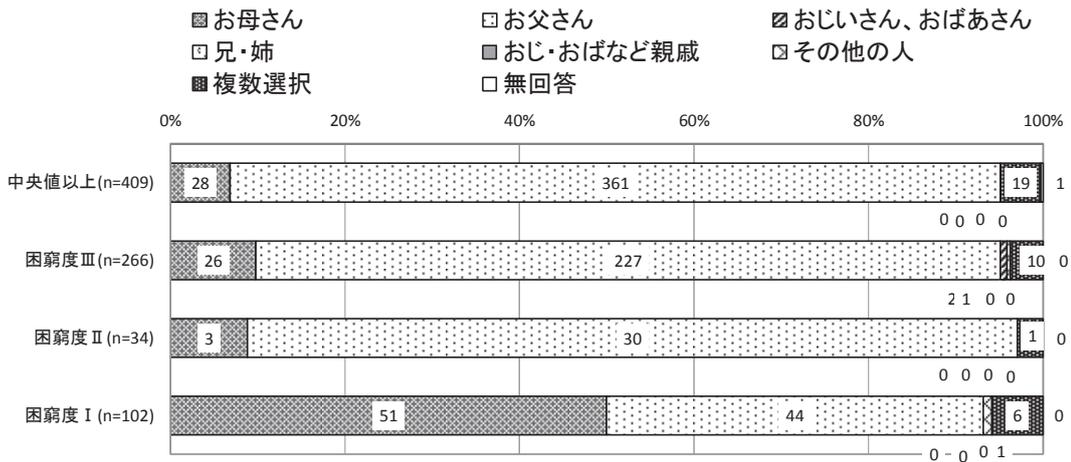
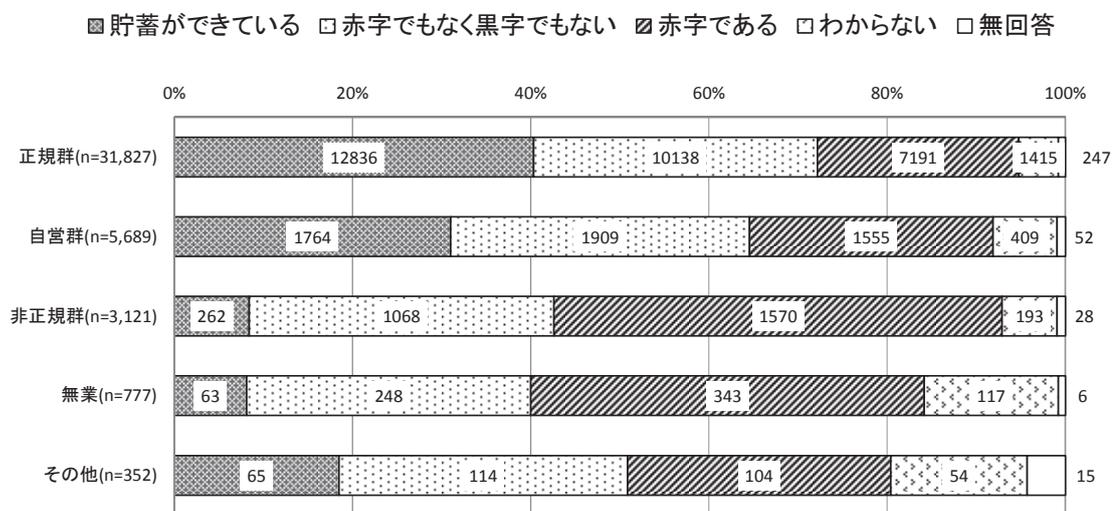


図 146. 困窮度別に見た、生計の支えとなる人

困窮度別に生計の支えとなる人を見ると、中央値以上群では「お父さん」という回答が多く、88.3%である。困窮度が高まるにつれ、「お母さん」という回答が多くなっている。困窮度Ⅱ群では「お母さん」という回答は8.8%、困窮度Ⅰ群では50.0%である。

就労状況別に見た家計状況（保護者票問 6-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

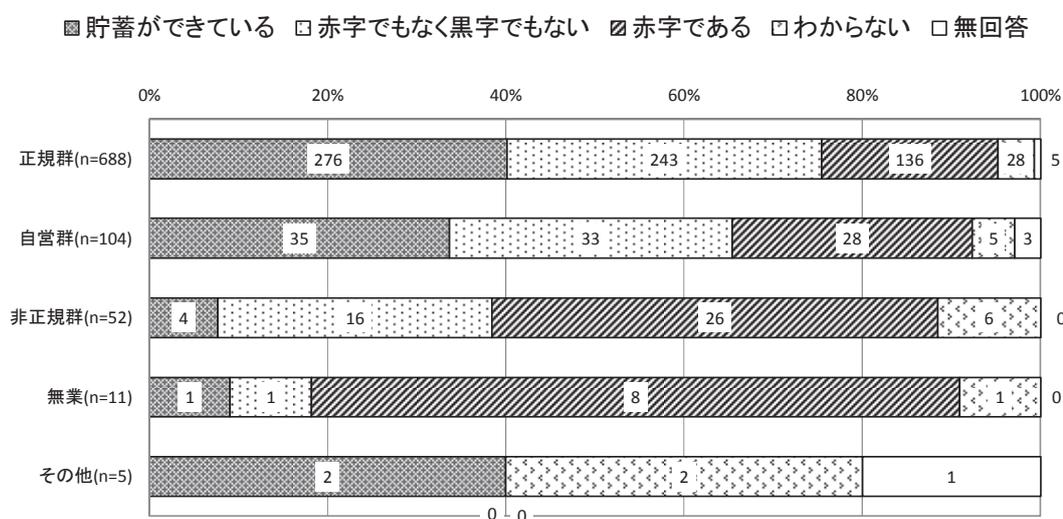


図 147. 就労状況別に見た家計状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」・「自営群」では貯蓄ができている割合がそれぞれ、40.1%、33.7%である。「非正規群」では「赤字である」と回答した人が50.0%にのぼっている。「赤字でもなく黒字でもない」群に大きな差は見られない。

<雇用に関する考察>

本調査では、雇用形態が、所得階層の分布に反映されていることが示されている。すなわち、中央値以上の群では、正規雇用が 90.8%であるのに対して、困窮度 I の群では 35.2%にとどまり、非正規雇用は 33.0%であった。なお、正規雇用であるにも関わらず、困窮度 I の群になるという点は、いわゆるワーキングプアの問題として注意する必要がある。

また、困窮度が高い群ほど学歴が低い傾向にある。母親の学歴を見ると中央値以上の群では 19.6%が大学卒であるのに対して、困窮度 I の群では 7.8%である。父親の学歴を見ると、中央値以上の群では 41.8%が大学卒であるのに対して、困窮度 I の群では 8.8%であった。困窮度 I において母親が中卒あるいは高校中退である割合は 2.9%であるのに対して、中央値以上の群では、中卒が 0.5%、高校中退が 1.5%であった。父親の場合は、中央値以上の群で中卒もしくは高校中退である割合は 1%であったのに対し、困窮度 I の群ではそれぞれ 2.9%と 4.9%であった。学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高くなる傾向もみられた。大学卒の場合、80%以上が正規雇用であった。

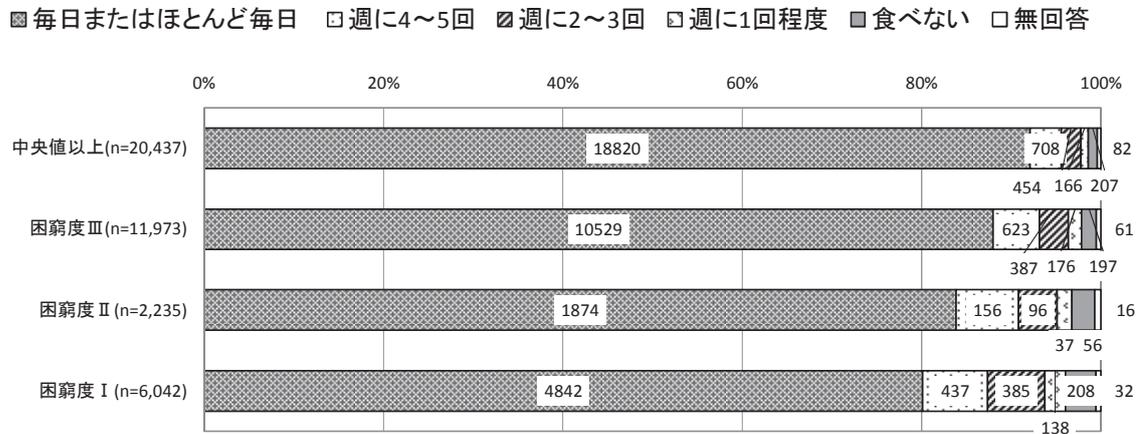
世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯や父子世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が高く、36.1%となっていた。困窮度 I の群では、主たる生計維持者が母親である場合が 50.0%であった。

最後に、正規雇用である世帯の約 40%は、貯蓄ができるのに対し、非正規雇用の群ではその割合は 7.7%にとどまり、半数の世帯が赤字であると回答している。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問5-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

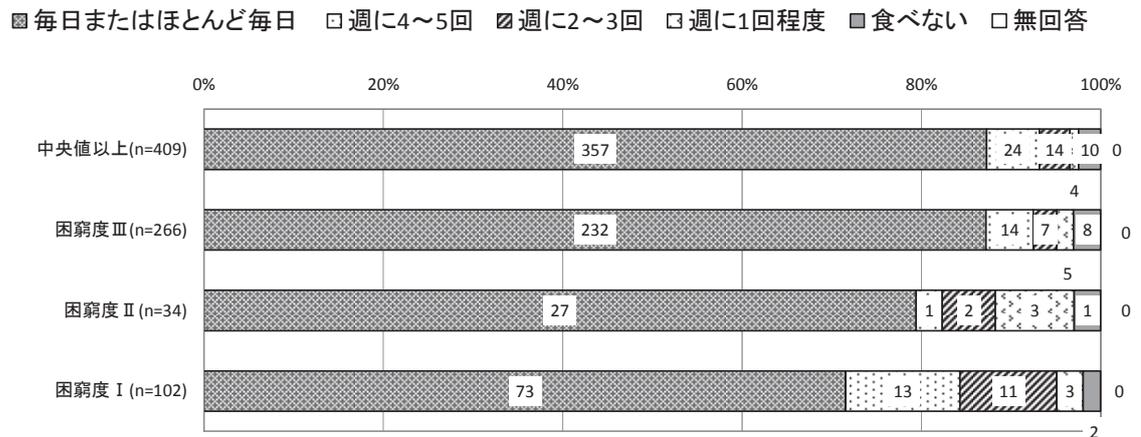
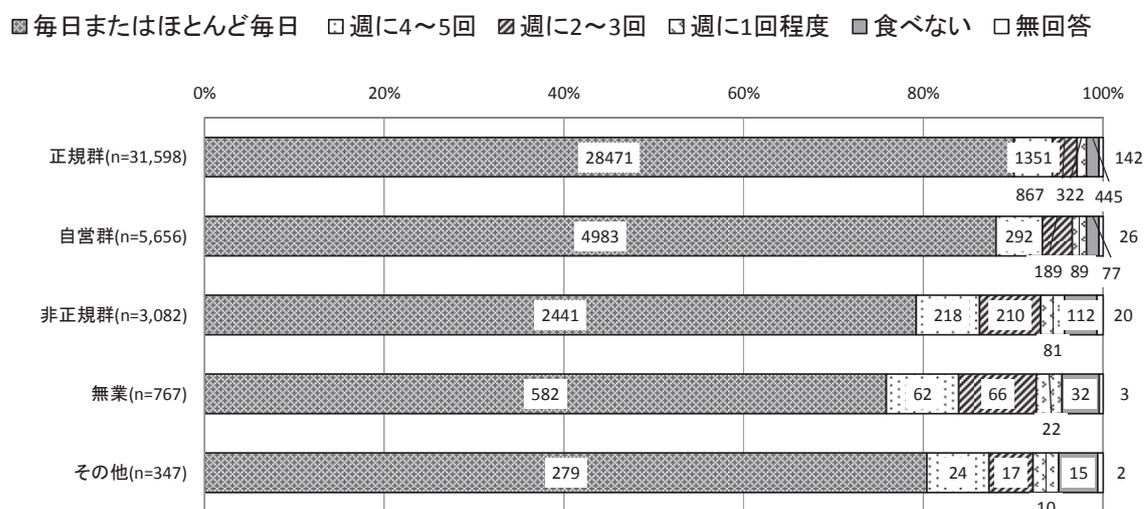


図 148. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高くなるにしたがって、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が減る傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、28.4%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていないと回答した。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問 5-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

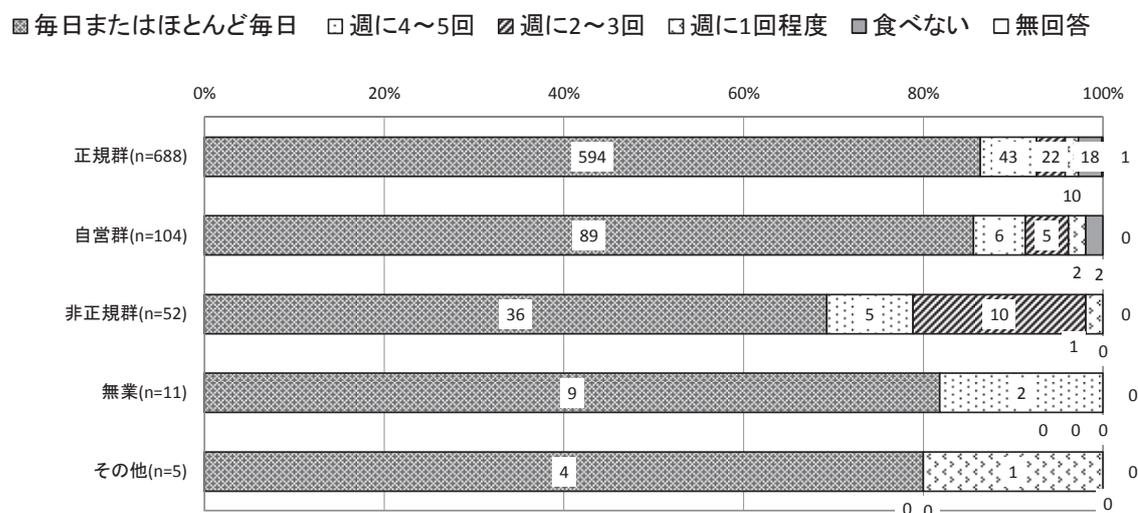


図 149. 就労状況別に見た、朝食の頻度

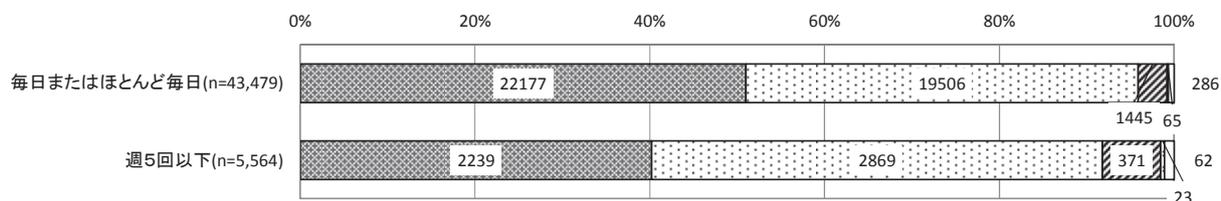
就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」が最も高く、次いで、「自営業」、「無業」、「その他」「非正規群」の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

（子ども票 5-1×保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>

■ とも信頼している □ 信頼している ▨ あまり信頼していない □ 信頼していない □ 無回答



<大阪狭山市>

■ とも信頼している □ 信頼している ▨ あまり信頼していない □ 信頼していない □ 無回答

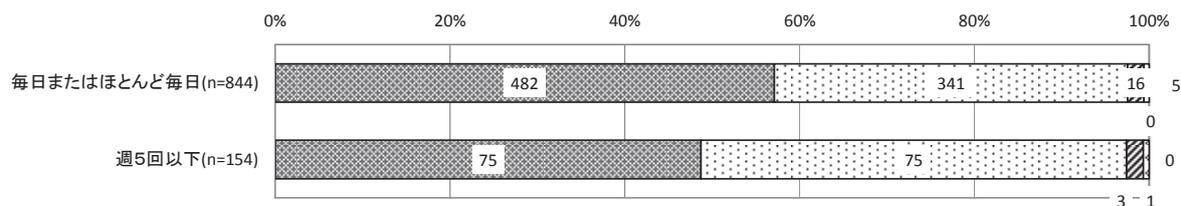
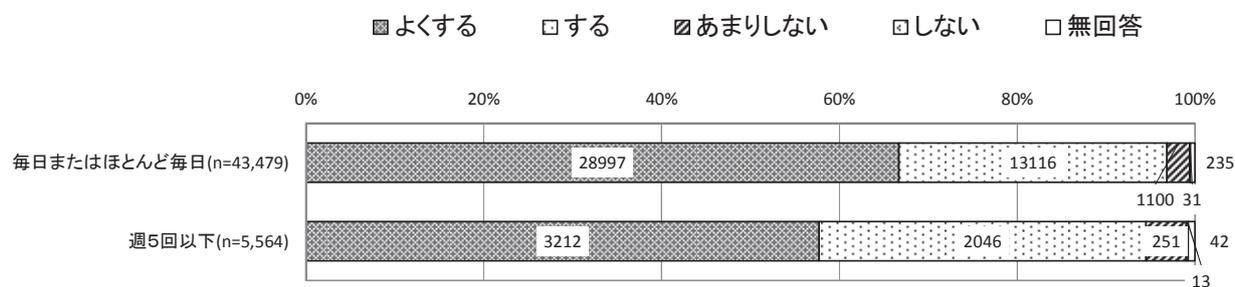


図 150. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とも信頼している」との回答が 57.1%であるのに対し、「週 5 回以下」では、「とも信頼している」と回答した人は 48.7%と低い。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）
 （子ども票 5-1×保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

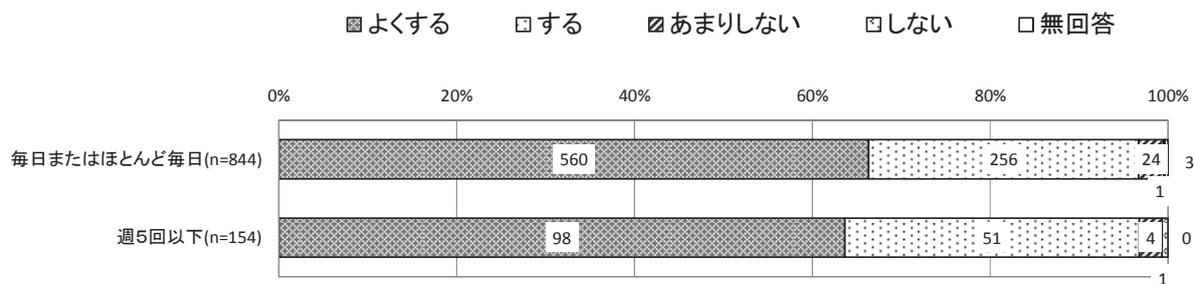
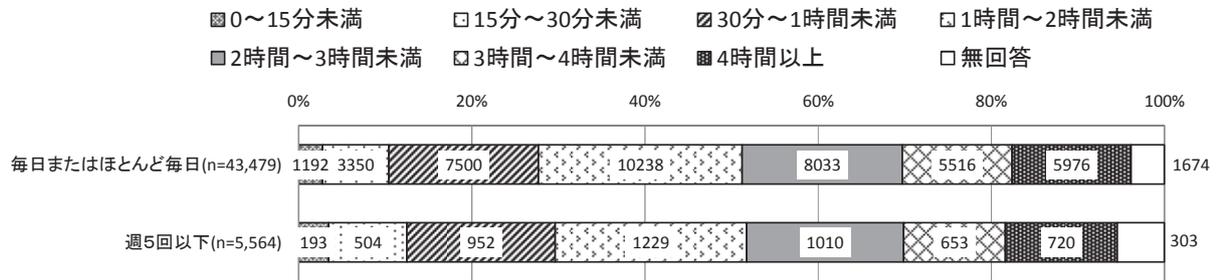


図 151. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人と「週5回以下」の人では、「子どもと会話」に大きな差は見られない。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
 （子ども票 5-1×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

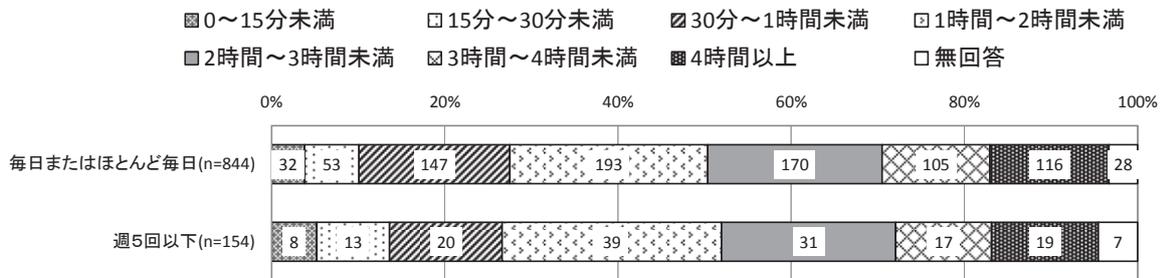
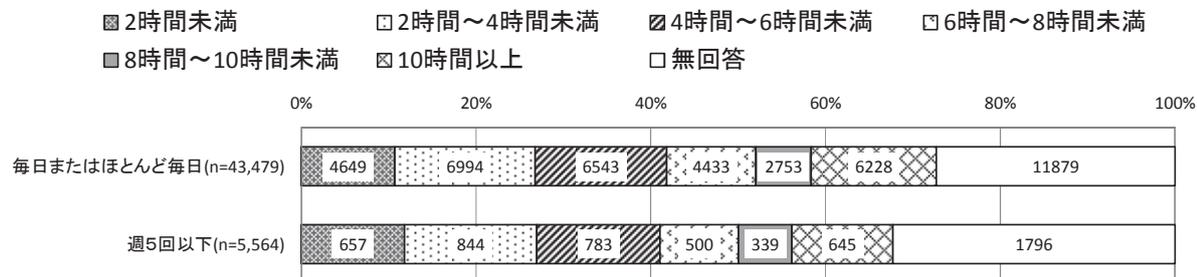


図 152. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「週5回以下」の人よりも「0～15分未満」「15～30分未満」と回答した人の割合が低い。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））
 （子ども票 5-1×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

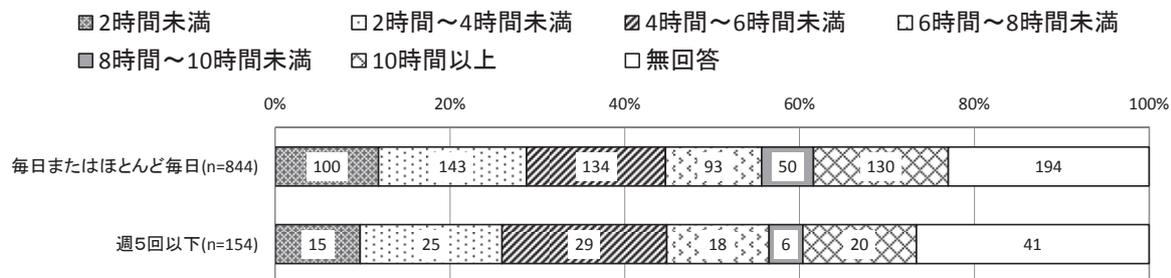
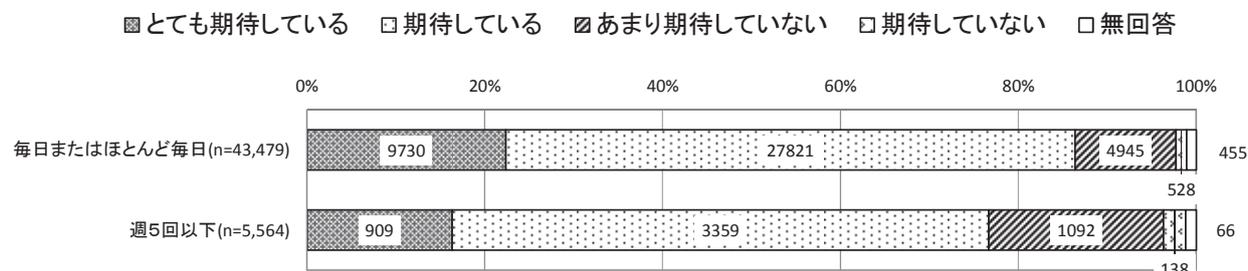


図 153. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））

朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが、「週5回以下」の人よりも「2時間未満」「2時間～4時間未満」と回答した人の割合が高い。

朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
 （子ども票 5-1×保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

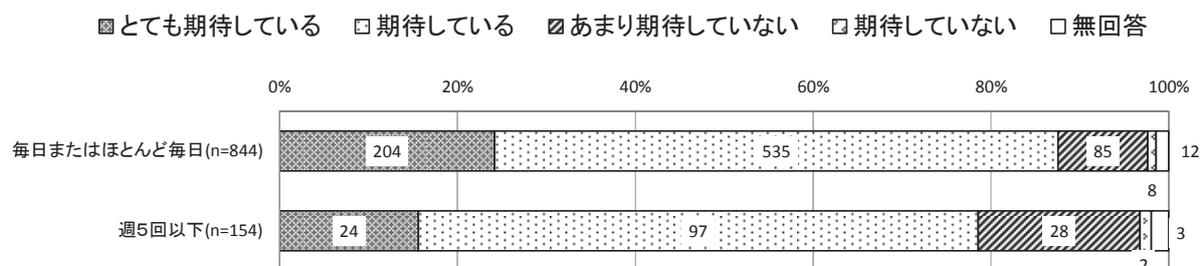


図 154. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

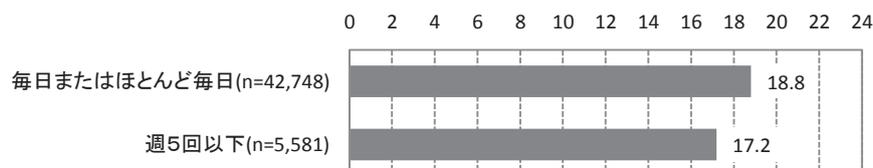
朝食の頻度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、87.6%であるのに対して、「週5回以下」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて78.6%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「週5回以下」の人より、子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

（子ども票 5-1×子ども票問 23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人は信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の6項目について、それぞれ4段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

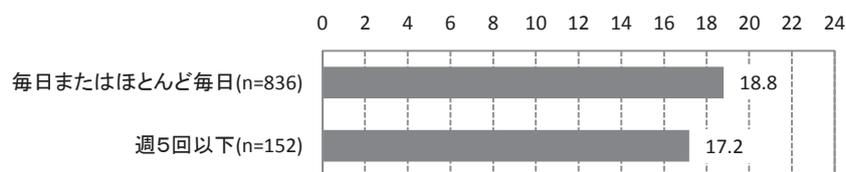


図 155. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

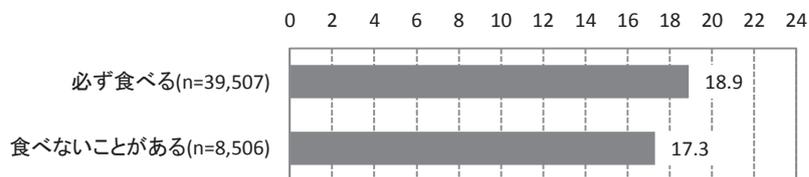
朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、18.8点であるのに対して、「週5回以下」では、17.2点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが「週5回以下」の人よりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

（子ども票 7×子ども票間 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

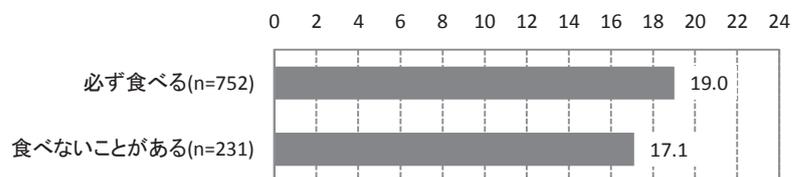
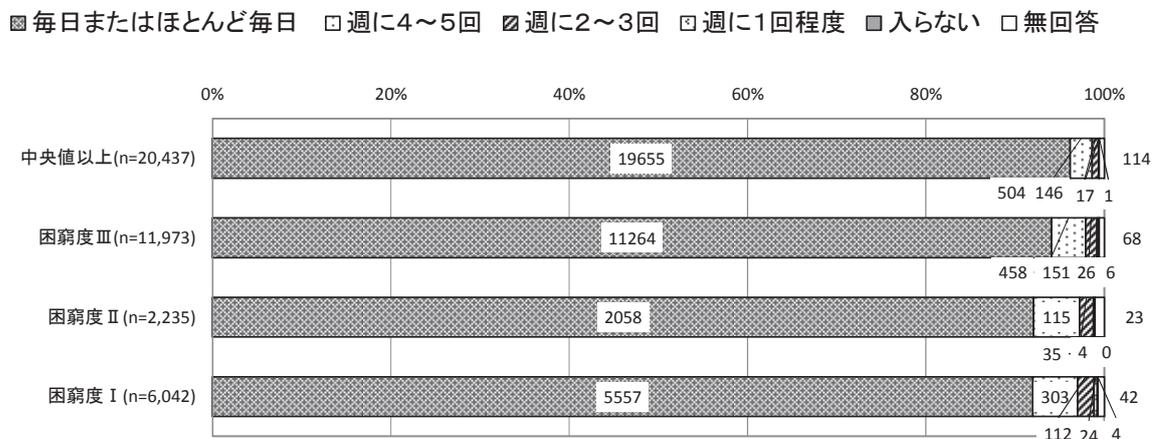


図 156. 昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が 19.0 点であるのに対して、「食べないことがある」と回答した人は 17.1 点と昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た入浴頻度（子ども票問8）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

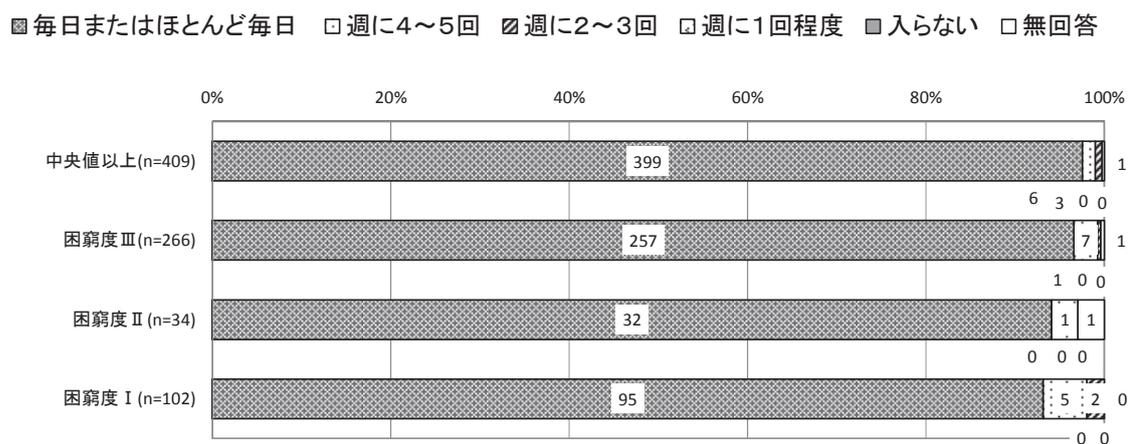
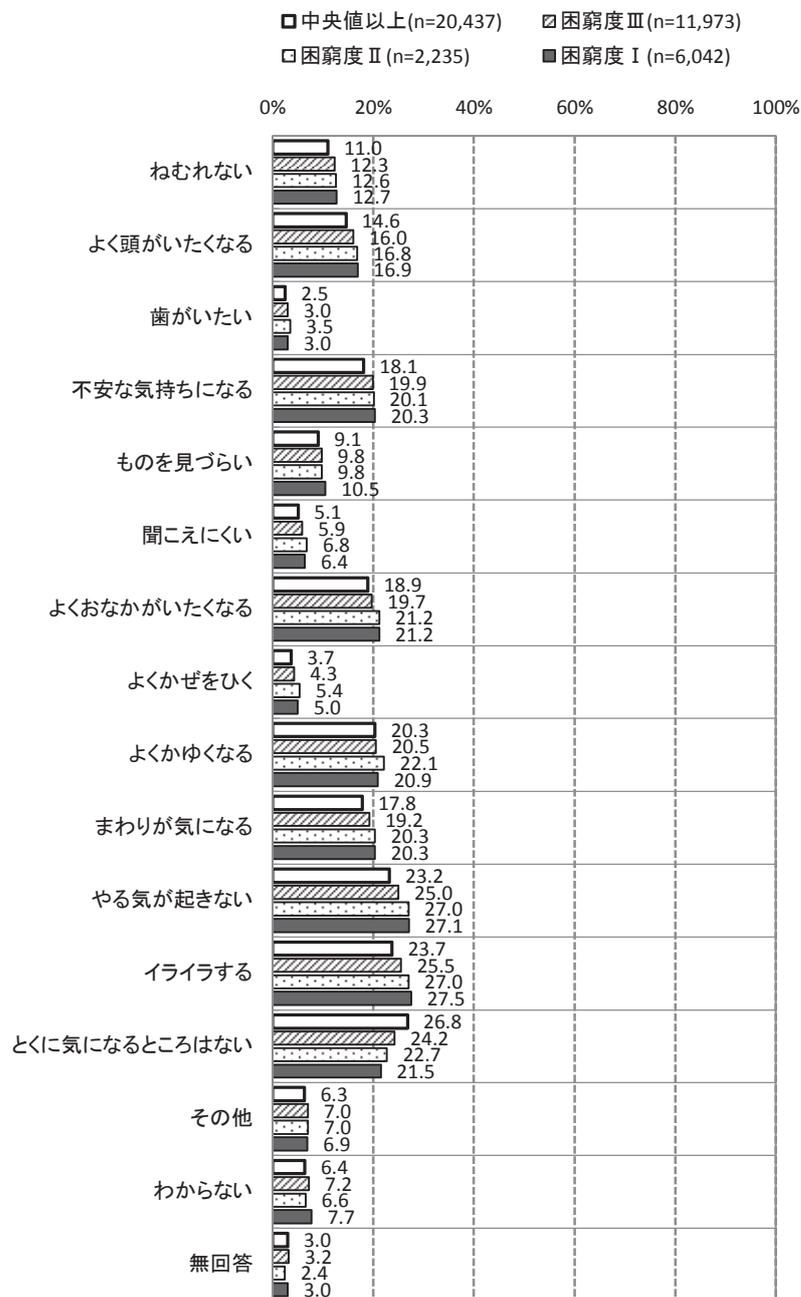


図 157. 困窮度別に見た入浴頻度

困窮度別に入浴頻度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「毎日またはほとんど毎日」と回答した割合が低くなっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（子ども票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

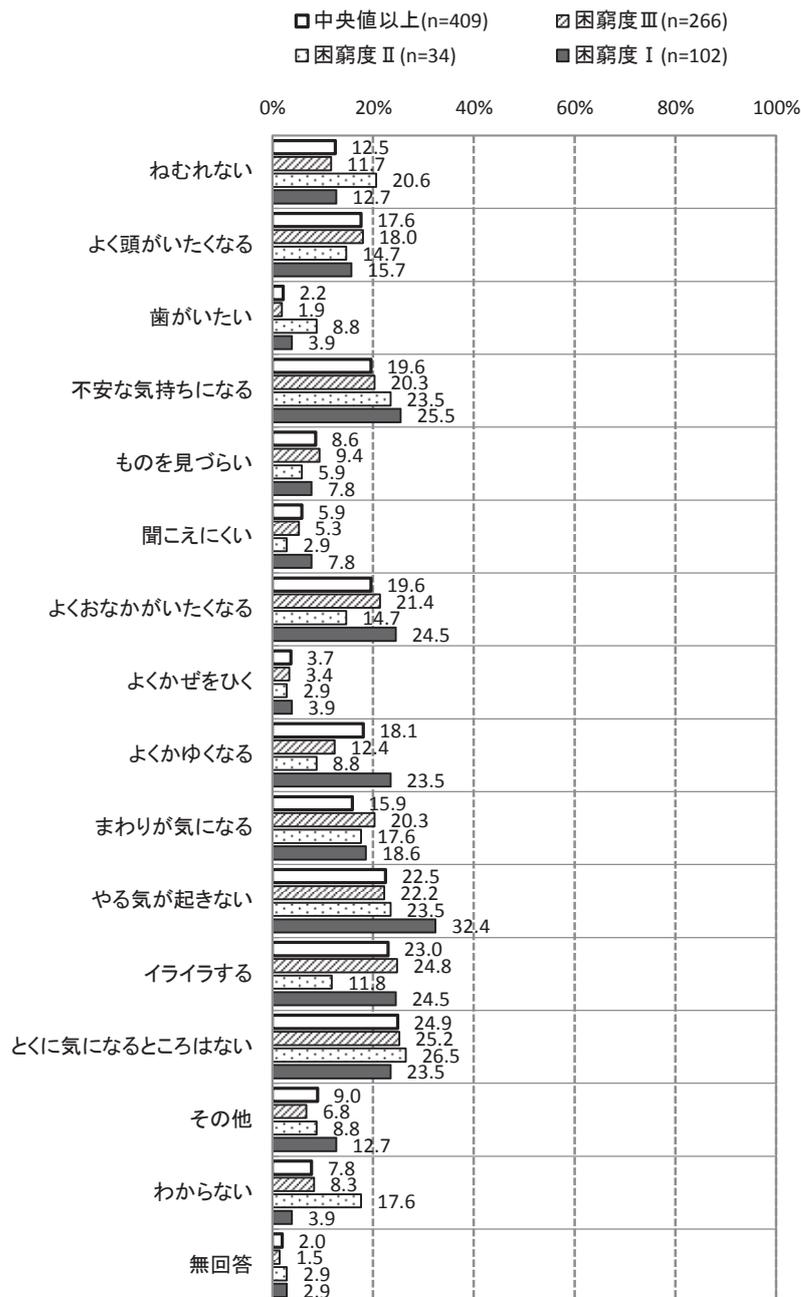
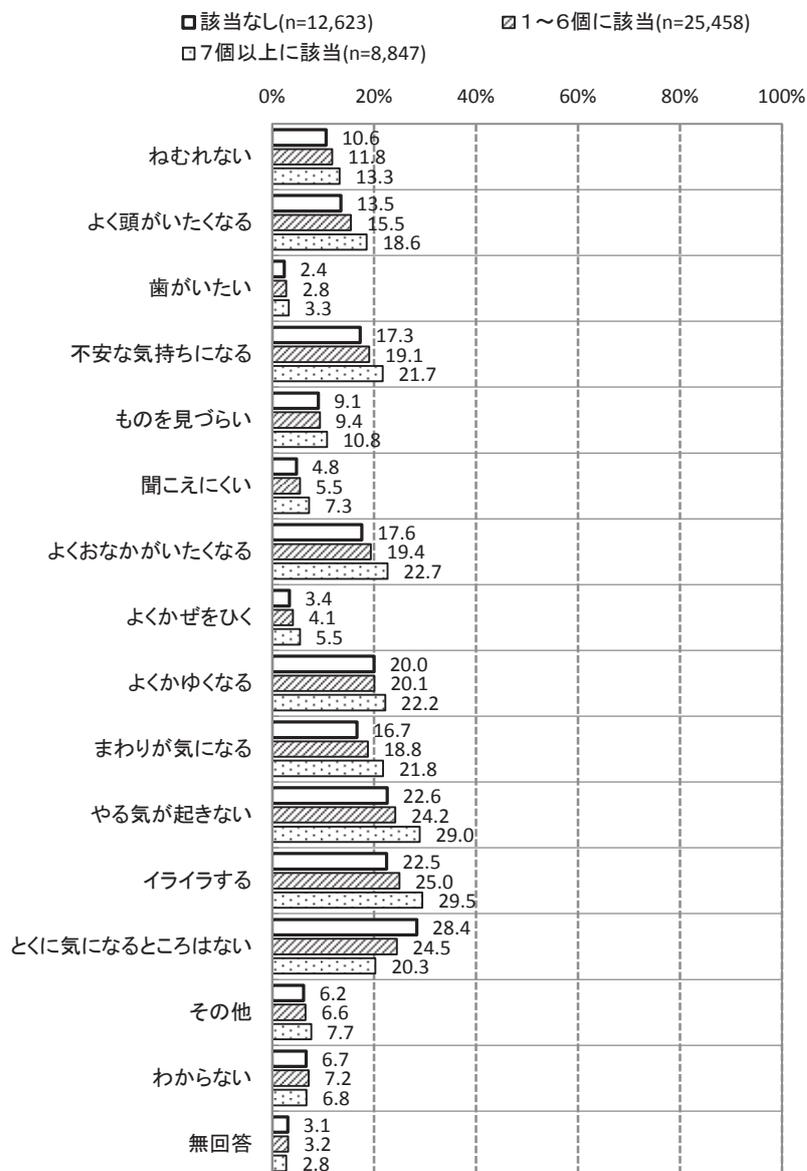


図 158. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になることについて、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「歯がいたい」3.9% (中央値以上群に対して、1.8倍)、となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。さらに、中央値以上群と上記の項目ほどの差はないものの、困窮度Ⅰ群では、「やる気が起きない」、「不安な気持ちになる」に加え、「まわりが気になる」18.6% (1.2倍) など、心理的・精神的症状を示す項目での割合の高さも無視できない。

経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者問 7×子ども票問 21)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

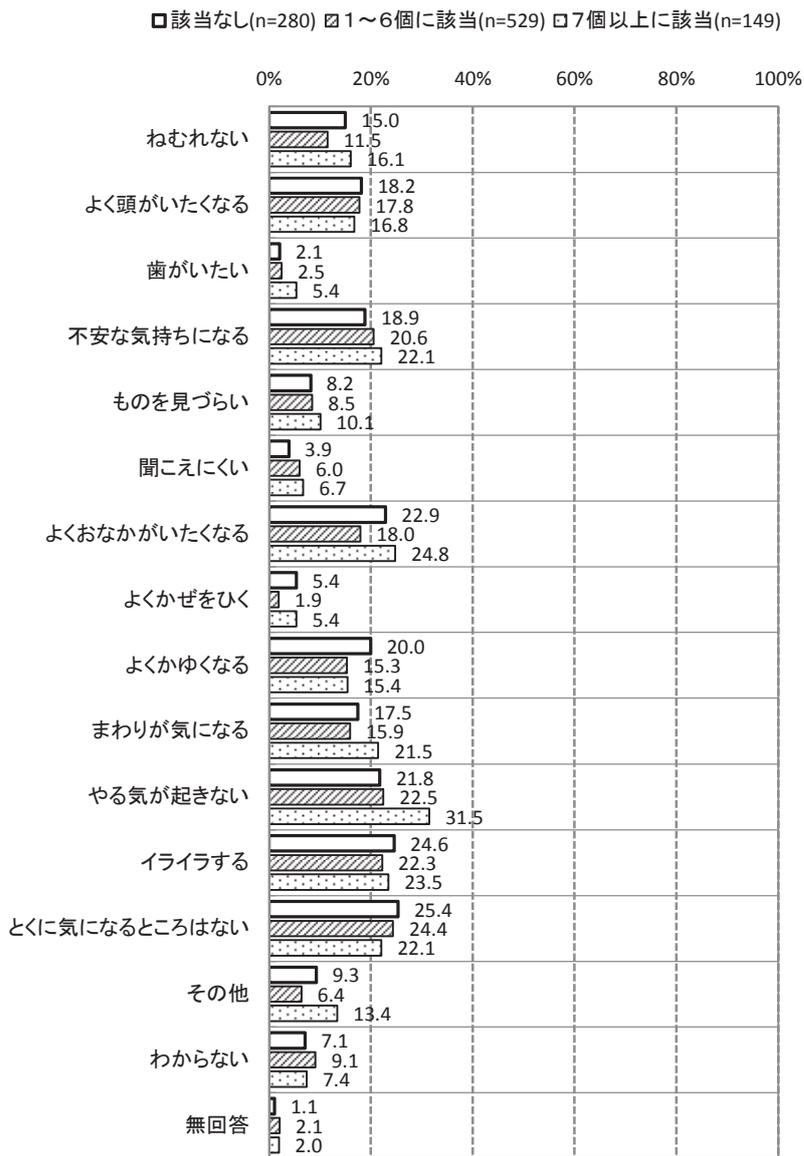
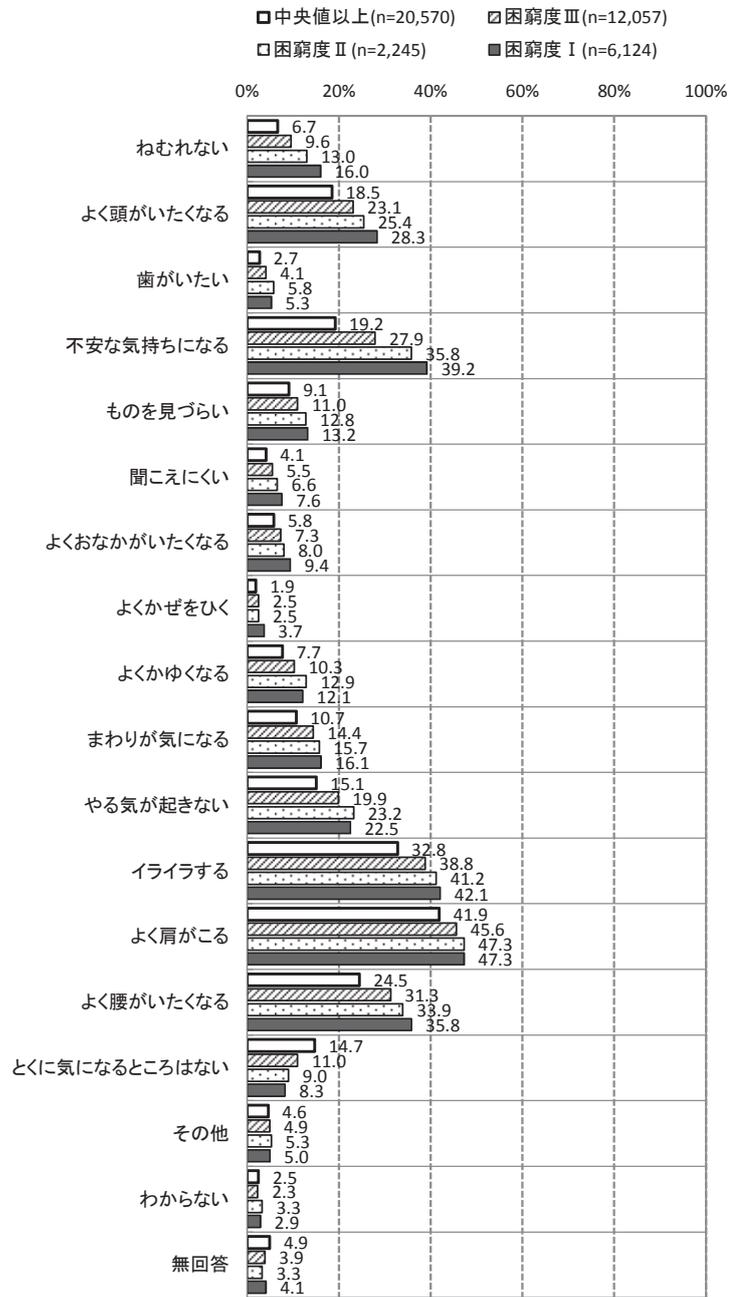


図 159. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になることについて、「該当なし」と「7個以上に該当」と回答した人との差が大きい項目に着目しながら、「7個以上該当」群の数値を挙げると、「歯がいたい」5.4%（「該当なし」に対し2.5倍）、「聞こえにくい」6.7%（1.7倍）となっている。さらに、「該当なし」と上記の項目ほどの差はないものの、「7個以上に該当」と回答した人では、「やる気が起きない」、「まわりが気になる」に加え「不安な気持ちになる」22.1%（1.2倍）など、ここでも心理的・精神的状況を示す項目が示された。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 23）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

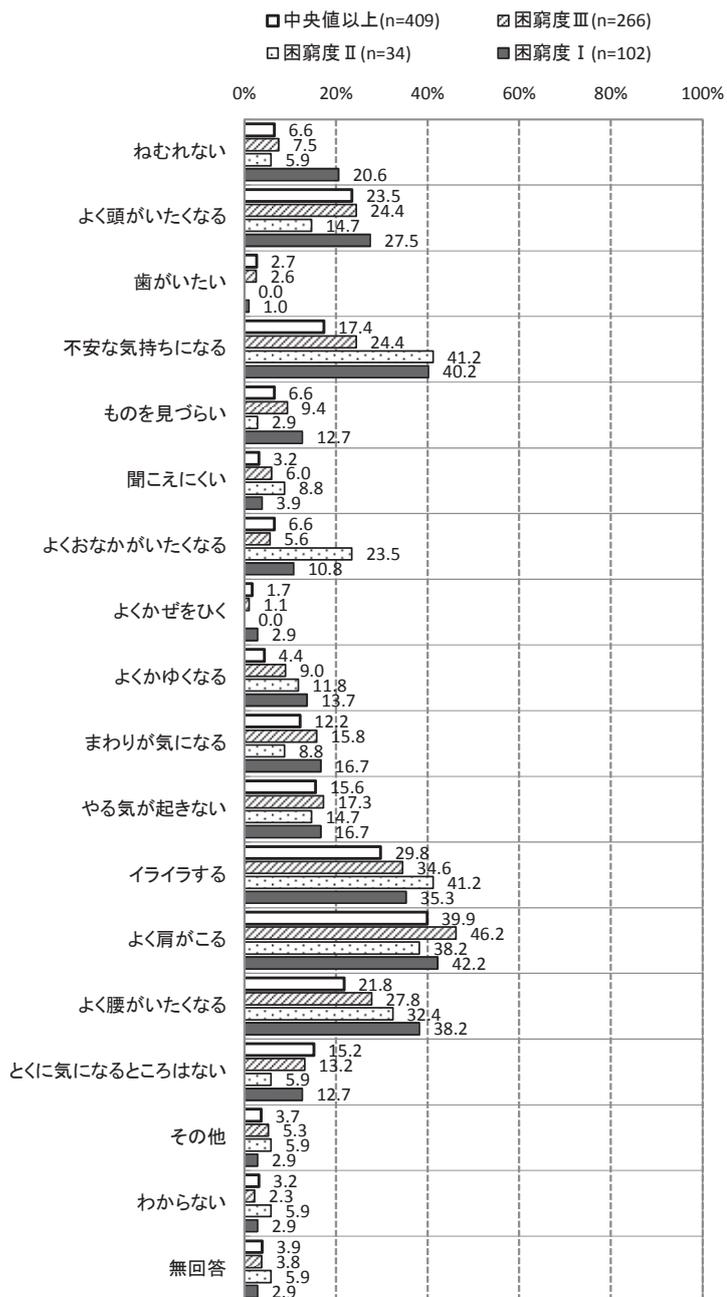
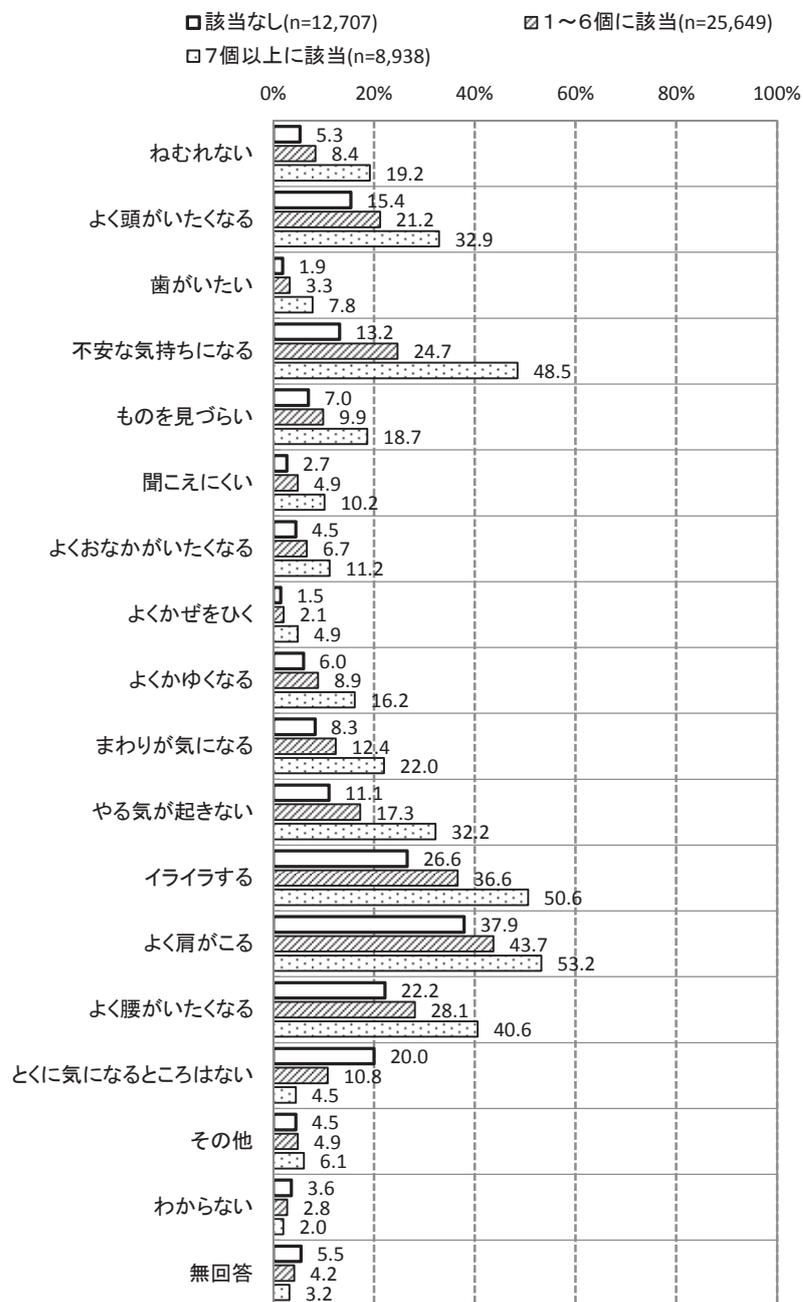


図 160. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「ねむれない」20.6%（中央値以上群に対し3.1倍）、「よくかゆくなる」13.7%（3.1倍）、「不安な気持ちになる」40.2%（2.3倍）、「ものを見づらい」12.7%（1.9倍）、「よく腰がいたくなる」38.2%（1.8倍）となっている。また、「不安な気持ちになる」に加え、「まわりが気になる」16.7%（1.4倍）、「イライラする」35.3%（1.2倍）と心理的・精神的状況への影響もみられた。

経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
 (保護者票問 7×保護者票問 23)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

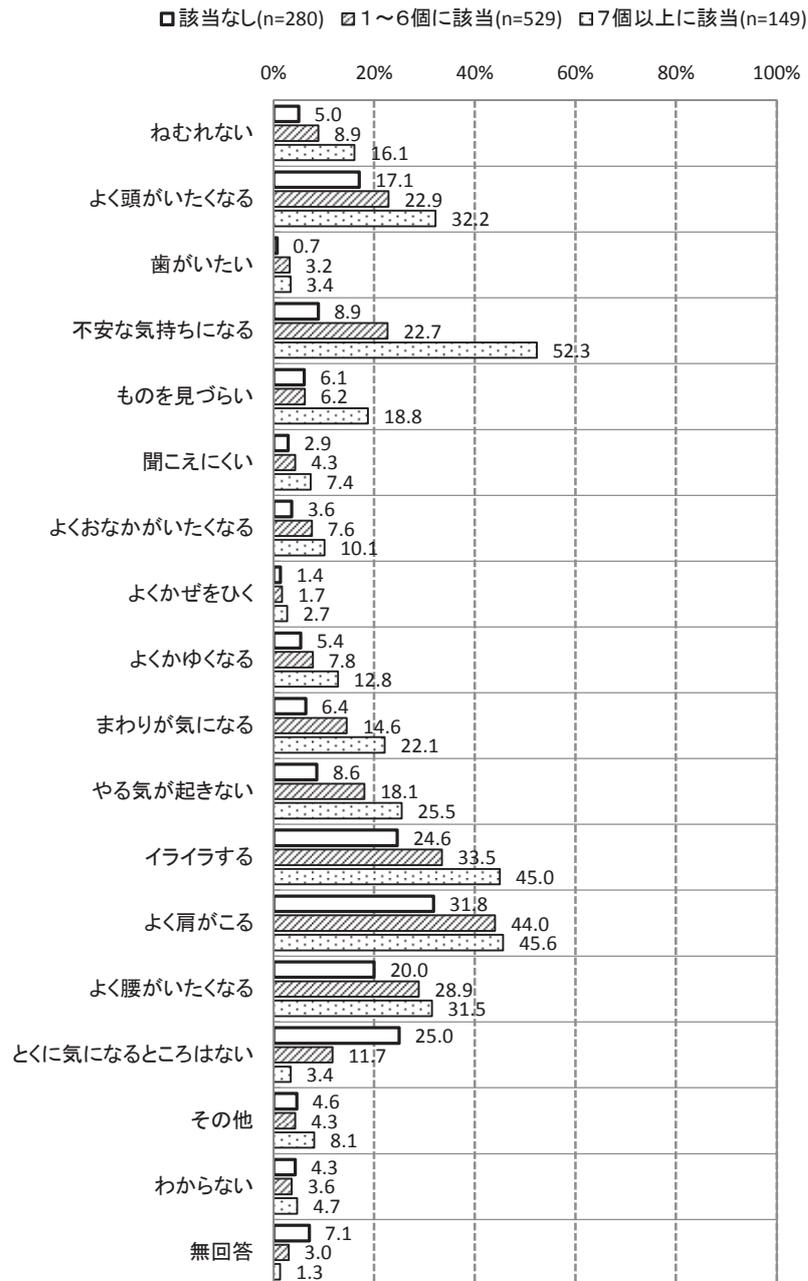
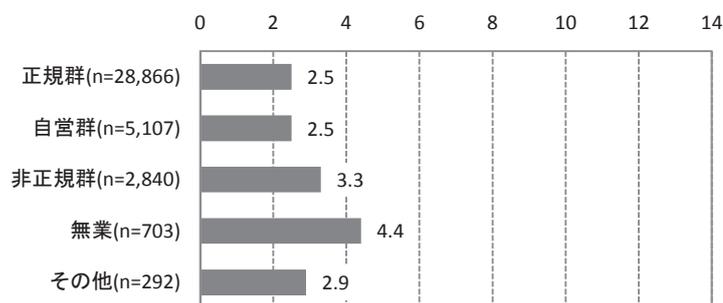


図 161. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験（保護者）の該当数別に、自分の体や気持ちで気になることを見ると、すべての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「7個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「7個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「不安な気持ちになる」52.3%（「該当なし」に対して5.9倍）、「歯がいたい」3.4%（4.7倍）、「まわりが気になる」22.1%（3.4倍）、「ねむれない」16.1%（3.2倍）、「ものを見づらい」18.8%（3.1倍）となっている。特に、「不安な気持ちになる」、「まわりが気になる」に加えて、「やる気がおきない」25.5%（3.0倍）、「イライラする」45.0%（1.8倍）といった心理的・精神的症状にも影響があらわれている。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

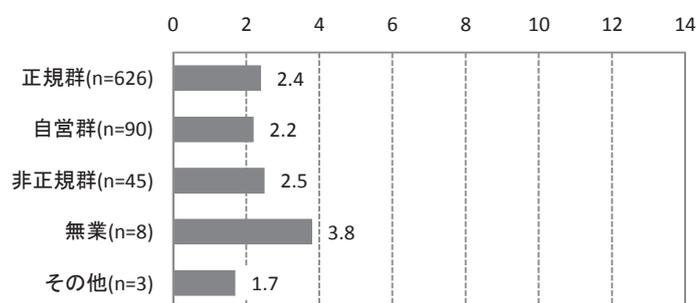


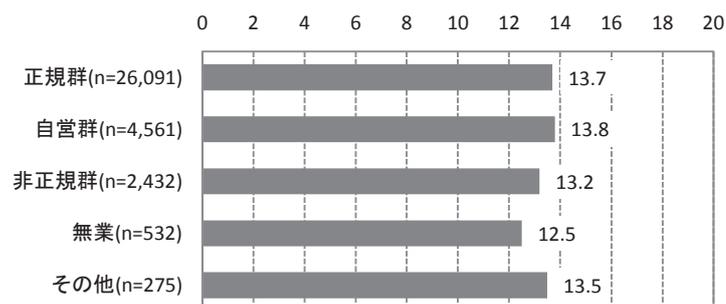
図 162. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営業」に対して「無業」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当数が増える結果となった。

就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー（保護者票問 26）

※成田・下仲・中里他（1995）の特性的自己効力感尺度より「自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある」、「はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける」、「人の集まりの中では、うまくふるまえない」、「私は自分から友達を作るのがうまい」、「人生で起きる問題の多くは自分では解決できない」の5項目を抽出して使用した。それぞれの項目について、「そう思う」～「思わない」までの4段階で評価させ、5項目の合計得点を大人のセルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

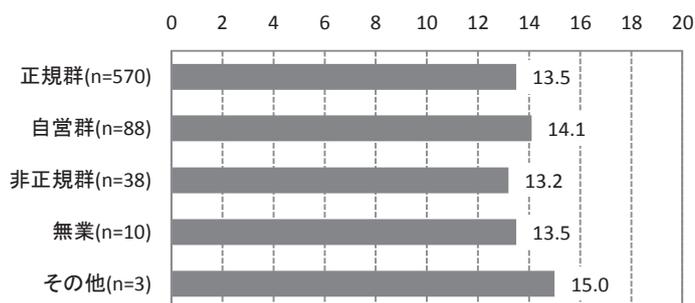


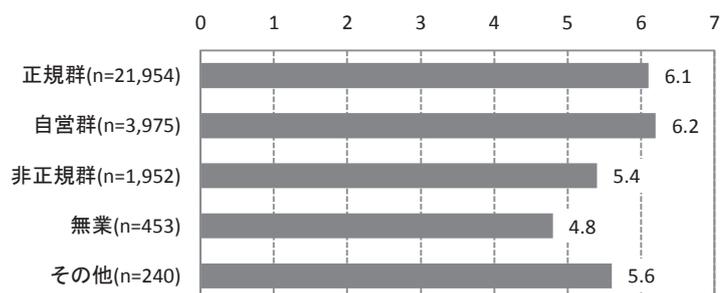
図 163. 就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー

就労状況別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、就労状況による大きな違いは見られなかった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問 20）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

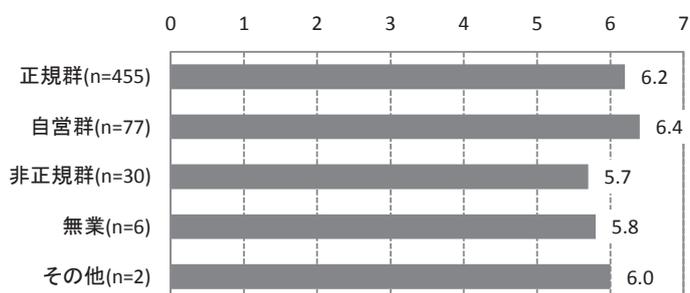


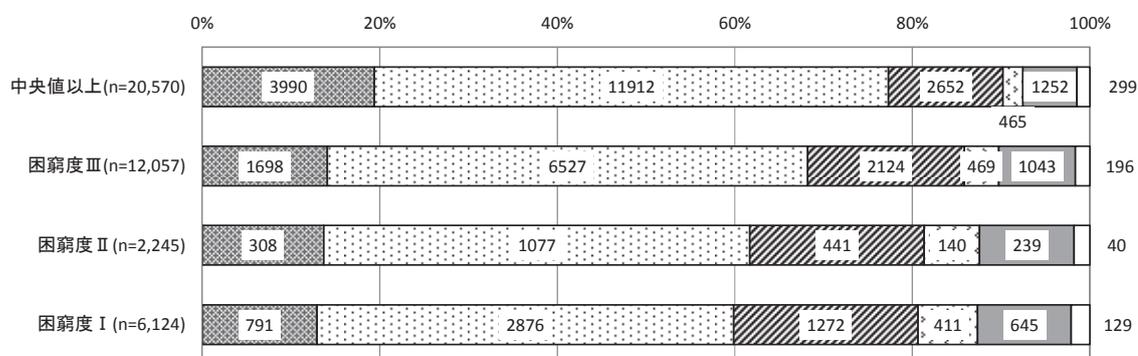
図 164. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」(6.2)、「自営業」(6.4)が高く、「非正規群」(5.7)と「無業」(5.8)で低下している。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 22-1）

<大阪府内全自治体>

■とても楽しんでいる □楽しんでいる ■あまり楽しんでいない □楽しんでいない ■わからない □無回答



<大阪狭山市>

■とても楽しんでいる □楽しんでいる ■あまり楽しんでいない □楽しんでいない ■わからない □無回答

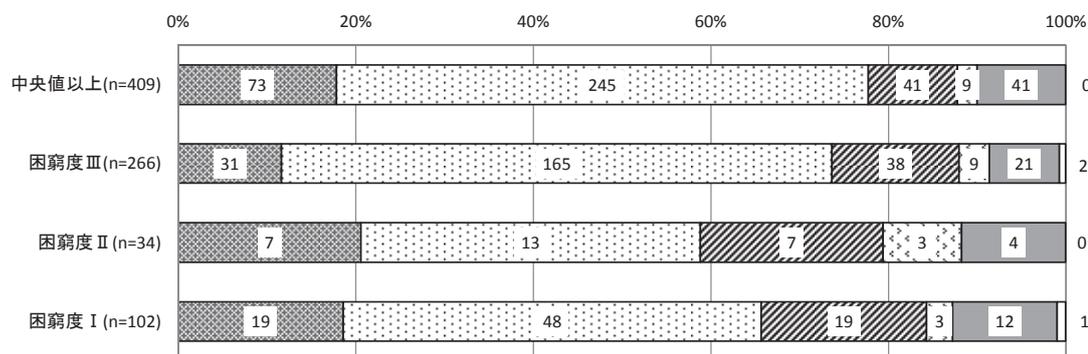
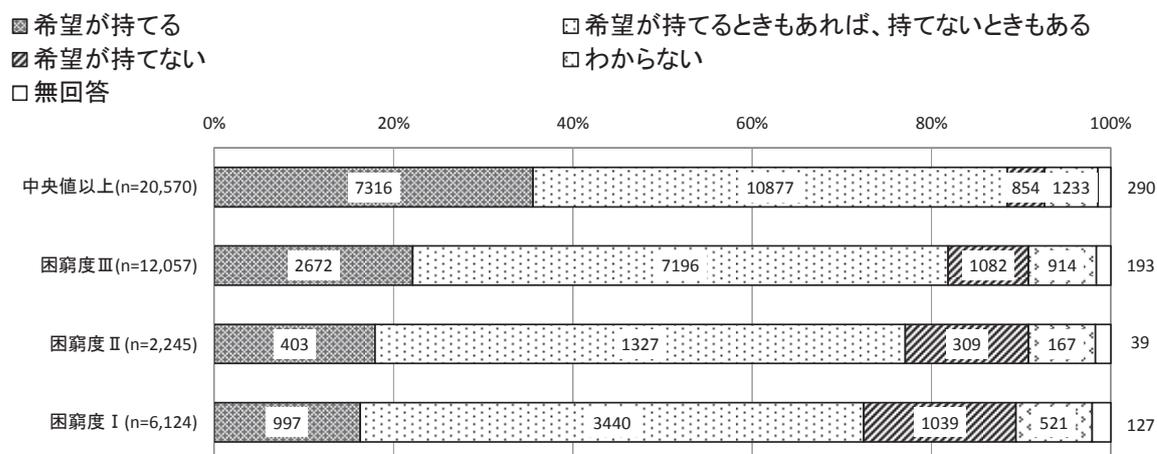


図 165. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合では、中央値以上群で77.8%ともっとも高く、続いて困窮度Ⅲ群で73.7%となった。ここでは、困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が65.7%、困窮度Ⅱ群において、58.8%ともっとも低くなった。逆に、「楽しんでいない」と回答した割合は、中央値以上群が2.2%ともっとも低く、ついで、困窮度Ⅰ群で2.9%、困窮度Ⅲ群で3.4%、困窮度Ⅱ群で8.8%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）（保護者票問 22-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

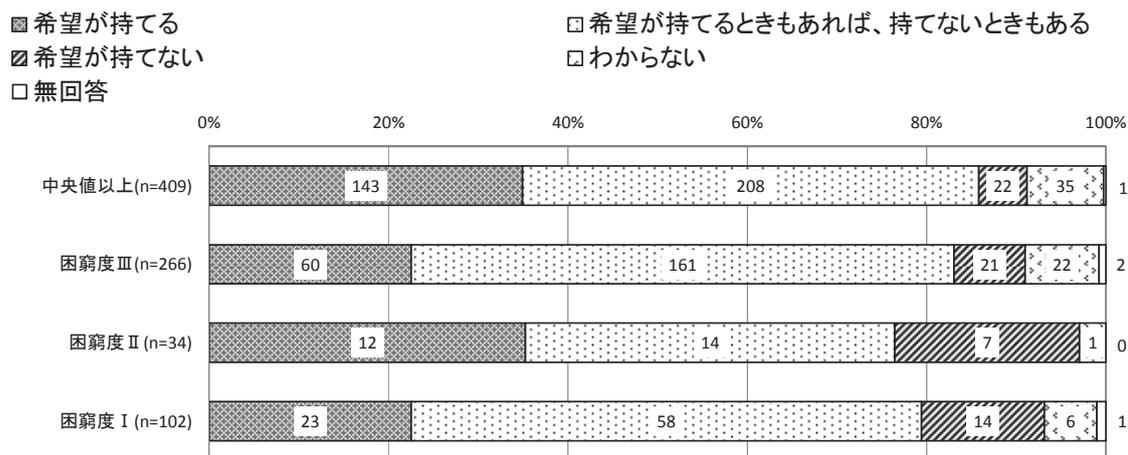
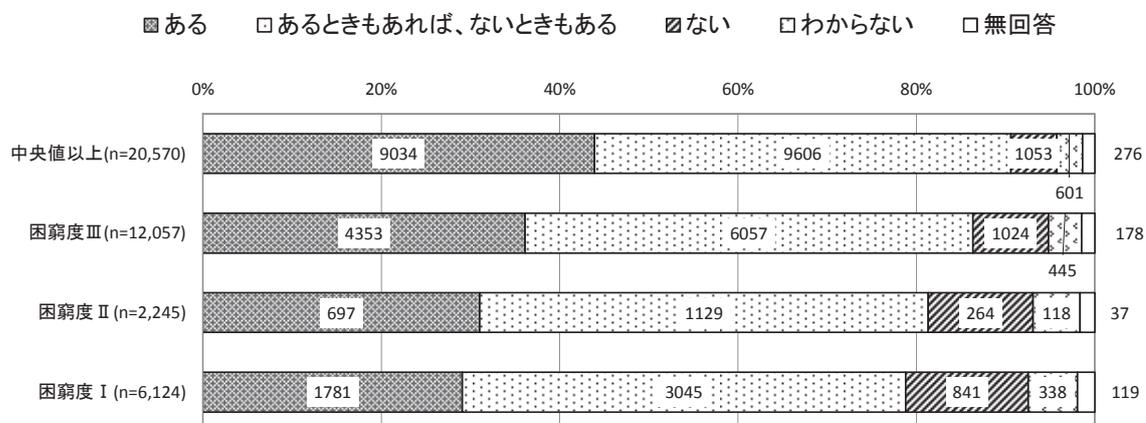


図 166. 困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）

困窮度別に将来への希望を見ると、「希望が持てる」と回答した割合は、中央値以上群では、35.0%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では、22.6%、困窮度Ⅱ群では 35.3%、困窮度Ⅰ群では、22.5%という結果となった。困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅰ群では、「希望が持てない」と回答した割合がやや高い。

困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）（保護者票間 22-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

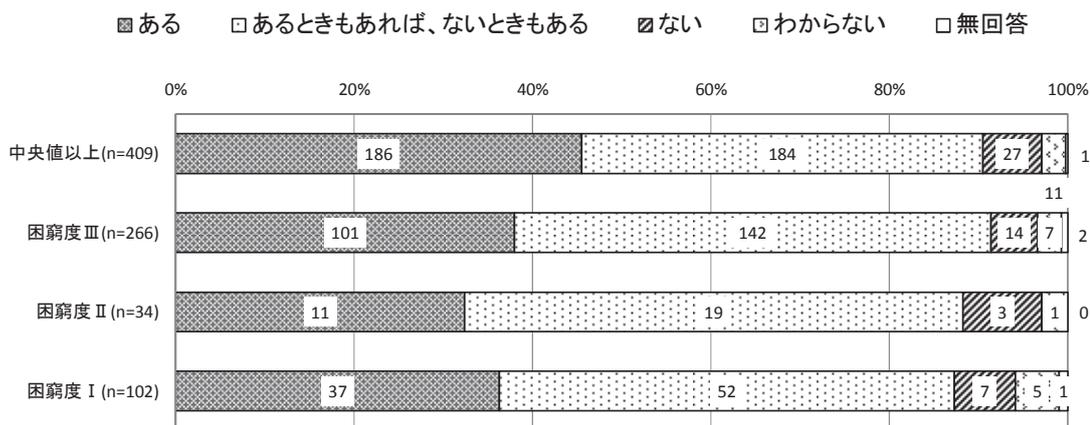
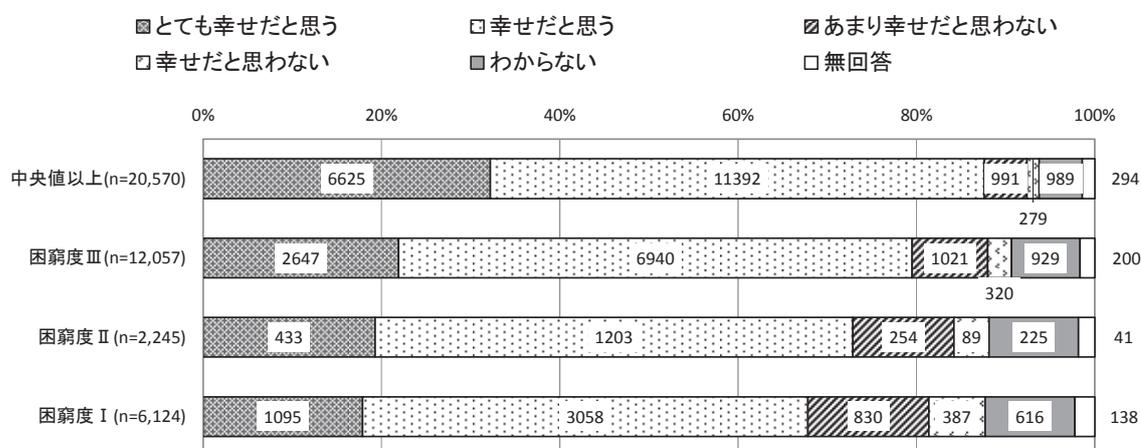


図 167. 困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ある」という回答に着目すると、中央値以上群とそれ以外で差が見られた。

困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）（保護者票問 22-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

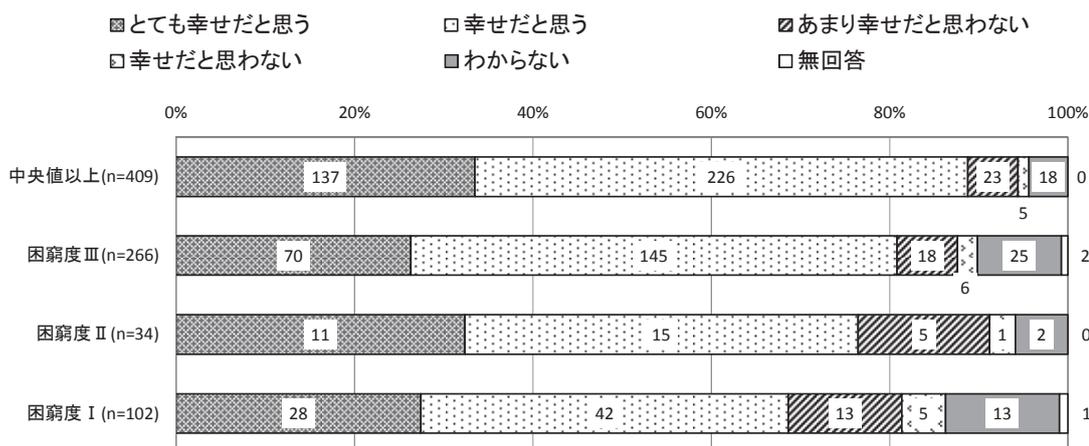
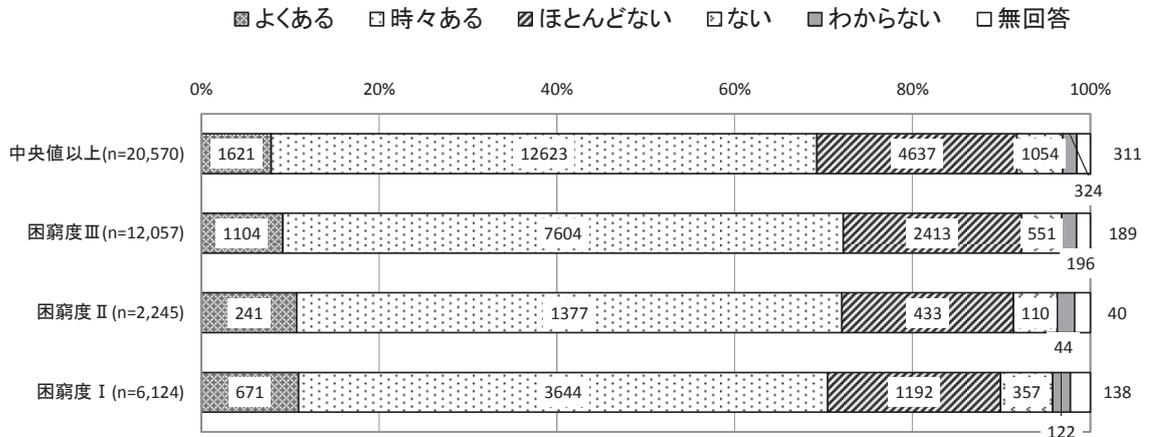


図 168. 困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せと思う」「幸せだと思う」をあわせた割合は、困窮度が高まるにつれて低くなった。逆に、「あまり幸せだと思わない」「幸せだと思わない」をあわせた割合は高くなり、中央値以上群で6.8%にとどまるのに対して、困窮度Ⅲ群で9.0%、困窮度Ⅱ群で17.6%、困窮度Ⅰ群で17.6%となっている。

困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと（保護者票問 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

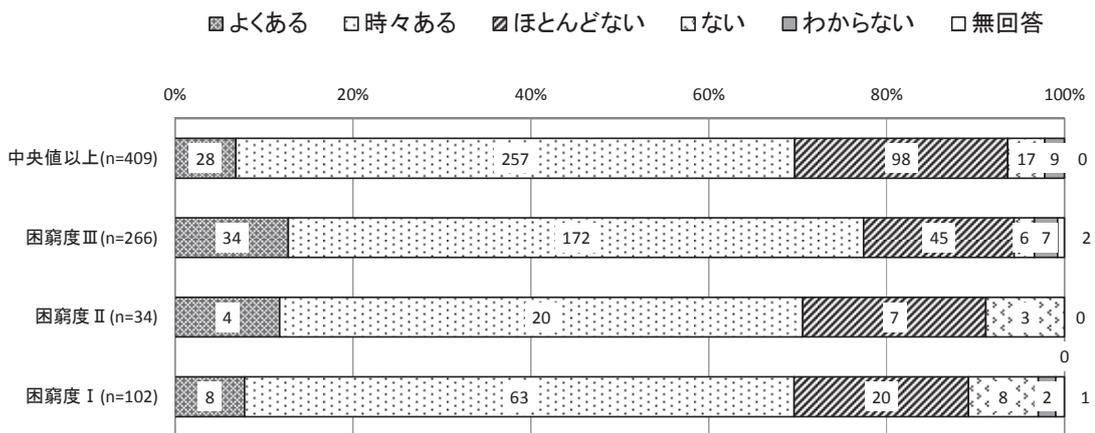
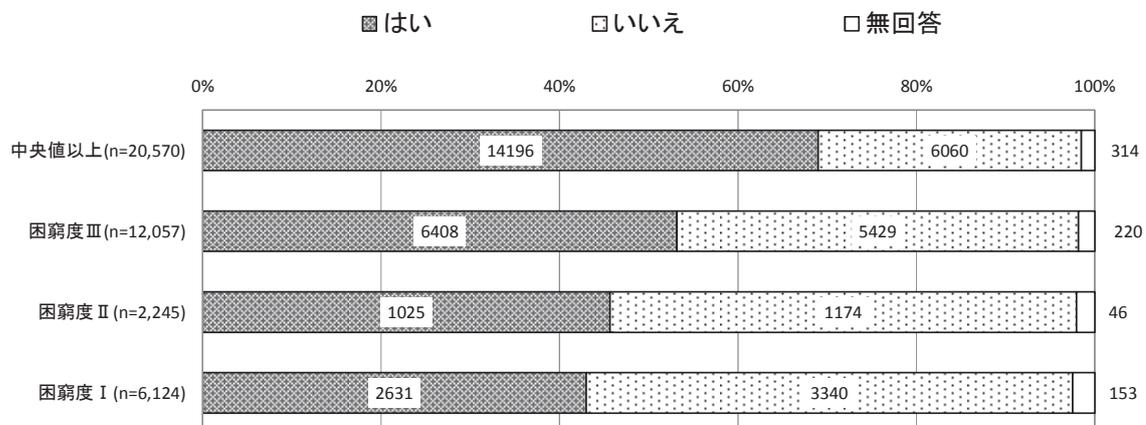


図 169. 困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

困窮度別に不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことを見ると、困窮度による大きな差は見られない。

困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診（保護者票問 25）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

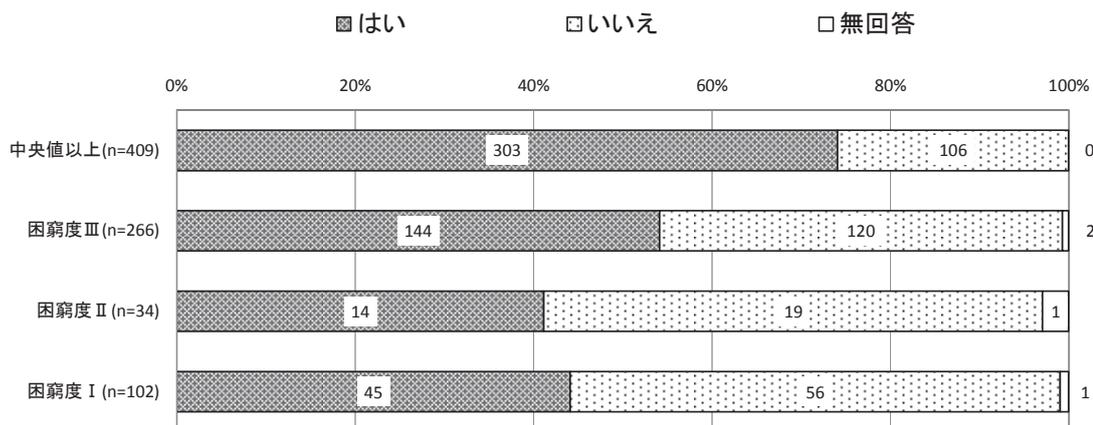
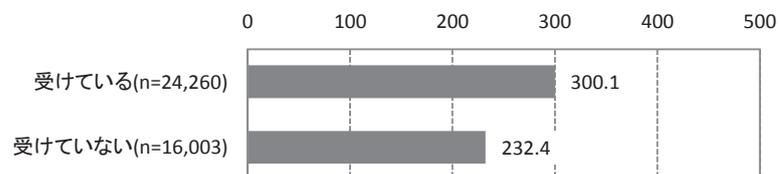


図 170. 困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診

困窮度別に保護者の定期的な健康診断の受診を見ると、「はい」と回答した割合は中央値以上群がもっとも高く、それ以外は、低くなっている。

定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値（単位：万円）
（保護者票問 25×保護者票問 27-4 より）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

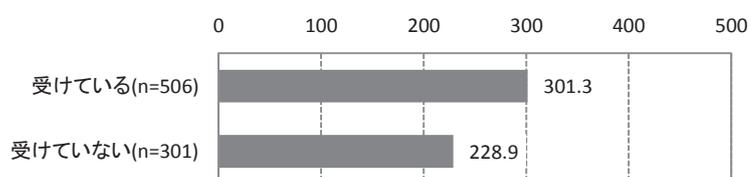


図 171. 定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値

定期的な健康診断の受診別に等価の可処分所得額を算出すると、受けている群では 301.3 万円、受けていない群では 228.9 万円となっている。

<健康に関する考察>

困窮度別に朝食の頻度をみると、困窮度が高まるにつれ、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる頻度が減る傾向が見られた。困窮度は、保護者の就労状況を反映していると推測されるが、保護者の就労状況が不安定化するにつれて、朝食の頻度も少なくなっている。朝食および休日の昼食の頻度が高い人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果が示された。

子どもの心身の状況についてみると、困窮度によって子どもの心身の状況に深刻な影響が出ていることが明らかとなった。特に、「歯がいたい」、「よく頭がいたくなる」、「不安な気持ちになる」、「ねむれない」の項目は、中央値以上群に対し困窮度Ⅰ群において高い割合を示した。身体的な症状だけではなく、困窮度が高くなると、「ねむれない」、「不安な気持ちになる」、「やる気が起きない」、「イライラする」といった心理的・精神的状況に関する項目も高くなり、これら心身の状況の問題が学習状況にも影響を与えていることが推測される。

保護者の心身の状況についても困窮度が高まるにつれ保護者の心身の状況が悪化していることが明らかとなった。中央値以上群と困窮度Ⅰ群との差は、子ども以上に大きく開いている。両者の格差が大きい項目は、「ねむれない」「歯がいたい」「不安な気持ちになる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」等である。特に、困窮度Ⅰ群では、「ねむれない」18.2%、「不安な気持ちになる」45.1%、「まわりが気になる」17.5%、「やる気が起きない」23.4%、「イライラする」40.6%と心理・精神的状況にも深刻な影響を与えていることが明らかとなった。

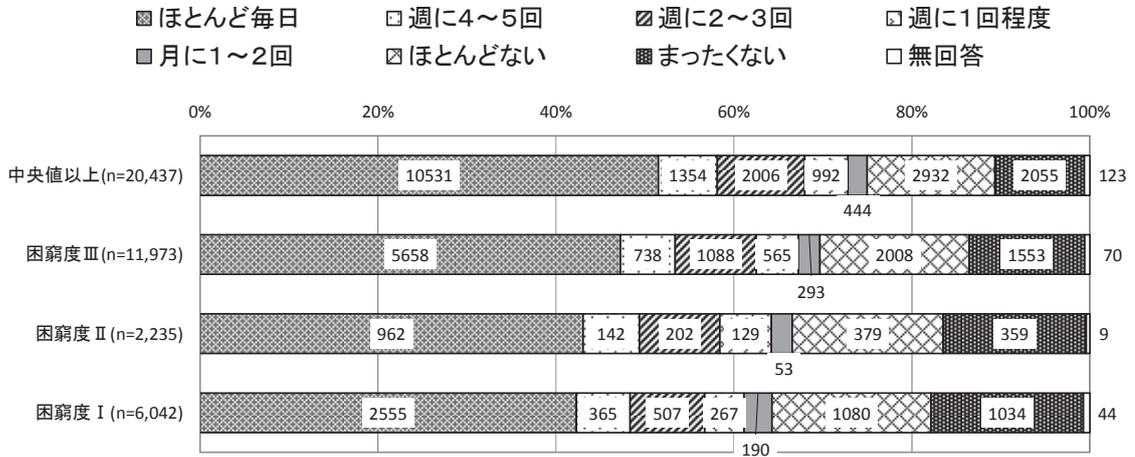
非正規や無業など、保護者の就労状況が不安定化するにつれ、心身の気になることの項目数が増えることも明らかとなった。定期的に健康診断を受診している割合は、就労状況が不安定化するにつれ、低くなっている。健康診断を容易に受診できる雇用環境、時間的余裕などが受診率の差に現れていると推測される。

困窮度が高まるにつれ、保護者の「将来の希望」「幸せだと思う」「生活を楽しむ」などの回答が低くなる傾向が見られた。現在の生活状況の不安定さが幸福感にも影響を与えていることが明らかとなっている。保護者自身の生活の不安感、幸福度の低さなどが子どもにも何らかの影響を与えていると推測される。

3-4. 家庭生活、学習

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）（子ども票問 10-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

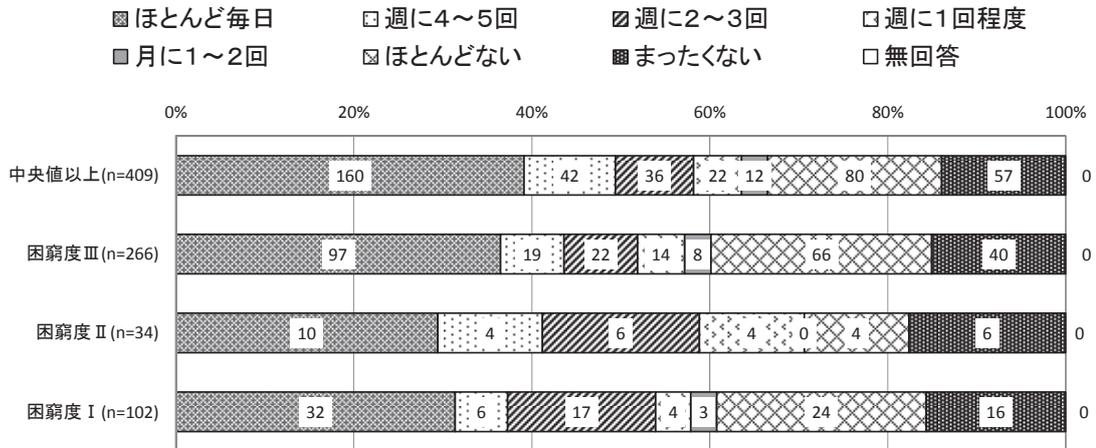
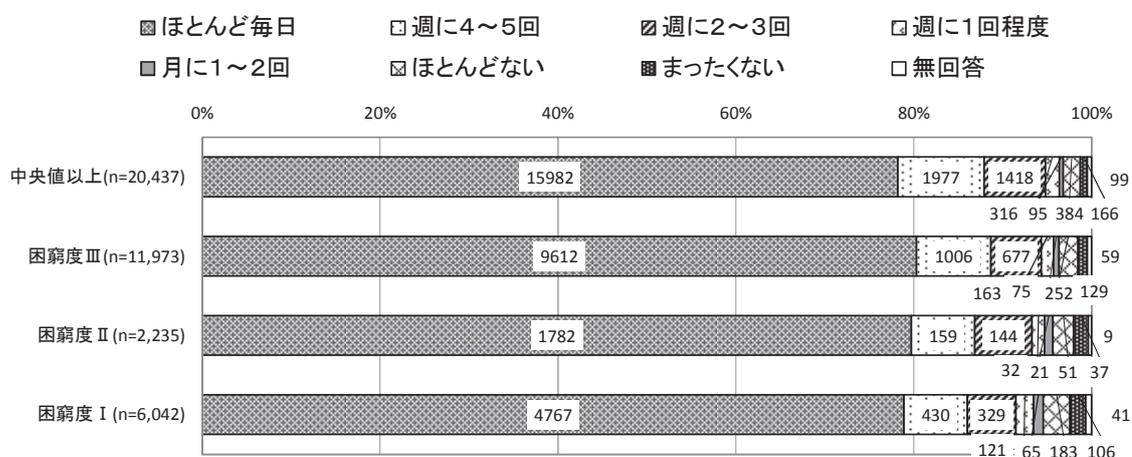


図 172. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「ほとんど毎日」と回答した人の割合が低くなる。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）（子ども票問 10-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

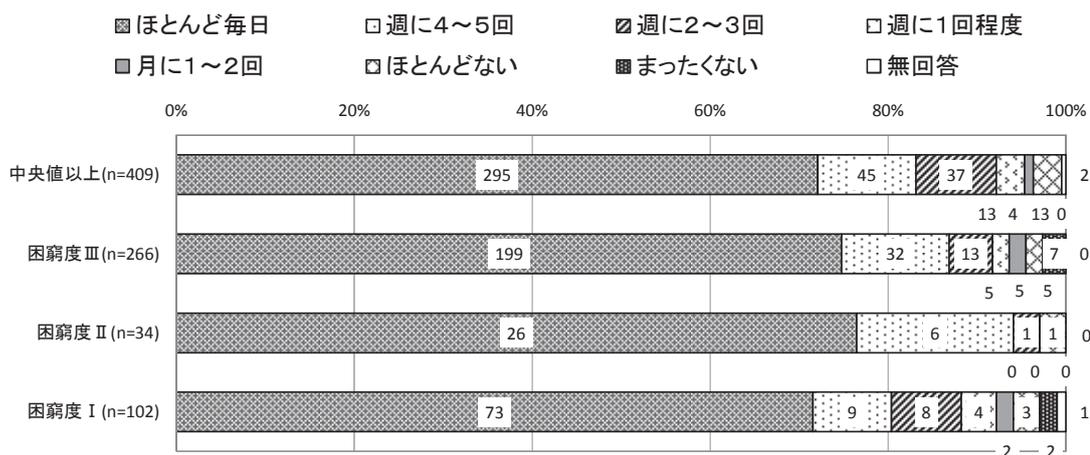
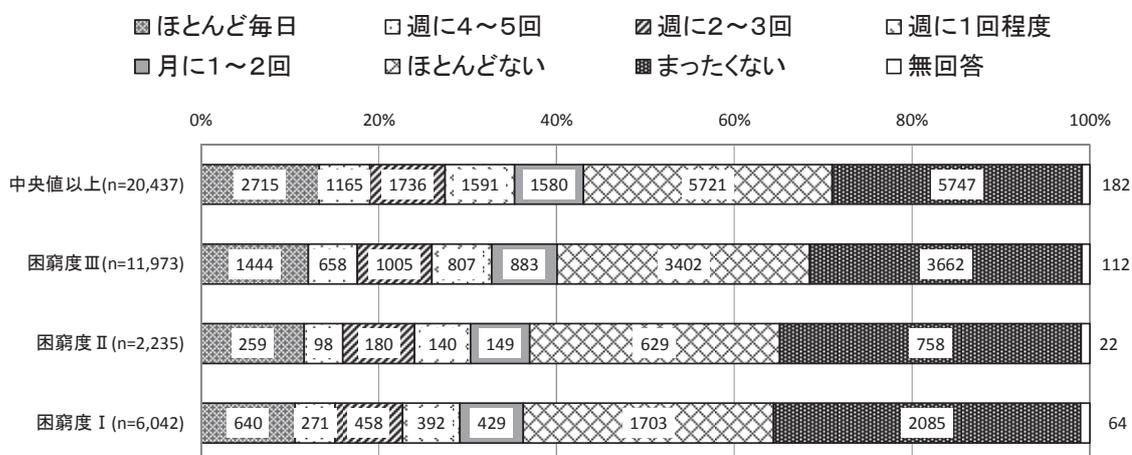


図 173. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）
（子ども票問 10-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

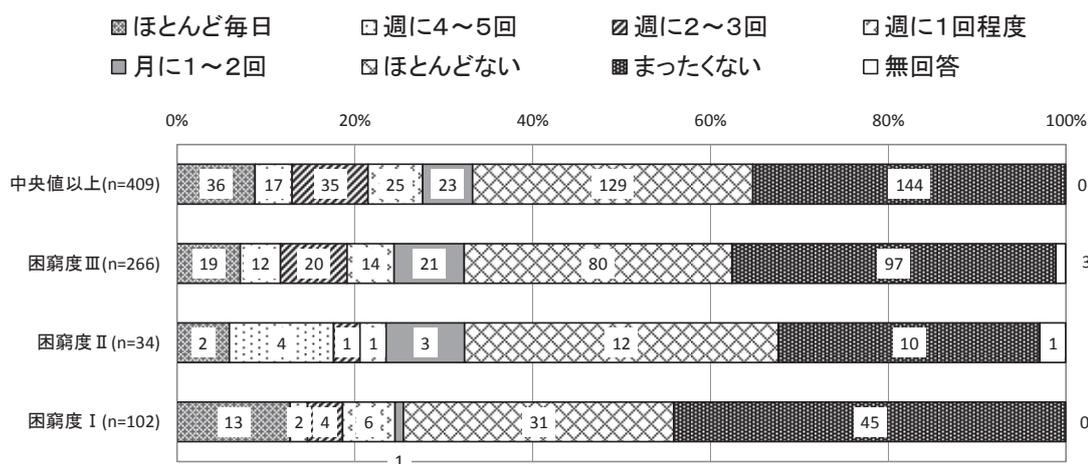
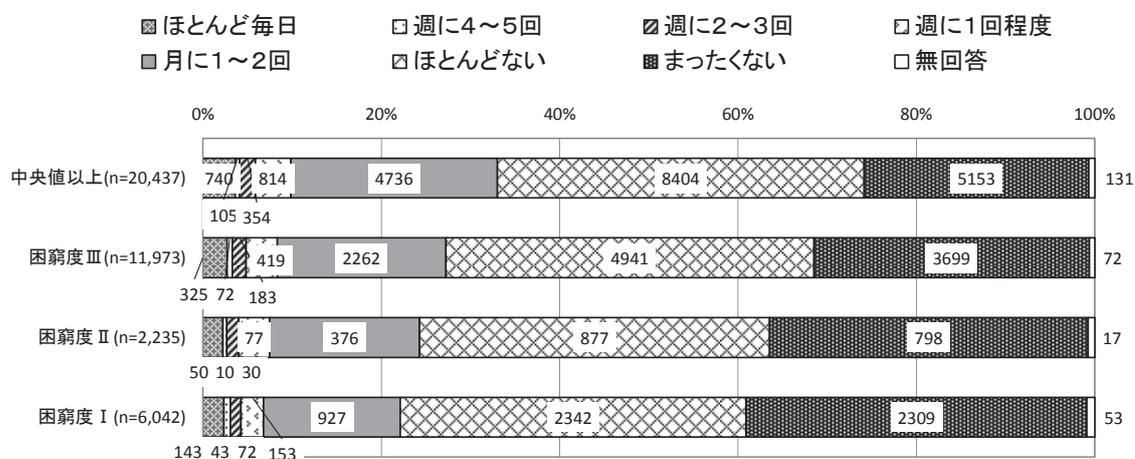


図 174. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「ほとんど毎日」と回答した人の割合は中央値以上群で8.8%、困窮度Ⅰ群で12.7%となっている。また困窮度Ⅰ群では「まったくない」と回答した人は44.1%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）（子ども票問 10-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

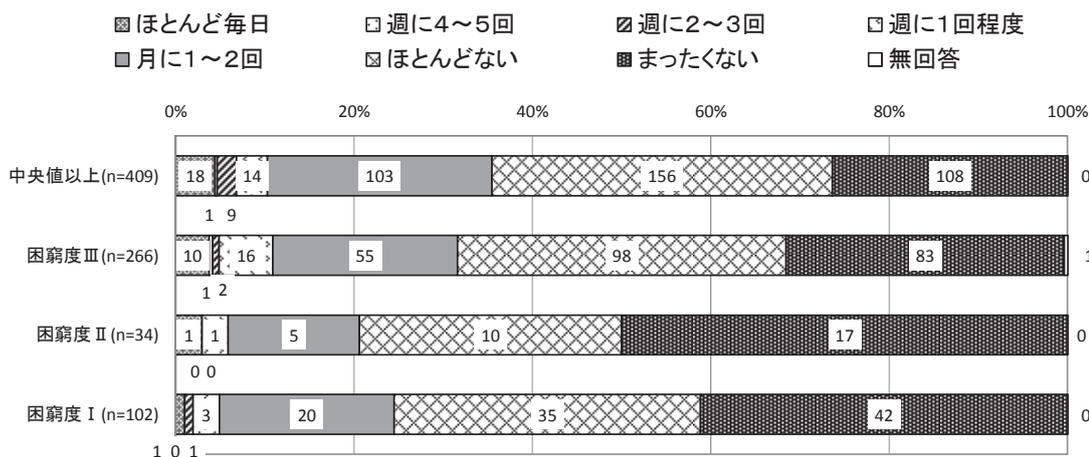
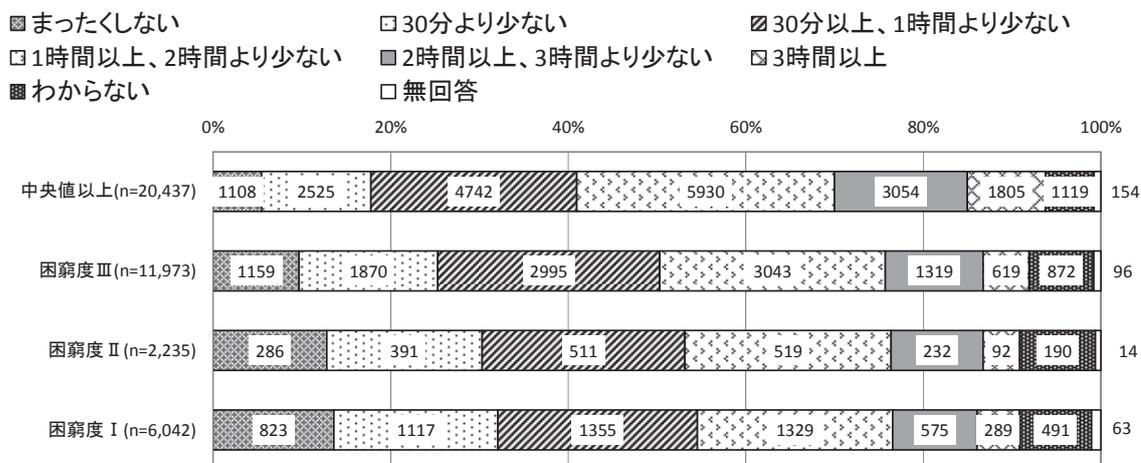


図 175. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「ほとんどない」・「まったくない」と回答した人の割合が高い。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどない」と回答した人は34.3%、「まったくない」と回答した人は41.2%である。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問 14）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

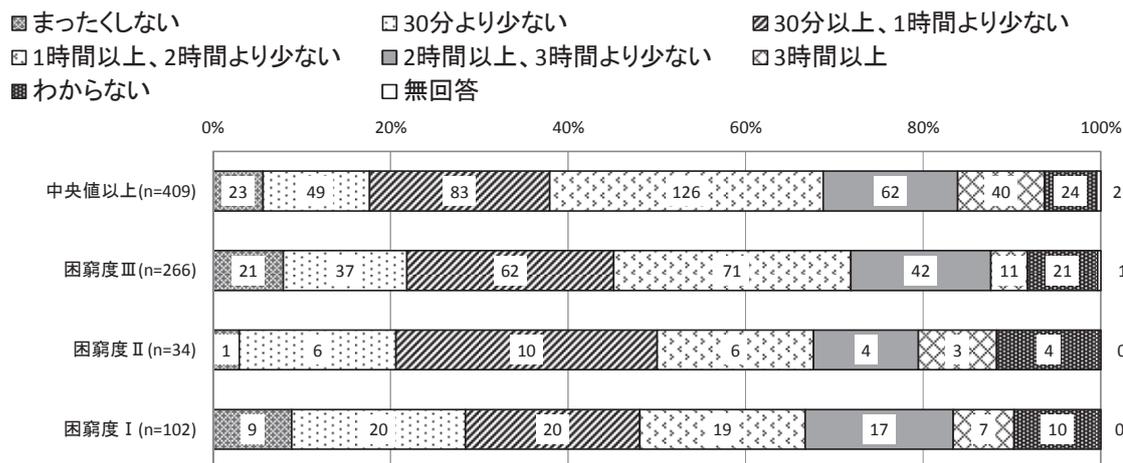
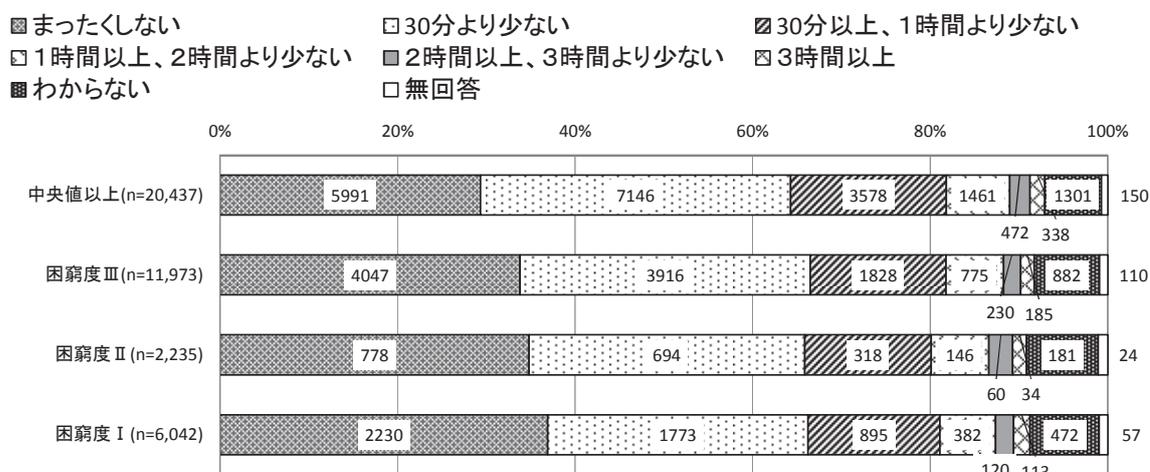


図 176. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間

困窮度別の授業以外の勉強時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」、「30分より少ない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は8.8%である。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 16）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

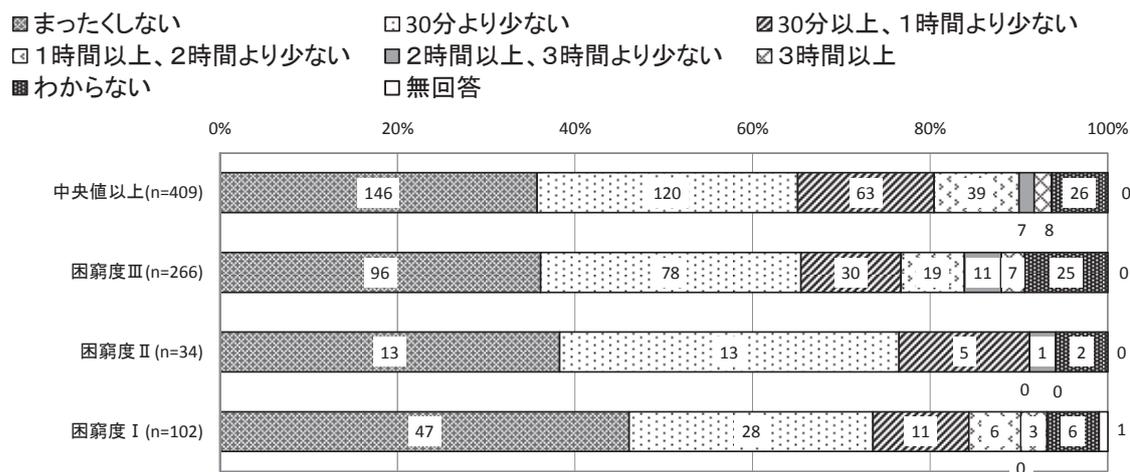
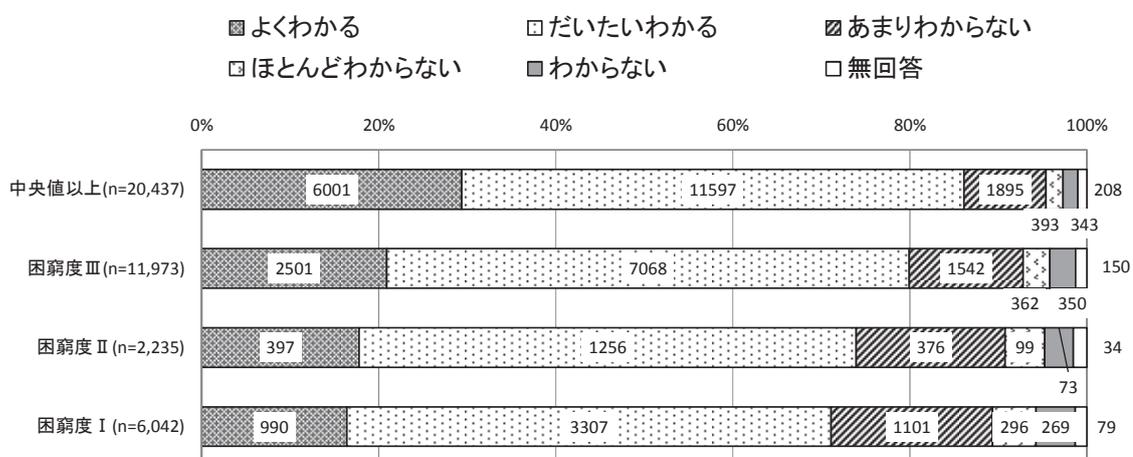


図 177. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別の授業以外の読書時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は46.1%である。

困窮度別に見た、学習理解度（子ども票問 15）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

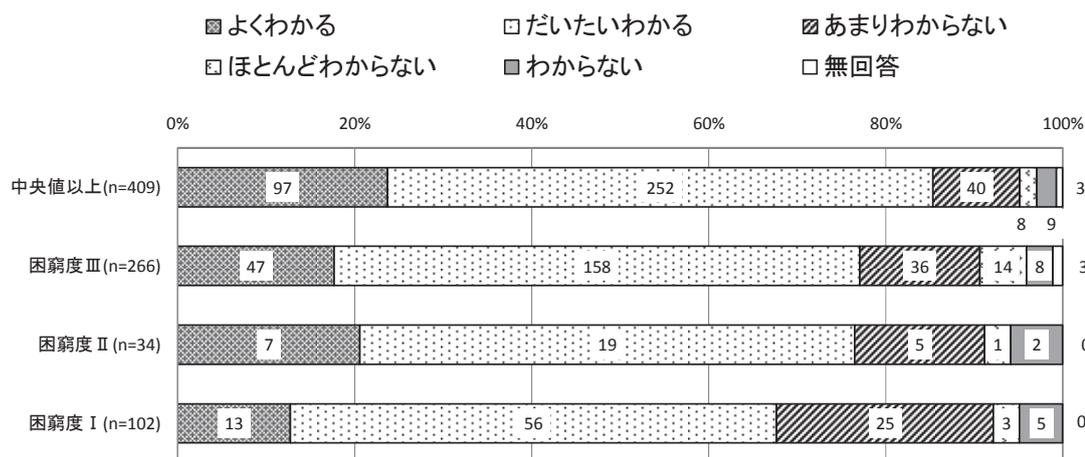


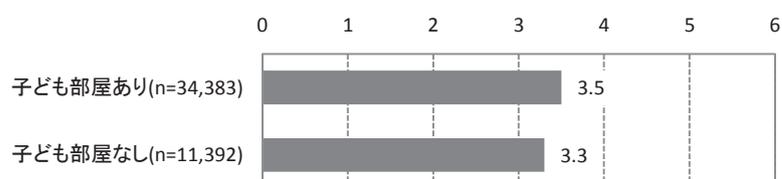
図 178. 困窮度別に見た、学習理解度

困窮度別の学習理解度を見ると、困窮度が高まるにつれ、「あまりわからない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「あまりわからない」と回答した人は24.5%である。また、「よくわかる」と回答した人は中央値以上群で最も高く、23.7%である。

子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値（子ども票 22×子ども票間 14）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30分より少ない」「3. 30分以上、1時間より少ない」「4. 1時間以上、2時間より少ない」「5. 2時間以上、3時間より少ない」「6. 3時間以上」の6つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

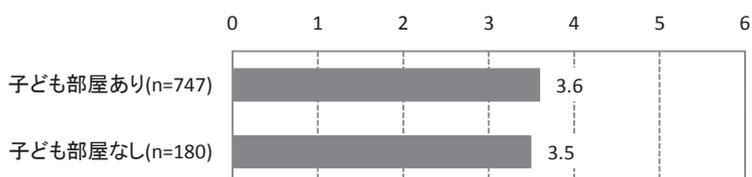
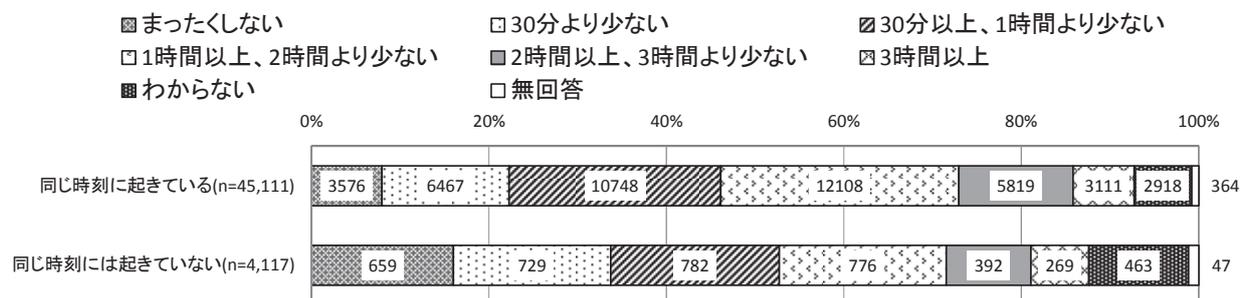


図 179. 子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値

子ども部屋の有無によって、子どもの勉強時間に大きな差は見られない。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問2×子ども票問14）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

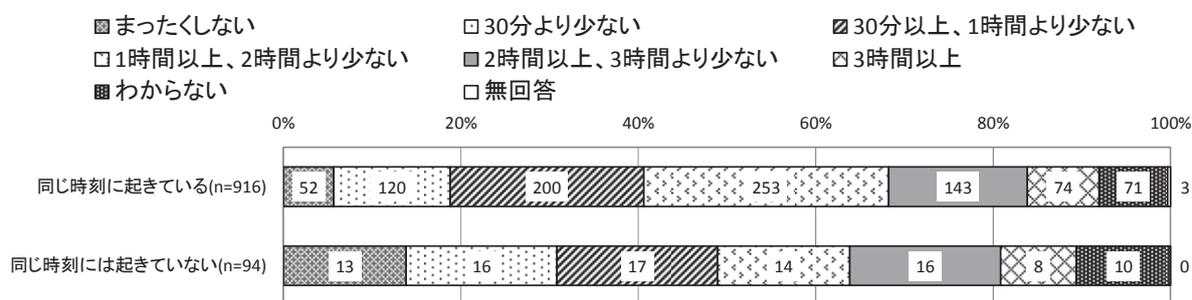


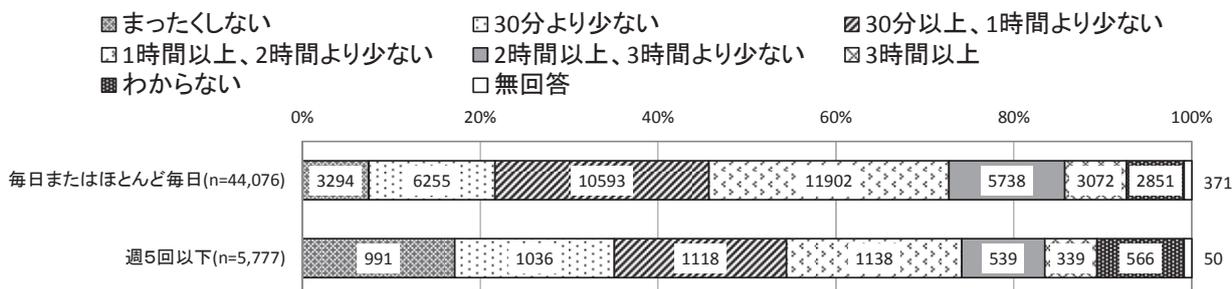
図 180. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問2において「起きている」「どちらかと言えば、起きている」と回答した子どもを「同じ時刻に起きている」、「あまり、起きていない」「起きていない」と回答した子どもを「同じ時刻には起きていない」としている。

起床時間の規則性別に授業以外の勉強時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人が多く、13.8%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票問 5-1×子ども票問 14）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

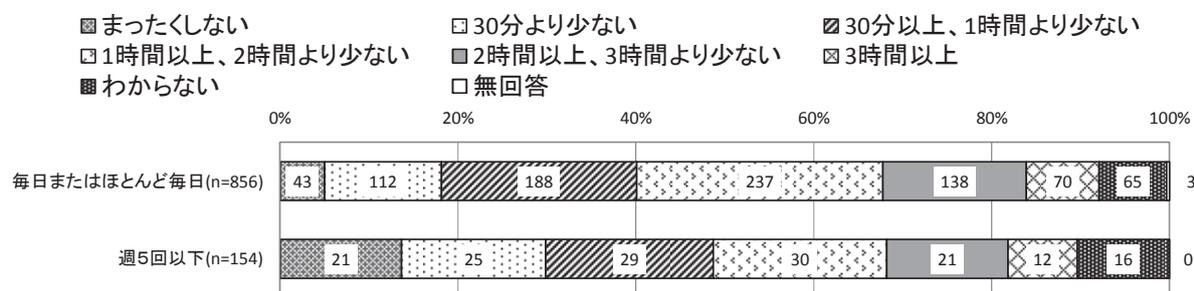


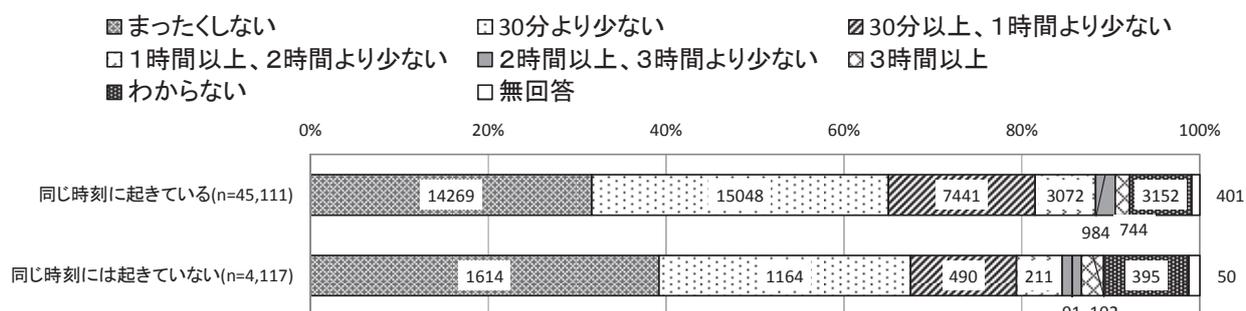
図 181. 朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間

ここでは、子ども票問 5 において「毎日またはほとんど毎日」と回答した子どもを「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週 5 回以下」としている。

朝食の頻度別に授業以外の勉強時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 5.0%であり「週 5 回以下」の子どもよりも少ない。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30 分以上、1 時間より少ない」「1 時間以上、2 時間より少ない」「2 時間以上、3 時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 22.0%、27.7%、16.1%であり、「週 5 回以下」朝食をとる子どもよりも割合が高い。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問2×子ども票問16）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

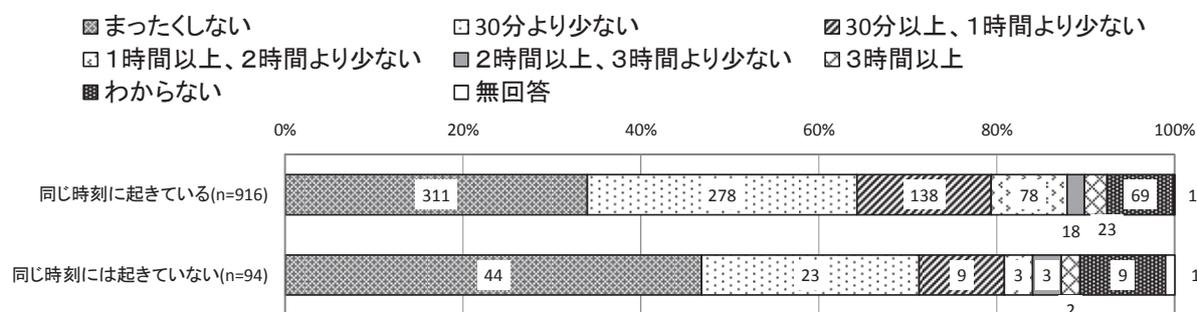
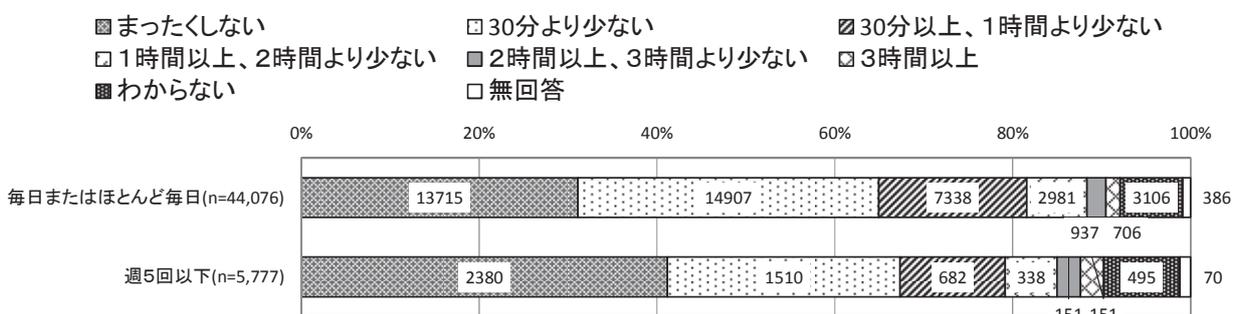


図 182. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくない」と回答した人は46.8%とわずかに割合が高い。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 5-1×子ども票問 16）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

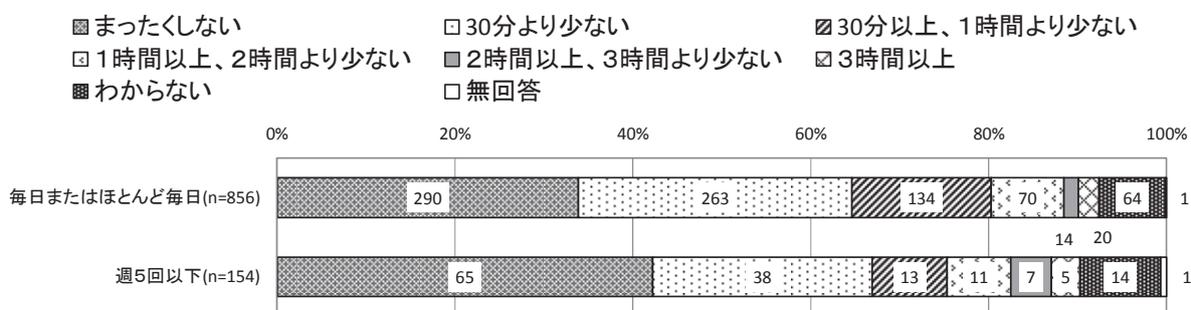


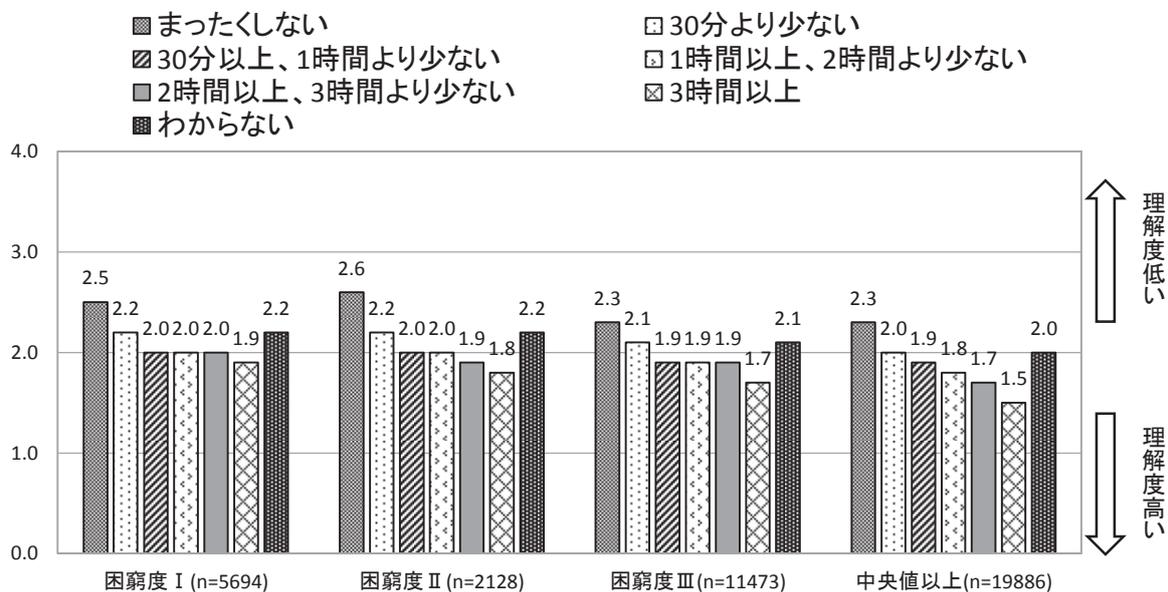
図 183. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 33.9%であり「週5回以下」の子どもよりも少ない。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 30.7%、15.7%であり、「週5回以下」朝食をとる子どもよりも割合が高い。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連（子ども票問 14&子ども票問 15）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで4項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

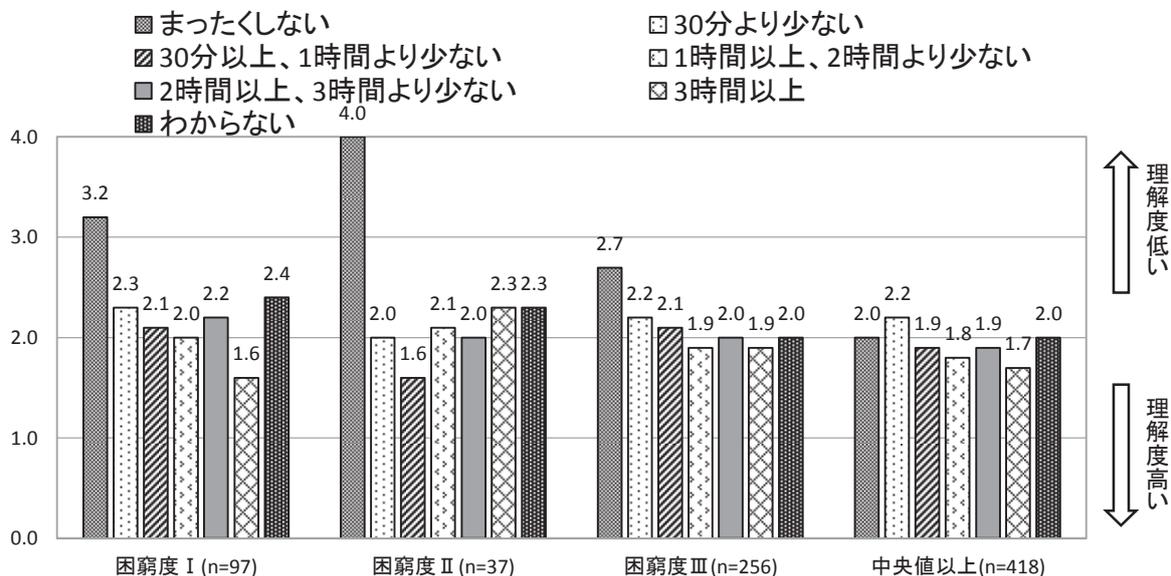
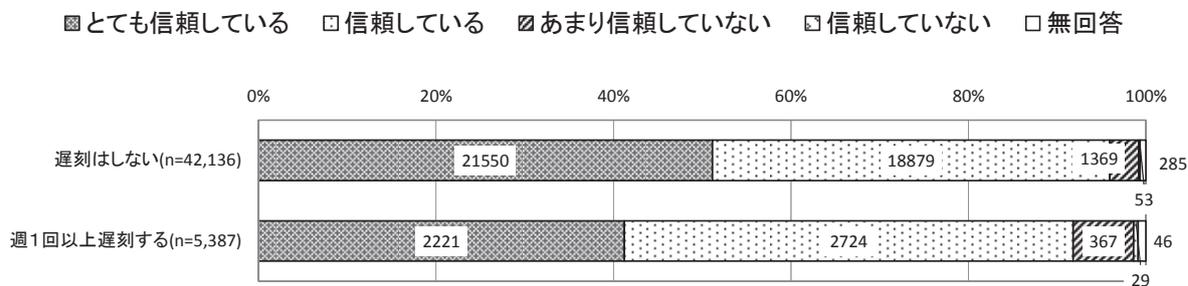


図 184. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連

困窮度別の授業以外の勉強時間と学習理解度の関連を見ると、「2時間以上、3時間より少ない」と回答した子どもにおいては、困窮度が高まるにつれ、学習理解度が低くなっている。それ以外の子どもにおいては、大きな差は見られない。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

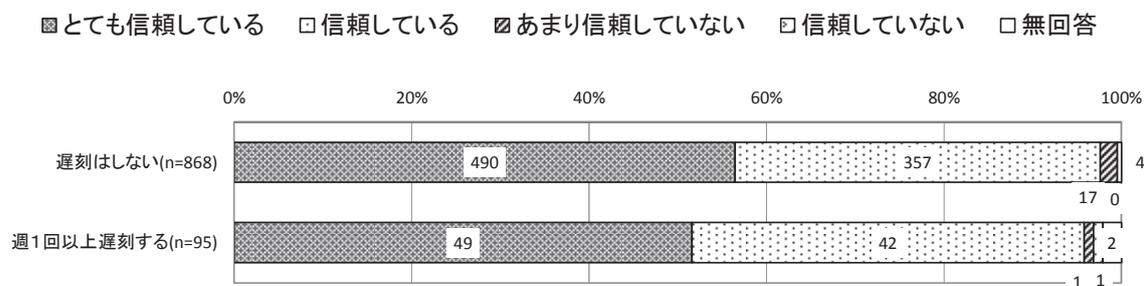


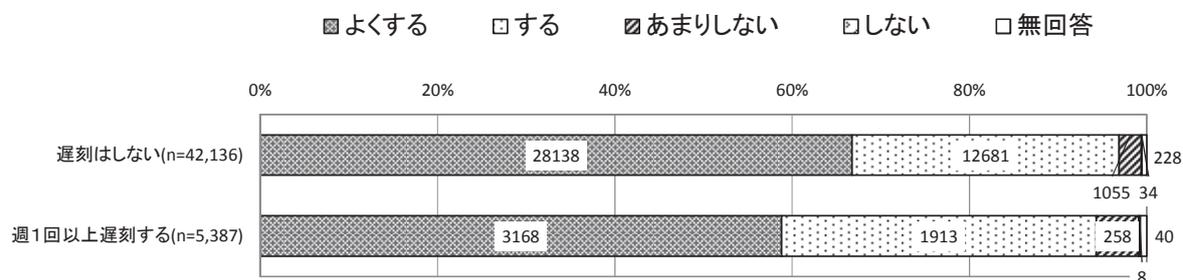
図 185. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

ここでは、子ども票問9において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週1回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が56.5%であり、「週1回以上遅刻する」子どもにおいては51.6%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

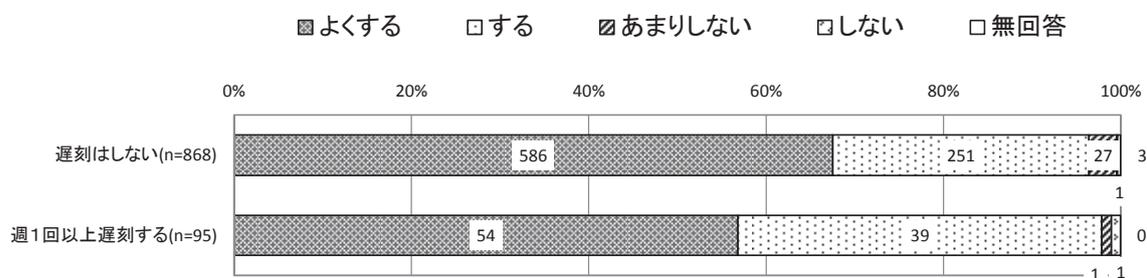


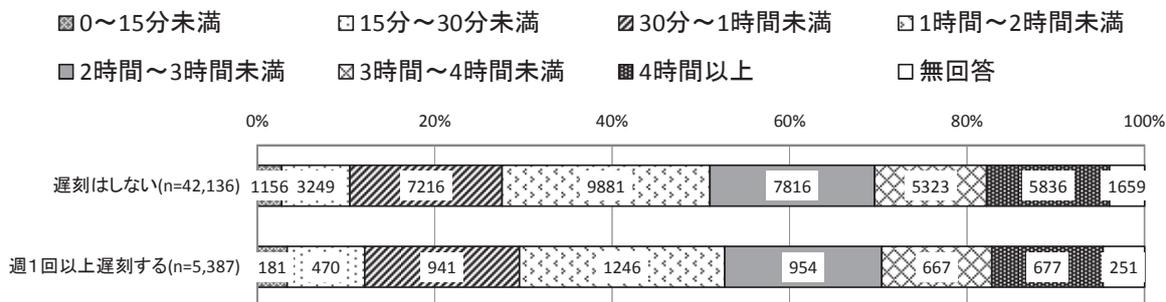
図 186. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

ここでは、子ども票問9において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週1回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は会話を「よくする」割合は67.5%であり、「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、56.8%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
 （子ども票問 9×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

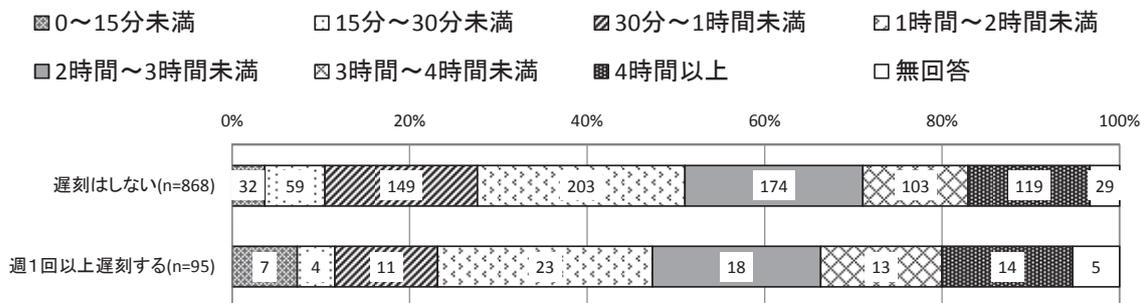
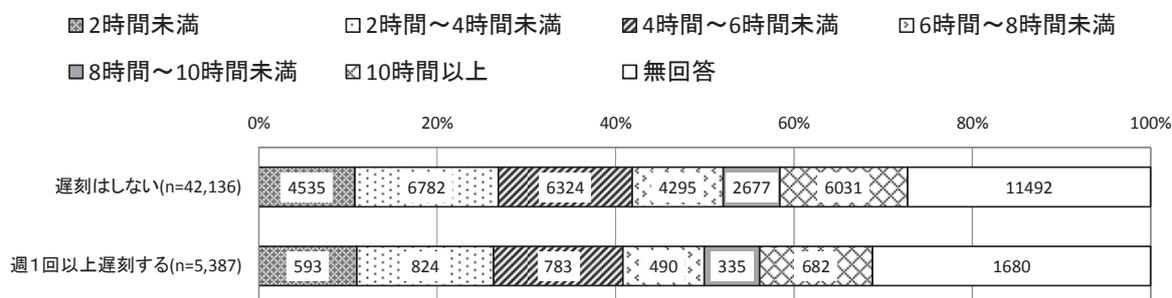


図 187. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、「週1回以上遅刻する」子どもに比べ、保護者との関わりは「30分～1時間未満」の割合が高く、17.2%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、「遅刻はしない」子どもに比べ、「0分～15分未満」の割合が高く7.4%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））
 （子ども票問 9×保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

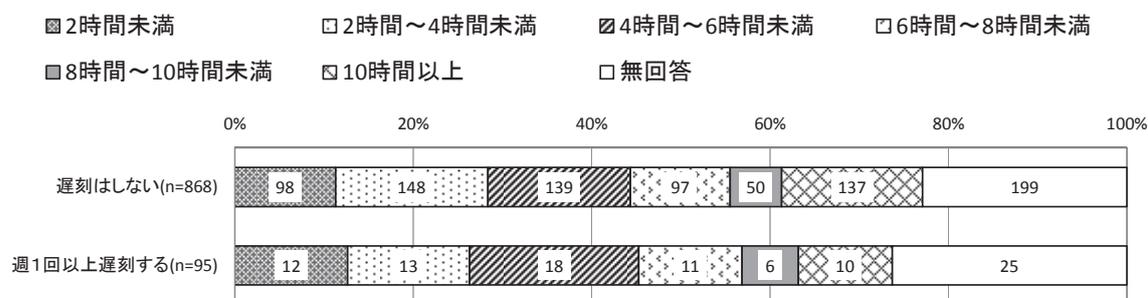
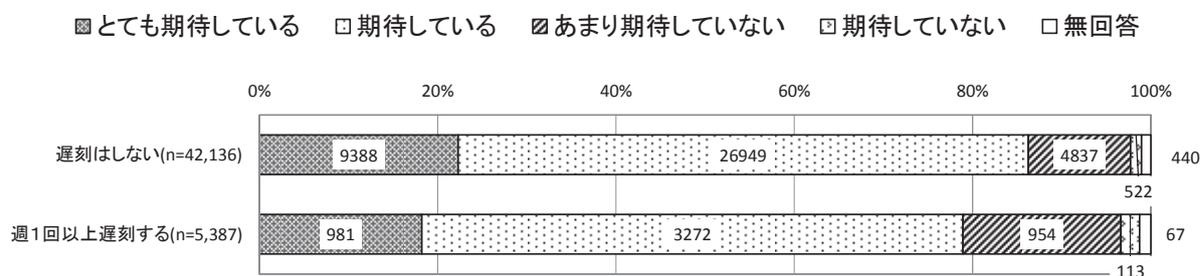


図 188. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「2時間～4時間未満」、「10時間以上」の割合が高く、それぞれ17.1%、15.8%である。「週1回以上遅刻する」子どもにおいては、「2時間未満」、「4時間～6時間未満」の割合が高く、12.6%、18.9%である。また、いずれも無回答の割合が高い。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
 （子ども票問 9×保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

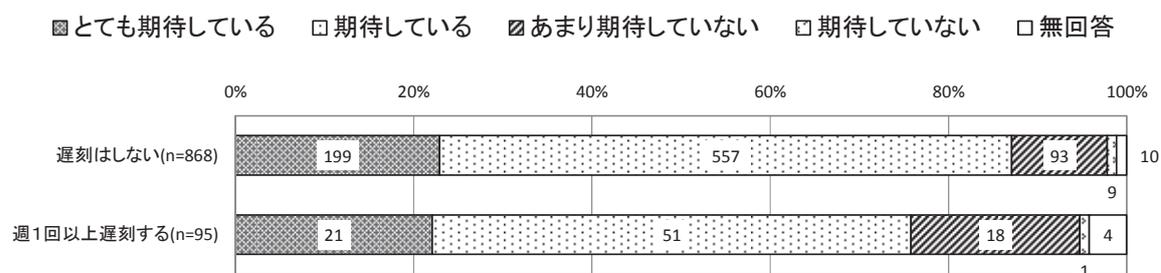
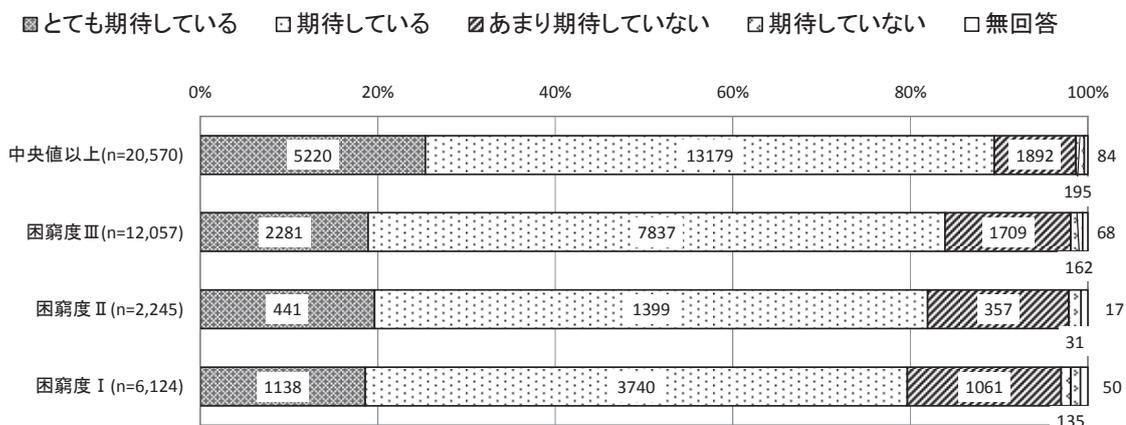


図 189. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「遅刻はしない」子どもに比べ、保護者は子どもの将来に「あまり期待していない」の割合が高く、18.9%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）（保護者票問 14-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

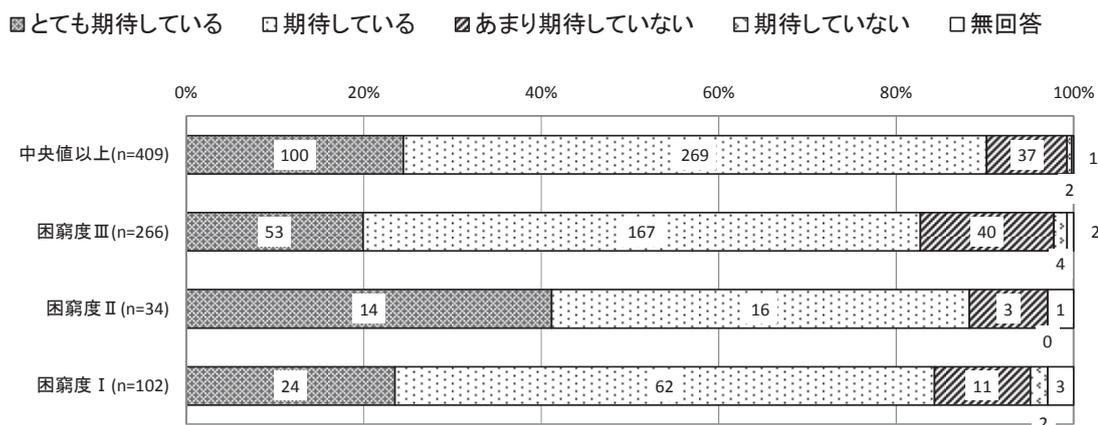
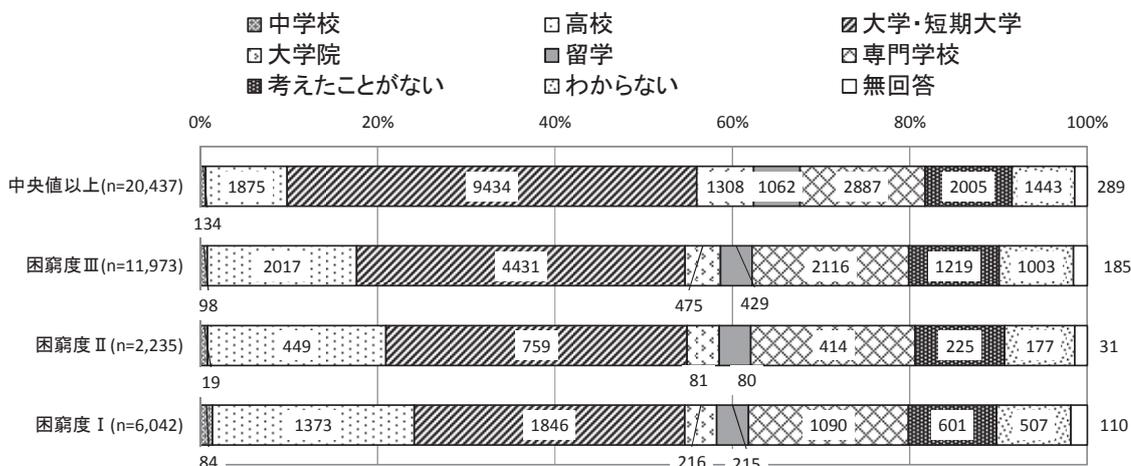


図 190. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、困窮度との関連は見られない。困窮度Ⅰ群では、「あまり期待していない」「期待していない」を合計すると 12.7%である。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

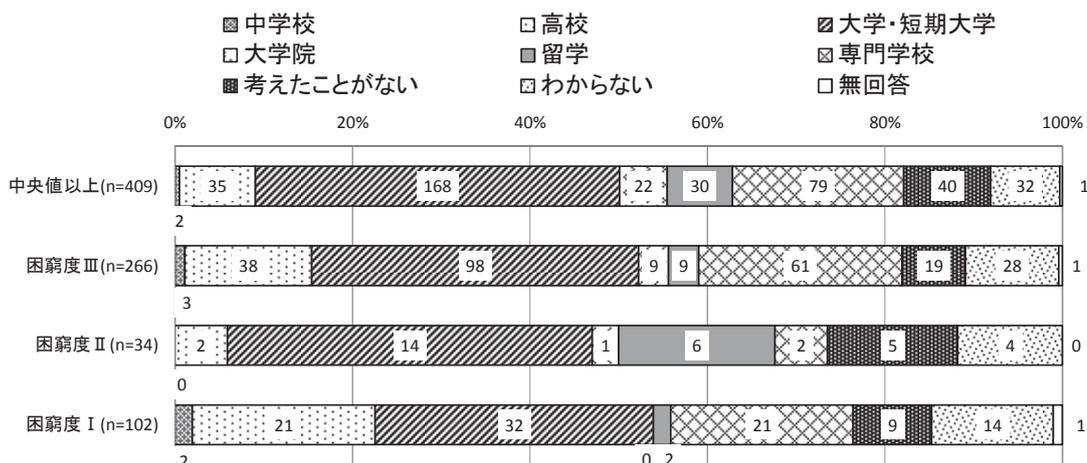
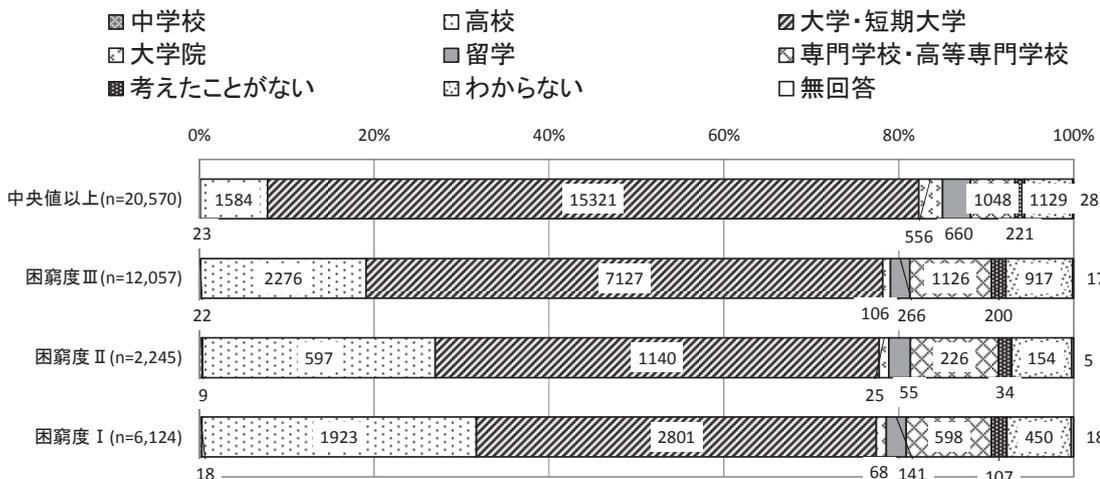


図 191. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度Ⅰ群では、「高校」までの割合と「専門学校」と回答した子どもの割合が高くなっている。困窮度Ⅱ群では、「高校」と回答した子どもは5.9%と低く「大学・短期大学」と回答した割合が41.2%と高い。

困窮度別に見た、子どもの進学予測（保護者票問 15）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

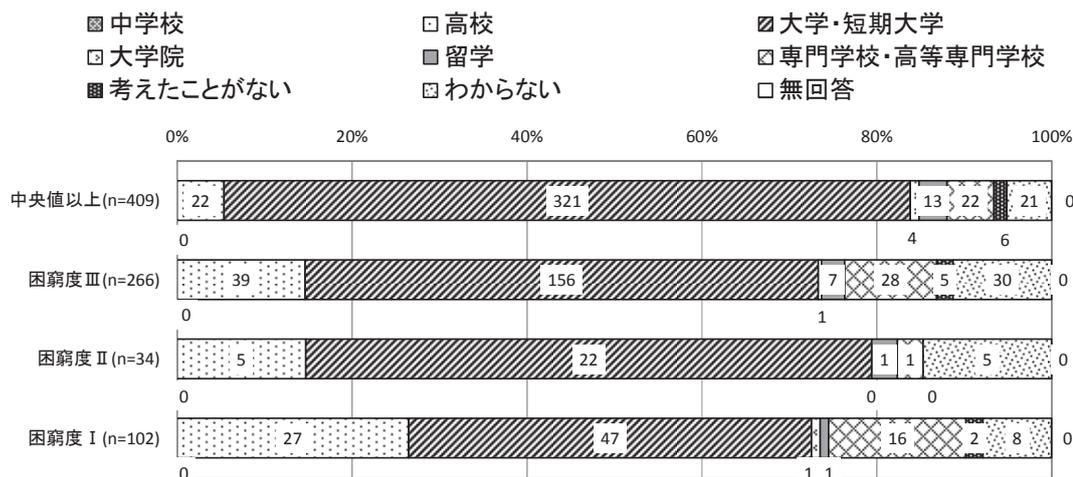
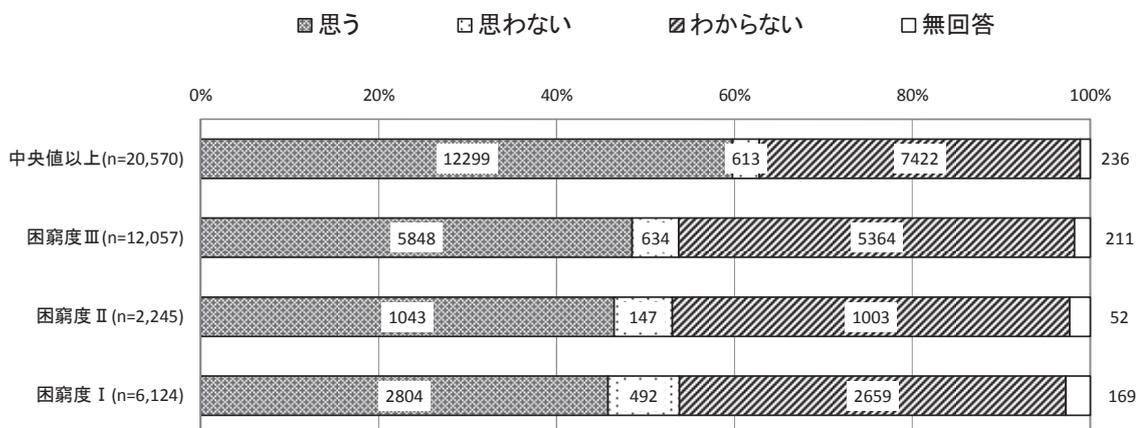


図 192. 困窮度別に見た、子どもの進学予測

困窮度別に子どもの進学予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「高校」までの割合と「専門学校・高等専門学校」と回答した人の割合が高くなる傾向にある。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した人は合計 26.5%、「専門学校・高等専門学校」と回答した人は 15.7%である。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は高く、78.5%である。

困窮度別に見た、子どもの進学達成予測（保護者票問 16）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

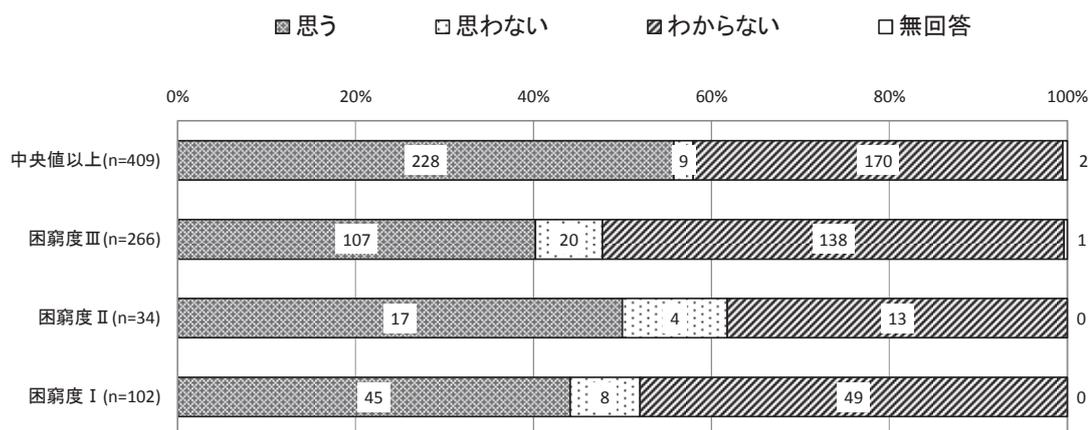
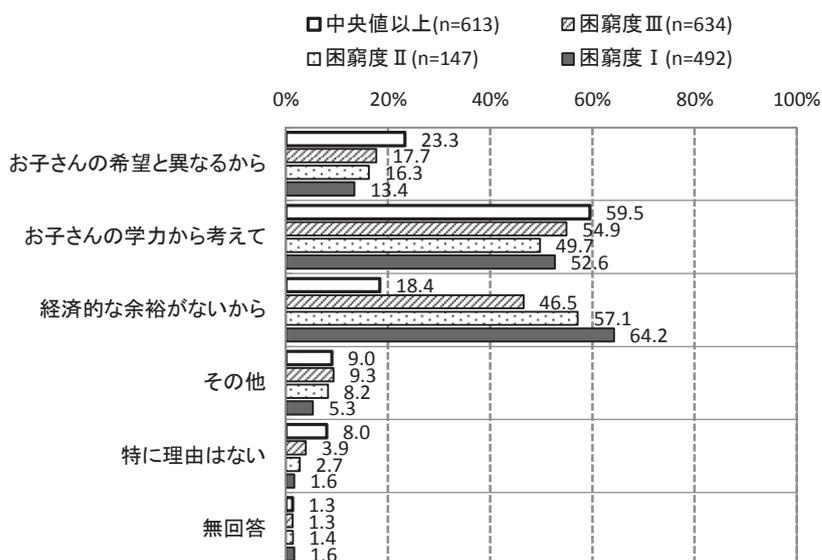


図 193. 困窮度別に見た、子どもの進学達成予測

困窮度別に子どもの進学達成予測（保護者による）を見ると、「思わない」と回答した割合は、中央値以上群で2.2%、困窮度Ⅲ群、困窮度Ⅱ群、困窮度Ⅰ群でそれぞれ7.5%、11.8%、7.8%である。

困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由（保護者票問 17）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

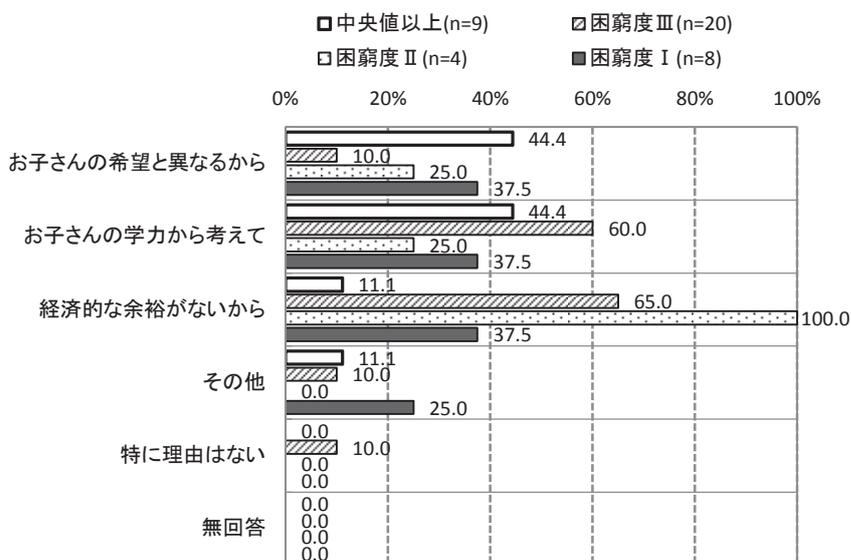
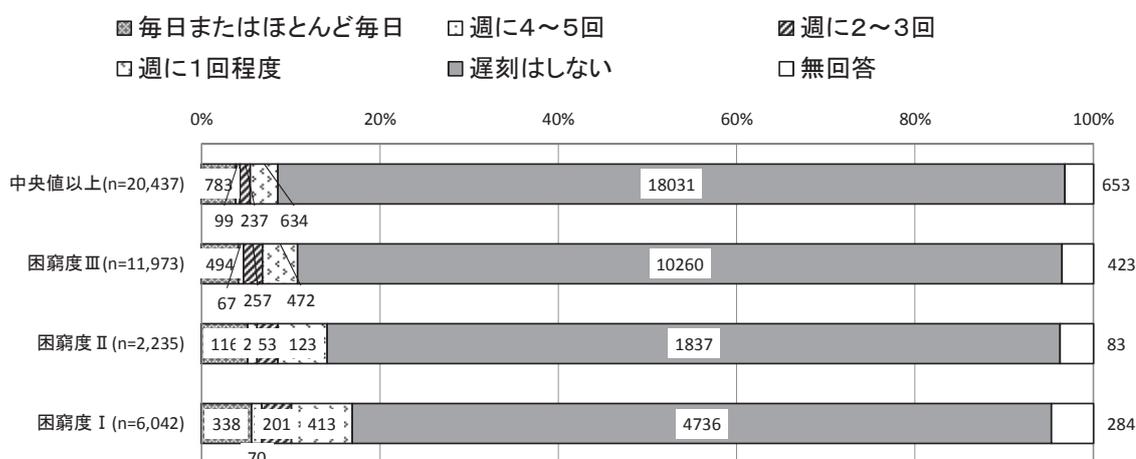


図 194. 困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由

困窮度別に子どもの進学達成「思わない」理由（保護者による）を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群とで最も差が大きいのは「経済的な余裕がないから」であった。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問9）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

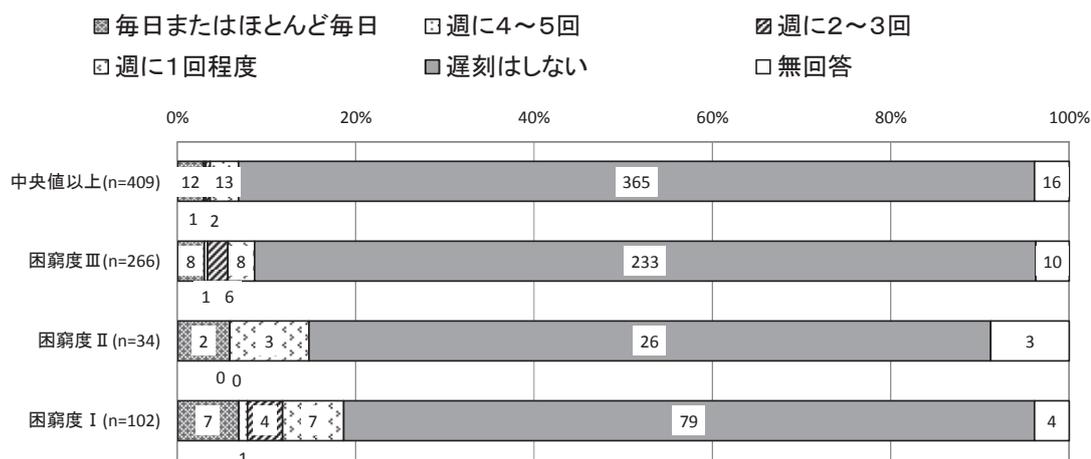
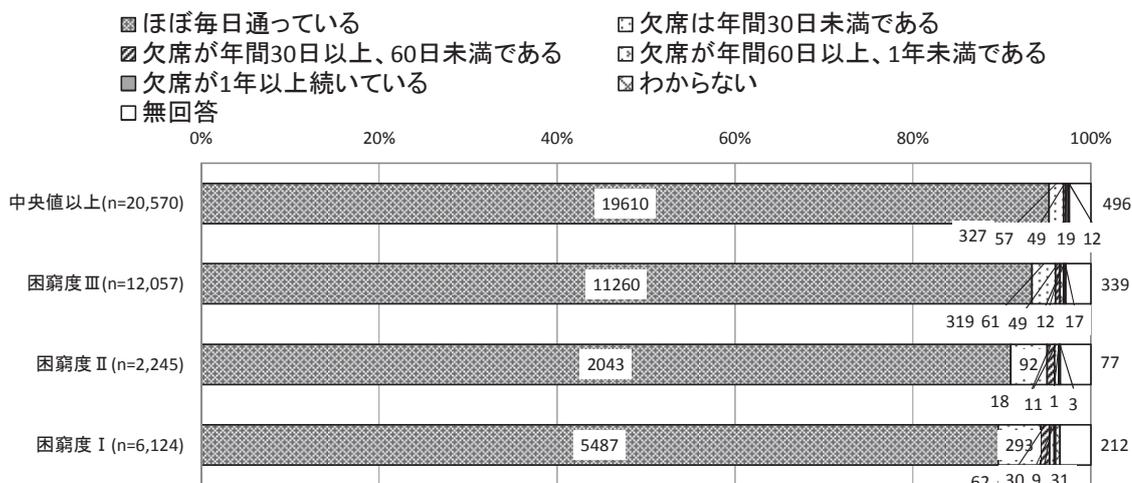


図 195. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、困窮度が高まるにつれ、週に1回以上遅刻をする子どもの割合が増える。困窮度Ⅰ群では、週に1回以上遅刻をする割合は18.6%である。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

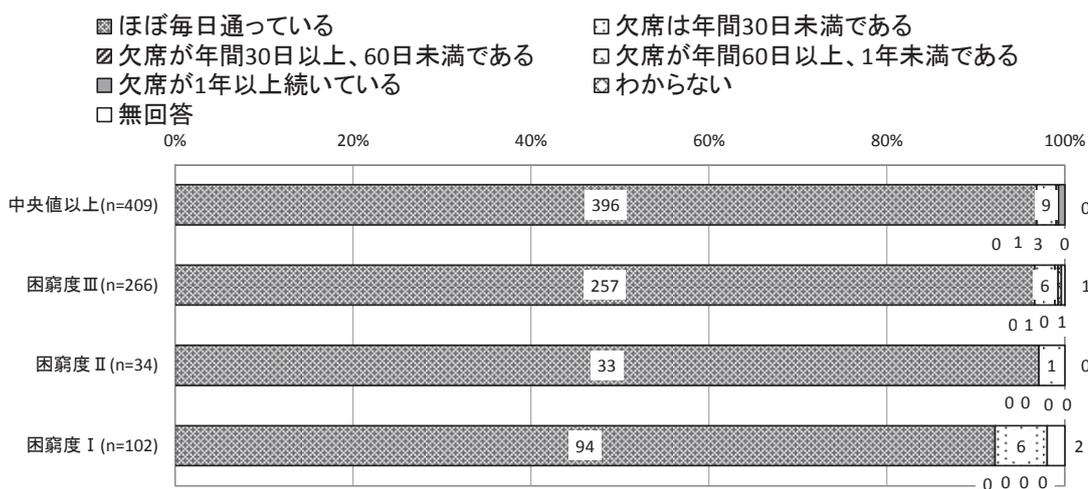
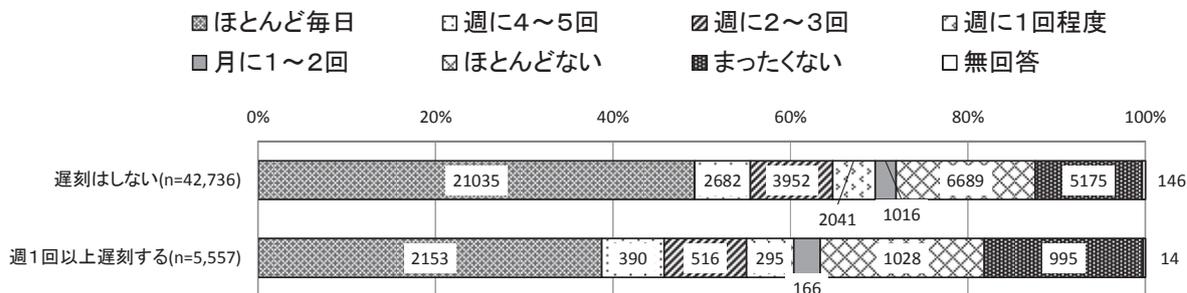


図 196. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、「ほぼ毎日通っている」という回答では困窮度Ⅰ群で92.2%と低くなっている。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-1)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

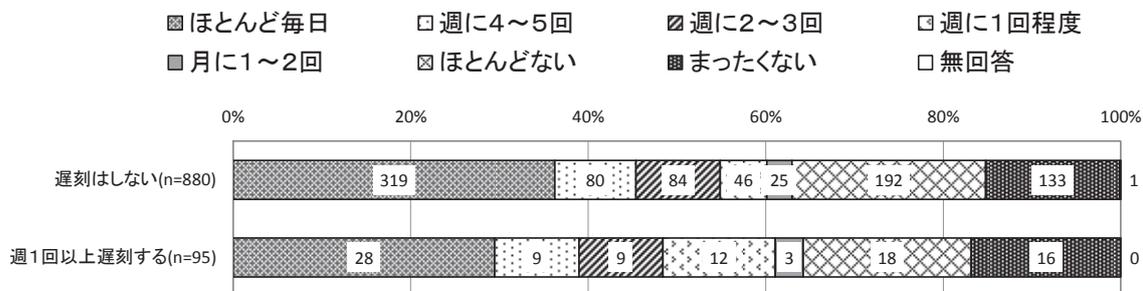
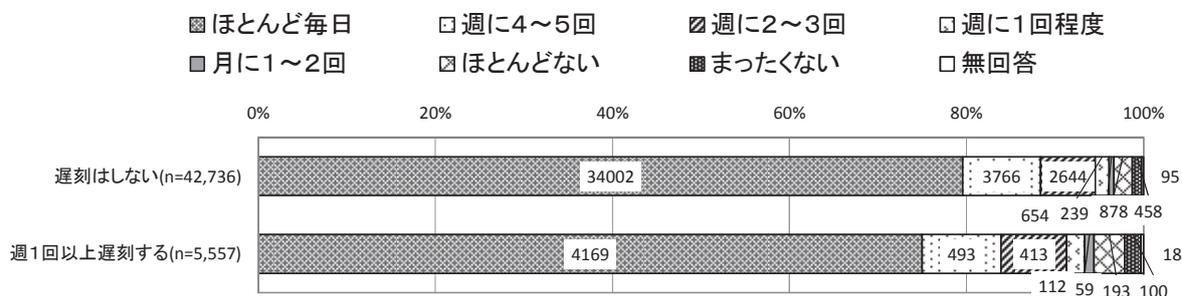


図 197. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が低く、29.5%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-2)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

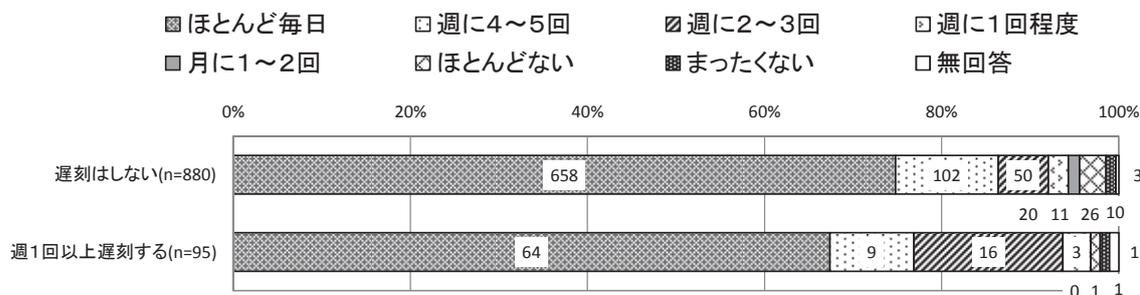
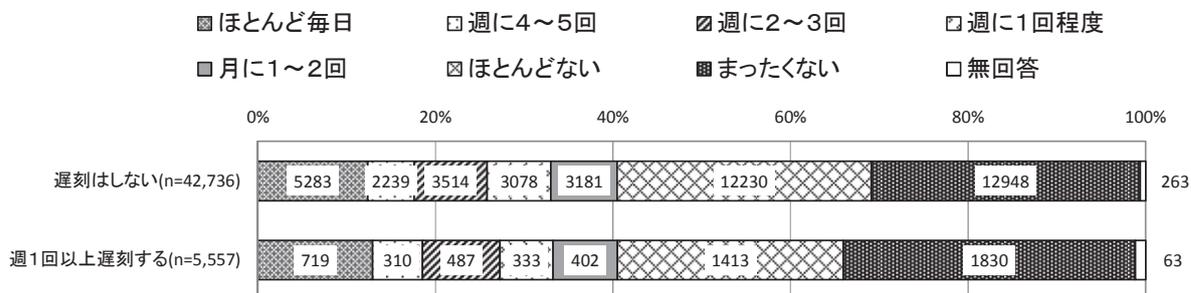


図 198. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が低く、67.4%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-5)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

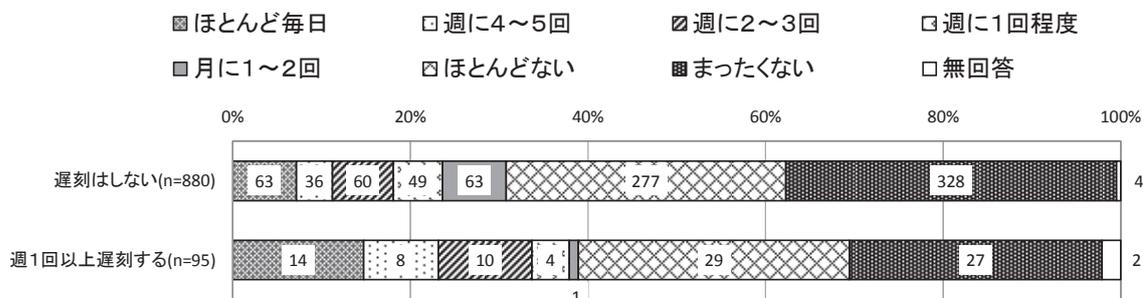
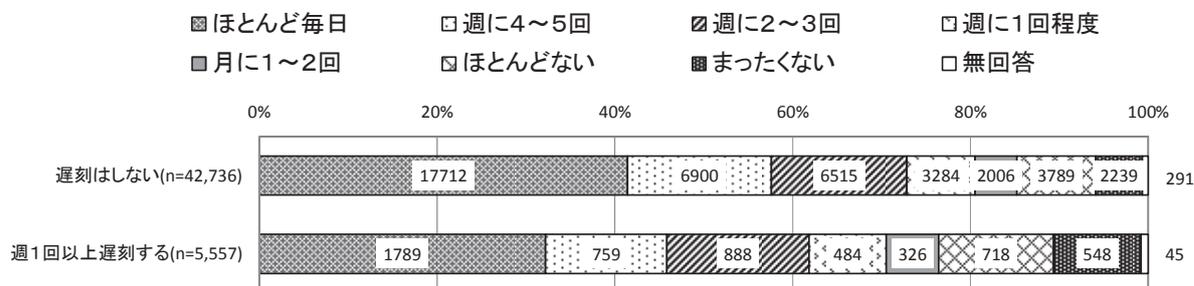


図 199. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が高く、14.7%であった。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-6)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

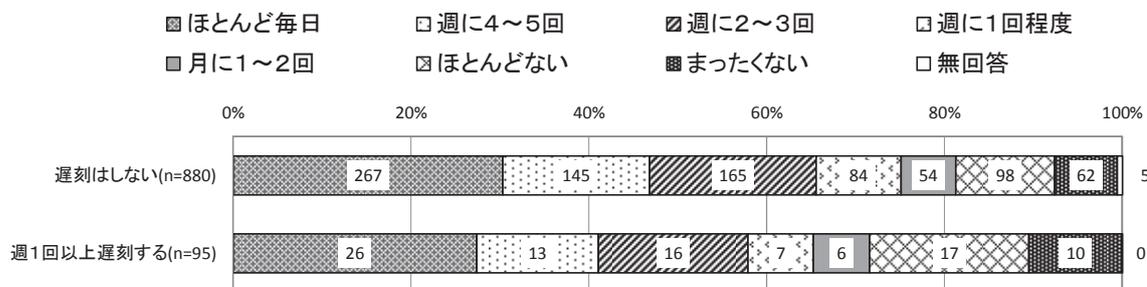
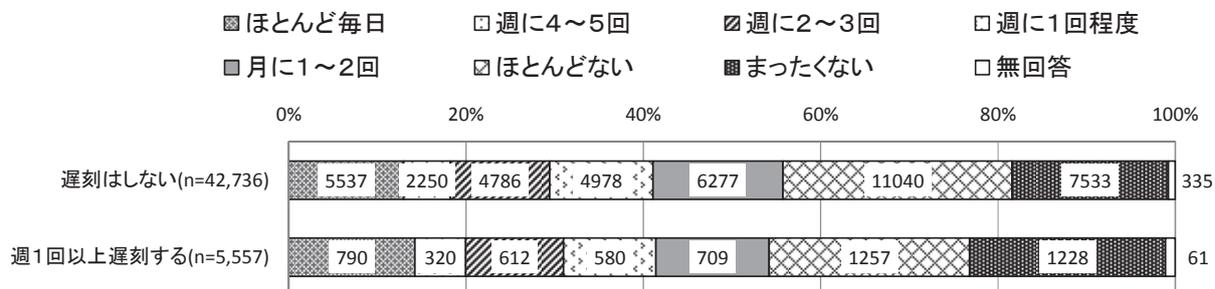


図 200. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると 28.4%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-7)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

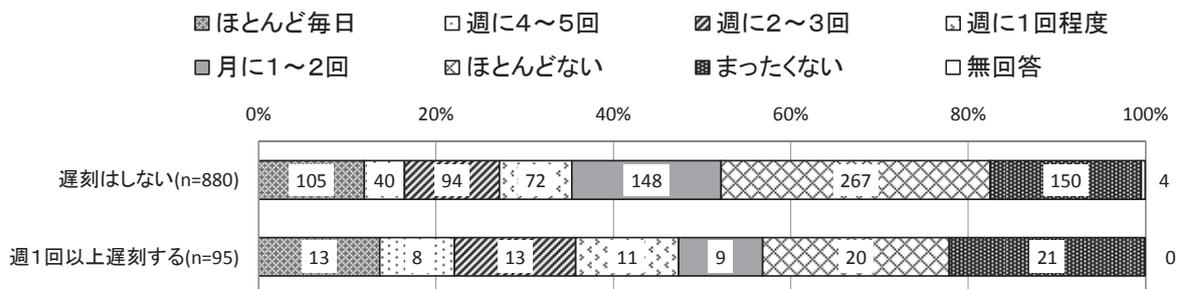
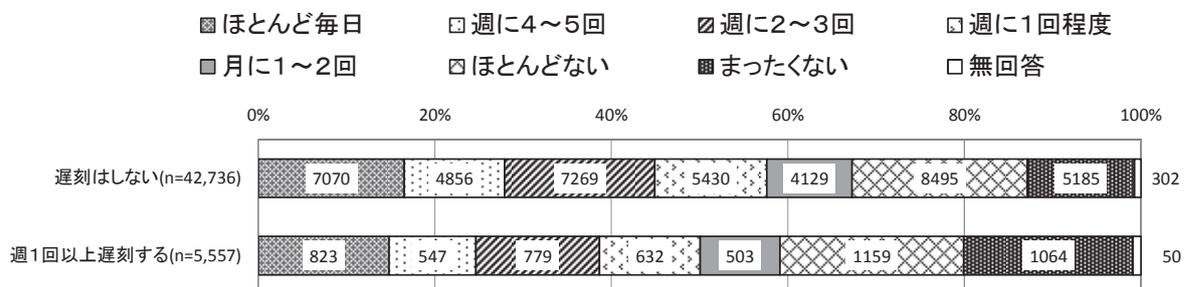


図 201. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が高く、22.1%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-8)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

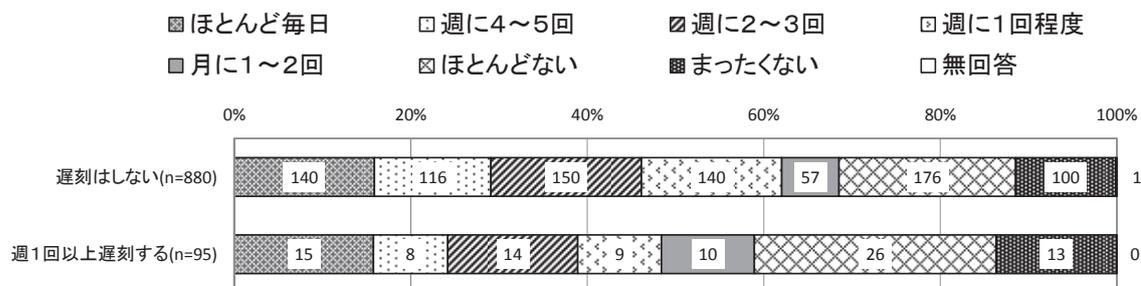
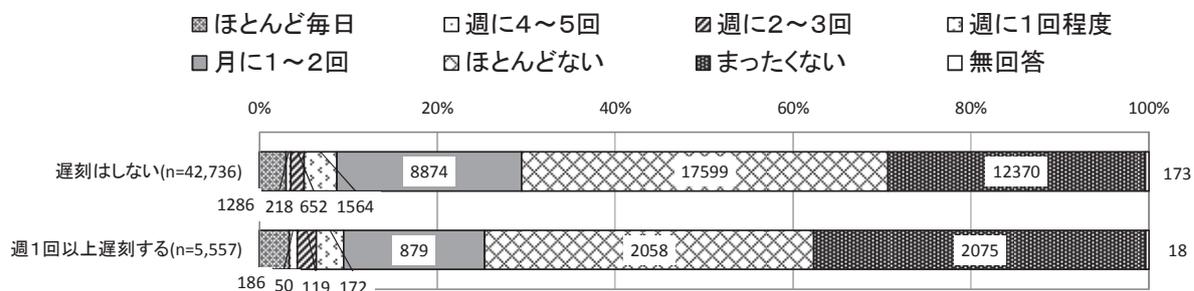


図 202. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」と回答した割合が高く、それぞれ27.4%、13.7%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）
 (子ども票問 9×子ども票問 10-9)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

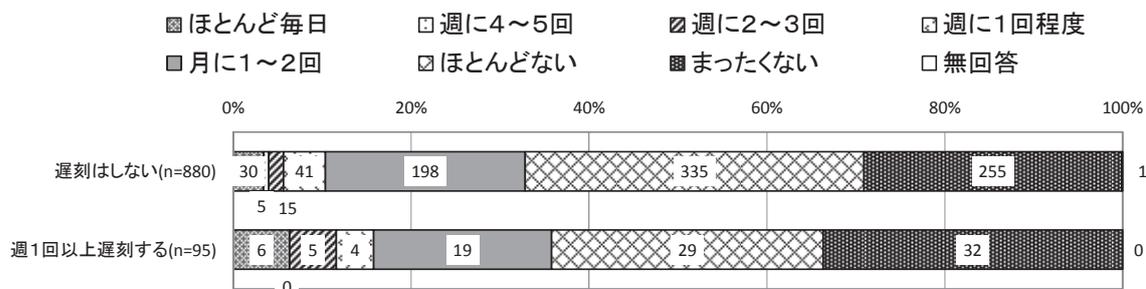
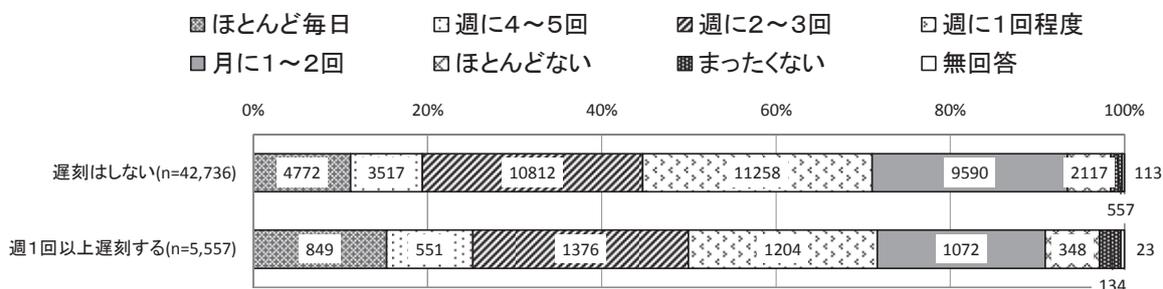


図 203. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が高く、33.7%である。

学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）
 （子ども票問 9×子ども票問 10-10）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

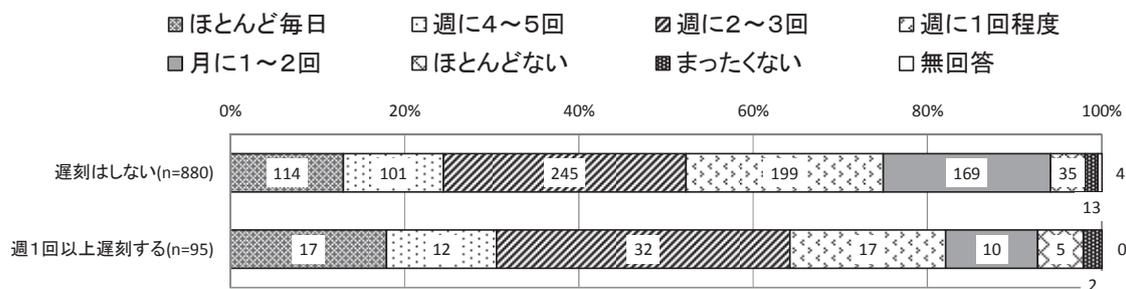
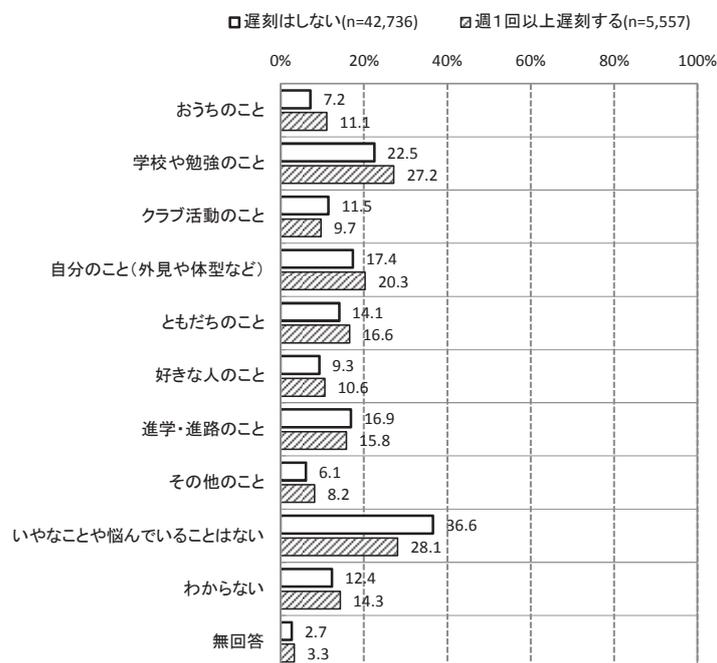


図 204. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が高く、17.9%である。

学校への遅刻別に見た、悩んでいること（子ども票問9×子ども票問18）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

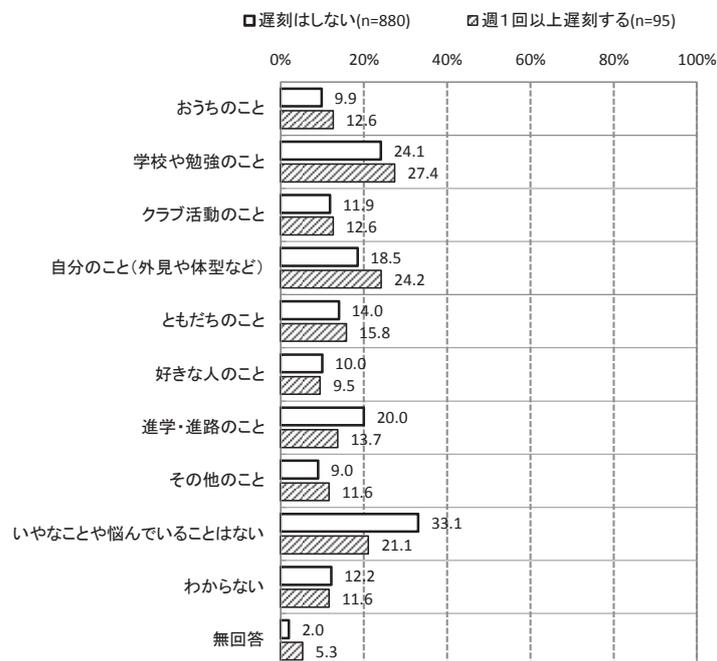


図 205. 学校への遅刻別に見た、悩んでいること

学校への遅刻別に子どもが悩んでいることを見ると、「週1回以上遅刻する」子どもの方が「遅刻はしない」子どもよりも、「自分のこと（外見や体型など）」では5.7ポイント、「学校や勉強のこと」では3.3ポイント、「おうちのこと」では2.7ポイント、回答した割合が高い。また、「遅刻はしない」子どもにおいては、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が33.1%に上った。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数
 (子ども票問 9×子ども票問 21)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

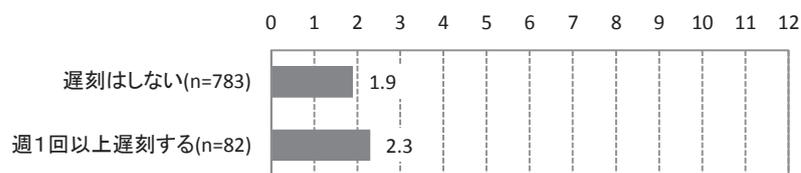


図 206. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数

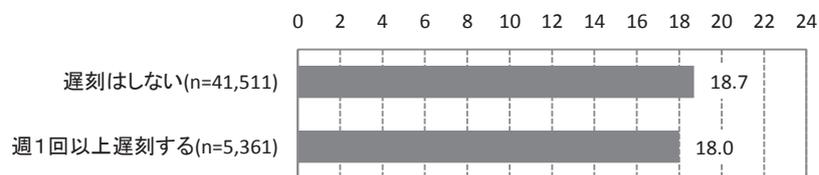
学校への遅刻別に子どもが自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは、自分の体や気持ちで気になることが平均2.3個該当している。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

（子ども票問 9×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

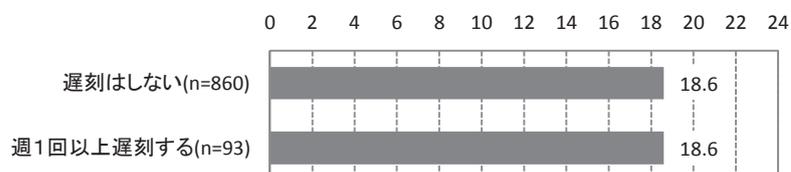
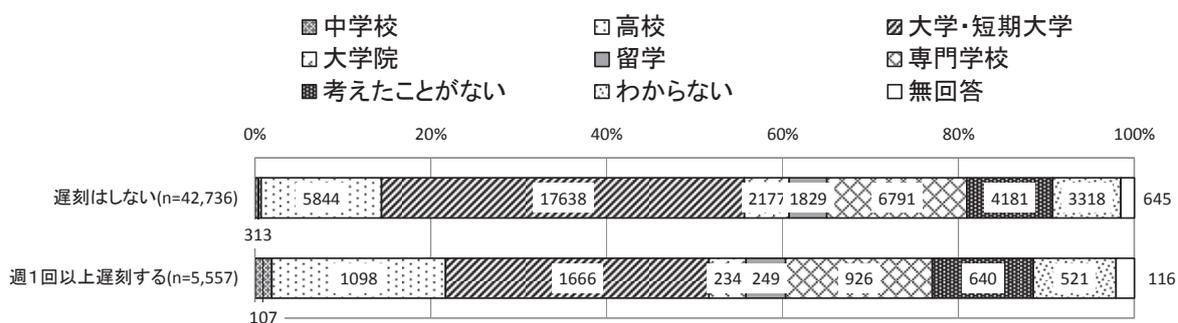


図 207. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもと「遅刻はしない」子どもとでは大きな差は見られない。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問9×子ども票問24）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

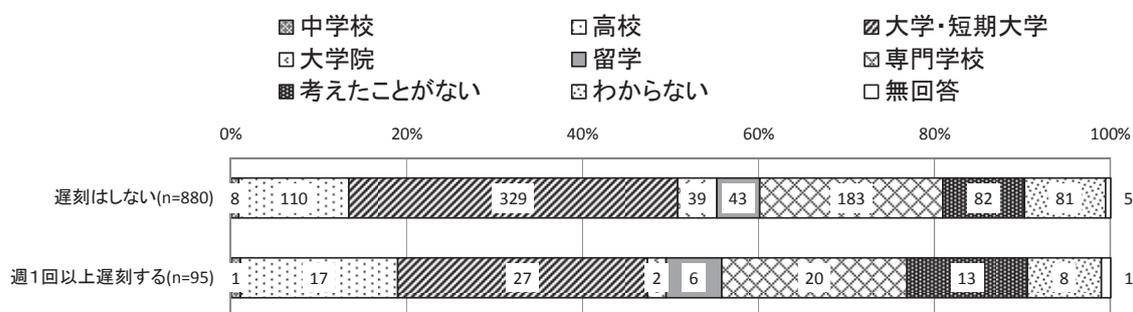


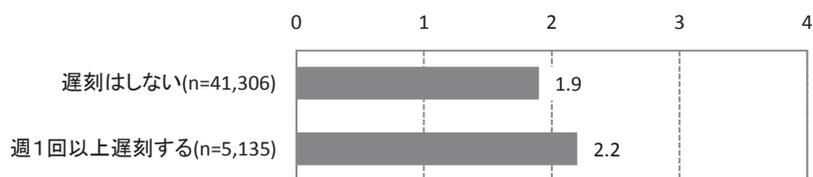
図 208. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に子どもの希望する進学先を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「中学校」「高校」と回答した割合が高く、合計すると18.9%である。「遅刻はしない」子どもは、「大学・短期大学」と回答した割合が高く、37.4%である。

学校への遅刻別に見た、学習理解度（子ども票間 9×子ども票間 15）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで4項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

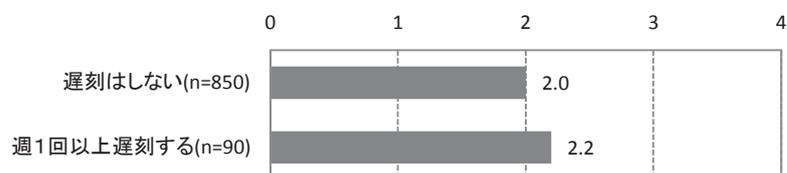
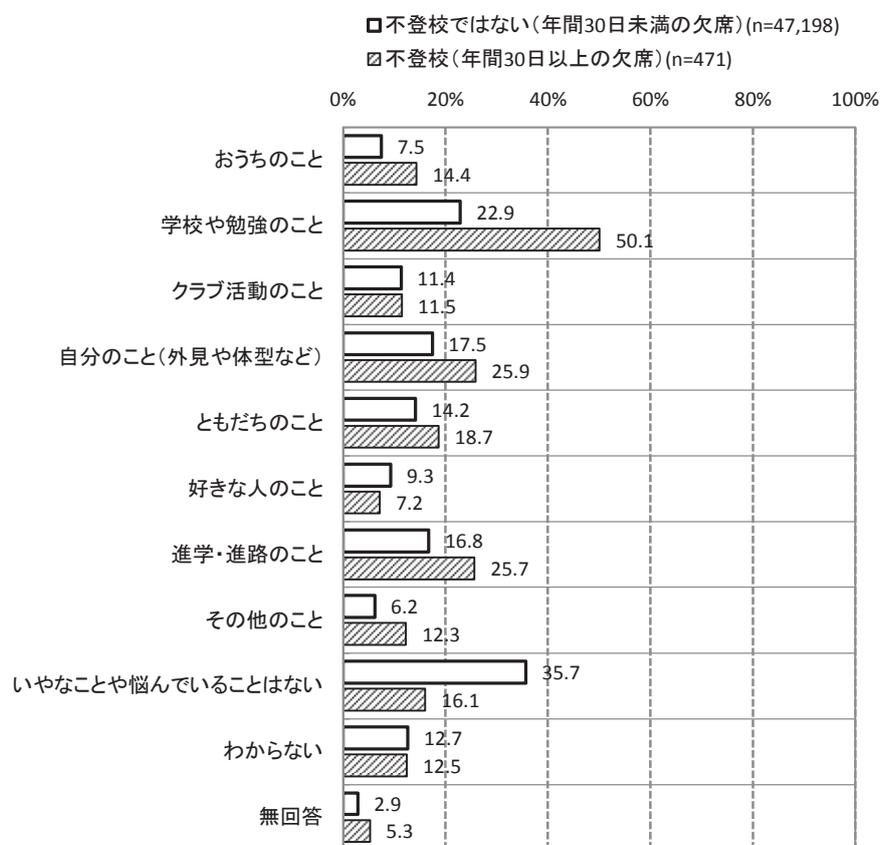


図 209. 学校への遅刻別に見た、学習理解度

学校への遅刻別に子どもの学習理解度を見ると、「週1回以上遅刻する」子どもは「遅刻はしない」子どもよりも学習理解度が低い。

登校状況別に見た、悩んでいること（保護者票間 18×子ども票間 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

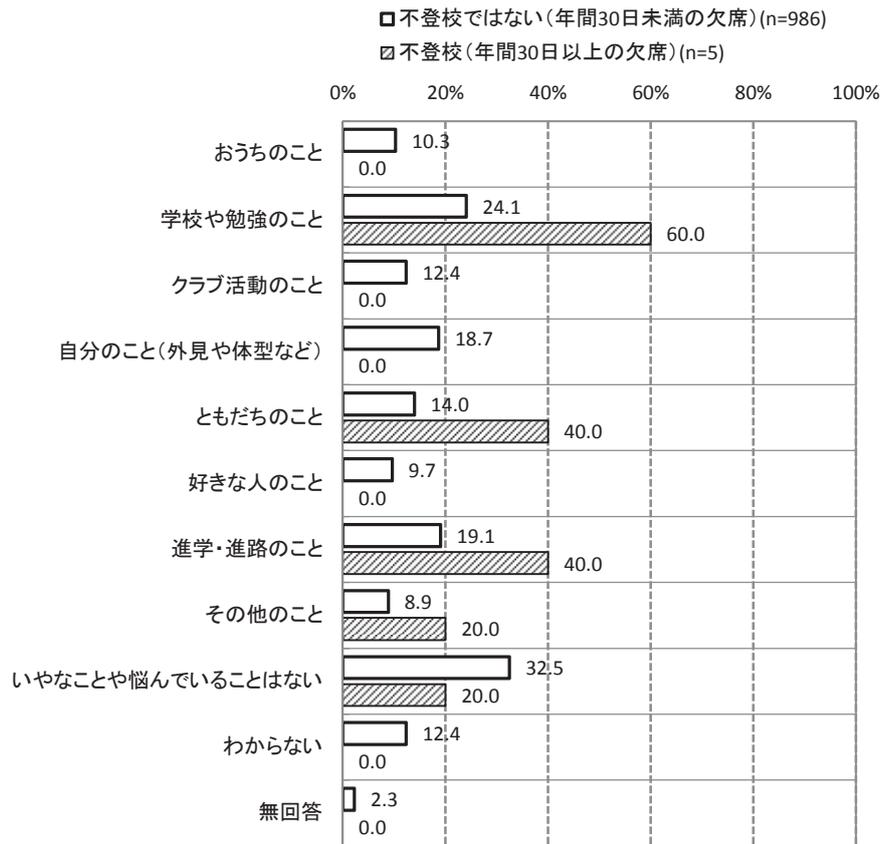


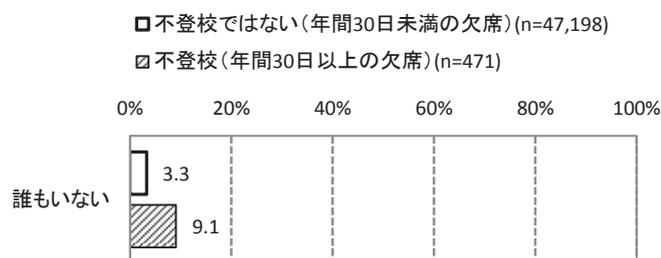
図 210. 登校状況別に見た、悩んでいること

ここでは、保護者票問 18 において「ほぼ毎日通っている」「欠席は年間 30 日未満である」を「不登校ではない」、「欠席が年間 30 日以上、60 日未満である」「欠席が年間 60 日以上、1 年未満である」「欠席が 1 年以上続いている」を「不登校」としている。

登校状況別に子どもの悩んでいることを見ると、「不登校」の子どもは「学校や勉強のこと」(60.0%)、「ともだちのこと」(40.0%)、「進学・進路のこと」(40.0%)、「その他のこと」(20.0%)、「いやなことや悩んでいることはない」(20.0%)と回答している。また、「不登校ではない」子どもでは、「いやなことや悩んでいることはない」に該当するのは 32.5%であった。

登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合
 (保護者票問 18×子ども票問 20-6)

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

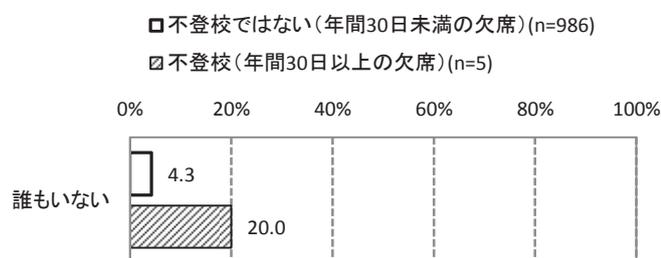
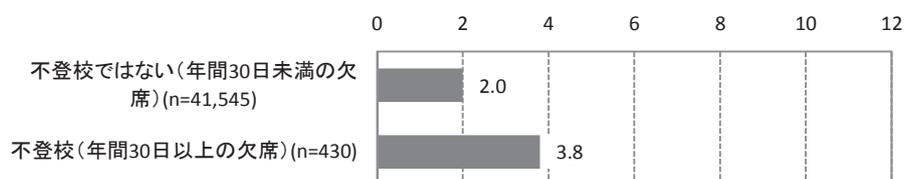


図 211. 登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合

登校状況別に子どもの「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合を見ると、「不登校」では20.0%であった。

登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数（保護者票問 18×子ども票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

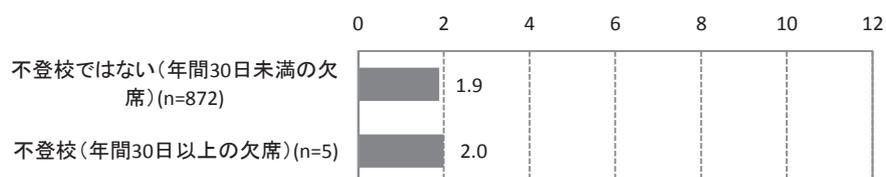


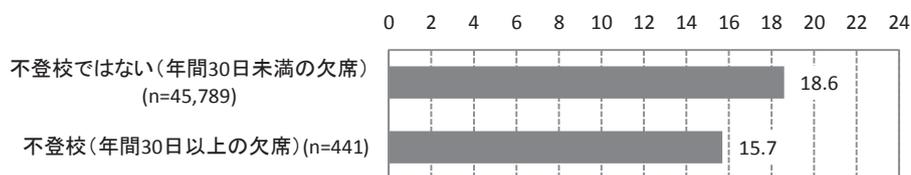
図 212. 登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数

登校状況別に子どもの自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「不登校」では平均 2.0 個であった。登校状況による差は見られない。

登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（保護者票問 18×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

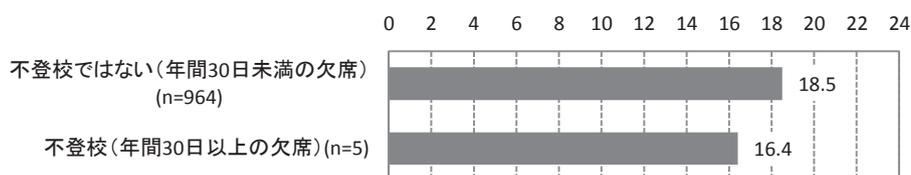
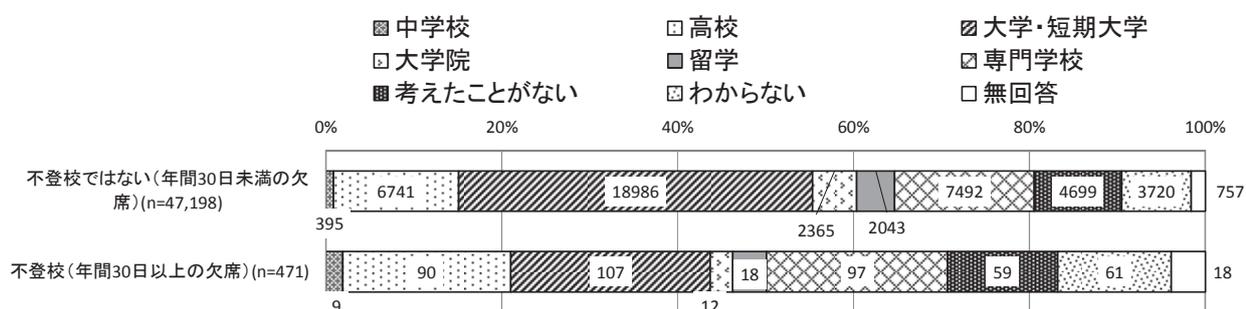


図 213. 登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

登校状況別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「不登校」では平均 16.4 点であった。

登校状況別に見た、希望する進学先（保護者票間 18×子ども票間 24）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

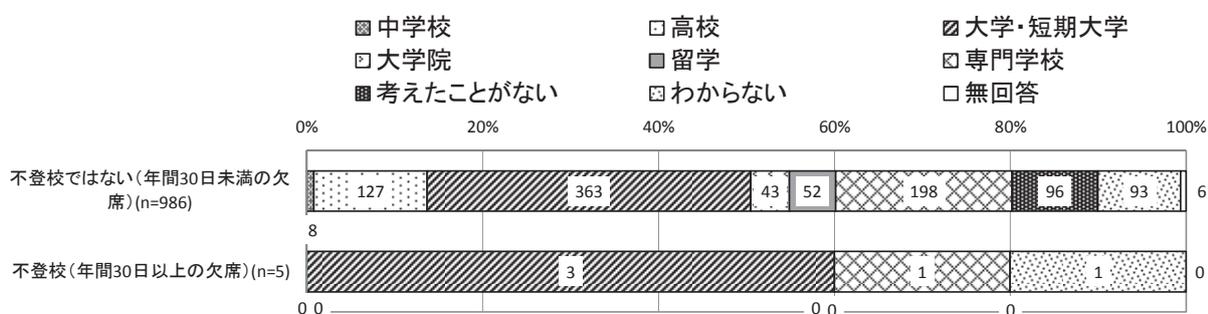
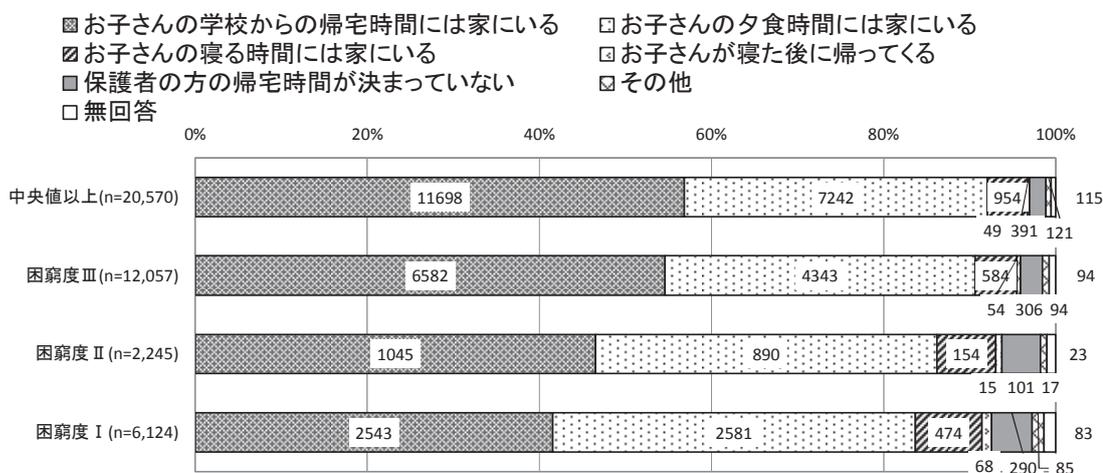


図 214. 登校状況別に見た、希望する進学先

登校状況別に子どもの希望する進学先を見ると、「不登校」では「大学・短期大学」(60.0%)、「専門学校」(20.0%)、「わからない」(20.0%)と回答している。「不登校ではない」子どもでは、「大学・短期大学」と回答した割合は36.8%である。

困窮度別に見た、保護者の在宅時間（保護者票問 10）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

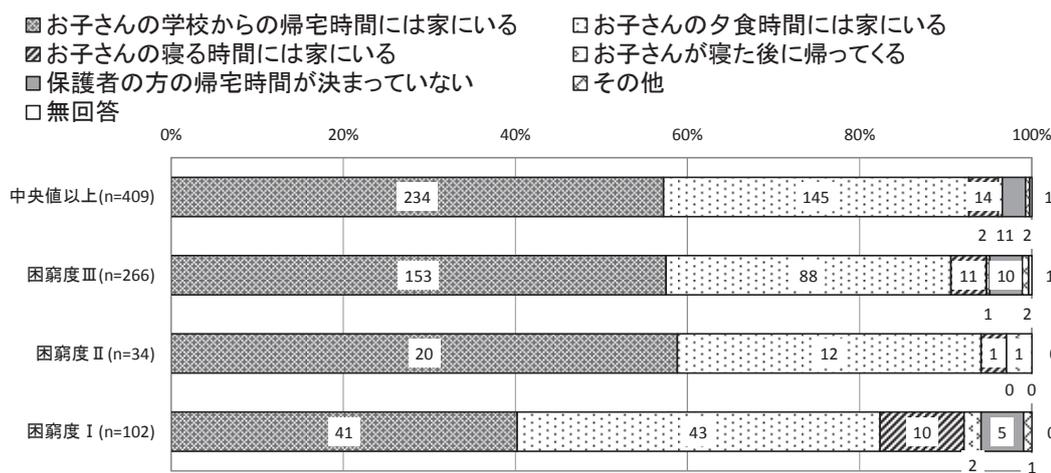
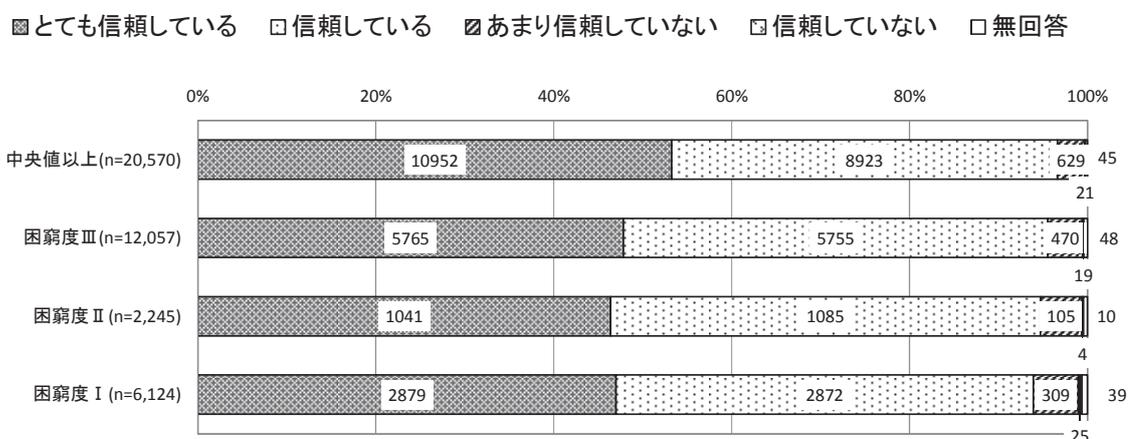


図 215. 困窮度別に見た、保護者の在宅時間

困窮度別に保護者の在宅時間を見ると、困窮度Ⅰ群では「お子さんの学校からの帰宅時には家にいる」と回答した割合が低く 40.2%であった。また、困窮度Ⅰ群では「お子さんの寝る時には家にいる」と回答した割合は 9.8%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）（保護者票問 14-1）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

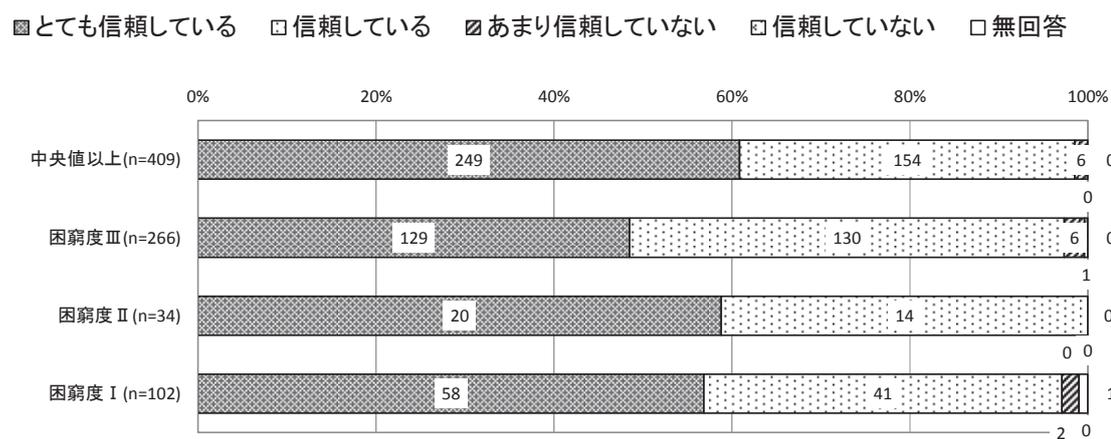
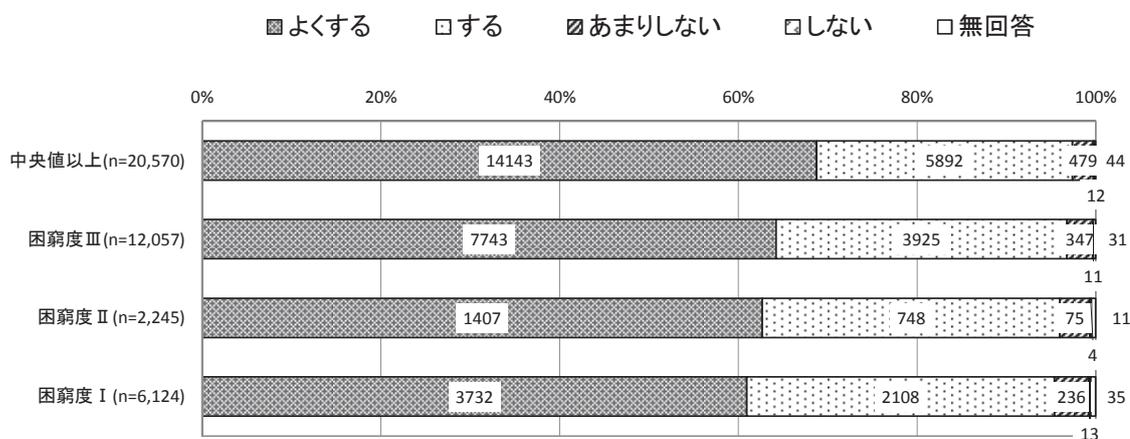


図 216. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「とても信頼している」が困窮度Ⅲ群で48.5%と低い。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）（保護者票問 14-2）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

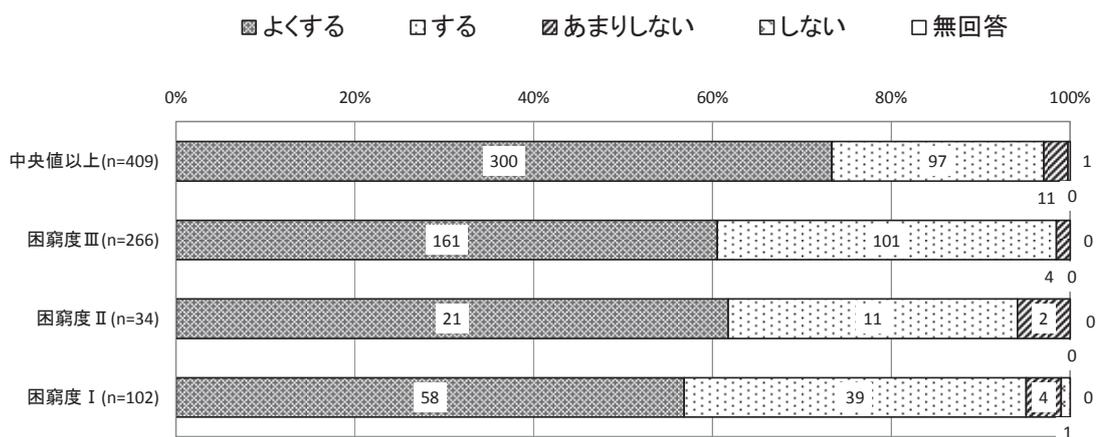
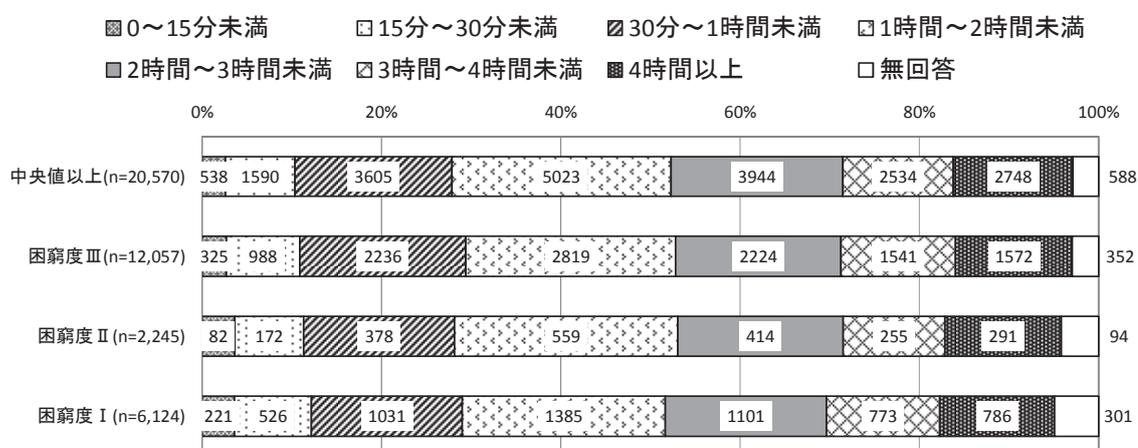


図 217. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、中央値以上群とそれ以外とで差が見られる。困窮度Ⅰ群では「よくする」と回答した割合が低く、56.9%である。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））（保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

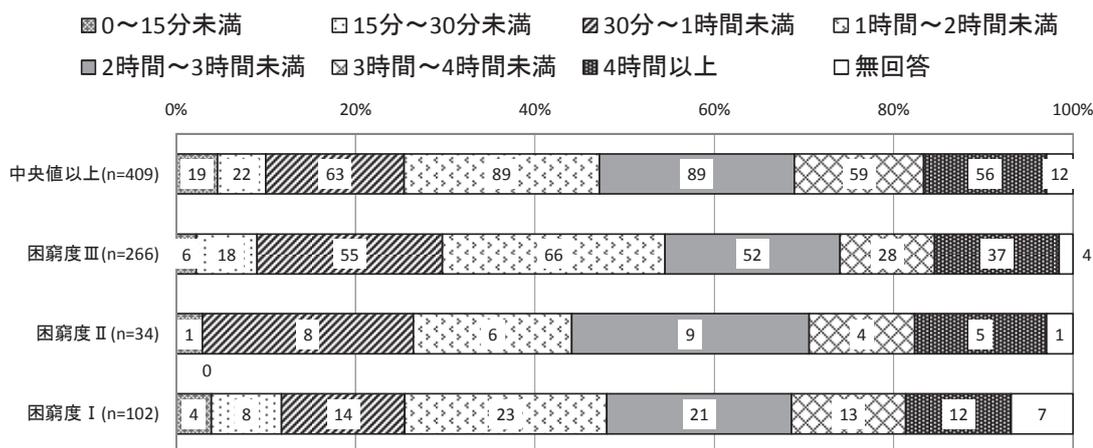
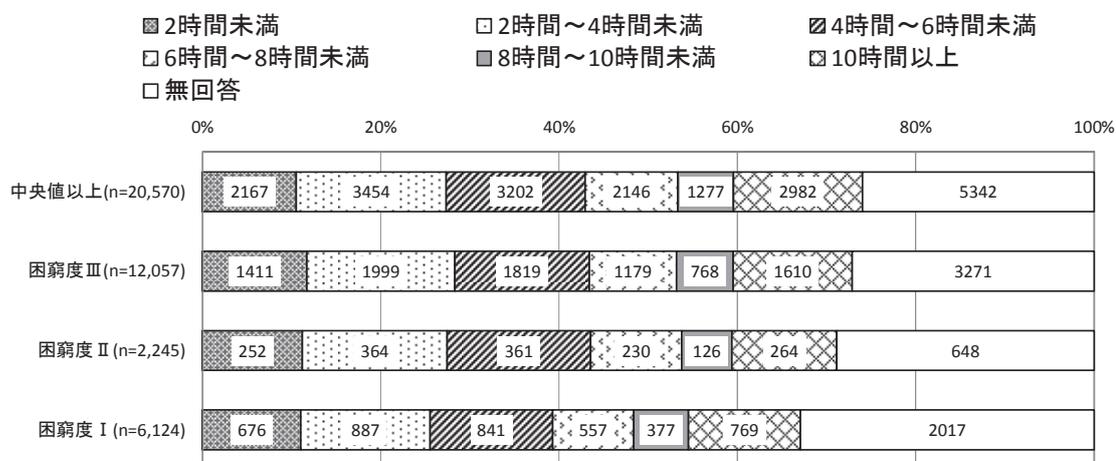


図 218. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））（保護者票問 14-3）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

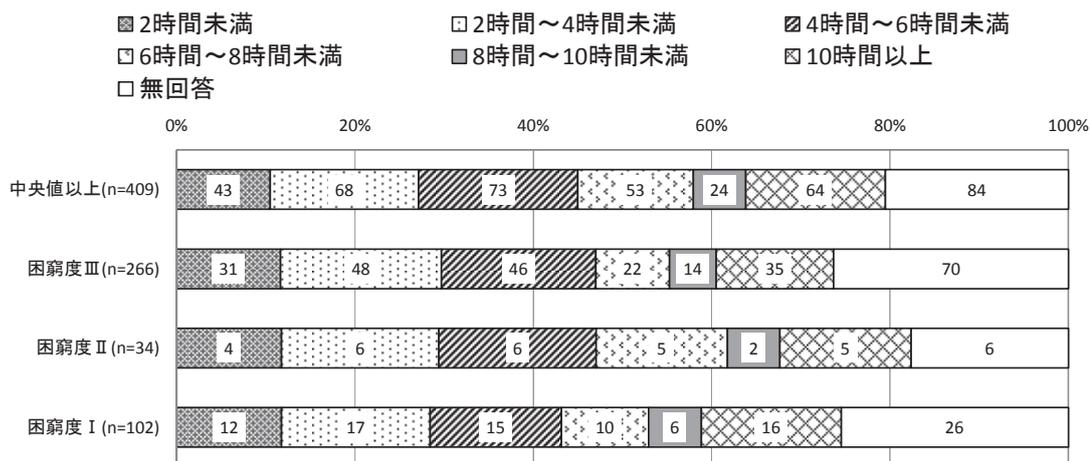


図 219. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））を見ると、困窮度による大きな差は見られない。

<家庭生活・学習に関する考察>

家庭生活・学習について、困窮度の視点から結果を述べる。まずおうちの大人とのかかわりを見ると、困窮度が高まるにつれ、「週4～5回」「ほとんど毎日」おうちの大人と一緒に朝食をとる割合が減少したほか（中央値以上群では49.4%、困窮度Ⅰ群では37.3%）、文化活動についても、「ほとんどない」「まったくない」と回答する割合が高まった（中央値以上群では64.5%、困窮度Ⅰ群では75.5%）。困窮度が高まるにつれて、保護者と子どもとの接触時間が短くなっていると言える。次に子どもの学習については、困窮度が高まるにつれて、1日当たりの勉強量が「まったくしない」「30分より少ない」と回答する子どもの割合が増加し（中央値以上群では17.6%、困窮度Ⅰ群では28.4%）、それに関連して学校の勉強について「よくわかる」「だいたいわかる」の割合が減少していた（中央値以上群では85.3%、困窮度Ⅰ群では67.6%）。また授業以外の読書時間も困窮度が高まるにつれて「まったくしない」と回答する割合が高まった。更に生活習慣との関連で勉強と読書の習慣を見ると、起床時間が決まっていない子ども、朝食を摂るのが週5回以下の子どものにおいては、勉強、読書ともに「まったくしない」と回答した割合が明らかに高かった。以上のことから困窮度が高まると子どもの学力や教育環境に影響を及ぼし得る状況にあるといえる。

保護者が希望する子どもの進学については、困窮度が高まるにつれて「高校まで」を希望する割合が増えるとともに（中央値以上群では5.4%、困窮度Ⅰ群では26.5%）、「大学・短期大学」への進学を希望する割合が減る様子（中央値以上群では78.5%、困窮度Ⅰ群では46.1%）が見受けられた。また「高校まで」を希望する割合は大阪府下全自治体に比べ低いという地域の特徴も伺えた。

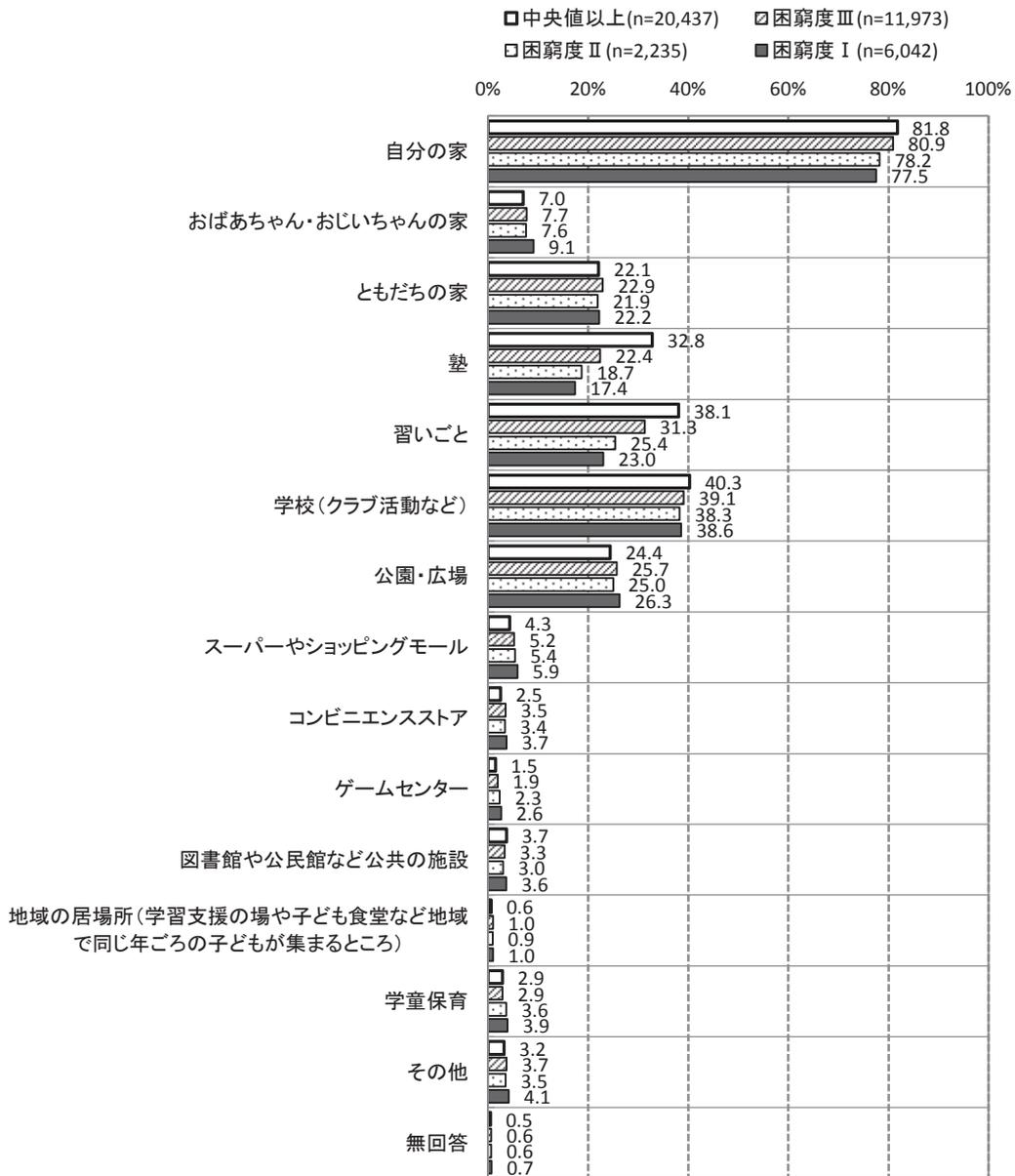
子どもの遅刻の状況については、困窮度が高まるにつれて「遅刻はしない」と回答した子どもの割合が低下した（中央値以上群では89.2%、困窮度Ⅰ群では77.5%）。また「遅刻しない」子どもは、「週1回以上遅刻する」子どもと比べ、おうちの大人と朝食、または夕食を「ほとんど毎日」一緒に食べている割合が高かった。逆に「週1回以上遅刻する」子どもは、「遅刻しない子どもと比べ、おうちの大人と社会の出来事を「まったく話さない」「ほとんど話さない」と回答する割合が高かった。

進学状況を見ると、不登校の子どもはそうでない子どもよりも、学校や勉強、ともだち、進学・進路などに悩む割合が高く、自己効力感（セルフ・エフィカシー）も低かった。更に「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合を見ると、「不登校」では20.0%と高かった。

3-5. 対人関係

困窮度別、放課後に過ごす場所（子ども票問13）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

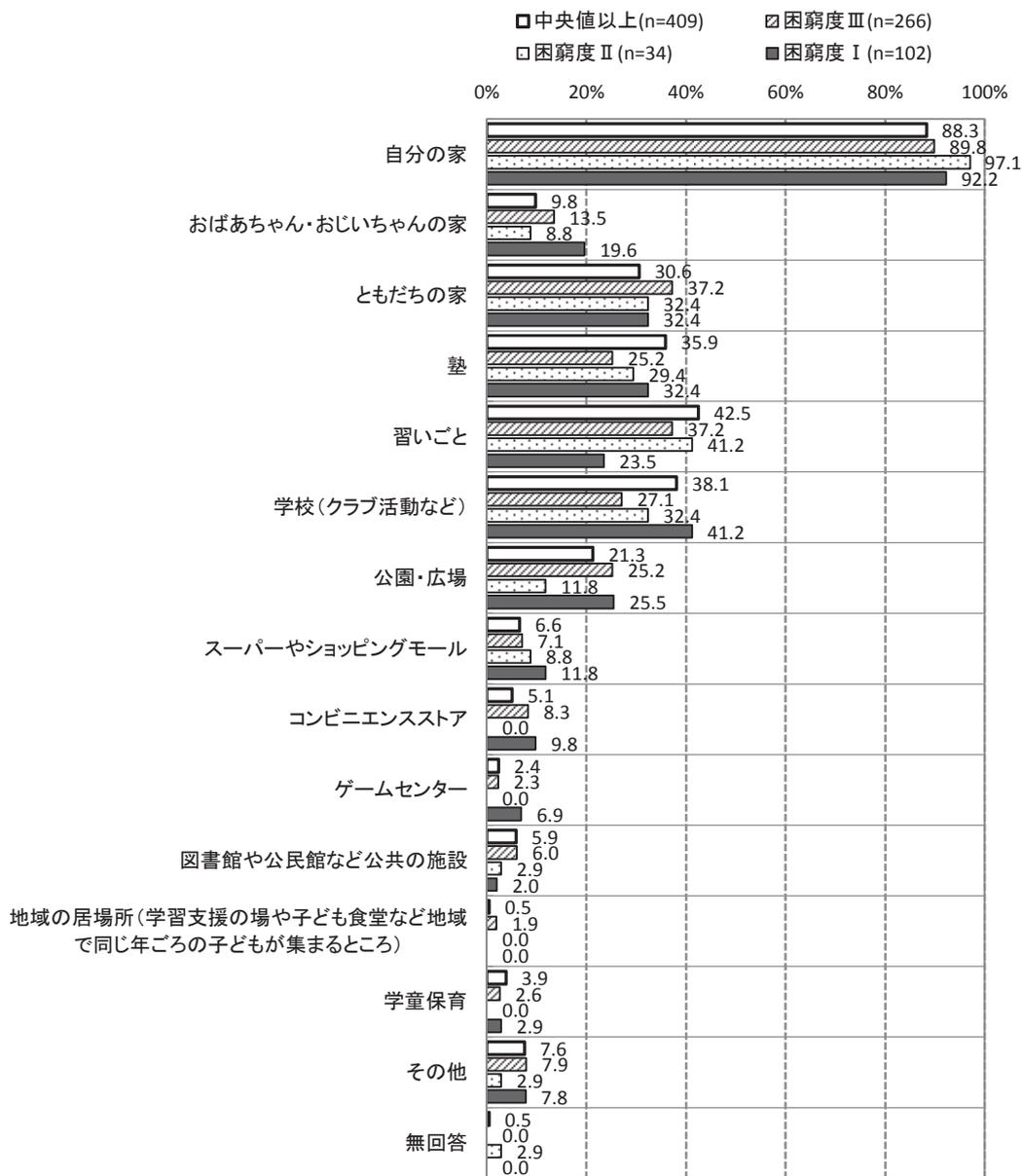
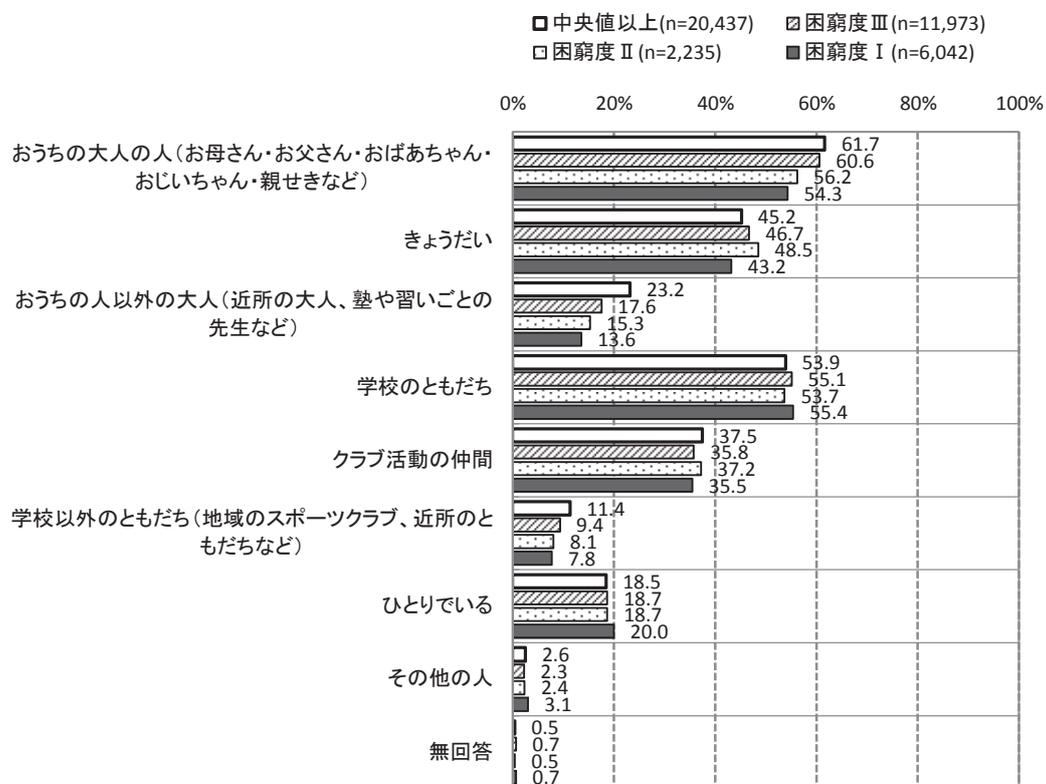


図 220. 困窮度別、放課後に過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ゲームセンター」6.9% (中央値以上群に対して、2.8倍)、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」19.6% (2.0倍)、「コンビニエンスストア」9.8% (1.9倍)、「スーパーやショッピングモール」11.8% (1.8倍) となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。また、中央値以上群では「図書館や公民館など公共の施設」5.9% (困窮度Ⅰ群に対して、3.0倍)、「習いごと」42.5% (1.8倍) が高かった。

困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人（子ども票問 12）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

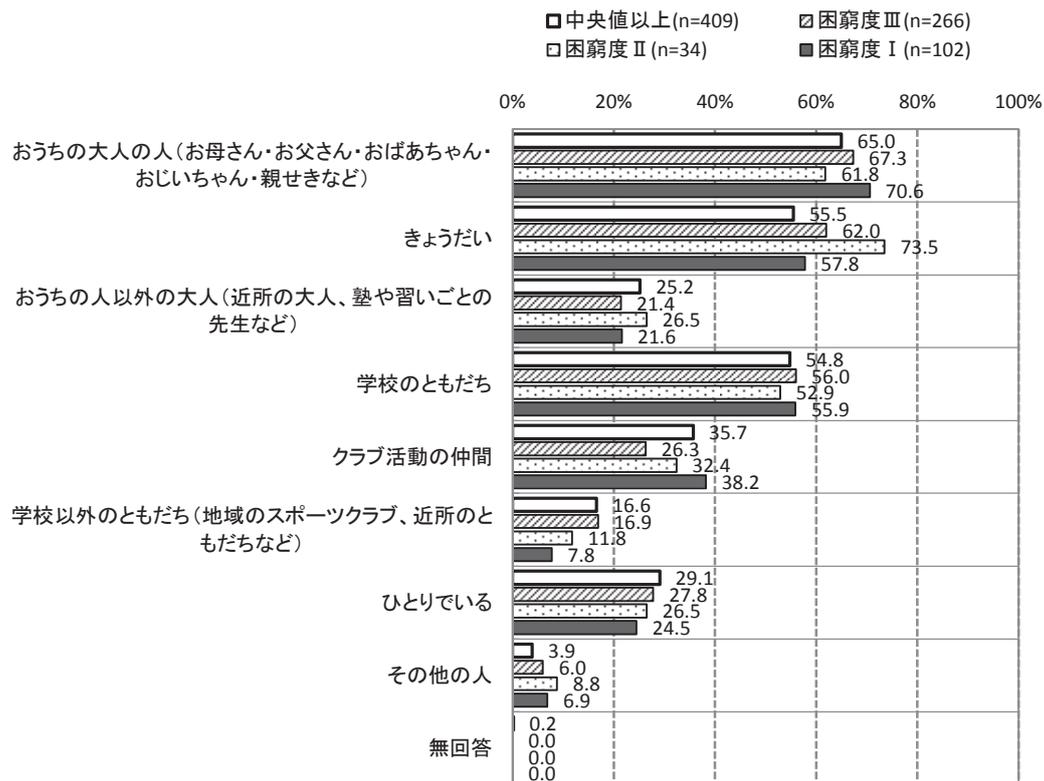
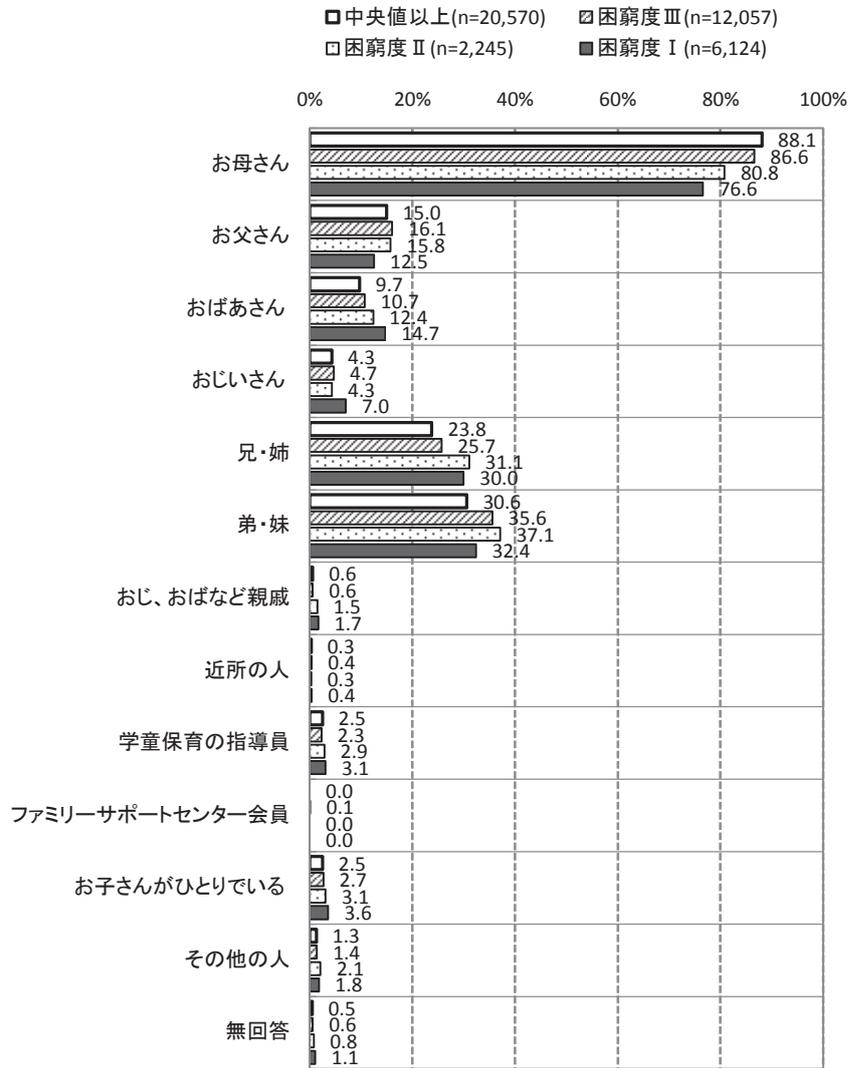


図 221. 困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群で特に高い項目は見られなかった。中央値以上群では、「学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)」16.6% (困窮度Ⅰ群に対して、2.1倍)が高かった。

困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人（保護者票問 11）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

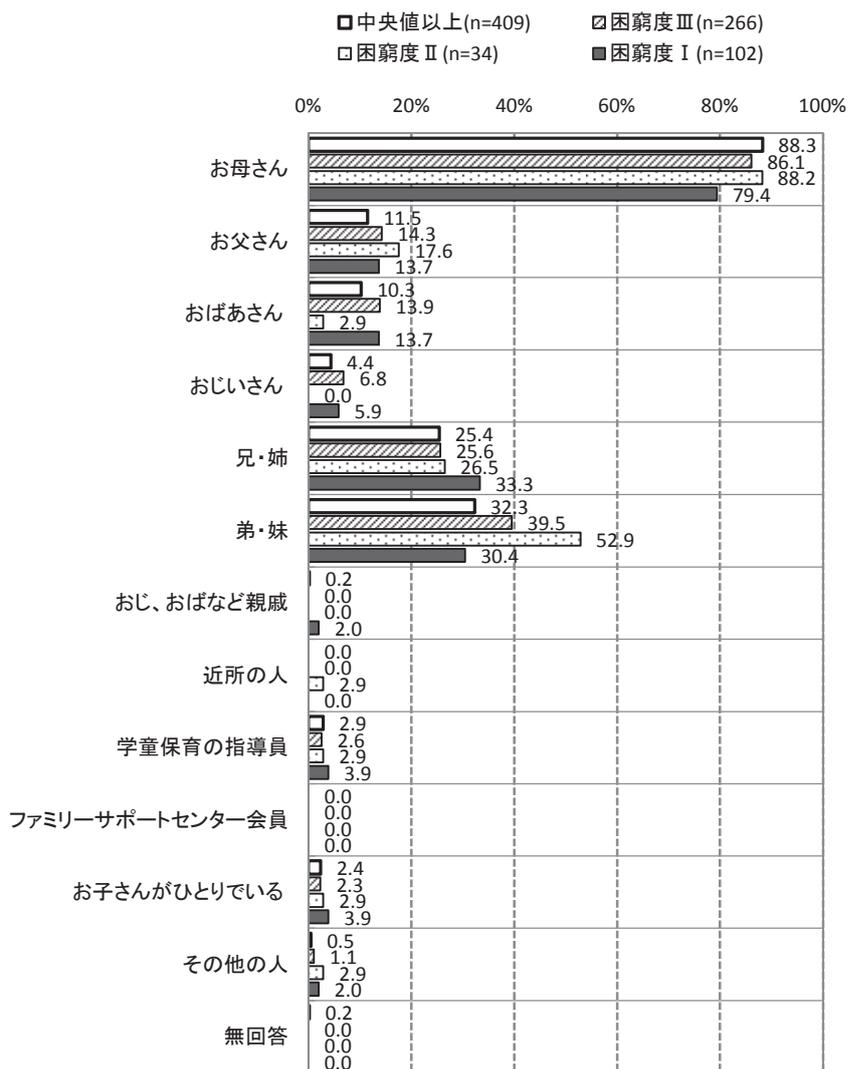
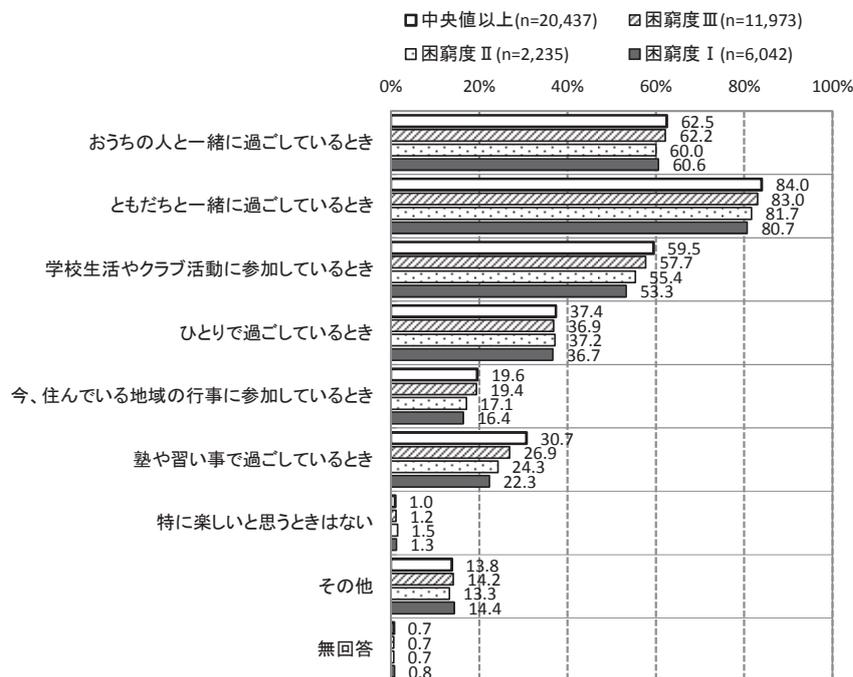


図 222. 困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人

困窮度別に保護者が放課後に子どもと過ごす時間が長い人について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「おじ、おばなど親戚」2.0%（中央値以上群に対して、8.0倍）、「お子さんがひとりである」3.9%（1.6倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問 11）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

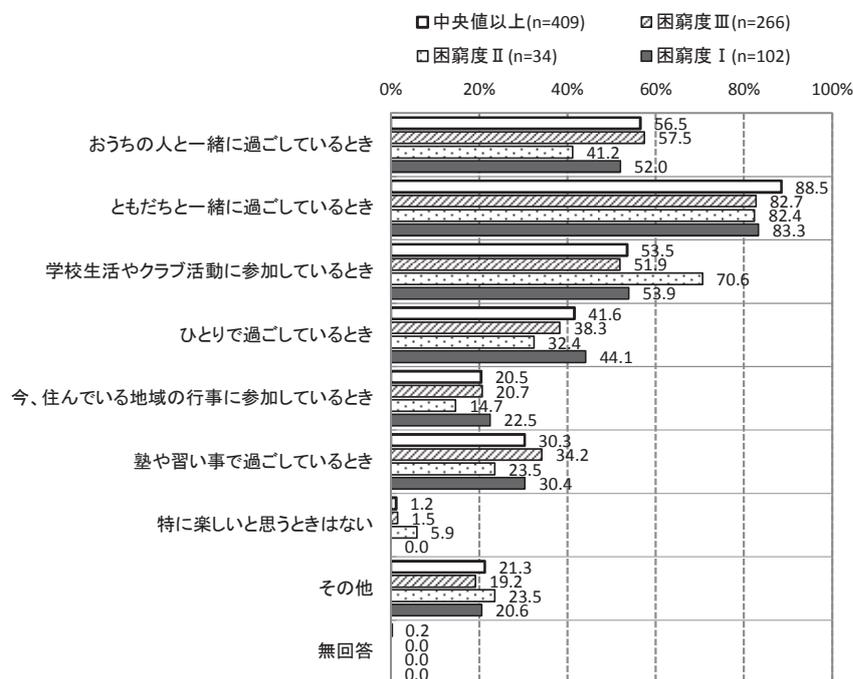
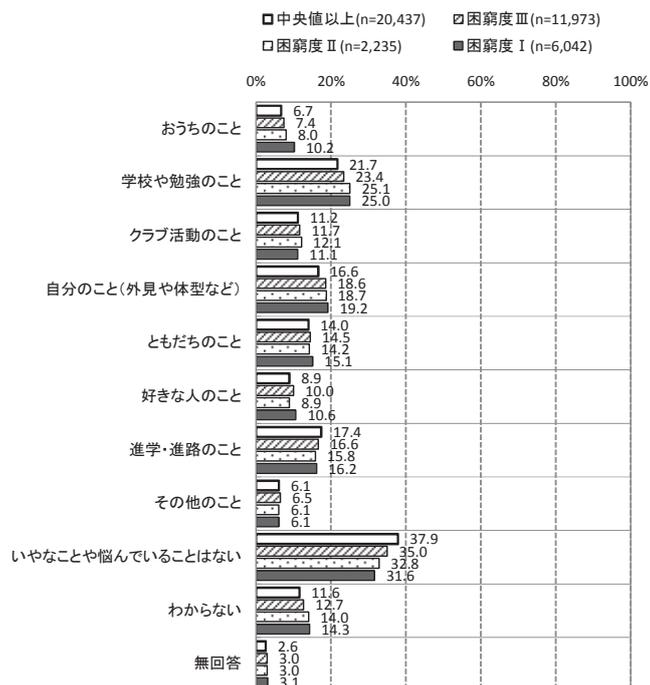


図 223. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことについて、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目すると、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、悩んでいること（子ども票問 18）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

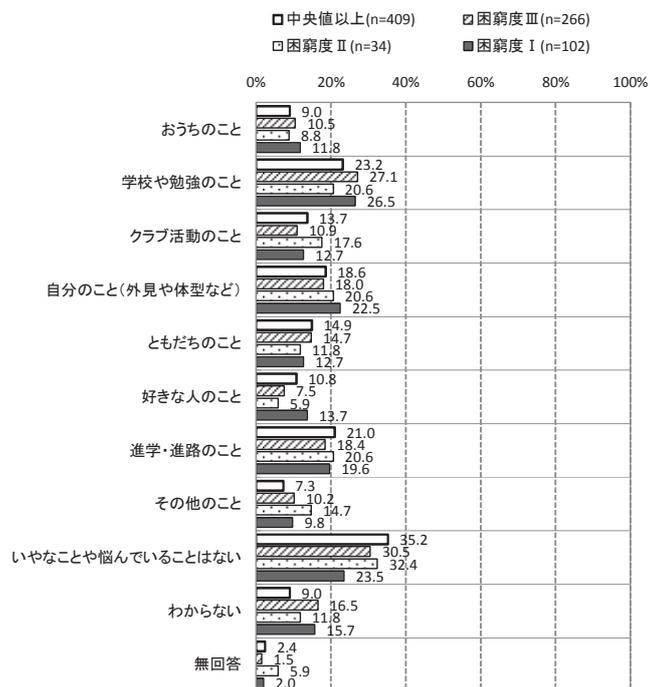
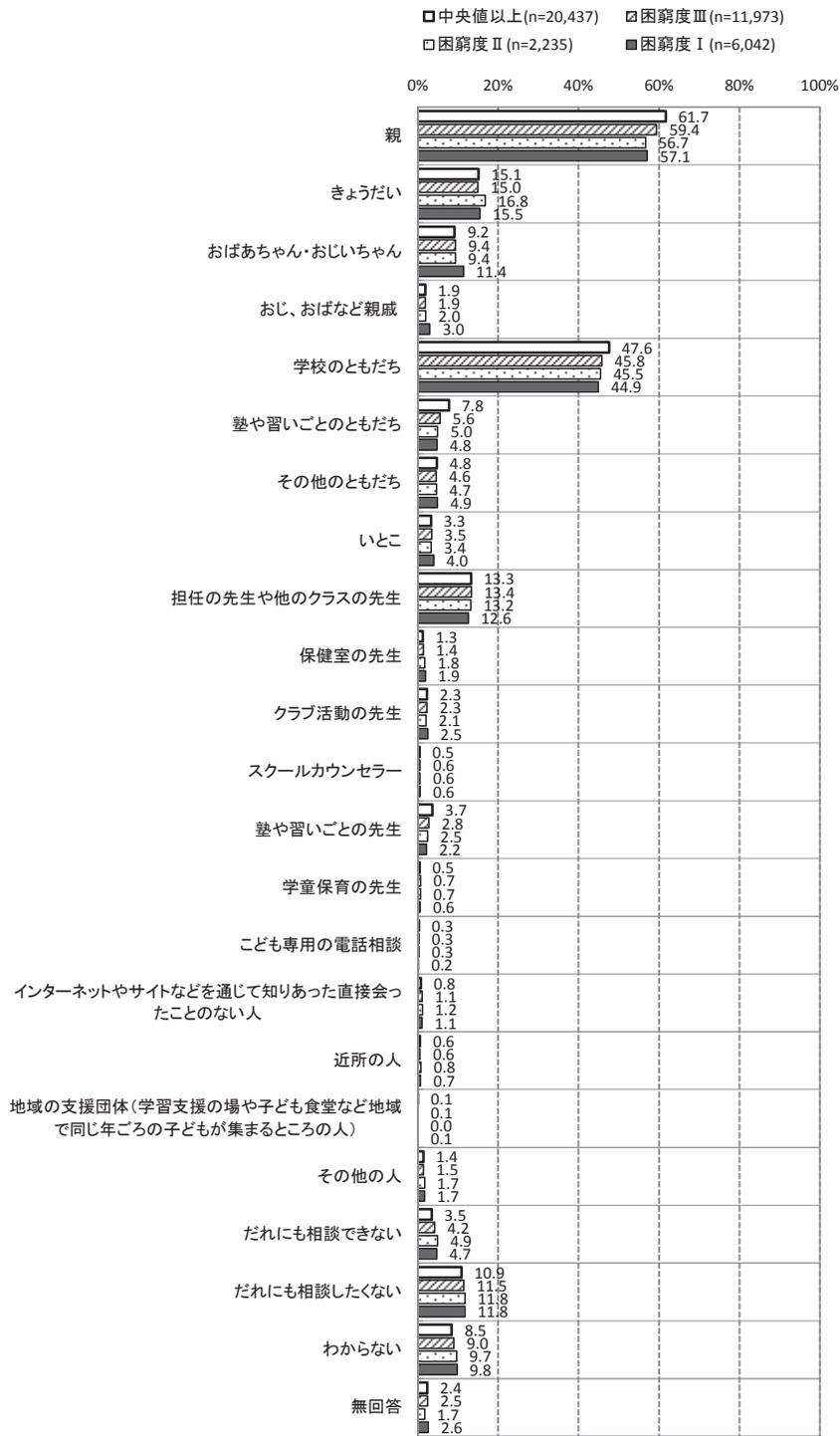


図 224. 困窮度別に見た、悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることについて、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票間 19）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

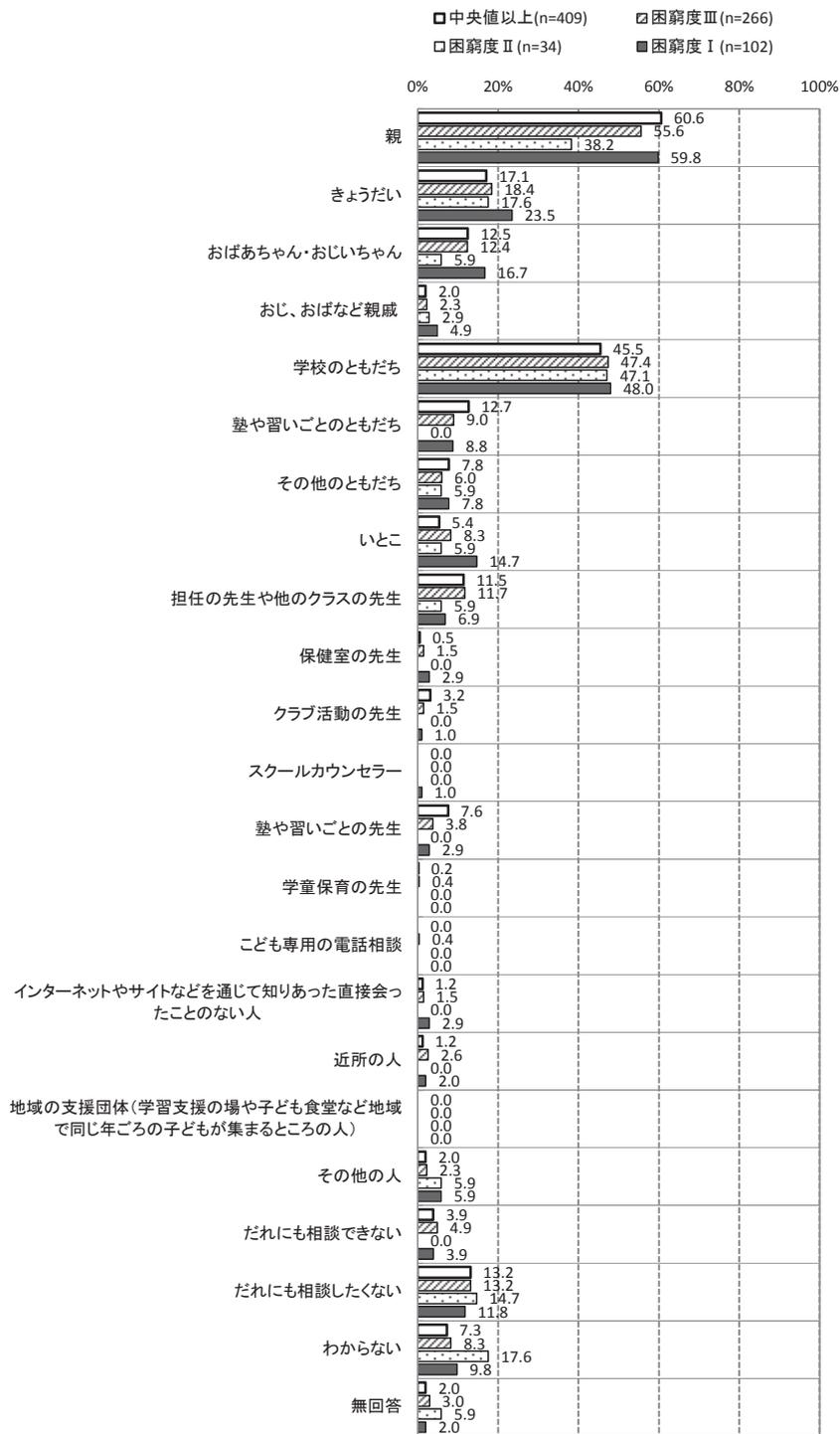
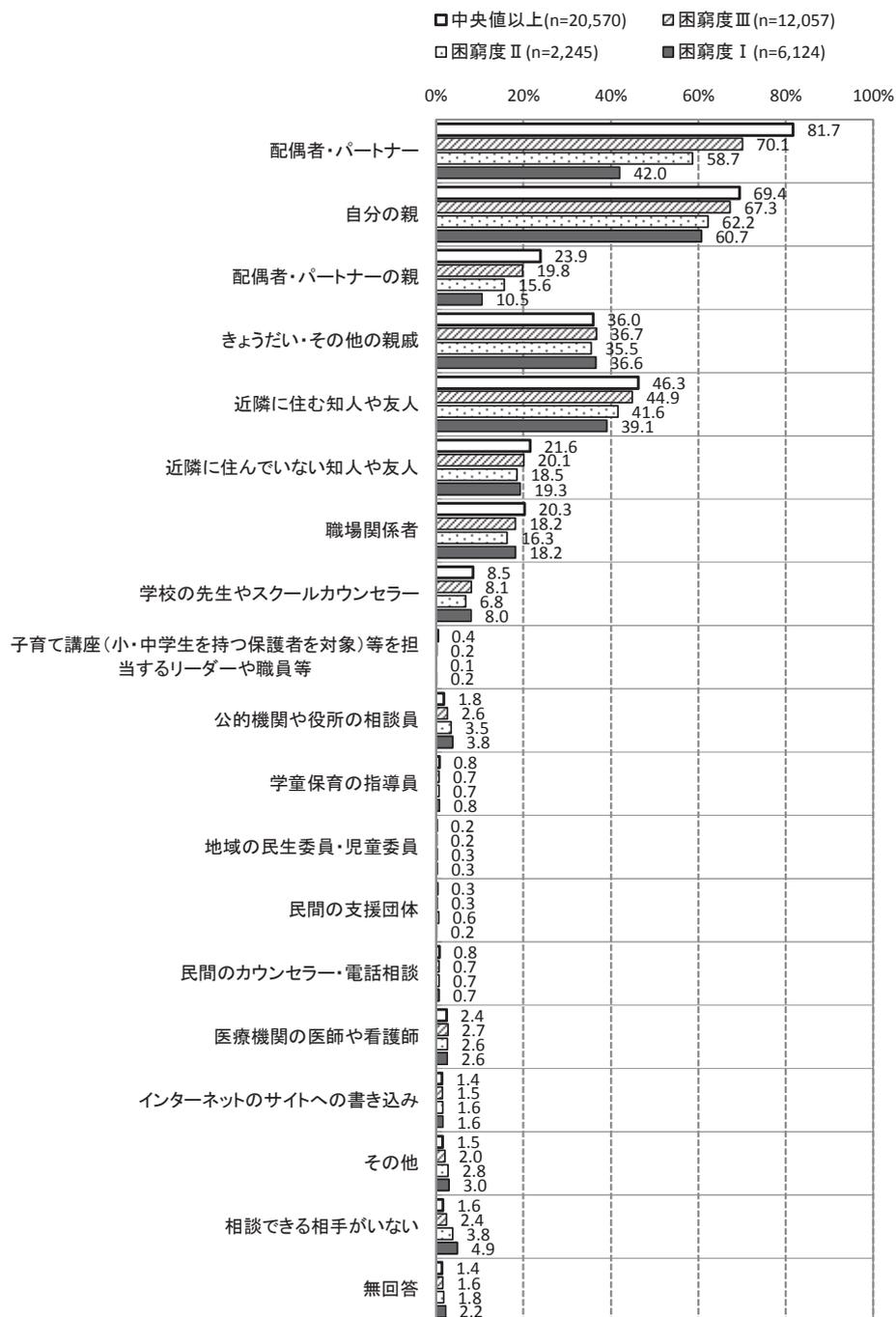


図 225. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手について、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 I 群の数値を挙げると、「保健室の先生」2.9% (中央値以上群に対して、6.0 倍)、「いとこ」14.7% (2.7 倍)、「おじ、おばなど親戚」4.9% (2.5 倍)、「インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人」2.9% (2.4 倍)、「近所の人」2.0% (1.6 倍) となり、困窮度 I 群において高い項目が複数見られた。

困窮度別に見た、困ったときの相談先（保護者票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

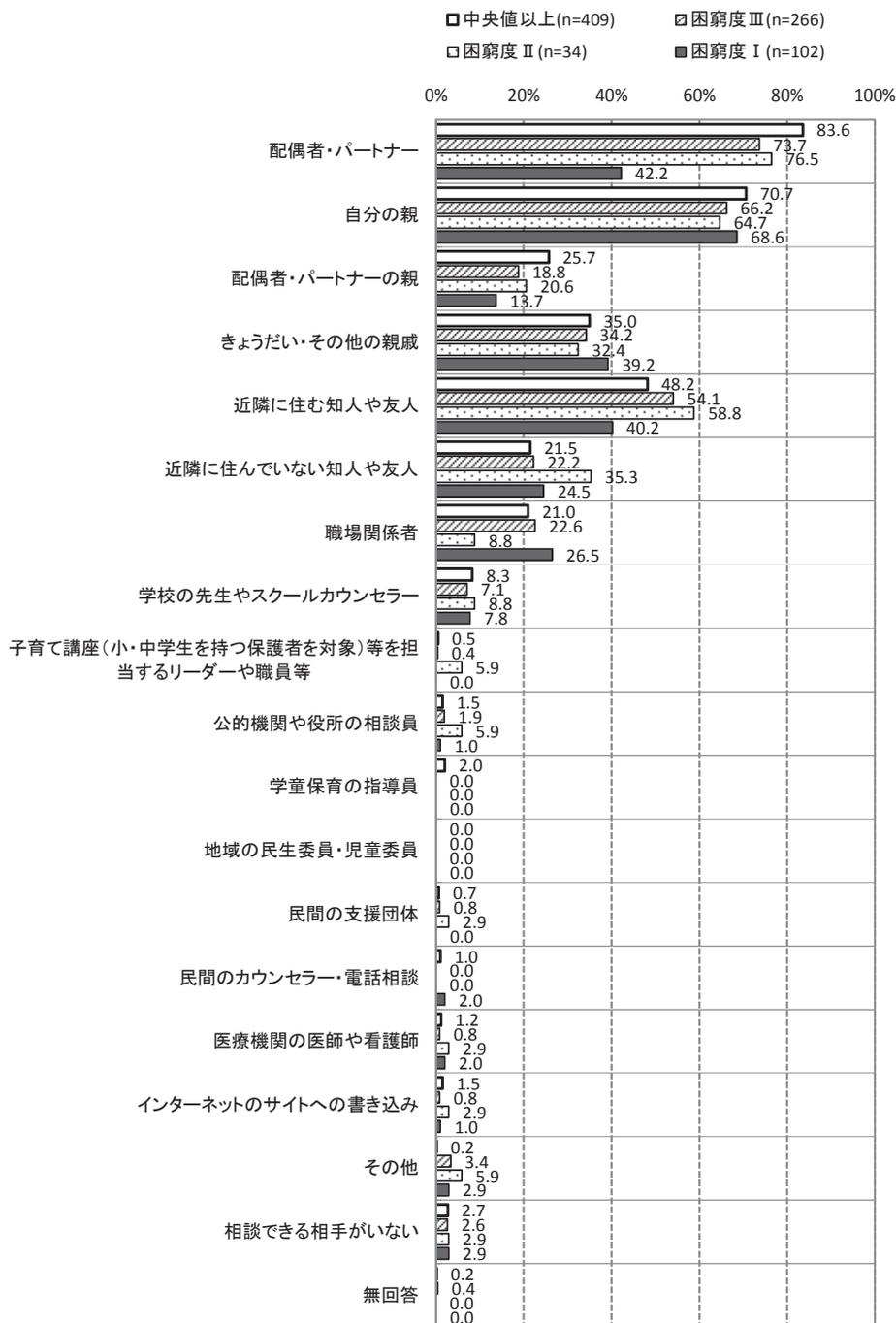
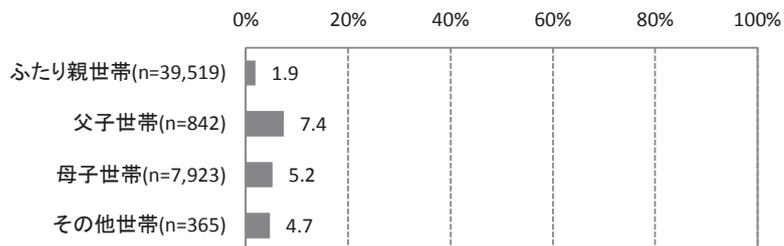


図 226. 困窮度別に見た、困ったときの相談先

困窮度別に保護者の困ったときの相談先について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「民間のカウンセラー・電話相談」2.0%（中央値以上群に対して2.0倍）、「医療機関の医師や看護師」2.0%（1.6倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数見られた。中央値以上群では「配偶者・パートナー」と回答した割合が83.6%だったのに対して、困窮度Ⅰ群では42.2%だった。

世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合（保護者票問 21）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

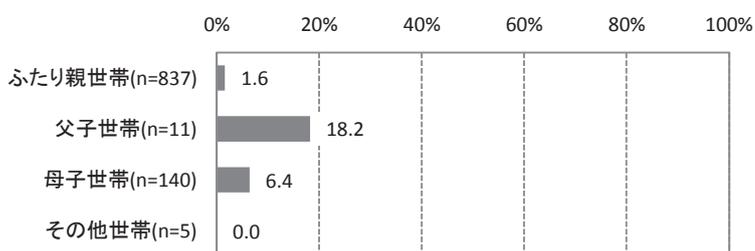


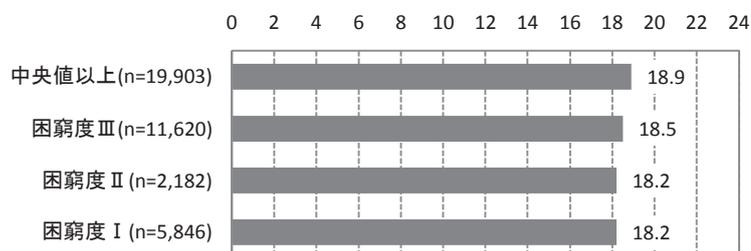
図 227. 世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合

世帯構成別に保護者の困ったときの相談先を見ると、「相談相手がいない」と回答した人は、父子世帯で 18.2%、母子世帯で 6.4%いる。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

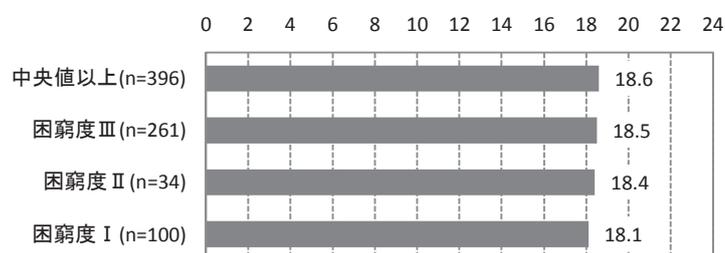


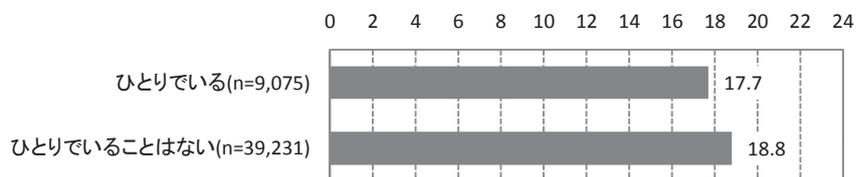
図 228. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度が高くなるにつれ、セルフ・エフィカシーがやや低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 12×子ども票問 23）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 155 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

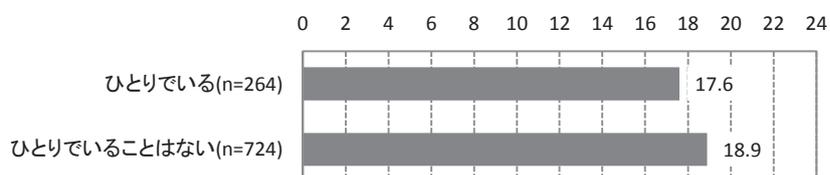


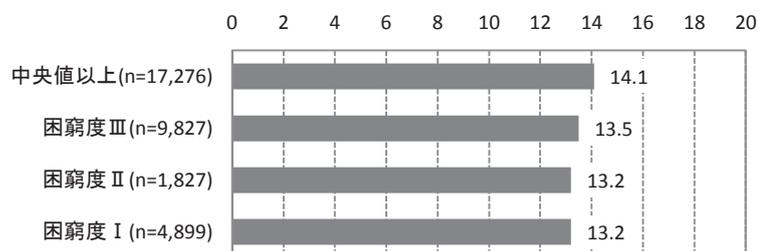
図 229. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー（保護者票問 26）

※保護者の自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 163 上の説明参照。

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

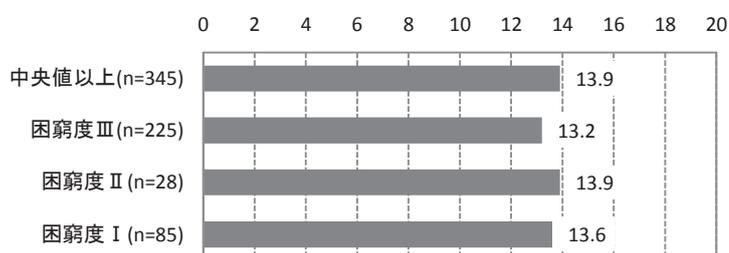
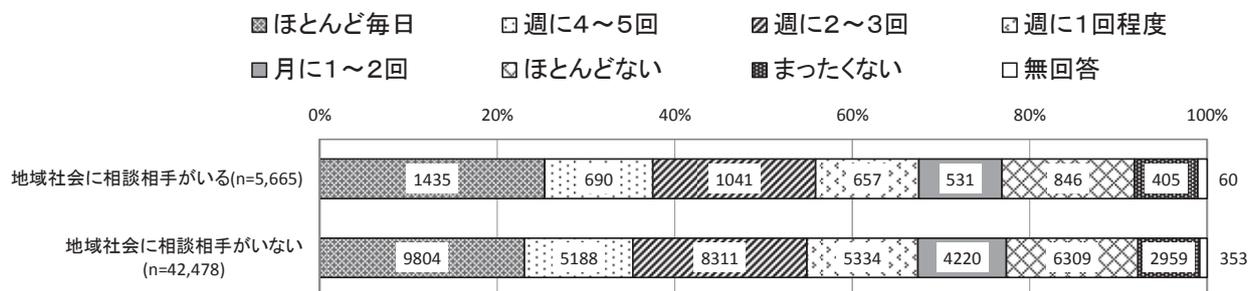


図 230. 困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー

困窮度別に保護者のセルフ・エフィカシーを見ると、大きな差は見られなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）
 （保護者票問 21×子ども票問 10-4）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

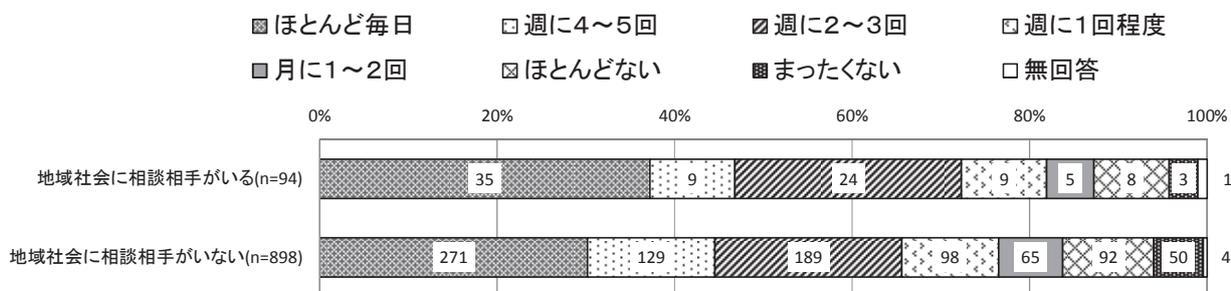
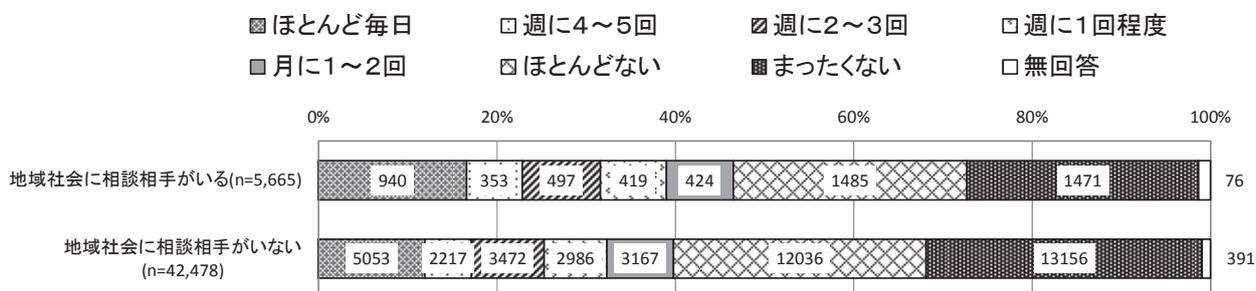


図 231. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもが「おうちの手伝いをするか」に「ほとんど毎日」と回答した割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）（保護者票問 21×子ども票問 10-5）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

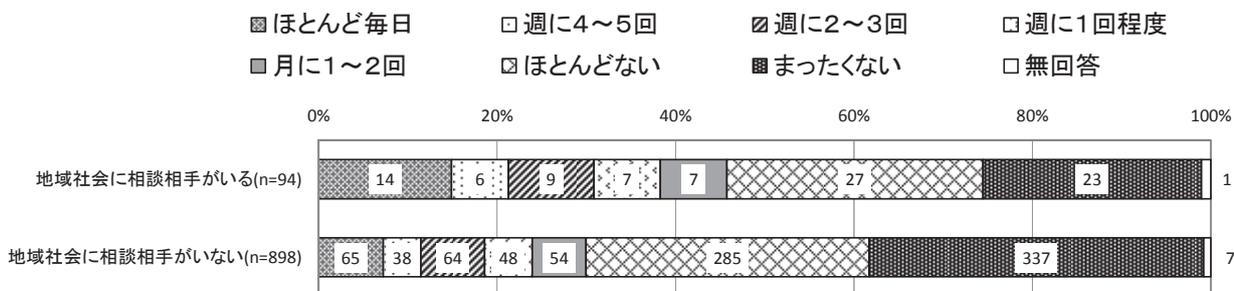
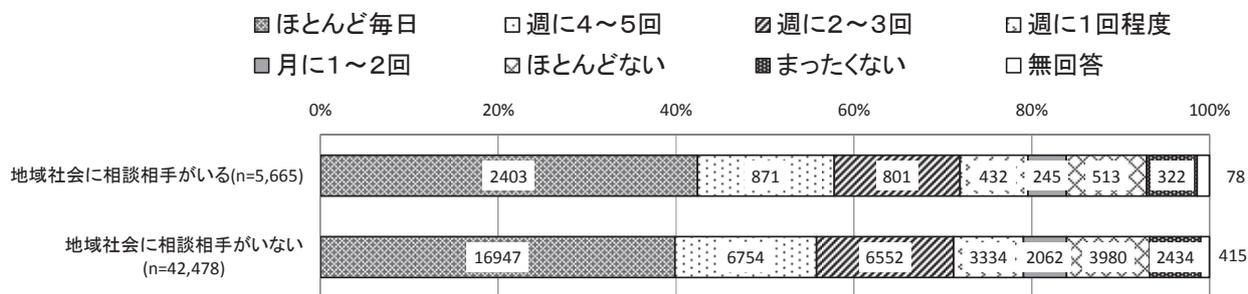


図 232. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、「おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっている」に「ほとんど毎日」と回答した割合が高かった。「地域社会に相談相手がない」人では、「ほとんどない」「まったくない」の割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）（保護者票問 21×子ども票問 10-6）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

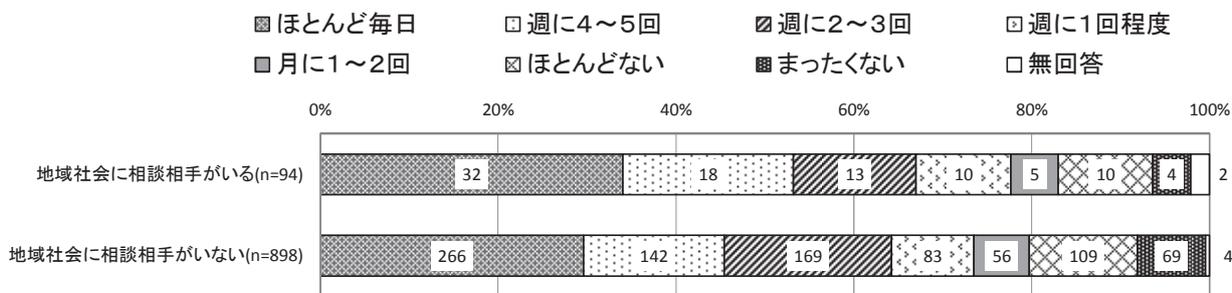
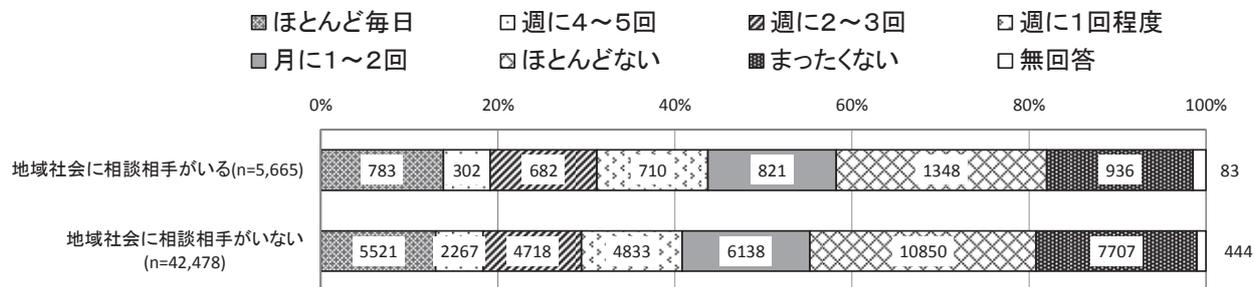


図 233. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が「地域社会に相談相手がない」人より、子どもが「おうちの大人の人と学校のできごとについて話す」に「ほとんど毎日」と回答した割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）（保護者票問 21×子ども票問 10-7）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

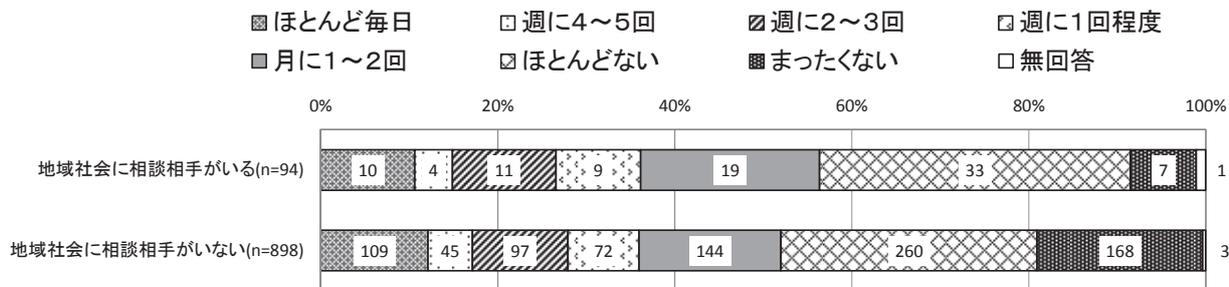
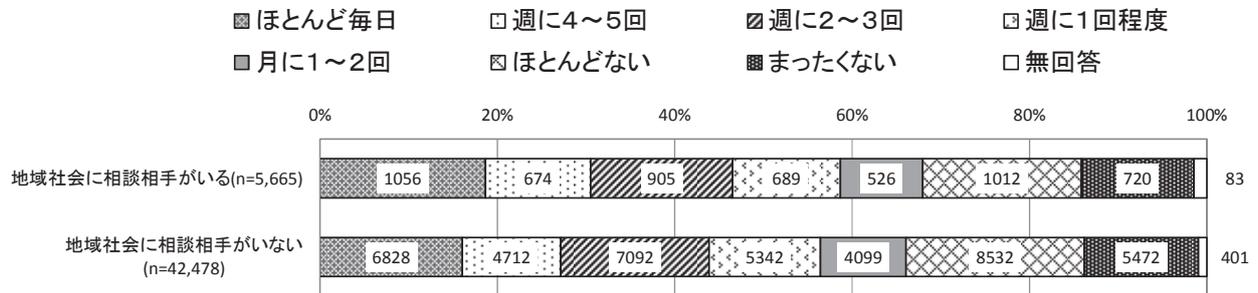


図 234. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）（保護者票問 21×子ども票問 10-8）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

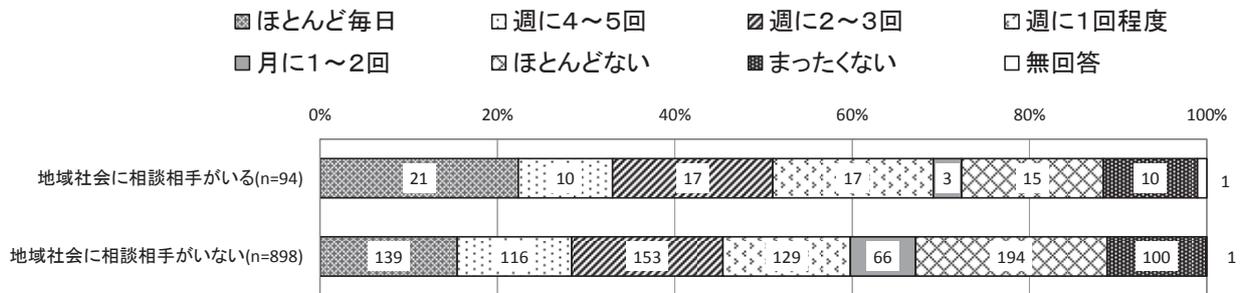
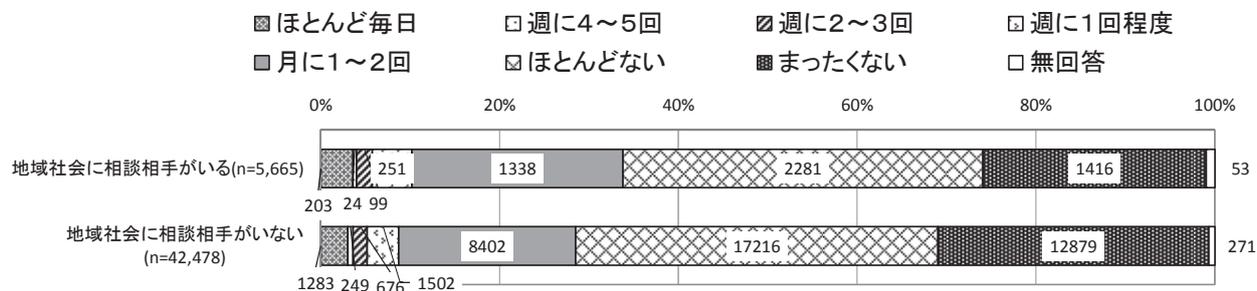


図 235. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がない」人よりも、子どもが「ニュースなど社会のできごとを話す」に「ほとんど毎日」と回答した割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）（保護者票問 21×子ども票問 10-9）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

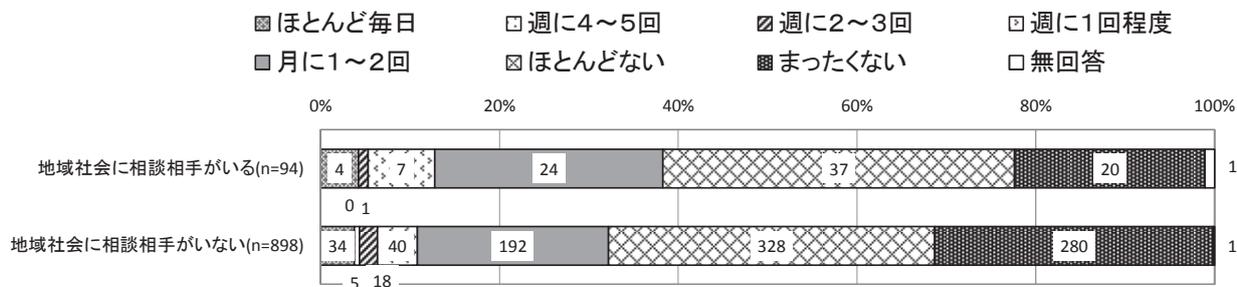
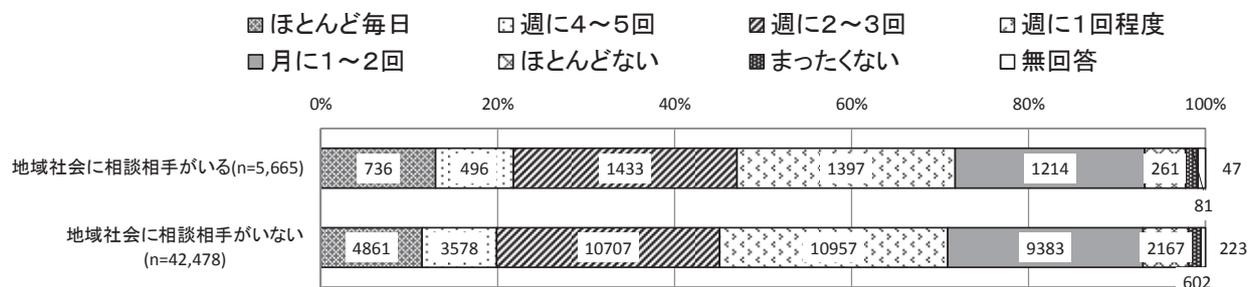


図 236. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、「地域社会に相談相手がない」方が、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）（保護者票問 21×子ども票問 10-10）

<大阪府内全自治体>



<大阪狭山市>

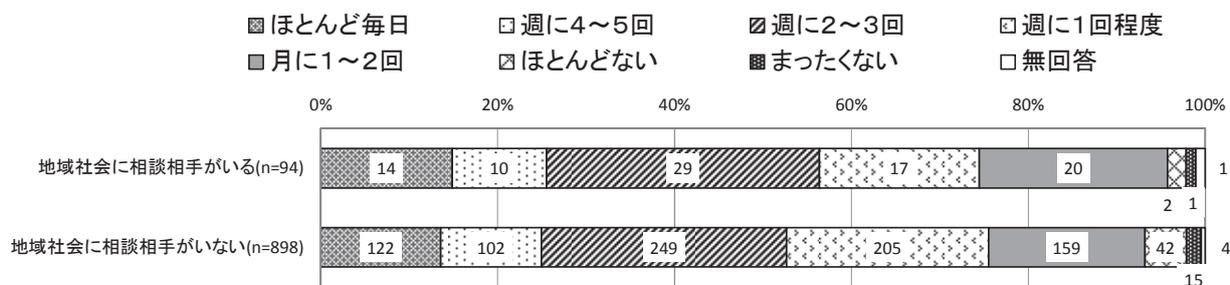


図 237. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）

地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）を見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がない」かによって、「おうちの大人の人と一緒に外出する」に差はなかった。

<対人関係に関する考察>

子ども・保護者の社会的な対人関係について、困窮度や世帯構成などの視点から結果を述べる。放課後の過ごす場所に関し、困窮度が高まるにつれて「塾」「習い事」の割合が減少した一方、「スーパーやショッピングモール」「コンビニエンスストア」「ゲームセンター」と答える子どもの割合が増加した（中央値以上群では14.1%、困窮度Ⅰ群では28.5%）。また大阪府内全自治体に比べて「自分の家」と回答する割合は困窮度を問わず高かった。続いて子どもが誰と放課後を過ごすかを見てみると、困窮度が高まるにつれて「ひとりである」と回答する割合は減少した一方（中央値以上群では29.1%、困窮度Ⅰ群では24.5%）、自分の子どもが放課後ひとりで過ごしていると考えている保護者は困窮度を問わず3%前後であった。すなわち放課後の過ごし方で保護者の認識と実体とがかい離している状況が確認された。

困窮度と子どもの悩んでいることとの関連性については、困窮度が高まるにつれて「いやなことやなやんでいることはない」と回答する割合が減少した。また保護者においても相談相手や相談先に関し、世帯種別において特徴的な結果が出た。父子世帯において「きょうだい、その他の親戚」「近隣に住む知人や友人」に相談できることが少なく（前者に関しふたり親世帯では34.5%、父子世帯では18.2%。後者に関しふたり親世帯では49.1%、父子世帯では18.2%）、結果として「相談できる相手がいない」状況下にあること（ふたり親世帯では1.6%、父子世帯では18.2%）が伺えた。

子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については困窮度による差はなかったが、放課後ひとりで過ごす子どものほうがそうでない子どもよりも低いという状況が明らかになった（ひとりである群17.6、ひとりであることはない群18.9）。

困ったときや悩みがあるときの地域社会に相談相手がいると答えた家庭と、いないと答えた家庭とは94対898であり、いると答えた家庭が圧倒的に少ないが、相談相手がいることの効用として、子どもが「おうちのお手伝いをする」頻度が高い傾向にあることや、「おうちの大人に宿題（勉強）を見てもらう」傾向が高いこと、「おうちの大人の人と学校のできごとやニュースなど社会の出来事について話す」頻度が高いことが挙げられる。また地域社会に相談相手がない家庭は、いる家庭に比べ「おうちの大人と文化活動をまったくしない」と回答する割合も多かった。すなわち、地域社会に相談相手がいることで、家庭内でのコミュニケーションが活発化し、子どもを育む環境として好ましい状況下にあると推察される。

追加設問

<大阪狭山市>

子ども0-28 在籍している学校
 問 0-28 あなたは、どの学校に通学していますか。

□東小学校 ▣西小学校 ■南第一小学校 □南第二小学校 □南第三小学校
 ■北小学校 ▤第七小学校 □狭山中学校 ■南中学校 ▥第三中学校

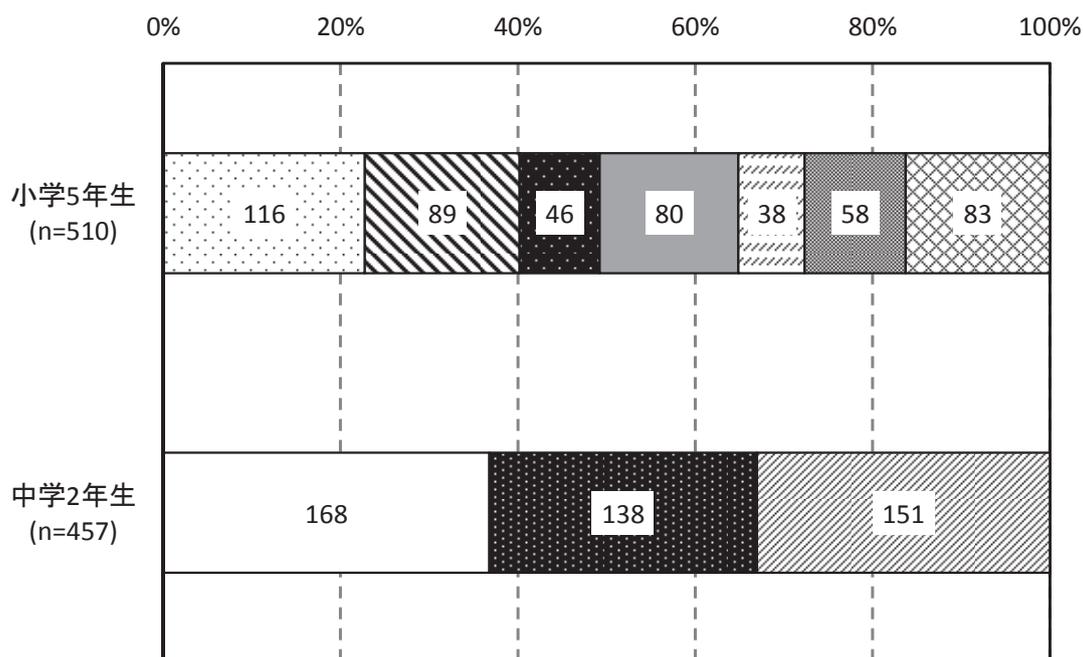


図 238 在籍している学校

回答者の在籍している学校について、小学5年生と中学2年生に分類してその人数をみたところ、小学5年生では「東小学校」が22.7%と最も多く、「西小学校」が17.5%、「第七小学校」が16.3%、「南第二小学校」が15.7%、「北小学校」が11.4%、「南第一小学校」が9.0%、「南第三小学校」が7.5%の順に高かった。

また、中学2年生では、「狭山中学校」が36.8%、「第三中学校」が33.0%、「南中学校」が30.2%の順に高かった。

Ⅲ. 課題と方向性

本調査は、調査票の配布と回収状況は学校の協力も得て、回収率が非常に高いものになった。さらに、本市の調査のみならず大阪府内自治体と共同実施して把握したことは、回答者数の多さ、および大阪府全域の実態把握という点においても意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果の多くは、本市の調査結果を裏付けるものであり、ともに掲載している。

本調査は、子どもの貧困対策の前提となる実態把握に位置付けられる。新たに子どもの権利に関する条約の精神が明記された、2016年児童福祉法一部改正による理念と養育責任、子どもの貧困対策の推進に関する法律の条文を前提として確認する。

児童福祉法の抜粋

第一条 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。

第二条 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

2 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。

3 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

子どもの貧困対策の推進に関する法律の抜粋

(目的)

第一条 この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない。

2 子どもの貧困対策は、国及び地方公共団体の関係機関相互の密接な連携の下に、関連分野における総合的な取組として行われなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、子どもの貧困対策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、子どもの貧困対策に関し、国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(国民の責務)

第五条 国民は、国又は地方公共団体が実施する子どもの貧困対策に協力するよう努めなければならない。

(略)

(調査研究)

第十四条 国及び地方公共団体は、子どもの貧困対策を適正に策定し、及び実施するため、子どもの貧困に関する調査及び研究その他の必要な施策を講ずるものとする。

本調査では、子どもの生活実態を把握する際に、大きく2つのことを意識して分析を行った。第一に、調査対象者を OECD の定める等価可処分所得の中央値の 50% 基準を単一の「ものさし」とし、そのみで線引きをすることを避けることとした。国が定める相対的貧困率(等価可処分所得の 50% 未満の割合)は、国際比較のため OECD 等で用いられてはいるが、EU (ヨーロッパ連合) など 60% 基準を用いる国もあることから、複数の「ものさし」を用いることとした。最終的に、困窮度を 4 区分し、分析を行った。そのことによって、例えば、国が定める貧困線(中央値の 50% 未満)には含まれないものの、経済的理由によってさまざまな生きづらさを抱える子どもと保護者の生活実態を明らかにできたと考えている。第二に、等価可処分所得の算出の際に、国の基準の金額をそのまま大阪府内の自治体に当てはめるのではなく、調査対象者の回答から自治体ごとの等価可処分所得を算出したことである。相対的貧困の考え方は、「その地域で標準的に行われていることが欠けている状態」を指すことから、国の基準を当てはめるのではなく、その自治体ごとの「ものさし」を用いて困窮度を算出することとした。

以下では、経済的資本、人的資本(ヒューマン・キャピタル)、社会的資本(ソーシャル・キャピタル)の3つの領域において、本市の調査結果を述べる。

1) 経済的資本の欠如

まず、経済的資本に着目し、物的資源や生活に必要な資源（現金やサービス、住宅、医療などを含む）が充足されているかどうかに関心をあてた。

本市における困窮度の分布を見ると、困窮度Ⅰ群 12.6%、困窮度Ⅱ群 4.2%となっている。本市における困窮度Ⅰ群の割合は、大阪府内全自治体における困窮度Ⅰ群の割合（14.9%）を2.3ポイント下回る結果となった（本市の中央値は、263万円、大阪府内全自治体の中央値は255万円）。

困窮度が深刻化すればするほど、生活面での困難は増す傾向が見られた。困窮度Ⅰの群において「電気・ガス・水道などが止められた」世帯は2.0%（大阪府内全自治体7.3%）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」世帯は17.6%（大阪府内全自治体22.0%）であった。しかし、中央値以上の群では、ともに0.2%の世帯のみにとどまっており、生活面での格差を確認することができる。そのほかにも、中央値以上の群が2%未満であるのに対して、困窮度Ⅰの群の割合が高かった項目として、「医療機関を受診できなかった」6.9%（大阪府内全自治体6.5%）、「電話などの通信料の支払いが滞ったことがある」7.8%（大阪府内全自治体13.1%）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」8.8%（大阪府内全自治体11.7%）、「国民年金の支払いが滞ったことがある」22.5%（大阪府内全自治体23.3%）などが挙げられる。

「どれにもあてはまらない」とこの項目で回答するということは「通常であれば可能な生活」の水準に達しているといえる。中央値以上の群では、それに該当すると回答した世帯は40.6%（大阪府内全自治体38.5%）である一方で、困窮度Ⅰの群では9.8%（大阪府内全自治体4.1%）であった。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響している。「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」という回答は、中央値以上の群が5.9%（大阪府内全自治体7.8%）であるのに、困窮度Ⅰの群では43.1%（大阪府内全自治体43.9%）となっている。

本調査では、雇用形態が、所得階層の分布に反映されていることが示されている。すなわち、中央値以上の群では、正規雇用が約90%（大阪府内全自治体：90.2%）であるのに対して、困窮度Ⅰの群では35%（大阪府内全自治体：35.5%）にとどまり、非正規雇用33.0%と同程度の数値であった。なお、正規雇用であるにも関わらず、困窮度Ⅰの群になるという点は、いわゆるワーキングプアの問題として注意する必要がある。

また、困窮度が高い群ほど学歴が低い傾向にある。母親の学歴を見ると中央値以上の群では19.6%（大阪府内全自治体：22.9%）が大学卒であるのに対して、困窮度Ⅰの群では7.8%（大阪府内全自治体：6.1%）である。父親の学歴を見ると、中央値以上の群では41.8%（大阪府内全自治体：42.9%）が大学卒であるのに対して、困窮度Ⅰの群では8.8%（大阪府内全自治体：8.7%）であった。困窮度Ⅰにおいて母親が中卒あるいは高校中退である割合は2.9%（大阪府内全自治体：14.0%）であるのに対して、中央値以上の群では、中卒が0.5%（大阪府内全自治体：0.6%）、高校中退が1.5%（大阪府内全自治体：1.1%）であった。父親の場合は、中央値以上の群で中卒もしくは高校中退である割合は1%台であったのに対し、困窮度Ⅰの群ではそれぞれ2.9%（大阪府内全自治体：5.6%）と4.9%（大阪府内全自治体：5.4%）であった。他にも、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高くなる傾向もみられた。大学卒の場合、80%以上が正規雇用であった。

世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯や父子世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が高く、30%を超えていた。困窮度Ⅰの群では、主たる生計維持者が母親である場合が50.0%であった。

最後に、正規雇用である世帯の約40%は、貯蓄ができるなど、生活が安定している傾向あるのに対し、非正規雇用の群ではその割合は7.7%にとどまった。しかも、半数の世帯が赤字であると回答している。

社会保障制度の利用状況について、特に困窮状況と子どもに関連する制度に着目すると、就学援助制度の利用率は、困窮度Ⅰ群で59.8%、Ⅱ群において52.9%となっている。生活保護制度を現在「受けている」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群以外におらず、困窮度Ⅰ群で4.9%である。ただし、困窮度Ⅱ群において「無回答」の割合が47.1%と高いため留意が必要である。ひとり親世帯対象の児童扶養手当の受給率は、困窮度Ⅰ群で78.8%、Ⅱ群で60%となっている（ただし、ひとり親世帯のサンプル数自体が少ないため数字の評価には留意が必要である）。それぞれの制度の支給要件が異なる基準ではあるが、制度の周知を図り、困窮層が確実に制度につながる仕組みづくりが求められている。公的な給付ではないが、ひとり親世帯に関連する養育費の受給状況をみる。困窮度Ⅰ群は23.0%、困窮度Ⅱ群は60.0%となっている。各家庭の諸事情に配慮しながら受給率を上げる取り組みの必要性が示されている。

住居別に家計状況を見ると、「赤字である」と回答した割合は、府営・市営の住宅（25.8%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（57.1%）、民間の賃貸住宅（48.9%）に住む人で高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は20.1%であった。ここでもサンプル数が少ないため数値の評価には一定の留意が必要である。住居別に子どものための貯金の状況について、「貯蓄したいが、できていない」と回答した割合は、府営・市営の住宅（54.8%）、UR賃貸住宅・公社賃貸住宅（71.4%）、民間の賃貸住宅（63.6%）に住む人で高かった。公営住宅等の入居には、所得要件等があるため、必然的に、困窮層の割合が他の住宅群に比べて高くなるともいえるが、家賃の負担が軽減されてもなお家計が厳しいことが示されている。家賃の減免等の利用ができていないのか、他の必要な社会保障制度を利用できているのかどうか、さらに丁寧な支援が求められているといえる。また、民間賃貸住宅に住む世帯でも子どものための貯蓄ができていない層が一定数おり、子育て世帯における家賃軽減策のニーズが確認されている。

はじめて親になった年齢（母親が回答者の場合）を困窮度別にみると、困窮度Ⅰ群で10代および20～23歳の割合が28.0%ともっとも高い結果となった。

母親の学歴を出産年齢別にみると、20代、30代では、中卒および高校中退をあわせてごくわずか（約3%前後）であるのに対して、10代では4割弱を占めている結果となった。

学歴との関連が推測されるが、就労状況についても、20代、30代に比べ、正規群の割合が10代では47.1%にとどまっている。10代の特徴として、心身の自覚症状の該当数の高さは、母親自身だけではなく子どもにも当てはまる。出産前後のケアだけではなく、長期的な視点にたち、子どもを含めた健康支援、子育て支援、親自身の学びなおし、就労支援などの支援施策の必要性が示されたといえる。

2) ヒューマンキャピタルの欠如

世帯の経済状況は、子どもの生活にも影響を与えていることが確認できる。基本的な家庭生活から健康、学力へと影響していくという様相が見て取れる。

まず精神的・身体的健康面から見てみよう。たとえば、困窮度Ⅰの群では、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」という回答が4.9%（大阪府内全自治体4.2%）であるのに対して、中央値以上ではそのような経験があると回答する世帯は見られなかった（大阪府内全自治体0.4%）。

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高まるにつれて、「毎日またはほとんど毎日」と回答する割合が低くなり、困窮度Ⅰ群では約7割となっており、大阪府内全自治体と比べ10ポイントほど下回っている。「週に1回程度」、「食べない」をあわせた割合は、困窮度Ⅱ群で11.7%、困窮度Ⅰ群で4.9%と、困窮度Ⅱ群が高い結果となった。就労状況別に朝食の頻度をみると、非正規群で69.2%と最も低い

結果となった。食生活と困窮度、および保護者の雇用環境との関連が示されている。

子どもの心身の自覚症状について、困窮度Ⅰ群に注目し、高い割合を示した項目を挙げると、「やる気が起きない」32.4%、「不安な気持ちになる」25.5%、「イライラする」「よくおなかがいたくなる」どちらも24.5%など、心理的・精神的症状の高さが特徴的である。こうした心理的・精神的症状が学習状況に影響を与えていることが推測される。さらに、困窮度Ⅱ群においては、「歯がいたい」という回答が8.8%と他の群と比べて突出して高いことも特徴的である。

困窮度別に心身の自覚症状（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、心身の自覚症状のそれぞれの項目の割合が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「ねむれない」20.6%（中央値以上群に対し3.1倍）、「よくかゆくなる」13.7%（3.1倍）、「不安な気持ちになる」40.2%（2.3倍）、「ものを見づらい」12.7%（1.9倍）、「よく腰がいたくなる」38.2%（1.8倍）となっている。また、「不安な気持ちになる」に加え、「まわりが気になる」16.7%（1.4倍）、「イライラする」35.3%（1.2倍）と心理的・精神的状況への影響もみられた。

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合では、中央値以上群で77.8%ともっとも高く、続いて困窮度Ⅲ群で73.7%となった。ここでは、困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が65.7%、困窮度Ⅱ群において、58.8%ともっとも低くなった。逆に、「楽しんでいない」と回答した割合は、中央値以上群が2.2%ともっとも低く、ついで、困窮度Ⅰ群で2.9%、困窮度Ⅲ群で3.4%、困窮度Ⅱ群で8.8%となった。

定期的な健康診断の有無について困窮度が高まるにつれて受診率は低下している。中央値以上群が74.1%と最も高く、困窮度Ⅲ群54.1%、困窮度Ⅱ群41.2%、困窮度Ⅰ群で44.1%となっている。

困窮度別に生活を楽しんでいるか、将来に対する希望、ストレス発散をできるものの有無、幸福感などを尋ねると、大阪府内全自治体と比べ、困窮度による大きな差は見られなかった。

次に、子どもの様々な力を背景から検討する。家庭生活・学習について、困窮度の視点から結果を述べる。まずおうちの大人とのかかわりを見ると、困窮度が高まるにつれ、「週4～5回」「ほとんど毎日」おうちの大人と一緒に朝食をとる割合が減少したほか（中央値以上群では49.4%、困窮度Ⅰ群では37.3%）、文化活動についても、「ほとんどない」「まったくない」と回答する割合が高まった（中央値以上群では64.5%、困窮度Ⅰ群では75.5%）。困窮度が高まるにつれて、保護者と子どもとの接触時間が短くなっていると言える。次に子どもの学習については、困窮度が高まるにつれて、1日当たりの勉強量が「まったくしない」「30分より少ない」と回答する子どもの割合が増加し（中央値以上群では17.6%、困窮度Ⅰ群では28.4%）、それに関連して学校の勉強について「よくわかる」「だいたいわかる」の割合が減少していた（中央値以上群では85.3%、困窮度Ⅰ群では67.6%）。また授業以外の読書時間も困窮度が高まるにつれて「まったくしない」と回答する割合が高まった。更に生活習慣との関連で勉強と読書の習慣を見ると、起床時間が決まっていない子ども、朝食を摂るのが週5回以下の子どもにおいては、勉強、読書ともに「まったくしない」と回答した割合が明らかに高かった。以上のことから困窮度が高まると子どもの学力や教育環境に影響を及ぼし得る状況にあるといえる。

将来について、見てみると、「子どもの進路を変更した」世帯は、困窮度Ⅰの群で3.9%（大阪府内全自治体4.6%）であるのに対し、中央値以上の群では、0.2%（大阪府内全自治体0.8%）にとどまっている。他にも、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」世帯は、中央値以上の群では2.9%（大阪府内全自治体3.2%）であるのに対し、困窮度Ⅰの群では7倍を超える21.6%（大阪府内全自治体24.9%）であった。子どもを取り巻く状況の格差が示されていると言える。

調査では、世帯所得の差が学習面での機会の差となって現れることが示されている。「子どもを習い

事に通わすことができなかつた」が、中央値以上の群で 3.9%（大阪府内全自治体 3.6%）に対して困窮度Ⅰの群では 23.5%（大阪府内全自治体 28.8%）、「子どもを学習塾に通わすことができなかつた」が中央値以上の群で 3.7%（大阪府内全自治体 4.3%）に対して、困窮度Ⅰの群では 26.5%（大阪府内全自治体 27.0%）と、顕著な差が見られている。学習機会の格差は、子どもの将来に影響を与えることが予想される。このほか、学校外での子どもの多様な「体験」の有無も、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験に格差があることが示された。たとえば、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかつた」という回答は、中央値以上の群で 8.3%（大阪府内全自治体 8.3%）に対して、困窮度Ⅰの群では 26.5%（大阪府内全自治体 41.0%）であった。その一方、「どれにも当てはまらない」が、中央値以上の群では 72.4%（大阪府内全自治体 70.2%）に達している。子どもに対して困難なく資源や機会が提供できている世帯も多数いるという点にも留意する必要があるだろう。

保護者が希望する子どもの進学については、困窮度が高まるにつれて「高校まで」を希望する割合が増えるとともに（中央値以上群では 5.4%、困窮度Ⅰ群では 26.5%）、「大学・短期大学」への進学を希望する割合が減る様子（中央値以上群では 78.5%、困窮度Ⅰ群では 46.1%）が見受けられた。また「高校まで」を希望する割合は大阪府下全自治体に比べ低いという地域の特徴も伺えた。

子どもの遅刻の状況については、困窮度が高まるにつれて「遅刻はしない」と回答した子どもの割合が低下した（中央値以上群では 89.2%、困窮度Ⅰ群では 77.5%）。また「遅刻しない」子どもは、「週 1 回以上遅刻する」子どもと比べ、おうちの大人と朝食、または夕食を「ほとんど毎日」一緒に食べている割合が高かった。逆に「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「遅刻しない子どもと比べ、おうちの大人と社会の出来事を「まったく話さない」「ほとんど話さない」と回答する割合が高かった。

進学状況を見ると、不登校の子どもはそうでない子どもよりも、学校や勉強、ともだち、進学・進路などに悩む割合が高く、自己効力感（セルフ・エフィカシー）も低かった。更に「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合を見ると、「不登校」では 20.0%と高かった。

3) ソーシャル・キャピタルの欠如

子ども・保護者の社会的な対人関係について、困窮度や世帯構成などの視点から結果を述べる。放課後の過ごす場所に関し、困窮度が高まるにつれて「塾」「習い事」の割合が減少した一方、「スーパーやショッピングモール」「コンビニエンスストア」「ゲームセンター」と答える子どもの割合が増加した（中央値以上群では 14.1%、困窮度Ⅰ群では 28.5%）。また大阪府内全自治体に比べて「自分の家」と回答する割合は困窮度を問わず高かった。続いて子どもが誰と放課後を過ごすかを見てみると、困窮度が高まるにつれて「ひとりである」と回答する割合は減少した一方（中央値以上群では 29.1%、困窮度Ⅰ群では 24.5%）、自分の子どもが放課後ひとりで過ごしていると考えている保護者は困窮度を問わず 3%前後であった。すなわち放課後の過ごし方で保護者の認識と実体とがかい離している状況が確認された。

困窮度と子どもの悩んでいることとの関連性については、困窮度が高まるにつれて「いやなことやなやんでいることはない」と回答する割合が減少した。また保護者においても相談相手や相談先に関し、世帯種別において特徴的な結果が出た。父子世帯において「きょうだい、その他の親戚」「近隣に住む知人や友人」に相談できることが少なく（前者に関しふたり親世帯では 34.5%、父子世帯では 18.2%。後者に関しふたり親世帯では 49.1%、父子世帯では 18.2%）、結果として「相談できる相手がない」状況下にあること（ふたり親世帯では 1.6%、父子世帯では 18.2%）が伺えた。

子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については困窮度による差はなかつたが、放課後ひと

りで過ごす子どものほうがそうでない子どもよりも低いという状況が明らかになった（ひとりでいる群 17.6、ひとりでいることはない群 18.9）。

困ったときや悩みがあるときの地域社会に相談相手がいると答えた家庭と、いないと答えた家庭とは 94 対 898 であり、いると答えた家庭が圧倒的に少ないが、相談相手がいることの効用として、子どもが「おうちのお手伝いをする」頻度が高い傾向にあることや、「おうちの大人に宿題（勉強）を見てもらう」傾向が高いこと、「おうちの大人の人と学校のできごとやニュースなど社会の出来事について話す」頻度が高いことが挙げられる。また地域社会に相談相手がない家庭は、いる家庭に比べ「おうちの大人と文化活動をまったくしない」と回答する割合も多かった。すなわち、地域社会に相談相手がいることで、家庭内でのコミュニケーションが活発化し、子どもを育む環境として好ましい状況下にあると推察される。

4) 政策的課題のまとめ

以上、経済的資本、ヒューマン・キャピタル、ソーシャル・キャピタルの3つの領域ごとに本市の特徴と政策的課題を述べてきた。3つの領域は、それぞれ独立する項目ではなく、互いに関連し、影響を及ぼしあい、重複しているともいえる。改めてそれらをまとめて政策課題を述べる。

本市は、大阪府内全自治体と比べて、傾向としてはほぼ同様の傾向がみられたが、市の特徴としては、全体的に困窮という視点で大阪府内全自治体の数値より高くはなかった。困窮度ごとに厳しくなるというよりも、困窮度Ⅱにおいて経済的理由による経験等すべてにおいて厳しい状況がみられた。数が少ないため慎重に扱う必要はあるが、この結果から困窮度Ⅰ群のみではない施策を検討する必要がある。また全体に大阪府内全自治体に比べてではあるが低くないなかでの本市の状況は格差が大きいことが懸念される。困窮度Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ群へのケアを十分に検討する必要がある。

経済的に困窮している世帯を確実に各制度につながる仕組みづくりが求められている。各制度の利用率を改善するための取り組みを行う必要がある。制度やサービスの利用が、当然の権利として認識されておらず、利用の拒否や認知度の低さなどから、制度やサービスが必要な人に届いていない現状がある。各制度の受給要件はそれぞれ異なるため単純に比較はできないが、特に生活保護世帯の受給率は、他の制度と比較してきわめて低く、受給要件の緩和等による捕捉率の改善が求められる。

また、本市では大阪府内全自治体と比べて、より生活習慣や医療的ケアの課題がみられた。非正規であっても健康診断を受けられるような工夫であったり、医療費の負担を軽減する施策として、子ども医療費助成制度の拡充や医療の現物給付（実施自治体もある）など今後の工夫や拡充が求められる。

中央値以上と困窮度Ⅰ群の比較では、子どもたちの生活空間の違いがみられる。子どもの過ごす生活環境が、将来の夢や今後の方向性に大きく影響することも導かれた。子どもが将来に対して希望や夢を持てるような支援や仕掛けが必要である。

大阪府内全自治体とほぼ同様に、母子世帯は、非正規雇用が多くなり、困窮度が高くなっていた。困窮度が高い群ほど学歴が低い傾向がみられた。子どもの放課後の過ごし方に差がみられ、読書や多様な体験への差となり、格差が格差を生んでいくことが明らかになった。生活保護世帯の進学希望が大学にならないことや、若年出産に多い中退や高卒からわかるように、経済的苦しい状況の繰り返し懸念される。特に、若年出産者に対する経済的支援策や、若年の保護者を対象にした学び直し、健康支援、就労支援などを一体的に実施することが求められている。経済給付は、世帯それぞれを対象にしており個別支援になりがちであるが、とりわけ困窮度が高い地域においては、地域を支援の単位として設定し、後述するような孤立する保護者同士をつなぐ支援や子どもの養育や関心を高める支援と連動させて行

うことを検討することも考えられよう。

困窮度によって、まず、食生活や規則正しい生活など、基本的な生活習慣のケアを必要とする子どもが一定数いることが確認された。学習の理解や勉強時間など、困窮度による学習面での格差が見られた。また、困窮度は、子どもの心身の状況、および保護者の心身の状況にも影響を与えており、医療的ケアの必要性も示された。学校内だけではなく、学校外での塾や習い事、文化活動など、大人と関わるさまざまな社会活動を体験する「機会」の格差を縮小する施策が求められている。これらのさまざまな機会を提供する「居場所づくり」の必要性を根拠付けるデータが得られたといえる。

以下、包括的に5点にまとめて提案する。基盤となる経済的支援、家庭教育支援、その上での多様な社会経験と学習支援、この3点が必要である。子ども食堂や学習支援だけがあってもその成果は生み出しにくい。これら3本に関する方策をつなぐ仕組みが必須である。

- ① 生活基盤づくり：所得補償制度や雇用の構築と拡大、生活保障の制度創設や改善の工夫である。これらは、国に要望することも含めて、国や府の制度に補完する制度を創設するなども考えられる。また企業に対して義務化するなどによって、一定の制度を創設することも検討すべきである。例えば、ひとり親家庭の保護者の優先的雇用、医療の現物給付、養育費の引き落とし制度（アメリカの例）、養育費の立て替え払い制度と未払い者への制裁制度（スウェーデンの例）などの創設、それらをバックアップする条例や規定を自治体としても策定するなどである。ひとり親世帯の採用を積極的に行うなどの制度も創出し、積極的に参入した企業に対して、補助金を出すことや自治体のホームページに優良企業として掲載するなどインセンティブを設けて、企業と協働で作り上げていくこと、など可能なことを探る検討を進めるべきである。また、雇用を創出今回、正規雇用でありながら困窮度Ⅰ群となることも明らかになり、最低基準の引き上げや企業への指導の徹底などを実施あるいは国へ要望することも検討すべきである。

以下の③とも関連するが、今回の調査において、困窮度Ⅰ群でありながら、制度やサービスを利用できていない家庭が存在することが明らかになった。利用に抵抗があるのであれば、利用することの抵抗を取る努力と制度の周知徹底が必要である。自然な形での導入の工夫が必要である。生活基盤には欠かせない現金給付の導入など、国に意見を述べるとともに、市でできることを検討すべきである。現物給付は、市の条例を策定して創設するなどさらなる検討を進めることを期待したい。

- ② 家庭基盤づくり：学習支援の応急処置のみならず、基盤となる家庭教育支援は必須である。すべての家庭において、冒頭に掲載した法律にあるように、経済的状況に左右されることなく、子どもの最善の利益に基づいてケアされる家庭環境を作ることを、自治体として総力をあげて取り組む必要がある。乳児の全戸訪問を継続して家庭教育支援（国の補助事業）として義務教育年齢まで続ける、入学、進路選択などをとらえてすべての家庭に子どもの成長と発達に必要なことを伝える機会を作ること、学校に家庭教育支援講座や保護者が気軽に立ち寄れる居場所を作る（他地域でコミュニティ・スクールとして実施あり）など、当たり前の家庭生活を送れる環境を社会的責任として創出する必要がある。ユニバーサル型として、予防も含めてすべての家庭に必要なこととターゲットを明確にして実施すること、二層を視野に取り組むことが必要である。
- ③ 制度やサービスを確実に届けるための仕組み作り：乳幼児の健診のように全数把握できている部署との連携、協働が必須である。就学後では、全数把握しているのは学校しかなく、学校において、校内の専門職が入った形での経済的リスクも含めたスクリーニング会議の創設（文科省 2017）、そこから外部機関とつながる関係機関と学校、地域との連絡会の創設が必要である。これを実施でき

た校区とそうでない校区に格差が生じることは、子どもの将来の格差につながることから、必須設置に規定する必要がある。

そして、スクリーニングで支援の必要な家庭が把握され、支援を届ける場合に、様々な工夫が必要である。公的機関（学校含む）への拒否感がある場合も少なくない。その際、地域活動している人材（家庭教育支援による地域人材含む）や同じ子育てしているグループだと話しやすく、地域性や当事者性を大事にした支援展開を検討すべきであろう。例えば、親支援として、若年出産の課題をあげたように、出産と同時に親支援プログラムの投入、親同士のつながりづくりなども必要である。自治体として、拒否を生じないためにも、スティグマを生まないためにも、子どもも保護者もサービスを受けることが当たり前の権利であり特別でないことを示すことが重要である。

- ④ 文化活動、読書、年代の違う人との交流など様々な要素を含んだ居場所の創設：今回の調査において所得によって子どもの放課後の生活環境に差がみられた。経済的基盤によって、差が生じることなく、子どもが多様な体験ができ、その生活を豊かにする必要がある。そのためには、さまざまな選択肢を排除するものではないが、セーフティネットとして、誰もが通う学校を拠点にした、教師以外のさまざまな支援者や支援事業の投入（子ども食堂、学習支援などの居場所含む）をモデル的にでも策定することを検討すべきである。これは内閣府子どもの貧困対策の大綱の議論とともに提案された学校プラットフォームの本格化への取り組みである。
- ⑤ 支援者共通の指標づくり：子どもにかかわるすべての部署が共通して持つ指標を示すことが必要である。そして保護者が子どもに向き合っていくことができこそ、子どもも学習に向かい、社会に向かっていくことができること、保護者が子どもに向き合っていけるような支援の重要性を明確化する必要がある。子どもの貧困対策のために、目標、ターゲット、支援内容、効果、これを明確に示し、エビデンスに基づく評価を今後も重ねていく必要がある。そのことを各自治体に周知徹底し連携することが重要である。国、他の都道府県、府内市町村との連携、共同は、今後も期待したい。

最後に、実態調査に関する調査課題として今後に向けて3点あげて結びにしたい。

1 点目は、今回の調査について、市内だけでも、学校と協力して、回収率の高い結果を得た意義は大きい。さらに、大阪府、大阪府内自治体と共同して実実施する方法をとったことは評価すべき点である。これだけの大規模調査において実態をつかむには、調査としては、複数年かけて初年度様々な角度から全体像をつかむ、次年度さらに分析を深めて構造を明らかにするなどの方法も検討すべきであろう。はく奪指標を先行研究から引用したが、市民の声の普通の暮らしからピックアップするなども方法として考えられる。

2 点目は、今後、3年や5年に1度など、定点観測も検討すべきであろう。国においても何年かごとの観測は指摘されている。その際、例えば、コーホートで同じ学年を追うことでサービスの効果など測り、評価を入れることなども考えられる。

3 点目に、調査として、当事者の声を直接聴く取り組みも今後検討が必要であろう。

参考文献

- ・耳塚寛明（2013）『平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究』文部科学省委託研究国立大学法人お茶の水女子大学、88.
- ・文部科学省（2017）「児童生徒の教育相談の充実について」（スクールソーシャルワーカーのガイドライン含む）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/066/gaiyou/1381049.htm

- ・所道彦（2015）「9章イギリス」埋橋孝文・矢野裕俊編著『子どもの貧困／不利／困難を考える』ミネルヴァ書房，189-203.
- ・山野則子・三沢徳枝（2015）「学習支援プログラム参加者の状況を視野に入れた支援の可能性ーアセスメントシートの分析からー」社会問題研究第64号（通算第143号）、大阪府立大学人間社会学部社会問題研究会、47-57.

表 1. 調査票の回収状況	3
表 2. 大阪狭山市困窮度別人数	11
表 3. 就労状況別人数	40
図 1. 学年	6
図 2. 子ども性別	7
図 3. 回答者の続柄	8
図 4. 世帯収入額	10
図 5. 困窮度の分類と基準	11
図 6 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布	12
図 7. 経済的な理由による経験	14
図 8. 子どもへの経済的な理由による経験	16
図 9. 持っているもの、使うことができるもの	18
図 10. 家計状況	19
図 11. 赤字の場合の対処	20
図 12. 子どものための貯蓄	21
図 13. 児童手当	22
図 14. 就学援助費	23
図 15. 児童扶養手当	24
図 16. 児童扶養手当（ひとり親世帯）	25
図 17. 児童扶養手当（母子世帯）	26
図 18. 児童扶養手当（父子世帯）	27
図 19. 障がいや難病の手当	28
図 20. 生活保護	29
図 21. 公的年金（老齢年金）	30
図 22. 公的年金（遺族年金、障がい年金）	31
図 23. 雇用保険（失業保険）	32
図 24. 養育費	33
図 25. 養育費（ひとり親世帯）	34
図 26. 養育費（母子世帯）	35
図 27. 養育費（父子世帯）	36
図 28. 親・親族からの仕送り	37
図 29. 退職金	38
図 30. その他、株式配当などの副収入	39
図 31. 世帯員の人数	41
図 32. 介護または介助の必要な方	42
図 33. 子どもの人数	43
図 34. 小学校入学前の子どもの人数	44
図 35. 小学校1年生から18歳未満の子どもの人数	45
図 36. 18歳以上の子どもの人数	46

図 37. 世帯員の構成	47
図 38. 世帯構成まとめ	48
図 39. 住居	49
図 40. 保護者の在宅時間	50
図 41. 子どもと過ごす時間が長い人	51
図 42. 子どもの療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所有	52
図 43. 子どもへの信頼度	53
図 44. 子どもと会話	54
図 45. 子どもと一緒にいる時間（平日）	55
図 46. 子どもと一緒にいる時間（休日）	56
図 47. 子どもへの将来の期待	57
図 48. 初めて親となった年齢	58
図 49. 起床時間の規則性	59
図 50. 就寝時間	60
図 51. 睡眠時間	61
図 52. 朝食の頻度	62
図 53. 朝食を食べない理由	63
図 54. 夕食の頻度	64
図 55. 夕食を食べない理由	65
図 56. 学校への遅刻	66
図 57. おうちの大人と朝食を食べるか	67
図 58. おうちの大人と夕食を食べるか	68
図 59. おうちの大人に朝、起こされるか	69
図 60. 家の手伝いをするか	70
図 61. おうちの大人に宿題をみてもらうか	71
図 62. おうちの大人と学校の話をするか	72
図 63. おうちの大人と遊んだり、体を動かすか	73
図 64. おうちの大人と社会のできごとを話すか	74
図 65. おうちの大人と文化活動をするか	75
図 66. おうちの大人と一緒に外出するか	76
図 67. 毎日の生活で楽しいこと	77
図 68. 放課後一緒に過ごす人	78
図 69. 自分の体や気持ちで気になること	79
図 70. 自分の体や気持ちで気になること	80
図 71. 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと	81
図 72. 定期的な健康診断の受診	82
図 73. 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	83
図 74. はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	84
図 75. 人の集まりの中では、うまくふるまえない	85
図 76. 私は自分から友だちを作るのがうまい	86

図 77. 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない.....	87
図 78. 自分に自信がある.....	88
図 79. 考えを相手に伝えることができる.....	89
図 80. 大人は信用できる.....	90
図 81. 将来の夢や目標を持っている.....	91
図 82. 将来のためにも、今、頑張りたい.....	92
図 83. 将来、働きたい.....	93
図 84. 自家用車の所有.....	94
図 85. 母親の最終学歴.....	95
図 86. 父親の最終学歴.....	96
図 87. 授業以外の勉強時間.....	97
図 88. 学校の勉強で気持ちに近いもの.....	98
図 89. 授業以外の読書時間.....	99
図 90. 希望する進学先.....	100
図 91. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人.....	101
図 92. あなたの気持ちを察して思いやってくれる人.....	102
図 93. 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人.....	103
図 94. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人.....	104
図 95. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）.....	105
図 96. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人.....	106
図 97. 留守を頼める人.....	107
図 98. 困ったときの相談先.....	108
図 99. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	110
図 100. 失敗したときに助けてくれる人.....	111
図 101. 頑張ったときにほめてくれる人.....	112
図 102. 一人でできないときに手伝ってくれる人.....	113
図 103. あなたの気持ちをわかってくれる人.....	114
図 104. あなたのことを信じてくれる人.....	115
図 105. 悩んだときの対処を教えてくれる人.....	116
図 106. 良いところ、良くないところをわかってくれる人.....	117
図 107. あなたのことを大切にしてくれる人.....	118
図 108. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験.....	120
図 109. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験.....	122
図 110. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの.....	124
図 111. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均.....	125
図 112. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均.....	126
図 113. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均.....	127
図 114. 困窮度別に見た、世帯員の構成.....	128
図 115. 世帯構成別に見た家計状況.....	129
図 116. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方.....	130

図 117. 困窮度別に見た、子どもの人数	131
図 118. 困窮度別に見た住居	132
図 119. 困窮度別に見た、自家用車の所有	133
図 120. 困窮度別に見た家計状況	134
図 121. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄	135
図 122. 困窮度別に見た、おこづかいの金額分布	137
図 123. 困窮度別に見た、おこづかいの使い方	139
図 124. 困窮度別に見た児童手当	141
図 125. 困窮度別に見た就学援助費	142
図 126. 困窮度別に見た児童扶養手当	143
図 127. 困窮度別に見た生活保護	144
図 128. 困窮度別に見た公的年金（遺族年金、障がい年金）	145
図 129. 困窮度別に見た養育費	146
図 130. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	147
図 131. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢	148
図 132. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴	149
図 133. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴	150
図 134. 初めて親となった年齢別に見た就労状況	151
図 135. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること	152
図 136. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと	153
図 137. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること	154
図 138. 住居別に見た家計状況	155
図 139. 住居別に見た、子どものための貯蓄	156
図 140. 困窮度別に見た就労状況	158
図 141. 困窮度別に見た、母親の最終学歴	159
図 142. 困窮度別に見た、父親の最終学歴	160
図 143. 母親の最終学歴別に見た就労状況	161
図 144. 父親の最終学歴別に見た就労状況	162
図 145. 世帯構成別に見た就労状況	163
図 146. 困窮度別に見た、生計の支えとなる人	164
図 147. 就労状況別に見た家計状況	165
図 148. 困窮度別に見た、朝食の頻度	167
図 149. 就労状況別に見た、朝食の頻度	168
図 150. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）	169
図 151. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）	170
図 152. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））	171
図 153. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））	172
図 154. 朝食の頻度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）	173
図 155. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）	174

図 156. 昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	175
図 157. 困窮度別に見た入浴頻度	176
図 158. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	178
図 159. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	180
図 160. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること	182
図 161. 経済的な理由による経験該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること	184
図 162. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数	185
図 163. 就労状況別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー	186
図 164. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点	187
図 165. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）	188
図 166. 困窮度別に見た、心の状態（将来への希望）	189
図 167. 困窮度別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）	190
図 168. 困窮度別に見た、心の状態（幸せだと思うか）	191
図 169. 困窮度別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと	192
図 170. 困窮度別に見た、定期的な健康診断の受診	193
図 171. 定期的な健康診断の受診別に見た、等価可処分所得の平均値	194
図 172. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）	196
図 173. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）	197
図 174. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）	198
図 175. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）	199
図 176. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間	200
図 177. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間	201
図 178. 困窮度別に見た、学習理解度	202
図 179. 子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値	203
図 180. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間	204
図 181. 朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間	205
図 182. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間	206
図 183. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間	207
図 184. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連	208
図 185. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）	209
図 186. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）	210
図 187. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））	211
図 188. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））	212
図 189. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）	213
図 190. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）	214
図 191. 困窮度別に見た、希望する進学先	215
図 192. 困窮度別に見た、子どもの進学予測	216
図 193. 困窮度別に見た、子どもの進学達成予測	217

図 194. 困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由.....	218
図 195. 困窮度別に見た、学校への遅刻.....	219
図 196. 困窮度別に見た、子どもの通学状況.....	220
図 197. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）	221
図 198. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）	222
図 199. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）	223
図 200. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）	224
図 201. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かす か）.....	225
図 202. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話す か）.....	226
図 203. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）	227
図 204. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）	228
図 205. 学校への遅刻別に見た、悩んでいること.....	229
図 206. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数.....	230
図 207. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	231
図 208. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先.....	232
図 209. 学校への遅刻別に見た、学習理解度.....	233
図 210. 登校状況別に見た、悩んでいること.....	235
図 211. 登校状況別に見た、「悩んだときの対処を教えてくれる人」がいない割合.....	236
図 212. 登校状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当数.....	237
図 213. 登校状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）.....	238
図 214. 登校状況別に見た、希望する進学先.....	239
図 215. 困窮度別に見た、保護者の在宅時間.....	240
図 216. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）.....	241
図 217. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）.....	242
図 218. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））.....	243
図 219. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））.....	244
図 220. 困窮度別、放課後に過ごす場所.....	247
図 221. 困窮度別に見た、放課後一緒に過ごす人.....	249
図 222. 困窮度別に見た、子どもと過ごす時間が長い人.....	251
図 223. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと.....	252
図 224. 困窮度別に見た、悩んでいること.....	253
図 225. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手.....	255
図 226. 困窮度別に見た、困ったときの相談先.....	257
図 227. 世帯構成別に見た、保護者の困ったときの相談相手のいない割合.....	258

図 228. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	259
図 229. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）	260
図 230. 困窮度別に見た、保護者のセルフ・エフィカシー	261
図 231. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）	262
図 232. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題を みてもらうか）	263
図 233. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の 話をするか）	264
図 234. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだ り、体を動かすか）	265
図 235. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会の できごとを話すか）	266
図 236. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活 動をするか）	267
図 237. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に 外出するか）	268
図 238 在籍している学校	270

IV 資料編

おおさかふ こ せいかつ かん じつたいちようさ
大阪府 子どもの生活に関する実態調査

しょうがくせい ちゅうがくせい む ちようさ ちようさひよう おおさかさやまし
小学生・中学生向け調査 調査票【大阪狭山市】

- ◆この調査は、大阪の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
- ◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で書いてください。
- ◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ◆答えたくない質問は答える必要はありません。
- ◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選びましょう。
- ◆書き終わったら「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じてください。
- ◆あなたが書いた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
- ◆大阪府や大阪狭山市は、この調査結果を参考に、子どもたちのために何かできるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。

ちようさ といあわ さき
この調査の問合せ先

- ◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。
 大阪狭山市こども政策部子育て支援グループ
 電話 072-366-0011 (内線320)
 (9:00~17:30 月曜日~金曜日 ※祝日を除く)
 ファクシミリ 072-366-9696
 住所 大阪狭山市狭山一丁目2384-1 大阪狭山市役所 1階
 なお、この調査に関するご質問への回答は、大阪府のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodateshien/kodomo/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように教えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. 赤色	3. 緑色
2. 黄色	4. その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしてください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学生	2. 中学生
--------	--------

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 起きている	3. あまり、起きていない
2. どちらかといえば、起きている	4. 起きていない

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。(就寝時間)

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 午後9時より前	4. 午後11時台	7. きまっていない
2. 午後9時台	5. 午前0時台	
3. 午後10時台	6. 午前1時より後	

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時間くらい寝ていますか。

(睡眠時間) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 5時間59分より短い	4. 8時間～8時間59分	7. きまっていない
2. 6時間～6時間59分	5. 9時間～9時間59分	
3. 7時間～7時間59分	6. 10時間より長い	

問5 朝食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問6 夕食についておたずねします。

(1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 食べない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

(2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 時間がない	3. 用意されていない	5. わからない
2. おなかがすいていない	4. 食べる習慣がない	

問7 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 必ず食べる	3. 食べないことが多い	5. わからない
2. 食べる人が多い	4. 食べない	

問8 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 入らない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 毎日またはほとんど毎日	3. 週に2～3回	5. 遅刻はしない
2. 週に4～5回	4. 週に1回程度	

問10 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(①～⑩について教えてください。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④ おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤ おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥ おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨ おうちの大人の人と文化活動(図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど)をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか。(散歩する・買い物に出かける・外食をする など)	1	2	3	4	5	6	7

問11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの人と一緒に過ごしているとき
2. ともだちと一緒に過ごしているとき
3. 学校生活やクラブ活動に参加しているとき
4. ひとりで過ごしているとき
5. 今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
6. 塾や習い事で過ごしているとき
7. 特に楽しいと思うときはない
8. その他

問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちの大人の人(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)
4. 学校のともだち
5. クラブ活動の仲間
6. 学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)
7. ひとりでいる
8. その他の人

問13 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の家 2. おばあちゃん・おじいちゃんの家 3. ともだちの家 4. 塾 5. 習いごと 6. 学校(クラブ活動など) 7. 公園・広場 8. スーパーやショッピングモール | <ol style="list-style-type: none"> 9. コンビニエンスストア 10. ゲームセンター 11. 図書館や公民館など公共の施設 12. 地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所) 13. 学童保育(※) 14. その他 |
|--|--|

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「留守家庭児童育成室」、「留守家庭児童会室」、「放課後児童会」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」、「留守家庭児童会」も含まれます。

はんぶん
あと半分だよ。
がんばってね!

問14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

問15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくわかる	3. あまりわからない	5. わからない
2. だいたいわかる	4. ほとんどわからない	

問16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をするか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. まったくしない	5. 2時間以上、3時間より少ない
2. 30分より少ない	6. 3時間以上
3. 30分以上、1時間より少ない	7. わからない
4. 1時間以上、2時間より少ない	

問17 おこづかいについておたずねします。

(1) あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。

(時々もらう場合は、1か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。ただしお年玉はのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 500円より少ない	6. 2500～2999円	11. 5000円以上
2. 500～999円	7. 3000～3499円	12. もらっていない(→問18にすすんでください)
3. 1000～1499円	8. 3500～3999円	13. わからない
4. 1500～1999円	9. 4000～4499円	
5. 2000～2499円	10. 4500～4999円	

(2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 十分たりている	3. ややたりない	5. わからない
2. どちらかと言えば、たりている	4. まったく、たりない	

(3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ともだちとの遊び	6. ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)
2. 学校で使う必要なもの	7. 貯金
3. 本	8. 音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)
4. マンガ	9. その他
5. 食べ物や飲み物	10. わからない

問18 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. おうちのこと	6. 好きな人のこと
2. 学校や勉強のこと	7. 進学・進路のこと
3. クラブ活動のこと	8. その他のこと
4. 自分のこと(外見や体型など)	9. いやなことや悩んでいることはない
5. ともだちのこと	10. わからない

問19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか

(だれに話しますか。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 親	14. 学童保育の先生(※)
2. きょうだい	15. こども専用の電話相談
3. おばあちゃん・おじいちゃん	16. インターネットやサイトなどを通じて知りあつた直接会つたことのない人
4. おじ、おばなど親戚	17. 近所の人
5. 学校のともだち	18. 地域の支援団体 (学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)
6. 塾や習いごとのともだち	19. その他の人
7. その他のともだち	20. だれにも相談できない
8. いとこ	21. だれにも相談したくない
9. 担任の先生や他のクラスの先生	22. わからない
10. 保健室の先生	
11. クラブ活動の先生	
12. スクールカウンセラー	
13. 塾や習いごとの先生	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「留守家庭児童育成室」、「留守家庭児童会室」、「放課後児童会」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」、「留守家庭児童会」も含みます。

もう少しだよ！
よくがんばったね。

問20 あなたに①～⑧のことをしてくれる人はだれですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	お母さん かあ	お父さん とう	おばあさん	おじいさん	きょうだい	ともだち	その他の人 たひと	誰もいない だれ	わからない
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑤ いつでも、あなたのことを信じしてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	
⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。	1	2	3	4	5	6	7	8	

問21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	9. よくかゆくなる
2. よく頭がいたくなる	10. まわりが気になる
3. 歯がいたい	11. やる気が起きない
4. 不安な気持ちになる	12. イライラする
5. ものを見づらい	13. とくに気になるところはない
6. 聞こえにくい	14. その他
7. よくおなかがいたくなる	15. わからない
8. よくかぜをひく	

問22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	10. スマートフォン・タブレット機器 (通話 等アプリ (ライン) やツイッター、 フェイスブックなどできるもの)
2. マンガ・雑誌	11. 化粧品・アクセサリ
3. 子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだい といっしょに使っている部屋など)	12. 習いごとなどの道具 (ピアノなど)
4. インターネットにつながるパソコン	13. 自分で選んだ服
5. 運動用具 (ボール・ラケットなど)	14. キャラクターグッズ
6. ゲーム機	15. その他
7. 自転車	16. あてはまるものはない
8. テレビ	
9. けいたい電話	

あなたが、ふだん考えていることについておたずねします。

問23 あなたがふだん考えていることについて、次の(1)～(6)について教えてください。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 自分に自信がある

1. ある	3. どちらかというもない
2. どちらかというところ	4. ない

(2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

1. できる	3. どちらかというときできない
2. どちらかというときできる	4. できない

(3) 大人は信用できる

1. そう思う	3. どちらかというときそう思わない
2. どちらかというときそう思う	4. そう思わない

(4) 自分じぶんの将来しょうらいの夢ゆめや目標もくひょうを持もっている

1. 持 <small>も</small> っている	3. どちらかという <small>も</small> と持 <small>も</small> っていない
2. どちらかという <small>も</small> と持 <small>も</small> っている	4. 持 <small>も</small> っていない

(5) 将来しょうらいのためにも、今いま、頑張がんばりたいと思おもう

1. そう思 <small>おも</small> う	3. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> わない
2. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> う	4. そう思 <small>おも</small> わない

(6) 将来しょうらい、働はたらきたいと思おもう

1. そう思 <small>おも</small> う	3. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> わない
2. どちらかという <small>おも</small> とそう思 <small>おも</small> う	4. そう思 <small>おも</small> わない

問24 あなたは、将来しょうらいどの学校がっこうまで行いきたいと思おもいますか。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

1. 中 <small>ちゅう</small> 学校 <small>がっこう</small>	6. 専 <small>せん</small> 門 <small>もん</small> 学校 <small>がっこう</small> (美 <small>び</small> 容 <small>よう</small> 師 <small>し</small> や調 <small>ちょう</small> 理 <small>り</small> 師 <small>し</small> など仕 <small>し</small> 事 <small>ごと</small> の
2. 高 <small>こう</small> 校	しかた ぎじゅつ まな がっこう 仕 <small>し</small> 方 <small>かた</small> や技 <small>ぎ</small> 術 <small>じゅつ</small> を学 <small>まな</small> ぶた <small>た</small> め <small>め</small> の学 <small>が</small> 校 <small>こう</small> など)
3. 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small> ・短 <small>たん</small> 期 <small>き</small> 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small>	7. 考 <small>かん</small> えたこ <small>こと</small> がな <small>ない</small>
4. 大 <small>だい</small> 学 <small>がく</small> 院 <small>いん</small>	8. わか <small>ら</small> な <small>ない</small>
5. 留 <small>りゅう</small> 学 <small>がく</small>	

あなたのことについて、おたずねします。

問25 あなたあなたの性せい別べつをえらえんんででくくだだささい。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

1. 男 <small>だん</small> 子 <small>し</small>	3. そ <small>た</small> の <small>た</small> 他 <small>た</small>
2. 女 <small>じょ</small> 子 <small>し</small>	4. 答 <small>こた</small> え <small>え</small> た <small>た</small> く <small>く</small> な <small>な</small> い

問26 現在のあなたの身長と体重について、近いものをそれぞれ選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(身長)

1. 124.9 c m 以下	8. 155 c m ~ 159.9 c m
2. 125 c m ~ 129.9 c m	9. 160 c m ~ 164.9 c m
3. 130 c m ~ 134.9 c m	10. 165 c m ~ 169.9 c m
4. 135 c m ~ 139.9 c m	11. 170 c m ~ 174.9 c m
5. 140 c m ~ 144.9 c m	12. 175 c m ~ 179.9 c m
6. 145 c m ~ 149.9 c m	13. 180 c m 以上
7. 150 c m ~ 154.9 c m	14. わからない

(体重)

1. 24.9 kg 以下	8. 55 kg ~ 59.9 kg
2. 25 kg ~ 29.9 kg	9. 60 kg ~ 64.9 kg
3. 30 kg ~ 34.9 kg	10. 65 kg ~ 69.9 kg
4. 35 kg ~ 39.9 kg	11. 70 kg ~ 74.9 kg
5. 40 kg ~ 44.9 kg	12. 75 kg ~ 79.9 kg
6. 45 kg ~ 49.9 kg	13. 80 kg 以上
7. 50 kg ~ 54.9 kg	14. わからない

問27 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

とい
問O-28 あなたは、どの学校がっこうに通学つうがくしていますか。

1. 東 <small>ひがし</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	8. 狭山 <small>さやま</small> 中学校 <small>ちゅうがっこう</small>
2. 西 <small>にし</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	9. 南 <small>みなみ</small> 中学校 <small>ちゅうがっこう</small>
3. 南 <small>みなみ</small> 第一 <small>だい</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	10. 第三 <small>だいさん</small> 中学校 <small>ちゅうがっこう</small>
4. 南 <small>みなみ</small> 第二 <small>だい</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	
5. 南 <small>みなみ</small> 第三 <small>だい</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	
6. 北 <small>きた</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	
7. 第七 <small>だいなな</small> 小学校 <small>しょうがっこう</small>	

しつもん
質問はこれで終わりです。調査ちょうさにご協力きょうりやくいただきありがとうございました。

しょうがくせい ちゅうがくせいよう か ふうとう い
「小学生・中学生用」と書いてある封筒ふうとうに入れ、のりづけやセロハンテープで閉じ
て、保護者ほごしやの方に渡わたしてください。

大阪府 子どもの生活に関する実態調査
 保護者向け調査 調査票【大阪狭山市】

＜ 調査への協力をお願い ＞

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪の子どものための支援策に役立てるために、大阪府と大阪狭山市が共同で実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

◆ 調査にご協力いただく方

大阪狭山市内の小学5年生と中学2年生とその保護者

◆ プライバシーへの配慮

お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

◆ 回答にあたってお願い

答えたくない質問には、回答しなくて結構です。

この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。

ごきょうだいで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙に回答してください。

調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。なお、お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。

◆ 調査票の提出方法

調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を提出用封筒にまとめて入れ、提出期限までに学校へ提出してください。

提出期限 平成28年9月20日（火曜日）

この調査の問合せ先

◆ 調査への回答にあたってご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

大阪狭山市こども政策部子育て支援グループ

電話 072-366-0011（内線320）

※9:00～17:30 月曜日～金曜日（祝日を除く）

ファクシミリ 072-366-9696

住所 大阪狭山市狭山一丁目2384-1 大阪狭山市役所1階

なお、この調査に関するご質問への回答は大阪府のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodateshien/kodomo/index.html>

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな花はなんですか。

1. さくら	3. バラ
2. チューリップ	4. その他の花

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 あなたが日常生活でよく使う言葉はどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 日本語	2. 日本語以外
--------	----------

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、平成28年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯(世帯員)についておたずねします。

<p>① 世帯員の人数は何人ですか。(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上</p>		
<p>② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)</p> <p>1. いる 2. いない</p>		
<p>③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子どもの人数をすべてお答えください。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人 8. 8人 9. 9人 10. 10人以上</p>		
<p>④ 世帯員の子どものうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		
<p>⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上</p>		
<p>⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		

(2) 世帯員をすべて選んでください。(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. この調査票を受け取った お子さん本人	4. 兄・姉 おとうと いもうと	7. おじいさん
2. お母さん	6. おばあさん	8. おじ・おばなど親戚
3. お父さん		9. その他の人

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問5 あなた(世帯の方を含む)は自家用車を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

(1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

(2) 問6(1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合ほどどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯金、預金のとりくずし	3. 金融機関等からの借入
2. 親や親族などからの仕送り	4. その他

(3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 食費を切りつめた。</p> <p>2. 電気・ガス・水道などが止められた。</p> <p>3. 医療機関を受診できなかった。</p> <p>4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。</p> <p>6. 金融機関などに借金をしたことがある。</p> <p>7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。</p> <p>8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。</p> <p>9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。</p> <p>10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。</p> <p>11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。</p> <p>12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。</p>	<p>13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。</p> <p>14. 電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。</p> <p>16. 趣味やレジャーの出費を減らした。</p> <p>17. 冷暖房の使用を控えた。</p> <p>18. 友人・知人との外食を控えた。</p> <p>19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。</p> <p>20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。</p> <p>21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。</p> <p>22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
---	---

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)(現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください。)

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。(複数

か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください)

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------

「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 勤め(常勤・正規職員)</p> <p>2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)</p> <p>3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)</p> <p>4. 自営業・家業</p> <p>5. その他の就業形態</p> <p>6. 仕事を探している</p>	<p>7. 仕事をさがしていない</p> <p>①家事や育児に専念</p> <p>②学生</p> <p>③おうちの人の介護や介助</p> <p>④病気療養</p> <p>⑤年金など</p> <p>⑥家賃収入、株式運用など</p> <p>⑦その他</p>
--	--

お父さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------

「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 勤め(常勤・正規職員)</p> <p>2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)</p> <p>3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)</p> <p>4. 自営業・家業</p> <p>5. その他の就業形態</p> <p>6. 仕事を探している</p>	<p>7. 仕事をさがしていない</p> <p>①家事や育児に専念</p> <p>②学生</p> <p>③おうちの人の介護や介助</p> <p>④病気療養</p> <p>⑤年金など</p> <p>⑥家賃収入、株式運用など</p> <p>⑦その他</p>
--	--

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方
 (おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|



「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 勤め (常勤・正規職員)
2. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)
3. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)
4. 自営業・家業
5. その他の就業形態
6. 仕事を探している | 7. 仕事をさがしていない
①家事や育児に専念
②学生
③おうちの人の介護や介助
④病気療養
⑤年金など
⑥家賃収入、株式運用など
⑦その他 |
|--|---|

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚などを含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

- | | |
|---|--|
| 1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる
2. お子さんの夕食時間には家にいる
3. お子さんの寝る時間には家にいる | 4. お子さんが寝た後に帰ってくる
5. 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
6. その他 |
|---|--|

問11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|----------|--------------|---------------------|
| 1. お母さん | 5. 兄・姉 | 9. 学童保育の指導員 (※) |
| 2. お父さん | 6. 弟・妹 | 10. ファミリーサポートセンター会員 |
| 3. おばあさん | 7. おじ、おばなど親戚 | 11. お子さんがひとりである |
| 4. おじいさん | 8. 近所の人 | 12. その他の人 |

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「留守家庭児童育成室」、「留守家庭児童会室」、

「放課後児童会」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」、「留守家庭児童会」も含みます。

お子さんのことについておたずねします。

問12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。</p> <p>2. 子どもの進路を変更した。</p> <p>3. 子どものための本や絵本が買えなかった。</p> <p>4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。</p> <p>5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。</p> <p>6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。</p> <p>7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。</p> <p>8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。</p>	<p>9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。</p> <p>10. 子どもの誕生日を祝えなかった。</p> <p>11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。</p> <p>12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。</p> <p>13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。</p> <p>14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった。</p> <p>15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
--	---

問14 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話(かいわ)をしますか。

(あてはまる番号(ばんごう)1つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何か(なに)をしたり、相手(あいて)をしたりしている時間(じかん)は、1日(いち)あたり平均(へいきん)すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日(へいじつ)、休日(きゅうじつ)それぞれについて、あてはまる番号(ばんごう)1つに○をつけてください)

平日(へいじつ)	休日(きゅうじつ)
1. 0～15分(ふん)未満(みまん)	1. 2時間(じかん)未満(みまん)
2. 15分(ふん)～30分(ぶん)未満(みまん)	2. 2時間(じかん)～4時間(じかん)未満(みまん)
3. 30分(ぶん)～1時間(じかん)未満(みまん)	3. 4時間(じかん)～6時間(じかん)未満(みまん)
4. 1時間(じかん)～2時間(じかん)未満(みまん)	4. 6時間(じかん)～8時間(じかん)未満(みまん)
5. 2時間(じかん)～3時間(じかん)未満(みまん)	5. 8時間(じかん)～10時間(じかん)未満(みまん)
6. 3時間(じかん)～4時間(じかん)未満(みまん)	6. 10時間(じかん)以上(いじょう)
7. 4時間(じかん)以上(いじょう)	

(4) あなたは、お子さんの将来(しょうらい)に期待(きたい)していますか。

(あてはまる番号(ばんごう)1つに○をつけてください)

1. とても期待(きたい)している	3. あまり期待(きたい)していない
2. 期待(きたい)している	4. 期待(きたい)していない

問15 あなたは、お子さんの進学(しんがく)について、どこまで希望(きぼう)されていますか。

(あてはまる番号(ばんごう)1つに○をつけてください)

1. 中学校(ちゅうがっこう)	5. 留学(りゅうがく)
2. 高校(こうこう)	6. 専門学校(せんもんがっこう)・高等専門学校(こうとうせんもんがっこう)
3. 大学(だいがく)・短期大学(たんきだいがく)	7. 考えた(かんが)ことがない
4. 大学院(だいがくいん)	8. わからない

問16 あなたは、お子さんが問15の希望どおりの学校まで進むことになるとおもうか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. おもう	2. 思わない	3. わからない
--------	---------	----------

問17 問16で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お子さんの希望と異なるから
2. お子さんの学力から考えて
3. 経済的な余裕がないから
4. その他
5. 特に理由はない

問18 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている
2. 欠席は年間30日未満である
3. 欠席が年間30日以上、60日未満である
4. 欠席が年間60日以上、1年未満である
5. 欠席が1年以上続いている
6. わからない

あなたのことについておたずねします。

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問20 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪くとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 配偶者・パートナー	10. 公的機関や役所の相談員
2. 自分の親	11. 学童保育の指導員(※)
3. 配偶者・パートナーの親	12. 地域の民生委員・児童委員
4. きょうだい・その他の親戚	13. 民間の支援団体
5. 近隣に住む知人や友人	14. 民間のカウンセラー・電話相談
6. 近隣に住んでいない知人や友人	15. 医療機関の医師や看護師
7. 職場関係者	16. インターネットのサイトへの書き込み
8. 学校の先生やスクールカウンセラー	17. その他
9. 子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	18. 相談できる相手がいない

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「留守家庭児童育成室」、「留守家庭児童会室」、

「放課後児童会」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」、「留守家庭児童会」も含みます。

問22 あなたの心の状態についておたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

(1) 生活を楽しんでいますか(仕事や家事、育児など)。

1. とても楽しんでいる	3. あまり楽しんでいない	5. わからない
2. 楽しんでいる	4. 楽しんでいない	

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

1. 希望が持てる	3. 希望が持てない
2. 希望が持てるときもあれば、持てないときもある	4. わからない

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

1. ある	3. ない
2. あるときもあれば、ないときもある	4. わからない

(4) あなたは、ご自分が幸せだと思えますか。

1. とても幸せだと思う	4. 幸せだと思わない
2. 幸せだと思う	5. わからない
3. あまり幸せだと思わない	

問23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが気になる
2. よく頭がいたくなる	11. やる気が起きない
3. 歯がいたい	12. イライラする
4. 不安な気持ちになる	13. よく肩がこる
5. ものを見づらい	14. よく腰がいたくなる
6. 聞こえにくい	15. とくに気になるところはない
7. よくおなかがいたくなる	16. その他
8. よくかぜをひく	17. わからない
9. よくかゆくなる	

問24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある	4. ない
2. 時々ある	5. わからない
3. ほとんどない	

問25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問26 次の①～⑤について、おたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう 思う	まあそ う思う	あまり おも 思わな い	おも 思わな い	わか ら ない
① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5
② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	1	2	3	4	5
③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない	1	2	3	4	5
④ 私は自分から友だちを作るのがうまい	1	2	3	4	5
⑤ 人生で起きる問題の多くは自分で解決できない	1	2	3	4	5

世帯の経済状況についておたずねします。

問27 あなたの家庭の経済状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。

(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. お母さん	4. 兄・姉
2. お父さん	5. おじ・おばなど親戚
3. おじいさん、おばあさん	6. その他の人

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

(①～⑫の項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	う 受けている	う 受けたこと がある	う 受けたこと はない
① 児童手当	1	2	3
② 就学援助費※1	1	2	3
③ 児童扶養手当※2	1	2	3
④ 障がいや難病の手当※3	1	2	3
⑤ 生活保護	1	2	3
⑥ 公的年金 (老齢年金)	1	2	3
⑦ 公的年金 (遺族年金、障がい年金)	1	2	3
⑧ 雇用保険 (失業保険)	1	2	3
⑨ 養育費	1	2	3
⑩ 親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪ 退職金	1	2	3
⑫ その他、株式配当などの副収入	1	2	3

※1 「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童)を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度障がい者介護手当などがあります。

(4) ^{ぜんねん}前年(2015^{ねん}年)の^{せたい}あなたの^{しゅうにゅう}世帯の^{ごうけい}収入の^{がく}合計額は、およそいくらでしたか。(^{ばんごう}あてはまる^{ひと}番号1つに○をつけてください)

※^{しゅうにゅう}収入には、^{はたら}働いて^え得た^{きゅうりょう}給料だけでなく、^{かぶしき}株式^{はいとう}配当や^{ふく}副^{しゅうにゅう}収入を^{ふく}含めて^{ごうけい}合計して

ださい。^{ぜいきん}税金や^{しゃかいほけんりょう}社会保険料を^{はら}払ったあとの^{がく}額で^{こた}お答えください。

※^{こうてき}また、^{えんじよてあて}公的な^{よういくひ}援助手当や^{しおく}養育費・^{ふく}仕送り^{がく}を含んだ^{こた}額で^{こた}お答えください。

1. ^{まんえん} 50万円未 ^{まん} 満	12. ^{まんえん} 550～600万円未 ^{まん} 満	23. ^{まんえん} 1,200～1,300万円未 ^{まん} 満
2. ^{まんえん} 50～100万円未 ^{まん} 満	13. ^{まんえん} 600～650万円未 ^{まん} 満	24. ^{まんえん} 1,300～1,400万円未 ^{まん} 満
3. ^{まんえん} 100～150万円未 ^{まん} 満	14. ^{まんえん} 650～700万円未 ^{まん} 満	25. ^{まんえん} 1,400～1,500万円未 ^{まん} 満
4. ^{まんえん} 150～200万円未 ^{まん} 満	15. ^{まんえん} 700～750万円未 ^{まん} 満	26. ^{まんえん} 1,500～1,750万円未 ^{まん} 満
5. ^{まんえん} 200～250万円未 ^{まん} 満	16. ^{まんえん} 750～800万円未 ^{まん} 満	27. ^{まんえん} 1,750～2,000万円未 ^{まん} 満
6. ^{まんえん} 250～300万円未 ^{まん} 満	17. ^{まんえん} 800～850万円未 ^{まん} 満	28. ^{まんえん} 2,000～2,250万円未 ^{まん} 満
7. ^{まんえん} 300～350万円未 ^{まん} 満	18. ^{まんえん} 850～900万円未 ^{まん} 満	29. ^{まんえん} 2,250～2,500万円未 ^{まん} 満
8. ^{まんえん} 350～400万円未 ^{まん} 満	19. ^{まんえん} 900～950万円未 ^{まん} 満	30. ^{まんえん} 2,500～2,750万円未 ^{まん} 満
9. ^{まんえん} 400～450万円未 ^{まん} 満	20. ^{まんえん} 950～1,000万円未 ^{まん} 満	31. ^{まんえん} 2,750～3,000万円未 ^{まん} 満
10. ^{まんえん} 450～500万円未 ^{まん} 満	21. ^{まんえん} 1,000～1,100万円未 ^{まん} 満	32. ^{まんえん} 3,000万円以上
11. ^{まんえん} 500～550万円未 ^{まん} 満	22. ^{まんえん} 1,100～1,200万円未 ^{まん} 満	33. わからない

問28 ^{まいにち}毎日の^{せいかつ}生活で^{かん}感じていることを^{じゆう}自由に^か書いてください。

しつもん いじょう ちようさ きょうりょく
質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問1 あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
小学生	523	51.7	523	100.0	-	-
中学生	489	48.3	-	-	489	100.0
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
26540	53.0	26540	100.0	-	-
23558	47.0	-	-	23558	100.0
8	0.0	-	-	-	-

問2 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時刻に起きていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
起きている	618	61.1	301	57.6	317	64.8
どちらかといえば、起きている	298	29.4	172	32.9	126	25.8
あまり、起きていない	64	6.3	35	6.7	29	5.9
起きていない	30	3.0	13	2.5	17	3.5
無回答	2	0.2	2	0.4	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
31475	62.8	16248	61.2	15226	64.6
13636	27.2	7451	28.1	6185	26.3
3149	6.3	1806	6.8	1343	5.7
968	1.9	513	1.9	455	1.9
878	1.8	522	2.0	349	1.5

問3 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか(就寝時間)。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
午後9時より前	31	3.1	28	5.4	3	0.6
午後9時台	163	16.1	152	29.1	11	2.2
午後10時台	285	28.2	190	36.3	95	19.4
午後11時台	209	20.7	63	12.0	146	29.9
午前0時台	109	10.8	15	2.9	94	19.2
午前1時より後	35	3.5	6	1.1	29	5.9
きまっていない	179	17.7	68	13.0	111	22.7
無回答	1	0.1	1	0.2	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
986	2.0	875	3.3	110	0.5
7698	15.4	6986	26.3	712	3.0
15978	31.9	11200	42.2	4777	20.3
12723	25.4	3780	14.2	8943	38.0
4538	9.1	506	1.9	4032	17.1
1074	2.1	107	0.4	967	4.1
6257	12.5	2578	9.7	3679	15.6
852	1.7	508	1.9	338	1.4

問4 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時間くらい寝ていますか(睡眠時間)。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
5時間59分より短い	38	3.8	10	1.9	28	5.7
6時間～6時間59分	136	13.4	48	9.2	88	18.0
7時間～7時間59分	247	24.4	76	14.5	171	35.0
8時間～8時間59分	269	26.6	174	33.3	95	19.4
9時間～9時間59分	168	16.6	138	26.4	30	6.1
10時間より長い	24	2.4	23	4.4	1	0.2
きまっていない	127	12.5	51	9.8	76	15.5
無回答	3	0.3	3	0.6	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
1000	2.0	194	0.7	806	3.4
5460	10.9	1069	4.0	4391	18.6
12360	24.7	3773	14.2	8587	36.5
15981	31.9	10180	38.4	5800	24.6
9467	18.9	8298	31.3	1168	5.0
1076	2.1	934	3.5	142	0.6
3891	7.8	1558	5.9	2333	9.9
871	1.7	534	2.0	331	1.4

問5 (1) あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
毎日またはほとんど毎日	856	84.6	455	87.0	401	82.0
週に4～5回	68	6.7	36	6.9	32	6.5
週に2～3回	40	4.0	17	3.3	23	4.7
週に1回程度	19	1.9	5	1.0	14	2.9
食べない	27	2.7	8	1.5	19	3.9
無回答	2	0.2	2	0.4	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
44076	88.0	23880	90.0	20190	85.7
2435	4.9	1185	4.5	1250	5.3
1737	3.5	774	2.9	963	4.1
690	1.4	277	1.0	413	1.8
915	1.8	287	1.1	628	2.7
253	0.5	137	0.5	114	0.5

問5 (2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	154	100.0	66	100.0	88	100.0
時間がない	47	30.5	18	27.3	29	33.0
おながすいていない	69	44.8	33	50.0	36	40.9
用意されていない	6	3.9	2	3.0	4	4.5
食べる習慣がない	10	6.5	5	7.6	5	5.7
わからない	14	9.1	5	7.6	9	10.2
無回答	8	5.2	3	4.5	5	5.7

人数	%	人数	%	人数	%
5777	100.0	2523	100.0	3254	100.0
2030	35.1	854	33.8	1176	36.1
2226	38.5	1031	40.9	1195	36.7
246	4.3	93	3.7	153	4.7
274	4.7	91	3.6	183	5.6
355	6.1	149	5.9	206	6.3
647	11.2	305	12.1	342	10.5

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問6 (1) あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
毎日またはほとんど毎日	982	97.0	511	97.7	471	96.3
週に4~5回	19	1.9	7	1.3	12	2.5
週に2~3回	6	0.6	1	0.2	5	1.0
週に1回程度	-	-	-	-	-	-
食べない	1	0.1	1	0.2	-	-
無回答	4	0.4	3	0.6	1	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
49102	98.0	26044	98.1	23052	97.9
512	1.0	239	0.9	273	1.2
105	0.2	42	0.2	63	0.3
22	0.0	14	0.1	8	0.0
36	0.1	20	0.1	16	0.1
329	0.7	181	0.7	146	0.6

問6 (2) 「1. 毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由はなんですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	26	100.0	9	100.0	17	100.0
時間がない	6	23.1	3	33.3	3	17.6
おなかがすいていない	10	38.5	3	33.3	7	41.2
用意されていない	3	11.5	2	22.2	1	5.9
食べる習慣がない	-	-	-	-	-	-
わからない	3	11.5	-	-	3	17.6
無回答	4	15.4	1	11.1	3	17.6

人数	%	人数	%	人数	%
675	100.0	315	100.0	360	100.0
72	10.7	35	11.1	37	10.3
246	36.4	100	31.7	146	40.6
48	7.1	18	5.7	30	8.3
18	2.7	9	2.9	9	2.5
86	12.7	32	10.2	54	15.0
205	30.4	121	38.4	84	23.3

問7 あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。(夏休みなどの長期のお休みの日も含みます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
必ず食べる	770	76.1	430	82.2	340	69.5
食べることが多い	190	18.8	76	14.5	114	23.3
食べないことが多い	38	3.8	13	2.5	25	5.1
食べない	7	0.7	2	0.4	5	1.0
わからない	7	0.7	2	0.4	5	1.0
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
40726	81.3	22456	84.6	18265	77.5
7499	15.0	3327	12.5	4171	17.7
1147	2.3	447	1.7	700	3.0
148	0.3	58	0.2	90	0.4
312	0.6	114	0.4	198	0.8
274	0.5	138	0.5	134	0.6

問8 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
毎日またはほとんど毎日	976	96.4	501	95.8	475	97.1
週に4~5回	24	2.4	15	2.9	9	1.8
週に2~3回	7	0.7	3	0.6	4	0.8
週に1回程度	-	-	-	-	-	-
入らない	2	0.2	2	0.4	-	-
無回答	3	0.3	2	0.4	1	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
47331	94.5	24820	93.5	22507	95.5
1752	3.5	1122	4.2	628	2.7
581	1.2	356	1.3	225	1.0
87	0.2	61	0.2	26	0.1
21	0.0	9	0.0	12	0.1
334	0.7	172	0.6	160	0.7

問9 あなたは、学校に遅刻することがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
毎日またはほとんど毎日	38	3.8	24	4.6	14	2.9
週に4~5回	3	0.3	3	0.6	-	-
週に2~3回	15	1.5	8	1.5	7	1.4
週に1回程度	39	3.9	24	4.6	15	3.1
遅刻はしない	880	87.0	455	87.0	425	86.9
無回答	37	3.7	9	1.7	28	5.7

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
2152	4.3	1359	5.1	793	3.4
347	0.7	228	0.9	119	0.5
978	2.0	615	2.3	363	1.5
2080	4.2	1124	4.2	955	4.1
42736	85.3	22297	84.0	20435	86.7
1813	3.6	917	3.5	893	3.8

問10 ① おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	361	35.7	236	45.1	125	25.6
週に4~5回	89	8.8	47	9.0	42	8.6
週に2~3回	95	9.4	52	9.9	43	8.8
週に1回程度	62	6.1	27	5.2	35	7.2
月に1~2回	31	3.1	13	2.5	18	3.7
ほとんどない	220	21.7	93	17.8	127	26.0
まったくない	152	15.0	54	10.3	98	20.0
無回答	2	0.2	1	0.2	1	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
23956	47.8	14468	54.5	9482	40.2
3200	6.4	1698	6.4	1502	6.4
4617	9.2	2604	9.8	2013	8.5
2425	4.8	1192	4.5	1233	5.2
1216	2.4	551	2.1	665	2.8
7960	15.9	3477	13.1	4483	19.0
6408	12.8	2354	8.9	4054	17.2
324	0.6	196	0.7	126	0.5

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問10 ② おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	746	73.7	437	83.6	309	63.2
週に4～5回	115	11.4	30	5.7	85	17.4
週に2～3回	69	6.8	20	3.8	49	10.0
週に1回程度	24	2.4	6	1.1	18	3.7
月に1～2回	12	1.2	8	1.5	4	0.8
ほとんどない	29	2.9	11	2.1	18	3.7
まったくない	12	1.2	8	1.5	4	0.8
無回答	5	0.5	3	0.6	2	0.4

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
39445	78.7	22564	85.0	16875	71.6
4418	8.8	1635	6.2	2783	11.8
3166	6.3	1149	4.3	2017	8.6
795	1.6	280	1.1	515	2.2
313	0.6	122	0.5	191	0.8
1112	2.2	404	1.5	708	3.0
581	1.2	205	0.8	376	1.6
276	0.6	181	0.7	93	0.4

問10 ③ おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	307	30.3	155	29.6	152	31.1
週に4～5回	140	13.8	81	15.5	59	12.1
週に2～3回	124	12.3	52	9.9	72	14.7
週に1回程度	51	5.0	31	5.9	20	4.1
月に1～2回	35	3.5	14	2.7	21	4.3
ほとんどない	169	16.7	82	15.7	87	17.8
まったくない	185	18.3	108	20.7	77	15.7
無回答	1	0.1	-	-	1	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
21621	43.2	11927	44.9	9690	41.1
5909	11.8	3214	12.1	2695	11.4
4812	9.6	2505	9.4	2305	9.8
2459	4.9	1249	4.7	1210	5.1
1575	3.1	794	3.0	781	3.3
6990	14.0	3461	13.0	3529	15.0
6327	12.6	3122	11.8	3205	13.6
413	0.8	268	1.0	143	0.6

問10 ④ おうちの手伝いをしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	310	30.6	203	38.8	107	21.9
週に4～5回	140	13.8	73	14.0	67	13.7
週に2～3回	216	21.3	113	21.6	103	21.1
週に1回程度	109	10.8	50	9.6	59	12.1
月に1～2回	72	7.1	29	5.5	43	8.8
ほとんどない	103	10.2	35	6.7	68	13.9
まったくない	56	5.5	18	3.4	38	7.8
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
11734	23.4	6931	26.1	4800	20.4
6104	12.2	3580	13.5	2523	10.7
9717	19.4	5564	21.0	4153	17.6
6200	12.4	3162	11.9	3038	12.9
4949	9.9	2497	9.4	2452	10.4
7424	14.8	3262	12.3	4161	17.7
3523	7.0	1270	4.8	2252	9.6
455	0.9	274	1.0	179	0.8

問10 ⑤ おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	81	8.0	73	14.0	8	1.6
週に4～5回	45	4.4	41	7.8	4	0.8
週に2～3回	73	7.2	56	10.7	17	3.5
週に1回程度	55	5.4	35	6.7	20	4.1
月に1～2回	65	6.4	42	8.0	23	4.7
ほとんどない	314	31.0	149	28.5	165	33.7
まったくない	371	36.7	122	23.3	249	50.9
無回答	8	0.8	5	1.0	3	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
6223	12.4	5337	20.1	885	3.8
2648	5.3	2166	8.2	482	2.0
4121	8.2	3119	11.8	1001	4.2
3510	7.0	2277	8.6	1233	5.2
3699	7.4	1797	6.8	1902	8.1
14025	28.0	6640	25.0	7384	31.3
15375	30.7	4871	18.4	10502	44.6
505	1.0	333	1.3	169	0.7

問10 ⑥ おうちの大人の人と学校のできごとについて話しますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ほとんど毎日	304	30.0	191	36.5	113	23.1
週に4～5回	161	15.9	84	16.1	77	15.7
週に2～3回	187	18.5	83	15.9	104	21.3
週に1回程度	95	9.4	39	7.5	56	11.5
月に1～2回	62	6.1	37	7.1	25	5.1
ほとんどない	120	11.9	53	10.1	67	13.7
まったくない	77	7.6	34	6.5	43	8.8
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
20001	39.9	12049	45.4	7949	33.7
7893	15.8	4212	15.9	3680	15.6
7655	15.3	3771	14.2	3884	16.5
3919	7.8	1641	6.2	2278	9.7
2406	4.8	1058	4.0	1348	5.7
4729	9.4	2263	8.5	2466	10.5
2974	5.9	1209	4.6	1763	7.5
529	1.1	337	1.3	190	0.8

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問10 ⑦ おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	122	12.1	97	18.5	25	5.1	6586	13.1	4654	17.5	1930	8.2
週に4～5回	50	4.9	40	7.6	10	2.0	2668	5.3	1996	7.5	671	2.8
週に2～3回	111	11.0	84	16.1	27	5.5	5587	11.2	4214	15.9	1371	5.8
週に1回程度	83	8.2	50	9.6	33	6.7	5729	11.4	3929	14.8	1800	7.6
月に1～2回	164	16.2	80	15.3	84	17.2	7201	14.4	3772	14.2	3428	14.6
ほとんどない	296	29.2	121	23.1	175	35.8	12654	25.3	5072	19.1	7582	32.2
まったくない	181	17.9	49	9.4	132	27.0	9107	18.2	2528	9.5	6579	27.9
無回答	5	0.5	2	0.4	3	0.6	574	1.1	375	1.4	197	0.8

問10 ⑧ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	162	16.0	106	20.3	56	11.5	8145	16.3	4762	17.9	3382	14.4
週に4～5回	128	12.6	68	13.0	60	12.3	5570	11.1	3084	11.6	2485	10.5
週に2～3回	172	17.0	91	17.4	81	16.6	8289	16.5	4415	16.6	3874	16.4
週に1回程度	151	14.9	61	11.7	90	18.4	6240	12.5	3185	12.0	3055	13.0
月に1～2回	70	6.9	30	5.7	40	8.2	4795	9.6	2363	8.9	2432	10.3
ほとんどない	211	20.8	107	20.5	104	21.3	9976	19.9	5285	19.9	4691	19.9
まったくない	116	11.5	59	11.3	57	11.7	6562	13.1	3111	11.7	3448	14.6
無回答	2	0.2	1	0.2	1	0.2	529	1.1	335	1.3	191	0.8

問10 ⑨ おうちの大人の人と文化活動(図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど)をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	38	3.8	32	6.1	6	1.2	1546	3.1	966	3.6	580	2.5
週に4～5回	5	0.5	5	1.0	-	-	285	0.6	179	0.7	106	0.4
週に2～3回	20	2.0	15	2.9	5	1.0	815	1.6	595	2.2	220	0.9
週に1回程度	48	4.7	42	8.0	6	1.2	1803	3.6	1389	5.2	414	1.8
月に1～2回	220	21.7	153	29.3	67	13.7	10031	20.0	6745	25.4	3285	13.9
ほとんどない	374	37.0	184	35.2	190	38.9	20227	40.4	10665	40.2	9560	40.6
まったくない	305	30.1	91	17.4	214	43.8	15040	30.0	5779	21.8	9259	39.3
無回答	2	0.2	1	0.2	1	0.2	359	0.7	222	0.8	134	0.6

問10 ⑩ おうちの大人の人と一緒に外出しますか(散歩する・買い物に出かける・外食をするなど)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ほとんど毎日	139	13.7	115	22.0	24	4.9	5886	11.7	4033	15.2	1852	7.9
週に4～5回	115	11.4	80	15.3	35	7.2	4234	8.5	3126	11.8	1108	4.7
週に2～3回	282	27.9	176	33.7	106	21.7	12539	25.0	8471	31.9	4067	17.3
週に1回程度	225	22.2	78	14.9	147	30.1	12804	25.6	6285	23.7	6516	27.7
月に1～2回	185	18.3	51	9.8	134	27.4	11032	22.0	3468	13.1	7563	32.1
ほとんどない	45	4.4	18	3.4	27	5.5	2585	5.2	816	3.1	1769	7.5
まったくない	16	1.6	4	0.8	12	2.5	729	1.5	152	0.6	577	2.4
無回答	5	0.5	1	0.2	4	0.8	297	0.6	189	0.7	106	0.4

問11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
おうちの人と一緒に過ごしているとき	565	55.8	386	73.8	179	36.6	30902	61.7	19384	73.0	11514	48.9
ともだちと一緒に過ごしているとき	864	85.4	450	86.0	414	84.7	41429	82.7	22170	83.5	19256	81.7
学校生活やクラブ活動に参加しているとき	551	54.4	278	53.2	273	55.8	28671	57.2	15112	56.9	13557	57.5
ひとりで過ごしているとき	409	40.4	181	34.6	228	46.6	18597	37.1	7567	28.5	11028	46.8
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	205	20.3	140	26.8	65	13.3	9390	18.7	6666	25.1	2724	11.6
塾や習い事で過ごしているとき	314	31.0	222	42.4	92	18.8	13922	27.8	9647	36.3	4275	18.1
特に楽しいと思うときはない	12	1.2	2	0.4	10	2.0	604	1.2	212	0.8	392	1.7
その他	212	20.9	141	27.0	71	14.5	7085	14.1	3685	13.9	3400	14.4
無回答	2	0.2	-	-	2	0.4	386	0.8	239	0.9	144	0.6

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	687	67.9	386	73.8	301	61.6	30087	60.0	17359	65.4	12724	54.0
きょうだい	597	59.0	338	64.6	259	53.0	22725	45.4	13384	50.4	9340	39.6
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	239	23.6	135	25.8	104	21.3	9699	19.4	5810	21.9	3887	16.5
学校のともだち	554	54.7	333	63.7	221	45.2	27090	54.1	18009	67.9	9081	38.5
クラブ活動の仲間	319	31.5	27	5.2	292	59.7	18236	36.4	1947	7.3	16288	69.1
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	151	14.9	94	18.0	57	11.7	5025	10.0	2955	11.1	2069	8.8
ひとりである	268	26.5	132	25.2	136	27.8	9347	18.7	4861	18.3	4485	19.0
その他の人	49	4.8	33	6.3	16	3.3	1367	2.7	895	3.4	470	2.0
無回答	2	0.2	-	-	2	0.4	329	0.7	203	0.8	124	0.5

問13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
自分の家	913	90.2	473	90.4	440	90.0	40385	80.6	22570	85.0	17812	75.6
おばあちゃん・おじいちゃんの家	121	12.0	88	16.8	33	6.7	3751	7.5	2577	9.7	1174	5.0
ともだちの家	330	32.6	225	43.0	105	21.5	11163	22.3	8894	33.5	2269	9.6
塾	313	30.9	107	20.5	206	42.1	13137	26.2	5162	19.4	7975	33.9
習いごと	386	38.1	267	51.1	119	24.3	16344	32.6	11918	44.9	4425	18.8
学校（クラブ活動など）	341	33.7	52	9.9	289	59.1	19681	39.3	4375	16.5	15305	65.0
公園・広場	216	21.3	144	27.5	72	14.7	12536	25.0	10659	40.2	1877	8.0
スーパーやショッピングモール	71	7.0	35	6.7	36	7.4	2512	5.0	1139	4.3	1373	5.8
コンビニエンスストア	61	6.0	24	4.6	37	7.6	1553	3.1	728	2.7	825	3.5
ゲームセンター	29	2.9	9	1.7	20	4.1	958	1.9	308	1.2	650	2.8
図書館や公民館など公共の施設	50	4.9	34	6.5	16	3.3	1752	3.5	1406	5.3	346	1.5
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）	9	0.9	4	0.8	5	1.0	395	0.8	281	1.1	114	0.5
学童保育	30	3.0	30	5.7	-	-	1517	3.0	1428	5.4	87	0.4
その他	68	6.7	48	9.2	20	4.1	1821	3.6	1160	4.4	659	2.8
無回答	5	0.5	4	0.8	1	0.2	315	0.6	196	0.7	117	0.5

問14 あなたは、学校のある日、授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
まったくしない	65	6.4	10	1.9	55	11.2	4322	8.6	1488	5.6	2831	12.0
30分より少ない	138	13.6	52	9.9	86	17.6	7330	14.6	3712	14.0	3618	15.4
30分以上、1時間より少ない	217	21.4	140	26.8	77	15.7	11757	23.5	7585	28.6	4170	17.7
1時間以上、2時間より少ない	267	26.4	155	29.6	112	22.9	13091	26.1	7220	27.2	5871	24.9
2時間以上、3時間より少ない	159	15.7	68	13.0	91	18.6	6304	12.6	2548	9.6	3756	15.9
3時間以上	82	8.1	53	10.1	29	5.9	3424	6.8	1991	7.5	1433	6.1
わからない	81	8.0	44	8.4	37	7.6	3435	6.9	1708	6.4	1727	7.3
無回答	3	0.3	1	0.2	2	0.4	443	0.9	288	1.1	152	0.6

問15 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
よくわかる	212	20.9	163	31.2	49	10.0	11899	23.7	8715	32.8	3184	13.5
だいたいわかる	595	58.8	310	59.3	285	58.3	28390	56.7	14637	55.2	13751	58.4
あまりわからない	139	13.7	30	5.7	109	22.3	6267	12.5	1979	7.5	4287	18.2
ほとんどわからない	30	3.0	4	0.8	26	5.3	1510	3.0	377	1.4	1133	4.8
わからない	30	3.0	12	2.3	18	3.7	1400	2.8	424	1.6	975	4.1
無回答	6	0.6	4	0.8	2	0.4	640	1.3	408	1.5	228	1.0

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問16 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0
まったくしない	356	35.2	142	27.2	214	43.8	16166	32.3	6556	24.7
30分より少ない	302	29.8	174	33.3	128	26.2	16493	32.9	9775	36.8
30分以上、1時間より少ない	147	14.5	89	17.0	58	11.9	8054	16.1	5139	19.4
1時間以上、2時間より少ない	81	8.0	51	9.8	30	6.1	3340	6.7	1991	7.5
2時間以上、3時間より少ない	21	2.1	8	1.5	13	2.7	1092	2.2	620	2.3
3時間以上	25	2.5	15	2.9	10	2.0	862	1.7	476	1.8
わからない	78	7.7	42	8.0	36	7.4	3620	7.2	1671	6.3
無回答	2	0.2	2	0.4	-	-	479	1.0	312	1.2

問17 (1) あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。(時々もらう場合は、1か月のおおよその平均の金額に○をつけてください。ただしお年玉はのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0
500円より少ない	73	7.2	65	12.4	8	1.6	4180	8.3	3728	14.0
500～999円	170	16.8	156	29.8	14	2.9	7830	15.6	6682	25.2
1000～1499円	164	16.2	64	12.2	100	20.4	7680	15.3	3376	12.7
1500～1999円	54	5.3	13	2.5	41	8.4	2764	5.5	843	3.2
2000～2499円	109	10.8	10	1.9	99	20.2	4718	9.4	760	2.9
2500～2999円	23	2.3	8	1.5	15	3.1	1054	2.1	222	0.8
3000～3499円	39	3.9	3	0.6	36	7.4	2969	5.9	449	1.7
3500～3999円	8	0.8	-	-	8	1.6	362	0.7	74	0.3
4000～4499円	7	0.7	-	-	7	1.4	483	1.0	75	0.3
4500～4999円	8	0.8	1	0.2	7	1.4	222	0.4	52	0.2
5000円以上	27	2.7	8	1.5	19	3.9	1137	2.3	232	0.9
もらっていない(→問18にすすんでください)	246	24.3	149	28.5	97	19.8	13394	26.7	8459	31.9
わからない	76	7.5	41	7.8	35	7.2	2811	5.6	1283	4.8
無回答	8	0.8	5	1.0	3	0.6	502	1.0	305	1.1

問17 (2) 毎月のおこづかいは、たりていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	682	100.0	328	100.0	354	100.0	33399	100.0	16493	100.0
十分たりている	356	52.2	201	61.3	155	43.8	16805	50.3	9644	58.5
どちらかと言えば、たりている	151	22.1	57	17.4	94	26.6	7387	22.1	3260	19.8
ややたりない	103	15.1	34	10.4	69	19.5	5148	15.4	1746	10.6
まったく、たりない	41	6.0	15	4.6	26	7.3	2416	7.2	853	5.2
わからない	13	1.9	10	3.0	3	0.8	1130	3.4	670	4.1
無回答	18	2.6	11	3.4	7	2.0	513	1.5	320	1.9

問17 (3) 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	682	100.0	328	100.0	354	100.0	33399	100.0	16493	100.0
ともだちとの遊び	357	52.3	81	24.7	276	78.0	17109	51.2	4794	29.1
学校で使う必要なもの	112	16.4	47	14.3	65	18.4	4961	14.9	1835	11.1
本	166	24.3	73	22.3	93	26.3	6431	19.3	2678	16.2
マンガ	183	26.8	89	27.1	94	26.6	7680	23.0	3321	20.1
食べ物や飲み物	294	43.1	97	29.6	197	55.6	16448	49.2	7137	43.3
ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)	114	16.7	62	18.9	52	14.7	5013	15.0	2590	15.7
貯金	391	57.3	216	65.9	175	49.4	16074	48.1	8783	53.3
音楽関連(CD、DVD、曲のダウンロード)	41	6.0	5	1.5	36	10.2	2247	6.7	254	1.5
その他	139	20.4	77	23.5	62	17.5	5476	16.4	2640	16.0
わからない	14	2.1	8	2.4	6	1.7	757	2.3	476	2.9
無回答	2	0.3	1	0.3	1	0.3	134	0.4	94	0.6

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問18 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0
うちのこと	103	10.2	41	7.8	62	12.7	3866	7.7	1620	6.1
学校や勉強のこと	247	24.4	87	16.6	160	32.7	11562	23.1	3864	14.6
クラブ活動のこと	123	12.2	20	3.8	103	21.1	5604	11.2	557	2.1
自分のこと(外見や体型など)	188	18.6	98	18.7	90	18.4	8850	17.7	4123	15.5
ともだちのこと	142	14.0	68	13.0	74	15.1	7170	14.3	3868	14.6
好きな人のこと	98	9.7	51	9.8	47	9.6	4698	9.4	2506	9.4
進学・進路のこと	197	19.5	71	13.6	126	25.8	8399	16.8	1853	7.0
その他のこと	92	9.1	54	10.3	38	7.8	3155	6.3	1515	5.7
いやなことや悩んでいることはない	325	32.1	192	36.7	133	27.2	17745	35.4	11204	42.2
わからない	125	12.4	67	12.8	58	11.9	6402	12.8	3473	13.1
無回答	23	2.3	11	2.1	12	2.5	1478	2.9	887	3.3

問19 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか(だれに話しますか。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0
親	586	57.9	348	66.5	238	48.7	29719	59.3	17649	66.5
きょうだい	187	18.5	107	20.5	80	16.4	7619	15.2	4384	16.5
おばあちゃん・おじいちゃん	133	13.1	93	17.8	40	8.2	4843	9.7	3258	12.3
おじ、おばなど親戚	26	2.6	12	2.3	14	2.9	1051	2.1	613	2.3
学校のともだち	472	46.6	198	37.9	274	56.0	23028	46.0	10593	39.9
塾や習いごとのともだち	105	10.4	54	10.3	51	10.4	3211	6.4	1523	5.7
その他のともだち	73	7.2	37	7.1	36	7.4	2401	4.8	1039	3.9
いとこ	73	7.2	55	10.5	18	3.7	1767	3.5	1156	4.4
担任の先生や他のクラスの先生	109	10.8	76	14.5	33	6.7	6537	13.0	3997	15.1
保健室の先生	13	1.3	8	1.5	5	1.0	768	1.5	399	1.5
クラブ活動の先生	22	2.2	1	0.2	21	4.3	1143	2.3	116	0.4
スクールカウンセラー	2	0.2	1	0.2	1	0.2	286	0.6	116	0.4
塾や習いごとの先生	55	5.4	26	5.0	29	5.9	1580	3.2	628	2.4
学童保育の先生	2	0.2	2	0.4	-	-	298	0.6	253	1.0
子ども専用の電話相談	1	0.1	1	0.2	-	-	130	0.3	91	0.3
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	15	1.5	2	0.4	13	2.7	479	1.0	83	0.3
近所の人	15	1.5	10	1.9	5	1.0	321	0.6	224	0.8
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	-	-	-	-	-	-	35	0.1	17	0.1
その他の人	26	2.6	19	3.6	7	1.4	800	1.6	417	1.6
だれにも相談できない	41	4.1	26	5.0	15	3.1	2025	4.0	1050	4.0
だれにも相談したくない	133	13.1	65	12.4	68	13.9	5699	11.4	2652	10.0
わからない	92	9.1	45	8.6	47	9.6	4623	9.2	2015	7.6
無回答	26	2.6	13	2.5	13	2.7	1300	2.6	811	3.1

問20 ① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0
お母さん	732	72.3	395	75.5	337	68.9	36329	72.5	20490	77.2
お父さん	507	50.1	277	53.0	230	47.0	24906	49.7	14406	54.3
おじいさん・おばあさん	323	31.9	188	35.9	135	27.6	14221	28.4	8305	31.3
きょうだい	290	28.7	156	29.8	134	27.4	13731	27.4	7757	29.2
ともだち	635	62.7	292	55.8	343	70.1	31157	62.2	15612	58.8
その他の人	107	10.6	62	11.9	45	9.2	4565	9.1	2346	8.8
誰もいない	21	2.1	9	1.7	12	2.5	1139	2.3	566	2.1
わからない	86	8.5	41	7.8	45	9.2	4313	8.6	1689	6.4
無回答	1	0.1	-	-	1	0.2	623	1.2	328	1.2

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	786	77.7	431	82.4	355	72.6	39296	78.4	22051	83.1	17242	73.2
お父さん	619	61.2	342	65.4	277	56.6	30062	60.0	17318	65.3	12742	54.1
おじいさん・おばあさん	466	46.0	284	54.3	182	37.2	21330	42.6	12372	46.6	8957	38.0
きょうだい	205	20.3	120	22.9	85	17.4	11144	22.2	6379	24.0	4765	20.2
ともだち	399	39.4	159	30.4	240	49.1	20862	41.6	9993	37.7	10869	46.1
その他の人	153	15.1	86	16.4	67	13.7	7558	15.1	3801	14.3	3756	15.9
誰もいない	39	3.9	22	4.2	17	3.5	1570	3.1	693	2.6	877	3.7
わからない	61	6.0	26	5.0	35	7.2	3022	6.0	1033	3.9	1988	8.4
無回答	1	0.1	-	-	1	0.2	581	1.2	315	1.2	262	1.1

問20 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	593	58.6	357	68.3	236	48.3	30291	60.5	17968	67.7	12320	52.3
お父さん	408	40.3	253	48.4	155	31.7	20676	41.3	12507	47.1	8167	34.7
おじいさん・おばあさん	293	29.0	191	36.5	102	20.9	13099	26.1	7856	29.6	5242	22.3
きょうだい	283	28.0	162	31.0	121	24.7	12861	25.7	7363	27.7	5498	23.3
ともだち	598	59.1	270	51.6	328	67.1	30775	61.4	15125	57.0	15650	66.4
その他の人	104	10.3	62	11.9	42	8.6	4123	8.2	2129	8.0	1993	8.5
誰もいない	36	3.6	19	3.6	17	3.5	1465	2.9	728	2.7	737	3.1
わからない	93	9.2	38	7.3	55	11.2	4424	8.8	1687	6.4	2736	11.6
無回答	3	0.3	3	0.6	-	-	735	1.5	403	1.5	328	1.4

問20 ④ ふだんから、あなたの気持ちをよくわかってきている。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	665	65.7	393	75.1	272	55.6	34473	68.8	20309	76.5	14160	60.1
お父さん	440	43.5	272	52.0	168	34.4	22304	44.5	13679	51.5	8623	36.6
おじいさん・おばあさん	311	30.7	206	39.4	105	21.5	14758	29.5	9134	34.4	5623	23.9
きょうだい	277	27.4	161	30.8	116	23.7	12975	25.9	7407	27.9	5567	23.6
ともだち	422	41.7	179	34.2	243	49.7	22243	44.4	10663	40.2	11580	49.2
その他の人	73	7.2	44	8.4	29	5.9	3517	7.0	1912	7.2	1604	6.8
誰もいない	53	5.2	24	4.6	29	5.9	2097	4.2	904	3.4	1193	5.1
わからない	118	11.7	47	9.0	71	14.5	5328	10.6	1939	7.3	3389	14.4
無回答	5	0.5	2	0.4	3	0.6	754	1.5	414	1.6	336	1.4

問20 ⑤ いつでも、あなたのことを信じてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	675	66.7	375	71.7	300	61.3	34859	69.6	19770	74.5	15087	64.0
お父さん	529	52.3	302	57.7	227	46.4	26699	53.3	15340	57.8	11357	48.2
おじいさん・おばあさん	421	41.6	256	48.9	165	33.7	19802	39.5	11581	43.6	8220	34.9
きょうだい	281	27.8	169	32.3	112	22.9	14179	28.3	7774	29.3	6405	27.2
ともだち	396	39.1	202	38.6	194	39.7	21340	42.6	11085	41.8	10255	43.5
その他の人	87	8.6	58	11.1	29	5.9	4067	8.1	2293	8.6	1774	7.5
誰もいない	38	3.8	13	2.5	25	5.1	1558	3.1	732	2.8	826	3.5
わからない	161	15.9	71	13.6	90	18.4	6957	13.9	2623	9.9	4332	18.4
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8	773	1.5	427	1.6	342	1.5

問20 ⑥ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	672	66.4	391	74.8	281	57.5	34657	69.2	20262	76.3	14393	61.1
お父さん	424	41.9	264	50.5	160	32.7	22269	44.4	13485	50.8	8783	37.3
おじいさん・おばあさん	280	27.7	188	35.9	92	18.8	13353	26.6	8228	31.0	5124	21.8
きょうだい	183	18.1	111	21.2	72	14.7	10262	20.5	5892	22.2	4370	18.5
ともだち	446	44.1	199	38.0	247	50.5	22896	45.7	10967	41.3	11929	50.6
その他の人	104	10.3	61	11.7	43	8.8	4973	9.9	2579	9.7	2394	10.2
誰もいない	44	4.3	22	4.2	22	4.5	1699	3.4	800	3.0	899	3.8
わからない	114	11.3	40	7.6	74	15.1	5445	10.9	1985	7.5	3458	14.7
無回答	7	0.7	4	0.8	3	0.6	783	1.6	439	1.7	340	1.4

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ⑦ あなたの良いところも、良くないところもよくわかってくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	795	78.6	443	84.7	352	72.0	39495	78.8	22407	84.4	17085	72.5
お父さん	591	58.4	340	65.0	251	51.3	28975	57.8	16737	63.1	12236	51.9
おじいさん・おばあさん	378	37.4	235	44.9	143	29.2	17842	35.6	10395	39.2	7446	31.6
きょうだい	307	30.3	181	34.6	126	25.8	15596	31.1	8446	31.8	7149	30.3
ともだち	401	39.6	166	31.7	235	48.1	21899	43.7	9963	37.5	11936	50.7
その他の人	98	9.7	60	11.5	38	7.8	4840	9.7	2649	10.0	2190	9.3
誰もいない	24	2.4	12	2.3	12	2.5	1038	2.1	438	1.7	600	2.5
わからない	95	9.4	34	6.5	61	12.5	4382	8.7	1510	5.7	2871	12.2
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8	710	1.4	391	1.5	315	1.3

問20 ⑧ あなたのことをとても大切にしてくれる。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
お母さん	821	81.1	466	89.1	355	72.6	41949	83.7	23654	89.1	18292	77.6
お父さん	701	69.3	397	75.9	304	62.2	35129	70.1	20139	75.9	14988	63.6
おじいさん・おばあさん	604	59.7	363	69.4	241	49.3	29390	58.7	17191	64.8	12198	51.8
きょうだい	415	41.0	239	45.7	176	36.0	21582	43.1	12217	46.0	9364	39.7
ともだち	433	42.8	210	40.2	223	45.6	24571	49.0	12530	47.2	12041	51.1
その他の人	143	14.1	99	18.9	44	9.0	7129	14.2	4139	15.6	2989	12.7
誰もいない	13	1.3	6	1.1	7	1.4	658	1.3	231	0.9	427	1.8
わからない	116	11.5	31	5.9	85	17.4	4324	8.6	1280	4.8	3043	12.9
無回答	6	0.6	-	-	6	1.2	738	1.5	407	1.5	327	1.4

問21 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
ねむれない	134	13.2	70	13.4	64	13.1	5914	11.8	3331	12.6	2582	11.0
よく頭がいたくなる	178	17.6	79	15.1	99	20.2	7761	15.5	3298	12.4	4463	18.9
歯がいたい	27	2.7	16	3.1	11	2.2	1395	2.8	775	2.9	620	2.6
不安な気持ちになる	209	20.7	106	20.3	103	21.1	9535	19.0	4406	16.6	5129	21.8
ものを見づらい	89	8.8	42	8.0	47	9.6	4785	9.5	2029	7.6	2756	11.7
聞こえにくい	54	5.3	24	4.6	30	6.1	2850	5.7	1232	4.6	1618	6.9
よくおなかがいたくなる	208	20.6	110	21.0	98	20.0	9744	19.4	4430	16.7	5314	22.6
よくかぜをひく	34	3.4	15	2.9	19	3.9	2082	4.2	956	3.6	1126	4.8
よくかゆくなる	171	16.9	113	21.6	58	11.9	10205	20.4	6461	24.3	3743	15.9
まわりが気になる	174	17.2	87	16.6	87	17.8	9389	18.7	4432	16.7	4957	21.0
やる気が起きない	237	23.4	79	15.1	158	32.3	12339	24.6	4781	18.0	7557	32.1
イライラする	228	22.5	117	22.4	111	22.7	12541	25.0	6098	23.0	6443	27.3
とくに気になるところはない	250	24.7	136	26.0	114	23.3	12430	24.8	7202	27.1	5228	22.2
その他	84	8.3	53	10.1	31	6.3	3337	6.7	1771	6.7	1566	6.6
わからない	86	8.5	45	8.6	41	8.4	3554	7.1	1757	6.6	1796	7.6
無回答	18	1.8	7	1.3	11	2.2	1606	3.2	865	3.3	737	3.1

問22 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0	50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
本(学校の教科書やマンガはのぞく)	756	74.7	376	71.9	380	77.7	36496	72.8	19604	73.9	16891	71.7
マンガ・雑誌	804	79.4	406	77.6	398	81.4	38031	75.9	19607	73.9	18423	78.2
子ども部屋(ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)	816	80.6	403	77.1	413	84.5	37007	73.9	18751	70.7	18253	77.5
インターネットにつながるパソコン	389	38.4	146	27.9	243	49.7	19616	39.1	8326	31.4	11289	47.9
運動用具(ボール・ラケットなど)	814	80.4	423	80.9	391	80.0	37609	75.1	20215	76.2	17391	73.8
ゲーム機	830	82.0	440	84.1	390	79.8	41208	82.2	22355	84.2	18851	80.0
自転車	952	94.1	490	93.7	462	94.5	46247	92.3	24500	92.3	21745	92.3
テレビ	811	80.1	404	77.2	407	83.2	39032	77.9	20298	76.5	18732	79.5
けいたい電話	490	48.4	268	51.2	222	45.4	26427	52.7	14188	53.5	12238	51.9
スマートフォン・タブレット機器(通話等アプリ(ライン)やツイッター、フェイスブックなどできるもの)	654	64.6	258	49.3	396	81.0	29684	59.2	11445	43.1	18237	77.4
化粧品・アクセサリー	284	28.1	114	21.8	170	34.8	13233	26.4	5739	21.6	7492	31.8
習いごとなどの道具(ピアノなど)	592	58.5	354	67.7	238	48.7	26767	53.4	16492	62.1	10275	43.6
自分で選んだ服	725	71.6	369	70.6	356	72.8	34665	69.2	18050	68.0	16612	70.5
キャラクターグッズ	571	56.4	317	60.6	254	51.9	29357	58.6	16416	61.9	12940	54.9
その他	236	23.3	147	28.1	89	18.2	9072	18.1	4695	17.7	4377	18.6
あてはまるものはない	1	0.1	-	-	1	0.2	105	0.2	50	0.2	54	0.2
無回答	1	0.1	1	0.2	-	-	602	1.2	337	1.3	262	1.1

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問23 (1) 自分に自信がある (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
ある (4)	130	12.8	102	19.5	28	5.7
どちらかというところ (3)	318	31.4	208	39.8	110	22.5
どちらかというところない (2)	345	34.1	139	26.6	206	42.1
ない (1)	208	20.6	69	13.2	139	28.4
無回答	11	1.1	5	1.0	6	1.2
加重平均値	2.4	2.4	2.7	2.7	2.1	2.1

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
8445	16.9	5841	22.0	2601	11.0
17772	35.5	11056	41.7	6716	28.5
14532	29.0	6272	23.6	8260	35.1
8454	16.9	2876	10.8	5577	23.7
903	1.8	495	1.9	404	1.7
2.5	2.5	2.8	2.8	2.3	2.3

問23 (2) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
できる (4)	215	21.2	108	20.7	107	21.9
どちらかというところ (3)	430	42.5	225	43.0	205	41.9
どちらかというところできない (2)	259	25.6	136	26.0	123	25.2
できない (1)	102	10.1	50	9.6	52	10.6
無回答	6	0.6	4	0.8	2	0.4
加重平均値	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
11610	23.2	6173	23.3	5434	23.1
19202	38.3	10685	40.3	8517	36.2
14009	28.0	7157	27.0	6852	29.1
4503	9.0	2079	7.8	2423	10.3
782	1.6	446	1.7	332	1.4
2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7

問23 (3) 大人は信用できる (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
そう思う (4)	279	27.6	213	40.7	66	13.5
どちらかというところ (3)	448	44.3	226	43.2	222	45.4
どちらかというところ思わない (2)	160	15.8	49	9.4	111	22.7
思わない (1)	117	11.6	31	5.9	86	17.6
無回答	8	0.8	4	0.8	4	0.8
加重平均値	2.9	2.9	3.2	3.2	2.6	2.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
14505	28.9	10433	39.3	4070	17.3
21580	43.1	11302	42.6	10278	43.6
8291	16.5	3022	11.4	5269	22.4
4837	9.7	1286	4.8	3549	15.1
893	1.8	497	1.9	392	1.7
2.9	2.9	3.2	3.2	2.6	2.6

問23 (4) 自分の将来の夢や目標を持っている (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
持っている (4)	580	57.3	366	70.0	214	43.8
どちらかというところ (3)	206	20.4	86	16.4	120	24.5
どちらかというところ持っていない (2)	110	10.9	36	6.9	74	15.1
持っていない (1)	113	11.2	34	6.5	79	16.2
無回答	3	0.3	1	0.2	2	0.4
加重平均値	3.2	3.2	3.5	3.5	3.0	3.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
26738	53.4	17496	65.9	9240	39.2
10682	21.3	4800	18.1	5882	25.0
5998	12.0	2009	7.6	3989	16.9
5906	11.8	1799	6.8	4105	17.4
782	1.6	436	1.6	342	1.5
3.2	3.2	3.5	3.5	2.9	2.9

問23 (5) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
そう思う (4)	613	60.6	351	67.1	262	53.6
どちらかというところ (3)	288	28.5	126	24.1	162	33.1
どちらかというところ思わない (2)	71	7.0	31	5.9	40	8.2
思わない (1)	34	3.4	11	2.1	23	4.7
無回答	6	0.6	4	0.8	2	0.4
加重平均値	3.5	3.5	3.6	3.6	3.4	3.4

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
28616	57.1	16196	61.0	12420	52.7
14347	28.6	6892	26.0	7454	31.6
3825	7.6	1897	7.1	1926	8.2
2457	4.9	1078	4.1	1378	5.8
861	1.7	477	1.8	380	1.6
3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.3

問23 (6) 将来、働きたいと思う (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
そう思う (4)	861	85.1	425	81.3	436	89.2
どちらかというところ (3)	110	10.9	73	14.0	37	7.6
どちらかというところ思わない (2)	15	1.5	11	2.1	4	0.8
思わない (1)	21	2.1	11	2.1	10	2.0
無回答	5	0.5	3	0.6	2	0.4
加重平均値	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
41283	82.4	21343	80.4	19938	84.6
5997	12.0	3597	13.6	2400	10.2
1057	2.1	631	2.4	425	1.8
929	1.9	482	1.8	446	1.9
840	1.7	487	1.8	349	1.5
3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

小学生・中学生向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
中学校	9	0.9	7	1.3	2	0.4
高校	133	13.1	64	12.2	69	14.1
大学・短期大学	369	36.5	154	29.4	215	44.0
大学院	43	4.2	25	4.8	18	3.7
留学	54	5.3	23	4.4	31	6.3
専門学校	206	20.4	135	25.8	71	14.5
考えたことがない	97	9.6	67	12.8	30	6.1
わからない	95	9.4	44	8.4	51	10.4
無回答	6	0.6	4	0.8	2	0.4

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
452	0.9	358	1.3	94	0.4
7298	14.6	3626	13.7	3671	15.6
19859	39.6	9798	36.9	10061	42.7
2485	5.0	1423	5.4	1062	4.5
2172	4.3	1067	4.0	1105	4.7
7970	15.9	4642	17.5	3328	14.1
5026	10.0	3268	12.3	1757	7.5
3998	8.0	1874	7.1	2122	9.0
846	1.7	484	1.8	358	1.5

問25 あなたの性別をえらんでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
男子	487	48.1	256	48.9	231	47.2
女子	495	48.9	257	49.1	238	48.7
その他	2	0.2	-	-	2	0.4
答えたくない	22	2.2	7	1.3	15	3.1
無回答	6	0.6	3	0.6	3	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
23615	47.1	12505	47.1	11106	47.1
24829	49.6	13184	49.7	11643	49.4
107	0.2	33	0.1	74	0.3
702	1.4	347	1.3	355	1.5
853	1.7	471	1.8	380	1.6

問26 現在のあなたの身長について、近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
124.9cm以下	4	0.4	3	0.6	1	0.2
125cm～129.9cm	15	1.5	15	2.9	-	-
130cm～134.9cm	69	6.8	69	13.2	-	-
135cm～139.9cm	111	11.0	109	20.8	2	0.4
140cm～144.9cm	152	15.0	138	26.4	14	2.9
145cm～149.9cm	121	12.0	89	17.0	32	6.5
150cm～154.9cm	154	15.2	48	9.2	106	21.7
155cm～159.9cm	129	12.7	11	2.1	118	24.1
160cm～164.9cm	111	11.0	2	0.4	109	22.3
165cm～169.9cm	47	4.6	-	-	47	9.6
170cm～174.9cm	34	3.4	-	-	34	7.0
175cm～179.9cm	9	0.9	1	0.2	8	1.6
180cm以上	1	0.1	-	-	1	0.2
わからない	46	4.5	32	6.1	14	2.9
無回答	9	0.9	6	1.1	3	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
233	0.5	218	0.8	15	0.1
959	1.9	945	3.6	14	0.1
3977	7.9	3951	14.9	25	0.1
6060	12.1	5954	22.4	105	0.4
7742	15.5	7111	26.8	630	2.7
6263	12.5	4403	16.6	1858	7.9
7337	14.6	2256	8.5	5080	21.6
6326	12.6	583	2.2	5742	24.4
5108	10.2	121	0.5	4987	21.2
2672	5.3	15	0.1	2657	11.3
1342	2.7	5	0.0	1337	5.7
362	0.7	3	0.0	359	1.5
78	0.2	5	0.0	73	0.3
1016	2.0	618	2.3	398	1.7
631	1.3	352	1.3	278	1.2

問26 現在のあなたの体重について、近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
24.9kg以下	19	1.9	17	3.3	2	0.4
25kg～29.9kg	109	10.8	109	20.8	-	-
30kg～34.9kg	198	19.6	180	34.4	18	3.7
35kg～39.9kg	131	12.9	76	14.5	55	11.2
40kg～44.9kg	171	16.9	39	7.5	132	27.0
45kg～49.9kg	113	11.2	22	4.2	91	18.6
50kg～54.9kg	73	7.2	4	0.8	69	14.1
55kg～59.9kg	39	3.9	4	0.8	35	7.2
60kg～64.9kg	14	1.4	-	-	14	2.9
65kg～69.9kg	7	0.7	1	0.2	6	1.2
70kg～74.9kg	5	0.5	-	-	5	1.0
75kg～79.9kg	2	0.2	-	-	2	0.4
80kg以上	1	0.1	-	-	1	0.2
わからない	105	10.4	56	10.7	49	10.0
無回答	25	2.5	15	2.9	10	2.0

人数	%	人数	%	人数	%
50106	100.0	26540	100.0	23558	100.0
888	1.8	846	3.2	42	0.2
6164	12.3	6068	22.9	95	0.4
9461	18.9	8699	32.8	762	3.2
7618	15.2	5031	19.0	2585	11.0
8614	17.2	2705	10.2	5908	25.1
6432	12.8	1064	4.0	5366	22.8
4331	8.6	491	1.9	3839	16.3
2072	4.1	203	0.8	1869	7.9
945	1.9	70	0.3	875	3.7
406	0.8	35	0.1	371	1.6
222	0.4	22	0.1	200	0.8
110	0.2	6	0.0	104	0.4
116	0.2	7	0.0	109	0.5
1726	3.4	803	3.0	923	3.9
1002	2.0	490	1.8	511	2.2

子 問○-28 あなたはどの学校に通学していますか

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1012	100.0	523	100.0	489	100.0
東小学校	116	11.5	115	22.0	-	-
西小学校	89	8.8	88	16.8	-	-
南第一小学校	46	4.5	46	8.8	-	-
南第二小学校	80	7.9	79	15.1	-	-

小学生・中学生向け調査

	大阪狭山市					
	全体		小学5年生		中学2年生	
南第三小学校	38	3.8	38	7.3	-	-
北小学校	58	5.7	58	11.1	-	-
第七小学校	83	8.2	83	15.9	-	-
狭山中学校	168	16.6	-	-	167	34.2
南中学校	138	13.6	-	-	138	28.2
第三中学校	151	14.9	-	-	151	30.9
無回答	45	4.4	15	2.9	30	6.1

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
お母さん	891	89.1	471	91.3	420	86.8	42682	85.9	22840	86.7	19816	85.0
お父さん	61	6.1	20	3.9	41	8.5	3034	6.1	1534	5.8	1498	6.4
おばあさん・おじいさん	5	0.5	4	0.8	1	0.2	270	0.5	122	0.5	147	0.6
おじ、おばなど親戚	-	-	-	-	-	-	31	0.1	15	0.1	16	0.1
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	-	-	-	-	141	0.3	65	0.2	73	0.3
その他の人	-	-	-	-	-	-	59	0.1	23	0.1	36	0.2
無回答	43	4.3	21	4.1	22	4.5	3486	7.0	1743	6.6	1737	7.4

問2 あなたが日常生活でよく使う言葉はどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
日本語	945	94.5	489	94.8	456	94.2	45178	90.9	24043	91.3	21107	90.5
日本語以外	2	0.2	1	0.2	1	0.2	247	0.5	134	0.5	113	0.5
複数選択	-	-	-	-	-	-	12	0.0	8	0.0	4	0.0
無回答	53	5.3	26	5.0	27	5.6	4266	8.6	2157	8.2	2099	9.0

問3 (1) ① 世帯員の人数は何人ですか(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2人	23	2.3	13	2.5	10	2.1	1660	3.3	792	3.0	866	3.7
3人	125	12.5	67	13.0	58	12.0	7753	15.6	3970	15.1	3771	16.2
4人	470	47.0	232	45.0	238	49.2	22861	46.0	12286	46.6	10561	45.3
5人	296	29.6	164	31.8	132	27.3	12153	24.5	6523	24.8	5626	24.1
6人	54	5.4	29	5.6	25	5.2	3207	6.5	1707	6.5	1498	6.4
7人	19	1.9	8	1.6	11	2.3	988	2.0	531	2.0	457	2.0
8人	7	0.7	1	0.2	6	1.2	232	0.5	123	0.5	109	0.5
9人	1	0.1	-	-	1	0.2	61	0.1	37	0.1	24	0.1
10人以上	1	0.1	-	-	1	0.2	77	0.2	39	0.1	38	0.2
無回答	4	0.4	2	0.4	2	0.4	711	1.4	334	1.3	373	1.6

問3 (1) ② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
いる	24	2.4	11	2.1	13	2.7	1869	3.8	958	3.6	886	3.8
いない	970	97.0	503	97.5	467	96.5	46902	94.4	24931	94.6	21962	94.2
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8	932	1.9	453	1.7	475	2.0

問3 (1) ③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子どもの人数をすべてお答えください。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1人	114	11.4	65	12.6	49	10.1	7521	15.1	3939	15.0	3568	15.3
2人	531	53.1	261	50.6	270	55.8	25634	51.6	13597	51.6	12023	51.5
3人	307	30.7	164	31.8	143	29.5	12709	25.6	6787	25.8	5919	25.4
4人	32	3.2	19	3.7	13	2.7	2388	4.8	1287	4.9	1099	4.7
5人	6	0.6	4	0.8	2	0.4	503	1.0	274	1.0	228	1.0
6人	4	0.4	1	0.2	3	0.6	110	0.2	58	0.2	52	0.2
7人	1	0.1	-	-	1	0.2	32	0.1	19	0.1	13	0.1
8人	-	-	-	-	-	-	15	0.0	5	0.0	10	0.0
9人	-	-	-	-	-	-	5	0.0	5	0.0	-	-
10人以上	-	-	-	-	-	-	29	0.1	12	0.0	17	0.1
無回答	5	0.5	2	0.4	3	0.6	757	1.5	359	1.4	394	1.7

問3 (1) ④ 世帯員の子供のうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
いない	868	86.8	412	79.8	456	94.2	41899	84.3	20849	79.1	21021	90.1
1人	118	11.8	90	17.4	28	5.8	6173	12.4	4495	17.1	1673	7.2
2人	10	1.0	10	1.9	-	-	766	1.5	569	2.2	197	0.8
3人	2	0.2	2	0.4	-	-	68	0.1	47	0.2	21	0.1
4人	-	-	-	-	-	-	14	0.0	10	0.0	4	0.0
5人以上	-	-	-	-	-	-	17	0.0	9	0.0	8	0.0
無回答	2	0.2	2	0.4	-	-	766	1.5	363	1.4	399	1.7

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問3 (1) ⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
1人	181	18.1	99	19.2	82	16.9	12155	24.5	6237	23.7
2人	575	57.5	295	57.2	280	57.9	27185	54.7	14746	56.0
3人	227	22.7	117	22.7	110	22.7	8412	16.9	4410	16.7
4人	10	1.0	3	0.6	7	1.4	1000	2.0	498	1.9
5人以上	2	0.2	-	-	2	0.4	195	0.4	98	0.4
無回答	5	0.5	2	0.4	3	0.6	756	1.5	353	1.3

問3 (1) ⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
いない	903	90.3	486	94.2	417	86.2	42997	86.5	23964	91.0
1人	64	6.4	14	2.7	50	10.3	4224	8.5	1303	4.9
2人	22	2.2	10	1.9	12	2.5	1260	2.5	462	1.8
3人	3	0.3	1	0.2	2	0.4	161	0.3	68	0.3
4人	2	0.2	1	0.2	1	0.2	45	0.1	24	0.1
5人以上	-	-	-	-	-	-	15	0.0	10	0.0
無回答	6	0.6	4	0.8	2	0.4	1001	2.0	511	1.9

問3 (2) 世帯員をすべて選んでください。(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
この調査票を受け取ったお子さん本人	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
お母さん	977	97.7	507	98.3	470	97.1	47442	95.5	25271	95.9
お父さん	848	84.8	446	86.4	402	83.1	40361	81.2	21802	82.8
兄・姉	474	47.4	238	46.1	236	48.8	22683	45.6	11965	45.4
弟・妹	494	49.4	257	49.8	237	49.0	22590	45.4	12164	46.2
おばあさん	88	8.8	33	6.4	55	11.4	3853	7.8	1946	7.4
おじいさん	62	6.2	24	4.7	38	7.9	2251	4.5	1144	4.3
おじ・おばなど親戚	7	0.7	2	0.4	5	1.0	518	1.0	288	1.1
その他の人	4	0.4	1	0.2	3	0.6	232	0.5	124	0.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
持ち家(親・きょうだいの名義を含む)	864	86.4	453	87.8	411	84.9	37027	74.5	19810	75.2
府営・市営の住宅	31	3.1	17	3.3	14	2.9	2330	4.7	1101	4.2
UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	7	0.7	3	0.6	4	0.8	1048	2.1	552	2.1
民間の賃貸住宅	88	8.8	38	7.4	50	10.3	7945	16.0	4148	15.7
官舎・社宅	3	0.3	1	0.2	2	0.4	666	1.3	386	1.5
その他	4	0.4	2	0.4	2	0.4	320	0.6	161	0.6
無回答	3	0.3	2	0.4	1	0.2	367	0.7	184	0.7

問5 あなた(世帯の方を含む)は自家用車を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
持っている	963	96.3	498	96.5	465	96.1	38340	77.1	20663	78.4
持っていない	34	3.4	16	3.1	18	3.7	11012	22.2	5499	20.9
無回答	3	0.3	2	0.4	1	0.2	351	0.7	180	0.7

問6 (1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
貯蓄ができています	359	35.9	191	37.0	168	34.7	17143	34.5	9719	36.9
赤字である	231	23.1	106	20.5	125	25.8	12922	26.0	6306	23.9
赤字でもなく黒字でもない	338	33.8	178	34.5	160	33.1	16168	32.5	8533	32.4
わからない	54	5.4	30	5.8	24	5.0	2792	5.6	1446	5.5
無回答	18	1.8	11	2.1	7	1.4	678	1.4	338	1.3

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問6 (2) 問6 (1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合はどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	231	100.0	106	100.0	125	100.0
貯金・預金のとりくずし	149	64.5	71	67.0	78	62.4
親や親族などからの仕送り	18	7.8	9	8.5	9	7.2
金融機関等からの借入	41	17.7	18	17.0	23	18.4
その他	23	10.0	8	7.5	15	12.0
無回答	-	-	-	-	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
12922	100.0	6306	100.0	6603	100.0
7951	61.5	3929	62.3	4013	60.8
1166	9.0	612	9.7	553	8.4
2239	17.3	1047	16.6	1190	18.0
1456	11.3	660	10.5	795	12.0
110	0.9	58	0.9	52	0.8

問6 (3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
貯蓄をしている	615	61.5	323	62.6	292	60.3
貯蓄をしたいが、できていない	365	36.5	181	35.1	184	38.0
貯蓄をするつもりはない	4	0.4	1	0.2	3	0.6
無回答	16	1.6	11	2.1	5	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
28974	58.3	16159	61.3	12798	54.9
19893	40.0	9759	37.0	10117	43.4
144	0.3	77	0.3	67	0.3
692	1.4	347	1.3	341	1.5

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
食費を切りつめた	363	36.3	184	35.7	179	37.0
電気・ガス・水道などが止められた	6	0.6	3	0.6	3	0.6
医療機関を受診できなかった	27	2.7	12	2.3	15	3.1
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	47	4.7	18	3.5	29	6.0
国民年金の支払いが滞ったことがある	71	7.1	29	5.6	42	8.7
金融機関などに借金をしたことがある	62	6.2	28	5.4	34	7.0
クレジットカードの利用が停止になったことがある	32	3.2	10	1.9	22	4.5
新しい衣服・靴を買うのを控えた	408	40.8	210	40.7	198	40.9
新聞や雑誌を買うのを控えた	235	23.5	128	24.8	107	22.1
スマートフォンへの切替・利用を断念した	55	5.5	26	5.0	29	6.0
冠婚葬祭のつきあいを控えた	27	2.7	13	2.5	14	2.9
生活の見通しがたなくて不安になったことがある	175	17.5	86	16.7	89	18.4
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	72	7.2	43	8.3	29	6.0
電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある	37	3.7	15	2.9	22	4.5
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	30	3.0	17	3.3	13	2.7
趣味やレジャーの出費を減らした	414	41.4	206	39.9	208	43.0
冷暖房の使用を控えた	250	25.0	132	25.6	118	24.4
友人・知人との外食を控えた	236	23.6	123	23.8	113	23.3
敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	21	2.1	12	2.3	9	1.9
理髪店・美容院に行く回数を減らした	291	29.1	152	29.5	139	28.7
子ども部屋が欲しかったがつかれなかった	60	6.0	26	5.0	34	7.0
1～21の項目には、どれにもあてはまらない	280	28.0	141	27.3	139	28.7
無回答	42	4.2	24	4.7	18	3.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
19278	38.8	9845	37.4	9418	40.4
1074	2.2	539	2.0	535	2.3
1392	2.8	660	2.5	732	3.1
3132	6.3	1541	5.8	1587	6.8
3916	7.9	1962	7.4	1952	8.4
3734	7.5	1775	6.7	1956	8.4
1656	3.3	845	3.2	811	3.5
20550	41.3	10584	40.2	9948	42.7
12139	24.4	6313	24.0	5816	24.9
3560	7.2	1763	6.7	1793	7.7
1923	3.9	952	3.6	970	4.2
9541	19.2	4781	18.1	4747	20.4
7823	15.7	3946	15.0	3867	16.6
2171	4.4	1053	4.0	1118	4.8
1996	4.0	997	3.8	998	4.3
21678	43.6	11031	41.9	10630	45.6
13591	27.3	6913	26.2	6671	28.6
13602	27.4	6995	26.6	6593	28.3
1635	3.3	805	3.1	829	3.6
15167	30.5	7866	29.9	7291	31.3
4225	8.5	2149	8.2	2076	8.9
12707	25.6	7090	26.9	5608	24.0
2409	4.8	1283	4.9	1121	4.8

問8 お子さんのお母さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください) (現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
中学校卒業	15	1.5	11	2.1	4	0.8
高等学校中途退学	21	2.1	8	1.6	13	2.7
高等学校卒業	261	26.1	116	22.5	145	30.0
高専・短大・専門学校等卒業	497	49.7	264	51.2	233	48.1
大学卒業	151	15.1	90	17.4	61	12.6
大学院修了	4	0.4	3	0.6	1	0.2
その他の教育機関卒業	3	0.3	2	0.4	1	0.2
答えたくない	10	1.0	6	1.2	4	0.8
無回答	38	3.8	16	3.1	22	4.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1156	2.3	592	2.2	563	2.4
1580	3.2	853	3.2	725	3.1
15413	31.0	7475	28.4	7925	34.0
20647	41.5	11068	42.0	9568	41.0
7741	15.6	4656	17.7	3081	13.2
409	0.8	272	1.0	136	0.6
168	0.3	85	0.3	83	0.4
354	0.7	179	0.7	175	0.8
2235	4.5	1162	4.4	1067	4.6

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問8 お子さんのお父さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
中学校卒業	15	1.5	8	1.6	7	1.4
高等学校中途退学	27	2.7	13	2.5	14	2.9
高等学校卒業	307	30.7	146	28.3	161	33.3
高専・短大・専門学校等卒業	160	16.0	89	17.2	71	14.7
大学卒業	312	31.2	165	32.0	147	30.4
大学院修了	29	2.9	21	4.1	8	1.7
その他の教育機関卒業	2	0.2	2	0.4	-	-
答えたくない	12	1.2	6	1.2	6	1.2
無回答	136	13.6	66	12.8	70	14.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1404	2.8	747	2.8	657	2.8
1656	3.3	866	3.3	789	3.4
14487	29.1	7337	27.9	7142	30.6
7233	14.6	3973	15.1	3254	14.0
14707	29.6	8211	31.2	6484	27.8
1648	3.3	1023	3.9	624	2.7
148	0.3	84	0.3	64	0.3
450	0.9	221	0.8	229	1.0
7970	16.0	3880	14.7	4080	17.5

問9 就業状況(母)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	926	92.6	475	92.1	451	93.2
いない	60	6.0	34	6.6	26	5.4
無回答	14	1.4	7	1.4	7	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
46466	93.5	24698	93.8	21737	93.2
2271	4.6	1189	4.5	1080	4.6
966	1.9	455	1.7	506	2.2

問9 就業形態(母)「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	926	100.0	475	100.0	451	100.0
勤め(常勤・正規職員)	189	20.4	96	20.2	93	20.6
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	467	50.4	235	49.5	232	51.4
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	37	4.0	16	3.4	21	4.7
自営業・家業	54	5.8	26	5.5	28	6.2
その他の就業形態	7	0.8	5	1.1	2	0.4
仕事を探している	54	5.8	22	4.6	32	7.1
仕事をさがしていない	126	13.6	79	16.6	47	10.4
無回答	4	0.4	3	0.6	1	0.2

人数	%	人数	%	人数	%
46466	100.0	24698	100.0	21737	100.0
8505	18.3	4449	18.0	4053	18.6
22634	48.7	11693	47.3	10927	50.3
2138	4.6	1060	4.3	1076	5.0
3162	6.8	1742	7.1	1419	6.5
861	1.9	446	1.8	414	1.9
2825	6.1	1479	6.0	1344	6.2
6870	14.8	4084	16.5	2778	12.8
220	0.5	116	0.5	104	0.5

問9 仕事をさがしていない理由(母) <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	126	100.0	79	100.0	47	100.0
家事や育児に専念	78	61.9	55	69.6	23	48.9
学生	-	-	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助	2	1.6	1	1.3	1	2.1
病気療養	8	6.3	2	2.5	6	12.8
年金など	-	-	-	-	-	-
家賃収入、株式運用など	1	0.8	1	1.3	-	-
その他	8	6.3	4	5.1	4	8.5
無回答	34	27.0	19	24.1	15	31.9

人数	%	人数	%	人数	%
6870	100.0	4084	100.0	2778	100.0
5005	72.9	3105	76.0	1895	68.2
53	0.8	40	1.0	13	0.5
375	5.5	196	4.8	173	6.2
666	9.7	319	7.8	347	12.5
70	1.0	36	0.9	34	1.2
67	1.0	40	1.0	27	1.0
412	6.0	210	5.1	202	7.3
780	11.4	439	10.7	341	12.3

問9 就業状況(父)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	866	86.6	451	87.4	415	85.7
いない	94	9.4	46	8.9	48	9.9
無回答	40	4.0	19	3.7	21	4.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
41890	84.3	22633	85.9	19230	82.5
5201	10.5	2464	9.4	2731	11.7
2612	5.3	1245	4.7	1362	5.8

問9 就業形態(父)「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	866	100.0	451	100.0	415	100.0
勤め(常勤・正規職員)	703	81.2	370	82.0	333	80.2
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	22	2.5	11	2.4	11	2.7
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	3	0.3	2	0.4	1	0.2
自営業・家業	129	14.9	65	14.4	64	15.4
その他の就業形態	3	0.3	1	0.2	2	0.5
仕事を探している	7	0.8	2	0.4	5	1.2
仕事をさがしていない	7	0.8	3	0.7	4	1.0
無回答	1	0.1	1	0.2	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
41890	100.0	22633	100.0	19230	100.0
32731	78.1	17856	78.9	14852	77.2
1162	2.8	589	2.6	571	3.0
195	0.5	96	0.4	99	0.5
7077	16.9	3740	16.5	3334	17.3
327	0.8	159	0.7	168	0.9
303	0.7	156	0.7	147	0.8
347	0.8	177	0.8	170	0.9
139	0.3	65	0.3	74	0.4

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問9 仕事をさがしていない理由(父) <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	7	100.0	3	100.0	4	100.0
家事や育児に専念	1	14.3	1	33.3	-	-
学生	-	-	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助	-	-	-	-	-	-
病気療養	1	14.3	-	-	1	25.0
年金など	-	-	-	-	-	-
家賃収入、株式運用など	1	14.3	-	-	1	25.0
その他	2	28.6	1	33.3	1	25.0
無回答	3	42.9	1	33.3	2	50.0

人数	%	人数	%	人数	%
347	100.0	177	100.0	170	100.0
38	11.0	26	14.7	12	7.1
7	2.0	7	4.0	-	-
6	1.7	2	1.1	4	2.4
170	49.0	80	45.2	90	52.9
60	17.3	22	12.4	38	22.4
19	5.5	9	5.1	10	5.9
63	18.2	34	19.2	29	17.1
26	7.5	13	7.3	13	7.6

問9 就業状況(お母さん、お父さん以外)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	50	5.0	23	4.5	27	5.6
いない	837	83.7	436	84.5	401	82.9
無回答	113	11.3	57	11.0	56	11.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2960	6.0	1509	5.7	1450	6.2
40170	80.8	21531	81.7	18612	79.8
6573	13.2	3302	12.5	3261	14.0

問9 就業形態(お母さん、お父さん以外)「1.いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください

	人数	%	人数	%	人数	%
計	50	100.0	23	100.0	27	100.0
勤め(常勤・正規職員)	11	22.0	2	8.7	9	33.3
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	11	22.0	7	30.4	4	14.8
勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	2	4.0	1	4.3	1	3.7
自営業・家業	8	16.0	3	13.0	5	18.5
その他の就業形態	3	6.0	2	8.7	1	3.7
仕事を探している	1	2.0	1	4.3	-	-
仕事をさがしていない	14	28.0	5	21.7	9	33.3
無回答	2	4.0	2	8.7	-	-

人数	%	人数	%	人数	%
2960	100.0	1509	100.0	1450	100.0
567	19.2	318	21.1	249	17.2
654	22.1	317	21.0	337	23.2
63	2.1	36	2.4	27	1.9
628	21.2	343	22.7	285	19.7
66	2.2	22	1.5	43	3.0
43	1.5	24	1.6	19	1.3
1036	35.0	502	33.3	534	36.8
49	1.7	25	1.7	24	1.7

問9 仕事をさがしていない理由(お母さん、お父さん以外) <複数回答>

	人数	%	人数	%	人数	%
計	14	100.0	5	100.0	9	100.0
家事や育児に専念	-	-	-	-	-	-
学生	-	-	-	-	-	-
おうちの人の介護や介助	-	-	-	-	-	-
病気療養	-	-	-	-	-	-
年金など	9	64.3	3	60.0	6	66.7
家賃収入、株式運用など	-	-	-	-	-	-
その他	1	7.1	-	-	1	11.1
無回答	4	28.6	2	40.0	2	22.2

人数	%	人数	%	人数	%
1036	100.0	502	100.0	534	100.0
62	6.0	36	7.2	26	4.9
7	0.7	5	1.0	2	0.4
26	2.5	13	2.6	13	2.4
73	7.0	40	8.0	33	6.2
738	71.2	337	67.1	401	75.1
51	4.9	32	6.4	19	3.6
69	6.7	29	5.8	40	7.5
112	10.8	61	12.2	51	9.6

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	557	55.7	314	60.9	243	50.2
お子さんの夕食時間には家にいる	336	33.6	157	30.4	179	37.0
お子さんの寝る時間には家にいる	50	5.0	17	3.3	33	6.8
お子さんが寝た後に帰ってくる	6	0.6	5	1.0	1	0.2
保護者の方の帰宅時間が決まっていない	34	3.4	15	2.9	19	3.9
その他	9	0.9	4	0.8	5	1.0
無回答	8	0.8	4	0.8	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
26824	54.0	14836	56.3	11962	51.3
17597	35.4	9189	34.9	8401	36.0
2537	5.1	1095	4.2	1442	6.2
236	0.5	112	0.4	124	0.5
1333	2.7	543	2.1	790	3.4
463	0.9	225	0.9	238	1.0
713	1.4	342	1.3	366	1.6

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問11 学校が終わってから、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
お母さん	853	85.3	441	85.5	412	85.1	42306	85.1	22495	85.4
お父さん	128	12.8	65	12.6	63	13.0	7360	14.8	3563	13.5
おばあさん	120	12.0	65	12.6	55	11.4	5359	10.8	3159	12.0
おじいさん	57	5.7	31	6.0	26	5.4	2359	4.7	1403	5.3
兄・姉	264	26.4	150	29.1	114	23.6	12557	25.3	6931	26.3
弟・妹	347	34.7	180	34.9	167	34.5	15988	32.2	8796	33.4
おじ、おばなど親戚	4	0.4	3	0.6	1	0.2	413	0.8	252	1.0
近所の人	1	0.1	1	0.2	-	-	178	0.4	147	0.6
学童保育の指導員	27	2.7	23	4.5	4	0.8	1238	2.5	1053	4.0
ファミリーサポートセンター会員	-	-	-	-	-	-	20	0.0	13	0.0
お子さんがひとりである	25	2.5	10	1.9	15	3.1	1322	2.7	712	2.7
その他の人	11	1.1	8	1.6	3	0.6	764	1.5	492	1.9
無回答	3	0.3	1	0.2	2	0.4	602	1.2	273	1.0

問12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
持っている	16	1.6	7	1.4	9	1.9	1327	2.7	653	2.5
持っていない	975	97.5	503	97.5	472	97.5	47839	96.2	25423	96.5
無回答	9	0.9	6	1.2	3	0.6	537	1.1	266	1.0

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
子どもを医療機関を受診させることができなかった	10	1.0	5	1.0	5	1.0	719	1.4	310	1.2
子どもの進路を変更した	12	1.2	5	1.0	7	1.4	935	1.9	418	1.6
子どものための本や絵本が買えなかった	39	3.9	23	4.5	16	3.3	2061	4.1	1195	4.5
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	81	8.1	34	6.6	47	9.7	4598	9.3	2086	7.9
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	93	9.3	48	9.3	45	9.3	4895	9.8	2416	9.2
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	-	-	-	-	66	0.1	28	0.1
子どもを習い事に通わすことができなかった	92	9.2	53	10.3	39	8.1	5689	11.4	2982	11.3
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	-	-	-	-	-	-	299	0.6	137	0.5
子どもを学習塾に通わすことができなかった	110	11.0	52	10.1	58	12.0	5684	11.4	2821	10.7
子どもの誕生日を祝えなかった	15	1.5	8	1.6	7	1.4	750	1.5	313	1.2
子どもにお年玉をあげることができなかった	31	3.1	17	3.3	14	2.9	2221	4.5	1027	3.9
子どもの学校行事などに参加することができなかった	20	2.0	8	1.6	12	2.5	947	1.9	411	1.6
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	14	1.4	5	1.0	9	1.9	773	1.6	361	1.4
家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	148	14.8	63	12.2	85	17.6	9526	19.2	4559	17.3
1～14の項目には、どれにもあてはまらない	575	57.5	307	59.5	268	55.4	27652	55.6	15229	57.8
無回答	152	15.2	80	15.5	72	14.9	7561	15.2	3978	15.1

問14 (1) あなたは、お子さんを信頼していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
とても信頼している	557	55.7	291	56.4	266	55.0	24696	49.7	13438	51.0
信頼している	417	41.7	214	41.5	203	41.9	22685	45.6	11815	44.9
あまり信頼していない	19	1.9	9	1.7	10	2.1	1861	3.7	886	3.4
信頼していない	1	0.1	1	0.2	-	-	90	0.2	39	0.1
無回答	6	0.6	1	0.2	5	1.0	371	0.7	164	0.6

問14 (2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0
よくする	659	65.9	357	69.2	302	62.4	32575	65.5	18214	69.1
する	308	30.8	151	29.3	157	32.4	15390	31.0	7489	28.4
あまりしない	28	2.8	7	1.4	21	4.3	1391	2.8	480	1.8
しない	2	0.2	1	0.2	1	0.2	50	0.1	19	0.1
無回答	3	0.3	-	-	3	0.6	297	0.6	140	0.5

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
(平日について、あてはまる番号1つに○をつけてください) : 平日

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
0～15分未満	41	4.1	19	3.7	22	4.5	1413	2.8	631	2.4	781	3.3
15分～30分未満	66	6.6	24	4.7	42	8.7	3915	7.9	1801	6.8	2110	9.0
30分～1時間未満	167	16.7	81	15.7	86	17.8	8559	17.2	4157	15.8	4396	18.8
1時間～2時間未満	232	23.2	117	22.7	115	23.8	11617	23.4	5878	22.3	5733	24.6
2時間～3時間未満	202	20.2	112	21.7	90	18.6	9168	18.4	4866	18.5	4296	18.4
3時間～4時間未満	122	12.2	67	13.0	55	11.4	6233	12.5	3615	13.7	2616	11.2
4時間以上	135	13.5	83	16.1	52	10.7	6774	13.6	4324	16.4	2444	10.5
無回答	35	3.5	13	2.5	22	4.5	2024	4.1	1070	4.1	947	4.1

問14 (3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。
(休日について、あてはまる番号1つに○をつけてください) : 休日

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2時間未満	116	11.6	39	7.6	77	15.9	5385	10.8	2107	8.0	3275	14.0
2時間～4時間未満	168	16.8	79	15.3	89	18.4	7933	16.0	3698	14.0	4230	18.1
4時間～6時間未満	163	16.3	89	17.2	74	15.3	7411	14.9	3970	15.1	3438	14.7
6時間～8時間未満	112	11.2	68	13.2	44	9.1	4982	10.0	2933	11.1	2046	8.8
8時間～10時間未満	56	5.6	35	6.8	21	4.3	3135	6.3	1984	7.5	1148	4.9
10時間以上	150	15.0	102	19.8	48	9.9	6952	14.0	4940	18.8	2002	8.6
無回答	235	23.5	104	20.2	131	27.1	13905	28.0	6710	25.5	7184	30.8

問14 (4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
とても期待している	228	22.8	128	24.8	100	20.7	10763	21.7	6056	23.0	4706	20.2
期待している	633	63.3	326	63.2	307	63.4	31556	63.5	16723	63.5	14819	63.5
あまり期待していない	113	11.3	53	10.3	60	12.4	6137	12.3	2985	11.3	3142	13.5
期待していない	10	1.0	4	0.8	6	1.2	701	1.4	325	1.2	369	1.6
無回答	16	1.6	5	1.0	11	2.3	546	1.1	253	1.0	287	1.2

問15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
中学校	-	-	-	-	-	-	97	0.2	67	0.3	29	0.1
高校	120	12.0	49	9.5	71	14.7	7959	16.0	3629	13.8	4311	18.5
大学・短期大学	646	64.6	336	65.1	310	64.0	31158	62.7	16722	63.5	14433	61.9
大学院	10	1.0	5	1.0	5	1.0	898	1.8	543	2.1	355	1.5
留学	23	2.3	12	2.3	11	2.3	1341	2.7	838	3.2	503	2.2
専門学校・高等専門学校	89	8.9	47	9.1	42	8.7	3578	7.2	1860	7.1	1717	7.4
考えたことがない	19	1.9	12	2.3	7	1.4	755	1.5	512	1.9	241	1.0
わからない	90	9.0	55	10.7	35	7.2	3656	7.4	2058	7.8	1589	6.8
無回答	3	0.3	-	-	3	0.6	261	0.5	113	0.4	145	0.6

問16 あなたは、お子さんが問15の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0	49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
思う	475	47.5	234	45.3	241	49.8	25946	52.2	13381	50.8	12550	53.8
思わない	49	4.9	22	4.3	27	5.6	2295	4.6	1079	4.1	1211	5.2
わからない	465	46.5	252	48.8	213	44.0	20377	41.0	11336	43.0	9027	38.7
無回答	11	1.1	8	1.6	3	0.6	1085	2.2	546	2.1	535	2.3

問17 問16で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
計	49	100.0	22	100.0	27	100.0	2295	100.0	1079	100.0	1211	100.0
お子さんの希望と異なるから	12	24.5	4	18.2	8	29.6	427	18.6	230	21.3	197	16.3
お子さんの学力から考えて	25	51.0	11	50.0	14	51.9	1269	55.3	481	44.6	785	64.8
経済的な余裕がないから	24	49.0	9	40.9	15	55.6	963	42.0	477	44.2	486	40.1
その他	5	10.2	3	13.6	2	7.4	198	8.6	105	9.7	91	7.5
特に理由はない	3	6.1	3	13.6	-	-	112	4.9	79	7.3	33	2.7
無回答	1	2.0	-	-	1	3.7	33	1.4	17	1.6	16	1.3

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問18 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
ほぼ毎日通っている	961	96.1	499	96.7	462	95.5
欠席は年間30日未満である	25	2.5	13	2.5	12	2.5
欠席が年間30日以上、60日未満である	-	-	-	-	-	-
欠席が年間60日以上、1年未満である	2	0.2	1	0.2	1	0.2
欠席が1年以上続いている	3	0.3	-	-	3	0.6
わからない	3	0.3	1	0.2	2	0.4
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
46273	93.1	24270	92.1	21973	94.2
1298	2.6	603	2.3	694	3.0
247	0.5	91	0.3	155	0.7
176	0.4	50	0.2	124	0.5
57	0.1	13	0.0	44	0.2
120	0.2	46	0.2	73	0.3
1532	3.1	1269	4.8	260	1.1

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
10代	21	2.1	11	2.1	10	2.1
20～23歳	114	11.4	57	11.0	57	11.8
24～26歳	231	23.1	105	20.3	126	26.0
27～30歳	404	40.4	203	39.3	201	41.5
31～34歳	169	16.9	100	19.4	69	14.3
35～39歳	36	3.6	26	5.0	10	2.1
40歳以上	19	1.9	12	2.3	7	1.4
無回答	6	0.6	2	0.4	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1406	2.8	771	2.9	633	2.7
6007	12.1	3045	11.6	2959	12.7
10361	20.8	5034	19.1	5324	22.8
17391	35.0	8983	34.1	8395	36.0
9603	19.3	5588	21.2	4008	17.2
3253	6.5	2019	7.7	1228	5.3
1236	2.5	696	2.6	539	2.3
446	0.9	206	0.8	237	1.0

問20 ① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	875	87.5	452	87.6	423	87.4
いない	49	4.9	22	4.3	27	5.6
わからない	66	6.6	37	7.2	29	6.0
無回答	10	1.0	5	1.0	5	1.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
43550	87.6	23349	88.6	20172	86.5
3031	6.1	1472	5.6	1557	6.7
2586	5.2	1279	4.9	1304	5.6
536	1.1	242	0.9	290	1.2

問20 ② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	798	79.8	411	79.7	387	80.0
いない	74	7.4	37	7.2	37	7.6
わからない	114	11.4	61	11.8	53	11.0
無回答	14	1.4	7	1.4	7	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
40199	80.9	21573	81.9	18600	79.7
4057	8.2	2020	7.7	2033	8.7
4846	9.7	2475	9.4	2367	10.1
601	1.2	274	1.0	323	1.4

問20 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	826	82.6	421	81.6	405	83.7
いない	76	7.6	46	8.9	30	6.2
わからない	82	8.2	41	7.9	41	8.5
無回答	16	1.6	8	1.6	8	1.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
40459	81.4	21666	82.2	18762	80.4
5063	10.2	2587	9.8	2475	10.6
3507	7.1	1782	6.8	1724	7.4
674	1.4	307	1.2	362	1.6

問20 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	797	79.7	420	81.4	377	77.9
いない	71	7.1	36	7.0	35	7.2
わからない	111	11.1	50	9.7	61	12.6
無回答	21	2.1	10	1.9	11	2.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
39358	79.2	21304	80.9	18032	77.3
4307	8.7	2079	7.9	2223	9.5
5338	10.7	2637	10.0	2695	11.6
700	1.4	322	1.2	373	1.6

問20 ⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	705	70.5	376	72.9	329	68.0
いない	127	12.7	69	13.4	58	12.0
わからない	152	15.2	64	12.4	88	18.2
無回答	16	1.6	7	1.4	9	1.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34361	69.1	18997	72.1	15346	65.8
6815	13.7	3255	12.4	3554	15.2
7815	15.7	3779	14.3	4027	17.3
712	1.4	311	1.2	396	1.7

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問20 ⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	727	72.7	377	73.1	350	72.3
いない	203	20.3	104	20.2	99	20.5
わからない	58	5.8	30	5.8	28	5.8
無回答	12	1.2	5	1.0	7	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34651	69.7	18616	70.7	16022	68.7
12019	24.2	6208	23.6	5793	24.8
2437	4.9	1260	4.8	1174	5.0
596	1.2	258	1.0	334	1.4

問20 ⑦ 留守を頼める人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
いる	724	72.4	376	72.9	348	71.9
いない	211	21.1	109	21.1	102	21.1
わからない	52	5.2	25	4.8	27	5.6
無回答	13	1.3	6	1.2	7	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
32799	66.0	17846	67.7	14939	64.1
13749	27.7	6953	26.4	6778	29.1
2558	5.1	1280	4.9	1276	5.5
597	1.2	263	1.0	330	1.4

問21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
配偶者・パートナー	728	72.8	393	76.2	335	69.2
自分の親	693	69.3	369	71.5	324	66.9
配偶者・パートナーの親	209	20.9	116	22.5	93	19.2
きょうだい・その他の親戚	346	34.6	177	34.3	169	34.9
近隣に住む知人や友人	473	47.3	255	49.4	218	45.0
近隣に住んでいない知人や友人	225	22.5	117	22.7	108	22.3
職場関係者	193	19.3	89	17.2	104	21.5
学校の先生やスクールカウンセラー	71	7.1	49	9.5	22	4.5
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	5	0.5	4	0.8	1	0.2
公的機関や役所の相談員	15	1.5	7	1.4	8	1.7
学童保育の指導員	9	0.9	7	1.4	2	0.4
地域の民生委員・児童委員	-	-	-	-	-	-
民間の支援団体	6	0.6	4	0.8	2	0.4
民間のカウンセラー・電話相談	8	0.8	6	1.2	2	0.4
医療機関の医師や看護師	11	1.1	6	1.2	5	1.0
インターネットのサイトへの書き込み	10	1.0	7	1.4	3	0.6
その他	22	2.2	14	2.7	8	1.7
相談できる相手がない	26	2.6	11	2.1	15	3.1
無回答	8	0.8	4	0.8	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
34711	69.8	19075	72.4	15612	66.9
32884	66.2	18092	68.7	14777	63.4
9808	19.7	5732	21.8	4074	17.5
17831	35.9	9630	36.6	8194	35.1
21691	43.6	11951	45.4	9732	41.7
10172	20.5	5632	21.4	4536	19.4
9052	18.2	4655	17.7	4395	18.8
3938	7.9	2327	8.8	1605	6.9
145	0.3	97	0.4	48	0.2
1227	2.5	657	2.5	563	2.4
360	0.7	273	1.0	87	0.4
105	0.2	59	0.2	46	0.2
145	0.3	79	0.3	64	0.3
360	0.7	195	0.7	165	0.7
1251	2.5	710	2.7	537	2.3
694	1.4	413	1.6	281	1.2
1029	2.1	493	1.9	534	2.3
1281	2.6	612	2.3	668	2.9
1176	2.4	519	2.0	653	2.8

問22 (1) 生活を楽していますか（仕事や家事、育児など）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
とても楽んでいる	158	15.8	82	15.9	76	15.7
楽んでいる	563	56.3	296	57.4	267	55.2
あまり楽んでいない	132	13.2	64	12.4	68	14.0
楽んでいない	34	3.4	16	3.1	18	3.7
わからない	105	10.5	53	10.3	52	10.7
無回答	8	0.8	5	1.0	3	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7997	16.1	4480	17.0	3516	15.1
26750	53.8	14454	54.9	12276	52.6
7707	15.5	3826	14.5	3872	16.6
1890	3.8	903	3.4	984	4.2
4195	8.4	2159	8.2	2035	8.7
1164	2.3	520	2.0	640	2.7

問22 (2) 将来に対して希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
希望が持てる	289	28.9	155	30.0	134	27.7
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	525	52.5	281	54.5	244	50.4
希望が持てない	80	8.0	34	6.6	46	9.5
わからない	97	9.7	41	7.9	56	11.6
無回答	9	0.9	5	1.0	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
13442	27.0	7691	29.2	5750	24.7
27196	54.7	14232	54.0	12943	55.5
4020	8.1	1891	7.2	2122	9.1
3893	7.8	2006	7.6	1883	8.1
1152	2.3	522	2.0	625	2.7

問22 (3) ストレスを発散できるものがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
ある	408	40.8	206	39.9	202	41.7
あるときもあれば、ないときもある	472	47.2	247	47.9	225	46.5
ない	70	7.0	37	7.2	33	6.8
わからない	42	4.2	21	4.1	21	4.3
無回答	8	0.8	5	1.0	3	0.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
18799	37.8	10182	38.7	8607	36.9
23810	47.9	12588	47.8	11203	48.0
3975	8.0	2048	7.8	1925	8.3
2039	4.1	1038	3.9	998	4.3
1080	2.2	486	1.8	590	2.5

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問22 (4) あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
とても幸せだと思う	290	29.0	157	30.4	133	27.5
幸せだと思う	530	53.0	271	52.5	259	53.5
あまり幸せだと思わない	70	7.0	33	6.4	37	7.6
幸せだと思わない	21	2.1	11	2.1	10	2.1
わからない	80	8.0	39	7.6	41	8.5
無回答	9	0.9	5	1.0	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
12819	25.8	7394	28.1	5421	23.2
26990	54.3	14221	54.0	12751	54.7
3733	7.5	1784	6.8	1944	8.3
1368	2.8	639	2.4	728	3.1
3628	7.3	1792	6.8	1831	7.9
1165	2.3	512	1.9	648	2.8

問23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
ねむれない	87	8.7	47	9.1	40	8.3
よく頭がいたくなる	222	22.2	126	24.4	96	19.8
歯がいたい	24	2.4	15	2.9	9	1.9
不安な気持ちになる	231	23.1	124	24.0	107	22.1
ものを見づらい	82	8.2	38	7.4	44	9.1
聞こえにくい	44	4.4	22	4.3	22	4.5
よくおなかがいたくなる	68	6.8	35	6.8	33	6.8
よくかぜをひく	17	1.7	8	1.6	9	1.9
よくかゆくなる	76	7.6	37	7.2	39	8.1
まわりが気になる	131	13.1	73	14.1	58	12.0
やる気が起きない	163	16.3	88	17.1	75	15.5
イライラする	326	32.6	181	35.1	145	30.0
よく肩がこる	398	39.8	225	43.6	173	35.7
よく腰がいたくなる	264	26.4	134	26.0	130	26.9
とくに気になるところはない	143	14.3	70	13.6	73	15.1
その他	48	4.8	25	4.8	23	4.8
わからない	39	3.9	15	2.9	24	5.0
無回答	46	4.6	17	3.3	29	6.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4709	9.5	2414	9.2	2291	9.8
10689	21.5	5757	21.9	4924	21.1
1828	3.7	997	3.8	828	3.6
12658	25.5	6500	24.7	6145	26.3
5244	10.6	2396	9.1	2844	12.2
2591	5.2	1211	4.6	1379	5.9
3381	6.8	1785	6.8	1595	6.8
1191	2.4	706	2.7	484	2.1
4615	9.3	2406	9.1	2206	9.5
6376	12.8	3572	13.6	2798	12.0
8984	18.1	4605	17.5	4371	18.7
17865	35.9	10147	38.5	7703	33.0
21539	43.3	11501	43.7	10018	43.0
14089	28.3	7323	27.8	6752	28.9
6001	12.1	3188	12.1	2810	12.0
2457	4.9	1296	4.9	1160	5.0
1447	2.9	726	2.8	720	3.1
2623	5.3	1272	4.8	1344	5.8

問24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
よくある	87	8.7	56	10.9	31	6.4
時々ある	628	62.8	341	66.1	287	59.3
ほとんどない	204	20.4	88	17.1	116	24.0
ない	46	4.6	19	3.7	27	5.6
わからない	27	2.7	8	1.6	19	3.9
無回答	8	0.8	4	0.8	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4356	8.8	2665	10.1	1687	7.2
30240	60.8	16775	63.7	13450	57.7
10342	20.8	4784	18.2	5549	23.8
2542	5.1	1125	4.3	1414	6.1
1023	2.1	449	1.7	573	2.5
1200	2.4	544	2.1	650	2.8

問25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
はい	605	60.5	294	57.0	311	64.3
いいえ	387	38.7	218	42.2	169	34.9
無回答	8	0.8	4	0.8	4	0.8

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
28535	57.4	14958	56.8	13561	58.1
19920	40.1	10830	41.1	9072	38.9
1248	2.5	554	2.1	690	3.0

問26 ① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
そう思う (4)	67	6.7	37	7.2	30	6.2
まあそう思う (3)	490	49.0	257	49.8	233	48.1
あまり思わない (2)	334	33.4	167	32.4	167	34.5
思わない (1)	56	5.6	32	6.2	24	5.0
わからない	42	4.2	17	3.3	25	5.2
無回答	11	1.1	6	1.2	5	1.0
加重平均値	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
3627	7.3	2021	7.7	1602	6.9
23759	47.8	12894	48.9	10855	46.5
15940	32.1	8298	31.5	7631	32.7
3314	6.7	1682	6.4	1627	7.0
1825	3.7	894	3.4	928	4.0
1238	2.5	553	2.1	680	2.9
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問26 ② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
そう思う (4)	147	14.7	82	15.9	65	13.4
まあそう思う (3)	514	51.4	268	51.9	246	50.8
あまり思わない (2)	221	22.1	106	20.5	115	23.8
思わない (1)	47	4.7	25	4.8	22	4.5
わからない	58	5.8	26	5.0	32	6.6
無回答	13	1.3	9	1.7	4	0.8
加重平均値	2.7	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7017	14.1	3802	14.4	3214	13.8
26664	53.6	14277	54.2	12371	53.0
10235	20.6	5408	20.5	4818	20.7
2393	4.8	1266	4.8	1122	4.8
2107	4.2	1010	3.8	1095	4.7
1287	2.6	579	2.2	703	3.0
2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7

問26 ③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
そう思う (1)	98	9.8	54	10.5	44	9.1
まあそう思う (2)	194	19.4	101	19.6	93	19.2
あまり思わない (3)	387	38.7	206	39.9	181	37.4
思わない (4)	261	26.1	125	24.2	136	28.1
わからない	49	4.9	24	4.7	25	5.2
無回答	11	1.1	6	1.2	5	1.0
加重平均値	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
4689	9.4	2517	9.6	2169	9.3
9768	19.7	5239	19.9	4523	19.4
18504	37.2	9828	37.3	8666	37.2
13359	26.9	7093	26.9	6255	26.8
2069	4.2	1068	4.1	998	4.3
1314	2.6	597	2.3	712	3.1
2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

問26 ④ 私は自分から友だちを作るのがうまい (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
そう思う (4)	71	7.1	35	6.8	36	7.4
まあそう思う (3)	293	29.3	150	29.1	143	29.5
あまり思わない (2)	379	37.9	190	36.8	189	39.0
思わない (1)	192	19.2	111	21.5	81	16.7
わからない	54	5.4	24	4.7	30	6.2
無回答	11	1.1	6	1.2	5	1.0
加重平均値	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
3050	6.1	1618	6.1	1431	6.1
13860	27.9	7351	27.9	6502	27.9
18883	38.0	10075	38.2	8794	37.7
9848	19.8	5327	20.2	4514	19.4
2790	5.6	1400	5.3	1386	5.9
1272	2.6	571	2.2	696	3.0
2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

問26 ⑤ 人生で起きる問題の多くは自分では解決できない (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
そう思う (1)	54	5.4	31	6.0	23	4.8
まあそう思う (2)	163	16.3	83	16.1	80	16.5
あまり思わない (3)	396	39.6	202	39.1	194	40.1
思わない (4)	268	26.8	134	26.0	134	27.7
わからない	108	10.8	60	11.6	48	9.9
無回答	11	1.1	6	1.2	5	1.0
加重平均値	2.7	2.7	2.6	2.6	2.7	2.7

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
2125	4.3	1103	4.2	1018	4.4
7197	14.5	3766	14.3	3427	14.7
20746	41.7	11042	41.9	9693	41.6
13640	27.4	7386	28.0	6247	26.8
4695	9.4	2464	9.4	2224	9.5
1300	2.6	581	2.2	714	3.1
2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7

問27 (1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
1人	318	31.8	176	34.1	142	29.3
2人	615	61.5	313	60.7	302	62.4
3人	39	3.9	15	2.9	24	5.0
4人	13	1.3	4	0.8	9	1.9
5人以上	1	0.1	-	-	1	0.2
無回答	14	1.4	8	1.6	6	1.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
16417	33.0	9009	34.2	7393	31.7
28847	58.0	15361	58.3	13473	57.8
2030	4.1	831	3.2	1198	5.1
509	1.0	243	0.9	266	1.1
92	0.2	54	0.2	38	0.2
1808	3.6	844	3.2	955	4.1

問27 (2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか (お子さんから見た続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
お母さん	132	13.2	63	12.2	69	14.3
お父さん	801	80.1	422	81.8	379	78.3
おじいさん、おばあさん	7	0.7	5	1.0	2	0.4
兄・姉	1	0.1	-	-	1	0.2
おじ・おばなど親戚	-	-	-	-	-	-
その他の人	1	0.1	-	-	1	0.2
複数選択	47	4.7	22	4.3	25	5.2
無回答	11	1.1	4	0.8	7	1.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
7621	15.3	3745	14.2	3873	16.6
37218	74.9	20199	76.7	16992	72.9
478	1.0	242	0.9	236	1.0
38	0.1	17	0.1	21	0.1
37	0.1	20	0.1	17	0.1
139	0.3	70	0.3	69	0.3
2393	4.8	1217	4.6	1176	5.0
1779	3.6	832	3.2	939	4.0

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問27 (3) ① 児童手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	863	86.3	451	87.4	412	85.1
受けたことがある	35	3.5	16	3.1	19	3.9
受けたことはない	56	5.6	33	6.4	23	4.8
無回答	46	4.6	16	3.1	30	6.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
43500	87.5	23298	88.4	20170	86.5
1304	2.6	570	2.2	734	3.1
2077	4.2	1132	4.3	945	4.1
2822	5.7	1342	5.1	1474	6.3

問27 (3) ② 就学援助費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	160	16.0	73	14.1	87	18.0
受けたことがある	28	2.8	13	2.5	15	3.1
受けたことはない	517	51.7	288	55.8	229	47.3
無回答	295	29.5	142	27.5	153	31.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
8792	17.7	4154	15.8	4628	19.8
3669	7.4	1724	6.5	1942	8.3
24429	49.1	13686	52.0	10733	46.0
12813	25.8	6778	25.7	6020	25.8

問27 (3) ③ 児童扶養手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	94	9.4	46	8.9	48	9.9
受けたことがある	13	1.3	6	1.2	7	1.4
受けたことはない	561	56.1	312	60.5	249	51.4
無回答	332	33.2	152	29.5	180	37.2

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
5897	11.9	2969	11.3	2918	12.5
1023	2.1	479	1.8	544	2.3
28345	57.0	15411	58.5	12922	55.4
14438	29.0	7483	28.4	6939	29.8

問27 (3) ④ 障がいや難病の手当 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	18	1.8	8	1.6	10	2.1
受けたことがある	6	0.6	3	0.6	3	0.6
受けたことはない	627	62.7	342	66.3	285	58.9
無回答	349	34.9	163	31.6	186	38.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1299	2.6	724	2.7	554	2.4
286	0.6	135	0.5	147	0.6
32057	64.5	17196	65.3	14858	63.7
16061	32.3	8287	31.5	7764	33.3

問27 (3) ⑤ 生活保護 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	8	0.8	4	0.8	4	0.8
受けたことがある	8	0.8	4	0.8	4	0.8
受けたことはない	632	63.2	345	66.9	287	59.3
無回答	352	35.2	163	31.6	189	39.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1274	2.6	622	2.4	650	2.8
422	0.8	211	0.8	211	0.9
32160	64.7	17286	65.6	14855	63.7
15847	31.9	8223	31.2	7607	32.6

問27 (3) ⑥ 公的年金 (老齢年金) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	23	2.3	11	2.1	12	2.5
受けたことがある	2	0.2	1	0.2	1	0.2
受けたことはない	627	62.7	343	66.5	284	58.7
無回答	348	34.8	161	31.2	187	38.6

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1084	2.2	535	2.0	549	2.4
76	0.2	39	0.1	37	0.2
32386	65.2	17382	66.0	14984	64.2
16157	32.5	8386	31.8	7753	33.2

問27 (3) ⑦ 公的年金 (遺族年金、障がい年金) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	12	1.2	4	0.8	8	1.7
受けたことがある	3	0.3	2	0.4	1	0.2
受けたことはない	631	63.1	345	66.9	286	59.1
無回答	354	35.4	165	32.0	189	39.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
864	1.7	391	1.5	473	2.0
138	0.3	71	0.3	67	0.3
32424	65.2	17430	66.2	14974	64.2
16277	32.7	8450	32.1	7809	33.5

問27 (3) ⑧ 雇用保険 (失業保険) (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	12	1.2	6	1.2	6	1.2
受けたことがある	131	13.1	65	12.6	66	13.6
受けたことはない	507	50.7	284	55.0	223	46.1
無回答	350	35.0	161	31.2	189	39.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
578	1.2	299	1.1	279	1.2
7152	14.4	3769	14.3	3376	14.5
25793	51.9	13910	52.8	11870	50.9
16180	32.6	8364	31.8	7798	33.4

保護者向け調査

大阪狭山市		
全体	小学5年生	中学2年生

大阪府内全自治体		
全体	小学5年生	中学2年生

問27 (3) ⑨ 養育費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	29	2.9	15	2.9	14	2.9
受けたことがある	13	1.3	4	0.8	9	1.9
受けたことはない	609	60.9	334	64.7	275	56.8
無回答	349	34.9	163	31.6	186	38.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1001	2.0	514	2.0	486	2.1
629	1.3	294	1.1	335	1.4
31874	64.1	17153	65.1	14702	63.0
16199	32.6	8381	31.8	7800	33.4

問27 (3) ⑩ 親・親族からの仕送り (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	20	2.0	9	1.7	11	2.3
受けたことがある	61	6.1	31	6.0	30	6.2
受けたことはない	579	57.9	320	62.0	259	53.5
無回答	340	34.0	156	30.2	184	38.0

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
959	1.9	499	1.9	460	2.0
3966	8.0	2075	7.9	1889	8.1
28835	58.0	15515	58.9	13302	57.0
15943	32.1	8253	31.3	7672	32.9

問27 (3) ⑪ 退職金 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	5	0.5	2	0.4	3	0.6
受けたことがある	102	10.2	56	10.9	46	9.5
受けたことはない	542	54.2	297	57.6	245	50.6
無回答	351	35.1	161	31.2	190	39.3

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
182	0.4	90	0.3	92	0.4
4971	10.0	2642	10.0	2324	10.0
28200	56.7	15150	57.5	13035	55.9
16350	32.9	8460	32.1	7872	33.8

問27 (3) ⑫ その他、株式配当などの副収入 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
受けている	38	3.8	17	3.3	21	4.3
受けたことがある	42	4.2	23	4.5	19	3.9
受けたことはない	572	57.2	314	60.9	258	53.3
無回答	348	34.8	162	31.4	186	38.4

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
1931	3.9	1101	4.2	829	3.6
2791	5.6	1532	5.8	1256	5.4
28937	58.2	15406	58.5	13515	57.9
16044	32.3	8303	31.5	7723	33.1

問27 (4) 前年(2015年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	人数	%	人数	%	人数	%
計	1000	100.0	516	100.0	484	100.0
50万円未満	8	0.8	1	0.2	7	1.4
50~100万円未満	15	1.5	10	1.9	5	1.0
100~150万円未満	23	2.3	10	1.9	13	2.7
150~200万円未満	23	2.3	11	2.1	12	2.5
200~250万円未満	28	2.8	12	2.3	16	3.3
250~300万円未満	35	3.5	17	3.3	18	3.7
300~350万円未満	39	3.9	16	3.1	23	4.8
350~400万円未満	51	5.1	30	5.8	21	4.3
400~450万円未満	59	5.9	34	6.6	25	5.2
450~500万円未満	63	6.3	32	6.2	31	6.4
500~550万円未満	74	7.4	47	9.1	27	5.6
550~600万円未満	67	6.7	38	7.4	29	6.0
600~650万円未満	55	5.5	27	5.2	28	5.8
650~700万円未満	51	5.1	21	4.1	30	6.2
700~750万円未満	44	4.4	28	5.4	16	3.3
750~800万円未満	36	3.6	17	3.3	19	3.9
800~850万円未満	33	3.3	11	2.1	22	4.5
850~900万円未満	19	1.9	6	1.2	13	2.7
900~950万円未満	11	1.1	6	1.2	5	1.0
950~1,000万円未満	31	3.1	15	2.9	16	3.3
1,000~1,100万円未満	18	1.8	8	1.6	10	2.1
1,100~1,200万円未満	14	1.4	7	1.4	7	1.4
1,200~1,300万円未満	6	0.6	2	0.4	4	0.8
1,300~1,400万円未満	4	0.4	3	0.6	1	0.2
1,400~1,500万円未満	1	0.1	-	-	1	0.2
1,500~1,750万円未満	-	-	-	-	-	-
1,750~2,000万円未満	4	0.4	3	0.6	1	0.2
2,000~2,250万円未満	1	0.1	1	0.2	-	-
2,250~2,500万円未満	-	-	-	-	-	-
2,500~2,750万円未満	-	-	-	-	-	-
2,750~3,000万円未満	-	-	-	-	-	-
3,000万円以上	-	-	-	-	-	-
わからない	81	8.1	45	8.7	36	7.4
無回答	106	10.6	58	11.2	48	9.9

人数	%	人数	%	人数	%
49703	100.0	26342	100.0	23323	100.0
468	0.9	230	0.9	238	1.0
883	1.8	485	1.8	397	1.7
1375	2.8	623	2.4	751	3.2
1565	3.1	755	2.9	810	3.5
1956	3.9	999	3.8	955	4.1
2110	4.2	1034	3.9	1074	4.6
2492	5.0	1326	5.0	1165	5.0
2951	5.9	1572	6.0	1377	5.9
2929	5.9	1615	6.1	1309	5.6
3018	6.1	1652	6.3	1365	5.9
3142	6.3	1755	6.7	1387	5.9
3236	6.5	1752	6.7	1481	6.3
2636	5.3	1438	5.5	1197	5.1
2056	4.1	1078	4.1	977	4.2
1803	3.6	968	3.7	834	3.6
1549	3.1	796	3.0	752	3.2
1511	3.0	846	3.2	665	2.9
987	2.0	530	2.0	457	2.0
779	1.6	414	1.6	365	1.6
962	1.9	482	1.8	480	2.1
1087	2.2	590	2.2	497	2.1
592	1.2	301	1.1	291	1.2
373	0.8	209	0.8	164	0.7
172	0.3	105	0.4	67	0.3
171	0.3	93	0.4	78	0.3
225	0.5	133	0.5	92	0.4
139	0.3	83	0.3	56	0.2
85	0.2	57	0.2	28	0.1
36	0.1	20	0.1	16	0.1
23	0.0	17	0.1	6	0.0
21	0.0	14	0.1	7	0.0
88	0.2	55	0.2	33	0.1
4092	8.2	2230	8.5	1857	8.0
4191	8.4	2085	7.9	2095	9.0

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

大阪狭山市子どもの生活に関する実態調査

平成 29 年 3 月

大阪狭山市

調査研究業務 受注者
公立大学法人 大阪府立大学

